Leader

LV 5490 / LV 5480 MULTI WAVEFORM MONITOR

LV 5490SER01 SDI INPUT LV 5490SER02 SDI INPUT / EYE

LV 5490SER03 DIGITAL AUDIO Dolby (Option)

LV 5490SER04 FOCUS ASSIST

LV 5490SER05 CIE DIAGRAM

LV 5490SER06 12G-SDI INPUT

LV 5490SER07 HDR

LV 5490SER08 IP (NMI)

LV 5490SER09 12G-SDI EYE

LV 5490SER10 VIDEO NOISE METER

LV 5480SER20 4K

LV 5480SER21 TSG

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書と付属の「製品を安全にご使用いただくために」をよくお読みのうえ、 製品を安全にお使いください。

目次

製品を安置	全に	ご使用いただくためにI
1. はじ	じめに	
1.1	保証	範囲
1.2	使用	上の注意1
1.2.1		入力端子の最大許容電圧について 1
1.2.2	<u>)</u>	衝撃について2
1.2.3	8	静電気破壊について 2
1.2.4	ł	予熱について2
1.2.5	5	スタンバイについて
1.2.6	5	バックアップについて
1.2.7	,	液晶パネルについて2
1.3	商標	・ライセンスについて2
1.4	本書	で使用する用語について
1.5	LV 5	480 について
2. 製品	品構成	ζ5
2.1	ライ	ンナップ5
2.2	ユニ	ットについて5
2.3	オプ	ションについて5
3. 仕椅	ŧ	
3.1	概要	
3.2	特長	
3.3	規格	
3.3.1		SDI フォーマットと規格10
3.3.2	2	IP(NMI)入力信号対応フォーマット (SER08)17
3.3.3	3	エンベデッドオーディオ再生方式 (SER03)18
3.3.4	ŀ	SDI 入出力端子18
3.3.5	5	IP(NMI)入力端子 (SER08)19
3.3.6	5	外部同期入力端子
3.3.7	,	オーディオ入出力端子 (SER03)20
3.3.8	3	モニター出力端子
3.3.9)	制御端子
3.3.1	.0	フロントパネル
3.3.1	.1	スクリーンキャプチャー
3.3.1	.2	フレームキャプチャー
3.3.1	.3	パターンジェネレーター24
3.3.1	.4	プリセット25
3.3.1	.5	画面表示
3.3.1	.6	SDI ビデオ信号波形表示
3.3.1	.7	SDI ベクトル波形表示

3.3.18	SDI 信号 5 バー表示	29
3.3.19	SDI ピクチャー表示	29
3.3.20	SDI シネライト表示	30
3.3.21	SDI シネゾーン表示	
3.3.22	デジタルオーディオ表示 (SER03)	31
3.3.23	SDI ステータス表示	32
3.3.24	SDI 解析機能	
3.3.25	アイパターン表示 (SER02/SER09)	37
3.3.26	ジッター表示 (SER02/SER09)	
3.3.27	アイパターン、ジッターエラー検出 (SER02/SER09)	
3.3.28	フォーカスアシスト表示 (SER04)	40
3.3.29	CIE 色度図表示 (SER05)	40
3.3.30	HDR 表示 (SER07)	40
3.3.31	IP(NMI)ステータス表示 (SER08)	41
3.3.32	ビデオノイズメーター (SER10)	41
3.3.33	一般仕様	43
4. パネル菌	面の説明	44
4.1 前示	- 1 ^e 구 미	11
4.1 別組 4.2 斐西	ルイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4.2 月凪		40
5 测定友加	とめろ前に	50
5.1 カバ	ーインレットストッパーの取り付け	50
5.2 保護	パネルの取り外し	51
5.3 スタ	?ンドの使用	51
5.4 電源	のオンオフ	52
5.5 USE	3 デバイスの接続	52
5.6 SFP	+トランシーバーモジュールの取り付け (SER08)	53
5.7 信号	-の入出力	54
5.7.1	SDI 信号の入出力	54
5.7.2	IP(NMI)信号の入力 (SER08)	57
5.7.3	外部同期信号の入力	58
5.7.4	デジタルオーディオ信号の入出力 (SER03)	62
5.7.5	モニター信号の出力	63
5.8 操作	の基本	64
5.8.1	ファンクションメニューの表示	64
5.8.2	ファンクションメニューの操作	64
5.8.3	マウスの操作	65
5.8.4	タブメニューの操作	66
5.8.5	キーロックの設定	67
5.9 測定	画面の説明	68
6. 基本的な	よ動作	70
6.1 入力	信号の設定	70
6.1.1	入力モードの選択	70
6.1.2	サイマル動作の選択	71

6.1.3	測定グループの選択	71
6.1.4	測定チャンネルの選択	71
6.1.5	入力フォーマットのエラー表示	73
6.2	測定信号の設定	74
6.2.1	SD、HD、3G-A、3G-B-DLの測定	74
6.2.2	3G-B-DS の測定	77
6.2.3	12Gの測定 (SER06/SER08)	79
6.2.4	HD(DL)の測定	81
6.2.5	3G(DL)-2K の測定	83
6.2.6	3G(DL)-4K の測定	85
6.2.7	HD(QL)の測定	87
6.2.8	3G(QL)の測定	89
6.2.9	4K NMI の測定 (SER08)	91
6.2.10	0 NMIの測定 (SER08)	93
6.3	測定モードの選択	95
6.3.1	ビデオ信号波形表示	95
6.3.2	ベクトル波形表示	95
6.3.3	ピクチャー表示	96
6.3.4	オーディオ表示 (SER03)	96
6.3.5	ステータス表示	97
6.3.6	アイパターン表示 (SER02/SER09)	97
6.3.7	マルチ表示	98
6.4	測定画面のレイアウト	
6.4.1	注意事項	
6.4.2	レイアウト手順	
6.4.3	レイアウト画面の説明	
7. シス	テム設定	114
71	入出力端子の設定	114
7.1.1	SDI入力端子の設定	
712	UDI / (SAL) / SERUS (SERUS)	119
7.1.3	フォーマットアラームの設定	
7.1.4	SDI 入出力端子の設定	
7.1.5	UDE の設定 (SER07)	
7.1.6	オーディオ入出力端子の設定 (SFR03)	
7.1.7	モニター出力端子の設定	
7.1.8	12G SDI入出力端子の設定 (SER06)	
7.1.9	IP(NMI)の設定1 (SFR08)	
7.1.10	0 IP(NMI)の設定 2 (SER08)	
7.2	本体の設定	
7.2.1	- 一般的な設定	
7.2.2	イーサネットの設定	
7.2.3	リモートの設定	
7.2.4	日時の設定	
7.3	システム情報の表示	
7.4	オプションのインストール	144
7.5	バックライトの調整	145

7.6	液晶パネルの消灯	145
7.7	初期化	146
7.7.1	1 設定の初期化	146
7.7.2	2 レイアウトの初期化	147
7.7.3	3 設定とレイアウトの初期化	147
8. ++	ャプチャー機能	148
8.1	スクリーンキャプチャー	149
8.1.1	1 表示画面の取り込み	149
8.1.2	2 キャプチャーデータの表示	149
8.1.3	3 USB メモリーへの保存	150
8.1.4	4 USB メモリーのキャプチャーデータ表示	151
8.1.5	5 USB メモリーのキャプチャーデータ削除	152
8.2	フレームキャプチャー	153
8.2.1	1 フレームデータの取り込み	153
8.2.2	2 フレームデータの表示	155
8.2.3	3 USB メモリーへの保存	156
8.2.4	4 USB メモリーのフレームデータ表示	157
8.2.5	5 USB メモリーのフレームデータ削除	158
9. プリ	リセット機能	159
9.1	プリセットの登録	159
9.2	プリセットの呼び出し	161
9.3	プリセットの削除	162
9.4	本体から USB メモリーへの一括コピー	163
9.5	USB メモリーから本体への一括コピー	164
10. ビテ	デオ信号波形表示	165
10.1	波形表示位置の設定	165
10.2	表示の設定	166
10.2.	.1 波形の輝度調整	166
10.2.	.2 波形色の選択	166
10.2.	.3 スケールの輝度調整	167
10.2.	.4 スケール色の選択	167
10.2.	.5 スケール単位の選択	167
10.2.	.6 75%カラーバー用スケールの表示	170
10.2.	7 表示モードの選択	171
10.2.	.8 チャンネルのオンオフ	173
10.2.	9 4Y パレードの表示	173
10.2.	.10 3G-B-DS 表示の設定	175
10.3	倍率とフィルターの設定	176
10.3.	.1 固定倍率の選択	176
10.3.	.2 可変倍率の設定	176
10.3.	.3 フィルターの選択	177
10.3.	.4 スケールジャンプの設定	179
10.4	掃引の設定	

10.4.1	掃引方式の選択	
10.4.2	ライン表示形式の選択	
10.4.3	フィールド表示形式の選択	
10.4.4	水平方向の倍率選択	
10.4.5	ブランキング期間の表示	
10.5 ライ	、ンセレクトの設定	
10.5.1	ラインセレクトのオンオフ	
10.5.2	ライン選択範囲の設定	
10.6 カー	-ソルの設定	
10.6.1	カーソルのオンオフ	
10.6.2	カーソルの選択	
10.6.3	カーソルの移動	
10.6.4	Y 軸測定単位の選択	
10.6.5	X 軸測定単位の選択	
10.6.6	カーソル値表示のオンオフ	
10.7 カラ	ラーシステムの設定	
10.7.1	カラーマトリックスの選択	
10.7.2	輝度信号のオンオフ	
10.7.3	コンポジット表示フォーマットの選択	
10.7.4	セットアップレベルの選択	
11. ベクトノ	レ波形表示	
		107
	ところクールの設定	
11.1.1		
11.1.2	次が巴の選択	
11.1.3	スクールの弾度調整	
11.1.4	スクールビの選択	
11.1.5		
11.1.0	スクールの選択	
11.2 16译		
11.2.1	回正信率の選択	200
11.2.2	92倍率の設定	200
11.3 71	ノビレン 下の設定	
11.3.1	ノ1 ノビアクトのオノオノ	
11.3.2	フ1ノ进派戦団の設正	
11.4 <-		
11.4.1	/ ハン トル イー ノー の衣示	
11.5 衣刀	12120000000000000000000000000000000000	
11.5.1	衣示七一トの切り換え	
11.5.2	36-8-25 表示の設定	
11.6 カラ	フーンステムの設定	
11.6.1	カフーイトリック人の選択	
11.6.2	コンホジット表示フォーマットの選択	206
11.6.3	セットアップレベルの選択	207
11.6.4	75%カラーバー用スケールの表示	207
11.7 5パ	—表示	
11.7.1	スケール単位の選択	

11.7.2	表示順の選択	209
11.8 ヒ	ストグラム表示	210
12. CIE 色	度図表示 (SER05)	211
121 7	ケールの設定	212
12.1 1	トライアングルの選択	212
12.1.1	マーザートライアングルの差穴	
12.1.2	ユージートシーブ ジジルの設定	213
12.1.5	カラーヘラールの送い	
12.1.4	- リノヘリールのオノオノ	
12.2 6/	反囚 こー「の成と	
12.2.1	2010年100年1100年1111年111日111日111日111日111日11	
12.2.2	な小苑伯の送近	
12.2.3	フィリターのオンオフ	
12.2.4	ノイルターのオンオン	
12.2.3	カンマ値の設定	
12.3 7	インビレクトの設定	
12.4))		
12.4.1	 ・ ・ ・	
12.5 衣	示の設定	
13 ピカエ		210
1J. ヒノノ		
13.1 ピ [.]	クチャーの調整	219
13.1.1	カラー表示とモノクロ表示の切り換え	219
13.1.1 13.1.2	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定	219 219
13.1.1 13.1.2 13.1.3	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整	219 219 220
13.1.1 13.1.2 13.1.3 13.1.4	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整	219 219 220 220
13.1.1 13.1.2 13.1.3 13.1.4 13.1.5	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整	219 219 220 220 220
13.1.1 13.1.2 13.1.3 13.1.4 13.1.5 13.1.6	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整	219 220 220 220 220 221
13.1.1 13.1.2 13.1.3 13.1.4 13.1.5 13.1.6 13.2 ₹	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整	219 220 220 220 221 221
$ \begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \checkmark\\ 13.2.1\\ \end{array} $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ	219 220 220 220 221 221 221 222
$ \begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \overleftarrow{}\\ 13.2.1\\ 13.2.1\\ 13.2.2\end{array} $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ	219 220 220 220 221 221 222 222
$ \begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \checkmark\\ 13.2.1\\ 13.2.2\\ 13.2.3\\ \end{array} $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	219 220 220 220 221 221 221 222 222
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ハーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 アスペクトシャドウの設定	219 220 220 220 221 221 222 222 222 222
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 アスペクトシャドウの設定 セーフアクションマーカーの設定	219 220 220 220 221 221 221 222 222 222 224 224
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ハーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 レーフアクションマーカーの設定 セーフアクションマーカーの設定	219 220 220 220 221 221 222 222 222 222
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 ーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 アスペクトマーカーの設定 セーフアクションマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定	219 220 220 220 221 221 222 222 222 224 224 225 226
$\begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \bigtriangledown \\ 13.2.1\\ 13.2.2\\ 13.2.3\\ 13.2.4\\ 13.2.5\\ 13.2.6\\ 13.2.7\\ 13.3 \bigtriangledown \end{array}$	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定	219 220 220 220 221 221 222 222 222 222
$ \begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \overleftarrow{}\\ 13.2.1\\ 13.2.1\\ 13.2.2\\ 13.2.3\\ 13.2.4\\ 13.2.5\\ 13.2.6\\ 13.2.7\\ 13.3 \overleftarrow{}\\ 13.3.1\\ \end{array} $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 パイアスの調整 パイアスの調整 ーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 アスペクトシャドウの設定 セーフアクションマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定	219 220 220 220 221 221 222 222 222 222 224 224 225 226 227 227
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 パイアスの調整 パイアスの調整 ーカーの設定 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 セーフアクションマーカーの設定 セーフタイトルマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 コーザーマーカーの設定 ラインセレクトの設定	219 220 220 220 221 221 221 222 222 222 224 224 224 225 226 227 228
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え	219 220 220 220 221 221 222 222 222 224 224 224 225 226 227 228 228 228
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	カラー表示とモノクロ表示の切り換え	219 220 220 220 221 221 221 222 222 222 224 224 224 225 226 227 227 228 228 229
$13.1.1 \\ 13.1.2 \\ 13.1.3 \\ 13.1.4 \\ 13.1.5 \\ 13.1.6 \\ 13.2 $	カラー表示とモノクロ表示の切り換え	219 220 220 220 221 221 222 222 222 224 224 224 225 226 227 227 228 228 228 229 230
$\begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \bigtriangledown \\ 13.2.1\\ 13.2.1\\ 13.2.2\\ 13.2.3\\ 13.2.4\\ 13.2.5\\ 13.2.6\\ 13.2.7\\ 13.3 \\ 13.3.1\\ 13.3.2\\ 13.3.3\\ 13.4 \\ 13.4.1\\ 13.4.2\end{array}$	 カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ゲインの調整 ゲインの調整 バイアスの調整 フレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの改定 アスペクトシャドウの設定 セーファクションマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 オンセレクトの設定 ラインセレクトのオンオフ ライン選択範囲の設定 (SER03) ネライトの設定 オ Stop 表示画面の説明 f Stop 表示画面の説明 	219 220 220 220 221 221 222 222 222 224 224 225 226 227 228 228 228 228 229 230 231
$13.1.1$ $13.1.2$ $13.1.3$ $13.1.4$ $13.1.5$ $13.1.6$ $13.2 \bigtriangledown$ $13.2.1$ $13.2.2$ $13.2.3$ $13.2.4$ $13.2.5$ $13.2.6$ $13.2.7$ $13.3 \bigcirc$ $13.3.1$ $13.3.2$ $13.3.1$ $13.3.2$ $13.4 \bigcirc$ $13.4.1$ $13.4.2$ $13.4.3$	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 パイアスの調整 パイアスの調整 ウレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ ヤンターマーカーのおンオフ アスペクトマーカーの設定 アスペクトシャドウの設定 セーフアクションマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 コントウトの設定 ラインセレクトの設定 ライン選択範囲の設定 (SER03) ネライトの設定 f Stop 表示画面の説明 f Stop 画面の表示手順 %DISPLAY 表示画面の説明	219 220 220 220 221 221 222 222 222 224 224 224 224 225 226 227 227 228 228 228 229 230 231 232
$\begin{array}{c} 13.1.1\\ 13.1.2\\ 13.1.3\\ 13.1.4\\ 13.1.5\\ 13.1.6\\ 13.2 \overleftarrow{}\\ 13.2.1\\ 13.2.1\\ 13.2.2\\ 13.2.3\\ 13.2.4\\ 13.2.5\\ 13.2.6\\ 13.2.7\\ 13.3 \overleftarrow{}\\ 13.3.2\\ 13.3.1\\ 13.3.2\\ 13.4 \overleftarrow{}\\ 13.4.1\\ 13.4.2\\ 13.4.3\\ 13.4.4\end{array}$	カラー表示とモノクロ表示の切り換え クロマゲインの設定 ブライトネスの調整 コントラストの調整 ヴインの調整 ウレームマーカーの割 ウレームマーカーのオンオフ センターマーカーのオンオフ アスペクトマーカーの設定 アスペクトシャドウの設定 セーフアクションマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 ユーザーマーカーの設定 キンセレクトの設定 ウインセレクトの設定 リップシンク測定範囲の設定 (SER03) ネライトの設定 f Stop 表示画面の説明 f Stop 画面の表示手順 %DISPLAY 表示画面の説明 表示ポイントの選択	219 220 220 220 221 221 222 222 222 224 224 225 226 227 227 228 228 228 229 230 231 232 235

13.4.	6 測定サイズの選択	
13.4.	7 ユーザー補正テーブルの設定	
13.4.	8 連携マーカーの表示	
13.5	シネゾーンの設定	241
13.5.	1 グラデーション表示	241
13.5.	2 ステップ表示	
13.5.	3 サーチ表示	
13.6	フォーカスアシスト表示 (SER04)	
13.6.	1 表示サイズの選択	
13.6.	2 フォーカスアシストのオンオフ	
13.6.	3 検出感度の選択	
13.6.4	4 輝度レベルの選択	
13.6.	5 ハイライト色の選択	
13.7	ビデオノイズメーター (SER10)	
13.7.	1 ビデオノイズメーターのオンオフ	246
13.7.	2 測定ウインドウの設定	
13.7.	3 測定信号の選択	
13.7.4	4 フィルターの選択	
13.7.	5 測定結果表示サイズの選択	
13.7.	6 アラーム機能のオンオフ	
13.7.	7 アラーム機能のしきい値の設定	
13.8	表示の設定	
13.8.	1 表示サイズの選択	
13.8.	2 ガマットエラーの表示	
13.8.	3 情報のオンオフ	
13.8.4	4 3G-B-DS 表示の設定	
14. HDF	R 表示 (SER07)	254
14.1	ビデオ信号波形表示	
14.1.	1 スケール表示	
14.1.	- カーソル表示	
14.2	- ··· · ··· ··· ··· ··· ··············	
14.2.	1 ヒストグラム表示	
14.3	- ニー・・・ - ニーニー・ ピクチャー表示	
14.3.	1 輝度情報のオンオフ	
14.3.	- SDR 変換形式の選択	
14.3.	- f Stop 表示	
14.3.4	4 %DISPLAY 表示	
14.3.	5 シネゾーン表示	
-		-
15. オー	·ディオ表示 (SER03)	264
15.1	測定信号の設定	
15.2	Dolby の設定 (オプション)	
15.3	表示モードの選択	
15.4	エラー検出の設定	
15.5	音量の調整	

15.6 メー	-ター表示	273
15.6.1	スケールの選択	273
15.6.2	応答モデルの選択	274
15.6.3	ピークホールドの設定	274
15.6.4	基準レベルの設定	275
15.7 リサ	ナージュ表示	
15.7.1	リサージュ波形の輝度調整	
15.7.2	スケールの輝度調整	
15.7.3	リサージュ表示形式の選択	
15.7.4	スケール表示形式の選択	
15.7.5	リサージュ波形の倍率設定	279
15.8 サラ	ラウンド表示	
15.8.1	サラウンド波形の輝度調整	
15.8.2	スケールの輝度調整	
15.8.3	サラウンド表示形式の選択	
15.8.4	サラウンド波形の倍率設定	
15.9 ステ	テータス表示	
15.9.1	ステータス画面の説明	
15.9.2	イベントログ表示	
15.9.3	メタデータ表示 (オプション)	
15.9.4	チャンネルステータス表示	
15.9.5	ユーザービット表示	
4500		
15.9.6	エラーのリセット	289
15.9.6	エラーのリセット タス表示	289
15.9.6 16. $Z = -\frac{2}{2}$ 16.1 $Z = -\frac{2}{2}$	エラーのリセット タス表示 =ータス画面の説明	289 290 290
15.9.6 16. ステーク 16.1 ステ 16.2 エラ	エラーのリセット タス表示 =ータス画面の説明	289 290 290 294
15.9.6 16. ステーク 16.1 ステ 16.2 エラ 16.2.1	エラーのリセット タス表示 =ータス画面の説明	289 290 290 294 294
15.9.6 16. ステーク 16.1 ステ 16.2 エラ 16.2.1 16.2.2	エラーのリセット タス表示 =ータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2	289 290 290 294 294 297
15.9.6 16. ステーク 16.1 ステ 16.2 エラ 16.2.1 16.2.2 16.2.3	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3	289 290 294 294 294 297 298 200
15.9.6 16. $\overline{\overline{x}}$ 16.1 $\overline{\overline{x}}$ 16.2 \overline{x} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4	エラーのリセット タス表示 テータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4	289 290 294 294 297 298 300
15.9.6 16. $\overline{\overline{x}}$ 16.1 $\overline{\overline{x}}$ 16.2 \overline{x} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.3 \overline{x} 16.4 (x)	エラーのリセット タス表示 =ータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4	289 290 294 294 297 298 300 303
15.9.6 16. $\mathcal{AF} - \mathcal{A}$ 16.1 \mathcal{AF} 16.2 \mathbb{IF} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.3 \mathbb{IF} 16.4 \mathcal{A}	エラーのリセット タス表示 ラータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4 ラーカウントのクリア ベントログの設定	289 290 294 294 297 297 298 300 303 303
15.9.6 16. $\nabla \overline{\nabla} - A$ 16.1 $\nabla \overline{\nabla} - A$ 16.2 $\Xi \overline{\nabla}$ 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.1 16.4.2	エラーのリセット タス表示 ラータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4 ラーカウントのクリア	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 304 208
15.9.6 16. $\overline{\overline{x}}$ 16.1 $\overline{\overline{x}}$ 16.2 \overline{x} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.1 16.4.2 16.4.2 16.4.2	エラーのリセット タス表示 = ータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4 ラーカウントのクリア ベントログの設定 イベントログ画面の説明 イベントログの開始	289 290 294 294 297 297 300 303 303 304 308 308
15.9.6 16. $\neg \neg \neg \neg \neg$ 16.1 $\neg \neg \neg$ 16.2 $\bot \neg \neg$ 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.3 $\bot \neg \neg$ 16.4 $\neg \land$ 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.3 16.4.4	エラーのリセット タス表示 =-タス画面の説明 5-検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4 5-カウントのクリア ×ントログの設定 イベントログ画面の説明 イベントログの開始 イベントログの開始	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 308 308 308 308
15.9.6 16. $\mathcal{AF} - \mathcal{A}$ 16.1 \mathcal{AF} 16.2 \mathbb{IF} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.4 16.4.4 16.4.5	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4 ラーカウントのクリア ベントログの設定 イベントログの開始 イベントログの開始 イベントログの開始 イベントログの開始	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 304 308 308 308 308
15.9.6 16. $\neg \neg \neg \neg$ 16.1 $\neg \neg \neg$ 16.2 $\bot \neg \neg$ 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5 $\neg \neg$	エラーのリセット タス表示 = -タス画面の説明 5 -検出の設定 エラー設定 1 エラー設定 2 エラー設定 3 エラー設定 4 5 -カウントのクリア ジトログの設定 イベントログ画面の説明 イベントログの開始 イベントログの開始 レ書きモードの選択	289 290 294 294 294 297 297 298 300 303 303 304 308 308 308 309 311
15.9.6 16. $\mathcal{AF} - \mathcal{A}$ 16.1 \mathcal{AF} 16.2 \mathbb{IF} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5 \mathcal{F} - 16.5 1	エラーのリセット タス表示 ラータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定 1	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 304 308 308 308 309 311 311
15.9.6 16. $7 = -2$ 16.1 $7 = -2$ 16.2 $1 = -2$ 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.3 $1 = = = -2$ 16.4 7^{-2} 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5 $= = -$ 16.5.1 16 = 2	エラーのリセット タス表示	289 290 294 294 294 297 297 298 300 303 303 304 308 308 308 308 308 309 311
15.9.6 16. $\mathcal{AF} - \mathcal{A}$ 16.1 \mathcal{AF} 16.2 \mathbb{IF} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5 \mathcal{F} - 16.5.1 16.5.2 16.5 2	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明	289 290 290 294 294 297 298 300 303 303 303 308 308 308 308 309 311 313 313
15.9.6 16. $\overline{\overline{x}}$ 16.1 $\overline{\overline{x}}$ 16.2 \overline{x} 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.2.4 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5 $\overline{\overline{x}}$ 16.5.1 16.5.2 16.5.3 16.5.3 16.5.4	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 303 304 308 308 308 308 308 311 311 313 313 313
15.9.6 16. $7 - 4$ 16.1 $7 - 4$ 16.2 $T = 16$ 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.3 $T = 16$ 16.4 7^{-1} 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5.1 16.5.1 16.5.2 16.5.3 16.5.4 16.5.4 16.5.4	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定1 エラー設定2 エラー設定3 エラー設定4 ラーカウントのクリア バントログの設定 イベントログの開始 イベントログの開始 イベントログの開始 イベントログの開始 ノベントログの開始 データダンプの設定 データダンプ画面の説明 表示形式の選択 表示内容の選択 まっ位置のミャンプ	289 290 290 294 294 297 298 300 303 303 303 308 308 308 308 308 308 308 311 311 313 315 315
15.9.6 16. $\mathcal{A} = -\mathcal{A}$ 16.1 $\mathcal{A} = -\mathcal{A}$ 16.2 $\mathbb{I} = -\mathcal{A}$ 16.2.1 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.3 $\mathbb{I} = -\mathcal{A}$ 16.4 \mathcal{A} 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5 $=$ 16.5.1 16.5.2 16.5.3 16.5.4 16.5.5 15.5	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定1 エラー設定2 エラー設定3 エラー設定4 ラーカウントのクリア ベントログの設定 イベントログの開始 イベントログの開始 イベントログの開始 ジャンプの設定 データダンブの設定 データダンブ画面の説明 表示形式の選択 表示形式の選択 表示化置のジャンプ 回恋フニッゴの選択	289 290 290 294 294 297 298 300 303 303 303 304 308 308 308 308 308 309 311 311 313 315 315
15.9.6 16. $7 = -2$ 16.1 $7 = -2$ 16.2 $T = -2$ 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.2.4 16.3 $T = -2$ 16.4 7^{-2} 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5.1 16.5.1 16.5.2 16.5.3 16.5.4 16.5.5 16.5.6 16.5.6 16.5.6	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明. ラー検出の設定. エラー設定1. エラー設定2. エラー設定3. エラー設定4. ラーカウントのクリア. ジントログの設定. イベントログの開始. イベントログの開始. イベントログの開始. イベントログの間方. ジャログの調査. ジャログの調査. キ書きモードの選択. USB メモリーへの保存. -タダンブの設定. データダンブ画面の説明. 表示モードの選択. 表示形式の選択. 表示内容の選択. 表示内容の選択. 表示内容の選択. フログ内容の発却.	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 303 304 308 308 308 308 308 311 311 311 313 315 316 316
15.9.6 16. $\mathcal{A} = -\mathcal{A}$ 16.1 $\mathcal{A} = -\mathcal{A}$ 16.2 $\mathbb{I} = -\mathcal{A}$ 16.2.1 16.2.1 16.2.2 16.2.3 16.2.4 16.3 $\mathbb{I} = -\mathcal{A}$ 16.4 \mathcal{A} 16.4.1 16.4.2 16.4.3 16.4.3 16.4.4 16.4.5 16.5.1 16.5.2 16.5.3 16.5.4 16.5.5 16.5.6 16.5.7 17.5.7 17.5.	エラーのリセット タス表示 ニータス画面の説明 ラー検出の設定 エラー設定1 エラー設定2 エラー設定3 エラー設定4 ラーカウントのクリア ボントログの設定 イベントログの開始 イベントログの開始 イベントログの間方 上書きモードの選択 USB メモリーへの保存 -タダンブの設定 データダンブ画面の説明 表示モードの選択 表示不可容の選択 表示の図選択 表示の資産のジャンブ 可変入テップの選択 可変内容の選択	289 290 294 294 294 297 298 300 303 303 303 303 303 308 308 308 308 308 308 311 311 311 313 315 315 316 316

16.6 位相	目差測定の設定	
16.6.1	位相差測定画面の説明	
16.7 リッ	ップシンク測定の設定 (SER03)	
16.7.1	測定レンジの選択	
16.7.2	測定画面の更新	
16.7.3	測定範囲の設定	
16.8 アン	ッシラリデータの一覧表示	
16.8.1	アンシラリデータ画面の説明	
16.8.2	アンシラリデータのダンプ表示	
16.8.3	ダンプ表示の更新	
16.8.4	ダンプモードの選択	
16.9 アン	ッシラリパケットの検出	
16.9.1	アンシラリパケット画面の説明	
16.9.2	FDH パケットの表示	
16.9.3		
16.9.4	音声制御パケットの表示	333
1695	U-ANC ARIB 表示	334
1696	マ墓パケットの表示	334
16.9.0	が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	335
1698	デーク放送トリガ信号の表示	338
16.9.0	フーザーデータの表示	220
10.9.9		320
16 9 10		
16.9.10	V-ANC SMPTE 表示	340
16.9.10 16.9.11 16.9.12	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示	
16.9.10 16.9.11 16.9.12	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)フテータフ画面の説明 (SER08)	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ MMI)ステータス画面の説明 (SER08)	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17 アイパ	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09)	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09)	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア-	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パパターン表示画面の説明	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パクーン表示画面の説明	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波用	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) イパターン表示画面の説明 ッター表示画面の説明	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波用 17.4 ア・	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) イパターン表示画面の説明 ッター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 イパターンとジッターの切り換え	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波研 17.4 ア・ 17.5 表示	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パパターン表示画面の説明 ッター表示画面の説明 浅表示位置の設定 パパターンとジッターの切り換え ミリンクの選択	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波开 17.4 ア・ 17.5 表词 17.6 輝雨	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パクーン表示画面の説明 ッター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 パパターンとジッターの切り換え ミリンクの選択 ミとスケールの設定	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 ア・ 17.5 表示 17.6 輝感 17.6 輝感	V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示カスタムサーチ	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波开 17.4 ア・ 17.5 表词 17.6 輝感 17.6.1 17.6.1	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) イパターン表示画面の説明 ジター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 イパターンとジッターの切り換え ミリンクの選択 シアクの選択 シャンクの選択 シャンクの選択 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 ア・ 17.5 表示 17.6 輝厚 17.6.1 17.6.2 17.6.3	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パパターン表示画面の説明 ジ表示位置の設定 パパターンとジッターの切り換え マノの選択 ミとスケールの設定 波形の輝度調整 波形色の選択 スケールの輝度調整 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表司 17.6 輝豚 17.6.1 17.6.1 17.6.3 17.6.3 17.6.3	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パパターン表示画面の説明 シター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 パパターンとジッターの切り換え ミリンクの選択 ミとスケールの設定 波形の輝度調整 波形色の選択 スケールの輝度調整 スケール色の選択 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表词 17.6 輝厚 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 アー	 V-ANC SMPTE 表示	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 ア・ 17.5 表示 17.6 輝厚 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 ア・ 17.7.1	 V-ANC SMPTE 表示	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表词 17.6.1 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 アー 17.7.1 17.7.2	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08). ターン表示 (SER02/SER09) パパターン表示画面の説明 シター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 パパターンとジッターの切り換え マノクの選択 ミとスケールの設定 波形の輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケール色の選択 パパターン表示の設定 倍率の調整 福寧の調整 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 ア・ 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 ア・ 17.5 表示 17.6 輝原 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 ア・ 17.7.1 17.7.2 17.7.3	 V-ANC SMPTE 表示	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパイ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表司 17.6 輝豚 17.6.1 17.6.3 17.6.3 17.6.4 17.7 アー 17.7.1 17.7.1 17.7.3 17.7.3 17.7.4	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) (パターン表示画面の説明 シター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 (パターンとジッターの切り換え マリンクの選択 マレクの選択 マケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールのの輝度調整 スケール色の選択 (パターン表示の設定 倍率の調整 増引時間の選択 フィルターの選択 ハーリルのオンオフ 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表示 17.6 輝咳 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 アー 17.7.1 17.7.2 17.7.3 17.7.4 17.7.5	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パ/ターン表示画面の説明 ッター表示画面の説明 ジター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 パ/ターンとジッターの切り換え ミリンクの選択 ミレンクの選択 夏とスケールの設定 波形の輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールのの選択 イパターン表示の設定 倍率の調整 掃引時間の選択 フィルターの選択 カーソルのオンオフ カーソルの選択 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパイ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表示 17.6 輝豚 17.6.1 17.6.3 17.6.3 17.6.4 17.7 アー 17.7.1 17.7.2 17.7.3 17.7.4 17.7.5 17.7.6	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパ・ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波刑 17.4 アー 17.5 表示 17.6 輝塚 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 アー 17.7.1 17.7.2 17.7.3 17.7.4 17.7.5 17.7.6 17.7.7	 V-ANC SMPTE 表示 AFD パケットの表示 カスタムサーチ NMI)ステータス画面の説明 (SER08) ターン表示 (SER02/SER09) パパターン表示画面の説明 シター表示画面の説明 ジ表示位置の設定 パパターンとジッターの切り換え マリンクの選択 モレンクの選択 マケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールの輝度調整 スケールのの選択 パパターン表示の設定 倍率の調整 掃引時間の選択 フィルターの選択 カーソルの承動 X 軸測定単位の選択 	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパー 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波研 17.5 表示 17.6 輝原 17.6.1 17.6.2 17.6.3 17.6.4 17.7 アー 17.7.1 17.7.2 17.7.3 17.7.4 17.7.5 17.7.6 17.7.7 17.7.8	 V-ANC SMPTE 表示	
16.9.10 16.9.11 16.9.12 16.10 IP(17. アイパイ 17.1 アー 17.2 ジッ 17.3 波研 17.5 表示 17.6 輝原 17.6.1 17.6.3 17.6.4 17.7 17.7.1 17.7.2 17.7.3 17.7.4 17.7.5 17.7.6 17.7.7 17.7.8 17.7.9 17.7.8	 V-ANC SMPTE 表示	

17.7.10	カーソルのリセット	
17.8 ジッ	/ター表示の設定	357
17.8.1	倍率の選択	357
17.8.2	掃引時間の選択	357
17.8.3	フィルターの選択	
17.8.4	カーソルのオンオフ	358
17.8.5	カーソルの選択	359
17.8.6	カーソルの移動	359
17.8.7	X 軸測定単位の選択	359
17.8.8	Y 軸測定単位の選択	359
17.8.9	表示モードの選択	
17.8.10	カーソルのリセット	
17.8.11	ピークホールドのオンオフ	
17.8.12	ピークホールドのクリア	
17.9 I	5-検出の設定	
17.9.1	12G エラー設定	
17.9.2	3G エラー設定	
17.9.3	HD エラー設定	
17.9.4	SD エラー設定	
19. リモー	トコントロール	
19. リモー 20. イーサ [:]	トコントロール	374 379
19. リモー 20. イーサ [:] 20.1 TEI	トコントロールネットコントロール	374 379 379
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1	トコントロール ネットコントロール .NET 使用方法	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法 コマンドの入力方法	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法 コマンドの入力方法 TELNET コマンド	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF	トコントロール ネットコントロール .NET 使用方法 コマンドの入力方法 TELNET コマンド	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTI 20.2.1	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法 コマンドの入力方法 TELNET コマンド 使用方法	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2	トコントロール ネットコントロール .NET 使用方法 コマンドの入力方法 TELNET コマンド 使用方法 コマンドの入力方法	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTI 20.2.1 20.2.2 20.2.3	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法 コマンドの入力方法 TELNET コマンド 使用方法 コマンドの入力方法 FTP コマンド	
19. リモー 20. イーサ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN	トコントロール ネットコントロール .NET	
19. $\forall \forall \forall = -$ 20. $\forall - \forall \forall \forall = -$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTI 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法	
19. $\forall \forall \forall = -$ 20. $\forall - \forall \forall \forall = -$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2	トコントロール ネットコントロール .NET	
19. $\forall \forall \forall = -$ 20. $\forall - \forall \forall \forall = -$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTI 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3	トコントロール ネットコントロール .NET	
19. $\forall \forall \forall = -$ 20. $\forall - \forall \forall \forall = -$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法	
19. $\forall \forall \forall = -$ 20. $\forall - \forall \forall \forall 2$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.5	トコントロール ネットコントロール .NET	
19. $\forall \forall \equiv -$ 20. $\forall - \forall \exists$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.5 20.4 HT	トコントロール ネットコントロール NET	
19. $\forall \forall \equiv -$ 20. $\forall - \forall \exists$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.5 20.4 HT 20.4.1	 トコントロール ネットコントロール NET	
19. $\forall \forall \equiv -$ 20. $\forall - \forall \exists$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.5 20.4 HT 20.4.1 20.4.2	トコントロール ネットコントロール NET	
19. $\forall \forall \equiv -$ 20. $\forall - \forall \exists$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.5 20.4 HT 20.4.1 20.4.1 20.4.2 20.4.3	トコントロール ネットコントロール NET 使用方法 コマンドの入力方法 TELNET コマンド 使用方法 コマンドの入力方法 FTP コマンド MP SMI 定義 使用方法 標準 MIB 拡張 TRAP (Variable Binding List) TP サーバー機能 動作環境 注意事項 使用方法	
19. $\forall \forall \equiv -$ 20. $\forall - \forall \exists$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTI 20.2.1 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.4 20.3.5 20.4 HT 20.4.1 20.4.2 20.4.3 20.5 SN	 トコントロール ネットコントロール NET	
19. $\forall \forall \equiv -$ 20. $\neg - \forall =$ 20.1 TEI 20.1.1 20.1.2 20.1.3 20.2 FTF 20.2.1 20.2.2 20.2.3 20.3 SN 20.3.1 20.3.2 20.3.3 20.3.4 20.3.5 20.4 HT 20.4.1 20.4.1 20.4.2 20.4.3 20.5 SN 20.5.1	トコントロール ネットコントロール	

21. メニ	ニューツリー	
21.1	MULTI メニュー	473
21.2	INPUT メニュー	
21.3	SYS メニュー	
21.4	CAP メニュー	476
21.5	PSET メニュー	
21.6	WFM メニュー	
21.7	VECT メニュー	
21.8	PIC メニュー	
21.9	AUDIO メニュー (SER03)	
21.10	STATUS メニュー	
21.11	EYE メニュー (SER02/SER09)	492
22. ファ	ァームウエアの変更履歴	

■ ご使用になる前に

本製品は、電気的知識(工業高校の電気、電子系の課程卒業程度以上)を有する方が、本取扱説明書の内容を ご理解いただいた上で使用する計測器です。

一般家庭、消費者向けに設計、製造された製品ではありません。 電気的知識のない方が使用する場合には、人身事故および製品に損害を生じるおそれがありますので、必ず 電気的知識を有する方の監督の下でご使用ください。

■ 取扱説明書をご覧になる際の注意

本取扱説明書で説明されている内容は、一部に専門用語も使用されていますので、もし、ご理解できない場合は、ご遠慮なく本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

■ 絵表示および文字表示について

本取扱説明書および製品には、製品を安全に使用する上での、必要な警告および注意事項を示す下記の絵表示と文字表示が使用されています。

<絵表示>	本取扱説明書および製品にこの絵表示が表記されている箇所は、その部分で誤った使 い方をすると、使用者の身体および製品に重大な危険を生じる可能性があるか、また は製品および他の接続機器が意図しない動作となり、運用に支障をきたす可能性があ ることを表します。 この絵表示の部分を使用する際には、必ず本取扱説明書の記載事項を参照してくださ い。
<文字表示>	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が あり、その危険を避けるための警告事項が記載されていることを表します。
<文字表示>	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が軽度の傷害を負うかまたは製品 に損害を生じるおそれがあり、その危険を避けるための注意事項が記載されているこ とを表します。

下記に示す使用上の警告、注意事項は、使用者の身体、生命に対する危険および製品の損傷、劣化などを避ける ためのものです。必ず下記の警告、注意事項を守ってご使用ください。



•	製品のケースおよびパネルに関する警告事項 製品のケースおよびパネルは、いかなる目的があっても使用者は絶対に外さないでください。内部に手 を触れると、感電および火災の危険があります。 また、内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属片などを入れたりしないでください。そのまま 通電すると、火災、感電、故障、事故などの原因となります。
-	設置環境に関する警告事項 ●動作温度範囲について 製品は、0~40℃の温度範囲内でご使用ください。製品の通風孔をふさいだ状態や、周辺の温度が高い状態で使用すると、火災の危険があります。 また、温度差のある部屋への移動など急激な温度変化で、製品内部が結露し、製品破損の原因となる 場合があります。結露のおそれのある場合には、電源を入れずに 30 分程度放置してください。
	●動作湿度範囲について 製品は、85%RH 以下(ただし、結露のないこと)の湿度範囲内でご使用ください。 また、濡れた手で操作しないでください。感電および火災の危険があります。
	●ガス中での使用について 可燃性ガス、爆発性ガスまたは蒸気が発生あるいは貯蔵されている場所、およびその周辺での使用 は、爆発および火災の危険があります。このような環境下では、製品を動作させないでください
	 ●異物を入れないこと 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、水をこぼしたりしないでください。火災、感電、故障、事故などの原因となります。
•	使用中の異常に関する警告事項 使用中に製品から発煙、発火、異臭などの異常が生じたときは、火災の危険がありますので、ただちに 使用を中止してください。本体の電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてく ださい。他への類焼がないことを確認した後、本社またはお近くの営業所までご連絡ください。



■ 電源に関する警告事項

製品に表示された定格電源電圧以外では使用しないでください。火災の危険があります。 電源コードを電源に接続する前に、その電圧を確認してください。 電源周波数は、必ず 50/60Hz でご使用ください。

電源電圧に応じた電源コードをご使用ください。また、ご使用になる国の安全規格に適合した電源コードをご使用ください。

適合した電源コード以外のものを使用すると、火災の危険があります。電源コードが損傷した場合は使用を中止し、本社またはお近くの営業所までご連絡ください。電源コードが損傷したままご使用になると、感電および火災の危険があります。

また、電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

■ 接地に関する警告事項

製品には使用者の感電防止および製品保護のため、接地端子が設けてあります。安全に使用するため に、必ず接地してからご使用ください。

■ パネルに関する警告事項

パネルの表面はガラスのものがあり、破損するとけがをする危険があります。パネルには、強い衝撃を 加えたり表面に鋭利な金属などで傷をつけたりしないでください。

■ 入力、出力端子に関する注意事項

入力端子には、製品を破損しないために本取扱説明書に記載された仕様以外の入力は、供給しないでく ださい。また、出力端子をショートしたり、外部から電力を供給したりしないでください。製品故障の 原因となります。

■ イーサネット端子に関する注意事項

事業者用設備に接続する場合は、ご使用になる国で認定されたハブを介して接続してください。

■ 校正および修理について

製品は、工場出荷時、厳正な品質管理の下で仕様に基づいた性能の確認を実施していますが、部品の経年変 化等により、性能に多少の変化が生じることがあります。製品の性能を安定した状態でお使いいただくた め、定期的な校正をおすすめします。また、動作に不具合等があれば、修理が必要となります。製品校正お よび修理についてのご相談は、お買い上げになりました取扱代理店、本社または各営業所へご連絡くださ い。

■ 日常のお手入れについて

清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 製品のケース、パネル、つまみの汚れを清掃する場合は、シンナーやベンジンなどの溶剤は避けてください。塗装がはがれたり、樹脂面が侵されたりすることがあります。ケース、パネル、つまみ等を拭くときは、中性洗剤を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ってください。また、清掃のときは、製品の中に水、洗剤、その他の異物が入らないようにご注意ください。製品の中に液体、金属などが入ると、感電および火災の原因となります。

■ 欧州の WEEE 指令によるマークについて



本製品および付属品は、欧州の WEEE 指令の対象品です。 本製品および付属品を廃棄するときは、各国、各地域の法規制に従って処理してください。また、本製品から取り外した電池は、EU 電池指令に従って処理してください。 (WEEE 指令:廃電気電子機器指令,Waste Electrical and Electronic Equipment)

以上の警告、注意事項を順守し、正しく安全にご使用ください。また、取扱説明書には個々の項目でも注意事項 が記載されていますので、それらの注意事項を順守し、正しくご使用ください。

取扱説明書の内容でご不審な点、またはお気付きの点がありましたら、本社またはお近くの営業所までご連絡い ただきますよう、併せてお願いいたします。

1. はじめに

このたびは、リーダー電子株式会社の計測器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。 製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本取扱説明書を最後までお読みいただき、製品の正しい使 い方をご理解の上、ご使用ください。

本取扱説明書をご覧になっても使い方がよくわからない場合は、取扱説明書の裏表紙に記載されている本 社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

本取扱説明書をお読みになった後は、いつでも必要なとき、ご覧になれるように保管してください。

1.1 保証範囲

この製品は、リーダー電子株式会社の厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な 使用状態で発生する故障について、お買い上げの日から1年間無償で修理をいたします。お買い上げ 明細書(納品書、領収書など)は、保証書の代わりになりますので、大切に保管してください。

保証期間内でも、次の場合には有償で修理させていただきます。

- 1. 火災、天災、異常電圧などによる故障、損傷。
- 2. 不当な修理、調整、改造された場合。
- 3. 取り扱いが不適当なために生じる故障、損傷。
- 4. 故障が本製品以外の原因による場合。
- 5. お買い上げ明細書類のご提示がない場合。

この保証は日本国内で使用される場合に限り有効です。 This Warranty is valid only in Japan.

1.2 使用上の注意

1.2.1 入力端子の最大許容電圧について

入力端子に加える信号電圧には、次のような制限があります。 制限を超える電圧を加えると、故障や損傷する場合がありますので、この値以上の電圧を加えない でください。

表 1-1 入力端子の最大許容電圧

	入力端子	最大許容電圧
本体	EXT REF	±5V (DC+ピーク AC)
本体	REMOTE	0∼+5V
SER01	SDI INPUT	±2V (DC+ピーク AC)
SER02 SDI INPUT (1A~1D)		0~+12V (DC)、±1V (AC)
	SDI INPUT (2A~2D)	±2V (DC+ピーク AC)
SER03	DIGITAL AUDIO INPUT	±5V (DC+ピーク AC)
SER06	12G-SDI INPUT (1A~1D)	±2V (DC+ピーク AC)
	3G-SDI INPUT (2A~2D)	
SER08	12G-SDI INPUT (1A~1D)	±2V (DC+ピーク AC)
	3G-SDI INPUT (2A~2D)	

1.2.2 衝撃について

本器は精密な部品を使用していますので、落下などの強い衝撃が加えられた場合、故障の原因となることがあります。

1.2.3 静電気破壊について

電子部品は、静電気放電によって故障、損傷するおそれがあります。同軸ケーブルの芯線には、静 電気が帯電している可能性があります。両端とも接続されていない同軸ケーブルを本器の入出力端 子に接続する際は、一度、同軸ケーブルの芯線と外部導体をショートさせてください。

1.2.4 予熱について

より正確な動作を確保するため、使用の 30 分くらい前に電源を入れ、内部温度を安定させてください。

1.2.5 スタンバイについて

本器は、電源スイッチを切っても、電源コードがコンセントに接続されている状態ではスタンバイ 状態となります。スタンバイ状態では一部の内部回路が動作し、発熱することがあります。必要の ないときは、電源コードをコンセントから外すようにしてください。

1.2.6 バックアップについて

本器はラストメモリー機能を備え、電源を入れたときは前回電源を切ったときのパネル設定で起動 します。バックアップ電池が切れた場合は、メッセージ「The last memory feature is disabled.」 が表示され、ラストメモリー機能が動作しなくなります。

ラストメモリー機能を継続的に使用するために、ご購入後5年ごとにバックアップ電池を交換され ることを推奨します。なお、バックアップ電池の交換は、お客様自身でできません。本社またはお 近くの営業所までお問い合わせください。

1.2.7 液晶パネルについて

液晶パネルの一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。

液晶パネルは多くのビデオ信号に対応するため、入力 SDI 信号に対して非同期で液晶表示していま す。このため、波形表示やピクチャー表示でちらついて見えることがあります。 また、入力 SDI 信号は一度フレームメモリーに蓄積され、入力 SDI 信号とは同期関係のない液晶表 示同期信号で読み出しています。このため、フレームメモリーを読み飛ばすフレームスキップや、 フレームメモリーを 2 度読みするフレームリピートが起こり、ちらついて見えることがあります。 (外部同期信号を使用することによって、入力信号に同期した液晶表示もできます)

1.3 商標・ライセンスについて

記載されている会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 1.4 本書で使用する用語について
 - SER**

LV 5490SER**を SER**と呼んでいます。

1入力モード

INPUT メニューの $F \bullet 7$ DISPLAY を SINGLE にしたときの状態をいいます。 1 つの入力信号を測定するモードです。

•サイマルモード

INPUT メニューの F•7 DISPLAY を SIMUL にしたときの状態をいいます。 複数の入力信号を同時に測定するモードです。

•マルチ表示

MULTI キーをオンにしたときの状態をいいます。

•アンダーバー(_)について

選択肢のなかでアンダーバーが付いている項目は、初期値を表します。

入力フォーマットとリンクシステムについて

入力フォーマットとリンクシステムに、以下の名称を使用しています。 デュアルリンクとクワッドリンクの総称として、マルチリンクと呼ぶこともあります。

表 1-2 入力フォーマットとリンクシステム

名称	説明	リンクシステム
SD	SD-SDI	シングルリンク
HD	HD-SDI	シングルリンク
3G-A	3G-SDI レベルA	シングルリンク
3G-B-DL	3G-SDI レベル B デュアルリンクマッピング	シングルリンク
3G-B-DS	3G-SDI レベル B デュアルストリームマッピング	シングルリンク
12G	12G-SDI TYPE 1	シングルリンク
HD(DL)	HD-SDI デュアルリンク	デュアルリンク
3G(DL)-2K	3G-A、3G-B-DL デュアルリンク	デュアルリンク
	解像度 1920(2048)×1080	
3G(DL)-4K	3G-B-DS デュアルリンク	デュアルリンク
	解像度 3840(4096)×2160	
HD(QL)	HD-SDI クワッドリンク	クワッドリンク
3G(QL)	3G-A、3G-B-DL クワッドリンク	クワッドリンク
3G	3G の総称	-
3G-B	3G-B-DL、3G-B-DS の総称	-
3G(DL)	3G(DL)-2K、3G(DL)-4K の総称	-
4K	HD(QL)、3G(DL)-4K、3G(QL)、12G の総称	-

1.5 LV 5480 について

本書は LV 5490 について説明したものです。 LV 5480 をお使いの方は、以下に示す LV 5490 との比較を参考にし、LV 5480 に読み換えて本書を お読みください。

表 1-3 LV 5490 とLV 5480 の比較

項目	LV 5490	LV 5480
対応ユニット	LV 5490SER01	LV 5490SER01
	LV 5490SER02	LV 5490SER02
	LV 5490SER03	LV 5490SER03
	LV 5490SER06	LV 5490SER06 (*1)
	LV 5490SER08	LV 5490SER08 (*1)
対応オプション	LV 5490SER04	LV 5490SER04
	LV 5490SER05	LV 5490SER05
	LV 5490SER07	LV 5490SER07
	LV 5490SER09 (*2)	LV 5490SER09 (*2)
	LV 5490SER10	LV 5490SER10
		LV 5480SER20
		LV 5480SER21
4K 機能	標準対応	LV 5480SER20 で対応 (*3)
信号発生機能	標準対応	LV 5480SER21 で対応 (*4)
USB 保存先フォルダ名	LV5490_USER	LV5480_USER
TELNET ログイン名、パスワード	LV5490	LV5480
FTP ログイン名、パスワード	LV5490	LV5480
SNMP MIB ファイル名	lv5490.my	lv5490.my (*5)

*1 LV 5490SER06 または LV 5490SER08 を実装するには、LV 5480SER20 がインストールされていることが必要で す。

- *2 LV 5490SER09 をインストールするには、LV 5490SER06 が実装されていることが必要です。
- *3 LV 5480SER20 をインストールすると、SDI IN タブの SDI System で、4K 3G Quad Link、4K 3G Dual Link、 4K HD Quad Link が選択できるようになります。
- *4 LV 5480SER21 をインストールすると、SDI OUT タブの Mode で、Test Signal が選択できるようになります。
- *5 MIB ファイルは LV 5490 と共通ですが、SNMP マネージャでは「LV5480」と認識されます。そのほか、SNMP 機能については、LV 5490 と同等です。

2. 製品構成

2.1 ラインナップ

LV 5490 MULTI WAVEFORM MONITOR LCD 一体型マルチウェーブフォームモニター

2.2 ユニットについて

本器は、ユニットを実装してはじめて測定器として動作します。 ユニットの交換や追加をしたいときは、本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。お客様 自身でユニットの取り付けや取り外しはできません。

表 2-1 ユニットの種類

ユニット	名称	おもな機能
LV 5490SER01	SDI INPUT	SDI 信号の測定
LV 5490SER02	SDI INPUT / EYE	SDI 信号の測定、アイパターン表示
LV 5490SER03	DIGITAL AUDIO	エンベデッドオーディオ信号の測定
		外部オーディオ信号の測定
		Dolby 信号測定 (オプション)
LV 5490SER06	12G-SDI INPUT	12G SDI 信号の測定
LV 5490SER08	IP(NMI)	IP(NMI)、12G SDI 信号の測定

* 本器は、LV 5490SER01、LV 5490SER02、LV 5490SER06、LV 5490SER08 のいずれかを実装する必要があります。

これらのユニットを同時に実装することはできません。

2.3 オプションについて

本器には、以下のオプション(別売)をインストールできます。

オプションを入手したいときは、インストールする本体の MAC アドレス(LICENSE タブ参照)とシリアル番号(背面パネル参照)を、本社またはお近くの営業所までお知らせください。ライセンスキーを発行します。

ライセンスキーが発行されたら、「7.4 オプションのインストール」を参照してインストールしてく ださい。ライセンスキーは本体1台につき1つとなり、複数の本体に同じライセンスキーを入力する ことはできません。

表 2-2 オプションの種類

オプション	名称	おもな機能
LV 5490SER04	FOCUS ASSIST	フォーカス合わせのアシスト
LV 5490SER05	CIE DIAGRAM	CIE 色度図の表示
LV 5490SER07	HDR	HDR 信号の測定
LV 5490SER09	12G-SDI EYE	12G SDI 信号のアイパターン表示

3. 仕様

3.1 概要

本器は 4K 映像フォーマットに対応し、12G-SDI 信号は切り換えで 4 入力、3G-SDI までの信号は同時に 4 入力、切り換えで最大 8 入力まで表示可能なマルチ波形モニターです。4K 映像フォーマットは、12G-SDI のシングルリンク、3G-SDI のデュアルリンクおよびクワッドリンク、HD-SDI のクワッドリンク、IP(NMI)に対応しています。

表示器は、9 インチサイズのフル HD 解像度をもった LCD を採用しているため、高品位ピクチャーモニターとしてもお使いいただけます。また、SDI 出力端子および DVI-D 出力端子を備え、本体画面表示を外部フル HD モニターに出力できます。

表示画面は、マウスによる操作で自由なサイズや位置にレイアウト可能なフリーレイアウト技術を新た に採用し、使用するシーンに応じて様々なカスタマイズができます。

本器には以下のユニット、およびオプションを用意していますので、用途に応じて組み合わせてご使用いただけます。

LV 5490SER01 (SDI INPUT):	SDI 入力 (*1)
LV 5490SER02 (SDI INPUT / EYE):	アイパターン付き SDI 入力 (*1)
LV 5490SER03 (DIGITAL AUDIO):	デジタルオーディオ入出力
LV 5490SER06 (12G-SDI INPUT):	12G SDI 入力(*1)
LV 5490SER08 IP(NMI):	IP(NMI)入力 (*1)
LV 5490SER04 (FOCUS ASSIST):	フォーカスアシスト
LV 5490SER05 (CIE DIAGRAM):	CIE 色度図
LV 5490SER07 (HDR):	ハイダイナミックレンジ
LV 5490SER09 (12G-SDI EYE):	12G SDI アイパターン (*2)
IV 5490SER10 (VIDEO NOISE METER):	ビデオノイズメーター

*1 本器は、LV 5490SER01、LV 5490SER02、LV 5490SER06、LV 5490SER08 のいずれかを実装する必要があります。

これらのユニットを同時に実装することはできません。

*2 LV 5490SER09 をインストールするには、LV 5490SER06 が実装されていることが必要です。

3.2 特長

●4K 映像フォーマット

12Gのシングルリンク、3Gのデュアルリンクおよびクワッドリンク、HDのクワッドリンクによる 4K映像フォーマット(4096×2160、3840×2160)のビデオ信号に対応しています。

12G シングルリンクまたは 3G デュアルリンクの 4K 映像を入力した場合、最大 4 系統を切り換え て表示できます。

3G クワッドリンクまたは HD クワッドリンクの 4K 映像を入力した場合、最大 2 系統を切り換えて 表示できます。

また、IP(NMI)は4K映像フォーマット(3840×2160)のビデオ信号に対応しています。IP(NMI)は4K映像を入力した場合、1系統のみの表示になります。

●フル HD の液晶表示器

視野角、色再現性に優れた9インチフル HD の液晶表示器を採用しているため、高品位な HD ピク チャーモニターとしても使用できます。 ●フリーレイアウト

入力 SDI 信号のビデオ信号波形、ベクトル波形、ピクチャーなどを同時に表示することはもちろん、複数の入力信号を同時に表示したり、重ねて比較表示したりすることもできます。また、測定 画面はお好みのサイズで自由な位置にレイアウトできます。 これらのレイアウトは、マウスで簡単に作成できます。

●最大8入力と4入力同時表示

3G、HD、SD に対応した 4 つの SDI 入力端子を備え、最大 4 入力の SDI 信号を同時に表示できま す。さらに 4 つの SDI 入出力端子(*1)も備え、これらを入力端子として使用することで、最大 8 入 力の SDI 信号に対応できます。

- *1 入出力端子では、SD 信号の受信可能なケーブル長が、5C2V ケーブルで 100m となります。 「5.7.1 SDI 信号の入出力」を参照してください。
- ●12G-SDI 最大 4 入力とリクロック出力 (SER06/SER08)

12G に対応した 4 つの SDI 入力端子を備え、そのうち一つの入力信号を切り換えて表示できます。 また、表示している 12G-SDI 信号のリクロック出力にも対応しています。

●等価線長計測定 (SER01/SER02)

4 つの SDI 入力端子には、等価線長計測定機能を備えています。SDI 信号の減衰量を同軸ケーブルの長さに換算した数値で表示するため、システムの余裕度が確認できます。

●パターンジェネレーター機能とリクロック出力

4 つの SDI 入出力端子は、出力端子として使用することで、SDI 入力端子に入力した SDI 信号のリ クロック出力として使用できます。さらにパターンジェネレーターとしても機能し、エンベデッド オーディオを重畳したカラーバーなどのパターンが出力できます。パターン出力では、SDI の出力 位相を個別に±0.5 ライン、または±1/2 フレーム可変できるため、システムの位相マージンをチェ ックできます。

●外部モニター出力と SDI ルーター機能

測定画面をモニター出力端子から SDI および DVI-D として出力できるため、フル HD の解像度で外部の LCD モニターに表示できます。さらに SDI 入力端子または SDI 入出力端子に入力している SDI 信号のうち、選択された信号をリクロック出力することもできるため、ルーター機能としても使用できます。(12G-SDI を除く)

●USB マウス操作

USB マウスを使用して、パネル操作ができます。測定画面を SDI や DVI-D で外部モニターに表示 した場合に、外部モニターを見ながら USB マウスで本器を操作できます。

● SDI 信号の解析

ステータス表示では、SDI 信号の伝送エラー検出をはじめエンベデッドオーディオ信号、アンシラ リデータ、映像データに関するさまざまなエラーを検出できます。また、イベントログ、データダ ンプ、位相差測定機能、リップシンク測定(SER03)も備え、SDI 信号の解析ができます。

●スクリーンキャプチャー

表示画面を静止画データとして取り込むスクリーンキャプチャー機能を備えています。取り込んだ データは、本体での表示はもちろん、入力信号との比較や USB メモリーに BMP 形式で保存するこ とによって PC での確認もできます。 ●フレームキャプチャー

SDI 信号 1 フレーム分を取り込むフレームキャプチャー機能を備えています。手動で取り込む方法 と、エラー発生時に自動で取り込む方法があります。

●タイムコード表示

SDI 信号に重畳されている LTC または VITC や、SD の D-VITC を表示できます。 タイムコードはイベントログのタイムスタンプとしても使用できます。

●外部リモート端子

プリセットの呼び出しや入力信号の切り換え、アラームの出力ができます。

●イーサネット端子

PC に接続することで、TELNET によるリモートコントロール、FTP によるファイル転送、SNMP に よるリモートコントロールとエラー検出、HTTP による本器のコントロールができます。また、別売 の LV 5490-01(REMOTE CONTROLLER)にも接続できます。

アイパターン表示 (SER02/SER09)

SDI 信号のアイパターン波形やジッター波形、各パラメーターの測定結果を表示できます。4 つの SDI 入力端子に入力された SDI 信号を切り換えて、1 入力ごとに表示できます。

●エンベデッドオーディオ表示 (SER03)

SDI 信号のエンベデッドオーディオを分離して、リサージュ、サラウンド、メーターを表示できま す。また、各種解析表示もできます。これらは、1 つの SDI 信号から 16ch、または 4 つの SDI 信 号から 4ch ずつ、同時に表示できます。

●デジタルオーディオ入出力 (SER03)

8 つのデジタル入出力端子を備え、4 端子 8ch ずつ入力と出力を切り換えられます。 入力として使用した場合、デジタルオーディオのリサージュ、サラウンド、メーターを表示できま す。また、各種解析表示もできます。 出力として使用した場合、SDI 信号のエンベデッドオーディオを分離して、デジタルオーディオと して出力できます。

●Dolby オプション (SER03)

Dolby オプションを追加することによって、エンベデッドオーディオやデジタルオーディオ信号中の Dolby 音声信号をデコードして表示できます。 Dolby E、Dolby Digital、Dolby Digital Plus に対応しています。

●フォーカスアシスト (SER04)

非線形超解像技術を応用した新しいフォーカス検出アルゴリズムを開発し、従来、検出の難しかった低コントラストの映像でも、感度良くフォーカスを検出できます。なお、感度は映像シーンに合わせて、5段階から選択できます。

●CIE 色度図 (SER05)

ITU-R BT.601、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020 のカラリメトリに対応した色度図表示ができます。表示モードは、CIE 1931(xy 表示)と CIE 1976(u'v'表示)に対応しています。

•HDR (SER07)

シネゾーン表示では、SDR 領域をモノクロ、HDR 領域を明るさに応じた色で表示することで、 HDR 領域の輝度分布を容易に確認できます。また、明るさのピーク値や平均値を表示することで、 グレーディングの時間を短縮できます。

ビデオ信号波形表示やヒストグラム表示では、HDRの規格に応じたスケールを表示することで、シ ーンリニア時の明るさで映像を管理できます。

●IP(NMI)入力 (SER08)

IP の入力は Networked Media Interface (NMI) に対応しているため、低遅延で 4K (圧縮)、HD (圧縮・非圧縮)のビデオ信号を表示できます。

HD を入力している場合は最大4入力のビデオ信号を同時に表示できます。また、IP と SDI の同時 表示が可能です。

●ビデオノイズメーター (SER10)

本器に入力された SDI 信号の Y、G、B、R のいずれかの信号に含まれるノイズを測定することができます。

●RS-422/485 端子 (特注対応)

シリアル通信によって、カメラの ID が表示できます。

●リモートコントローラ (LV 5490-01、別売)

LV 5490 と同様のキーを持ち、イーサネット接続することで、パネル操作をリモートコントロール できます。(LV 5490-01 の使用中、TELNET は使用できません)

3.3 規格

3.3.1 SDI フォーマットと規格

表 3-1 SD ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フィールド周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	720×487	59.94/I	SMPTE ST 259
		720×576	50/I	

表 3-2 HD ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 292-1
				SMPTE ST 296
		1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 292-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	

表 3-3 3G-A ビデオ信号フォーマットと規	格
--------------------------	---

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-1
			48/47.95/P	-
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 2048-2
YC _B C _R 4:4:4	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 296
				SMPTE ST 425-1
		1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 2048-2
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 2048-2
RGB 4:4:4	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 296
				SMPTE ST 425-1
		1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 2048-2
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 2048-2
XYZ 4:4:4	12bit	2048×1080	30/25/24/P	SMPTE ST 425-1
			30/25/24/PsF	SMPTE ST 428

表 3-4 3G-B-DL、HD(DL)ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 372
				SMPTE ST 425-1
			48/47.95/P	-
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 372
				SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
YC _B C _R 4:4:4	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
RGB 4:4:4	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 372
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
XYZ 4:4:4	12bit	2048×1080	30/25/24/P	SMPTE ST 372
			30/25/24/PsF	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 428

* HD(DL)のリンク間の位相差は、100 クロック(約 1.34µs)まで自動的に補正して表示します。

表 3-5 3G-B-DS ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
		1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 296
				SMPTE ST 425-1

表 3-6 3G(DL)-2K ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	12bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-3
			48/47.95/P	-
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2048-2
				SMPTE ST 425-3
YC_BC_R 4:4:4	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-3
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2048-2
				SMPTE ST 425-3
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-3
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2048-2
				SMPTE ST 425-3
RGB 4:4:4	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-3
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2048-2
				SMPTE ST 425-3
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-3
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2048-2
				SMPTE ST 425-3

* リンク間の位相差は、100 クロック(約 0.67µs)まで自動的に補正して表示します。

* リンクは 3G-A、3G-B-DL に対応しています。

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
スクエア	YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-3
					SMPTE ST 2036-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-3
					SMPTE ST 2048-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
2 サンプル	YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-3
インターリーブ					SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-3
					SMPTE ST 2048-1

表 3-7 3G(DL)-4K ビデオ信号フォーマットと規格

* リンク間の位相差は、100 クロック(約 0.67µs)まで自動的に補正して表示します。

* リンクは 3G-B-DS に対応しています。

表 3-8 HD(QL)ビデオ信号フォーマットと規格

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
スクエア	YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	-
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	-
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-

* リンク間の位相差は、100 クロック(約 0.67µs)まで自動的に補正して表示します。

表 3-9	3G(QL)ビデオ信号フォーマットと規格
-------	----------------------

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
スクエア	YC _P C _P 4:2:2	10bit	3840×2160	60/59.94/50/P	SMPTE ST 425-5
, ., <u> </u>			001002100		SMPTE ST 2036-1
				48/47.95/P	-
			4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
	YC_BC_R 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
	RGB 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
				30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
		4.21.11	4000.0100	30/29.9//25/24/23.98/PsF	
	XYZ 4:4:4	12DIt	4096×2160	3U/25/24/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 428
				30/25/24/PSF	-

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
2 サンプル	YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840×2160	60/59.94/50/P	SMPTE ST 425-5
インターリーブ					SMPTE ST 2036-1
				48/47.95/P	-
			4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
	YC_BC_R 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
	RGB 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 2048-1
	XYZ 4:4:4	12bit	4096×2160	30/25/24/P	SMPTE ST 425-5
					SMPTE ST 428

* リンク間の位相差は、100 クロック(約 0.67µs)まで自動的に補正して表示します。

* リンクは 3G-A、3G-B-DL に対応しています。

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
2 サンプル	YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840×2160	60/59.94/50/P	SMPTE ST 2036-1
インターリーブ					SMPTE ST 2082-10
				48/47.95/P (SER08のみ)	-
			4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
	YC_BC_R 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
	RGB 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
					SMPTE ST 2082-10

表 3-10 12G ビデオ信号フォーマットと規格 (SER06/SER08)

* 12G-SDIの TYPE 1 に対応しています。

3.3.2 IP(NMI)入力信号対応フォーマット (SER08)

表 2-11 IP(NMI)入力信号フォーマット

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920x1080	59.94/50/I
YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840x2160	59.94/50/P

* IP 伝送の入力方式は NMI に対応しています。

* 対応する IP 制御システムは IP Live System Manager になります。

3.3.3 エンベデッドオーディオ再生方式 (SER03)

対応規格	
3G、HD、HD(DL)	SMPTE ST 299
SD	SMPTE ST 272
フォーマット	L-PCM / Dolby-E(オプション) / Dolby Digital(オプション) /
	Dolby Digital Plus(オプション)
サンプリング周波数	48kHz
量子化精度	24bit
クロック生成方式	ビデオクロックより生成
同期関係	ビデオクロックに同期していること
	SDI 信号がすべて同期していること
分離チャンネル	任意の SDI 入力から、最大 4 グループ 16ch を分離

3.3.4 SDI 入出力端子

SDI 入力端子	
入力端子	BNC コネクター
入力端子数	4 (1A、1B、1C、1D)
入力インピーダンス	75Ω
入力リターンロス	
5MHz \sim 1.485GHz	15dB以上
1.485~2.97GHz	10dB以上
最大入力電圧	
SER01/SER06/SER08	±2V (DC+ピーク AC)
SER02	$0 \sim +12V(DC), \pm 1V(AC)$
SDI 入出力端子	
入出力端子	BNC コネクター
入出力端子数	4 (2A、2B、2C、2D)
入出カインピーダンス	75Ω
入出カリターンロス	
5MHz \sim 1.485GHz	15dB以上
1.485~2.97GHz	10dB以上
最大入力電圧	±2V (DC+ピーク AC)
出力電圧	800mVp-p±10%(75Ω 終端時)
出力信号	SDI 入力のリクロック信号、パターンジェネレーター
12G-SDI 出力端子(SER06/SER	208)

12G-SDI 出刀端于	(SERU6/SERU8)
出力端子	BNC コネクタ

BNCコイクター
1
75Ω
15dB以上
10dB 以上
800mVp-p±10% (75Ω 終端時)
1A~1D に入力した SDI 信号のリクロック信号

入力系統の選択 (*1)

入出力端子が入力設定のとき

	14 18 10 10の4 気焼 またけ
50/HD/3G-A/3G-B-DL	IA、ID、IC、IDの4米和、よとは
	2A、2B、2C、2D の 4 系統
3G-B-DS	1A、1B、1C、1D から選択した 1 系統、または
	2A、2B、2C、2D から選択した 1 系統
HD(DL)、3G(DL)-2K	(1A、1B)、(1C、1D)の 2 系統、または
	(2A、2B)、(2C、2D)の 2 系統
3G(DL)-4K	(1A、1B)、(1C、1D)から選択した 1 系統、または
	(2A、2B)、(2C、2D)から選択した 1 系統
3G(QL)、HD(QL)	(1A、1B、1C、1D)、(2A、2B、2C、2D)から選択した1系統
12G(SER06/SER08)	1A、1B、1C、1D から選択した 1 系統
入出力端子が出力設定のとき	
SD/HD/3G-A/3G-B-DI	1A、1B、1C、1Dの4系統
3G-B-DS、12G(SFR06/SF	R08)
	14 18 10 10から選択した1 系統
	IA、ID、IC、ID かり送入した I 示肌
HD(DL)、3G(DL)-2K	(1A、1B)、(1C、1D)の 2 系統
3G(DL)-4K	(1A、1B)、(1C、1D)から選択した 1 系統
3G(QL)、HD(QL)	(1A、1B、1C、1D)の1 系統

- *1 ()内はマルチリンクの組み合わせを示しています。

3.3.5 IP(NMI)入力端子 (SER08)

入力端子(SFP+)	DLC / DLC コネクター
端子数	2
対応規格	10GBASE-SR
ファイバ種別	マルチモード
光ファイバ径	50µm
波長	850nm

※ SFP+トランシーバーモジュールは付属品です。

3.3.6 外部同期入力端子

入力端子	BNC コネクター
入力端子数	1 系統 2 端子
入力インピーダンス	15kΩ パッシブループスルー
入力リターンロス	30dB 以上 (50kHz~30MHz、75Ω 終端時)
最大入力電圧	±5V (DC+ピーク AC)
入力信号	3 値同期信号または NTSC/PAL ブラックバースト信号

- * 外部同期信号を使用した波形表示の表示位置や、位相差表示の測定位相は、外部同期信号または SDI 信号の抜き 差しや電源のオンオフで、±1 クロック変動します。
- * 以下のフォーマットでは、外部同期信号を使用した波形表示ができません。
 ・3Gの720/30P、720/29.97P、720/25P、720/24P、720/23.98P
 - HD(DL)の 1080/60P、 1080/59.94P、 1080/50P
 - 3G(DL)、 3G(QL)、 HD(QL)、 12G(SER06/SER08)
 - ・フレーム周波数 48P、47.95P
- * 以下のフォーマットでは、外部同期信号を使用した位相差表示ができません。
 ・3Gの720/30P、720/29.97P、720/25P、720/24P、720/23.98P
 ・フレーム周波数 48P、47.95P

3.3.7 オーディオ入出力端子 (SER03)

デジタルオーディオ入出力端子

入出力端子	BNC コネクター
入出力端子数	
グループ A	4 端子 8ch
グループ B	4 端子 8ch
入出カインピーダンス	75Ω
最大入力電圧	±5V (DC+ピーク AC)
出力電圧	1.0Vp-p±10% (75Ω 終端時)
入出力の切り換え	グループ(4 端子 8ch)ごとに切り換え
対応規格	AES-3id
対応フォーマット	L-PCM / Dolby-E(オプション) / Dolby Digital(オプション) /
	Dolby Digital Plus(オプション)
サンプリング周波数	48kHz
出力信号	画面表示されているオーディオ信号
	(Dolby 信号はデコードして出力)
ヘッドホン出力端子	
出力端子	ミニジャック1端子 (ステレオ)
出力信号	画面表示されているオーディオ信号のうち、任意の 2ch
	(ダウンミックスした Lt、Rt も可)
サンプリング周波数	48kHz
音量調整	メニューで調整
出力電力	100mW max. (負荷抵抗 8Ω 時)
3.3.8 モニター出力端子

SDI 出力端子	
出力端子	BNC コネクター
出力端子数	1
出カインピーダンス	75Ω
出カリターンロス	
5MHz \sim 1.485GHz	15dB以上
1.485~2.97GHz	10dB以上
出力電圧	800mVp-p±10% (75Ω終端時)
出力信号	液晶表示画面を HD、3G-A、3G-B-DL で出力
出力フォーマット	

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			60/59.94/50/P	

	同期関係	液晶表示器のリフレッシュレートに同期 (フリーランまたは外部同期信号(*1)に周波数同期)
	ルーター機能	入力端子 1A~1D または入出力端子 2A~2D に入力された SDI 信号を選択して出力 (12G を除く)
[DVI-D 出力端子	
	出力端子	DVI-D 端子
	出力端子数	1
	信号形式	Single Link T.M.D.S
	DDC 機能	非対応
	HOT PLUG 検出機能	非対応
	出力信号	液晶表示画面を出力
	イメージ	1920×1080
	フレーム周波数	60P、59.94P、50P
	同期関係	液晶表示器のリフレッシュレートに同期
		(フリーランまたは外部同期信号(*1)に周波数同期)

*1 フレーム(フィールド)周波数が 24Hz または 23.98Hz のときは対応していません。

3.3.9	制御端子
5.5.5	

USB 端子	
端子形状	標準 A
端子数	2 (前面、背面各 1)
規格	USB 2.0
対応デバイス	USB メモリー、USB マウス
USB メモリー機能	キャプチャーデータ、プリセットデータ、イベントログ、データ
	ダンプの保存
USB マウス機能	画面操作
イーサネット端子(*1)	
対応規格	IEEE802.3
対応プロトコル	TELNET、FTP、SNMP、HTTP、SNTP
入出力端子	RJ-45
機能	外部 PC または LV 5490-01 による遠隔操作
種類	10Base-T / 100Base-TX
リモート端子	
端子形状	D サブ 15 ピン (メス)
嵌合固定ねじ	インチねじ (No.4-40UNC)
端子数	1
制御信号	LV-TTL レベル (LOW アクティブ)
入力電圧範囲	DC 0~5V
	入力はすべて+3.3V にプルアップ (+5V でも制御可能)
機能	プリセットの呼び出し、入力信号の切り換え、アラーム出力
アラーム出力	フォーマットアラーム発生時、各種エラー発生時、ファン異常
	時、内部温度異常時にアラーム出力
RS-422/485 端子	特注対応

*1 TELNET と LV 5490-01 は同時に使用できません。

3.3.10 フロントパネル

表示器	
液晶表示器タイプ	9 型 TFT カラー液晶
解像度	1920×1080P
リフレッシュレート	60Hz、59.94Hz、50Hz
	(フリーランまたは外部同期信号(*1)に周波数同期)
バックライト明るさ	32 段階
≠—LED	すべてのキーを薄く点灯
	選択しているキーは明るく点灯
電源スイッチ	電子スイッチのオンオフの状態を記憶
ラストメモリー機能	パネル設定をメモリーにバックアップ
キーロック機能	本体の誤操作を防止

*1 液晶表示器のリフレッシュレートは、外部同期信号のフレームレートに応じて、自動で切り換わります。

外部同期信号のフレームレート	液晶表示器のリフレッシュレート
23.98Hz	フリーラン
24Hz	フリーラン
25Hz	50Hz
29.97Hz	59.94Hz
30Hz	60Hz

3.3.11 スクリーンキャプチャー

機能	表示画面の取り込み
表示	取り込んだ画像のみ表示、または入力信号と重ねて表示
メディア	内蔵メモリー(RAM)、USB メモリー
	内蔵メモリーには画面1枚分のみ記録
データ出力	USB メモリーにビットマップ形式、および本体に呼び出し可能な
	ファイル形式で保存
データ入力	USB メモリーに保存したデータを呼び出して表示

3.3.12 フレームキャプチャー

機能	フレームデータの取り込み
表示	取り込んだフレームデータのみ表示、または入力信号と重ねて表
	示
メディア	内蔵メモリー(RAM)、USB メモリー
	内蔵メモリーには各入力系統1フレームのみ記録
データ出力	USB メモリーに DPX 形式、TIF 形式、本体に呼び出し可能なファ
	イル形式で保存
データ入力	USB メモリーに保存したデータを呼び出して表示 (*1)
取り込みタイミング	手動 / 自動 (エラーキャプチャー)
エラーキャプチャー	エラーが発生した時点のフレームデータを自動で取り込み

*1 フレームデータと同一フォーマットの入力信号が必要です。

3.3.13 パターンジェネレーター

表 3-11 HD ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 292-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	

表 3-12 3G-A、3G-B-DL ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 274
				SMPTE ST 425-1
			48/47.95/P	-
		2048×1080	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 425-1
				SMPTE ST 2048-2
YC_BC_R 4:4:4	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
RGB 4:4:4			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
		2048×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 2048-2

表 3-13 3G(DL)-4K ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-3
				SMPTE ST 2036-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
		4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-3
				SMPTE ST 2048-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	-

* 分割伝送方式は、スクエアと2サンプルインターリーブに対応しています。

表 3-14 3G(QL)ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
YC _B C _R 4:2:2 10	10bit	3840×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 425-5
				SMPTE ST 2036-1
			48/47.95/P	-
		4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 425-5
				SMPTE ST 2048-1
YC _B C _R 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
RGB 4:4:4				SMPTE ST 2036-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	-
		4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
				SMPTE ST 2048-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	-

* 分割伝送方式は、スクエアと2サンプルインターリーブに対応しています。

* リンクは 3G-A、3G-B-DL に対応しています。

出カパターン	100%カラーバー、75%カラーバー、マルチフォーマットカラー バー、カラーラスタ、クロスハッチ、10 ステップ、リミットラン
	プ
スクロール	
方向	8方向 (上下左右とその組み合わせ)
スピード範囲と単位	4~124 ドット、4 ドット単位
ムービングボックス	ON / OFF
出力位相可変 (*1)	
クワッドリンク	Ach に対する Bch、Cch、Dch の位相を独立に可変
デュアルリンク	Ach に対する Bch、Cch に対する Dch の位相を可変
可変範囲	±0.5 ライン (ビデオクロック単位)
	±1/2 フレーム (ライン単位)
エンベデッドオーディオ	
重畳チャンネル数	ビデオフォーマットにより、16ch または 8ch
重畳の ON/OFF	オーディオグループ単位で ON/OFF
音声レベル	-20dBFS、-18dBFS、0dBFS、Mute

*1 出力位相は、フォーマットの切り換えや電源のオンオフによって、設定値に対して±1クロックの誤差を持ちます。

3.3.14 プリセット

プリセット	パネル設定を保存 (一部を除く)
プリセット数	60 点
呼び出し方法	フロントパネル、リモート端子 (*1)
コピー	プリセットデータを本器から USB に一括コピー、または USB か
	ら本器に一括コピー

*1 リモート端子からの呼び出しは、8 点と 60 点の切り換え式です。

3.3.15	画面表示
--------	------

フリーレイアウト	
機能	WFM、VECT、PIC、AUDIO(SER03)、STATUS、 EYE(SER02/SER09)キーで表示される画面(1 点ずつ)、および MULTI キーで表示される画面(5 点)のレイアウトをユーザーが任 意に作成
表示方式	4 系統までの入力信号をタイル、ミックス、V アライン、H アライ ン表示
タイル表示	分割して表示
ミックス表示	重ねて表示
Ⅴ アライン表示	縦に並べて表示
Η アライン表示	横に並べて表示
3G-B-DS 表示形式	
アライン表示	分割して表示
ミックス表示	重ねて表示
時間表示	
表示内容	現在時刻 / タイムコード
現在時刻表示	内蔵の時計機能による時刻表示
タイムコード表示 対応規格	LTC / VITC / D-VITC(SD のみ)
LTC、VITC	SMPTE ST 12-2
D-VITC	SMPTE ST 266
アラーム表示	各種アラーム発生時、各種エラー発生時、ファン異常時、内部温 度異常時に画面表示
フォーマットアラーム	指定したフォーマット以外が入力されたとき、アラーム表示
カラリメトリアラーム	指定したカラリメトリ以外が入力されたとき、アラーム表示

3.3.16 SDI ビデオ信号波形表示

波形操作	
表示モード	
オーバーレイ表示	コンポーネント信号を重ねて表示
パレード表示	コンポーネント信号を並べて表示
ブランキング期間	H ブランク、V ブランクそれぞれマスク表示可能
RGB 変換	YC _B C _R 信号を RGB 信号に変換して表示
チャンネル割り当て	GBR 並び / RGB 並び
疑似コンポジット表示	コンポーネント信号を疑似的にコンポジット信号に変換して表示
ラインセレクト	選択されたラインを表示
スイープ切り換え	H / V
表示色	7色から選択
垂直軸	
ゲイン	×1 / ×5
スケールジャンプ	ゲイン×5 におけるスケール表示位置を設定 (*1)
	0 / 10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 / 70 / 80 / 90 /
	CURSOR(選択したカーソル近傍に表示位置を設定)
可変ゲイン	×0.2~×2.0
振幅確度	
×1	±0.5%
×5	±0.2%
3G、HD(DL) (1080/60P、	1080/59.94P、1080/50P)
Y 信号	±0.5% (1~60MHz)
C _R C _R 信号	±0.5% (0.5~30MHz)
ローパス減衰量	20dB以上 (40MHzにて)
3G、HD、HD(DL) (1080/6	、 50P、1080/59.94P、1080/50P を除く)
Y 信号	±0.5% (1~30MHz)
C _R C _R 信号	±0.5% (0.5~15MHz)
ローパス減衰量	20dB以上 (20MHz (こて)
SD	
Y信号	±0.5% (1~5.75MHz)
C _R C _R 信号	±0.5% (0.5~2.75MHz)
ローパス減衰量	20dB以上 (3.8MHz にて)
水平軸	
ライン表示	
表示形式	オーバーレイ (1H、2H)(*2)
	パレード (1H、2H、3H)
	4Yパレード (4H)
拡大表示	×1 / ×10 / ×20 / ACTIVE / BLANK
フィールド表示	
表示形式	オーバーレイ (1V、2V)(*3)
	パレード (1V、2V、3V)
拡大表示	×1 / ×20 / ×40

±0.5%

時間確度

カーソル測定	
構成	
水平カーソル	2本 (REF、DELTA)
垂直カーソル	2本 (REF、DELTA)
同時表示	水平カーソルと垂直カーソルを同時に表示
振幅測定	mV / % / R% / DEC / HEX / HDR(SER07)
時間測定	sec 表示
周波数表示	カーソル間を1周期とする周波数表示
カーソル値表示	カーソル上に測定値を表示
スケール	

種類	%/Ⅴ/10進/16進
表示色	7色から選択

- *1 ジャンプ範囲は、COLOR MATRIX や SCALE UNIT などによって異なります。
- *2 入力信号が 4K のとき、2H 表示はできません。
- *3 入力信号がプログレッシブのとき、2V表示はできません。

3.3.17 SDI ベクトル波形表示

表示色	7 色から選択	
ブランキング期間	H ブランク、V ブランクそれぞれマスク表示可能 (ビデオ信号波形	
	表示の設定に従う)	
疑似コンポジット表示	コンポーネント信号を疑似的にコンポジット信号に変換して表示	
ラインセレクト	選択されたラインを表示	
ゲイン	$\times 1 / \times 5 / IQ-MAG$	
可変ゲイン	×0.2~×2.0	
振幅確度	±0.5%	
スケール		
種類	ITU-R BT.601 / ITU-R BT.709 / AUTO	
カラーバーの飽和度	75% / 100%	
IQ 軸	表示 / 非表示	
表示色	7 色から選択	
ベクトルマーカー表示	ベクトル表示上の任意の位置に、マーカーと数値を表示	
マーカー数	1点	
数值表示	マーカーの位置を数値で表示	
Cb	CB の位置を%で表示	
Cr	CR の位置を%で表示	
deg	色相を°で表示	
d	中心からの距離を%で表示	
ヒストグラム表示	輝度信号のヒストグラムを表示	

3.3.18 SDI 信号 5 バー表示

機能	SDI 信号を Y、R、G、B、コンポジットに変換して、5 本のピーク
	レベルで表示
チャンネル割り当て	RGB / GBR
スケール	mV / %
エラーレベル	ガマットエラー、コンポジットガマットエラー、ルミナンスエラ
	ーのしきい値設定による
ラインセレクト	選択されたラインを表示
ローパスフィルター	ガマットエラーに同じ
	過渡的なエラーを除去

* 本機能は、LV 5490 の一部の製品では対応できません。確認の方法は「7.3 システム情報の表示」を参照して ください。

3.3.19 SDI ピクチャー表示

量子化精度	8bit
表示サイズ	縮小 / 実サイズ / ×2 / フルフレーム
画質調整、色選択	ブライトネス、コントラスト、ゲイン、バイアス、クロマゲイ
	ン、モノクロ表示
フレームレート	液晶表示器のリフレッシュレート(60P、59.94P、50P)でフレー
	ムレート変換
アスペクトマーカー表示	

3G(画角 17:9) 16:9 / 14:9 / 13:9 / 4:3 / 2.39:1 3G(画角 16:9)、HD、HD(DL)17:9 / 14:9 / 13:9 / 4:3 / 2.39:1 / AFD(*1) SD 16:9 / 14:9 / 13:9 / AFD(*1) アスペクトマーカー形式 ライン / シャドウ(99 段階) / ブラック セーフティマーカーサイズ ARIB TR-B4 / SMPTE RP-218 / ユーザー設定 SMPTE ST 2016-1-2007 に準拠した AFD の略称を表示 AFD 表示(*1) ラインセレクト 選択されたラインをマーカー表示 ガマットエラー表示 (*2) ガマットエラーの箇所をピクチャーに重ねて表示(ガマット、コ ンポジットガマット、ルミナンスエラーの論理和)

*1 SD または HD のみに対応しています。

*2 本機能は、LV 5490 の一部の製品では対応できません。確認の方法は「7.3 システム情報の表示」を参照して ください。

3.3.20	SDI シネライ	ト表示
--------	----------	-----

シネライト表示	
機能	f Stop 表示、%表示、256 階調表示
f Stop 表示	基準ポイントに対する相対 f 値で表示
	反射率 18%の被写体を基準として設定
f Stop ガンマ補正	
基準ガンマ	0.45 (ITU-R BT.709)
ユーザー補正テーブル	3 種類 (実機にてデータ取得)
%表示	輝度レベルまたは RGB レベルを%表示
階調表示	RGB レベルを 8 ビット 256 階調で表示
コードバリュー表示	SDI 信号のビデオデータ値を表示
測定点数	3点
測定サイズ	1×1 画素 / 3×3 画素 / 9×9 画素
シネライトアドバンス表示	
機能	シネライトで選択したポイントを波形表示、ベクトル表示に連携
	してマーカー表示
波形表示連携マーカー	シネライトで選択したポイントを波形表示に連携してマーカー表
	示
連携マーカー数	最大 16 点 (YRGB、YGBR 表示時)
ベクトル連携マーカー	シネライトで選択したポイントをベクトル表示に連携してマーカ
	一表示
連携マーカー数	最大4点
ベクトル数値表示	アクティブなマーカー位置を数値表示
Cb	C _B の位置を%で表示
Cr	C _R の位置を%で表示
deg	色相を°で表示
d	中心からの距離を%で表示
CIE 色度図表示(SER05)連携、	マーカー
	シネライトで選択したポイントを CIE 色度図表示に連携してマー
	カー表示
連携マーカー数	最大4点

3.3.21 SDI シネゾーン表示

シネゾーン表示	
機能	輝度レベルに応じて着色して表示
表示色	リニア(1024 色) / ステップ(12 色)
上限値設定	-6.3~109.4% (設定値以上を白で表示)
下限値設定	-7.3~108.4% (設定値未満を黒で表示)
レベルサーチ表示	
機能	モノクロで表示されたピクチャーの上に、設定した輝度レベル±
	0.5%を緑色で表示
上限値設定	-6.3~109.4% (設定範囲以上を赤で表示)
下限値設定	-7.3~108.4% (設定範囲未満を青で表示)

3.3.22 デジタルオーディオ表示 (SER03)

入力信号	SDI エンベデッドオーディオ信号 / 外部オーディオ信号
表示チャンネル	最大 16 チャンネル
エンベデッドオーディオチャンネ	ネル選択
	任意の SDI 入力から、最大 4 グループ 16ch を選択
表示種類	レベル計、リサージュ、相関計、サラウンド、ステータス
レベル計表示	
表示チャンネル	8ch / 16ch
表示ダイナミックレンジ	-60dBFS / -90dBFS / 基準レベル±3dB
メーターの応答モデル	TRUE PEAK / PPM type I / PPM type I / VU
ピークホールドの応答モデル	TRUE PEAK / PPM type I / PPM type I
ピークホールド時間	0.0~5.0sec(0.5sec ステップ) / HOLD
レベル設定	-40.0~0.0dBFS (基準レベル、ウォーニングレベル、オーバーレ ベル)
リサージュ表示	
シン シュンホー 表示チャンネル	2ch / 8ch / 16ch
表示方法	X-Y / MATRIX
和图計	2 チャンネル間の相関を-1~1 で表示
インジケーター表示(オプショ	
	」~) Dolby E のフレームロケーションをインジケーター表示
サラウンド表示	
機能	音場をグラフィック表示
サラウンド方式	5.1
チャンネルの割り当て	L / R / C / LFE / Ls / Rs / Lt / Rt
センターチャンネル方式	NORMAL / PHANTOM CENTER
ゲイン	×1 / AUTO
ステータス表示	
レベル値	オーディオレベルを数値で表示(dBFS)
エラー検出	チャンネルごとに発生回数をカウント
レベルオーバー	入力信号のレベルが設定値を超えたときにカウント
検出設定	-40.0~0.0dBFS
クリップ	設定されたサンプル数を超える最大値信号が、連続して入力され
	たときにカウント
検出設定	1~100sample
ミュート	設定された期間を超えるミュート信号が、連続して入力されたと
	きにカウント
検出設定	1~5000ms
パリティエラー	入力信号のパリティビットと、本体で再計算されたパリティビッ
1°11	
ハリテイテイエフー	人川信亏のハリティティビットか1のときにカワント
CKC エラー	ナャンイル人テータ人ヒットの CRC 個と、 申計算した CRC 値か 異なるときにカウント
コードバイオレーミュン	1 カ信早のバイフェーブ亦润の比能が男骨でちるときにわらい人

コードバイオレーション 入力信号のバイフェーズ変調の状態が異常であるときにカウント

経過時間	リセットしてからの経過時間を表示
チャンネルステータスビット	< ダンプ表示、テキスト表示
ユーザーデータビット	ダンプ表示
Dolby E メタデータ	テキスト表示 (オプション)
Dolby Digital メタデータ	テキスト表示 (オプション)

3.3.23 SDI ステータス表示

信号検出	SDI信号の有無を検出
フォーマット表示	ビデオ信号フォーマットを表示
周波数偏差表示	
機能	サンプリング周波数の偏差を表示
	±10ppm を超えたとき、エラー検出
測定範囲	±100ppm
精度	±2ppm
線長計表示 (SER01/SER02の1	A~1D のみ)
機能	SDI 信号の減衰量をケーブル長に換算して表示
	指定したケーブル長を超えたとき、エラー検出
対応ケーブル	
3G、HD	LS-5CFB / 1694A
SD	L-5C2V / 8281
表示範囲	
3G	< 10m、10~105m、> 105m
HD	< 5m、5~130m、> 130m
SD	< 50m、50~300m、> 300m
精度	±20m
分解能	5m
エラーカウント表示	エラー項目ごとに最大 999,999 エラー
カウント周期	1秒 / 1フィールド(フレーム)
エンベデッドオーディオチャンネ	ぶル表示 (*1)
	重畳されているオーディオチャンネル番号を表示
SDI 信号のエラー検出	
CRC エラー	12G(SER06/SER08)、3G、HD 信号の伝送エラーを検出
EDH エラー	SD 信号の伝送エラーを検出
TRS ポジションエラー	TRS の重畳位置エラーを検出
TRS コードエラー	TRS プロテクションビットのエラーを検出
ラインナンバーエラー	12G(SER06/SER08)、3G、HD 信号に重畳されたラインナンバー エラーを検出

イリーガルコードエラー TRS、ADF 以外での 000~003h、3FC~3FFh のデータを検出

アンシラリデータパケットのエラー検出

チェックサムエラー	アンシラリデータの伝送エラーを検出
パリティエラー	アンシラリデータヘッダのパリティエラーを検出

エンベデッドオーディオパケットのエラー検出 (*1)

BCHエラー	オーディオパケットの伝送エラーを検出
DBN エラー	オーディオパケットの連続性エラーを検出
パリティエラー	オーディオパケットのパリティエラーを検出
重畳位置エラー	重畳禁止ラインへのオーディオ重畳を検出
サンプルカウントエラー	オーディオのサンプル数を計測し、非同期音声を検出

映像のエラー検出

ガマットエラー (*2)	ガマットエラーを検出
検出範囲	
上限値	90.8~109.4%
下限値	-7.2~6.1%
ローパスフィルター	

	ローパスフィルター	
フォーマット	HD/SD:1MHz	HD:2.8MHz SD:1MHz
SD 720×487	約 1MHz (EBU R103-2000)	約 1MHz
SD 720×576	約 1MHz (EBU R103-2000)	約 1MHz
HD 1280×720	約 1MHz	約 2.8MHz
HD 1920×1080 (フレームレート≦30Hz)	約 1MHz (IEEE STD 205)	約 2.8MHz
HD 1920×1080 (フレームレート>30Hz)	約 2MHz	約 5.5MHz
HD 2048×1080 (フレームレート≦30Hz)	約 1MHz (IEEE STD 205)	約 2.8MHz
HD 2048×1080 (フレームレート>30Hz)	約 2MHz	約 5.5MHz
4K 3840×2160 (フレームレート≦30Hz)	約 4MHz	約 11MHz
4K 3840×2160 (フレームレート>30Hz)	約 8MHz	約 22MHz
4K 4096×2160 (フレームレート≦30Hz)	約 4MHz	約 11MHz
4K 4096×2160 (フレームレート>30Hz)	約 8MHz	約 22MHz

面積指定

0.0~5.0%

時間指定 1~60 フレーム

コンポジットガマットエラー (*2)

コンポーネント信号をコンポジット信号に変換したときのレベル エラーを検出

検出範囲

上限値	90.0~135.0%
下限値	-40.0~20.0%
ローパスフィルター	ガマットエラーと共通
面積指定	0.0~5.0%
時間指定	1~60 フレーム
フリーズエラー	映像のフリーズを時間指定して検出
検出方法	映像期間のチェックサム
時間指定	2~300 フレーム
ブラックエラー	映像のブラックアウトを検出
黒レベル指定	0~100%
面積指定	1~100%
時間指定	1~300 フレーム

レベルエラー	YC _B C _R のレベルエラーを検出
Y 上限値	-51~766mV
Y 下限値	-51~766mV
C _B C _R 上限值	-400~399mV
C _B C _R 下限值	-400~399mV
ローパスフィルター	ガマットエラーと共通

*1 入力信号が 3G-B-DL のときはストリーム 1 のみに対応しています。

*2 本機能は、LV 5490 の一部の製品では対応できません。確認の方法は「7.3 システム情報の表示」を参照して ください。

3.3.24 SDI 解析機能

イベントログ表示

機能	検出したエラーや入力信号の切り換えなどをタイムスタンプとと
	もに記録
記録数	最大 1,000 イベント
動作	スタートしてからストップするまでのイベントを記録

データ出力 USB メモリー経由で、テキスト出力

データダンプ表示

表示形式

HD、	SD、	3G-A、	3G-B-DS	シリアルデー	·夕列表示、	または各色成分に分離表示	

- 3G-B-DL PICTURE / ストリーム 1 /ストリーム 2
- HD(DL) PICTURE / リンク A / リンク B
- 3G(DL) PICTURE / リンク1 / リンク2
- 3G(QL)、HD(QL)、12G(SER06/SER08)

PICTURE / リンク1 / リンク2 / リンク3 / リンク4

表示形式詳細

PICTURE	各リンクまたはストリーム 1/2 を合成し、ピクチャー構造で表示
	(4K のときは映像エリアのみ表示)
ストリーム 1/2	各ストリームを伝送構造で表示
リンク A/B/1/2/3/4	選択したリンクを表示
ライン選択	選択されたラインを表示
サンプル選択	選択されたサンプルから表示
ジャンプ機能	EAV または SAV へ移動
	(4K で PICTURE のときは、0 または 3839/4095 へ移動)
データ出力	USB メモリー経由で、テキスト出力

位相差表示(*1) 機能 基準信号と SDI 信号または SDI 信号間の位相差を数値とグラフィ ックで表示 基準信号 SD、HD、3G、3G(QL)、HD(QL) 外部同期信号 / Ach HD(DL)、3G(DL) 外部同期信号 / Ach / Cch 12G 外部同期信号 表示範囲 1フレーム V方向 H方向 ±1 ライン SDI アンシラリデーター覧表示 アンシラリデータごとの検出の有無、多重ラインナンバー、1フ 一覧表示内容 レーム当たりのパケット数 選択したアンシラリデータを16進数または2進数で表示 ダンプ表示 EDH 表示 (SD のみ) 対応規格 SMPTE RP 165 表示内容 EDH パケットを解析表示、受信した CRC エラーの表示 表示形式 テキスト / 16 進数 / 2 進数 ペイロード ID 表示 対応規格 SMPTE ST 352 表示内容 ペイロード情報を解析表示 表示形式 テキスト、2進数 音声制御パケット表示 対応規格 SMPTE ST 299-1、SMPTE ST 272 音声制御パケットを解析表示 表示内容 表示形式 テキスト / 16 進数 / 2 進数 グループ選択 1/2/3/4 クローズドキャプション表示(*2) 対応規格 ARIB STD-B37 表示内容 クローズドキャプション信号を解析表示 表示形式 テキスト / 16 進数 / 2 進数 放送局間制御信号(NET-Q)表示 (*2) 対応規格 ARIB STD-B39 表示内容 放送局間制御信号を解析表示 表示形式 テキスト / 16 進数 / 2 進数 ログ機能 Q信号のロギング フォーマット ID 表示 フォーマット ID を解析表示 データ出力 USBメモリー経由で、Q 信号ログを CSV 出力 データ放送トリガ信号表示(*2) 対応規格 ARIB STD-B35 表示形式 テキスト / 16 進数 / 2 進数

V-ANC ユーザーデー	・夕表示 (*2)
対応規格	ARIB TR-B23
表示形式	16 進数 / 2 進数

AFD パケット表示	
対応規格	SMPTE ST 2016-3
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数

任意 ANC パケット表示

ANC 指定方法	DID / SDID
表示内容	Y / C
表示形式	16 進数 / 2 進数

*1 基準信号が外部同期信号のときは、外部同期信号または SDI 信号の抜き差しや電源のオンオフで、測定位相が±1 クロック変動します。

基準信号が SDI 信号のときは、SDI 信号の抜き差しや電源のオンオフで、測定位相が±2 クロック変動します。

*2 入力信号が 3G、12G(SER06/SER08)のときは非対応です。

リップシンク表示 (SER03)	映像と音声の位相差を表示
リップシンク測定	
機能	SDI 信号とデジタルオーディオ信号の時間差を測定し、数値とグ
	ラフで表示
基準信号	当社リップシンク対応 TSG (*1)
測定方法	映像信号の輝度レベルが設定値を超えたときと、音声信号レベル
	が設定値を超えたときの時間差を測定
輝度レベル設定値	25~100%
音声信号レベル設定値	-30~0dBFS
対応オーディオ信号	エンベデッドオーディオ信号、デジタルオーディオ信号
測定レンジ(バー表示)	±50ms / ±100ms / ±500ms / ±1.0s / ±2.5s
測定レンジ(数値表示)	±3999ms
測定分解能	1ms

*1 当社製以外の TSG パターンでは、映像信号の設定、音声信号の設定にて対応可能な場合があります。

3.3.25 アイパターン表示 (SER02/SER09)

```
SDI 入力信号のイコライジング前の波形を表示
表示
 12G(SER09)、3G、HD、SD A/B/C/Dch のうち選択した1系統を表示
 HD(DL)
                     リンク A/B のうち選択した1系統を表示
                     リンク 1/2 のうち選択した 1 系統を表示
 3G(DL)
                     リンク 1/2/3/4 のうち選択した 1 系統を表示
 3G(QL)、HD(QL)
 波形表示色
                     7 色から選択
 スケール表示色
                     7 色から選択
                     等価サンプリング方式
方式
                     7GHz -3dB (立ち上がり時間より換算)
周波数特性(SER02)
                     800mV±5% (入力 800mV のとき)
振幅確度
時間軸
 2UI 表示
   12G(SER09)
                     12.5ps/div
   3G
                     50ps/div
   HD
                     100ps/div
   SD
                     550ps/div
 4UI 表示
   12G(SER09)
                     25ps/div
   3G
                     100ps/div
   HD
                     200ps/div
   SD
                     1100ps/div
 16UI 表示
   12G(SER09)
                     100ps/div
   3G
                     400ps/div
   HD
                     800ps/div
   SD
                     4400ps/div
時間軸確度
                     ±3%
ジッターフィルター
 10Hz
                     HPF 10Hz
                     HPF 100Hz
 100Hz
 1kHz
                     HPF 1kHz
 100kHz
                     HPF 100kHz
 TIMING
                     HPF 10Hz
 ALIGNMENT
   12G(SER09)、3G、HD
                     HPF 100kHz
   SD
                     HPF 1kHz
カーソル測定
                     Yカーソルによる振幅測定
                     X カーソルによる時間測定
                     TrTf カーソルによる立ち上がり時間、立ち下がり時間測定
                     アイパターンの振幅
自動測定項目
                     立ち上がり時間 (振幅の 20%-80%の時間)
                     立ち下がり時間 (振幅の80%-20%の時間)
                     タイミングジッター
                     カレントジッター
                     立ち上がりエッジのオーバーシュート
                     立ち下がりエッジのオーバーシュート
```

3.3.26 ジッター表示 (SER02/SER09)

表示	SDI 信号のジッター成分を表示
12G(SER09)、3G、HD、SD	A/B/C/Dch のうち選択した 1 系統を表示
HD(DL)	リンク A/B のうち選択した 1 系統を表示
3G(DL)	リンク 1/2 のうち選択した 1 系統を表示
3G(QL)、HD(QL)	リンク 1/2/3/4 のうち選択した 1 系統を表示
波形表示色	7色から選択
スケール表示色	7色から選択
方式	位相検波方式
ゲイン	×16 / ×8 / ×4 / ×2 / ×1
測定範囲	
3G、HD、SD	
×8	0.00~1.20UI
×2	1.20~4.80UI
×1	4.80~9.60UI
12G(SER09)	
×16	0.00~1.20UI
×4	1.20~4.80UI
×2	4.80~9.60UI
×1	9.60~19.20UI
時間軸	1H / 2H / 1V / 2V (*1)
時間軸確度	±3%
ジッターフィルター	
10Hz	HPF 10Hz
100Hz	HPF 100Hz
1kHz	HPF 1kHz
100kHz	HPF 100kHz
TIMING	HPF 10Hz
ALIGNMENT	
12G(SER09)、3G、HD	HPF 100kHz
SD	HPF 1kHz
カーソル測定	カーソルによるジッター値の測定
自動測定表示機能	ジッター値を時間(sec)とユニットインターバル(UI)で表示
自動測定項目	タイミングジッター、カレントジッター
確度	入力ジッター周波数:1kHz、フィルター設定:10Hz、測定範囲
	内において
0UI <自動測定値≦1UI	
SER02	±10% + 0.05UI
SER09	±10% + 0.07UI
1UI<自動測定値≦7UI	±10%

*1 入力信号が HD(DL)の 60/59.94/50P を除くプログレッシブのとき、2V 表示はできません。

3.3.27 アイパターン、ジッターエラー検出 (SER02/SER09)

エラー検出	項目ごとにオンオフ可		
エラーしきい値設定	12G(SER09)、3G、HD、SD それぞれに設定可能		
イベントログ	アイパターンおよびジッターのエラーを記録		
しきい値	SMPTE の規格値を 100%とする		
アイパターンの振幅			
上限値	80~140% (640~1120mV)		
下限値	40~100% (320~800mV)		
立ち上がり時間、立ち下がり間	青間		
12G(SER09)	40~140% (18.0~63.0ps)		
3G	40~140% (54.0~189.0ps)		
HD	40~140% (108.0~378.0ps)		
SD	40~140% (0.60~2.10ns)		
立ち上がりと立ち下がりの差			
12G(SER09)	40~140% (7.2~25.2ps)		
3G	40~140% (20~70ps)		
HD	40~140% (40~140ps)		
SD	40~140% (0.20~0.70ns)		
タイミングジッター			
12G(SER09)	10~200% (0.80~16.00UI、67.2~1344.0ps)		
3G	10~200% (0.20~4.00UI、67.4~1348.0ps)		
HD	10~200% (0.10~2.00UI、67.4~1348.0ps)		
SD	10~200% (0.02~0.40UI、0.07~1.48ns)		
カレントジッター			
12G(SER09)	10~200% (0.03~0.60UI、2.5~50.4ps)		
3G	10~200% (0.03~0.60UI、10.1~202.5ps)		
HD	10~200% (0.02~0.40UI、13.5~270.0ps)		
SD	10~200% (0.02~0.40UI、0.07~1.48ns)		
立ち上がりエッジのオーバーシ	シュート		
	0~200% (0.0~20.0%)		
立ち下がりエッジのオーバーミ	シュート		
	0~200% (0.0~20.0%)		

3.3.28 フォーカスアシスト表示 (SER04)

検出感度	LOW / MIDDLE / HIGH / V-HIGH(*1) / U-HIGH(*1)
ハイライト表示色	WHITE / GREEN / BLUE / RED
ピクチャー輝度レベル	OFF / EMBOSS / 25% / 50% / 75% / 100%

*1 映像にノイズがある場合、ノイズも強調されます。

3.3.29 CIE 色度図表示 (SER05)

表示規格	CIE1931(xy 表示) / CIE1976(u'v'表示)
表示タイプ	色度図表示 / 色温度表示
表示モード	
色度図表示	輝度表示 / カラー表示
色温度表示	輝度表示
カラリメトリ	BT.601(525) / BT.601(625) / BT.709 / DCI / BT.2020
クリップ処理	
ON	入力信号の負値を0にクリップして表示
OFF	入力信号の負値を BT.1361 に基づいて表示
平滑化処理	2 ピクセルごとにデータを平均して表示
確度	±0.005 (測定座標値に対して)
色度図表示スケール	
トライアングル	BT.601(525) / BT.601(625) / BT.709 / DCI / BT.2020 から 2 つ選択
ユーザートライアングル	任意のトライアングルを1つ設定
背景	色サンプル / 白地
サブスケール	色温度曲線、グリッド(0.1 刻み)、白色点(D65)、トライアングル
	名 (いすれもオンオフ可)
カーソル	カーソルの位置を座標で表示
ユーサーガンマ	1.5~3.0

3.3.30 HDR 表示 (SER07)

下限值以下

対応規格ARIB STD-B67 (HLG; Hybrid Log Gamma)
SMPTE ST 2084 (PQ カーブ、Narrow Range のみ)
S-Log3対応フォーマットSD、XYZ 入力を除くすべてシネゾーン表示色マゼンタHDR 領域輝度に応じて着色
SDR 領域

黒

3.3.31 IP(NMI)ステータス表示 (SER08)

NMI 表示	IP(NMI)A/Bの IP アドレス、ゲートウェイアドレス、サブネッ
	トマスク、PTP ドメイン番号を表示
IP Live System Manager 表示	IP Live System Managerの IP アドレス、ポート番号、プロトコ
	ル、通信状態を表示
NMI ステータス表示(*1)	設定フォーマット、PTP との同期状態を表示

*1 Network Media Interface (NMI)の信号のみ対応

3.3.32 ビデオノイズメーター (SER10)

測定機能

i	波測定信号	Y / G / B / R から一つを選択
ì	則定領域	測定範囲のサイズ、位置を任意に設定可能
	ノイズレベル表示	mVrms、dB
-	アラーム機能	測定値が設定した閾値を超えたときに測定値を赤で表示
	ーパスフィルター	下表のカットオフ周波数にて-12dB±1dB
		キットナフロ沖粉

フォーマット	カットオフ周波数						
SD 720×487	5.5MHz	4.4MHz	3.6MHz	2.7MHz	1.4MHz	0.7MHz	スルー
SD 720×576	5.5MHz	4.4MHz	3.6MHz	2.7MHz	1.4MHz	0.7MHz	スルー
HD 1280×720	30MHz	24MHz	20MHz	15MHz	7.5MHz	3.7MHz	スルー
HD 1920×1080	30MHz	24MHz	20MHz	15MHz	7.5MHz	3.7MHz	スルー
(フレームレート≦30Hz)							
HD 1920×1080	60MHz	48MHz	40MHz	30MHz	15MHz	7.5MHz	スルー
(フレームレート>30Hz)							
HD 2048×1080	30MHz	24MHz	20MHz	15MHz	7.5MHz	3.7MHz	スルー
(フレームレート≦30Hz)							
HD 2048×1080	60MHz	48MHz	40MHz	30MHz	15MHz	7.5MHz	スルー
(フレームレート>30Hz)							
4K 3840×2160	120MHz	96MHz	80MHz	60MHz	30MHz	15MHz	スルー
(フレームレート≦30Hz)							
4K 3840×2160	240MHz	192MHz	160MHz	120MHz	60MHz	30MHz	スルー
(フレームレート>30Hz)							
4K 4096×2160	120MHz	96MHz	80MHz	60MHz	30MHz	15MHz	スルー
(フレームレート≦30Hz)							
4K 4096×2160	240MHz	192MHz	160MHz	120MHz	60MHz	30MHz	スルー
(フレームレート>30Hz)							
通過域リップル ±0.5dB							

下表のカットオフ周波数にて-12dB±1dB

フォーマット		カットオフ周波数		
		ON	OFF	
SD 720×487		36kHz	スルー	
SD 720×576		36kHz	スルー	
HD 1280×720		200kHz	スルー	
HD 1920×1080 (フレームレート=	≦30Hz)	200kHz	スルー	
HD 1920×1080 (フレームレート>	> 30Hz)	400kHz	スルー	
HD 2048×1080 (フレームレート	≦30Hz)	200kHz	スルー	
HD 2048×1080 (フレームレート>	> 30Hz)	400kHz	スルー	
4K 3840×2160 (フレームレート≦	30Hz)	800kHz	スルー	
4K 3840×2160 (フレームレート>	• 30Hz)	1.6MHz	スルー	
4K 4096×2160 (フレームレート≦	30Hz)	800kHz	スルー	
4K 4096×2160 (フレームレート>	· 30Hz)	1.6MHz	スルー	
通過域リップル 生	0.5dB			

測定確度(フィルタースルー時)

0 \sim -65.00dB	±0.3dB
-65.01 \sim -70.00dB	±0.7dB
-70.01 \sim -75.00dB	±2.0dB

* 本機能は、LV 5490 の一部の製品では対応できません。確認の方法は「7.3 システム情報の表示」を参照して ください。

ハイパスフィルター

3.3.33 一般仕様

環境条件	
動作温度範囲	0∼40℃
動作湿度範囲	85%RH以下 (ただし、結露のないこと)
性能保証温度範囲	10~30℃
使用環境	屋内
使用高度	2,000m まで
過電圧カテゴリ	П
汚染度	2
電源	
電圧	AC 90~250V
周波数	50/60Hz
消費電力	150W max.
寸法	223(W)×172(H)×360(D)mm (突起部分含まない)
質量	5.6kg max. (オプション含む、付属品含まない)
付属品	電源コード1
	カバーインレットストッパー1
	D サブ 15 ピンコネクター1
	D サブ 15 ピンコネクターカバー1
	SFP+トランシーバーモジュール(AFBR-709SMZ) (SER08) 2
	取扱説明書1

- 4. パネル面の説明
- 4.1 前面パネル





番号	名称	説明			
1	ハンドル	本器を持ち運ぶ際に使用します。			
2	液晶パネル	測定画面や設定画面を表示します。保護パネルは取り外すこともできます。			
		【参照】「5.1 保護パネルの取り外し」			
3	F•1~F•7	ファンクションメニューの操作をします。			
		【参照】 「5.8.2 ファンクションメニューの操作」			
4	電源スイッチ	キーを押すと電源が入り、長押しすると電源が切れます。			
		【参照】 「5.4 電源のオンオフ」			
5	ヘッドホン端子	ミニプラグのヘッドホン端子です。ヘッドホンを接続することによって、SDI に重畳された音声			
	(SER03)	や、背面パネルに入力した音声が出力されます。			
6	INPUT	測定チャンネルの設定をします。			
		【参照】 「6.1 入力信号の設定」			
7	SYS	本体に関する設定をします。			
		【参照】「7 システム設定」			
8	EXT	同期信号を切り換えます。内部同期信号のときに消灯、外部同期信号のときに点灯します。			
		【参照】 「5.7.3 外部同期信号の入力」			
9	CAP	表示画面を取り込みます。			
		【参照】「8 キャプチャー機能」			
10	MULTI	各測定画面を組み合わせて表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
		【参照】 「6.3.7 マルチ表示」			
11	PSET	短押しでプリセットの呼び出し、長押しでプリセットの登録、削除、一括コピーをします。			
		【参照】「9 プリセット機能」			
12	WFM	ビデオ信号波形を表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
		【参照】 「6.3.1 ビデオ信号波形表示」			
13	AUDIO	オーディオを表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
	(SER03)	【参照】「6.3.4 オーディオ表示 (SER03)」			
14	VECT	ベクトル波形を表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
		【参照】 「6.3.2 ベクトル波形表示」			
15	STATUS	ステータスを表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
		【参照】「6.3.5 ステータス表示」			
16	PIC	ピクチャーを表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
		【参照】 「6.3.3 ピクチャー表示」			
17	EYE	アイパターンを表示します。レイアウトは自由に変更できます。			
	(SER02/SER09)	【参照】 「6.3.6 アイパターン表示 (SER02/SER09)」			
18	V POS	ビデオ信号波形などの垂直位置を調整します。押すと基準位置に戻ります。			
19	H POS	ビデオ信号波形などの水平位置を調整します。押すと基準位置に戻ります。			
20	F∙D	数値の設定や、カーソルの移動などに使用します。一部を除いて、押すと値が初期値に戻りま			
		す。			
21	USB	USB メモリーまたは USB マウスを接続します。			
		【参照】「5.5 USB デバイスの接続」			

4.2 背面パネル







図 4-3 背面パネル (SER06)



図 4-4 背面パネル (SER08)

番号	名称	説明			
1	USB	USB メモリーまたは USB マウスを接続します。			
		【参照】「5.5 USB デバイスの接続」			
2	RS-422/485	シリアル通信で、カメラの ID を表示します。			
	(特注対応)				
3	ETHERNET	イーサネット端子です。TELNET、FTP、SNMP、HTTP、SNTP に対応しています。			
4	電源入力端子	AC 電源の入力端子です。付属のカバーインレットストッパーを取り付けてください。			
		【参照】 「5.1 カバーインレットストッパーの取り付け」			
5	接地端子	外部のグラウンドと接続します。			
6	MONITOR	画面イメージを出力します。SDI 端子からは、SDI 信号のリクロック出力もできます。			
	OUTPUT	【参照】 「5.7.5 モニター信号の出力」			
7	REMOTE	D-Sub 15p のリモートコントロール端子です。プリセットの呼び出しなどができます。			
8	DIGITAL AUDIO	オーディオ信号の入出力端子です。入出力の切り換えは、システム設定で行います。			
	INPUT/OUTPUT	【参照】 「5.7.4 デジタルオーディオ信号の入出力 (SER03)」			
	(SER03)				
9	SDI INPUT	SDI 信号の入力端子です。			
	(SER01/SER02)	【参照】 「5.7.1 SDI 信号の入出力」			
10	12G-SDI INPUT				
	(SER06)				
11	12G-SDI INPUT				
	(SER08)				
12	NMI	IP(NMI)信号の入力端子です。付属品の SFP+トランシーバーモジュールを取り付けて使用しま			
	(SER08)				
		【参照】 5.6 SFP+トランシーバーモジュールの取り付け (SER08)」			
13	SDI	SDI 信号の人出力端子です。人出力の切り換えは、システム設定で行います。			
		アイハターンやケーノル長は測定できません。			
	(SERU1/SERU2)	【参照】 5.7.1 SDI 信号の人出力」			
14	3G-SDI				
15					
15					
16	(JLKUO)	めぶ同期信号の入力端子です。 ループフルーです			
10	EATREF	クトローの知道ちの入力端子とす。ルーンスルーとす。 【参照】「573 外部同期信号の入力」			
17	シリアルシール	製造番号が印字されています。			
18		12G SDI 信号の出力端子です。			
10	(SER06)	12000110-100000000000000000000000000000			
19		【参照】[5.7.1 SDI信号の入出力]			
	(SER08)				

表 4-2 背面パネルの説明

- 5. 測定を始める前に
- 5.1 カバーインレットストッパーの取り付け

電源コードが引っぱられて電源入力端子から抜けることを防ぐために、抜け防止用のカバーインレット ストッパーが付属されています。以下の手順で取り付けてください。

- 取り付け
 - 1. カバーインレットストッパーを電源コードにかぶせます。



2. カバーインレットストッパーを、電源入力端子にカチッと音がするまで押し込みます。



- 3. カバーインレットストッパーが電源入力端子にロックされていることを確認します。
- 取り外し
 - 1. カバーインレットストッパーのレバーの部分を2本の指で押して、ロックを外します。



2. カバーインレットストッパーを、電源入力端子から引き抜きます。



5.2 保護パネルの取り外し

衝撃やキズなどから液晶パネルを守るため、本器にはあらかじめ保護パネルが取り付けられています。 この保護パネルは、必要に応じて取り外すことができます。4 か所のねじを取り外してください。



図 5-1 保護パネルの取り外し

5.3 スタンドの使用

スタンドを使用することによって本体に傾斜がつき、画面が見やすくなったり、操作性が向上したりし ます。必要に応じてスタンドを起こしてください。



図 5-2 スタンドの使用

5.4 電源のオンオフ

電源を入れるには、電源スイッチを押してください。電源スイッチの LED が点灯して、電源が入ります。電源を入れると、前回電源を切ったときのパネル設定で起動します。

電源を切るには、電源スイッチを2秒以上長押ししてください。電源スイッチの LED が消灯して、電源が切れます。

電源を入れてから起動するまでの時間は、システム設定の GENERAL SETUP タブで設定できます。 【参照】 GENERAL SETUP タブ → 「7.2.1 一般的な設定」

5.5 USB デバイスの接続

前面パネルと背面パネルには USB 端子が 1 つずつあり、USB メモリーや USB マウスを接続できます。 どちらの USB 端子に接続しても構いませんが、2 つの USB メモリーや USB マウスを同時に接続することはできません。

USB デバイスは、電源を入れたまま抜き差しできます。

• USB メモリー

USB メモリーを接続すると、画面右上に USB メモリーアイコン 🧭 が表示されます。 USB メモリーには、各種測定データの保存ができます。

アイコンは通常緑色ですが、USBメモリーにアクセス中は赤色に変わります。このとき、電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。

USB マウス

マウスを接続すると、画面右上にマウスアイコン 妃 が表示されます。 マウスを接続しなくても基本的な操作はできますが、測定画面のレイアウトにはマウスが必要で す。

【参照】「6.4 測定画面のレイアウト」

5.6 SFP+トランシーバーモジュールの取り付け (SER08)

SER08 が実装された背面パネルには IP(NMI)入力端子が 2 つあります。付属品の SFP+トランシーバ ーモジュールを取り付けて使用してください。 SFP+トランシーバーモジュールは、電源を入れたまま抜き差しできます。 次の手順で取り付けてください。

- 取り付け
 - 1. SFP+トランシーバーモジュールを向きに注意して NMI 入力端子の IP A に差し込みます。



- 2. SFP+トランシーバーモジュールを、NMI 入力端子の IP A にカチッと音がするまで押し込みま す。
- 3. IP B も同様に取り付けます。
- 取り外し

SFP+トランシーバーモジュールを指でつかんで引き抜きます。ケーブルをつかまないでください。

- 5.7 信号の入出力
- 5.7.1 SDI 信号の入出力
 - SER01/SER02





図 5-3 SDI 入出力端子

• 入出力の切り換え

1A~1D は入力専用ですが、2A~2D は入出力を切り換えて使用します。 システム設定の SDI OUT タブで、Input または Output を選択してください。 【参照】 SDI OUT タブ → 「7.1.4 SDI 入出力端子の設定」

• SDI 信号の入力: 1A~1D、2A~2D

2A~2D を入力設定にしたときの、リンクシステムに対する入力端子を示します。 「3.3.1 SDI フォーマットと規格」で規定されている信号を入力してください。

表 5-1 SDI 信号の入力

リンクシステム	入力端子
シングルリンク	1A、1B、1C、1D、2A、2B、2C、2D に入力 (最大 8 系統)
デュアルリンク	1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D に入力 (最大4系統)
クワッドリンク	1A/1B/1C/1D、2A/2B/2C/2D に入力 (最大 2 系統)

• 12G SDI 信号の入力: 1A~1D (SER06/SER08)

システム設定の SDI IN タブで SDI System を 4K 12G にしてから、1A~1D に入力します。 12G 測定時は、2A~2D を入力設定にしても、2A~2D に入力した信号は測定できません。ま た、2A~2D を出力設定(Input Through)にしても、1A~1D のリクロック信号は出力しません。 【参照】 SDI IN タブ → 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

• SDI 信号の出力: 2A~2D

SDI 信号の出力設定には、Input Through と Test Signal の 2 種類があり、システム設定の SDI OUT タブで選択できます。

Input Through

2A~2Dからは、1A~1Dに入力した信号のリクロック信号がそれぞれ出力されます。モニター 用として使用してください。

3G(DL)-4K のときは、出力信号が以下のように異なります。

- ・1A-1B 選択時: 2A-2B、2C-2D ともに、1A-1B に入力した信号のリクロック出力
- ・1C-1D 選択時: 2A-2B、2C-2D ともに、1C-1D に入力した信号のリクロック出力

シングルリンクのときは、2A 出力を Ach 固定にするか選択したチャンネルにするかを SDI OUT タブで選択できます。選択チャンネルにした場合、出力チャンネルは INPUT メニューや、各測定 画面の F•6 SELECT CH で選択します。

4K 12G のときは、3G-SDI×4ch に変換して 2A~2D へ出力します。ただし、3G-SDI の信号に 12G-SDI のペイロード ID が重畳されるため、受信側の装置にてフォーマットを手動で設定する 必要があります。

4K NMI のときは、NMI の信号を 3G-SDI×4ch に変換して 2A~2D へ出力します。

NMIのときは、NMIの信号をHD-SDIに変換して出力します。

Test Signal

2A~2Dからは、各種パターンが出力されます。ムービングボックスの重畳や位相の可変などができます。信号発生器として使用できます。

• 12G SDI 信号の出力: 1A/1B/1C/1D (SER06)

12G SDI 信号の出力設定には、Input Through と Test Signal の 2 種類があり、システム設定の 12G SDI OUT タブで選択できます。 【参照】12G SDI OUT タブ → 「7.1.8 12G SDI 出力端子の設定 (SER06)」

Input Through

4K 12G、SD/HD/3G-A/3G-B-DL、3G-B-DS 測定時は INPUT メニューや各測定画面の F●6 SELECT CH で選択されたチャンネルが出力されます。モニター用として使用してください。

• Test Signal

OUTPUT からは、12G SDI 信号が出力されます。信号発生器として使用できます。

• 12G SDI 信号の出力: 1A/1B/1C/1D (SER08)

12G SDI 信号の出力は、Input Through 固定になります。

4K 12G、SD/HD/3G-A/3G-B-DL、3G-B-DS 測定時は INPUT メニューや各測定画面の F•6 SELECT CH で選択されたチャンネルが出力されます。モニター用として使用してください。

• 終端について

SDI 入力端子は内部で 75Ω に終端されているため、ターミネータの接続は不要です。接続ケーブ ルは、特性インピーダンスが 75Ω のものを使用してください。

• 測定チャンネルの設定

測定チャンネルは、システム設定の SDI IN タブと、INPUT メニューで設定します。 2A~2D に入力した信号のアイパターンやケーブル長は、測定できません。 【参照】 「6.2 測定信号の設定」

• ケーブルについて

本器は、800mVp-pのストレスパターンを以下のケーブルで受信したときに、エラーが発生しないことを検査しています。

入力信号	ケーブルの種類	入力端子 (1A~1D)	入出力端子 (2A~2D)	ビデオパターン
12G	L5.5CUHD ケーブル	70m	なし	カラーバー
3G	LS-5CFB ケーブル	70m	70m	チェックフィールド
HD	LS-5CFB ケーブル	110m	110m	チェックフィールド
SD	L-5C2V ケーブル	260m	100m	チェックフィールド
5.7.2 IP(NMI)信号の入力 (SER08)



図 5-4 IP(NMI)入力端子

• IP(NMI)信号の入力: IP A、IP B (SER08)

システム設定の SDI IN タブで SDI System を 4K NMI または NMI にしてから、IP A、IP B に 入力します。

【参照】 SDI IN タブ → 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

5.7.3 外部同期信号の入力



図 5-5 外部同期入力端子

ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示では、同期信号を外部から入力して表示できます。(*1)外部同期入力端子に外部同期信号を入力してから、EXTキーを押してください。外部同期信号のフォ ーマットは、自動で判別されます。

外部同期入力端子は、以下のとおりループスルーになっています。入力信号は2つの端子のどちらかに接続して、他方の端子は75Ω終端するか、他の75Ω系の機器に接続してください。他の機器に接続したときは、機器接続の末端で必ず75Ω終端します。接続ケーブルは、特性インピーダンスが75Ωのものを使用してください。



図 5-6 ループスルー

- *1 以下のフォーマットでは、外部同期信号を使用した波形表示ができません。
 - $\cdot \ 3G \ \mathcal{O} \ 720/30P, \ 720/29.97P, \ 720/25P, \ 720/24P, \ 720/23.98P$

・HD(DL)の1080/60P、1080/59.94P、1080/50P

- · 3G(DL)、3G(QL)、HD(QL)、12G(SER06/SER08)
- ・フレーム周波数 48P、47.95P

入力信号に対応する外部同期信号を∨印で以下に示します。 ∨印以外の組み合わせでは、正しく測定できません。

A J-2 パードの知らりノイー くりし 見衣 (JD、 IL	表 5-2	外部同期信号フォーマット一覧表 (SD、	HD
---------------------------------	-------	----------------------	----

\square								0	SDI	(SD	, H	D) 7	入力(言号	フォ	-7	ット	`						
		525/59.94I	625/501	1080/601	1080/59.941	1080/501	1080/30PsF	1080/29.97PsF	1080/25PsF	1080/24PsF	1080/23.98PsF	1080/30P	1080/29.97P	1080/25P	1080/24P	1080/23.98P	720/60P	720/59.94P	720/50P	720/30P	720/29.97P	720/25P	720/24P	720/23.98P
	NTSC with 10 field	v			\sim			\sim			\sim		V			\sim		V			v			V
	ID (59.94Hz)(*1)																	-					└──	
	NTSC (59.94Hz)	V			\checkmark			\checkmark					\checkmark					\checkmark			\checkmark		<u> </u>	
	PAL (50Hz)		\checkmark			\checkmark			\checkmark					\checkmark					\checkmark			\checkmark	<u> </u>	
	1080/60I			\checkmark			\checkmark																<u> </u>	
	1080/59.94I				\checkmark			\checkmark																
	1080/50I					\checkmark			\checkmark															
	1080/30PsF						\checkmark																	
7	1080/29.97PsF							\checkmark																
	1080/25PsF								\checkmark															
Ň	1080/24PsF									\checkmark														
1 大	1080/23.98PsF										\checkmark													
見	1080/30P											\checkmark												
朗信	1080/29.97P												\checkmark											
[] []	1080/25P													\checkmark										
外	1080/24P														\checkmark									
	1080/23.98P															\checkmark								
	720/60P																\checkmark							
	720/59.94P																	\checkmark						
	720/50P																		\checkmark					
	720/30P																			\sim				
	720/29.97P																				\checkmark			
	720/25P																					\sim		
	720/24P																						\checkmark	
	720/23.98P																							\checkmark

*1 入力信号が 1080/23.98PsF または 1080/23.98P のときは、自動で 10 フィールド ID を認識します。

衣 5-3 外部问期信亏ノオーマツト― 寛衣 (3G	同期信号フォーマット一覧表 (3G)
------------------------------	--------------------

		1080/60P	1080/59.94P	1080/50P	1080/601	1080/59.941	1080/501	1080/30PsF	1080/29.97PsF	1080/25PsF	1080/24PsF	1080/23.98PsF	1080/30P	1080/29.97P	1080/25P	1080/24P	1080/23.98P	720/60P	720/59.94P	720/50P
	NTSC with 10 field ID (59.94Hz)(*1)		V			V			~			V		V			~		V	
	NTSC (59.94Hz)		V			\checkmark			\checkmark					\checkmark					\checkmark	
	PAL (50Hz)			\checkmark			\checkmark			\checkmark					\checkmark					\checkmark
	1080/601	~			~			>												
	1080/59.94I		\checkmark			\checkmark			\checkmark											1
	1080/50I			\checkmark			\checkmark			\checkmark										
1	1080/30PsF							\checkmark												
	1080/29.97PsF								\checkmark											
Р К	1080/25PsF									\checkmark										
凱	1080/24PsF										\checkmark									
司期	1080/23.98PsF											\checkmark								1
高品	1080/30P												\checkmark							1
4	1080/29.97P													\checkmark						1
	1080/25P														\checkmark					1
	1080/24P															~				
	1080/23.98P																~			
	720/60P																	\checkmark		1
	720/59.94P																		\checkmark	
	720/50P																			\checkmark

*1 入力信号が 1080/23.98PsF または 1080/23.98P のときは、自動で 10 フィールド ID を認識します。

	表	5-4	外部同期信号フォーマット一覧表((12G)
--	---	-----	------------------	------	---

	\ \		SD 入力	DI (1)	2G) テフォ	サブ	イメ・ ′ット	ージ (*1)	
		1080/60P	1080/59.94P	1080/50P	1080/30P	1080/29.97P	1080/25P	1080/24P	1080/23.98P
	NTSC with 10 field		~			~			V
	10(39.94H2)(2)		V			V			
₹ T	PAL (50Hz)		•	V		•	V		
\mathbb{P}	1080/60I	\checkmark							
к Г	1080/59.94I		\checkmark						
ομς Ιμα	1080/50I			\checkmark					
司期(1080/30P				\checkmark				
\部6	1080/29.97P					\checkmark			
Ŕ	1080/25P						\checkmark		
	1080/24P							\checkmark	
	1080/23.98P								\checkmark

*1 入力信号が 12G のときは、4k のサブイメージフォーマットに対して位相差測定を行います。

*2 入力信号が 1080/23.98PsF または 1080/23.98P のときは、自動で 10 フィールド ID を認識します。

5.7.4 デジタルオーディオ信号の入出力 (SER03)



図 5-7 デジタルオーディオ入出力端子

• 入出力の切り換え

グループごと(A/B)に入出力を切り換えて使用します。 システム設定の AUDIO IN/OUT タブで、Input または Output を選択してください。 【参照】AUDIO IN/OUT タブ →「7.1.5 オーディオ入出力端子の設定 (SER03)」

• オーディオ信号の出力

グループA、グループBのいずれかを出力設定にすると、以下の信号がそれぞれ出力されます。 モニター用として使用してください。

表 5-5 オーディオ信号の出力

INPUT	CH MODE	グループ A 出力	グループ B 出力
SDI	8ch	1st GROUPと2nd GROUPの8ch	1st GROUPと2nd GROUPの8ch
	16ch	1st GROUPと2nd GROUPの8ch	3rd GROUPと4th GROUPの8ch
EXT AUDIO	8ch	- (Input)	グループ A に入力した 8ch
		グループ B に入力した 8ch	- (Input)
	16ch	- (Input)	- (Input)

5.7.5 モニター信号の出力



図 5-8 モニター出力端子

SDI 出力端子と DVI-D 出力端子からは、モニター用に本器の表示画面が出力されます。フル HD(1920×1080)対応のディスプレイに接続してください。

同期モードの選択

システム設定の MONITOR OUT タブで、内部同期または外部同期を選択できます。また、内部同 期にしたときは、出力フォーマットも選択できます。 【参照】 MONITOR OUT タブ → 「7.1.7 モニター出力端子の設定」

• SDI ルーター出力

シングルリンク時(12G と 3G-B-DS を除く)、SDI 出力端子からは表示画面のほかに、SDI INPUT に入力した信号のリクロック信号も出力できます。システム設定の MONITOR OUT タブで、INPUT ROUTER を選択してください。

INPUT ROUTER にしたときの出力チャンネルは、1 入力モード時は表示チャンネル、サイマルモード時は各測定画面の $\boxed{F \bullet 6}$ SELECT CH で選択したチャンネルです。

- 5.8 操作の基本
- 5.8.1 ファンクションメニューの表示

各項目についての設定をするにはファンクションメニューから行います。 通常、ファンクションメニューは表示されていますが、現在選択している測定キーを押すと消すこ とができます。また、システム設定の GENERAL SETUP タブで、自動で消える設定もできます。 【参照】 GENERAL SETUP タブ → 「7.2.1 一般的な設定」

測定メニューが消えたときは、以下の操作でメニューを再表示できます。

• 測定キーを押してメニュー表示

現在選択している測定キー(WFM キー、VECT キー、PIC キー、AUDIO キー、STATUS キー、 EYE キーのいずれか)を押すと、メニューが再表示します。このとき、メニュー階層はトップ階層 に戻ります。

- ファンクションキーを押してメニュー表示
 ファンクションキーを押すと、メニューが再表示します。このとき、メニュー階層は前回消えたときの階層を保持します。
- 5.8.2 ファンクションメニューの操作

ファンクションメニューの操作方法について、VECT メニューを例に説明します。

	WHITE YELLOW CYAN GREEN MAGENTA RED BLUE					
VECT INTEN 0 ±	VECT COLOR WHITE	VECT SCALE			SELECT CH 1A	up menu
F-1	F·2	F·3	F·4	F·5	F·6	F·7

図 5-9 ファンクションメニューの操作

数値の設定

上図の $\boxed{F \bullet 1}$ VECT INTEN のように数値を設定するときは、 $\boxed{F \bullet 1}$ を押してからファンクションダイヤル(F • D)を回します。数値の設定では、一部を除いてファンクションダイヤル(F • D)を押すと値が初期値に戻ります。

• 設定項目の選択

上図の $[F \circ 2]$ VECT COLOR のように、いくつかの選択肢から設定値を選択するときは、 $[F \circ 2]$ を数 回押して値を選択します。 $[F \circ 2]$ を押すごとに設定値が変わり、手を離したときに値が確定されて ポップアップが消えます。

5.8.3 マウスの操作

画面上に表示されるキーを使用することによって、マウスでもキー操作と同様の設定ができます。 キーを表示するには、マウスを接続してから画面をクリックしてください。



図 5-10 マウスの操作

• 測定画面の設定

画面上のキーとファンクションメニューを直接クリックすることで、設定できます。

ファンクションメニューの数値は、FD 右横の「+-」ボタンのほかに、数値右横の「+-」ボタンやホイールマウスでも変更できます。

プリセット機能について、画面上のキーでは「PRESET」と「MEM」に分かれています。 「PRESET」はプリセットの呼び出し、「MEM」はプリセットの登録にそれぞれ対応しています。

タブ画面の設定

画面上の項目とファンクションメニューを直接クリックすることで、設定できます。

タブ画面の数値は、FD 右横の「+-」ボタンのほかに、ホイールマウスでも変更できます。

• カーソルの移動

ビデオ信号波形のカーソルは、マウスを使用することで簡単に移動できます。

これらを移動するには、カーソルをクリックして選択してから、任意の位置でクリックします。 選択の解除は、右クリックでできます。

カーソルの一部は、ホイールマウスでも移動できます。このときは、右クリックで位置を確定できます。

• 右クリックメニュー

マウスを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。 このうち LAYOUT は、マウスがないと設定できません。

表 5-6 右クリックメニュー

メニュー	説明
ALL CLEAR	画面上のキーとファンクションメニューを非表示にします。
	画面をクリックすると、再び表示します。
KEY CLEAR	画面上のキーを非表示にします。
	画面をクリックすると、再び表示します。
MENU CLEAR	ファンクションメニューを非表示にします。
	画面をクリックすると、再び表示します。
LAYOUT	測定画面のレイアウトを作成します。
	【参照】 「6.4 測定画面のレイアウト」

5.8.4 タブメニューの操作

各項目についての設定は通常ファンクションメニューで行いますが、一部の設定では以下のような タブメニューが表示されます。

タブメニューの操作方法について、GENERAL SETUP 画面を例に説明します。

Boot Mode	Mormal		■Fast	
Capture Mode	₩Screen		■Video Frame	
Information Display				
Format	■ OFF		≪ ON	
Date	■ OFF		≪ y/m/d	≡m/d/y
	≡d/m/y			
Time	■ OFF		∉ Real Time	■LTC
	■VITC		■D-VITC	
Input	■ 0FF		#ON	
Icon	■ OFF		₩ON	
Menu Setup				
Auto Off	₹ 0FF		■ ON	
Time	Sec (1~60	9)		
Recall	≪Recall Menu		■Function Menu	
LCD Auto Off	#OFF	≣5min	≣ 30min	≡60min
FAN Speed	5 (1~5)			
Temperature Warning	■ OFF		≪ ON	

図 5-11 タブメニューの操作

• カーソルの移動

カーソルを移動するにはファンクションダイヤル(F•D)を回します。設定によっては、カーソルを 移動できない項目があります。

• タブの移動

上図のように複数のタブが存在する場合、F-2 PREV TAB と F-3 NEXT TAB でタブ間の移動を します。タブ間を移動しても設定した内容は保持されますが、F-1 COMPLETE を押すまでは確定 しません。

- チェックボックスにチェックの追加
 チェックを入れる項目にカーソルを合わせて、ファンクションダイヤル(F•D)を押します。
- 数値の入力

数値を入力する項目にカーソルを合わせて、ファンクションダイヤル(F•D)を押します。ファンク ションダイヤル(F•D)を回して数値を設定してください。再度ファンクションダイヤル(F•D)を押 すと、数値が確定します。

設定の確定

F●1 COMPLETE を押すと、すべてのタブについての設定が適用され、1 つ上の階層に戻ります。

● 設定の取り消し

F•7 up menu を押すと、すべてのタブについての設定がキャンセルされ、1 つ上の階層に戻ります。

5.8.5 キーロックの設定

本体の誤操作を防ぐために、キーロックを設定できます。キーロックを設定すると、電源スイッチを除くすべてのキー操作が無効になります。

• キーロックの設定

画面上に以下のメッセージが表示されるまで、SYS キーを長押ししてください。キーロックの設定中は、画面右上にキーロックアイコン [♀]が表示されます。



図 5-12 キーロックの設定

キーロックの解除

画面上に以下のメッセージが表示されるまで、SYS キーを長押ししてください。

KEYLOCK !! Canceled.

図 5-13 キーロックの解除

5.9 測定画面の説明

測定画面は自由にレイアウトできますが、ここでは各画面に共通の表示について説明します。





表	5-7	測定画面の説明

番号	名称	説明
1	TEMPERATURE	内部温度が上昇したときに表示します。非表示にもできます。
		【参照】 「7.3 システム情報の表示」 「7.2.1 一般的な設定」
2	ERROR	入力信号(*1)にエラーが発生したときに表示します。
		エラー検出の設定は、STATUS メニューの F•5 STATUS SETUP および
		EYE メニューの F•4 ERROR SETUP で行います。
3	マウスアイコン	USB マウスを接続したときに表示します。非表示にもできます。
		【参照】「5.5 USB デバイスの接続」「7.2.1 一般的な設定」
4	キーロックアイコン	キーロックが有効のときに表示します。非表示にもできます。
		【参照】 「5.8.5 キーロックの設定」 「7.2.1 一般的な設定」
5	USB メモリーアイコン	USB メモリーを接続したときに表示します。非表示にもできます。
		【参照】「5.5 USB デバイスの接続」「7.2.1 一般的な設定」
6	画面キー	マウスで使用する画面上のキーです。
		【参照】 「5.8.3 マウスの操作」
7	OVER HEAT	内部温度が上昇したときに「OVER HEAT」、ファンに異常が発生したときに
	FAN ALARM	「FAN ALARM」を表示します。
		これらのアラームが表示されたときはただちに本体の電源を切り、使用環境
		を確認してください。使用環境に問題がないにもかかわらず表示される場合
		は、本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。
		【参照】「7.3 システム情報の表示」
8	ファンクションメニュー	各種設定を行うためのメニューです。
		【参照】 「5.8.1 ファンクションメニューの表示」

*1 対象は、現在選択しているグループ(1A~1D または 2A~2D)の全チャンネルです。

ただし、3G-B-DS または 3G(DL)-4K の測定時は、現在表示しているチャンネルのみに対応しています。

6. 基本的な動作

6.1 入力信号の設定

ここでは、INPUT メニューの設定と入力フォーマットの表示について説明します。

6.1.1 入力モードの選択

SDI IN タブの SDI System が SD/HD/3G-A/3G-B-DL、HD Dual Link または NMI のとき、以下 の操作で入力モードを選択できます。

操作 INPUT \rightarrow F•7 DISPLAY: SINGLE / SIMUL 設定項目の説明 SINGLE: 1入力モードで動作します。 F•1 ~ F•4 で ON にした 1 つの信号を測定するモードです。 SIMUL: サイマルモードで動作します。 F•1 ~ F•4 で ON にした複数の信号を同時に測定するモードです。

DISPLAY = SINGLE





図 6-1 入力モードの選択

6.1.2 サイマル動作の選択

サイマルモードのとき、以下の操作で各チャンネルの設定方法を選択できます。 INDIVIDUALから COM に変更した場合、すべての設定は各測定画面の F•6 SELECT CH で選択し たチャンネルの設定に変わります。

操作

$INPUT \to F \bullet 6 O$	PERATE CH MODE: <u>COM</u> / INDIVIDUAL
設定項目の説明	
COM:	測定設定をチャンネル共通で行います。
	異なるフォーマットを入力したときのラインセレクトなど、一部の設定はチャ
	ンネル共通になりません。
INDIVIDUAL:	測定設定をチャンネルごとに行います。設定するチャンネルは、各測定画面の
	F•6 SELECT CH で選択します。
	STATUS メニューの ERROR CLEAR など、一部の設定はチャンネル共通となり
	ます。

6.1.3 測定グループの選択

SDI OUT タブの SDI In/Out BNC が Input のとき、以下の操作で測定グループを選択できます。 SDI IN タブの SDI System が 4K 12G のときは 1 固定となり、このメニューは表示されません。

操作		
INPUT -	→ F•5 II	NPUT GROUP: <u>1</u> / 2
設定項目の	の説明	
1:		1A~1D に入力した信号を測定します。
2:		2A~2D に入力した信号を測定します。

6.1.4 測定チャンネルの選択

以下の操作で、F•5 INPUT GROUP で選択したグループの、測定チャンネルを選択できます。

操作 (シングルリンクのとき)						
INPUT						
\rightarrow F•1 1A: ON / OFF	F•1 2A: ON / OFF					
\rightarrow F•2 1B: ON / OFF	F•2 2B: ON / OFF					
\rightarrow F•3 1C: ON / OFF	F•3 2C: ON / OFF					
\rightarrow F•4 1D: ON / OFF	F•4 2D: ON / OFF					

操作 (デュアルリンクのとき)

INPUT		
\rightarrow F•1	1A - 1B: <u>ON</u> / OFF	F•3 2A - 2B: <u>ON</u> / OFF
$\rightarrow F \bullet 2$	1C - 1D: ON / OFF	F•4 2C - 2D: ON / <u>OFF</u>

操作 (クワッドリンクのとき)

INPUT			
\rightarrow F•1	1A - 1D: <u>ON</u>	F ∙2	2A - 2D: <u>ON</u>

操作 (4K NMI のとき、SER08)

INPUT \rightarrow F•1 1 - 4: ON

操作 (NMI のとき、SER08)

INF	PUT			
\rightarrow	F •1	1:	ON	/ OFF
\rightarrow	F•2	1:	ON	/ OFF
\rightarrow	F•3	1:	ON ,	/ OFF
\rightarrow	F∙4	1:	ON ,	/ OFF

測定チャンネルは、各測定画面に表示される F•6 SELECT CH でも選択できます。 F•6 SELECT CH のはたらきは以下のとおりです。

- ・1入力モードのとき、測定チャンネルを選択します。
- SDI OUT タブの Select Out が A/B/C/D ch のとき、SDI OUTPUT(2A)から出力される信号を 選択します。
- MONITOR OUT タブの Mode が INPUT ROUTER のとき、MONITOR OUTPUT(SDI)から出力 される信号を選択します。
- INPUT メニューの F•6 OPERATE CH MODE が INDIVIDUAL のとき、設定するチャンネルを 選択します。
- ・ フレームキャプチャーデータの呼び出し先を選択します。

6.1.5 入力フォーマットのエラー表示

システム設定の SDI IN タブで設定した内容に対して、適切なフォーマットが入力されないと、フォーマットを赤色で表示したり、画面中央に INPUT FORMAT ウインドウを表示したりします。この ときは SDI IN タブの設定、入力信号、ペイロード ID を再確認してください。

フォーマットは、以下のときに赤色で表示します。

・3G(DL)-4K または 3G(QL)の 2 サンプルインターリーブで、リンクの順番が正しくないとき ・ペイロード ID が適切ではないとき

INPUT FORMAT ウインドウは、以下のときに表示します。

・マルチリンクで、SDI IN タブで設定したフォーマットが入力されていないとき



【参照】 SDI IN タブ → 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

図 6-2 入力フォーマットのエラー表示

6.2 測定信号の設定

ここでは、信号を入力してから測定画面を表示するまでの手順について、入力信号ごとに説明します。

6.2.1 SD、HD、3G-A、3G-B-DLの測定

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を SD/HD/3G-A/3G-B-DL にします。

SYS \rightarrow F•1 SIGNAL IN OU	$T \rightarrow$		
5DI INFORMAT ALARMSDI OUTAUDIO IM	V/OUTMONITOR OUT		
SDI System	■4K 3G Quad Link ■4K HD Quad Link ■HD Dual Link ■3G-B-DS	■4K 3G Dual Link #SD/HD/3G-A/3G-B-DL ■3G Dual Link	
COLORIMETRY Format Setup X2 Field Mode Payload ID	∝Payload ID ■BT-709 ≈OFF ■ON ≈Use	■BT-2020 ■DCI (SD:BT	-601, XYZ:DCI fixed)
Payload ID Not use or Division i/PsF Select Color System	Missing ⊯Square ∰Interlace ∰YCbCr 422 ■XYZ 444	■2 Sample Interleave ■Segmented Frame(PsF) ■YCbCr 444	■RGB 444
Pixel Depth XYZ Gamma Select	¤10bit ¤Bottom Zero Gamma	■12bit ■DCI Gamma	

図 6-3 SDI IN タブ

2. 入力信号が HD または 3G のときは、ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは以下の設定をします。 ・HD のとき: i/PsF Select を選択します。

・3G のとき: i/PsF Select、Color System、Pixel Depth を選択します。

【参照】 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

3. F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。 Input にすると、最大 8 系統(1A~1D、2A~2D)の信号を入力できます。 Output にすると、最大 4 系統(1A~1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子となりま

ৰ)						
SYS → SDI INFO	F•1 SIGNAL IN O	$UT \rightarrow F \bullet 2$	PREV TAB	€たは F ●3	NEXT TAB	\rightarrow
	SDI In/Out BNC Mode Select Out	■Input ≪Input Thro ≪A ch	bugh		⊊Output ■Test Signal ■A/B/C/D ch	
			G-B-DL Quad • 10bit •			
		RSquare COLOR BAR 1 RY	00% F	₩2 Sample	Interleave (200 HEX) mcr	
		展Interlock 尾OFF RIGHT 尾OFF		東ON I Dot 尾ON		
		RED ROFF		i RON Cch		
		展G1 展-20dBFS	展G2 展 - 18dBFS	⊯G3 ⊯OdBFS	¤ G4 ¤ Mute	

図 6-4 SDI OUT タブ

- 4. COMPLETE を押します。
- 5. 背面パネルの SDI INPUT に SDI 信号を入力します。

「手順3」でOutput にしたとき、2A~2D には入力しないでください。



図 6-5 SDI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

まず **F•7** DISPLAY で、単一のチャンネルを測定(SINGLE)するのか、複数のチャンネルを同時 に測定(SIMUL)するのか選択します。

次に **F•5** INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択 します。「手順 3」で Output にしたときは表示されません。



最後に $F \bullet 1 \sim F \bullet 4$ で、測定するチャンネルを ON にします。

図 6-6 測定画面

6.2.2 3G-B-DSの測定

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 3G-B-DS にします。

SYS	SYS \rightarrow F•1 SIGNAL IN OUT \rightarrow								
SDI I	N FORM	AT AL	ARMSDI OUTAUDIO	IN/OUTMONITOR	OUT				
	S	DI Sy	ystem	■4K 3G Quad	Link	■4K 3G Dual	Link		
				■4K HD Quad	Link	■SD/HD/3G-A/	'3G-B-DL		
				■HD Dual Lir	nk	■3G Dual Lin	ık		
# 3G-B-DS									
	C	OLORI	IMETRY	≓ Payload ID	■BT-709	■BT-2020	■DCI (SD:	BT-601, XYZ:DCI	fixed)
	F	ormat	t Setup						
		X2 F	ield Mode	₩ 0FF	■ ON				
		Payl	load ID	₩Use		■Not Use			
		Payl	load ID Not use o	r Missing					
				∎Square		🗰2 Sample In			
		i/	PsF Select	 finterlace		■Segmented F	rame(PsF)		
				₩YCbCr 422		₽YCbCr 444		ı∎RGB 444	
				₩XYZ 444					
				¤ 10bit		¤ 12bit			
	Х	YZ Ga	amma Select	₩Bottom Zero	o Gamma	■DCI Gamma			

図 6-7 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは i/PsF Select を選択します。 Use を選択しても、3G-B-DL 信号を入力すると 3G-B-DS 信号として認識します。 【参照】「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

3. F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。

Input にすると、最大 8 系統(1A~1D、2A~2D)の信号を入力できます。 Output にすると、最大 4 系統(1A~1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子となりま す)



SDI In/Out BNC	Input			≪ Output	
Foloct Aut		bugn		Test Signal	
Test Signal	*A Ch			■A/B/C/U Ch	
		1Abit			
	E Courses		#2 Comple		
	COLOR BAR 1		raz sampte		
		DEC(BAC HEY)		EC(200 HEX) #C-	
	Totorlock	DECIDAC HEAD		LC(200 HEA/ MCI	
	# OFF		# ON		
	RIGHT				
	#055		.u 00. #0N		
	RED				
	THE OFF				
			Cch		
	# 61	E 62	= CC1		
	WOT	M UZ		IN UT	

図 6-8 SDI OUT タブ

- 4. COMPLETE を押します。
- 5. 背面パネルの SDI INPUT に 3G-B-DS 信号を入力します。

「手順3」でOutput にしたとき、2A~2D には入力しないでください。



図 6-9 SDI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

まず **F**•5 INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択 します。「手順 3」で Output にしたときは表示されません。

次に F•1 ~ F•4 で、測定するチャンネルを ON にします。サイマルモードにはできません。



図 6-10 測定画面

6.2.3 12Gの測定 (SER06/SER08)

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 4K 12G にします。

$SYS \to F \bullet 1 \text{ SIGNAL IN OUT } \to$						
SDI INFORMAT ALARMSDI OUTHDRAUDI	O IN/OUTMONIT	OR OUT12G SD	I OUT			
SDI System	₹4K 12G					
	■4K 3G Quad	Link	∎4K 3G Dual	Link		
	■4K HD Quad Link ■SD/HD/3G-A/3G-B-DL					
	■HD Dual Link ■3G Dual Link					
	🔳 3G - B - DS					
	RNMI 4K		R NMI			
COLORIMETRY	✓Payload ID	E BT-709	■BT-2020	■DCI (SD:B]	T-601 fixed)	
Format Setup						
HFR Mode	展OFF	π ×2	¤ ×4	π ×8		
Payload ID	∀ Use		■Not Use			
Payload ID Not use or	Missing					
Division	₹Square		■2 Sample In	terleave		
i/PsF Select	π Interlace		■Segmented F			
Color System	₹YCbCr 422		∎YCbCr 444		■RGB 444	
	■XYZ 444					
Pixel Depth	∉ 10bit		∎12bit			
XYZ Gamma Select	✓Bottom Zero	Gamma	■DCI Gamma			

- 図 6-11 SDI IN タブ
- 2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは Division、Color System、Pixel Depth を選択します。

【参照】 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

- 3. COMPLETE を押します。
- 4. 背面パネルの 12G-SDI INPUT(1A~1D)に 12G 信号を入力します。

SDI OUT タブの SDI In/Out BNC を Input にしても、2A~2D に入力した信号は測定できません。



図 6-12 SDI 入力端子

5. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。



図 6-13 測定画面

* 12G-SDI 信号の測定には、12G-SDI 信号の伝送に適したケーブル、コネクターを使用してください。12G-SDI 信号に対応していない、または劣化しているケーブルやコネクターを使用すると伝送特性が著しく劣化する場合 があります。

6.2.4 HD(DL)の測定

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を HD Dual Link にします。

$SYS \rightarrow F \bullet 1 S$	IGNAL IN OU	$T \rightarrow$					
<mark>SDI IN</mark> FORMAT ALAR	MSDI OUTAUDIO I	N/OUTMONITOR (TUC				
SDI Syst	em	■4K 3G Quad	Link	■4K 3G Dual	Link		
		■4K HD Quad	Link	SD/HD/3G-A/	3G-B-DL		
		⊠HD Dual Lin	k	■3G Dual Lin	k		
■ 3G-B-DS							
COLORIME	TRY	≪Payload ID	■BT-709	■BT-2020	■DCI (SD:B]	Γ-601,	XYZ:DCI fixed)
Format S	etup						
X2 Fie	ld Mode	 ≪0FF	■ ON				
Payloa	d ID	 ∉Use		■Not Use			
Payloa	d ID Not use or	Missing					
Divi		∎Square		π 2 Sample In			
i/Ps	F Select	∉I nterlace		■Segmented F	rame(PsF)		
Colo	r System	₹YCbCr 422		∎YCbCr 444		■RGB 4	444
		■XYZ 444					
Pixe	l Depth	₹10bit		∎12bit			
XYZ Gamm	a Select	✓Bottom Zero	Gamma	■DCI Gamma			

図 6-14 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは i/PsF Select、Color System、Pixel Depth を選択します。

 Use を選択しても、HD 信号を入力すると、HD(DL)信号として認識します。

 【参照】「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

3. F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。

Input にすると、最大 4 系統(1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D)の信号を入力できます。 Output にすると、最大 2 系統(1A/1B、1C/1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子 となります)



図 6-15 SDI OUT タブ

- 4. COMPLETE を押します。
- 5. 背面パネルの SDI INPUT に HD 信号を入力します。

1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D がペアとなります。 「手順 3」で Output にしたとき、2A~2D には入力しないでください。

– SDI – INPUT INPUT/OUTPUT (2)1A (2) 2A 0 0 (f) 18 (₂) 28 0 0 (f) 10 (₂) 20 0 0 (2) 10 €**}**20 0 0

図 6-16 SDI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

まず **F•7** DISPLAY で、単一のチャンネルを測定(SINGLE)するのか、複数のチャンネルを同時 に測定(SIMUL)するのか選択します。

次に **F**•5 INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択 します。「手順 3」で Output にしたときは表示されません。





図 6-17 測定画面

3G(DL)-2K の測定 6.2.5

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 3G Dual Link にします。

SYS $ ightarrow$ F•1 SIGNAL IN OU	$JT \rightarrow$	
SDI INFORMAT ALARMSDI OUTAUDIO I	N/OUTMONITOR OUT	
SDI System	■4K 3G Quad Link	■4K 3G Dual Link
	■4K HD Quad Link	SD/HD/3G-A/3G-B-DL
	■HD Dual Link	⊠3G Dual Link
	■3G-B-DS	
COLORIMETRY	✓Payload ID ■BT-70	09 ■BT-2020 ■DCI (SD:BT-601, XYZ:DCI fixed)
Format Setup		
X2 Field Mode	ਵOFF ≡ON	
Payload ID	 ∉Use	■Not Use
Payload ID Not use or	Missing	
Division	⊼Square	🕱 2 Sample Interleave
i/PsF Select	¤ Interlace	⊯Segmented Frame(PsF)
Color System	₹YCbCr 422	■YCbCr 444 ■RGB 444
	■XYZ 444	
Pixel Depth	₹10bit	■12bit
XYZ Gamma Select	✓Bottom Zero Gamma	DCI Gamma

図 6-18 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは Color System と Pixel Depth を選択 します。

Use を選択しても、3G-A または 3G-B-DL 信号を入力すると、3G(DL)-2K 信号として認識し ます。

【参照】 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

3. F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。

Input にすると、最大4系統(1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D)の信号を入力できます。 Output にすると、最大 2 系統(1A/1B、1C/1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子 となります)

$\begin{array}{c} SYS \to F\bullet \\ \\ SDI IN FORMAT \end{array}$	1 SIGNAL IN OU ALARM <mark>5DI OUT</mark> HDRAUDI	$T \rightarrow F \bullet 2 P$	REV TAB	または F•3 I 00T	NEXT TAB	\rightarrow
CDT	To (Out RNC	Turnet			-0+	
e hoM	IN/OUT DIVE	Throw	ab		Tost Signal	
Solo		The ch			EA/R/C/D_ch	
Test						
Svs						
Str			bit .			
Fra			Ŧ			
Div		⊯Souare		¤ 2 Sample		
Pat						
		πY DE	C(3AC HEX) :	Cb DEC	C(200 HEX) ⊯Cr[
		 ∎Interlock				
Scr		₩OFF		RON		
Di						
Mov		πOFF		⊯ ON		
Co						
Pha		■ OFF		πON		
Emb		⊼ G1	R G2	R 63	π 64	
Le		🗮 - 20dBFS	🖪 - 18dBFS	⊯GdBFS	R Mute	

図 6-19 SDI OUT タブ

- 4. COMPLETE を押します。
- 5. 背面パネルの SDI INPUT に 3G-A または 3G-B-DL 信号を入力します。 1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D がペアとなります。

「手順3」でOutputにしたとき、2A~2Dには入力しないでください。



図 6-20 SDI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

まず F•7 DISPLAY で、単一のチャンネルを測定(SINGLE)するのか、複数のチャンネルを同時 に測定(SIMUL)するのか選択します。

次に F•5 INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択 します。「手順3」でOutput にしたときは表示されません。



最後に $F \bullet 1 \sim F \bullet 4$ で、測定するチャンネルを ON にします。

図 6-21 測定画面

6.2.6 3G(DL)-4K の測定

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 4K 3G Dual Link にします。

SYS –	→ F•1 SIGNAL IN OU	JT →						
SDI IN <mark>F</mark> (ORMAT ALARMSDI OUTAUDIO I	EN/OUTMONITOR	OUT					
	SDI System	■4K 3G Quad	Link	₩4K 3G Dual	Link			
		■4K HD Quad	Link	■SD/HD/3G-A/	3G-B-DL			
		■HD Dual Lin	k	■3G Dual Lin	k			
		■3G-B-DS						
	COLORIMETRY	✓Payload ID	■ BT - 709	■BT-2020	■DCI (SD:B	T-601, XYZ:DCI ·	fixed)	
	Format Setup							
	X2 Field Mode	 ∉0FF	■ ON					
	Payload ID	∉ Use		■Not Use				
	Payload ID Not use or	• Missing						
	Division	₹Square		■2 Sample In	terleave			
		∎Interlace		■Segmented F				
		∎YCbCr 422		¤ YCbCr 444		R RGB 444		
		₩XYZ 444						
		¤ 10bit		¤ 12bit				
	XYZ Gamma Select	✓Bottom Zero	Gamma	■DCI Gamma				

図 6-22 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは Division を選択します。 Use を選択しても、3G-B-DL 信号を入力すると、3G-B-DS 信号として認識します。 【参照】「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

3. F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。

Input にすると、最大 4 系統(1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D)の信号を入力できます。 Output にすると、最大 2 系統(1A/1B、1C/1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子 となります)



図 6-23 SDI OUT タブ

- 4. COMPLETE を押します。
- 5. 背面パネルの SDI INPUT に 3G-B-DS 信号を入力します。

1A/1B、1C/1D、2A/2B、2C/2D がペアとなります。 「手順 3」で Output にしたとき、2A~2D には入力しないでください。

SDI	
INPUT	INPUT/OUTPUT
(? <u>.</u>) 1A	(-) 2A
Ű	
(}) 18	(})2B
\bigcirc	\bigcirc
\bigcirc	
\square	
(f) 1D	(f) 2D
(\circ)	(0)

図 6-24 SDI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

まず **F**•5 INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択 します。「手順 3」で Output にしたときは表示されません。

次に $F \bullet 1 \sim F \bullet 4$ で、測定するチャンネルを ON にします。サイマルモードにはできません。



図 6-25 測定画面

6.2.7 HD(QL)の測定

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 4K HD Quad Link にします。

SYS	\rightarrow	F ●1	SIGNAL IN OU	$JT \rightarrow$						
SDI I	NFORM	AT AI	LARM <mark>SDI OUT</mark> AUDIO I	N/OUTMONITOR	OUT					
	SDI System			■4K 3G Quad ■4K HD Quad ■HD Dual Lin ■3G-B-DS	Link Link k	■4K 3G Dual Link ■SD/HD/3G-A/3G-B-DL ■3G Dual Link				
	C	OLOR	IMETRY t Setup Field Mode	≪Payload ID	■ BT - 709	■ BT - 2020	■DCI (SD:R	3T-601,	XYZ:DCI fixed)	
		Pav	load TD	Tellso	EON	₽Not Use				
		Pav	load ID Not use or	Missing						
	Division i/PsF Select			⊯Square ⊯Interlace		≢2 Sample Interleave ≢Segmented Frame(PsF)				
				⊯ĭldlr 422 ⊯XYZ 444		RYLDLF 444		RKGB		
				π 10bit		π 12bit				
	Х	YZ G	amma Select	⊯Bottom Zero	Gamma	∎DCI Gamma				

図 6-26 SDI IN タブ

F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。
 Input にすると、最大 2 系統(1A~1D、2A~2D)の信号を入力できます。
 Output にすると、1 系統(1A~1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子となります)

SYS	\rightarrow	F•1	SIGNAL	. IN	OUT	\rightarrow	F•2	PREV	TAB	または	F•3	NEXT TA	$B \rightarrow$	
DI I	VFORM	AT AL	ARM <mark>SDI OU</mark>	THDR	AUDIO	IN/OU	TMON	ITOR OU	12G SD	I OUT				
	S	DI In	n/Out BNC			Input]					∀ 0utput		
	М	ode				Input	Thr	ough				■Test Signa	ลไ	
					R							■A/B/C/D ch		
					R					■ 2 Sa				
					π				HEX) 🕫			(200 HEX) 🛒		
					π									
					R					₩ON				
					R					πON				
					π					πON				
					R			R G2		₩ 63		R G4		
					展			R - 18		₩0dBl		 ∎Mute		

図 6-27 SDI OUT タブ

- 3. COMPLETE を押します。
- 4. 背面パネルの SDI INPUT に HD 信号を入力します。

「手順3」でOutput にしたとき、2A~2D には入力しないでください。



図 6-28 SDI 入力端子

5. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

F•5 INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択します。「手順 2」で Output にしたときは表示されません。



図 6-29 測定画面

6.2.8 3G(QL)の測定

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 4K 3G Quad Link にします。

SYS	\rightarrow	F ●1	SIGNAL IN	SIGNAL IN OUT \rightarrow										
SDI I	N FOR⊮	AT AI	LARM <mark>SDI OUT</mark> AU	IDIO IN	V/OUTMONITOR	OUT								
	SDI System				<mark>₩4K 3G Quad</mark> ■4K HD Quad ■HD Dual Lin ■3G-B-DS	Link Link Nk	■4K 3G Dual Link ■SD/HD/3G-A/3G-B-DL ■3G Dual Link							
	(F	OLOR orma X2 I	IMETRY t Setup Field Mode		≪Payload ID ≪OFF	■ BT - 709 ■ ON	■BT-2020	■DCI (SD:B	T-601,	XYZ:DCI fixed)				
		Pay	Load ID Load ID Not u	co or	₩Use Missing		■Not Use							
	>	Pi Co Pi	ivision (PsF Select olor System ixel Depth amma Select	50-01	FSquare FInterlace FYCbCr 422 FXYZ 444 €10bit €Bottom Zerc	o Gamma	■2 Sample In #Segmented F ■YCbCr 444 ■12bit ■DCI Gamma	terleave rame(PsF)	■ RGB	444				

図 6-30 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択してから、Not Use のときは Division、Color System、Pixel Depth を選択します。

Use を選択しても、3G-B-DS 信号を入力すると、3G-B-DL 信号として認識します。 【参照】 「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

3. F•2 PREV TAB または F•3 NEXT TAB を押して、SDI In/Out BNC を選択します。

____ Input にすると、最大 2 系統(1A~1D、2A~2D)の信号を入力できます。 Output にすると、1 系統(1A~1D)の信号を入力できます。(2A~2D は出力端子となります)

SYS → F•1 SIGNAL IN OUT → F•2 PREV TAB \equiv たは F•3 NEXT TAB →

SDI In/Out BNC	Input			∉ 0utput	
Mode	∉ Input Thr	bugh		■Test Signa	l
	¤ A ch			■ R A/B/C/D ch	
	■Square		π 2 Sample		
	πΥ	DEC(3AC HEX)	🛙 Cb 📃 DE	EC(200 HEX) 🗖 C	
	∏πInterlock				
	ROFF		RON		
	ROFF		RON		
	ROFF		RON		
	¤ G1	R G2	R G3	¤ 64	
	■ -20dBFS	🗮 - 18dBFS	₩0dBFS	 ■Mute	

図 6-31 SDI OUT タブ

- 4. COMPLETE を押します。
- 背面パネルの SDI INPUT に 3G-A または 3G-B-DL 信号を入力します。
 「手順 3」で Output にしたとき、2A~2D には入力しないでください。



図 6-32 SDI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。

F•5 INPUT GROUP で、1A~1D を測定(1)するのか、2A~2D を測定(2)するのか選択します。「手順 3」で Output にしたときは表示されません。



図 6-33 測定画面

6.2.9 4K NMI の測定 (SER08)

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を 4K NMI にします。

SYS	\rightarrow	F ∙1	SIGNAL IN OU	$IT \rightarrow$						
SDI I	NMI	INF0	RMAT ALARMSDI OUTM	IONITOR OUTNMI	SETUP1NMI SE	ETUP2				
	5	SDI S	ystem	■4K 12G						
				■4K 3G Quad	Link	∎4K 3G Dual	Link			
				■4K HD Quad	Link	■SD/HD/3G-A/	3G-B-DL			
				■HD Dual Lin	ık	■3G Dual Lin	k			
				■3G-B-DS						
				₹4K NMI		m NMI				
	(OLOR	IMETRY	 <i>∎</i> Payload ID	■BT-709	■BT-2020	■DCI (SD:B	T-601 fixed)		
	F	orma	t Setup							
		Pay	load ID	 ✓Use		■Not Use				
		Pay	load ID Not use or	Missing						
		D:	ivision			<pre>Z Sample Interleave</pre>				
		i,	/PsF Select	√ Interlace						
		Co	olor System	✔YCbCr 422						
		_		ℝ XYZ 444						
		P:	ixel Depth	√ 10bit		ℝ 12bit				
				ℝ Bottom Zero		ℝ DCI Gamma				

図 6-34 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択します。Division は 2 Sample Interleave、i/PsF Select は Interlace、Color System は YCbCr 422、Pixel Depth は 10bit に固定になります。 Use を選択しても、4K NMI 信号を入力すると、4K NMI 信号として認識します。 【参照】「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

- 3. COMPLETE を押します。
- 4. 背面パネルの NMI に 4K NMI 信号を入力します。



図 6-35 NMI 入力端子

5. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。



図 6-36 測定画面
6.2.10 NMI の測定 (SER08)

1. システム設定の SDI IN タブで、SDI System を NMI にします。

SYS	\rightarrow	F ∙1	SIGNAL IN OUT \rightarrow					
SDI I	NMI	INFO	RMAT ALARMSDI OUT	MONITOR OUTNMI	I SETUP1NMI S	ETUP2		
	S	DI S	ystem	■4K 12G				
				■4K 3G Quad	Link	∎4K 3G Dual	Link	
				■4K HD Quad	Link	■SD/HD/3G-A/	'3G-B-DL	
				■HD Dual Lir	۱k	■3G Dual Lin	ık	
				■3G-B-DS				
				■4K NMI		✓NMI		
	C	OLOR	IMETRY	✓Payload ID	■BT-709	■BT-2020	■DCI (SD:B	T-601 fixed)
	F	ormat	t Setup					
		Payl	load ID	 ✓Use		∎Not Use		
		Payl	load ID Not use o	r Missing				
		Di	ivision			😴2 Sample In	iterleave	
		i/	/PsF Select	 ✓Interlace				
		Co	olor System	₹YCbCr 422				
				R XYZ 444				
		Pi	ixel Depth	₹10 bit				

図 6-37 SDI IN タブ

2. ペイロード ID の設定をします。

Use または Not Use を選択します。Division は 2 Sample Interleave、i/PsF Select は Interlace、Color System は YCbCr 422、Pixel Depth は 10bit に固定になります。 Use を選択しても、NMI 信号を入力すると、NMI 信号として認識します。 【参照】「7.1.1 SDI 入力端子の設定」

- 4. COMPLETE を押します。
- 5. 背面パネルの NMI に NMI 信号を入力します。



図 6-38 NMI 入力端子

6. INPUT キーを押して、測定するチャンネルを選択します。



図 6-39 測定画面

6.3 測定モードの選択

測定画面には、WFM、VECT、PIC、AUDIO、STATUS、EYE の6種類と、これらを組み合わせた MULTI があります。前面パネルの測定キーを押してください。

6.3.1 ビデオ信号波形表示

WFM キーを押すと、ビデオ信号波形が表示されます。

選択したラインの波形を表示するラインセレクト表示、RGB表示、疑似コンポジット表示などができます。



図 6-40 ビデオ信号波形表示

6.3.2 ベクトル波形表示

VECT キーを押すと、ベクトル波形が表示されます。

ラインセレクト表示、マーカー表示、疑似コンポジット表示、5 バー表示、CIE 色度図表示(SER05) などができます。



図 6-41 ベクトル波形表示

6.3.3 ピクチャー表示

PIC キーを押すと、ピクチャーが表示されます。 モノクロ表示、マーカー表示、ラインセレクト表示、フォーカスアシスト表示(SER04)などができ ます。



図 6-42 ピクチャー表示

6.3.4 オーディオ表示 (SER03)

AUDIO キーを押すと、オーディオが表示されます。(SER03 が実装されていないとき、AUDIO キーは無効です)

F●1 MAPPING で選択した信号の、リサージュ表示、サラウンド表示、メーター表示、ステータス表示などができます。



図 6-43 オーディオ表示

6.3.5 ステータス表示

STATUS キーを押すと、ステータスが表示されます。 イベントログ表示やデータダンプ表示などができます。

A CH DETECT 1	020-1000/00 047 10			LIIIDCUUCU	AUGIO	
	920X1080/59.941 HD	-13.0ppm		1,2,3,4,	5,6,7,8,9,10,1	1,12,13,14,15,16
	1A CH	ANC			1A	СН
CRC	0	Che	ck Sum		0	
TRS Pos	θ	Par	ity		Θ	
TRS Code	θ					
ILLEGAL Code	Θ					
Line Number	θ					
Embedded Audio	1A CH	Vid	eo Quarity		1A	СН
ВСН	θ	Fre	eze			
Parity	0	Bla	ck			
DBN	0					
Inhibit	θ					
Audio Sample	0					

図 6-44 ステータス表示

6.3.6 アイパターン表示 (SER02/SER09)

EYE キーを押すと、アイパターンが表示されます。(SER02/SER09 が実装されていないとき、EYE キーは無効です)

F●2 MODE を切り換えることによって、アイパターンのほかにジッターも表示できます。 サイマルモードには対応していません。また、2A~2D に入力した信号は表示できません。



図 6-45 アイパターン表示

6.3.7 マルチ表示

MULTI キーを押すと、各測定画面を組み合わせたマルチ画面が表示されます。 $F \bullet 1$ LAYOUT SELECT を切り換えることで、5 種類のレイアウトを選択できます。 各測定画面の設定は、 $F \bullet 2$ MULTI WFM ~ $F \bullet 7$ MULTI EYE で行います。

• USER 1

• USER 2

ベクトル波形、ビデオ信号波形、ステータス、ピクチャーを4分割して表示します。



図 6-46 マルチ表示 (USER 1)



ピクチャーをメインに、ビデオ信号波形とベクトル波形をサムネイルとして表示します。

図 6-47 マルチ表示 (USER 2)

• USER 3



ベクトル波形をメインに、ビデオ信号波形とピクチャーをサムネイルとして表示します。

図 6-48 マルチ表示 (USER 3)

• USER 4

ピクチャー、ビデオ信号波形、ベクトル波形を縦に並べて表示します。 サイマルモードに適しています。



図 6-49 マルチ表示 (USER 4)

• USER 5

```
ピクチャーとビデオ信号波形を縦に並べて表示します。
サイマルモードに適しています。
```



図 6-50 マルチ表示 (USER 5)

6.4 測定画面のレイアウト

WFM、VECT、PIC、AUDIO、STATUS、EYE キーを押したときの測定画面(各1種類)、および MULTI キーを押したときの測定画面(5種類)は、自由にレイアウトの変更ができます。前面パネルま たは背面パネルの USB 端子にマウスを接続してから、操作してください。

変更したレイアウトは、設定の初期化を行っても初期化されません。初期化したいときは、以下のいず れかを行ってください。

【参照】 「7.7 初期化」

SYS メニューの「LAYOUT INIT YES」:	すべてのレイアウトを初期化
SYS メニューの「ALL INIT YES」:	すべてのレイアウトを初期化
出荷時設定:	すべてのレイアウトを初期化
レイアウトウインドウの「DEFAULT LAYOUT」	: 選択した測定画面のレイアウトを初期化

- 6.4.1 注意事項
 - 配置できるアイテム数は、最大で「64÷測定チャンネル数(1~4)」となります。
 ここでアイテムとは、Main タブおよび Sub タブのアイテムのほかに、Option タブの Format、
 Input、Time も含みます。

6.4.2 レイアウト手順

ここでは例として、マルチ表示(ユーザー1)のレイアウトを変更する手順を、以下の流れで説明します。

- a) レイアウト画面の表示
- b) 画面右上の TIME を DATE に変更
- c) ベクトル波形をピクチャーに重ねる
- d) オーディオを追加
- e) ステータスに TIME を追加
- f) 変更の確定

変更前







図 6-51 マルチ表示のレイアウト

```
a) レイアウト画面の表示
```

1. MULTI キーを押し、F•1 LAYOUT SELECT を USER 1 にします。

マルチ表示には5つのレイアウトがあり、USER 1~USER 5を選択することによって切り換えられます。

2. 測定画面上で右クリックし、LAYOUT をクリックします。

レイアウト画面が表示されます。

100	out Setup (Mode : USEX I)	<u> </u>	INPUT	10 - 1500 TIME
Select Item : VECT	/ SBAR / HIST / CIE		A = 1900 X0 = 960 Y0 = 560 X1 = 1920 Y1 = 560	41 2. Topa
Add Item Main Sub WFM PIC VECT AUDIO STATUS	Item Setting Irea Option Style View Area X0 : 0 X1 : 900 X1 : 900 Y1 : 900 X0 : CCT/SBAR/HST/CIE	, cie	y1 = 600 (wigth = 540 } (FORWATIOFF, IMPUT:OFF, TIME:OFF, BG:OFF (STVLE:ALIGN:H) V) /FM
DELETE	• VECT • 5BAR • HIST • CIE		X0 = 960 y0 = 660 x1 = 1920 (width = 960, height = 480) (width = 960, height = 480)	
Grid Size :	DEFAULT LAYOUT		(STYLE:ALIGN:H) F	PIC

図 6-52 レイアウト画面

b) 画面右上の TIME を DATE に変更

3. 画面右上の TIME アイテムをクリックします。

枠の色と文字が水色に変わり、レイアウトウインドウの Select Item に TIME と表示されます。これは、TIME アイテムが選択されていることを示します。

- DELETE をクリックします。
 TIME アイテムが削除されます。
- Sub タブの DATE をクリックします。
 DATE アイテムが表示されます。

6. DATE アイテムを TIME アイテムがあった場所に配置します。

アイテムを移動するには、アイテムをドラッグします。 アイテムのサイズを変更するには、アイテム四隅の緑枠をドラッグします。 いずれも、レイアウトウインドウの Grid Size で選択したグリッドにスナップします。

アイテムの移動やサイズ変更は、Area タブでも設定できます。 画面左上の座標を(0,0)、右下の座標を(1920,1080)として、アイテム左上の座標(x0,y0)と 右下の座標(x1,y1)を設定してください。 最小サイズは 90×60 です。 レイアウトウインドウが邪魔になる場合は、ウインドウを移動したり、閉じたりします。閉じ たウインドウを再び表示させるには、レイアウト画面上でダブルクリックしてください。

複数のアイテムが重なっている場合、背面のアイテムを選択できないことがあります。このと きは、Main タブまたは Sub タブのアイテムをクリックしてください。選択したアイテムが最 前面に表示されます。

c) ベクトル波形をピクチャーに重ねる

- VECT アイテムを選択し、Option タブの Background Transparent をクリックします。
 Background Transparent とは、ピクチャーと重ねたときに、背景を透過するかどうかの項目 です。
- VECT アイテムをピクチャーの上に配置します。
 必要に応じて、任意のサイズに変更します。

d) オーディオを追加

9. Main タブの AUDIO をクリックします。

AUDIO アイテムが表示されます。 SER03 が実装されていなくてもアイテムは配置できますが、メッセージ「Not installed.」が 表示されます。

10. AUDIO アイテムを VECT アイテムがあった場所に配置します。

e) ステータスに TIME を追加

- 11. STATUS アイテムをクリックします。
- 12. Option タブの Time をクリックします。

Sub タブの TIME が自由な位置に配置できできるアイテムであることに対し、Option タブの Time は選択したアイテムの上部に表示される情報となります。表示位置やサイズは変更できま せん。

f) 変更の確定

13. レイアウト画面上で右クリックし、COMPLETE をクリックします。

測定画面に戻ります。 CANCELをクリックすると、それまでに設定した内容はキャンセルされます。

6.4.3 レイアウト画面の説明

	1	_		2		
	Layout Setup (Mode = USER 1)		k9 - 960 yay- 9	INPUT	0 - 1500	TIME
Select Item : VE	CT / 5BAR / HIST / CIE		x0 = 960		1 = 197h	
Display Mode :	○NORMAL ® TILE ○ ALIGN-H ○ ALIGN-V		$y\theta = 6\theta$ x1 = 1920 y1 = 600			
Add Item	Item Setting		(widin = 960,	, neight = 540 }		
Main Sub	Area Option Style		{ FORMAT:OFF, I { STYLE:ALIGN:F	INPUT:OFF, TIME:OFF, BG:O		
WEM	View Area					
PIC	x6 : 0	CIE			WFM 🔍	
VECT	y1 : 600 ÷					
AUDIO	Add Condition					
STATUS	VECT AUDIO STATUS EYE * VECT/SBAR/HIST/CIE					
EYE	○ VECT		x0 = 960			[
DELETE	o HIST		y0 = 600 x1 = 1920 y1 = 1080			
	• CIE		{ width = 960, { FORMAT:OFF, I	, height = 480 } ENPUT:OFF, TIME:OFF }		
	DEFAULT LAYOUT		{ STYLE:ALIGN:F			
Grid Size :	∴ 10×10 * 30×30				PIC	
		J				
			3			
			5			

図 6-53 レイアウト画面

1 レイアウトウインドウ

レイアウトの作成に使用します。 ウインドウ上部の Mode には WFM や USER 1~USER 5 などが表示され、現在の測定モード を確認できます。 ウインドウをドラッグすると移動、右上の × をクリックすると閉じることができます。閉じ たウインドウを再び表示させるには、レイアウト画面上でダブルクリックしてください。

2 アイテム

Main タブや Sub タブで選択したアイテムを表示します。 枠内には、Item Setting で設定した内容が表示されます。 選択すると、枠の色が白から水色に変わります。

3 メニューガイド

この位置にファンクションメニューが表示されます。 アイテム配置時の目安としてください。



6. 基本的な動作



4 Select Item

現在選択しているアイテムを表示します。

5 Display Mode / Style

サイマルモードのときの表示形式を選択します。 Display Mode は画面全体に対して、Style は選択したアイテム対しての設定です。

Display Mode が NORMAL 以外のときや、選択したアイテムが AUDIO または EYE のとき、 Style は選択できません。

また、選択したアイテムが VECT(5BAR)、VECT(HIST)、VECT(CIE)、STATUS、Sub タブ内のアイテムのとき、Style の MIX は選択できません。

Display Mode が NORMAL 以外のときは、AUDIO または EYE アイテムを配置しても、サイマルモードで複数チャンネルを表示していると、「Not supported.」と表示され、機能しません。

たとえば、1入力モードで以下のような画面があった場合、サイマルモードにしたときの表示 は、Display Mode によって以下のように変わります。



図 6-55 1入力モード

・Display Mode が NORMAL のとき

アイテムの中でチャンネルごとに分割して表示します。分割形式は Style で選択します。



ALIGN-V (縦に並べて表示)

ALIGN-H (横に並べて表示)

図 6-56 ノーマル表示

・Display Mode が TILE のとき

画面をチャンネルごとに分割して表示します。



Cch

図 6-57 タイル表示

・Display Mode が ALIGN-H のとき

画面をチャンネルごとに分割して横に並べて表示します。



図 6-58 ALIGN-H 表示

・Display Mode が ALIGN-V のとき

画面をチャンネルごとに分割して縦に並べて表示します。



図 6-59 ALIGN-V 表示

6 Main

測定のためのアイテムです。

• WFM

ビデオ信号波形を表示します。

• PIC

ピクチャーを表示します。

 \cdot VECT

VECT タブの表示モードを選択してからクリックすることで、ベクトル波形を表示します。CIE 色度図表示(SER05)の場合は、ほかのアイテムに重なるように配置すると、正しく表示しません。

· AUDIO

AUDIO タブの表示モードを選択してからクリックすることで、オーディオを表示します。 SER03 が実装されていないときは、メッセージ「Not installed.」を表示します。

• STATUS

STATUS タブの表示モードを選択してからクリックすることで、ステータスを表示します。

• EYE

EYE タブの表示モードを選択してからクリックすることで、アイパターンやジッターを表示します。

SER02/SER09 が実装されていないときは、メッセージ「Not installed.」を表示します。

7 Sub

情報表示のためのアイテムです。

• FORMAT

フォーマット(1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD など)を表示します。 配置しておくと、システム設定の GENERAL SETUP タブでもオンオフできます。 通常は白色で表示されますが、適切なフォーマットが入力されないと赤色に変わります。

• INPUT

入力信号(SDI 1A など)を表示します。 配置しておくと、システム設定の GENERAL SETUP タブでもオンオフできます。

 \cdot TIME

時刻(TIME: 00:00:00 など)を表示します。 配置したときの表示形式は、システム設定の GENERAL SETUP タブで選択できます。

• DATE

日付(DATE: 2000/01/01 など)を表示します。 配置したときの表示形式は、システム設定の GENERAL SETUP タブで選択できます。 サイマル表示にしても、画面上には 1 点しか表示されません。

8 Area

選択したアイテムの位置と大きさを設定します。 画面左上の座標を(0,0)、右下の座標を(1920, 1080)として、(x0, y0)がアイテム左上の座 標、(x1, y1)がアイテム右下の座標となります。 数値は、▲▼ボタンまたはホイールマウスで変更できます。

9 Option

選択したアイテムに対するオプションを設定します。

Format

フォーマット表示(1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD など)をオンオフします。 AUDIO アイテム、EYE アイテム、Sub タブ内のアイテムには表示できません。 オンにしておくと、システム設定の GENERAL SETUP タブでもオンオフできます。 通常は白色で表示されますが、適切なフォーマットが入力されないと赤色に変わります。

• Input

入力信号表示(SDI 1A など)をオンオフします。 AUDIO アイテム、EYE アイテム、Sub タブ内のアイテムには表示できません。 オンにしておくと、システム設定の GENERAL SETUP タブでもオンオフできます。

• Time

時刻表示(TIME: 00:00:00 など)をオンオフします。 AUDIO アイテム、EYE アイテム、Sub タブ内のアイテムには表示できません。 オンにしたときの表示形式は、システム設定の GENERAL SETUP タブで選択できます。

Background Transparent

ピクチャーと重ねたときの、背景の透過率を選択します。 オンにすると 100%透過、オフにすると 50%透過となります。 PIC アイテムには設定できません。

10 VECT

VECT アイテムの表示モードを選択します。VECT アイテムをクリックする前に選択してください。

VECT / HIST / CIE	通常のベクトル波形表示です。ベクトル波形、ヒストグラム、CIE 色度図を切
	り換えて表示します。
	以下のアイテムとは同時に配置できません。以下のアイテムを配置したいとき
	は、このアイテムを削除してから配置してください。
VECT	ベクトル波形を表示します。
5BAR	5 バーを表示します。
HIST	ヒストグラムを表示します。
CIE	 CIE 色度図を表示します。
	SER05 がインストールされていないときは、メッセージ「Not installed.」を
	表示します。



たとえば「VECT」と「HIST」を配置することで、これらを同時に表示できます。

図 6-60 ベクトル波形表示

11 AUDIO

AUDIO アイテムの表示モードを選択します。AUDIO アイテムをクリックする前に選択してください。

LEVEL BAR + etc.	通常のオーディオ表示です。リサージュ、サラウンド、メーター、ステータス
	を切り換えて表示します。
	以下のアイテムとは同時に配置できません。以下のアイテムを配置したいとき
	は、このアイテムを削除してから配置してください。
LEVEL BAR	メーターを表示します。
	16ch 測定時、「LISSAJOU」、「STATUS」、「SURROUND」と同時に配置する
	と、正しく表示できません。
LISSAJOU	リサージュを表示します。
	「STATUS」、「SURROUND」とは同時に配置できません。
	16ch 測定時、「LEVEL BAR」と同時に配置すると、正しく表示できません。
STATUS	ステータスを表示します。
	「LISSAJOU」、「SURROUND」とは同時に配置できません。
	16ch 測定時、「LEVEL BAR」と同時に配置すると、正しく表示できません。
SURROUND	サラウンドを表示します。
	「LISSAJOU」、「STATUS」とは同時に配置できません。
	16ch 測定時や、エンベデッドオーディオ測定時のサイマルモードのときは、正
	しく表示できません。

12 STATUS

STATUS アイテムの表示モードを選択します。STATUS アイテムをクリックする前に選択して ください。

STATUS ALL	通常のステータス表示です。エラーカウント、データダンプなどを切り換え						
	て表示します。						
	以下のアイテムとは同時に配置できません。以下のアイテムを配置したいと						
	きは、このアイテムを削除してから配置してください。						
STATUS ERROR	エラーカウントを表示します。						
DATA DUMP	データダンプを表示します。						
EVENT LOG	イベントログを表示します。						
EXT REF	位相差を表示します。						
	入力信号が 12G のときは、メッセージ「Not supported.」を表示します。						
ANC PACKET アンシラリパケットの概要を表示します。							
SUMMARY							
ANC	以下のいずれかを表示します。						
	・STATUS EDH: EDH 表示						
	・STATUS PAYLOAD: ペイロード ID 表示						
	・STATUS CONTROL: オーディオコントロールパケット表示						
	・STATUS ARIB CC: クローズドキャプション表示						
	・STATUS ARIB NETQ: NET-Q表示						
	・STATUS ARIB TRIG: データトリガ表示						
	・STATUS ARIB USER1: ユーザーデータ 1 表示						
	・STATUS ARIB USER2: ユーザーデータ2表示						
	・STATUS SMPTE AFD: AFD 表示						
	・STATUS SEARCH: アンシラリパケットの検索表示						

たとえば「DATA DUMP」、「EXT REF」、「ANC STATUS SEARCH」を配置することで、これら を同時に表示できます。

DATA DUMP	LI	VE No.1							-Advan	ce	
	SA	IPLE		Cb/Cr	CURREN	NT PHASE					
[EAV]		920>	3FF	3FF	-110 Lines	1.550 us					
[EAV]	<1	921>	000	000	TOTAL PH	-230 pixet	- Advar	ICP.	0	+Delav	
[EAV]		922>	608	000	-1633	2.810 us					
[EAV]		923>	2D8	2D8							
LN LN		924>	204	204							
LN LN		925>	200	200	REF SDI 1/						
CRC CRC		926>	288	2F7				+Delay			
CRC CRC	<1	927>	23C	1E8							
		928>	040	200							
	<1	929>	040	200	CUSTOM SELECT	ED ANC PACKET					
		930>	040	200	INTERFACE	LINE No. S	9 160				
	<1	931>	040	200		0EN DC	200 168				
		932>	040	200			201 200 200				
		933>	040	200			209				
		934>	040	200			200				
		935>	040	200			200 200				
		936>	040	200	10 11		200				
		937>	040	200		CHECKSON	258				
		938>	649	200							
		939>	040	200							
EVE	ENT DG	ANA	DI LYSIS	ANC DATA VIEWER	ANC PACKET	STATUS	5	SELE CH	CT I	ERRO	R R

図 6-61 ステータス表示

13 EYE

EYE アイテムの表示モードを選択します。EYE アイテムをクリックする前に選択してください。

EYE / JITTER	通常のアイパターン表示です。アイパターンとジッターを切り換えて表示します。
	以下のアイテムとは同時に配置できません。以下のアイテムを配置したいときは、こ
	のアイテムを削除してから配置してください。
EYE	アイパターンを表示します。
JITTER	ジッターを表示します。

たとえば「EYE」と「JITTER」を配置することで、これらを同時に表示できます。



図 6-62 アイパターン表示

14 DELETE

選択したアイテムを削除します。

15 DEFAULT LAYOUT

レイアウトを、各測定モードで決められた初期設定に戻します。ただし、Grid Size は戻りません。

16 Grid Size: 10x10 / 30x30

グリッドのサイズを選択します。 アイテムの移動やサイズ変更の際は、ここで設定したグリッドにスナップします。 7. システム設定

システム設定では、本体やユニットに関する設定ができます。 SYS キーを押して、SYS メニューから設定してください。



7.1 入出力端子の設定

入出力端子の設定は、SYS メニューの F•1 SIGNAL IN OUT で行います。

7.1.1 SDI 入力端子の設定

SDI IN タブでは、背面パネルの SDI INPUT に入力する SDI 信号、または NMI に入力する IP(NMI)信号のフォーマットについて設定します。

$SYS \rightarrow F \bullet 1$ SIGNAL IN OU	$JT \rightarrow$		
DI INFORMAT ALARMSDI OUTHDRAUD	O IN/OUTMONITOR OUT12G S	DI	
SDI System	■4K 12G		
	■4K 3G Quad Link	■4K 3G Dual	Link
	■4K HD Quad Link	SD/HD/3G-A/	3G-B-DL
	■HD Dual Link	■3G Dual Lin	k
	■3G-B-DS		
	₩NMI 4K	R NMI	
COLORIMETRY	≪Payload ID ■BT-709	■ BT - 2020	■DCI (SD:BT-601 fixed)
Format Setup			
HFR Mode	₩0FF ■x2	■x4	■x8
Payload ID	duse	■Not Use	
Payload ID Not use or	Missing		
	¤ Square	π 2 Sample In	terleave
i/PsF Select	 ✓Interlace	■Segmented F	rame(PsF)
Color System	₹YCbCr 422	∎YCbCr 444	■RGB 444
	■XYZ 444		
Pixel Depth	₹10bit	■12bit	
XYZ Gamma Select		∎DCI Gamma	

図 7-2 SDI IN タブ

• SDI System

入力フォーマットを選択します。

4K 12G / 4K 3G Quad Link / 4K 3G Dual Link / 4K HD Quad Link / SD/HD/3G-A/3G-B-DL / HD Dual Link / 3G Dual Link / 3G-B-DS / 4K NMI / NMI

• COLORIMETRY

ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ピクチャー表示、CIE 色度図表示(SER05)に使用する カラリメトリを選択します。

XYZ 入力時に、BT-709 または BT-2020 と、DCI との間で設定を変更すると、F•1 COMPLETE を押したときに、メッセージ「TONE CURVE SETUP」が 10~20 秒程度表示されます。

現在適用しているカラリメトリは、ベクトル波形表示と CIE 色度図表示(SER05)にシアンで表示 します。Payload ID を選択した場合、3G(QL)、3G(DL)-4K、4K NMI および NMI では、すべて のリンクのカラリメトリが一致していないと黄色で表示します。

カラリメトリの選択にかかわらず、SD入力時は BT.601 で動作します。

ピクチャー表示では、本器の LCD で適用されたカラリメトリの色域を表現できるものではありません。

Payload ID:	SDI System が 4K 12G、4K 3G Quad Link、4K 3G Dual Link で、2 サン プルインターリーブ方式の場合、または SDI System が 4K NMI、NMI の場 合、ペイロード ID から BT.2020 を自動識別して動作します。スクエア方 式、または BT.2020 以外の場合は、BT.709 で動作します。
BT-709:	BT.709 で動作します。
BT-2020:	BT.2020 で動作します。
DCI:	DCI で動作します。

• HFR Mode

SDI System が SD/HD/3G-A/3G-B-DL または HD Dual Link のとき、フォーマットの表示形式 を選択します。フォーマットを HFR(High Frame Rate)に対応した表記に変換して表示できま す。SDI System が 4K NMI または NMI のときは選択できません。

OFF / x2 / x4 / x8

x2、x4、x8 を選択したときの表示形式を以下に示します。「-」の項目や OFF を選択したときは、変換せずにそのまま表示します。

表 7-1 フォーマット表示形式の選択

	1.4	/= 0	HFR Mode		
SDI System	入力信亏		x2	x4	x8
SD/HD/3G-A/3G-B-	3G-B-DL	50P	50I(x2)	50P(x4)	50I(x8)
DL	3G-B-DL	59.94P	59.94I(x2)	59.94P(x4)	59.94I(x8)
	3G-B-DL	60P	60I(x2)	60P(x4)	60I(x8)
	3G-A	50P	-	50P(x4)	-
	3G-A	59.94P	-	59.94P(x4)	-
	3G-A	60P	-	60P(x4)	-
	HD	50I	-	50I(x4)	-
	HD	59.94I	-	59.94I(x4)	-
	HD	60I	-	60I(x4)	-
HD Dual Link	HD	50P	50I(x2)	-	-
	HD	59.94P	59.94I(x2)	-	-
	HD	60P	60I(x2)	-	-

• Payload ID

入力フォーマットの識別に、ペイロード ID を使用するかどうか選択します。 SDI System が 4K HD Quad Link のときは選択できません。

Use / Not Use

Not Use にしたときは、以降の項目のうち、下表でYの付いた項目を設定してください。ここで 設定した値を使用して動作します。

Use にしたときは、Yの付いた項目はペイロード ID から検出します。設定は不要ですが、入力信号にペイロード ID が重畳されていないときは、ここで設定した値を使用して動作します。

なお、Use、Not Use にかかわらず、スキャニングやフレーム周波数などは TRS から検出します。

表 7-2 ペイロード ID の設定

入力信号	Division	i/PsF Select	Color System	Pixel Depth
HD	設定不可	Y	設定不要	設定不要
			(YCbCr 422 固定)	(10bit 固定)
SD	設定不可	設定不要	設定不要	設定不要
		(Interlace 固定)	(YCbCr 422 固定)	(10bit 固定)
3G-A、3G-B-DL	設定不可	Y	Y	Y
3G-B-DS	設定不可	Y	設定不可	設定不可
12G	Y	設定不可	Y	Y
HD(DL)	設定不可	Y	Y	Y
3G(DL)-2K	設定不可	設定不可	Y	Y
3G(DL)-4K	Y	設定不可	設定不可	設定不可
3G(QL)	Y	設定不可	Y	Y
4K NMI	設定不可	設定不可	設定不可	設定不可
	(2 Sample Interleave 固定)	(Interlace 固定)	(YCbCr 422 固定)	(10bit 固定)
NMI	設定不可	設定不可	設定不可	設定不可
	(2 Sample Interleave 固定)	(Interlace 固定)	(YCbCr 422 固定)	(10bit 固定)

• Division

SDI System が 4K のとき、分割伝送方式を選択します。SDI System が 4K NMI または NMI の ときは 2 Sample Interleave 固定となり、選択できません。

Square / 2 Sample Interleave

• i/PsF Select

以下のフォーマットは本器で判別できないため、インタレースとセグメントフレームのどちらで 表示するかを選択します。

SDI System が 4K または 3G Dual Link のときは選択できません。SDI System が 4K NMI また は NMI のときは Interlace 固定となり、選択できません。

- ・1080/60I と 1080/30PsF
- ・1080/59.94I と 1080/29.97PsF
- ・1080/50I と 1080/25PsF

Interlace / Segmented Frame(PsF)

Color System

入力信号のカラーシステムを選択します。 SDI System が 3G-B-DS、4K 3G Dual Link、4K NMI または NMI のときは YCbCr 422 固定となり、選択できません。

YCbCr 422 / YCbCr 444 / RGB 444 / XYZ 444

• Pixel Depth

入力信号の量子化精度を選択します。 SDI System が 3G-B-DS、4K 3G Dual Link、4K NMI または NMI のときは 10bit 固定となり、 選択できません。

10bit / 12bit

• XYZ Gamma Select

XYZ 入力時のガンマ補正方式を選択します。

XYZ 信号は RGB 信号に変換してのビデオ信号波形表示やベクトル波形表示ができますが、規格に 定められた 12 ビットの量子化(DCI Gamma 選択時)では、入力 0%近傍で変換時の誤差が大きく なります。このため、SMPTE RP 431 のカラーバー(color patch)コードで RGB 表示やベクトル 波形表示をすると、輝線がスケールから大きくずれる箇所が発生します。

この誤差を小さくするために、本器では入力 0.05%まで 0%に固定した「Bottom Zero Gamma」が初期設定されています。機器を調整するときなどは、この設定を選択してください。

Bottom Zero Gamma: DCI Gamma に対して、入力 0.05%まで 0%に固定したガンマ DCI Gamma: 入力×1/2.6 乗ガンマ











7.1.2 IP(NMI)入力の設定 (SER08)

NMI IN タブでは、SDI IN タブの SDI System が NMI のときの背面パネルの NMI に入力する IP(NMI)信号および SDI INPUT に入力する SDI 信号から入力を選択します。SDI IN タブの SDI System が 4K NMI のときは入力の選択はできません。

SYS	\rightarrow	F ●1	SIGNAL	. IN	OUT	\rightarrow	F•2	PREV	TAB ≢	たは	F ∙3	NEXT TAB \rightarrow		
SDI I	NMI	IN FOI	RMAT ALARM	SDI (DUT MON	ITOR	OUT	NMI SETU	JP1NMI SE	ETUP2				
	I	nput	Select											
		Ach				SDI	1A		🖬 NMI - 1					
		Bch				SDI	1B		🖬 NMI - 2					
		Cch			=	SDI	1C		Z NMI-3	3				
		Dch				SDI	1D		🗹 NMI - 4	l I				

図 7-3 NMI IN タブ

• Ach

Ach への入力を選択します。

SDI 1A / NMI-1

• Bch

Bch への入力を選択します。

SDI 1B / NMI-2

• Cch

Cch への入力を選択します。

SDI 1C / NMI-3

• Dch

Dch への入力を選択します。

SDI 1D / NMI-4

7.1.3 フォーマットアラームの設定

FORMAT ALARM タブでは、SDI 信号の指定フォーマットについて設定します。 SDI System が 4K NMI、NMI のときは設定できません。

SYS -	→ F•1 SIGNAL IN OU	$JT \rightarrow \mathbf{F} \bullet 2 \text{ PREV}$	′ TAB または F•3	3 NEXT TAB \rightarrow
	Format Alarm Format Set	OFF	₹ ON	
	System Structure Frame/Field Rate	3840x2160 3G-B-DS YCbCr(422) 10bit 29.97P	Dual • •	
	Division	≪Square	■2 Sample Interlea	ave
	Colorimetry Set	∞ BT-709	■ BT-2020	■DCI

図 7-4 FORMAT ALARM タブ

• Format Alarm

フォーマットのアラーム検出をオンオフします。 アラーム検出を ON にすると、Format Set で指定したフォーマット以外が入力されたときに、以 下の動作をします。 ・フォーマットを黄色で表示

- ・ステータス表示のイベントログにエラーを表示
- ・画面右上に「ERROR」を表示
- ・リモート端子のアラーム出力

OFF / ON

• Format Set

Format Alarm が ON のとき、フォーマットを指定します。設定できるフォーマットの組み合わせは、「3.3.1 SDI フォーマットと規格」を参照してください。

SDI System	System	Structure	Frame/Field Rate	Division
4K 12G	3840x2160 12G TYPE 1	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/48/47.95/	-
	4096x2160 12G TYPE 1	YCbCr(422) 12bit	30/29.97/25/24/23.98/P	
		YCbCr(444) 10bit		
		YCbCr(444) 12bit		
		RGB(444) 10bit		
		RGB(444) 12bit		
4K 3G Quad Link	3840x2160 3G-B-DL Quad	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/48/47.95/	Square/
	4096x2160 3G-B-DL Quad	YCbCr(422) 12bit	30/29.97/25/24/23.98/P	2 Sample
	3840x2160 3G-A Quad	YCbCr(444) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/PsF	Interleave
	4096x2160 3G-A Quad	YCbCr(444) 12bit		
		RGB(444) 10bit		
		RGB(444) 12bit		
		XYZ(444) 12bit		
4K 3G Dual Link	3840x2160 3G-B-DS Dual	YCbCr(422) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P	Square/
	4096x2160 3G-B-DS Dual		30/29.97/25/24/23.98/PsF	2 Sample
				Interleave
4K HD Quad Link	3840x2160 HD Quad	YCbCr(422) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P	-
	4096x2160 HD Quad		30/29.97/25/24/23.98/PsF	
SD/HD/3G-A/3G-B-DL	1920x1080 3G-B-DL	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/I	-
	2048x1080 3G-B-DL	YCbCr(422) 12bit	60/59.94/50/48/47.95/	
	1280x720 3G-A	YCbCr(444) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P	
	1920x1080 3G-A	YCbCr(444) 12bit	30/29.97/25/24/23.98/PsF	
	2048x1080 3G-A	RGB(444) 10bit		
	1280x720 HD	RGB(444) 12bit		
	1920x1080 HD	XYZ(444) 12bit		
	720x487 SD			
	720x576 SD			
HD Dual Link	1920x1080 HD Dual	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/I	-
	2048x1080 HD Dual	YCbCr(422) 12bit	60/59.94/50/48/47.95/	
		YCbCr(444) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P	
		YCbCr(444) 12bit	30/29.97/25/24/23.98/PsF	
		RGB(444) 10bit		
		RGB(444) 12bit		
		XYZ(444) 12bit		
3G Dual Link	1920x1080 3G-B-DL Dual	YCbCr(422) 12bit	60/59.94/50/48/47.95/P	-
	2048x1080 3G-B-DL Dual	YCbCr(444) 10bit		
	1920x1080 3G-A Dual	YCbCr(444) 12bit		
	2048x1080 3G-A Dual	RGB(444) 10bit		
		RGB(444) 12bit		
3G-B-DS	1280x720 3G-B-DS	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/I	-
	1920x1080 3G-B-DS		60/59.94/50/	
			30/29.97/25/24/23.98/P	
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	

• Colorimetry Alarm

カラリメトリのアラーム検出をオンオフします。

通常、カラリメトリはベクトル波形表示と CIE 色度図表示(SER05)にシアンで表示しますが、 3G(QL)と 3G(DL)-4K では、すべてのカラリメトリが一致しないと黄色で表示します。

アラーム検出を ON にすると、Colorimetry Set で指定したカラリメトリ以外が入力されると、 赤色で表示します。また、ビデオ信号波形表示にも赤色で表示します。

なお、入力信号が SD のときは無効です。

OFF / ON

Colorimetry Set

Colorimetry Alarm が ON のとき、カラリメトリを指定します。

BT-709 / BT-2020 / DCI

7.1.4 SDI 入出力端子の設定

SDI OUT タブでは、背面パネルの SDI INPUT/OUTPUT について設定します。

SYS \rightarrow F•1 SIGNAL IN OU SDI INFORMAT ALARMEDI OUTHDRAUDI	$T \rightarrow F \bullet 2 F$	PREV TABま	たは F•3	NEXT TAB	\rightarrow
SDI In/Out BNC	⊑ Input		:	√ Output	
Mode	■Input Throu	gh	:	Test Signal	
Select Out	π A ch		I	₹A/B/C/D ch	
Test Signal					
System	3840×2160 3G	B-DL Quad 🕨			
Structure	YCbCr(422) 10)bit •			
Frame/Field Rate	59.94P				
Division	₹Square		■2 Sample I	nterleave	
Pattern	COLOR BAR 100)% +			
	₩Y DE	EC(3AC HEX) 😿C	b DEC (200 HEX) 🖬 Cr 🛛	
	∏Interlock				
Scroll	 ∉0FF		I ON		
Direction					
Moving Box	₩OFF		■ ON		
Color					
Phase Difference	 ₩ 0FF		■ ON		
Embedded Audio	∉ G1	 ⊈G2	⊈ G3	 €G4	
Level	₹-20dBFS	- 18dBFS	■ 0dBFS	■Mute	

図 7-5 SDI OUT タブ

• SDI In/Out BNC

SDI INPUT/OUTPUT を入力端子とするか、出力端子とするか選択します。 SDI IN タブの SDI System が 4K 12G のときは、Input にしても 3G-SDI INPUT/OUTPUT に入 力した信号は測定できません。

Input / Output

• Mode

SDI In/Out BNC が Output のとき、SDI INPUT/OUTPUT から出力する信号を選択します。

Input Through:	SDI INPUT の 1A~1D に入力された信号をリクロック出力します。
	ただし、SDI IN タブの SDI System が 4K 12G のときは、リクロック出力
	しません。
Test Signal:	Test Signal で設定したパターンを出力します。

Select Out

Mode が Input Through のとき、SDI INPUT/OUTPUT の 2A から出力する信号を選択します。 マルチリンク時は A ch 固定(3G(DL)-4K を除く)となり、選択できません。

A ch:	SDI INPUT の 1A に入力された信号をリクロック出力します。
A/B/C/D ch:	SDI INPUT の 1A~1D に入力された信号をリクロック出力します。
	出力チャンネルは、INPUT メニューや各測定画面の F•6 SELECT CH で選択
	します。

- System
- Structure
- Frame/Field Rate

出力フォーマットを設定します。設定できるフォーマットの組み合わせを以下に示します。初期 設定は 3840x2160 3G-B-DL Quad、YCbCr(422) 10bit、59.94P です。

表 7-4 出力フォーマットの選択

System	Structure	Frame/Field Rate
3840x2160 3G-B-DL Quad	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/48/47.95/P
4096x2160 3G-B-DL Quad	YCbCr(444) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P
3840x2160 3G-A Quad	RGB(444) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/PsF
4096x2160 3G-A Quad		
2048x1080 3G-B-DL		
2048x1080 3G-A		
3840x2160 3G-B-DS Dual	YCbCr(422) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P
4096x2160 3G-B-DS Dual		30/29.97/25/24/23.98/PsF
1920x1080 3G-B-DL	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/48/47.95/P
1920x1080 3G-A	YCbCr(444) 10bit	60/59.94/50/I
	RGB(444) 10bit	30/29.97/25/24/23.98/P
		30/29.97/25/24/23.98/PsF
1920x1080 HD	YCbCr(422) 10bit	60/59.94/50/I
		30/29.97/25/24/23.98/P
		30/29.97/25/24/23.98/PsF

• Division

System が Quad または Dual のとき、分割伝送方式を選択します。

Square / 2 Sample Interleave

• Pattern

出力パターンを選択します。選択できるパターンを以下に示します。パターンによっては、 YCbCr または RGB を個別にオンオフできます。

COLOR RASTER では、YCbCr または RGB のレベルを個別に可変できます。さらに Structure が RGB のときは、Interlock にチェックを入れることで、RGB のレベルが連動します。

なお、MULTI COLOR BAR、COLOR RASTER、CROSS HATCH、10 STEP、LIMIT RAMP は帯 域制限していません。

表 7-5 出力パターンの選択

Pattern	YCbCr/RGB オンオフ	レベル可変
COLOR BAR 100%	Yes	No
COLOR BAR 75%	Yes	No
MULTI COLOR BAR(*1)	Yes	No
COLOR RASTER	Yes	Yes
CROSS HATCH	Yes	No
10 STEP	Yes	No
LIMIT RAMP	Yes	No

*1 System が 4096x2160 または 2048x1080 のときは選択できません。

- * パターンの切り替え時に、信号が瞬断します。
- Scroll

パターンをスクロールします。

ON にすると、Moving Box と Phase Difference は OFF になります。Pattern が CROSS HATCH のときは選択できません。

OFF / ON

• Direction

Scroll が ON のとき、スクロール方向を選択します。

RIGHT:	左から右へスクロールします。
LEFT:	右から左へスクロールします。
UP:	下から上へスクロールします。
DOWN:	上から下へスクロールします。
RIGHT & UP:	左下から右上へスクロールします。
RIGHT & DOWN:	左上から右下へスクロールします。
LEFT & UP:	右下から左上へスクロールします。
LEFT & DOWN:	右上から左下へスクロールします。

Speed

Scroll が ON のとき、スクロールの速さを設定します。

4 - 124 Dot (4Dot ステップ)

Moving Box

ランダムに動く正方形を重畳します。 ON にすると、Scroll と Phase Difference は OFF になります。

OFF / ON

Color

Moving Box が ON のとき、ムービングボックスの色を選択します。

WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / BLACK

Speed

Moving Box が ON のとき、ムービングボックスの速さを設定します。 数値が大きいほど速く動きます。

1 - 3

• Phase Difference

System が Quad のとき、Ach に対する Bch、Cch、Dch の位相を可変します。 System が Dual のとき、Ach に対する Bch、Cch に対する Dch の位相を可変します。 ON にすると、Scroll と Moving Box は OFF になります。

OFF / ON

• Bch、Cch、Dch

Phase Difference が ON のとき、Bch、Cch、Dch の位相を可変します。H と V を切り換えることによって、それぞれの値を設定できます。System が Dual のとき、Bch と Dch の位相は共通となります。

Н:	-1374 - <u>0</u> - 1374 Dot (Frame/Field Rate による)
V:	-562 - 0 - 562 Dot

• Embedded Audio

Pattern が COLOR BAR 100%、COLOR BAR 75%、MULTI COLOR BAR のとき、SDI 信号に 重畳するオーディオチャンネルを選択します。

1~4ch を G1、5~8ch を G2、9~12ch を G3、13~16ch を G4 と呼んでいます。

重畳できるチャンネルは、System と Frame/Field Rate によって、以下のとおり 8ch または 16ch となります。

表 7-6 エンベデッドオーディオの設定

System	Frame/Field Rate	G1	G2	G3	G4
3840x2160 3G-B-DL Quad	-	Yes	Yes	Yes	Yes
3840x2160 3G-A Quad					
4096x2160 3G-A Quad					
3840x2160 3G-B-DS Dual					
1920x1080 3G-B-DL					
1920×1080 3G-A					
2048x1080 3G-A					
1920x1080 HD					
4096x2160 3G-B-DL Quad	4096x2160 3G-B-DL Quad 60/59.94/30/29.97/P		Yes	No	No
2048x1080 3G-B-DL	30/29.97/PsF				
	50/48/47.95/25/24/23.98/P	Yes	Yes	Yes	Yes
	25/24/23.98/PsF				
4096x2160 3G-B-DS Dual	30/29.97/P	Yes	Yes	No	No
	30/29.97/PsF				
	25/24/23.98/P	Yes	Yes	Yes	Yes
	25/24/23.98/PsF				

Level

エンベデッドオーディオのレベルを選択します。

-20dBFS / -18dBFS / 0dBFS / Mute

7.1.5 HDR の設定 (SER07)

HDR タブでは、HDR 測定について設定します。

$SYS \rightarrow I$	•1 SIGNAL IN OUT	\rightarrow F•2 PREV TAB	Bまたは F•3 NEX	XT TAB →				
SDI INFORM	AT ALARMSDI OUT <mark>HDR</mark> AUDIO I	N/OUTMONITOR OUT						
HDR (SD signal is not supported)								
	HDR MODE	■0FF	⊠ ON					
	STANDARD	≪HLG	■ PQ	■S-Log3				
	SYSTEM GAMMA (OOTF)	 ≪0FF	I ON					
	REFERENCE LEVEL	₹50%	■75%					

図 7-6 HDR タブ

• HDR MODE

HDR 測定をオンオフします。ON にすると、ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ピクチャー表示で HDR 信号の測定ができます。

設定を変更すると、 F•1 COMPLETE を押したときに、メッセージ「TONE CURVE SETUP」が 10~20 秒程度表示されます。

HDR 測定をオンにすると次のようになります。

5 バー表示、ピクチャー上のガマットエラー表示、ステータス上のガマットエラー表示、コンポジットガマットエラー表示、輝度レベルエラー表示、色差レベルエラー表示のいずれかがオンになると、SDR 変換形式の選択が DISABLE のみになります。SDR 変換形式の選択が DISABLE 以外に設定されていたときは DISABLE に切り換わります。

OFF / ON

STANDARD

HDR 信号の規格を選択します。 設定を変更すると、F•1 COMPLETE を押したときに、メッセージ「TONE CURVE SETUP」が 10~20 秒程度表示されます。

HLG は ARIB STD-B67(HLG)、PQ は SMPTE ST 2084(PQ curve)、S-Log3 は他社製カメラか ら出力される Log カーブを表します。

HLG / PQ / S-Log3

• HDR->SDR HIGH UPPER LIMIT

STANDARD が PQ のとき、表示範囲の上限値を選択します。 この設定は、SDR 変換で HIGH を選択したときに有効です。

10000cd/m2 / 4000cd/m2 / 1000cd/m2
• SYSTEM GAMMA (OOTF)

STANDARD が HLG または S-Log3 のとき、SYSTEM GAMMA (OOTF)を ON にすると、ビデオ 信号波形表示、ピクチャー表示の HDR 信号に対応したスケールを HLG 対応ディスプレイの表示 輝度である cd/m²で表示します。 STANDARD が HLG のときは、ピーク輝度 1000cd/m²のシステムガンマ 1.2 で計算されます。

STANDARD が RLG のときは、ビーク輝度 1000cd/m のシステムカフマ 1.2 で計算されます。 STANDARD が S-Log3 のときは、ピーク輝度 3000cd/m² として表示されます。

OFF / ON

REFERENCE LEVEL

STANDARD が HLG または PQ のとき、番組制作における基準レベルを選択します。 ビデオ信号波形表示では、スケール上に選択された基準レベルを一点破線で表示します。 ピクチャー表示では、HDR 信号のシネゾーン表示で、REF のデフォルト値が選択した基準レベル になります。REF のデフォルト値はファンクションダイヤル(F•D)を押したときに反映されま す。

STANDARD が HLG のとき

50% / 75%

STANDARD が PQ のとき

51% / 58%

7.1.6 オーディオ入出力端子の設定 (SER03)

AUDIO IN/OUT タブでは、背面パネルの DIGITAL AUDIO INPUT/OUTPUT について設定します。

SYS \rightarrow F•1 SIGNAL	IN OUT \rightarrow F•3 NEX	XT TAB (×4) →	
Audio BNC GROUP A GROUP B	<mark>⊱Input</mark> ≂Input	≡Output ≡Output	

図 7-7 AUDIO IN/OUT タブ

Audio BNC

DIGITAL AUDIO INPUT/OUTPUT を入力端子とするか出力端子とするか、グループごとに選択します。

Input / Output

7.1.7 モニター出力端子の設定

MONITOR OUT タブでは、背面パネルの MONITOR OUTPUT と本器の液晶表示について設定します。

SYS →	F•1 SIGNAL IN OU		たは F•3 NEXT TAB →
	INT ALANDET OUTPOLICE	N/ OUTPONT FOR OUT	
F	Rasterize for LCD/DVI/S	DI	
	Freq. Sync Mode	MINT	EXT (Frequency Lock, Except 24Hz)
	Format	= 1080/60p	≪ 1080/59.94p ■1080/50p
	SDI Out		
	Mode	RASTER	INPUT ROUTER
		₩HD-SDI (convert Interlace	e)
		■3G-SDI Level-A	
		■3G-SDI Level-B	

図 7-8 MONITOR OUT タブ

• Freq. Sync Mode

同期モードを選択します。

INT: EXT:	Format で選択したフォーマット ² EXT REF に入力した外部同期信号 マットは、外部同期信号のフレー す。	を、本体内部の自走クロックで出力します。 号を使用して出力します。出力信号のフォー ム周波数によって、以下のように異なりま
	30Hz のとき:	1080/60p で出力
	29.97Hz のとき:	1080/59.94p で出力
	25Hz のとき:	1080/50p で出力
	24Hz または 23.98Hz のとき:	INT で動作
	外部同期信号がないとき:	INT で動作

• Format

Freq Sync Mode が INT のとき、出力信号のフォーマットを選択します。

1080/60p / 1080/59.94p / 1080/50p

• SDI Out

MONITOR OUTPUT の SDI から出力する信号を選択します。

RASTER:	測定画面を出力します。出力フォーマットを HD-SDI(インタレースに変
	換)、3G-SDI Level-A、3G-SDI Level-B から選択してください。
INPUT ROUTER:	SDI INPUT の 1A~1D に入力された信号をリクロック出力します。
	出力チャンネルは、1 入力モード時は表示チャンネル、サイマルモード時は
	各測定画面の F•6 SELECT CH で選択したチャンネルです。
	SDI System が SD/HD/3G-A/3G-B-DL のときに選択できます。

7.1.8 12G SDI 入出力端子の設定 (SER06)

12G SDI タブでは、背面パネルの 12G-SDI INPUT と 12G-SDI OUTPUT について設定します。

SYS → SDI INFOF	F•1 SIGNAL IN OU	$ T \rightarrow F \bullet 2 \text{ PREV}$	TAB または F•3	NEXT TAB \rightarrow
	SDI Out Mode Test Signal Frame/Field Rate	■Input Through 59.94P •	⊠12G Test Signal	■No Output
	SDI In Tr/Tf	≅Improved	■Normal	

図 7-9 12G SDI タブ

• Mode

12G-SDI OUTPUT から出力する信号を選択します。

Input Through:	SDI INPUT の 1A~1D に入力された信号をリクロック出力します。
12G Test Signal:	Test Signal で設定した 12G の SDI 信号を出力します。
No Output:	12Gの SDIの出力をしません。12Gの SDI 入力における受信能力が改善さ
	イルボ 9。

• Frame/Field Rate

Mode が 12G Test Signal のとき、出力信号のフレーム周波数を選択します。

60P / 59.94P / 50P

• Tr/Tf

12G-SDIを受信しているとき、Tr/Tfの自動測定アルゴリズムを選択します。

Improved:	12G-SDIの高データレートに対応し、自動測定に最適化処理を適用したモー
	ドです。
	通常は Improved の設定でご使用いただくことを推奨します。
Normal:	従来と互換のあるモードです。

7.1.9 IP(NMI)の設定1(SER08)

NMI SETUP1 タブでは、背面パネルの NMI(IP A、IP B)について設定します。

SYS \rightarrow F•1 SIGNAL IN OU		2 PRE	EV TAB	または	F•3 NEXT	TAB \rightarrow	
SDI INNMI INFORMAT ALARMSDI OUTM	ONITOR OUT	NMI SE	TUP1 <mark>NMI :</mark>	SETUP2			
NMI Setup							i i
DHCP	≪ 0ff		∎0n				ľ
IP A							i i
IP Address	192.	168.	10.	21			ľ
Subnet Mask	255 .	255.	255 .	Θ			i i
Default Gateway	Θ.	0.	Θ.	Θ			ľ
IP B							ľ
IP Address	192.	168.	11.	21			i i
Subnet Mask	255.	255.	255.	Θ			
Default Gateway	Θ.	Θ.	Θ.	Θ			
IP Live System Manager							ľ
IP A	■Disable		<pre> Enable </pre>				
IP Address	192.	168.	10.	1	Port	09004	
IP B	■Disable		<pre>Enable</pre>				i i
IP Address	192.	168.	11.	1	Port	0 9 0 0 4	ľ
NMI System Name:	LV5490SER	98					i i
							ľ
Serial No.:	0000000						
MAC Address A:	00:00:00:	00:00:0	00				
MAC Address B:	00:00:00:	00:00:0	0				

図 7-10 NMI SETUP1 タブ

NMI Setup DHCP

IP アドレスの設定方法を選択します。

OFF にしたときは、IP A、IP B に接続する IP Live Production System の機器の IP アドレス、 サブネットマスク、デフォルトゲートウエイを手動で設定します。ON にしたときは、IP A、IP B に接続する機器の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウエイを自動で設定しま す。

OFF / ON

• NMI Setup IP A、IP B (IP Address / Subnet Mask / Default Gateway)

IP A、IP B に接続する IP Live Production System の機器の IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウエイを設定します。

• IP Live System Manager IP A

IP A と IP Live System Manager との通信を設定します。Enable にすると通信が有効になります。Enable にしたときは、IP Live System Manager の IP アドレスを設定します。

Disable / Enable

• IP Live System Manager IP A IP Address

IP A と接続した IP Live System Manager の IP アドレスを設定します

• IP Live System Manager IP B

IP B と IP Live System Manager との通信を設定します。Enable にすると通信が有効になります。Enable にしたときは、IP Live System Manager の IP Address を設定します。

Disable / Enable

IP Live System Manager IP B IP Address

IP B と接続した IP Live System Manager の IP アドレスを設定します

• NMI System Name

IP Live System Manager から読み出す NMI システムネームを設定します。 初期設定では LV5490SER08 ですが、F•5 EDIT SYSTEM NAME で変更できます。 10 文字以内で入力してください。

NMI システムネーム入力画面でのキー動作は以下のとおりです。 F•1 CLEAR ALL : すべての文字列を削除します。 F•2 DELETE : カーソル上の文字を削除します。 F•3 INSERT : カーソルの位置に選択した文字を挿入します。 **F**•4 <= : カーソルを左に移動します。 F•5 => : カーソルを右に移動します。 F•6 CHAR SET : 文字を入力します。 ファンクションダイヤル(F•D):回して文字を選択、押して文字を入力します。 # \$ & + -1 2 3 Θ 1 5 6 7 8 9 = 4 ; < > ? @ A В С D E F G н I J К L М N 0 Р Q R S Т U V W X Y Z 1 а е 1] b с d k f g h j l m n 0 q r s u v w x У р z { } [F.D_NOB] = CHAR SELECT , [F.D_PUSH] = CHAR SET & Function Key Edit DELETE INSERT CHAR SET CLEAR ALL <= => up menu

図 7-11 NMI SYSTEM NAME 入力画面

• Serial No.

SER08の製造番号を表示します。

• MAC Address A、B

IPA、IPBのMACアドレスを表示します。

7.1.10 IP(NMI)の設定 2 (SER08)

NMI SETUP2 タブでは、背面パネルの NMI(IP A、IP B)のフォーマットについて設定します。

SYS \rightarrow F•1 SIGNAL IN OUT	$\Gamma \rightarrow F \bullet 2$ PREV TAB または $F \bullet 3$ NEXT TAB →
5DI INNMI INFORMAT ALARMSDI OUTMO	NITOR OUTNMI SETUPINMI SETUPZ
Format Setting	
System	3840x2160 3G-A Quad 🔹
Structure	YCbCr(422) 10bit •
Frame/Field Rate	59.94P ·

図 7-12 NMI SETUP2 タブ

• System

SDI IN タブの SDI System が 4K NMI のときは 3840X2160 3G-A Quad 固定、NMI のときは 1920x1080 HD 固定になります。

• Structure

YCbCr(422) 10bit 固定になります。

• Frame/Field Rate

SDI IN タブの SDI System が 4K NMI のときは 59.94P、50P から選択します。

59.94P / 50P

SDI IN タブの SDI System が NMI のときは 59.94I、50I から選択します。

59.94I / 50I

7.2 本体の設定

本体の設定は、SYS メニューの F•2 SYSTEM SETUP で行います。

7.2.1 一般的な設定

GENERAL SETUP タブでは、本体についての一般的な設定をします。

SYS \rightarrow F•2 SYSTEM SETU	$JP \rightarrow$			
GENERAL SETUPETHERNET SETUPREMO	TE SETUPDATE&TIME			
Boot Mode	≪ Normal		■F ast	
Capture Mode	₹Screen		■Video Frame	
Information Display				
Format	■0FF		₩ ON	
Date	■0FF		∀ y/m/d	■m/d/y
	■d/m/y			
Time	■0FF		⊠ Real Time	LTC
	■VITC		D-VITC	
Input	■0FF		∞ ON	
Icon	■0FF		₩ON	
Error	■0FF		₩ ON	
Menu Setup				
Auto Off	 <i> </i>		I ON	
Time	Sec (1~60)			
Recall	∉ Recall Menu		Function Menu	
LCD Auto Off	 <i> </i>	≡5min	⊒ 30min	■60min
FAN Speed	5 (1~5)			
Temperature Warning	■ 0FF		₩ON	

図 7-13 GENERAL SETUP タブ

Boot Mode

起動時のモードを選択します。

Normal:	通常の起動をします。
Fast:	高速起動をします。ただし、ファームウエアのアップデート時は Normal に
	する必要があります。

• Capture Mode

CAP キーを押したときの動作モードを選択します。 【参照】「8 キャプチャー機能」

Screen:	表示画面を静止画として取り込みます。
Video Frame:	1 フレーム分のデータを取り込みます。

• Format

フォーマット表示(1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD など)をオンオフします。 レイアウトで FORMAT アイテムまたは Format オプションを配置しているときに有効です。

OFF / ON

Date

日付の表示形式を選択します。y が西暦、m が月、d が日となります。 レイアウトで DATE アイテムを配置しているときに有効です。

OFF / y/m/d / m/d/y / d/m/y

• Time

時刻の表示形式を選択します。 レイアウトで TIME アイテムまたは Time オプションを配置しているとき、およびステータス表 示のイベントログに有効です。

OFF / Real Time / LTC / VITC / D-VITC

• Input

入力信号表示(SDI 1A など)をオンオフします。 レイアウトで INPUT アイテムまたは Input オプションを配置しているときに有効です。

OFF / ON

• Icon

マウスアイコン 💁 キーロックアイコン 🗠 USB メモリーアイコン 🧭 をオンオフします。

OFF / ON

• Error

測定画面右上のエラー表示をオンオフします。

【参照】 「5.9 測定画面の説明」

OFF / ON

Auto Off

ファンクションメニューを自動で消すかどうか選択します。

OFF:	自動で消えません。たとえば測定メニューであれば、測定キーを再度押すこ
	とで、メニューを一時的に消すこともできます。
ON:	最終キー操作から Time で設定した時間が経過した後、自動で消えます。
	SYS メニューなど、一部のメニューは自動で消えません。

• Time

Auto Off が ON のとき、最終キー操作から自動でメニューが消えるまでの時間を設定します。

1 - 5 - 60 Sec

Recall

プリセットの呼び出し時に表示するメニューを選択します。どちらかを選択してから、プリセットの登録をしてください。

Recall Menu:	PSET メニューを表示します。
Function Menu:	測定メニューを表示します。

• LCD Auto Off

最終キー操作から自動でバックライトが消灯するまでの時間を選択します。 再び点灯させるには、電源スイッチを除くいずれかのキーを押すか、マウスでダブルクリックし てください。

OFF / 5min / 30min / 60min

• FAN Speed

ファンの回転速度を選択します。 数値が大きいほど速く回転し、冷却能力は高くなります。反対に、数値が小さいほどファンの回 転音は静かになります。

1 - 5

• Temperature Warning

本体の内部温度が上昇したときのアラーム表示(TEMPERATURE)をオンオフします。 OFF にしても「OVER HEAT」は表示されます。 【参照】「7.3 システム情報の表示」

OFF / ON

7.2.2 イーサネットの設定

ETHERNET SETUP タブでは、イーサネットの設定と MAC アドレスの表示をします。 ここで設定した内容は、設定の初期化を行っても初期化されません。また、プリセットにも登録さ れません。

SYS \rightarrow F•2 SYSTEM SETU	$P \rightarrow F \bullet 3$ NEXT TAB \rightarrow	
GENERAL SETUP <mark>ETHERNET SETUP</mark> REMOT	E SETUPDATE&TIME	
Ethernet Select TCP/IP IP Address Subnet Mask Default Gateway	■DHCP ■ IP 192.168.0.1 255.255.255.0 0.0.0.0.0	
SNTP Client Select Server IP Address Time Zone Adjust	₩OFF ₩ON	
TELNET Server FTP Server HTTP Server	#COFF #EON #COFF #EON #COFF #EON	■LV5490-01
SNMP Read SNMP Trap MAC Address	r:OFF ■ ON r:OFF ■ ON 00:00:00:00:00:00	■Write

図 7-14 ETHERNET SETUP タブ

• Ethernet Select

IP アドレスの設定方法を選択します。

DHCP:	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウエイを自動で設定しま
<u>IP:</u>	す。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウエイを手動で入力しま す。

• SNTP Client Select

SNTP クライアント機能を有効にするかどうか選択します。 ON にしたときは、Server IP Address に NTP サーバーの IP アドレス、Time Zone Adjust に時 刻補正値を入力します。

OFF / ON

• TELNET Server

TELNET サーバー機能、および LV 5490-01(REMOTE CONTROLLER)を有効にするかどうか選択します。TELNET と LV 5490-01 は同時に使用できません。

OFF / ON / LV5490-01

• FTP Server

FTP サーバー機能を有効にするかどうか選択します。

OFF / ON

HTTP Server

HTTP サーバー機能を有効にするかどうか選択します。

OFF / ON

• SNMP Read

SNMP のアクセスモードを選択します。

OFF:	SNMP を使用できません。
ON:	設定の読み込みができます。
Write:	設定の読み書きができます。

• SNMP Trap

TRAP 出力のオンオフを選択します。

OFF / ON

MAC Address

MAC アドレスを表示します。

7.2.3 リモートの設定

REMOTE SETUP タブでは、リモートコントロールの設定をします。 ここで設定した内容は、設定の初期化を行っても初期化されません。また、プリセットにも登録さ れません。

【参照】	Γ10	リモートコントロール」
------	-----	-------------

SYS \rightarrow F•2 SYSTEM SE GENERAL SETUPETHERNET SETUP	$TUP \to F \bullet 2 PREV$	TABまたは F•3 NEXT TAB →	
Remote Mode	₩Bit	¤Binary	
Alarm Polarity Alarm Select	መPositive መል መር	#Negative ≂B ≂D	

図 7-15 REMOTE SETUP タブ

• Remote Mode

プリセットの呼び出し方法を選択します。

Bit:	2p(/P1)~9p(/P8)を使用して、プリセット番号 1~8 を呼び出します。
Binary:	2p(/P1)を LSB、7p(/P6)を MSB として、バイナリーコードでプリセット番
	号 1~60 を呼び出します。

• Alarm Polarity

アラーム出力の極性を選択します。

Positive:	エラー検出時、High を出力します。
Negative:	エラー検出時、Low を出力します。

• Alarm Select

アラーム出力の対象となるチャンネルを選択します。 初期設定はすべてオンです。

A/B/C/D

7.2.4 日時の設定

DATE&TIME タブでは、日時の設定をします。 ここで設定した内容は、設定の初期化を行っても初期化されません。また、プリセットにも登録されません。

$SYS \rightarrow F \bullet 2$	SYSTEM SETU	$JP \rightarrow F \bullet 2 PRE $	/ TAB または	F•3 NEXT TAB \rightarrow	
GENERAL SETUPE	THERNET SETUPREMOT	E SETUP <mark>DATE&TIME</mark>	•		
Date Day Mont Year	Adjust :h -	24 8 2015			
Time Houn Minu Seco	Adjust - ite ond	11 3 47			

図 7-16 DATE&TIME タブ

7.3 システム情報の表示

システム情報の表示は、SYS メニューの F•3 SYSTEM INFO で行います。 ここでは、本体のバージョンと内部温度を確認できます。

SYS →	F•3 SYSTEM	1 INFO \rightarrow						
ı	.V5490 : MULTI W	AVEFORM MONIT	0R					
		Firmware		2.9				
		Mother		ID:00	REV:01	COMP:0032	PIC1:C048	PIC2:0007
		CPU		ID:00	REV:00	CPU :3136	CPLD:0003	FPGA:0038
		SERDES		ID:00	REV:00	SER2:0027	PAR2:0025	
		SDI/WFM		ID:00	REV:01	WFM :0048	SDI :0072	
	LV5490SER01	SDI Input		NONE				
	LV5490SER06	12G-SDI INPUT		ID:02	REV:01	12G:0006	EYE:0007	
	LV5490SER03	Digital Audio	:	ID:00	REV:00	FPGA:0023		
		Temperature						

図 7-17 INFORMATION タブ

• Firmware

ファームウエアのバージョンを表示します。

Mother / CPU / SERDES / SDI/WFM
 各種ハードウエアのバージョンを表示します。

LV 5490 のガマットエラー検出機能、5 バー表示機能、およびビデオノイズメーター(SER10)に対応できない製品は、「Mother」の「PIC1:」に表示される4桁のバージョンの上位2桁が「00」以外になります。この場合、ガマットエラー検出機能、5 バー表示機能、およびビデオノイズメーターのメニューが表示されません。

- LV5490SER01 / LV5490SER02 / LV5490SER03 / LV5490SER06 / LV5490SER08
 実装されているユニットのバージョンを表示します。
 「NONE」が表示されているユニットは、実装されていません。
- Temperature

本体の内部温度をバーグラフで表示します。

内部温度は10段階で表示され、緑色の範囲は適正な温度を表しています。温度が上昇して赤色の範囲になると、画面上部にアラーム「TEMPERATURE」を表示します。 さらに内部温度が上昇すると、画面中央にアラーム「OVER HEAT」を表示し、規定の温度に達すると強制的に電源が切れます。

これらのアラームが表示されたときはただちに本体の電源を切り、使用環境を確認してください。 使用環境に問題がないにもかかわらず表示される場合は、本社またはお近くの営業所までお問い合 わせください。 7.4 オプションのインストール

オプションのインストールは、SYS メニューの F•4 LICENSE で行います。 ここでは MAC アドレスの表示と、オプションのインストールができます。 【参照】 「2.3 オプションについて」

→ F•4 LICEN	$SE \rightarrow$
MAC ADDRESS: 0	0:00:00:00:00:00
License List:	1. SER04 - FOCUS ASSIST 2. SER05 - CIE DIAGRAM 3. SER07 - HDR 4. SER09 - 12G-SDI EYE 5. SER10 - VIDEO NOISE METER
Option Licenso	e Key: 00000000

図 7-18 LICENSE タブ

• オプションのインストール

ライセンスキーをご用意のうえ、以下の手順で操作してください。

- ファンクションダイヤル(F•D)を使用して、ライセンスキーの番号を入力します。
 F•2 CLEAR を押すと、ライセンスキーを「0000000000」にクリアします。
- F•3 REGISTER を押します。
 ライセンスキーが正しく入力されると「Accepted.」と表示され、オプションが使用できるようになります。また、License List にインストールしたオプション名が表示されます。
 ライセンスキーが異なると「Failed.」と表示されます。正しい番号を入力し直してください。
- オプションの解除

ライセンスキーをご用意のうえ、以下の手順で操作してください。

- ファンクションダイヤル(F•D)を使用して、ライセンスキーの番号を入力します。
 F•2 CLEAR を押すと、ライセンスキーを「0000000000」にクリアします。
- F•4 REMOVE を押します。
 ライセンスキーが正しく入力されると「Accepted.」と表示され、オプションが解除されます。また、License Listのオプション名が削除されます。
 ライセンスキーが異なると「Failed.」と表示されます。正しい番号を入力し直してください。
- 3. 本体を再起動します。

7.5 バックライトの調整

バックライトの調整は、SYS メニューの F•5 LCD BACK LIGHT で行います。 数値が大きいほど明るくなり、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、初期値(28)に戻ります。

1 - 28 - 32

7.6 液晶パネルの消灯

液晶パネルの消灯は、SYS メニューの F-6 LCD OFF で行います。 再び点灯させるには、電源スイッチを除くいずれかのキーを押すか、マウスでダブルクリックしてくだ さい。 7.7 初期化

設定とレイアウトの初期化は、SYS メニューの F•7 INITIALIZE で行います。



7.7.1 設定の初期化

設定を初期化するには、 $F \bullet 1$ PARAM INIT YES を押します。 キャンセルするときは $F \bullet 5$ INIT CANCEL を押してください。 設定の初期化を行うと、以下を除いたすべての項目が初期化されます。初期設定については「20 メニューツリー」を参照してください。

- ・イーサネットの設定 (ETHERNET SETUP タブ)
- ・リモートの設定 (REMOTE SETUP タブ)
- ・日時の設定 (DATE&TIME タブ)
- ・プリセットの内容
- ・測定画面のレイアウト
- 工場出荷時設定

上記の項目(日時は除く)も初期化したい場合は、V POS ツマミと H POS ツマミを押しながら電源 を入れることで初期化できます。電源を入れてから3秒程度(キーLED が明点灯→暗点灯するま で)経過したら手を離し、F•3 SRAM/FLASH INIT YES を押してください。



図 7-20 工場出荷時設定

7.7.2 レイアウトの初期化

レイアウトを初期化するには、 $F \bullet 2$ LAYOUT INIT YES を押します。 キャンセルするときは $F \bullet 5$ INIT CANCEL を押してください。

レイアウトの初期化を行うと、各測定画面(計 11 種類)に設定したレイアウトがすべて初期化されま す。測定画面ごとに初期化するには、レイアウトウインドウの「DEFAULT LAYOUT」をクリックし てください。

【参照】 DEFAULT LAYOUT → 「6.4.3 レイアウト画面の説明」

7.7.3 設定とレイアウトの初期化

設定とレイアウトを同時に初期化するには、 $F \bullet 3$ ALL INIT YES を押します。 キャンセルするときは $F \bullet 5$ INIT CANCEL を押してください。

8. キャプチャー機能

キャプチャー機能には、スクリーンキャプチャーとフレームキャプチャーの2種類があります。

• スクリーンキャプチャー

表示画面を静止画データとして本体に取り込む機能です。取り込んだキャプチャーデータは USB メモリーに保存したり、入力信号に重ねて本体に表示したりすることができます。

• フレームキャプチャー

SDI 信号の1フレーム分のデータを本体に取り込む機能です。取り込んだフレームデータは USB メモリーに保存したり、入力信号に重ねて本体に表示したりすることができます。

フレームデータとして本体に取り込むため、表示モードを変えて本体に表示できます。対応する表示モードは、ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ピクチャー表示、ステータス表示(データダンプ表示)です。データダンプ表示については、ファンクションメニュー説明書を参照してください。

• スクリーンキャプチャーとフレームキャプチャーの切り換え

GENERAL SETUP タブの Capture Mode で切り換えます。

SYS \rightarrow F•2 SYSTEM SETU	P →			
GENERAL SETUPETHERNET SETUPREMOTI	E SETUPDATE&TIME			
Boot Mode	₩Normal		■Fast	
Capture Mode	≪Screen		■Video Frame	
Information Display				
Format	■0FF		₩ ON	
Date	■0FF		⊠y/m/d	≡m/d/y
	≡d/m/y			
Time	■0FF		∀ Real Time	■LTC
	■VITC		D-VITC	
Input	■0FF		₩ON	
Icon	■0FF		₩ ON	
Menu Setup				
Auto Off	 ₩ 0 FF		■ ON	
Time	Sec (1~60)			
Recall	✓Recall Menu		■Function Menu	
LCD Auto Off	₩ 0FF	≡5min	■30min	■60min
FAN Speed	5 (1~5)			
Temperature Warning	■0FF		#ON	

図 8-1 GENERAL SETUP タブ

- 8.1 スクリーンキャプチャー
- 8.1.1 表示画面の取り込み

表示画面をキャプチャーするには、以下の手順で操作を行います。 タブメニューやファイルリスト画面など、一部の画面はキャプチャーできません。

- 1. キャプチャーする画面を表示します。
- 2. CAP キーを押します。

CAP キーを押した時点で、表示画面が内部メモリーにキャプチャーされます。CAP メニューが 表示されているときは、F•2 REFRESH を押してもキャプチャーできます。

なお、表示画面をキャプチャーした後に以下の操作を行った場合、キャプチャーデータが削除 されますので注意してください。

- ・測定画面を変更した場合
- ・INPUT キー、MULTI キー、SYS キー、PSET キーを押した場合
- ・電源を切った場合

 $CAP \rightarrow$



8.1.2 キャプチャーデータの表示

CAP キーを押して本体に取り込んだキャプチャーデータは、本体に表示したり、現在の入力信号と 重ねて表示したりすることができます。

本体に表示できるキャプチャーデータは、ビデオ信号波形、ベクトル波形、ピクチャー、オーディオ波形、アイパターン波形です。これら以外のデータ(ステータス、スケールなど)は表示できません。ただし、BMP 形式で USB メモリーに保存することはできます。

キャプチャーデータの表示は、CAP メニューの F•3 DISPLAY で行います。

REAL:	現在の入力信号を表示します。
HOLD:	キャプチャーデータを表示します。ビデオ信号波形、ベクトル波形、アイパタ
	ーン波形はシアンで表示します。
BOTH:	現在の入力信号とキャプチャーデータの輝度を半分にして、重ねて表示しま
	す。

8.1.3 USB メモリーへの保存

CAP キーを押して本体に取り込んだキャプチャーデータは、測定画面を変更するなどで削除されますが、BSG 形式で USB メモリーに保存することで、電源を切った後でも本体に表示できます。 また、BMP 形式で保存することで、キャプチャーデータを PC で確認することもできます。

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- 2. CAP メニューの F•4 FILE TYPE を押します。 FILE TYPE メニューが表示されます。

$CAP \rightarrow F \bullet 4 I$	FILE TYPE \rightarrow					
BMP	BSG					up
ON	ON					menu
F·1	F·2	F·3	F·4	F·5	F·6	F·7
		図 8-3	FILE TYPE :	メニュー		

3. ファイル形式を選択します。

F●1] BMP を ON にすると、USB メモリーに BMP 形式で保存します。保存したデータは、PC で確認できます。

F•2 BSG を ON にすると、USB メモリーに BSG 形式で保存します。保存したデータは、再度 本体に表示できます。

初期設定は $F \bullet 1$ BMP、 $F \bullet 2$ BSG ともに ON です。両方の設定を OFF にすることはできません。

- F•7 up menu を押します。
 CAP メニューが表示されます。
- 5. F•5 STORE を押します。

画面上にメッセージ「Please wait. Saving file...」が表示され、USB メモリーにキャプチャー データが保存されます。

保存にかかる時間は約10秒、ファイルサイズはBMPが約6MB、BSGが約9MBです。

ファイル名はシステム設定で設定した日時が、西暦、月、日、時間、分、秒の順に自動で付き ます。(例: 20090501100859.bmp)

キャプチャーデータの保存先は以下のとおりです。

- 🖞 USB メモリー
- └ 🗍 LV5490_USER

L 🗋 BMP

- └ 🗋 yyyymmddhhmmss.bsg

8.1.4 USB メモリーのキャプチャーデータ表示

USB メモリーに BSG 形式で保存したキャプチャーデータは、以下の手順で本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりすることができます。 (BMP 形式で保存したキャプチャーデータや、他機種で保存した BSG 形式のキャプチャーデータを 本体に表示することはできません)

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- CAP キーを押します。
 CAP メニューが表示されます。
- 3. F•6 RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

No.		Filename	Date	&Time	Size(byte)
1 20131002105	5747.bmp		2013/10/0	2 10:57:53	6,220,854
2013102210 3 2013102210 4 2013100210 5 2013100210 6 2013100210	2747.053 8816.bmp 5816.bsg 5900.bmp 5900.bsg		2013/10/0 2013/10/0 2013/10/0 2013/10/0 2013/10/0	2 10:57:52 2 10:58:22 2 10:59:21 2 10:59:05 2 10:59:04	8,847,360 6,220,854 8,847,360 6,220,854 8,847,360
Disk Size: Free Size:	8,158,744,570 8,113,516,544	Byte Byte			

図 8-4 ファイルリスト画面

- 4. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、表示する BSG 形式のファイルを選択します。
- 5. **F**•1 RECALL を押します。 ファイルリスト画面から抜けて、CAP メニューが表示されます。
- 6. F•3 DISPLAY を押して、表示形式を選択します。
 F•1 RECALL を押した直後の表示形式は BOTH になります。

8.1.5 USB メモリーのキャプチャーデータ削除

USB メモリーに保存したキャプチャーデータは、以下の手順で削除できます。(PC でも削除できます)

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- CAP キーを押します。
 CAP メニューが表示されます。
- F•6 RECALL を押します。
 ファイルリスト画面が表示されます。

		External USB Fl	ash Drive Captu	ıre File List		
No.		Filename		Date	e&Time	Size(byte)
1 2013100210	5747.bmp			2013/10/	02 10:57:53	6,220,85
2 2013100210	5747.bsg			2013/10/	02 10:57:52	8,847,36
3 20131002105	5816.bmp			2013/10/	02 10:58:22	6,220,85
4 2013100210	5816.05g			2013/10/	02 10:58:21	8,847,36
6 2013100210	5900.0mp 5900 bsa			2013/10/	02 10.59.05	8 847 36
02010100210.	5500.03g			2013/ 10/	02 10.000.04	0,047,50
Dick Fizer	0 150 744 57	5 Duto				
Free Size:	0,130,744,57 8 113 516 54	1 Byte				
1100 5120:	0,113,510,54	+ byce				
RECALL		DELETE				up
		FILE				menu

図 8-5 ファイルリスト画面

- 4. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、削除するファイルを選択します。
- 5. F•3 DELETE FILE を押します。 DELETE FILE メニューが表示されます。



6. F•1 DELETE YES を押します。
 削除をキャンセルするときは F•3 DELETE NO を押してください。

- 8.2 フレームキャプチャー
- 8.2.1 フレームデータの取り込み

フレームデータの取り込みには、手動で取り込む方法と、エラーが発生したときに自動で取り込む 方法(エラーキャプチャー)の2種類があります。

エラーキャプチャーの場合、1入力モードで使用してください。サイマルモードでは動作しません。

- 1. キャプチャーする画面を表示します。 画面にビデオ信号波形、ベクトル波形、ピクチャーのいずれかが表示されていることが必要で す。ただし、アイパターン(SER02/SER09)やオーディオ(SER03)が同一画面に表示されてい るときはキャプチャーできません。 ベクトル波形のときは、F•6 DISPLAY \rightarrow F•1 MODE を VECTOR にしてください。5 バー表 示には対応していません。
- 2. CAP キーを押します。

CAP メニューが表示されます。

スクリーンキャプチャーとは異なり、CAP キーを押した時点では取り込まれません。

$CAP \rightarrow$						
TRIGGER	REFRESH	DISPLAY	FILE	STORE	RECALL	SELECT
MANUAL		REAL	ITPE			1A
F·1	F·2	F·3	F·4	F·5	F·6	F·7
		図 8-	-7 CAPメニ	<u>-</u> -		

• 手動で取り込む場合

- 3. F•1 TRIGGER を MANUAL にします。
- 4. F•2 REFRESH を押します。

1フレーム分のデータを本体に取り込みます。

- 自動で取り込む場合 (エラーキャプチャー)
- 3. F•1 TRIGGER を ERROR にします。
- 4. F•7 SELECT CH でチャンネルを選択します。
- 5. F•2 REFRESH を押します。

_____ 選択したチャンネルのエラーキャプチャーを開始します。

他のチャンネルも開始する場合、「手順 4」、「手順 5」を繰り返します。エラーの待機状態となり、画面右上にキャプチャーを開始したチャンネルが表示されます。

F•1 TRIGGER を MANUAL にすることで、待機状態は解除されます。

サイマルモードでは、「Capture is invalid」と表示され、キャプチャー機能は動作しません。



図 8-8 エラー待機中

6. 以下のメッセージが表示されたら、電源キー以外のいずれかのキーを押します。

エラーの待機中にエラーが発生すると、その時点のフレームデータを本体に取り込み、停止し ます。

対象となるエラーは、以下の「対象となるエラー」のうち、STATUS メニューの F•5 STATUS SETUP で検出設定を ON にしたエラーです。

表 8-1 エラーキャプチャーの対象となるエラー

	対象となるエラー	対象とならないエラー
SDI Error	TRS、Line Number、CRC、EDH、Illegal Code	Frequency、Cable
Ancillary Data Error	Parity、Checksum	-
Embedded Audio Error	BCH、DBN、Parity、Inhibit Line	Sample Count
Video Error	Gamut、Composite Gamut、Level	Freeze、Black

8. キャプチャー機能



図 8-9 エラーキャプチャー終了

8.2.2 フレームデータの表示

本体に取り込んだフレームデータは、本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりする ことができます。また、表示モードを切り換えての表示も可能です。 以下の操作で、表示形式を選択できます。

- ・ あらかじめ、ビデオ信号波形、ベクトル波形(5 バー表示を除く)、ピクチャーのいずれかを表示 しておいてください。
- フレームデータの表示には、取り込んだデータと同一フォーマットの信号が入力されていることが必要です。
- ・ V POS ツマミ、H POS ツマミ、ファンクションダイヤル(F•D)の操作で、画面が点滅することが あります。
- ・ スケールや測定値は、取り込んだデータのものではなく、現在の情報を表示します。

操作

CAP -	→ F•	•3	DISPLAY: <u>REAL</u> / HOLD / BOTH
設定項	頁目の	の割	 拍明
REAL:	:		現在の入力信号を表示します。
HOLD	:		フレームデータを表示します。ビデオ信号波形とベクトル波形はシアンで表示
			します。
BOTH	:		現在の入力信号とフレームデータの輝度を半分にして、重ねて表示します。

8.2.3 USB メモリーへの保存

本体に取り込んだフレームデータは電源を切るなどでクリアされますが、以下の操作で USB メモリ ーに保存することで、電源を切った後でも本体に表示できます。(保存形式を FRM にしたとき)

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- 2. CAP メニューの F•4 FILE TYPE を押します。 FILE TYPE メニューが表示されます。



3. ファイル形式を選択します。

保存するファイル形式を ON にします。初期設定はすべて ON です。すべての設定を OFF にす <u>るこ</u>とはできません。

F•3 DPX: ピクチャー部分のみを 10bit の DPX 形式で保存します。

入力信号が 12bit であっても、10bit に丸めて保存します。

 F•4 TIF:
 ピクチャー部分のみを TIF 形式で保存します。

 このデータは、DPX を TIF に変換したものです。

F•5 FRM: 1 フレーム分のデータを保存します。

- F•7 up menu を押します。
 CAP メニューが表示されます。
- 5. F•5 STORE を押します。

画面上にメッセージ「Please wait. Saving file...」が表示され、USB メモリーにフレームデー タが保存されます。フレームデータが本体に取り込まれていないとき、このメニューは表示さ れません。

入力信号が 1080i/59.94 で、F•4 FILE TYPE がすべて ON のとき、保存にかかる時間は約 50 秒です。また、ファイルサイズは DPX が約 7.9MB、TIF が約 11.8MB、FRM が約 9.4MB で す。

ファイル名はシステム設定で設定した日時が、西暦、月、日、時間、分、秒、CHの順に自動で 付きます。(例: 20090501100859A.bmp)

フレームデータの保存先は以下のとおりです。

- 🖞 USB メモリー
- └ 🗍 LV5490_USER
 - 🗆 🗋 вмр
 - $\vdash \Box$ yyyymmddhhmmss.dpx
 - ⊢ 🗋 yyyymmddhhmmss.frm
 - L yyyymmddhhmmss.tif

8.2.4 USB メモリーのフレームデータ表示

USB メモリーに FRM 形式で保存したフレームデータは、以下の手順で本体に表示したり、現在の入 カ信号と重ねて表示したりすることができます。 (他機種で保存した FRM 形式のフレームデータを本体に表示することはできません)

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- CAP キーを押します。
 CAP メニューが表示されます。
- 3. F•6 RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

NO	and postal and a state	and a second second	Filename		Date	STime	Size(byte)
	1 2014022113 2 2014022113 3 2014022113 4 2014022113	1806.dpx 1806.frm 1806.tif 2935.dpx			2014/02/2 2014/02/2 2014/02/2 2014/02/2	1 13:18:28 1 13:18:40 1 13:18:38 1 13:30:05	8,296,480 9,900,064 12,450,600 8,296,480
	5 20140221132	2935.frm			2014/02/2	1 13:30:19	9,900,064
	6 20140221132	2935.tif			2014/02/2	1 13:30:18	4,151,874
Dis Fre	k Size: e Size:	4,001,431,55 3,938,385,92	2 Byte 0 Byte	FORMAT	: 1920×1080/59.9	4I YCbCr(422)	10bit HD
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

図 8-11 ファイルリスト画面

- 4. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、表示する FRM 形式のファイルを選択します。
- 5. F•1 RECALL を押します。 フレームデータの表示には、保存したデータと同一フォーマットの信号が入力されていること が必要です。画面下部の FORMAT には保存したデータのフォーマットが表示され、現在のフォ ーマットと同一のときは緑色、異なるときは赤色になります。FORMAT が赤色のとき、F•1 RECALL は表示されません。
- 6. F•3 DISPLAY を押して、表示形式を選択します。

8.2.5 USB メモリーのフレームデータ削除

USB メモリーに保存したフレームデータは、以下の手順で削除できます。(PC でも削除できます)

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- 2. CAP キーを押します。

CAP メニューが表示されます。

3. F•6 RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

No.	Filename	far ne sandtist tok	Date&Time	Size(byte)
1 2014022113	.806.dpx		2014/02/21 13:18:2	8,296,480
2 2014022113	806.1rm		2014/02/21 13:18:4	9,900,064
5 2014022115.	1800.111 1935 day		2014/02/21 13:18:3	5 12,450,000
5 20140221132	935.frm		2014/02/21 13:30:0	9 9,900,064
6 20140221132	935.tif		2014/02/21 13:30:1	3 4,151,874
Dick Size.	4,001,431,552 Byte			
DISK SIZC.	2 038 385 020 Byte	FORMAT	: 1920x1080/59.941 YCbCr(422) 10bit HD
Free Size:	3,930,303,920 Dyte			
Free Size:	3,930,303,920 Byte	-u	II	

図 8-12 ファイルリスト画面

- 4. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、削除するファイルを選択します。
- 5. F•3 DELETE FILE を押します。

DELETE FILE メニューが表示されます。 CAP \rightarrow F•6 RECALL \rightarrow F•3 DELETE FILE \rightarrow DELETE VES DELETE NO F·1 F·2 F·3 F·4 F·5 F·6 F·7 図 8-13 DELETE FILE メニュー

6. F•1 DELETE YES を押します。
 削除をキャンセルするときは F•3 DELETE NO を押してください。

9. プリセット機能

プリセット機能とは、パネル設定を 60 点まで登録できる機能で、決まった設定を簡単に呼び出すことが できます。また、登録したプリセットデータは USB メモリーに一括コピーできるため、複数の本体を同 一の設定で使用できます。

プリセットには、以下を除いたすべての項目が登録されます。登録された内容は、設定の初期化を行って も削除されません。

- ・イーサネットの設定 (ETHERNET SETUP タブ)
- ・リモートの設定 (REMOTE SETUP タブ)
- ・日時の設定 (DATE&TIME タブ)
- 9.1 プリセットの登録

プリセットを登録するには、以下の手順で操作を行います。

1. 登録する画面を表示します。

あらかじめシステム設定の GENERAL SETUP タブで Recall を選択することによって、プリセットを呼び出したときのメニューを設定できます。 【参照】GENERAL SETUP タブ → 「7.2.1 一般的な設定」

2. PSET キーを長押しします。

プリセット登録画面が表示されます。

No.	 Comment		Date	e&Time	Size(byte)
1			//-		
2			//-		
3			//		
4			//		
5			//		
6			//		
7			//		
8			//		
9			//		
10			//-		
11			//		
12			//		
13			//-		
14			//		
15			//		
16			//		
17			//		
18			//		
19			//		
20					
21			//		
22			//		
23					
	Setup	Memory Commen	t		

図 9-1 プリセット登録画面

3. F•1 COMMENT INPUT を押します。

コメント入力画面が表示されます。

コメントはすでに保存してあるプリセットのコメントからコピーすることもできます。コメント をコピーするには、プリセット登録画面でコピーしたいプリセットにカーソルを合わせてから、 ファンクションダイヤル(F•D)を押してください。

	SPC !	"#	\$ %	٢ ک	()	
	* +		. /	θ 1	2 3	
	4 5	6 7	8 9	: ;	< =	
	> ?	@ A	ВС	DE	FG	
	HI	JK	LM	NO	PQ	
	RS	TU	VW	XY	Z	
	<u>∖</u>]	^	` a	b c	d e	
	f g	h i	j k	l m	по	
	p q	r 5	t u	v v	х у	
	z {	}				
	[F.D_NOB] =	CHAR SELECT ,	[F.D_PUSH] = C up Memory Comme	HAR SET & Funct ent	ion Key Edit	
CLEAR ALL	DELETE	INSERT	<=	=>	CHAR SET	up menu

図 9-2 コメント入力画面

4. 16 文字以内でコメントを入力します。

コメント入力画面でのキー動作は以下のとおりです。

F ●1	CLEAR ALL	:すべての文字列を削除します。
F∙2	DELETE	:カーソル上の文字を削除します。
F ∙3	INSERT	:カーソルの位置に選択した文字を挿入します。
F∙4	<=	:カーソルを左に移動します。
F∙5	=>	:カーソルを右に移動します。
F•6	CHAR SET	:文字を入力します。
ファ	ンクションダイヤル(F•D)	:回して文字を選択、押して文字を入力します。

- 5. F•7 up menu を押します。
- 6. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、登録するプリセット番号を選択します。
- 7. F•2 STORE を押します。

選択した番号にすでにプリセットが登録してあるときは、STORE メニューが表示されます。上書 きするときは $\boxed{F \cdot 1}$ OVER WRITE YES、登録をキャンセルするときは $\boxed{F \cdot 3}$ OVER WRITE NO を 押してください。



9.2 プリセットの呼び出し

プリセットを呼び出すには、以下の手順で操作を行います。

1. PSET キーを押します。

PSET メニューが表示されます。



F•1 No.1 ~ F•6 No.6 を押します。
 呼び出すプリセットが No.7 以降のときは、F•7 more を押すか、ファンクションダイヤル(F•D) を回してください。

呼び出した直後のメニューは、プリセット登録時の GENERAL SETUP タブの設定によって、 PSET メニューまたは測定メニューのいずれかとなります。 【参照】GENERAL SETUP タブ →「7.2.1 一般的な設定」 9.3 プリセットの削除

プリセットを削除するには、以下の手順で操作を行います。

1. PSET キーを長押しします。

プリセット登録画面が表示されます。

No.		Comment		Dat	e&Time	Size(byte)
1 DATA DUMP				2013/10/		
2 LINE SEL				2013/10/	02 11:28:18	107,368
3 MY LAYOUT				2013/10/	02 11:30:05	107,368
4						
5						
6						
7				//		
8 8						
9						
10						
11				//		
12				//		
13				//		
14				//		
15				//		
16						
17				//		
18				//		
19				//		
20				//		
21						
22				//		
23				//		
		Set	up Memory Comme	int		
COMMENT	STORE		γ		<u> </u>	

図 9-5 プリセット登録画面

- 2. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、削除するファイルを選択します。
- 3. F•3 DELETE を押します。

DELETE メニューが表示されます。

DELETE YES		DELETE NO				
F·1	F·2	F·3	F·4	F·5	F·6	F·7
		図 9-6	DELETE メ	ニュー		

4. F•1 DELETE YES を押します。
 削除をキャンセルするときは、F•3 DELETE NO を押してください。

9.4 本体から USB メモリーへの一括コピー

本体のプリセットを USB メモリーに一括コピーするには、以下の手順で操作を行います。

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- 2. PSET キーを長押しします。

プリセット登録画面が表示されます。

No.	A		Comment		una zoono	Date&	Time	Size(byte)	
1	DATA DUMP				201	3/10/02	11:26:59	107,36	58
2	LINE SEL				201	3/10/02	11:28:18	107,36	58
3	MY LAYOUT				201	3/10/02	11:30:05	107,36	58
4						-//			
5						-//			
6						-//			
7						-//			
8						-//			
9						-//			
10						-//			
11						-//			
12						-//			
13						-//			
14						-//			
15						-//			
16						-//			
17						-//			
18						-//			
19						-//			
20						-//			
21						-//			
22						-//	::		
23						-//			
			Se	tup Memory Comme	nt				
	COMMENT	STORE	DELETE		ALL CO USB->I	PY NT	ALL COPY INT->USB		

図 9-7 プリセット登録画面

3. F•6 ALL COPY INT->USB を押します。

ALL COPY INT->USB メニューが表示されます。



図 9-8 ALL COPY INT->USB メニュー

4. F•1 COPY INT->USB YES を押します。

コピーをキャンセルするときは、 $[F \bullet 3]$ COPY INT->USB NO を押してください。USB メモリーに すでにプリセットが存在するときは、上書きされます。

プリセットの保存先は以下のとおりです。

USB メモリーのファイル名を PC で変更すると、USB メモリーのプリセットを本体にコピーできなくなりますので、注意してください。

- DUSB メモリー
- └ 🗍 LV5490_USER
 - 🗆 🗋 pset
 - └ 🗋 PRESET_01.PRE (~PRESET_60.PRE)

9.5 USB メモリーから本体への一括コピー

USB メモリーのプリセットを本体に一括コピーするには、以下の手順で操作を行います。

- 1. 本体に USB メモリーを接続します。
- 2. PSET キーを長押しします。

プリセット登録画面が表示されます。

No.		Comment	Date&Time	Size(byte)
1 DATA DUM			2013/10/02 11:26:59	107,368
2 LINE SEL			2013/10/02 11:28:18	107,368
3 MY LAYOUT			2013/10/02 11:30:05	107,368
4			//::	
5			//::	
6			//::	
7			//::	
8				
9			//::	
10			//::	
11				
12			//::	
13				
14				
15				
16				
17				
18			//::	
19				
20			//::	
21				
22				
23				
		Setup Memory Comment		
COMMENT	STORE	DELETE	LL COPY ALL COPY SB->TNT TNT->USB	

図 9-9 プリセット登録画面

3. F•5 ALL COPY USB->INT を押します。

ALL COPY USB->INT メニューが表示されます。



4. F•1 COPY USB->INT YES を押します。

コピーをキャンセルするときは、F•3 COPY USB->INT NO を押してください。本体にすでにプ リセットが存在するときは、上書きされます。
10. ビデオ信号波形表示

ビデオ信号波形を表示するには、WFM キーを押します。



図 10-1 ビデオ信号波形表示

• カラリメトリについて

通常カラリメトリは表示しませんが、システム設定のカラリメトリアラームが ON のときは、指定した カラリメトリ以外が入力されると、画面左上に赤色で表示します。

10.1 波形表示位置の設定

V POS ツマミと H POS ツマミを使用して、ビデオ信号波形の表示位置を調整できます。 マルチ表示では、MULTI メニューの F•2 MULTI WFM を押したときに有効です。

F:1 F:2 INPUT EXT INPUT EXT MULTI SYS CAP PSET	F·3 F·4 WFM VECT PIC AUDIO STATUS EYE	F-5 V POS	F-6 H POS	F-7 F-D	JSB

図 10-2 V POS ツマミとH POS ツマミ

V POS ツマミ

ビデオ信号波形の垂直位置を調整します。 ツマミを押すと、波形の位置が基準位置に戻ります。

H POS ツマミ

ビデオ信号波形の水平位置を調整します。 ツマミを押すと、波形の位置が基準位置に戻ります。 10.2 表示の設定

表示の設定は、WFM メニューの F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY で行います。



図 10-3 INTEN/SCALE/DISPLAY メニュー

10.2.1 波形の輝度調整

以下の操作で、ビデオ信号波形の輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0)に戻ります。

操作

NFM	\rightarrow	F ●1	INTEN/SCALE/DISPLAY	$\rightarrow F\bullet$	WFM INTEN: -128 - <u>0</u> - 127
-----	---------------	-------------	---------------------	------------------------	----------------------------------

10.2.2 波形色の選択

以下の操作で、ビデオ信号波形の色を選択できます。
MULTIのときは、ビデオ信号波形に以下の色を割り当てて表示します。
Y:白
Cb: シアン
Cr: マゼンタ
G:緑
B:青
R:赤

X: 白 Y: 白 Z: 白

COMPOSIT: 白

操作 (3G-B-DS 以外のとき)

WFM → $[F \bullet 1]$ INTEN/SCALE/DISPLAY → $[F \bullet 2]$ WFM COLOR: WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI

操作 (3G-B-DS のとき)

WFM \rightarrow F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY \rightarrow F•2 WFM COLOR

→ F•1 STREAM1 COLOR: WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI

 \rightarrow F•2 Stream2 Color: <u>WHITE</u> / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue / Multi

10.2.3 スケールの輝度調整

スケールの設定は、INTEN/SCALE/DISPLAY メニューの F•3 WFM SCALE で行います。



図 10-4 WFM SCALE メニュー

以下の操作で、スケールの輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(4)に戻ります。

```
操作
```

WFM \rightarrow F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY \rightarrow F•3 WFM SCALE \rightarrow F•1 SCALE INTEN: -8 - 4 - 7

10.2.4 スケール色の選択

以下の操作で、スケールの色を選択できます。

操作

WFM \rightarrow F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY \rightarrow F•3 WFM SCALE \rightarrow F•2 SCALE COLOR: WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE

10.2.5 スケール単位の選択

以下の操作で、スケールの単位を選択できます。

COLOR MATRIX が XYZ のときは、HD%,SD%または 150%となります。

COLOR MATRIX が COMPOSIT で、コンポジット表示フォーマットが NTSC のときは、

HD%,SD%固定となります。また、コンポジット表示フォーマットが PAL のときは HDV,SDV 固定となります。

ビデオ信号の白 100%は、スケール上で 0.7V または 100%となります。 ビデオ信号の黒 0%は、スケール上で 0V または 0%となります。 【参照】COLOR MATRIX →「10.7.1 カラーマトリックスの選択」

操作

WFM	\rightarrow	F ●1	INTEN/	'SCAL	E/DISF	PLAY	\rightarrow	F•3	WFM	SCALE	\rightarrow	F•3	SCALE	UNIT:	HDV,	SD%	/
HDV,	SDV	/ <u>H</u>	D%,SD	% / 1	50% /	1023	/ 1	023	,255	/ 3FF							

設定項目の説明

HDV,SD%:	入力信号が SD 以外のとき V、SD のとき%でスケールを表示します。
HDV,SDV:	スケールを V で表示します。
HD%,SD%:	スケールを%で表示します。
150%:	スケールを%で表示します。(-50%から表示)
1023:	0~100%を 64~940(YGBR)、64~960(CbCr)で表示します。
1023,255:	0~100%を 64~940(YGBR)、16~235(YGBR)で表示します。
3FF:	0~100%を 040~3AC(YGBR)、040~3C0(CbCr)で表示します。























図 10-5 スケール単位の選択

10.2.6 75%カラーバー用スケールの表示

COLOR MATRIX が YCbCr のとき、以下の操作で 75%カラーバーを入力したときに、色差信号のピ ークレベルに合うようなスケールを表示できます。

【参照】 COLOR MATRIX → 「10.7.1 カラーマトリックスの選択」







図 10-6 75%カラーバー用スケールの表示

10.2.7 表示モードの選択

表示の設定は、INTEN/SCALE/DISPLAY メニューの F•4 WFM DISPLAY で行います。



図 10-7 WFM DISPLAY メニュー

以下の操作で、ビデオ信号波形の表示モードを選択できます。 COLOR MATRIX が COMPOSIT のとき、この設定は無効です。 【参照】COLOR MATRIX →「10.7.1 カラーマトリックスの選択」

操作

WFM \rightarrow F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY \rightarrow F•4 WFM DISPLAY \rightarrow F•1 WFM MODE: OVERLAY / PARADE

設定項目の説明

OVERLAY:	入力信号を重ねて表示します。
PARADE:	入力信号を並べて表示します。

WFM MODE = OVERLAY



WFM MODE = PARADE





10.2.8 チャンネルのオンオフ

以下の操作で、チャンネルごとに波形をオンオフできます。 CH1~CH3 をすべてオフにすることはできません。 COLOR MATRIX が COMPOSIT のときや YGBR または YRGB が ON のとき、このメニューは表示 されません。

【参照】 COLOR MATRIX →「10.7.1 カラーマトリックスの選択」 YGBR、YRGB →「10.7.2 輝度信号のオンオフ」

操作

WFM \rightarrow F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY \rightarrow F•4 WFM DISPLAY

 \rightarrow F•2 CH1 Y / CH1 X / CH1 G / CH1 R: ON / OFF

 \rightarrow F•3 CH2 Cb / CH1 Y / CH2 B / CH2 G: ON / OFF

 \rightarrow F•4 CH3 Cr / CH1 Z / CH3 R / CH3 B: ON / OFF

10.2.9 4Y パレードの表示

以下の操作で、A~DchのY信号を抜き出し、横に並べて表示できます。

4Y パレードの表示条件は以下のとおりです。

- ・シングルリンク
- ・サイマルモード
- ・WFM メニューの F•7 COLOR SYSTEM \rightarrow F•1 COLOR MATRIX が YCbCr または COMPOSIT
- ・INPUT メニューの F•6 OPERATE CH MODE が COM
- ・レイアウトの Display Mode が NORMAL

また、以下の点に注意してください。

- ・INPUT メニューで ON にしたチャンネルのみ表示します。
- ・レイアウトの Option は非表示になります。
- ・レイアウトの Style は無効です。
- ・スケールジャンプ機能は使用できません。

١	NFM	\rightarrow	F ●1	INTEN/SCALE/DISPLAY	$\rightarrow F \bullet 4$	WFM DISPLAY \rightarrow	F•5	4Y PARADE: ON / OFF

10. ビデオ信号波形表示









10.2.10 3G-B-DS 表示の設定

3G-B-DS 測定時、以下の操作で表示形式を選択できます。

操作

WFM	\rightarrow	F ●1	INTEN/SC	ALE/D	ISPLAY	\rightarrow	F∙4	WFM	DISPL	$AY \rightarrow$	F∙5	3G-B-DS	DISPLAY:	
STRE	AM1	/ 5	STREAM2 /	MIX /	ALIGN	-								

設定項目の説明

STREAM1:	ストリーム1を表示します。
STREAM2:	ストリーム 2 を表示します。
MIX:	ストリーム1とストリーム2を重ねて表示します。
ALIGN:	ストリーム1とストリーム2を並べて表示します。

3G-B-DS DISPLAY = MIX







図 10-10 3G-B-DS 表示の設定

10.3 倍率とフィルターの設定

倍率とフィルターの設定は、WFM メニューの $F \bullet 2$ GAIN/FILTER で行います。



10.3.1 固定倍率の選択

以下の操作で、ビデオ信号波形の固定倍率を選択できます。

操作		
$WFM \rightarrow$	F•2 GAIN/FILTER →	F•2 GAIN MAG: <u>X1</u> / X5

10.3.2 可変倍率の設定

以下の操作で、ビデオ信号波形の倍率を設定できます。

操作

WFM	\rightarrow	F•2	GAIN/FILTER \rightarrow	F•1	GAIN VARIABLE: CAL / VARIABLE
-----	---------------	-----	---------------------------	-----	-------------------------------

設定項目の説明

CAL:	波形の倍率を固定にします。
VARIABLE:	波形の倍率を、ファンクションダイヤル(F•D)で可変します。ファンクションダ
	<u>イヤ</u> ル(F●D)を押すと、設 <u>定値</u> が初期値(1.000 または 5.000)に戻ります。
	F•1 GAIN VARIABLE と F•2 GAIN MAG を組み合わせた倍率が、画面下部に
	表示されます。
	0.200 - <u>1.000</u> - 2.000 (X1 のとき)
	1.000 - <u>5.000</u> - 10.000 (X5 のとき)

10.3.3 フィルターの選択

以下の操作で、ビデオ信号波形に適用するフィルターを選択できます。 選択できるフィルターは、COLOR MATRIXの設定によって異なります。 【参照】COLOR MATRIX →「10.7.1 カラーマトリックスの選択」

操作 (COLOR MATRIX が YCbCr、XYZ、GBR、RGB のとき) WFM → $F \bullet 2$ GAIN/FILTER → $F \bullet 3$ FILTER: FLAT / LOWPASS

設定項目の説明

FLAT:	全帯域でフラットな周波数特性を持つフィルターを適用します。
LOWPASS:	以下の特性を持つローパスフィルターを適用します。
	40MHz で 20dB 以上減衰 (入力信号が 1080/60P、59.94P、50P のとき)
	20MHz で 20dB 以上減衰 (入力信号が 1080/60P、59.94P、50P を除く 3G、
	HD、HD(DL)のとき)
	3.8MHz で 20dB 以上減衰 (入力信号が SD のとき)

FILTER = FLAT



FILTER = LOWPASS



図 10-12 フィルターの選択 (コンポーネント)

10. ビデオ信号波形表示

操作 (COLOR MATRIX が COMPOSIT のとき)

WIM / 1 2 GAIN/TIETER / 1 STITETER, TEAT / LONT / LATTEON / LONT CRIMA	LAT+LUM / LUM+CRMA	FILTER: FLAT / LU	→ F•3	GAIN/FILTER -	$\rightarrow F \bullet 2$	WFM
--	--------------------	-------------------	-------	---------------	---------------------------	-----

設定項目の説明

FLAT:	疑似コンポジット信号のみを表示します。
LUM:	輝度信号のみを表示します。
FLAT+LUM:	疑似コンポジット信号と輝度信号を並べて表示します。
	輝度信号には、40MHz で 20dB 以上減衰するフィルターを適用します。
LUM+CRMA:	輝度信号と色信号を並べて表示します。
	輝度信号には、40MHz で 20dB 以上減衰するフィルターを適用します。

FILTER = FLAT











図 10-13 フィルターの選択 (コンポジット)

- 10.3.4 スケールジャンプの設定
 - F●2 GAIN MAG を X5 にすると、波形は Y 軸方向に 5 倍の拡大表示をしますが、以下の操作で拡大 表示したい部分を選択できます。全体に対して現在表示している部分は、画面右側のスケール で確認できます。
 - このメニューは、 F•1 GAIN VARIABLE が CAL のときに表示されます。VARIABLE のときは 0 固定となり、画面右側のスケールも表示しません。

操作

WFM \rightarrow F•2 GAIN/FILTER

- → F•4 SCALE JUMP: 0 / 10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 / 70 / 80 / 90 / CURSOR (スケール単位 が V 以外のとき)
- → F•4 SCALE JUMP: .0 / .1 / .2 / .3 / .4 / .5 / .6 / .7 / CURSOR (スケール単位が V のとき)

• 0~90 について

本器には Y 軸方向に 10 種類の表示画面があり、0~90 でこの表示画面を切り換えます。 たとえばスケール単位が%で YCbCr 表示のときは、0 を選択すると 0~20%、10 を選択すると 10~30%、90 を選択すると 90~110%の範囲を表示します。

.0~.7 についても同様です。

- CURSOR について
 - Y 軸カーソルを基準に動作し、現在選択しているカーソル(▼マーク)付近を拡大表示します。操作 方法の一例を以下に示します。

【準備】

- 2. GAIN/FILTER メニューの F•2 GAIN MAG を X5 にします。
- 3. F•4 SCALE JUMP を CURSOR にします。

【運用】

- 4. **F**•2 GAIN MAG を X1 にします。
- 5. 拡大表示したい部分に、Y 軸カーソルを配置します。(カーソルは、GAIN/FILTER メニュー 内で移動でき、ファンクションダイヤル(F•D)を押すことで REF/DELTA/TRACK を切り換え られます)
- 6. F•2 GAIN MAG を X5 にすると、配置した Y 軸カーソル付近を拡大表示します。

SCALE JUMP = CURSOR

	1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD	94I YCbCr(422) 10bit HD SDI 14				14:53:34		
50	1							
8								
6					.—.	54.5% [Y]		
2								
0						Γ		
8 6						45.4% [Y]		
4								
2 0								
		GAIN	x5.00	0		9.1% YCbCr		

図 10-14 スケールジャンプの設定

10.4 掃引の設定



10.4.1 掃引方式の選択

以下の操作で、ビデオ信号波形の掃引方式を選択できます。



木 ト							_
WFM	\rightarrow	F•3	SWEEP	\rightarrow	F ●1	SWEEP: <u>H</u> / V	_

設定項目の説明

H:	ライン表示をします。
V:	フィールドまたはフレーム表示をします。 サンプリングデータを間引いて処理
	しているため、折り返し歪みが発生します。

SWEEP = H









10.4.2 ライン表示形式の選択

F●1 SWEEP が H のとき、以下の操作で掃引時間を選択できます。

操作



・4K のとき
• F•1 INTEN/SCALE/DISPLAY \rightarrow F•4 WFM DISPLAY \rightarrow F•1 WFM MODE



H SWEEP = 1H



H SWEEP = 2H



図 10-17 ライン表示形式の選択

10.4.3 フィールド表示形式の選択

F●1 SWEEPがVのとき、以下の操作で掃引時間を選択できます。

操作

Ľ	201011					
ļ	WFM	\rightarrow	F•3	$SWEEP \rightarrow$	F∙2	V SWEEP: <u>1V</u> / 2V

設定項目の説明

1V:	1 フィールド分表示します。
2V:	1 フレーム分表示します。入力信号がプログレッシブのときは選択できません。

V SWEEP = 1V



V SWEEP = 2V

	<u>. </u>	
	The second grant of	

図 10-18 フィールド表示形式の選択

さらに、入力信号がインタレースまたはセグメントフレームで、F•2 V SWEEP が 1V のときは、以下の操作で表示フィールドを選択できます。

操作	
WFM \rightarrow F•3 SWEEP \rightarrow	F•4 FIELD: <u>FIELD1</u> / FIELD2

10.4.4 水平方向の倍率選択

以下の操作で、水平方向の倍率を選択できます。選択できる倍率は、COLOR MATRIX などの設定に よって、以下のように異なります。

【参照】 COLOR MATRIX → 「10.7.1 カラーマトリックスの選択」

表 10-1 水平方向の倍率

F•1 SWEEP	COLOR MATRIX	F•2 H SWEEP	X1	X10	X20	X40	ACTIVE	BLANK
Н	YCbCr、XYZ、	1H	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes
	GBR、RGB	2H	Yes	Yes	Yes	No	No	Yes
	COMPOSIT	-	Yes	Yes	Yes	No	Yes	No
V	-	-	Yes	No	Yes	Yes	No	No

(Yes: 設定可 No: 設定不可)

操作

2	201011						
	WFM	\rightarrow	F•3	SWEEP ·	→ F•3	SWEEP MAG: <u>X1</u> / X10 / X20 / X40 / ACTIVE / BLANK	

設定項目の説明

X1:	ビデオ信号波形が画面に収まるように表示します。
X10:	中央を基準として、X1 の 10 倍で表示します。
X20:	中央を基準として、X1 の 20 倍で表示します。
X40:	中央を基準として、X1 の 40 倍で表示します。
ACTIVE:	ビデオ信号波形のブランキング期間以外を拡大表示します。
BLANK:	ビデオ信号波形のブランキング期間を拡大表示します。
	ベクトル波形表示にもブランキング期間を表示します。





10. ビデオ信号波形表示













図 10-19 水平方向の倍率

10.4.5 ブランキング期間の表示

以下の操作で、ブランキング期間の波形を表示できます。 REMOVE 以外にすると、ベクトル波形表示にもブランキング期間を表示します。 【参照】 COLOR MATRIX →「10.7.1 カラーマトリックスの選択」

操作

WFM \rightarrow F•3 SWEEP \rightarrow F•5 BLANKING: <u>REMOVE</u> / V VIEW / H VIEW / ALL VIEW	
--	--

設定項目の説明

REMOVE:	アクティブ期間のみを表示します。
V VIEW:	アクティブ期間と垂直ブランキング期間を表示します。
H VIEW:	アクティブ期間と水平ブランキング期間を表示します。
	COLOR MATRIX が COMPOSIT のときは選択できません。
ALL VIEW:	入力信号をすべて表示します。
	COLOR MATRIX が COMPOSIT のときは選択できません。

BLANKING = ALL VIEW



図 10-20 ブランキング期間の表示

10.5 ラインセレクトの設定

ラインセレクトの設定は、WFM メニューの F•4 LINE SEL で行います。 \rightarrow F•4 LINE SEL \rightarrow WFM SELECT CH LINE FIELD up menu SELECT FRAME ON 1A (F·3) F•5] F•7 F·1 F·2) [F·4]] F•6) 図 10-21 LINE SEL メニュー

10.5.1 ラインセレクトのオンオフ

以下の操作で、選択したラインの波形を表示できます。ラインはファンクションダイヤル(F•D)で選 択し、選択したラインは画面左下に表示されます。

ここで設定した内容は、ベクトル波形表示、ピクチャー表示のラインセレクト設定と連動します。 SWEEP が V のとき、このメニューは表示されません。 【参照】 SWEEP → 「10.4.1 掃引方式の選択」

操作

WFM	\rightarrow	F•4	I INF	SEL -	→ F	• 1	SEL F	СТ	ON	/ OFF	
VVI I .I		1 • T			· •	- T					

LINE SELECT = ON







図 10-22 ラインセレクトのオンオフ

- 10.5.2 ライン選択範囲の設定
 - F●1 LINE SELECT が ON で、入力信号がインタレースまたはセグメントフレームのとき、以下の操作でラインの選択範囲を設定できます。
 - ここで選択したラインは、ベクトル波形表示、ピクチャー表示、ステータス表示(データダンプ)の選 択ラインと連動します。

操作

WFM	\rightarrow	F∙4	LINE SEL	\rightarrow	F∙2	FIELD: FIELD1 / FIELD2 / FRAME

設定項目の説明

FIELD1:	フィールド1のラインを選択します。(例: 1~563)
FIELD2:	フィールド 2 のラインを選択します。(例: 564~1125)
FRAME:	全ラインを選択します。 (例: 1~1125)

10.6 カーソルの設定

カーソルの設定は、WFM メニューの F•5 CURSOR で行います。



10.6.1 カーソルのオンオフ

以下の操作で、カーソルをオンオフできます。

REF カーソルが青色、DELTA カーソルが緑色で表示され、DELTA-REF が測定値として画面右下に 表示されます。(F•3 Y UNIT が DEC または HEX のときは、絶対値表示となります) ON XY を選択すると、X 軸カーソルと Y 軸カーソルを同時に表示します。

WFM \rightarrow F•5 CURSOR \rightarrow F•1 CURSOR: ON / ON XY / OFF	
---	--

10.6.2 カーソルの選択

> 以下の操作で、X軸カーソル(時間測定)またはY軸カーソル(振幅測定)を選択します。 F●1 CURSOR が ON XY のときは、移動するカーソルをここで選択します。

操作





XY SEL = Y



図 10-24 カーソルの選択

- 10.6.3 カーソルの移動
 - 以下の操作で移動するカーソルを選択してから、ファンクションダイヤル(F•D)を回すことで、カー ソルを移動できます。選択したカーソルの両端には、ママークが表示されます。
 - カーソルの選択はファンクションダイヤル(F•D)を押しても行えます。ファンクションダイヤル(F• D)を押すごとに、REF→DELTA→TRACKの順でカーソルが切り換わります。

					
WFM	\rightarrow	F∙5	CURSOR \rightarrow	F ∙4	FD VAR: REF / DELTA / TRACK

10.6.4 Y 軸測定単位の選択

 $F \bullet 2$ XY SEL が Y のとき、以下の操作で Y 軸カーソルの測定単位を選択できます。 【参照】 COLOR MATRIX →「10.7.1 カラーマトリックスの選択」

操作

JÆTE	
WFM \rightarrow F•5 CUI	RSOR \rightarrow F•3 Y UNIT: <u>mV</u> / % / R% / DEC / HEX / HDR
設定項目の説明	
mV:	 電圧で表示します。
%:	%で表示します。
	コンポジット表示フォーマットが NTSC のときは 714mV を 100%、PAL のと
	<u>きは</u> 700mV を 100%に換算して表示します。
R%:	F•5 REFSET を押したときの振幅を 100%として、%で表示します。
DEC:	0~100%を 64~940 として、10 進数で表示します。
	COLOR MATRIX が COMPOSIT のときは選択できません。
	C _B C _R 信号の測定には対応していません。
HEX:	0~100%を 040~3AC として、16 進数で表示します。
	COLOR MATRIX が COMPOSIT のときは選択できません。
	C _B C _R 信号の測定には対応していません。
HDR:	%または cd/m ² で表示します。
	SER07 がインストールされていて、HDR 測定時に選択できます。
	詳細は「14.1.2 カーソル表示」を参照してください。

10.6.5 X 軸測定単位の選択

F•2 XY SEL が X のとき、以下の操作で X 軸カーソルの測定単位を選択できます。

WFM \rightarrow F•5 CURSOR \rightarrow F•3 X UNIT: <u>sec</u> / Hz
設定項目の説明

sec:	時間で表示します。
Hz:	カーソル間を1周期として、周波数で表示します。

10.6.6 カーソル値表示のオンオフ

以下の操作で、カーソルの値を表示できます。(F•3 Y UNIT が R%のときを除く) 表示単位は、F•3 Y UNIT または F•3 X UNIT で選択した単位となります。 F•1 CURSOR が ON XY のときは、F•2 XY SEL で選択したカーソルに値を表示します。





図 10-25 カーソル値表示のオンオフ

10.7 カラーシステムの設定

カラーシステムの設定は、WFM メニューの F•7 COLOR SYSTEM で行います。



- 10.7.1 カラーマトリックスの選択
 - 本器では、入力信号を GBR 信号、RGB 信号、疑似コンポジット信号にマトリックス変換して表示 できます。以下の操作で、波形の表示形式を選択します。選択した表示形式は、画面右下に表示されます。

操作

WFM	\rightarrow	F∙7	COLOR	SYSTEM	\rightarrow F•	1 COLOR	MATRIX:	YCbCr / XYZ / GBR / RGB /	
COMF	POSI	T							

設定項目の説明	
YCbCr:	YC₀Cℝ信号を表示します。
	入力信号が RGB または XYZ のときは選択できません。
XYZ:	XYZ 信号を表示します。
	入力信号が YC _B C _R または RGB のときは選択できません。
GBR:	入力信号を GBR 信号に変換して表示します。
RGB:	入力信号を RGB 信号に変換して表示します。
COMPOSIT:	入力信号を疑似的に NTSC や PAL のコンポジット信号に変換して表示します。
	・カラーバーストの周波数は、PAL や NTSC の周波数と一致していません。
	・カラーバースト、同期信号の幅や位置は、PAL や NTSC と異なります。
	・信号の帯域は元の信号の帯域になります。

COLOR MATRIX = YCbCr



















図 10-27 カラーマトリックスの選択

10.7.2 輝度信号のオンオフ

F•1 COLOR MATRIX が GBR または RGB のとき、以下の操作で輝度信号(Y)のオンオフができます。



図 10-28 輝度信号のオンオフ

10.7.3 コンポジット表示フォーマットの選択

以下の操作で、コンポジット表示フォーマットを選択できます。

201011	
WFM \rightarrow F•7 COL	OR SYSTEM \rightarrow F•4 COMPOSIT FORMAT: <u>AUTO</u> / NTSC / PAL
設定項目の説明	
AUTO:	入力信号のフレーム周波数が 25Hz または 50Hz のときは PAL、それ以外のと
NTSC:	NTSCで表示します。スケールの単位は%固定となります。
PAL:	PAL で表示します。スケールの単位は V 固定となります。

10.7.4 セットアップレベルの選択

F•1 COLOR MATRIX が COMPOSIT のとき、以下の操作でセットアップレベルを選択できます。 コンポジット表示フォーマットが PAL のとき、このメニューは表示されません。







図 10-29 セットアップレベルの選択

11. ベクトル波形表示

ベクトル波形を表示するには、VECT キーを押してから、 $F_{\bullet 5}$ DISPLAY $\rightarrow F_{\bullet 1}$ MODE を VECTOR にします。

MODE を 5BAR にしたときの説明は「11.7 5 バー表示」、HISTOGRAM にしたときの説明は「11.8 ヒストグラム表示」、CIE DIAGRAM にしたときの説明は「12 CIE 色度図表示 (SER05)」を参照して ください。CIE DIAGRAM は、SER05 がインストールされているときに選択できます。



図 11-1 ベクトル波形表示

ベクトル波形について

コンポーネント信号の波形表示は、C_B(水平)、C_R(垂直)による X-Y 表示です。 また、スケールの仕様は以下のとおりです。

- 枠: フルスケール値 0.7V の±5% (コンポーネント表示のとき) フルスケール値 0.7V の±3% (疑似コンポジット表示のとき)
- 円: グリーンに対して+20%
- ブランキングについて

通常、ベクトル波形にブランキング期間は表示しませんが、WFM メニューの SWEEP MAG を BLANK にしたり、BLANKING を REMOVE 以外にしたりすると、表示されます。

• カラリメトリについて

システム設定で選択したカラリメトリを、画面右上にシアンで表示します。 ただし 3G(DL)-4K または 3G(QL)のときは、ペイロード ID ですべてのリンクのカラリメトリ情報が 一致していないと、黄色で表示します。 システム設定のカラリメトリアラームが ON のときは、指定したカラリメトリ以外が入力されると、赤 色で表示します。 11.1 輝度とスケールの設定

輝度とスケールの設定は、VECT メニューの F•1 INTEN/SCALE で行います。



11.1.1 波形の輝度調整

以下の操作で、ベクトル波形の輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0)に戻ります。

操作

$VECT \rightarrow F \bullet 1$ INTEN/SCALE $\rightarrow F \bullet 1$ VECT INTEN	N: -128 - <u>0</u> - 127
---	--------------------------

11.1.2 波形色の選択

以下の操作で、ベクトル波形の色を選択できます。

操作 (3G-B-DS 以外のとき)

VECT \rightarrow F•1 INTEN/SCALE \rightarrow F•2 VECT COLOR: <u>WHITE</u> / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE

操作 (3G-B-DS のとき)

VECT \rightarrow F•1 INTEN/SCALE \rightarrow F•2 VECT COLOR

 \rightarrow F•1 STREAM1 COLOR: WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE

→ F•2 STREAM2 COLOR: WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE

11.1.3 スケールの輝度調整

スケールの設定は、INTEN/SCALE メニューの F•3 VECT SCALE で行います。



図 11-3 VECT SCALE メニュー

以下の操作で、スケールの輝度を調整できます。

ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(4)に戻ります。

VECT	\rightarrow	F ●1	INTEN/SCALE \rightarrow	F •1	SCALE INTEN: -8 - <u>4</u> - 7
------	---------------	-------------	---------------------------	-------------	--------------------------------

11.1.4 スケール色の選択

以下の操作で、スケールの色を選択できます。

操作

```
VECT \rightarrow F•1 INTEN/SCALE \rightarrow F•2 SCALE COLOR: WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE
```

11.1.5 IQ 軸のオンオフ

以下の操作で、IQ 軸をオンオフできます。 VECT SCALE が DCI または BT.2020 のとき、このメニューは表示されません。 フルスケール値 0.7V を 100%としたとき、IQ 軸は以下の値で表示されます。

表 1	1-1	IQ	軸の表示
-----	-----	----	------

	I 軸	Q軸
G	44.559%	37.056%
В	27.865%	84.085%
R	69.120%	62.417%

操作

VECT	\rightarrow	F •1	INTEN/SCALE \rightarrow	F ∙3	IQ AXIS: ON / OFF

IQ AXIS = ON



図 11-4 IQ 軸のオンオフ

11.1.6 スケールの選択

COLOR MATRIX が COMPONEN のとき、以下の操作でスケールの種類を選択できます。 【参照】 COLOR MATRIX →「11.6.1 カラーマトリックスの選択」

操作

$VECT \to F \bullet 1 \text{ INTEN/SCALE} \to F \bullet 3$	VECT SCALE \rightarrow F•4 VECT SCALE: <u>AUTO</u> / BT.601 /	
BT.709 / DCI / BT.2020		

設定項目の説明

AUTO:	システム設定で選択したカラリメトリのスケールを表示します。
BT.601:	ITU-R BT.601 で規定されるスケールを表示します。入力信号が SD で、100%
	カラーバーを入力したときに、ピークレベルが枠に合います。
BT.709:	ITU-R BT.709 で規定されるスケールを表示します。入力信号が HD で、100%
	カラーバーを入力したときに、ピークレベルが枠に合います。
DCI:	DCI で規定されるスケールを表示します。
BT.2020:	ITU-R BT.2020 で規定されるスケールを表示します。入力信号が 4K の 2 サン
	プルインターリーブ方式で、100%カラーバーを入力したときに、ピークレベル
	が枠に合います。

11.2 倍率の設定

倍率の設定は、VECT メニューの F-2 VECT GAIN で行います。



11.2.1 固定倍率の選択

以下の操作で、ベクトル波形の固定倍率を選択できます。

操作

$VECT \rightarrow$	F•2 VECT GAIN → F •2 GAIN MAG: <u>X1</u> / X5 / IQ-MAG
設定項目6	D説明
X1:	波形を×1 倍で表示します。
X5:	波形を×5 倍で表示します。
IQ-MAG:	波形を以下の倍率で表示します。
	×3.12 倍 (SD 以外でコンポーネント表示のとき)(マルチフォーマットカラーバ
	ーの I 信号が円周上にのるような倍率)
	×2.85 倍 (SD 以外で疑似コンポジット表示のとき)(疑似コンポジット変換され
	たマルチフォーマットカラーバーの I 信号が円周上にのるような倍率)
	×2.92 倍 (SD でコンポーネント表示のとき)(コンポジットベクトル表示のバー
	スト信号をコンポーネント変換したときに、振幅が円周上にのるような倍率)
	×2.63 倍 (SD で疑似コンポジット表示のとき)(疑似コンポジット変換された
	SMPTE カラーバーの-I、Q 信号が円周上にのるような倍率)

11.2.2 可変倍率の設定

以下の操作で、ベクトル波形の倍率を設定できます。

操作

設定項目の説明

CAL:	波形の倍率を固定にします。
VARIABLE:	波形の倍率を、ファンクションダイヤル(F•D)で可変します。ファンクションダ
	イヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値に戻ります。
	F•1 GAIN VARIABLE と F•2 GAIN MAG を組み合わせた倍率が、画面右下に
	表示されます。
	0.200 - 1.000 - 2.000 (X1 のとき)
	1.000 - 5.000 - 10.000 (X5 のとき)
	0.620 - 3.120 - 6.240 (IQ-MAG、SD 以外、コンポーネント表示のとき)
	0.570 - 2.850 - 5.700 (IQ-MAG、SD 以外、疑似コンポジット表示のとき)
	0.580 - 2.920 - 5.840 (IQ-MAG、SD、コンポーネント表示のとき)
	0.520 - <u>2.630</u> - 5.260 (IQ-MAG、SD、疑似コンポジット表示のとき)
11.3 ラインセレクトの設定

ラインセレクトの設定は、VECT メニューの F•3 LINE SEL で行います。



- 11.3.1 ラインセレクトのオンオフ
 - 以下の操作で、選択したラインの波形を表示できます。ラインはファンクションダイヤル(F•D)で選 択し、選択したラインは画面左下に表示されます。

ここで設定した内容は、ビデオ信号波形表示、ピクチャー表示のラインセレクト設定と連動しま す。

WFM メニューの SWEEP が V のとき、このメニューは表示されません。

【参照】 SWEEP → 「10.4.1 掃引方式の選択」

操作

VECT	\rightarrow F•3	LINE SEL	\rightarrow F•1	LINE SELECT: ON / OFF

LINE SEL = ON



LINE SEL = OFF



図 11-7 ラインセレクトのオンオフ

- 11.3.2 ライン選択範囲の設定
 - F●1 LINE SELECT が ON で、入力信号がインタレースまたはセグメントフレームのとき、以下の操作でラインの選択範囲を設定できます。
 - ここで選択したラインは、ビデオ信号波形表示、ピクチャー表示、ステータス表示(データダンプ)の 選択ラインと連動します。

操作

	VECT \rightarrow F•3 LINE SEL \rightarrow F•2 FIELD: FIELD1 / FIELD2 / FRAME
--	--

設定項目の説明

FIELD1:	フィールド1のラインを選択します。(例: 1~563)
FIELD2:	フィールド2のラインを選択します。(例: 564~1125)
FRAME:	全ラインを選択します。 (例: 1~1125)

11.4 マーカーの設定

マーカーの設定は、VECT メニューの F•4 MARKER で行います。

VECT	\rightarrow	F∙4	MARKER \rightarrow					
MA (RKER DFF						SELECT CH 1A	up menu
	⊡ 1)	F·2	F·3	F·4	F ·5	F·6	F·7
				図 11-8	MARKER >	メニュー		

11.4.1 ベクトルマーカーの表示

以下の操作で、ベクトル波形にマーカーを表示できます。

マーカーは H POS ツマミで水平方向、V POS ツマミで垂直方向に移動でき、画面右下には測定値が 表示されます。また、H POS ツマミを押すと Cb=0.0%、V POS ツマミを押すと Cr=0.0%の 位置にマーカーが移動します。

測定値は、B の位置を Cb=100.0%、R の位置を Cr=100.0%とし、中心からの距離を d、色相を deg で表しています。

通常マーカーは緑色で表示されますが、表示エリアの外側になると、赤色の点滅表示に変わります。このとき、測定値の上には「OVER」と表示されます。

操作

VECT	\rightarrow	F∙4	MARKER \rightarrow	F ∙1	MARKER: ON / OFF
------	---------------	-----	----------------------	-------------	------------------



図 11-9 ベクトルマーカーの表示

11.5 表示の設定

表示の設定は、VECT メニューの F•5 DISPLAY で行います。



11.5.1 表示モードの切り換え

以下の操作で、表示モードを切り換えられます。

操作

VECT \rightarrow F•5 DISPLAY \rightarrow F•1 MODE: VECTOR / 5BAR / HISTOGRAM / CIE DIAGRAM

	1~=~
=;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;	コ())ミ兄日日
	コンフロレジュ

VECTOR:	ベクトル波形を表示します。
5BAR:	5 バーを表示します。
	詳細は「11.7 5 バー表示」を参照してください。
HISTOGRAM:	ヒストグラムを表示します。
	詳細は「11.8 ヒストグラム表示」を参照してください。
CIE DIAGRAM:	CIE 色度図を表示します。
	SER05 がインストールされているときに選択できます。
	詳細は「12 CIE 色度図表示 (SER05)」を参照してください。

11.5.2 3G-B-DS 表示の設定

3G-B-DS 測定時、以下の操作で表示形式を選択できます。

操作

VECT \rightarrow F•5 DIS	SPLAY \rightarrow F•5 3G-B-DS DISPLAY: STREAM1 / STREAM2 / MIX / <u>ALIGN</u>
設定項目の説明	
STREAM1:	ストリーム1を表示します。
STREAM2:	ストリーム 2 を表示します。
MIX:	ストリーム1とストリーム2を重ねて表示します。
ALIGN:	ストリーム1とストリーム2を並べて表示します。

3G-B-DS DISPLAY = MIX



3G-B-DS DISPLAY = ALIGN



図 11-11 3G-B-DS 表示の設定

11.6 カラーシステムの設定

カラーシステムの設定は、VECT メニューの F•7 COLOR SYSTEM で行います。



図 11-12 COLOR SYSTEM メニュー

11.6.1 カラーマトリックスの選択

以下の操作で、波形の表示形式を選択できます。選択した表示形式は、画面右下に表示されます。

操作

VECT	\rightarrow	F∙7	COLOR	SYSTEM	\rightarrow	- •1	COLOR	MATRIX:	COMPONEN /	COMPOSIT

設定項目の説明

COMPONEN:	コンポーネント信号の色差信号を X-Y で表示します。
COMPOSIT:	コンポーネント信号を疑似コンポジット信号に変換して、X-Y で表示します。

COLOR MATRIX = COMPONEN



COLOR MATRIX = COMPOSIT



図 11-13 カラーマトリックスの選択

11.6.2 コンポジット表示フォーマットの選択

以下の操作で、コンポジット表示フォーマットを選択できます。

操作

設定項目の説明

AUTO:	入力信号のフレーム周波数が 25Hz または 50Hz のときは PAL、それ以外のと
	きは NTSC で表示します。
NTSC:	NTSC で表示します。
PAL:	PALで表示します。

COMPOSIT FORMAT = NTSC



COMPOSIT FORMAT = PAL



図 11-14 コンポジット表示フォーマットの選択

11.6.3 セットアップレベルの選択

F•1 COLOR MATRIX が COMPOSIT のとき、以下の操作でセットアップレベルを選択できます。 コンポジット表示フォーマットが PAL のとき、このメニューは表示されません。

操作

VECT → F•7 COLC	R SYSTEM → $F \cdot 3$ SETUP: <u>0%</u> / 7.5%	
-----------------	--	--

11.6.4 75%カラーバー用スケールの表示

以下の操作で、75%カラーバー用のスケールを表示できます。

操作

VECT	\rightarrow	F∙7	COLOR SYSTEM \rightarrow	F∙4	COLOR BAR: <u>100%</u> / 75%
設定項	目の)説印	۶. ۶		

100%:	100%カラーバーを入力したときに、ピークレベルが合うようなスケールを表示
	します。
75%:	75%カラーバーを入力したときに、ピークレベルが合うようなスケールを表示
	します。

COLOR BAR = 75%



図 11-15 75%カラーバー用スケールの表示 (75%カラーバー入力時)

11.7 5バー表示

5 バー表示は、YC_BC_R信号を GBR 信号、および疑似コンポジット信号に変換したときのピークレベルを、Y、G、B、R、CMP(COMPOSITE)の 5 本のバーで同時に表示したものです。



図 11-16 5 バー表示画面

• Y について

ステータスメニューの Luminance Upper/Lower で設定した範囲外のレベルが赤く表示されます。 【参照】Luminance Upper/Lower → 「16.2.4 エラー設定 4」

• GBR について

ステータスメニューの Gamut Upper/Lower で設定した範囲外のレベルが赤く表示されます。 【参照】 Gamut Upper/Lower →「16.2.3 エラー設定 3」

• CMP について

ステータスメニューの Composite Upper/Lower で設定した範囲外のレベルが赤く表示されます。 【参照】Composite Upper/Lower → 「16.2.3 エラー設定 3」

• メニューについて

5 バー表示の設定は、ベクトルメニューで行います。



11.7.1 スケール単位の選択

MODE が 5BAR のとき、以下の操作でスケールの単位を選択できます。 【参照】 MODE →「11.5.1 表示モードの切り換え」 「11.6.2 コンポジット表示フォーマットの選択」

操作

VECT	\rightarrow	F ∙1	5BAR SCALE:	<u>%</u> / mV
------	---------------	-------------	-------------	---------------

設定項目の説明

%: mV: YGBR を%で、CMP を IRE で表示します。 mV で表示します。スケールは、コンポジット表示フォーマットによって、以下 のように異なります。 NTSC のとき: 100% = 700mV (YGBR) / 100IRE = 714mV (CMP) PAL のとき: 100%(IRE) = 700mV



5BAR SCALE = mV



図 11-18 スケール単位の選択

11.7.2 表示順の選択

以下の操作で、5バーの表示順を選択できます。

操作

VECT \rightarrow F•2 5BAR SEQUENCE: GBR / RGB

設定項目の説明

GBR:	左から Y、	G、	В、	R、	CMP の順で表示します。
RGB:	左から Y、	R、	G、	В、	CMP の順で表示します。

5BAR SEQUENCE = GBR





図 11-19 表示順の選択

11.8 ヒストグラム表示

ヒストグラムを表示するには、VECT キーを押してから、 $F_{\bullet 5}$ DISPLAY $\rightarrow F_{\bullet 1}$ MODE を HISTOGRAM にします。

ヒストグラム表示では、横軸に輝度レベル、縦軸に輝度レベルごとの画素数を積み上げて、画像のデー タ分布を表示します。

SER07 がインストールされていると、横軸のスケールを変更できます。「14.2.1 ヒストグラム表示」を参照してください。



図 11-20 ヒストグラム表示

12. CIE 色度図表示 (SER05)

CIE 色度図を表示するには、VECT キーを押してから、 $F_{\bullet 5}$ DISPLAY $\rightarrow F_{\bullet 1}$ MODE を CIE DIAGRAM にします。

MODE を VECTOR または HISTOGRAM にしたときの説明は、「11 ベクトル波形表示」を参照してください。



図 12-1 CIE 色度図表示

• カラリメトリについて

システム設定で選択したカラリメトリを、画面右下にシアンで表示します。 ただし 3G(DL)-4K または 3G(QL)のときは、ペイロード ID ですべてのリンクのカラリメトリ情報が 一致していないと、黄色で表示します。 12.1 スケールの設定

スケールの設定は、VECT メニューの $\boxed{F \bullet 1}$ SCALE で行います。 DISP TYPE が TEMP のとき、このメニューは表示されません。 【参照】DISP TYPE → $\boxed{12.2.1}$ 表示タイプの選択」



12.1.1 トライアングルの選択

以下の操作で、カラートライアングルを3つまで表示できます。

操作

VE	ст -	→ F•1 SCALE
\rightarrow	F ●1	TRIANGLE1: BT.601(525) / BT.601(625) / BT.709 / DCI / BT.2020 / OFE
\rightarrow	 F•2	TRIANGLE2: BT.601(525) / BT.601(625) / BT.709 / DCI / BT.2020 / OFF
\rightarrow	F∙5	USER TRIANGLE \rightarrow F•1 TRIANGLE: 1 / 2 / OFF
		· · · <u> </u>

カラートライアングルの頂点座標は、以下のとおりです。 u'v'座標は、xy 座標から算出した値を使用しています。

表 12-1 カラートライアングルの頂点座標

F•1 TRIANGLE1		CIE1	931	CIE1	1976	
F•2 TRIANGLE2		х	у	u'	v '	
BT.601(525)	R	0.630	0.340	0.433	0.526	
	G	0.310	0.595	0.130	0.563	
	В	0.155	0.070	0.176	0.178	
BT.601(625)	R	0.640	0.330	0.451	0.523	
	G	0.290	0.600	0.121	0.561	
	В	0.150	0.060	0.175	0.158	
BT.709	R	0.640	0.330	0.451	0.523	
	G	0.300	0.600	0.125	0.563	
	В	0.150	0.060	0.175	0.158	
DCI	R	0.680	0.320	0.496	0.526	
	G	0.265	0.690	0.099	0.578	
	В	0.150	0.060	0.175	0.158	
BT.2020	R	0.708	0.292	0.557	0.517	
	G	0.170	0.797	0.056	0.587	
	В	0.131	0.046	0.159	0.126	

12.1.2 ユーザートライアングルの設定

ユーザートライアングルの設定は、SCALE メニューの F•5 USER TRIANGLE で行います。 ユーザートライアングルは 2 つまで設定できます。F•1 TRIANGLE で 1 または 2 を選択してください。





以下の操作で、カラートライアングルの頂点座標を変更できます。 F•2 PRIMARY COLOR で変更す る頂点を選択してから、 F•3 x VALUE と F•4 y VALUE で座標を設定してください。初期設定 は、BT.2020の座標と同等です。

操作

VE	СТ	\rightarrow F•1 SCALE \rightarrow F•5 USER TRIANGLE
\rightarrow	F•2	PRIMARY COLOR: G / B / R
\rightarrow	F•3	x VALUE: 0.000 - 1.000
\rightarrow	F ∙4	y VALUE: 0.000 - 1.000

ユーザートライアングルでは、F•5 COMMENT INPUT で任意の名前を付けられます。 8 文字以内で入力してください。

	SPC !	"#	\$ %	٢ ،	()		
	* +	, -	. /	0 1	2 3		
	4 5	6 7	8 9	: ;	< =		
	> ?	@ A	BC	DE	FG		
	H I	JK	LM	NO	PQ		
	RS	TU	VW	XY	Ζ [
	<u>\</u>]	^	` a	b c	d e		
	f g	h i	j k	l m	no		
	p q	r 5	t u	v w	х у		
	Z {] }	~				
	[F.D_NOB] =	CHAR SELECT ,	$[F.D_PUSH] = CH$	HAR SET & Funct	ion Key Edit		
		Setup I	Jser Triangle C	omment			
CLEAR ALL	DELETE	INSERT	<=	=>	CHAR SET	up menu	

図 12-4 トライアングル名入力画面

トライアングル名入力画面でのキー動作は以下のとおりです。

F •1	CLEAR ALL	すノ	べての文字列を消	去します。
F ∙2	DELETE	カ-	- ソル上の文字を	消去します。
F•3	INSERT	カ-	- ソル上の文字に	挿入します。
F∙4	<=	カ-	- ソルを左に移動	します。
F∙5	=>	カ-	- ソルを右に移動	します。
F•6	CHAR SET	文王	字を入力します。	
ファ	ンクションダイヤル(F•D)	回し	」て文字を選択、	押して文字を入力します

12.1.3 カラースケールの選択

以下の操作で、馬蹄形状のカラースケールを選択できます。

操作

$VECT \rightarrow F \bullet 1$ SCALE $\rightarrow F \bullet 3$ COLOR: B.G.COLOR / B.G.WHITE / B.G.BLACK	
---	--

設定項目の説明

B.G.BLACK: カラースゲールを表示しません。肖景は黒、波形はヒクチヤーの色に応 示します。	
B.G.BLACK: カフースゲールを表示しません。肖景は黒、波形はヒクチヤーの色に応	
示します。	じて表
B.G.WHITE: カラースケールを表示しません。背景は白、波形はピクチャーの色に応	じて表
B.G.COLOR: カラースケールを表示します。背景は黒、波形は輝度レベルに応じて表	示しま

COLOR = B.G.WHITE



図 12-5 カラースケールの選択

12.1.4 サブスケールのオンオフ

サブスケールの設定は、SCALE メニューの F•4 SUB SCALE で行います。



以下の操作で、色温度曲線、グリッド、白色点(D65)、トライアングル名を個別にオンオフできます。

操作

VECT → F•1 SCALE → F•4 SUB SCALE → F•1 TEMP SCALE: ON / OFF → F•2 GRID: ON / OFF → F•3 D65: ON / OFF → F•4 TRIANGLE CAPTION: ON / OFF

TEMP SCALE = ON / GRID = ON / D65 = ON / TRIANGLE CAPTION = ON



図 12-7 サブスケールのオンオフ

12.2 色度図モードの設定

色度図モードの設定は、VECT メニューの $F \bullet 2$ CIE DIAGRAM で行います。



図 12-8 CIE DIAGRAM メニュー

12.2.1 表示タイプの選択

以下の操作で、表示タイプを選択できます。

操作

VECT \rightarrow F•2 CIE DIAGRAM \rightarrow F•1 DISP TYPE: <u>DIAGRAM</u> / TEMP

設定項目の説明

DIAGRAM:	色度図を表示します。
TEMP:	色温度を表示します。

DISP TYPE = TEMP



図 12-9 表示タイプの選択

12.2.2 表示規格の選択

以下の操作で、表示規格を選択できます。

操作

$VECT \to F \bullet 2 CIE$	DIAGRAM \rightarrow F•2 CIE STD: <u>CIE1931</u> / CIE1976
設定項目の説明	
CIE1931:	CIE 1931 に対応した色度図を表示します。
CIE1976:	CIE 1976 に対応した色度図を表示します。

12.2.3 クリップのオンオフ

以下の操作で、クリップ処理をオンオフできます。

操作

VECT	\rightarrow	F ∙2	CIE DIAGRAM \rightarrow F•3 CLIP: <u>ON</u> / OFF	
設定項	夏日の	說明]	
ON:			入力信号の負値を0にクリップして表示します。	

OFF:	入力信号の負値を BT.1361 に基づいて表示します。

12.2.4 フィルターのオンオフ

以下の操作で、フィルター処理をオンオフできます。 ONにすると、2ピクセルごとにデータを平均して表示します。

操作

VECT	\rightarrow	F∙2	CIE DIAGRAM \rightarrow	F∙4	FILTER: ON / OFF
------	---------------	-----	---------------------------	-----	------------------

12.2.5 ガンマ値の設定

以下の操作で、ガンマ値を設定できます。

操作

VECT	\rightarrow	F•2	CIE DIAGRAM \rightarrow	F∙5	MANUAL SETUP \rightarrow	F ●1	MANUAL SETUP: ON / OFF	
------	---------------	-----	---------------------------	-----	----------------------------	-------------	------------------------	--

設定項目の説明

ON:	F•5 GAMMA SETUP(1.50 - 2.20 - 3.00)で設定したガンマ値を使用します。
	 ただし、ビデオ信号波形、ベクトル波形、ピクチャーには適用されません。
	ガンマ計算式は、(入力信号レベル)^(ガンマ値)から算出します。
	F•3 CLIPのオンオフにかかわらず、入力信号の負値は0にクリップされます。
OFF:	 システム設定で選択したカラリメトリの規格に従います。

12.3 ラインセレクトの設定

ラインセレクトの設定は、VECT メニューの F•3 LINE SEL で行います。 「11.3 ラインセレクトの設定」を参照してください。

12.4 カーソルの設定

カーソルの設定は、VECT メニューの F•4 CURSOR で行います。



12.4.1 色度図カーソルの表示

以下の操作で、色度図にカーソルを表示できます。

カーソルは H POS ツマミで水平方向、V POS ツマミで垂直方向に移動でき、画面右上には測定値が 表示されます。また、H POS ツマミと V POS ツマミをを押すと、以下の位置にカーソルが移 動します。

色度図表示のとき:(x, y) = (u', v') = (0, 0)色温度表示のとき:画面左下

操作

VECT \rightarrow F•4 CURSOR \rightarrow F•1 CURSOR: ON / OFF



図 12-11 色度図カーソルの表示

12.5 表示の設定

表示の設定は、VECT メニューの F•5 DISPLAY で行います。 「11.5 表示の設定」を参照してください。

13. ピクチャー表示

ピクチャーを表示するには、PIC キーを押します。



図 13-1 ピクチャー表示

13.1 ピクチャーの調整

ピクチャーの調整は、PIC メニューの F•1 ADJUST で行います。

PIC \rightarrow F•1 A	Δ DJUST \rightarrow					
MONO/ COLOR COLOR	CHROMA UP NORMAL	BRIGHT- NESS[%] 0.0	CONTRAST [%] 100.0	GAIN/ BIAS	SELECT CH 1A	up menu
F·1	F·2	F·3	F·4	F ·5	F·6	F ·7
		図 13-2	ADJUST >	イニュー		

13.1.1 カラー表示とモノクロ表示の切り換え

以下の操作で、カラー表示とモノクロ表示を切り換えられます。

操作

PIC	\rightarrow	F•1	ADJUST \rightarrow	F ●1	MONO/COLOR: COLOR / MONO

13.1.2 クロマゲインの設定

以下の操作で、クロマゲインの設定を切り換えることができます。

操作

PIC	\rightarrow	F•1	AD.	JUST	\rightarrow	F ∙2	CHROMA UP: <u>NORMAL</u> / UP	
設定	項目	の討	说明					
NO	RMA	•		7		フゲン	インを、F•5 GAIN/BIAS → F•1 GAINで設定した値にします。	

NORMAL:	クロマゲインを、 F•5 GAIN/BIAS → F•1 GAIN で設定した値にします。
UP:	クロマゲインを 2 倍(200.0%)にします。

13.1.3 ブライトネスの調整

以下の操作で、ブライトネスを調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0.0)に戻ります。

操作

Ρ	PIC	\rightarrow	F ●1	ADJUST \rightarrow	F•3	BRIGHTNESS[%]: -50.0 - 0.0 - 50.0

13.1.4 コントラストの調整

以下の操作で、コントラストを調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(100.0)に戻ります。

操作

- $PIC \rightarrow F \bullet 1 \text{ ADJUST} \rightarrow F \bullet 4 \text{ CONTRAST[\%]: } 0.0 \underline{100.0} 200.0$
- 13.1.5 ゲインの調整

ゲインの調整は、GAIN/BIAS メニューの F•1 GAIN で行います。



以下の操作で、RGB 信号およびクロマ信号のゲインをそれぞれ調整できます。

ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(100.0)に戻ります。

F•2 CHROMA UP が UP のとき、F•4 CHROMA GAIN は表示されません。200.0 固定となります。

操作

 $\mathsf{PIC} \to \mathsf{F} \bullet 1 \mathsf{ADJUST} \to \mathsf{F} \bullet 5 \mathsf{GAIN} \mathsf{BIAS} \to \mathsf{F} \bullet 1 \mathsf{GAIN}$

- \rightarrow F•1 R GAIN[%]: 0.0 100.0 200.0
- \rightarrow F•2 G GAIN[%]: 0.0 <u>100.0</u> 200.0
- → F•3 B GAIN[%]: 0.0 100.0 200.0
- → F•4 CHROMA GAIN[%]: 0.0 100.0 200.0

13.1.6 バイアスの調整



以下の操作で、RGB 信号のバイアスをそれぞれ調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0.0)に戻ります。

操作

- PIC → F•1 ADJUST → F•5 GAIN/BIAS → F•2 BIAS → F•1 R BIAS[%]: -50.0 - 0.0 - 50.0 → F•2 G BIAS[%]: -50.0 - 0.0 - 50.0 → F•3 B BIAS[%]: -50.0 - 0.0 - 50.0
- 13.2 マーカーの設定

SAFE TITLE SAFE ACTION ASPECT MARKER

FRAME MARKER

マーカーの設定は、PIC メニューの [-2] MARKER で行います。 SIZE が FIT 以外のとき、このメニューは表示されません。 【参照】 SIZE → [13.8.1 表示サイズの選択]



図 13-6 マーカー表示

13.2.1 フレームマーカーのオンオフ

以下の操作で、フレームマーカーをオンオフできます。

操作

PIC \rightarrow F•2 MARKER \rightarrow F•1 FRAME MARKER: ON / OFF

13.2.2 センターマーカーのオンオフ

以下の操作で、センターマーカーをオンオフできます。

操作

PIC \rightarrow F•2 MARKER \rightarrow F•2 CENTER MARKER: ON / OFF

13.2.3 アスペクトマーカーの設定

以下の操作で、アスペクトマーカーを表示できます。

操作

PIC → F•2 MARKER → F•3 ASPECT MARKER: OFF / 17:9 / 16:9 / 14:9 / 13:9 / 4:3 / 2.39:1 / AFD

設定項目の説明	
OFF:	アスペクトマーカーを表示しません。
17:9	17:9 アスペクトマーカーを表示します。
	入力信号が 17:9 のフレーム信号または SD のときは選択できません。
16:9:	16:9 アスペクトマーカーを表示します。
	入力信号が 16:9 のフレーム信号のときは選択できません。
14:9:	14:9 アスペクトマーカーを表示します。
13:9:	13:9 アスペクトマーカーを表示します。
4:3:	4:3 アスペクトマーカーを表示します。
	入力信号が SD のときは選択できません。
2.39:1:	2.39:1 アスペクトマーカーを表示します。
	入力信号が SD のときは選択できません。
AFD:	AFD(Active Format Description)に記述されたアスペクトマーカーを表示しま
	す。また、AFD の略称(SMPTE ST 2016-1-2007 準拠)を画面左上に表示しま
	す。
	入力信号が SD または HD のときに選択できます。

画面左上に表示される AFD の略称は、Coded Frame および AFD Code に応じて以下のようになり ます。入力信号に AFD パケットが重畳されていない場合は「------」となります。

表 13-1 AFD 表示

本器に表示	Coded	AFD	説明
される内容	Frame	Code	
0000- UNDEFINED	0 (4:3)	0000	Undefined
0001- RESERVED	0 (4:3)	0001	Reserved
0010- 16:9LBTop	0 (4:3)	0010	Letterbox 16:9 image, at top of the coded frame
0011- 14:9LBTop	0 (4:3)	0011	Letterbox 14:9 image, at top of the coded frame
0100- >16:9LBox	0 (4:3)	0100	Letterbox image with an aspect ratio greater than 16:9, vertically
			centered in the coded frame
0101- RESERVED	0 (4:3)	0101	Reserved
0110- RESERVED	0 (4:3)	0110	Reserved
0111- RESERVED	0 (4:3)	0111	Reserved
1000- FullFrame	0 (4:3)	1000	Full frame 4:3 image, the same as the coded frame
1001- Full Frame	0 (4:3)	1001	Full frame 4:3 image, the same as the coded frame
1010- 16:9LBox	0 (4:3)	1010	Letterbox 16:9 image, vertically centered in the coded frame with all
			image areas protected
1011- 14:9LBox	0 (4:3)	1011	Letterbox 14:9 image, vertically centered in the coded frame
1100- RESERVED	0 (4:3)	1100	Reserved
1101-4:3Full14:9	0 (4:3)	1101	Full frame 4:3 image, with alternative 14:9 center
1110-16:9LB14:9	0 (4:3)	1110	Letterbox 16:9 image, with alternative 14:9 center
1111-16:9LB4:3	0 (4:3)	1111	Letterbox 16:9 image, with alternative 4:3 center
0000w UNDEFINED	1 (16:9)	0000	Undefined
0001w RESERVED	1 (16:9)	0001	Reserved
0010w Full Frame	1 (16:9)	0010	Full frame 16:9 image, the same as the coded frame
0011w 14:9Pillbox	1 (16:9)	0011	Pillarbox 14:9 image, horizontally centered in the coded frame
0100w >16:9LBox	1 (16:9)	0100	Letterbox image with an aspect ratio greater than 16:9, vertically
			centered in the coded frame
0101w RESERVED	1 (16:9)	0101	Reserved
0110w RESERVED	1 (16:9)	0110	Reserved
0111w RESERVED	1 (16:9)	0111	Reserved
1000w FullFrame	1 (16:9)	1000	Full frame 16:9 image, the same as the coded frame
1001w 4:3Pillbox	1 (16:9)	1001	Pillarbox 4:3 image, horizontally centered in the coded frame
1010w FullNoCrop	1 (16:9)	1010	Full frame 16:9 image, with all image areas protected
1011w14:9Pillbox	1 (16:9)	1011	Pillarbox 14:9 image, horizontally centered in the coded frame
1100w RESERVED	1 (16:9)	1100	Reserved
1101w4:3PB14:9	1 (16:9)	1101	Pillarbox 4:3 image, with alternative 14:9 center
1110wFul14:9Safe	1 (16:9)	1110	Full frame 16:9 image, with alternative 14:9 center
1111wFull4:3Safe	1 (16:9)	1111	Full frame 16:9 image, with alternative 4:3 center

アスペクトシャドウの設定 13.2.4

> F●3 ASPECT MARKER が OFF 以外のとき、以下の操作でアスペクトマーカーの影の濃さを調整で きます。数値が大きくなるほど影は濃くなり、0を選択するとラインで表示します。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(50)に戻ります。





図 13-7 アスペクトシャドウの設定

13.2.5 セーフアクションマーカーの設定

> セーフティマーカーの設定は、MARKER メニューの F•5 SAFETY ZONE で行います。 F•3 ASPECT MARKER が AFD のとき、このメニューは選択できません。



図 13-8 SAFETY ZONE メニュー

以下の操作で、セーフアクションマーカーを表示できます。 アスペクトマーカーを表示しているときは、アスペクトマーカーに対して表示します。

操作

$PIC \rightarrow$	F•2 MARKER →	F•5 SAFETY	$ZONE \rightarrow F$	•1 SAFE ACTION	: ARIB / SMPTE / USER1 /
OFF					

設定項目の説明	
ARIB:	ARIB TR-B4 で規定されているセーフアクションマーカーを表示します。
	入力信号が 4K のときは選択できません。
SMPTE:	SMPTE RP-218 で規定されているセーフアクションマーカーを表示します。
	入力信号が 4K のときは選択できません。
USER1:	F•3 USER1/2 SET の、F•1 USER1 WIDTH[%]および F•2 USER1
	HEIGHT[%]で設定したマーカーを表示します。
OFF:	セーフアクションマーカーを表示しません。

13.2.6 セーフタイトルマーカーの設定

以下の操作で、セーフタイトルマーカーを表示できます。 アスペクトマーカーを表示しているときは、アスペクトマーカーに対して表示します。

操作

PIC →	→ F•2	MARKER	\rightarrow F•5	SAFETY	ZONE -	→ F•2	SAFE	TITLE:	ARIB /	SMPTE ,	/ USER2 /
OFF											

設定項目の説明

ARIB:	ARIB TR-B4 で規定されているセーフタイトルマーカーを表示します。
	入力信号が 4K のときは選択できません。
SMPTE:	SMPTE RP-218 で規定されているセーフタイトルマーカーを表示します。
	入力信号が 4K のときは選択できません。
USER2:	F•3 USER1/2 SET の、F•3 USER2 WIDTH[%]および F•4 USER2
	HEIGHT[%]で設定したマーカーを表示します。
OFF:	セーフタイトルマーカーを表示しません。

13.2.7 ユーザーマーカーの設定

F•1 SAFE ACTION で USER1、 F•2 SAFE TITLE で USER2 を選択することによって、ユーザーが 任意に設定したマーカーを 2 点まで表示できます。

ユーザーマーカーの設定は、SAFETY ZONE メニューの F•3 USER1/2 SET で行います。





図 13-9 USER1/2 SET メニュー

以下の操作で、ユーザーマーカーの幅と高さおよびアスペクト表示のオンオフを設定できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、幅と高さの設定値が初期値に戻ります。 アスペクト比表示のオンオフは、ユーザー1、ユーザー2 共通になります。

操作

PIC	\rightarrow	F•2 MARKER \rightarrow F•5 SAFETY ZONE \rightarrow F•3 USER1/2 SET
\uparrow	F ●1	USER1 WIDTH[%]: 0 - 90 - 100
\rightarrow	F∙2	USER1 HEIGHT[%]: 0 - 90 - 100
\rightarrow	F ∙3	USER2 WIDTH[%]: 0 - 80 - 100
\rightarrow	F∙4	USER2 HEIGHT[%]: 0 - 80 - 100
\rightarrow	F∙5	USER1/2 ASPECT: ON / OFF

13.3 ラインセレクトの設定

ラインセレクトの設定は、PIC メニューの $F \bullet 3$ LINE SEL で行います。 SIZE が FIT 以外のとき、このメニューは表示されません。 【参照】SIZE → 「13.8.1 表示サイズの選択」



図 13-10 LINE SEL メニュー

- 13.3.1 ラインセレクトのオンオフ
 - 以下の操作で、選択したラインにマーカーを表示できます。ラインはファンクションダイヤル(F•D) で選択し、選択したラインは画面左上に表示されます。
 - ここで設定した内容は、ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示のラインセレクト設定と連動しま す。







図 13-11 ラインセレクトのオンオフ

- 13.3.2 ライン選択範囲の設定
 - F●1] LINE SELECT が ON で、入力信号がインタレースまたはセグメントフレームのとき、以下の操作でラインの選択範囲を設定できます。
 - ここで選択したラインは、ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ステータス表示(データダンプ) の選択ラインと連動します。

操作

PIC	\rightarrow	F•3	LINE SE	$L \rightarrow$	F ∙2	FIELD: FIELD1 / FIELD2 / FRAME

設定項目の説明

FIELD1:	フィールド1のラインを選択します。(例: 1~563)
FIELD2:	フィールド2のラインを選択します。(例: 564~1125)
FRAME:	全ラインを選択します。 (例: 1~1125)

13.3.3 リップシンク測定範囲の設定 (SER03)

リップシンク測定範囲は、LINE SELCT メニューの F•3 AV PHASE で設定します。



図 13-12 AV PHASE メニュー

- 以下の操作で、リップシンク測定の測定範囲を設定できます。設定したラインには、マーカーが表示されます。
- これらは STATUS メニューの AV PHASE SETUP でも設定できますが、ここではピクチャーを見な がら設定できます。設定項目の詳細は「16.7.3 測定範囲の設定」を参照してください。

操作

- \rightarrow F•1 AV MEASURE TOP: 0 50 100
- \rightarrow F•2 AV MEASURE LEFT: 0 99
- \rightarrow F•3 AV MEASURE RIGHT: 0 99
- \rightarrow F•4 AV MEASURE SUB IMAGE: SUB 1 / SUB 2 / SUB 3 / SUB 4

13.4 シネライトの設定

シネライト機能はビデオ信号の輝度レベルをピクチャー上に表示する機能です。 シネライトの表示は、PIC メニューの F•4 CINELITE で行います。



図 13-13 CINELITE メニュー

以下の操作で、シネライトの表示画面に切り換えられます。

操作

PIC \rightarrow F•4 CINELITE \rightarrow F•1 CINELITE DISPLAY: OFF / f Stop / %DISPLAY / CINEZONE

設定項目の説明

OFF:	シネライトを表示しません。
f Stop:	f Stop 画面を表示します。
	サイマルモードまたは 3G-B-DS のときは選択できません。
%DISPLAY:	%DISPLAY 画面を表示します。
	サイマルモードまたは 3G-B-DS のときは選択できません。
CINEZONE:	シネゾーン画面を表示します。
	サイマルモードまたは 3G-B-DS のときは選択できません。

13.4.1 f Stop 表示画面の説明

f Stop の設定は、F•1 CINELITE DISPLAY で f Stop を選択し、F•2 f Stop SETUP で行います。

f Stop 画面では、輝度レベルをカメラの絞り値(露出)の単位で表示します。

測定値は通常白色で表示されますが、測定ポイントのf Stop 値が輝度レベル 80%以上に相当するときは黄色で表示されます。また、f Stop 値が輝度レベル 0%以下に相当するときは測定できません。黄色で「****」と表示されます。



図 13-14 f Stop 表示画面

1 基準位置表示

F●4 18% REF-SET を押したときのカーソル位置が赤色で表示されます。f Stop 測定の基準位 置となります。

2 カーソル表示

カーソルは最大で3点まで設定することができ、カーソルの座標がサンプル番号とライン番号 でそれぞれ表示されます。また、基準位置に対するf Stop 値がそれぞれ表示されます。

- 3 GAMMA 表示 F•5 GAMMA → F•5 GAMMA SELECT で選択したガンマ補正値が表示されます。
- 4 REF 表示

基準位置の f Stop 値が表示されます。 F•4 18% REF-SET を押した直後は 0.0 ですが、ピクチャーが変わると REF 表示も変わります。

13.4.2 f Stop 画面の表示手順

例として、18%グレーチャートに対する輝度レベルをf Stop で表示する手順を以下に示します。撮影セットの中に、あらかじめ18%グレーチャートを置いておいてください。

- 1. PIC キーを押します。
- 2. F•4 CINELITE を押します。
- 3. F•1 CINELITE DISPLAY でf Stop を選択します。
- 4. F•2 f Stop SETUP を押します。
- 5. **F**•5 GAMMA \rightarrow **F**•1 GAMMA SELECT を押して、ガンマ補正テーブルの種類を選択します。 ガンマ補正値は初期設定で 0.45 に設定されていますが、使用するカメラのガンマ特性に合わ せたユーザー補正テーブルを設定することもできます。詳細は、「13.4.7 ユーザー補正テーブ ルの設定」を参照してください。 選択したガンマ補正値は、画面左上に表示されます。
- 6. F•7 up menu を押します。
- カーソルが 18%グレーチャート上にあることを確認して、 F•4 18% REF-SET を押します。
 18%グレーチャートの f Stop 値が 0.0 となり、画面上部の「REF:」に表示されます。また、
 基準位置は赤いカーソルで表示されます。
- 測定ポイントを、カーソルで設定します。
 18%グレーチャートに対する f Stop 値が、カーソルの近くに表示されます。測定ポイントは、 3 点まで設定できます。

13.4.3 %DISPLAY 表示画面の説明

%DISPLAYの設定は、F•1 CINELITE DISPLAY で%DISPLAY を選択し、F•2 %DISPLAY SETUP で行います。

%DISPLAY 画面では、輝度レベルを Y%、RGB%、RGB255、CODE VALUE、CODE VALUE DEC のいずれかで表示します。表示形式の選択は F•4 UNIT SELECT で行います。

測定値は通常白色で表示されますが、測定ポイントの輝度レベルが 80%以上または 0%以下のときは、黄色で表示されます。

• Y%表示

輝度レベルを%で表示します。



図 13-15 Y%表示画面

• RGB%表示

RGB レベルを成分ごとに%で表示します。画面左には、左から RGB の順でレベルがバー表示されます。



図 13-16 RGB%表示画面

• RGB255 表示

RGB レベルを成分ごとに 0~255 の 256 階調で表示します。画面左には、左から RGB の順でレベルがバー表示されます。

測定値は、RGBレベルが100%以上のときは255、0%以下のときは0となります。



図 13-17 RGB255 表示画面

• CODE VALUE 表示

SDI 信号の映像データを 16 進数で表示します。

入力信号が YCbCr のときは YCbCr、RGB のときは RGB、XYZ のときは RGB へ変換した値(黒レベルのオフセットを加算)で表示します。

F•3 MEAS SIZE が 1×1 のときのみ、CODE VALUE が選択できます。



図 13-18 CODE VALUE 表示画面

• CODE VALUE DEC 表示

SDI 信号の映像データを 10 進数で表示します。

入力信号が YCbCr のときは YCbCr、RGB のときは RGB、XYZ のときは RGB へ変換した値(黒レベルのオフセットを加算)で表示します。

F•3 MEAS SIZE が 1×1 のときのみ、CODE VALUE DEC が選択できます。



図 13-19 CODE VALUE DEC 表示画面

13.4.4 表示ポイントの選択

測定ポイントは P1~P3の3点まで設定できますが、以下の操作で、表示する測定ポイントを選択できます。

操作

	-		
PIC	\rightarrow	F•4 CINELITE	
\rightarrow	F∙2	f Stop SETUP \rightarrow F•2 M	EAS NUMBERS: <u>P1</u> / P1+P2 / P1+P2+P3
\rightarrow	F•2	%DISPLAY SETUP \rightarrow F	•2 MEAS NUMBERS: <u>P1</u> / P1+P2 / P1+P2+P3

設定項目の説明

P1:	P1 を表示します。
P1+P2:	P1 と P2 を表示します。
P1+P2+P3:	P1~P3 を表示します。

13.4.5 測定ポイントの設定

以下の操作で、カーソルを移動する測定ポイントを選択してから、H POS ツマミで X カーソル、V POS ツマミで Y カーソルを移動します。H POS ツマミと V POS ツマミを押すと、カーソルがピクチャーの中央に移動します。

カーソルがブランキング期間に存在するとき、カーソルは表示されません。カーソルを表示するときは、画面内にカーソルを移動してください。

f Stop で設定した測定ポイントと、%DISPLAY で設定した測定ポイントは連動しています。

操作

 $PIC \rightarrow F \bullet 4 CINELITE$

- \rightarrow F•2 f Stop SETUP \rightarrow F•1 MEAS POS: P1 / P2 / P3
- \rightarrow F•2 %DISPLAY SETUP \rightarrow F•1 MEAS POS: P1 / P2 / P3
- 13.4.6 測定サイズの選択

以下の操作で、測定サイズを選択できます。この設定は、P1~P3 と REF に適用されます。 なお、f Stop で設定した測定サイズと、%DISPLAY で設定した測定サイズは連動しています。

操作

PIC	\rightarrow	F•4 CINELITE
\rightarrow	F ∙2	f Stop SETUP → $F \bullet 3$ MEAS SIZE: <u>1X1</u> / 3X3 / 9X9
\rightarrow	F•2	%DISPLAY SETUP \rightarrow F•3 MEAS SIZE: <u>1X1</u> / 3X3 / 9X9

設定項目の説明

1X1:	カーソル交点の1画素を測定します。
3X3:	カーソル交点を中心に、3×3 画素を平均化して測定します。
9X9:	カーソル交点を中心に、9×9 画素を平均化して測定します。

13.4.7 ユーザー補正テーブルの設定

f Stop を測定する際のガンマ補正値は、初期設定で 0.45 に設定されていますが、使用するカメラの ガンマ特性に合わせたユーザー補正テーブルを設定することもできます。

ユーザー補正テーブルは、本体で作成する USER1~USER3 と、PC 等で作成した補正テーブルを本体に読み込んだ USER_A~USER_E の 2 種類があります。これらのテーブルは、本体で初期化を行っても削除されません。

• ユーザー補正テーブルを本体で作成する

ユーザー補正テーブルは3点まで本体に作成できます。

例として、撮影用カメラのガンマ特性に合わせたユーザー補正テーブルを作成する手順を、以下に示します。

あらかじめカメラの絞り値を F5.6 に設定し、撮影セットの中に 18%グレーチャートを置いておいてください。

1. 絞り値を F5.6 に設定したカメラで、18%グレーチャートの輝度レベルが 45.0%(例)になるように、照明を調整します。

詳しくは「13.4.3 %DISPLAY 表示画面の説明」を参照してください。

- 2. F•7 up menu を押します。
- 3. F•1 CINELITE DISPLAY でf Stop を選択します。
- 4. F•2 f Stop SETUP を押します。
- 5. $[F \bullet 5]$ GAMMA \rightarrow $[F \bullet 1]$ GAMMA SELECT を押して、USER1 を選択します。 ここでは USER1 について説明しますが、USER2 と USER3 についても同様に作成できます。
- 6. F•2 GAMMA CAL を押します。

F•2 GAMMA CAL を押すと、画面左下にユーザー補正テーブル、カーソルの近くに輝度レベル が 10bit データ(0<u>%:</u> 64、100%: 940)で表示されます。

このメニューは、F•1 GAMMA SELECT が USER1~USER3 のときに表示されます。



図 13-20 ユーザー補正テーブル作成画面
- 7. F•1 TABLE CLEAR を押します。
 編集中のユーザー補正テーブルが全て初期化されます。新たに補正テーブルを作成する場合は 必ず初期化をしてください。
- F•1 CLEAR YES を押します。
 ユーザー補正テーブルの初期化をキャンセルするときは、F•3 CLEAR NO を押してください。
- 9. カーソルを 18%グレーチャート上に合わせます。
- 10. F•4 CAL F を押して 5.6 を選択します。
- 11. F•3 CAL SET を押します。

カメラの絞り値が F5.6 のときの輝度レベルが、ユーザー補正テーブルの Lev に入力されます。1 行分のデータを消去したいときは、F•2 1 DATA CLEAR を押してください。

12. F•4 CAL F とカメラの絞り値を 4.0→2.8→2.0→8.0→11.0→16.0→22.0 の順で同時に変更 し、F•3 CAL SET を押して輝度レベルをそれぞれ入力します。

このとき、照明と18%グレーチャートの位置を変更しないでください。

また、22.0から 2.0 までの Lev が単調増加になることを確認してください。

ユーザー補正テーブルの REF は、f Stop 表示の F•4 18% REF-SET を押したときに値が入力されます。

たとえば下記左のテーブルを使用したとき、カーソルの輝度(10bit データ)が 416 の位置で F•4 18% REF-SET を押すと、そのときの F 値(3.0)が REF に表示されます。

[USER1] REF=0.0	[USER1]] REF	=3.0
CAL_F F Lev	CAL_F	F	Lev
[22.0] 0.0, 152	[22.0]	0.0,	152
[16.0] 1.0, 240	[16.0]	1.0,	240
[11.0] 2.0, 328	 [11.0]	2.0,	328
[8.0] 3.0, 416	[8.0]	3.0,	416
[5.6] 4.0, 504	[5.6]	4.0,	504
[4.0] 5.0, 592	[4.0]	5.0,	592
[2.8] 6.0, 680	[2,8]	6.0,	680
[2.0] 7.0, 768	[2.0]	7.0,	768

図 13-21 ユーザー補正テーブル

このときの f Stop 値は、以下のように表示されます。各補正値間は直線補間されます。

- Lv = 152のときf Stop = -3.0 Lv = 240のときf Stop = -2.0 Lv = 328のときf Stop = -1.0 Lv = 416のときf Stop = 0.0 Lv = 504のときf Stop = 1.0 Lv = 592のときf Stop = 2.0
- Lv = 680 のときf Stop = 3.0
- Lv = 768 のときf Stop = 4.0

• ユーザー補正テーブルを本体に読み込む

ユーザー補正テーブルは本体に5点まで読み込むことができます。 補正テーブルを本体に読み込むには、以下の手順で操作を行います。

1. 補正テーブルを作成します。

作成例 (TEST.CLT)

######	#####	コメント	
NAME:SA	MPLE_1	キーワード	
TYPE:0		キーワード	
#Input	-7%	0	コメント
# 109%	4095		コメント
#Output	0%	0	コメント
# 1000%	65535		コメント
#Input	Output		コメント
######	#####	コメント	
0 0			データ
1 16			データ
2 32			データ
(中略)			
4093	65488		データ
4094	65504		データ
4095	65520		データ
# EOF			コメント

補正テーブルは、以下の仕様に従って作成してください。

ファイル全体

内容:	ASCII コードで構成されるテキストファイル
拡張子:	.CLT
行末:	CR+LF
ファイルの行数:	5000 行以内
1行の文字数:	255 文字以内 (CR+LF を含む)
ファイル名の文字数:	20 文字以内 (拡張子を除く)
ファイル名の使用可能文字:	英字(A~Z a~z)、数字(0~9)、その他(_)

コメント

行の先頭をシャープ(#)にするとコメントとして扱われ、動作には影響しません。 記述位置は自由です。

キーワード

データよりも手前の位置に、	行の先頭から始まるように、必ず挿入してください。
NAME:	セパレータ(:)後の8文字が、本体内で補正テーブル名として表
	示されます。セパレータ後は、英字(A~Z a~z)、数字(0~
	9)、その他()を使用して、10 文字以内で補正テーブル名を記
	述してください。
TYPE:	ファイル識別用のコードです。セパレータ(:)後に0を記述して
	ください。

データ
 行の先頭から、入力数値、セパレータ、出力数値の順に記述します。
 入力数値: 0~4095(12bit)まで、行ごとに1ずつ増加するように記述してください。
 輝度レベル 100%を 940(10bit)×4 = 3760(12bit)、
 輝度レベル 0%を 64(10bit)×4 = 256(12bit)、
 と定義しています。
 セパレータ: 1つの TAB コードを記述してください。
 出力数値: 0~65535(16bit)の範囲で記述してください。

2. 補正テーブルを USB メモリーに保存して、本体に接続します。 補正テーブルは、以下の階層に置いてください。

- Ů USB メモリー └ Ѽ LV5490_USER
 - l 🗋 Clt
 - └ 🗋 TEST.CLT (例)
- 3. PIC キーを押します。
- 4. F•4 CINELITE を押します。
- 5. F•1 CINELITE DISPLAY でf Stop を選択します。
- 6. F•2 f Stop SETUP を押します。
- 7. $\boxed{F \bullet 5}$ GAMMA \rightarrow $\boxed{F \bullet 1}$ GAMMA SELECT を押して、USER_A を選択します。 ここでは USER_A について説明しますが、USER_B~USER_E についても同様に設定できます。
- 8. F•2 GAMMA FILE を押します。 このメニューは、F•1 GAMMA SELECT が USER_A~USER_E のときに表示されます。
- 9. F•1 FILE LIST を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。このメニューは、USB メモリーが接続されているときに 表示されます。 USER_A に設定した補正テーブルを削除するときは、ここで F•2 TABLE CLEAR を押してく ださい。

- 10. ファンクションダイヤル(F•D)で、コピー元のファイルを USB メモリーの中から選択します。
- 11. F•3 FILE LOAD を押します。

USER_A に USB メモリーの補正テーブルをコピーします。ファイルリスト画面が消えて、測 定画面に戻るとコピー完了です。 すでに USER_A に補正テーブルが存在する場合は、上書き確認のメニューが表示されます。上 書きするときは F•1 OVER WR YES、上書きしないときは F•3 OVER WR NO を押してくだ さい。

補正テーブルをコピーした後にシネライトメニューで F•1 GAMMA SELECT を押すと、コピーした 補正テーブルを選択できます。補正テーブル名はキーワード(NAME)で設定した名前が付きます。 13.4.8 連携マーカーの表示

以下の操作で、シネライト画面で設定した測定ポイント P1~P3 および REF を、ベクトル波形画面 やビデオ信号波形画面にも連携してマーカー表示できます。 連携マーカーは、マルチ画面表示の同じ画面上に、f Stop 画面または%画面を表示しているときの み表示できます。

以下のとき、ビデオ信号波形にはマーカー表示できません。

・ビデオ信号波形メニューの SWEEP が V、または H SWEEP が 2H のとき

・ビデオ信号波形メニューの COLOR MATRIX が COMPOSIT のとき

また、外部同期信号を使用しての波形表示時は、正しくマーカー表示できません。

操作



CINELITE ADVANCE = ON



図 13-22 連携マーカーの表示

13.5 シネゾーンの設定

シネゾーン機能には、ピクチャーの輝度レベルを RGB に置き換えて表示するグラデーション(ステップ)表示機能と、設定した輝度レベルのみ緑色で表示するサーチ表示機能があります。 いずれも設定はピクチャーメニューの F-4 CINELITE → F-2 CINEZONE SETUP で行います。 【参照】CINEZONE SETUP → [13.3.3 シネライトの設定]

13.5.1 グラデーション表示

以下の操作で、ピクチャーの輝度レベルをグラデーションで表示できます。グラデーション表示では、輝度レベルを1024 色に置き換えて表示します。

また、輝度レベルが $\boxed{F \bullet 2}$ UPPER 以上のときは白で、 $\boxed{F \bullet 3}$ LOWER 未満のときは黒で、ピクチャーを表示します。

輝度レベルに対する表示色は、画面右側に表示されるスケールで確認できます。

F•2 UPPER - **F•3** LOWER が 1%のときに **F•2** UPPER を下げると、1%の差を保ったまま **F•3** LOWER も下がります。同様に **F•3** LOWER を上げると、1%の差を保ったまま **F•2** UPPER も上がります。

F•2 UPPER、F•3 LOWER は、F•1 CINEZONE FORM を GRADATE または STEP にしたときに表示されます。

操作

PIC \rightarrow F•4 CINELITE \rightarrow F•1 CINELITE DISPLAY \rightarrow F•2 CINEZONE SETUP \rightarrow F•1 CINEZONE FORM で GRADATE を選択

→ F•2 UPPER: -6.3 - 100.0 - 109.4

 \rightarrow F•3 LOWER: -7.3 - 0.0 - 108.4

 ピクチャー表示
 グラデーション表示 (0% = B、50% = G、100% = R)

図 13-23 グラデーション表示

13.5.2 ステップ表示

以下の操作で、ピクチャーの輝度レベルをステップで表示できます。 ステップ表示では、輝度レベルを10%刻みの12色に置き換えて表示します。 F•2 UPPER、 F•3 LOWER については、「13.5.1 グラデーション表示」を参照してください。

操作

```
PIC → F•4 CINELITE → F•1 CINELITE DISPLAY → F•2 CINEZONE SETUP → F•1 CINEZONE FORM で STEP を選択
```

- \rightarrow F•2 UPPER
- \rightarrow F•3 LOWER



図 13-24 ステップ表示

13.5.3 サーチ表示

サーチ表示では、モノクロで表示されたピクチャーの上に、設定した輝度レベル±0.5%のみを緑色で表示します。

また、輝度レベルが F-2 UPPER 以上のときは赤で、F-3 LOWER 未満のときは青で、ピクチャーを表示します。

以下の操作で、緑色表示するレベルを設定できます。

 $F \bullet 2$ LEVEL は、 $F \bullet 1$ CINEZONE FORM を SEARCH にしたときに表示されます。

F•2 UPPER、**F•3** LOWER は、**F•1** CINEZONE FORM を GRADATE または STEP にして設定しま す。「13.5.1 グラデーション表示」を参照してください。

操作

 $PIC \rightarrow F \bullet 4$ CINELITE $\rightarrow F \bullet 1$ CINELITE DISPLAY $\rightarrow F \bullet 2$ CINEZONE SETUP $\rightarrow F \bullet 1$ CINEZONE FORM で SEARCH を選択

 \rightarrow F•2 LEVEL: -7.3 - 40.0 - 109.4

CINEZONE FORM = SEARCH



図 13-25 サーチ表示

13.6 フォーカスアシスト表示 (SER04)

フォーカスアシスト表示は、検出したエッジの量に応じてハイライト表示することによって、フォーカ スを確認しやすくしたものです。

フォーカスアシストの設定は、PIC メニューの $\boxed{F \bullet 5}$ FOCUS で行います。 SIZE が FULL FRM のとき、このメニューは表示されません。 【参照】SIZE → 「13.8.1 表示サイズの選択」



図 13-26 フォーカスアシスト表示

13.6.1 表示サイズの選択

以下の操作で、ピクチャーの表示サイズを選択できます。 詳細は「13.8.1 表示サイズの選択」を参照してください。

操作

PIC \rightarrow F•5 FOCUS \rightarrow F•1 SIZE: <u>FIT</u> / REAL / X2

13.6.2 フォーカスアシストのオンオフ

以下の操作で、フォーカスアシスト表示をオンオフできます。

操作

 $PIQ \rightarrow |F \bullet 5| FOCUS \rightarrow |F \bullet 2| FOCUS ASSIST: ON / OFF$

13.6.3 検出感度の選択

F•2 FOCUS ASSIST が ON のとき、以下の操作でエッジの検出感度を選択できます。

操作

PIC \rightarrow F•5 FOCUS \rightarrow F•3 EDGE SENSITIVE: LOW / MIDDLE / HIGH / V-HIGH / U-HIGH

13.6.4 輝度レベルの選択

F•2 FOCUS ASSIST が ON のとき、以下の操作でピクチャーの輝度レベルを%単位で選択できます。

OFF を選択すると、ピクチャーを表示しません。また、EMBOSS を選択すると、エッジを浮き彫り にして表示します。

操作





図 13-27 輝度レベルの選択

13.6.5 ハイライト色の選択

F•4 PIC LEVEL が 25、50、75、100 のとき、以下の操作でエッジの表示色を選択できます。

操作

PIC \rightarrow F•5 FOCUS \rightarrow F•5 EDGE COLOR: WHITE / RED / GREEN / BLUE

13.7 ビデオノイズメーター (SER10)

ビデオノイズメーターは、本器に入力された SDI 信号の Y、G、B、R のいずれかの信号に含まれるビデオノイズを測定し、ピクチャー上に表示します。

ビデオノイズメーターの設定は、PIC メニューの F-4 NOISE SETUP および F-5 NOISE STOP/START で行います。

SER10 がインストールされていないとき、このメニューは表示されません。



図 13-28 ビデオノイズメーター

13.7.1 ビデオノイズメーターのオンオフ

以下の操作で、ビデオノイズメーターをオンオフできます。

操作	
$PIC \rightarrow F \bullet 3 LINE$	SEL / NOISE \rightarrow F•5 NOISE: <u>STOP</u> / START
設定項目の説明	
STOP:	ビデオノイズメーターがオフの状態を示しています。 F•5 を押すとビデオノイ
	ズメーターがオンになります。
START:	ビデオノイズメーターがオンの状態を示しています。 F•5 を押すとビデオノイ
	ズメーターがオフになります。

13.7.2 測定ウインドウの設定

以下の操作で、ピクチャー表示上に、ビデオノイズを測定するためのウインドウを設定できます。 サイズ、領域を1ピクセルおよび1ライン単位で設定できます。 カーソル A1 とカーソル A2 に対角で囲まれた緑色部分が測定ウインドウになります。 ビデオノイズメーターがオンの状態で設定してください。

操作

PIC	\rightarrow	$F \bullet 3$ LINE SEL / NOISE \rightarrow $F \bullet 4$ NOISE SETUP
\rightarrow	F ●1	CURSOR CH: A1 / A2 / TRACK / OFF

50°	

A1:	測定ウインドウを設定するカーソル A1 を選択します。V POS ツマミと H POS
	ツマミを使用して、カーソル A1 の位置を調整できます。
A2:	測定ウインドウを設定するカーソル A2 を選択します。V POS ツマミとH POS
	ツマミを使用して、カーソル A2 の位置を調整できます。
TRACK:	測定ウインドウを移動します。V POS ツマミと H POS ツマミを使用して、カー
	ソル A1、A2 の位置を同時に調整できます。





図 13-29 測定ウインドウ

- * 測定ウインドウは平均ビデオレベルが均一な部分に設定してください。レンズの影響などで映像の周辺が暗くなる部分や被写体のビデオ信号がフラットでない部分を測定ウインドウ内に含めると正確なビデオノイズ測定ができない場合があります。
- * 入力した映像信号によって、波形の立ち上がり、立下り部分にオーバーシュート、アンダーシュートやリンギン グが発生してビデオノイズ測定が正確にできない場合があります。この場合、立ち上がり、立ち下がり部分から 数%内側に測定ウインドウを設定してください。

13.7.3 測定信号の選択

以下の操作で、測定信号を選択できます。

操作

									_
					– 4		– –	CTCNAL, V//C/D/D	
РЮ	\rightarrow	⊢●.≾	I INF SEL	$/ NOISE \rightarrow$	⊫●4	NUISE SETUP \rightarrow	⊫●ノ		
				, HOIDE					

13.7.4 フィルターの選択

以下の操作で、ローパスフィルターとハイパスフィルターのカットオフ周波数を選択できます。

操作

PIC	\rightarrow	F•3 LINE SEL / NOISE → F•4 NOISE SETUP → F•3 FILTER
\rightarrow	F ∙1	PF: 5.5MHz / 4.4MHz / 3.6MHz / 2.7MHz / 1.4MHz / 0.7MHz / THROUGH
\rightarrow	F •1	PF: 30MHz / 24MHz / 20MHz / 15MHz / 7.5MHz / 3.7MHz / THROUGH
\rightarrow	F •1	PF: 60MHz / 48MHz / 40MHz / 30MHz / 15MHz / 7.5MHz / THROUGH
\rightarrow	F •1	PF: 120MHz / 96MHz / 80MHz / 60MHz / 30MHz / 15MHz / THROUGH
\rightarrow	F •1	PF: 240MHz / 192MHz / 160MHz / 120MHz / 60MHz / 30MHz / THROUGH
\rightarrow	F •1	PF: 0.404 / 0.323 / 0.269 / 0.202 / 0.101 / 0.0505 / THROUGH (*1)
\rightarrow	F ∙2	IPF: OFF / ON

*1 入力フォーマットが認識できないときは、正規化周波数を表示します。

* ローパスフィルター、ハイパスフィルターのカットオフ周波数は、入力フォーマットによって変化します。詳細 は「3.3.32 ビデオノイズメーター (SER10)」を参照してください。

13.7.5 測定結果表示サイズの選択

以下の操作で、測定結果表示サイズを選択できます。

操作

PIC → $F \bullet 3$ LINE SEL / NOISE → $F \bullet 4$ NOISE SETUP → $F \bullet 4$ RESULTS SIZE: SMALL / LARGE



図 13-30 測定結果表示サイズの選択

13.7.6 アラーム機能のオンオフ

以下の操作で、アラーム機能をオンオフできます。 オンのとき $\boxed{F+2}$ ALARM LEVEL が表示されてアラーム機能のしきい値を設定できます。

操作

P]	IC -	→ F•3	LINE S	EL / NOISE \rightarrow	F•4 NOISE SETUP	
\rightarrow	F∙	5 ALA	$RM \rightarrow$	F•1 ALARM UN	NIT: OFF / ON	

13.7.7 アラーム機能のしきい値の設定

アラーム機能がオンのとき、以下の操作で、アラーム機能のしきい値を設定できます。 測定結果が設定したしきい値以上になると、測定結果表示が赤色になります。

操作

PIC → F•3 LINE SEL / NOISE → F•4 NOISE SETUP → F•5 ALARM → F•2 ALARM LEVEL: -80dB (0.1mV) - <u>0dB (700.0mV)</u>

測定結果がしきい値未満のとき

測定結果がしきい値以上のとき



図 13-31 アラーム表示

13.8 表示の設定



13.8.1 表示サイズの選択

以下の操作で、ピクチャーの表示サイズを選択できます。

操作	
$PIC \to F \bullet 7 DISP$	$AY \rightarrow F \bullet 1$ SIZE: <u>FIT</u> / REAL / X2 / FULL FRM
設定項目の説明	
FIT:	表示エリアに最適化した大きさで表示します。
	ピクチャーを拡大縮小するため、表示が粗くなったり、画素が抜けたりするこ
	とがあります。また、拡大縮小の際には、簡易フィルター処理をしています。
REAL:	ビデオ信号の1サンプルを画面の1画素で表示します。
	表示エリアよりもピクチャーが大きい場合は、V POS ツマミと H POS ツマミを
	使用して、ピクチャーの表示位置を調整できます。ツマミを押すとピクチャー
	が基準位置に戻ります。
X2:	ビデオ信号の1サンプルを画面の4画素(縦横2倍)で表示します。
	表示エリアよりもピクチャーが大きい場合は、V POS ツマミと H POS ツマミを
	使用して、ピクチャーの表示位置を調整できます。ツマミを押すとピクチャー
	が基準位置に戻ります。
FULL FRM:	ブランキング期間を含めた1フレームを表示します。

SIZE = FIT





SIZE = REAL





13. ピクチャー表示



図 13-33 表示サイズの選択

13.8.2 ガマットエラーの表示

以下の操作で、ピクチャー上にガマットエラーおよびルミナンスエラーが発生している場所を表示 できます。

ステータスメニューの Gamut Upper/Lower、Composite Upper/Lower、Luminance

Upper/Lower で設定した範囲外がエラーとなります。Gamut Error、Composite Gamut Error、 Level Error が OFF のとき、該当するエラーは表示されません。

【参照】 Gamut Upper/Lower、Composite Upper/Lower →「16.2.3 エラー設定 3」 Luminance Upper/Lower →「16.2.4 エラー設定 4」

操作

PIC \rightarrow F•7 DISPLAY \rightarrow F•2 GAMUT ERR DISP: OFF / WHITE / RED / MESH

設定項目の説明

OFF:	ガマットエラーを表示しません。
WHITE:	ピクチャーの明るさを半分にして、ガマットエラーを白色で表示します。
RED:	ピクチャーの明るさを半分にして、ガマットエラーを赤色で表示します。
MESH:	ガマットエラーを網目模様で表示します。

13.8.3 情報のオンオフ

以下の操作で、レイアウトで配置した下記の情報表示をオンオフできます。 この設定は、PICキーを押したときの画面でのみ有効です。マルチ表示など、他の画面では ON 固 定となります。

・Sub タブのアイテム (FORMAT、INPUT、TIME、DATE)

・Option タブのオプション (Format、Input、Time)

操作

PIC	\rightarrow	F∙7	DISPLAY	\rightarrow	F∙4	STATUS	INFO:	<u>ON</u> /	OFF
-----	---------------	-----	---------	---------------	-----	--------	-------	-------------	-----

STATUS INFO = ON

1920x1 <mark>080/59.94I YC</mark> bCr(422) 10b <mark>it HD</mark>	SDI 1/	A TIM <mark>E:</mark>	15:46:58

図 13-34 情報のオンオフ

13.8.4 3G-B-DS 表示の設定

3G-B-DS 測定時、以下の操作で表示形式を選択できます。

操作

PIC \rightarrow F•7 DISPLAY \rightarrow F•3 3G-B-DS DISPLAY: STREAM1 / STREAM2 / MIX / <u>ALIGN</u>

設定項目の説明

STREAM1:	ストリーム1を表示します。
STREAM2:	ストリーム 2 を表示します。
MIX:	ストリーム1とストリーム2を重ねて表示します。
ALIGN:	ストリーム1とストリーム2を並べて表示します。

3G-B-DS DISPLAY = MIX



³G-B-DS DISPLAY = ALIGN



図 13-35 3G-B-DS 表示の設定

14. HDR 表示 (SER07)

SER07 をインストールすることによって、HDR 信号の測定ができます。HDR 信号の測定は、SD、および XYZ を除くすべてのフォーマットに対応しています。

HDR 信号を測定するには、SYS \rightarrow F•1 SIGNAL IN OUT \rightarrow HDR タブで、HDR MODE を ON にして ください。必要に応じて、STANDARD、HDR->SDR HIGH UPPER LIMIT、SYSTEM GAMMA (OOTF) や REFERENCE LEVEL も設定します。詳細は「7.1.5 HDR の設定 (SER07)」を参照してください。

HDR 測定をオンにすると次のようになります。

5 バー表示、ピクチャー上のガマットエラー表示、またはステータス上のガマットエラー表示、コンポジットガマットエラー表示、輝度レベルエラー表示、色差レベルエラー表示のいずれかがオンになると、 SDR 変換形式の選択が DISABLE のみになります。SDR 変換形式の選択が DISABLE 以外に設定されていたときは DISABLE に切り換わります。

SDI INFORMAT ALARMSDI OUT <mark>HDR</mark> AUDIO IN/OUTMONITOR OUT	
HDR (SD signal is not supported)	
HDR MODE OFF	
STANDARD RHLG PQ	IS-Log3
HDR->SDR HIGH	
UPPER LIMIT R 10000cd/m2 R 4000cd/m2 R	
SYSTEM GAMMA (OOTF) ♥OFF ■ON	
REFERENCE LEVEL 🖬 50% 🗖 75%	
厩51% 厩58%	

図 14-1 HDR タブ

14.1 ビデオ信号波形表示

ビデオ信号波形表示では、HDR 信号に対応したスケールやカーソルを表示できます。

14.1.1 スケール表示

HDR 測定時、ビデオ信号波形の右側に HDR 信号に対応したスケールを表示します。 右側のスケールは、HDR タブの STANDARD と SYSTEM GAMMA (OOTF)によって以下のように異 なります。

0~100%を 0~1200%で表示
0~100%を 0~1000cd/m ² で表示
0~100%を 0~10000cd/m ² で表示
(スケール単位が 1023,255 のときは、0~100%
を 64~940 としたとき、4~1019 を 0~
10000cd/m ² で表示)
0~100%を 64~940 としたとき、95~940 を 0
~2055%で表示
0~100%を 0~3000cd/m ² で表示

GAIN VARIABLE が VARIABLE のときや COLOR MATRIX が COMPOSITE のとき、右側のスケー ルは表示しません。

















```
STANDARD = S-Log3、SYSTEM GAMMA (OOTF) = ON
```



図 14-2 スケール表示

14.1.2 カーソル表示

カーソル測定時、以下の操作で HDR 信号に対応した測定値を表示できます。

測定単位は、HDR タブの STANDARD が HLG または S-Log3 で SYSTEM GAMMA (OOTF)が OFF のとき%、STANDARD が HLG または S-Log3 で SYSTEM GAMMA (OOTF)が ON のとき、または STANDARD が PQ のとき cd/m²となります。

なお、GAIN VARIABLE が VARIABLE のときや GAIN MAG が X5 のときは、HDR を選択しても、 HDR 信号に対応した測定値を表示しません。Y UNIT を mV にしたときと同様の表示をします。







図 14-3 カーソル表示 (PQ)

14.2 ベクトル波形表示

ベクトル波形表示では、HDR 信号に対応したヒストグラムを表示できます。

14.2.1 ヒストグラム表示

ヒストグラム表示時、以下の操作で横軸のスケールを選択できます。

操作

VECT \rightarrow F•1 SCALE \rightarrow F•3 HIST SCALE: % / HDR

HDR にしたときのスケールは、HDR タブの設定や PIC メニューの HDR->SDR によって、以下のように異なります。

表 14-1 ヒストグラムスケール

			HDR->SDR			
			NORMAL	HIGH	DISABLE	
HDR タブ	HLG		0~100 [%]	0~1200 [%]	0~1200 [%]	
	PQ	10000cd/m2	0~100 [cd/m2]	0~10000 [cd/m2]	0~10000 [cd/m2]	
		4000cd/m2	0~100 [cd/m2]	0~4000 [cd/m2]	0~10000 [cd/m2]	
		1000cd/m2	0~100 [cd/m2]	0~1000 [cd/m2]	0~10000 [cd/m2]	
	S-Lo	og3	0~100 [%]	0~4000 [%]	0~2043 [%]	

HIST SCALE = HDR



図 14-4 ヒストグラム表示 (HLG)

14.3 ピクチャー表示

ピクチャー表示では、HDR 信号に対応したシネライト、シネゾーンを表示できます。 HDR 測定時は、PIC メニューの $\boxed{F \cdot 4}$ CINELITE が $\boxed{F \cdot 4}$ CINELITE/HDR に変わり、シネライトやシ ネゾーンの表示はここから行います。



図 14-5 CINELITE/HDR メニュー

14.3.1 輝度情報のオンオフ

以下の操作で ON にすると、画面上部に最大輝度(MAX)、最小輝度(MIN)、平均輝度(AVG)を表示できます。また、シネゾーン表示では、画面左上に表示色設定の HDR 換算値も表示できます。

操作

PIC	\rightarrow	F•4 CINELITE/HDR
\rightarrow	F∙2	HDR->SDR SETUP → F•5 BRIGHTNESS INFO: OFF / ON (通常表示のとき)
\rightarrow	F ∙2	- Stop SETUP → F•5 BRIGHTNESS INFO: OFF / ON (f Stop 表示のとき)
\rightarrow	F ∙2	%DISPLAY SETUP → F•5 BRIGHTNESS INFO: <u>OFF</u> / ON (%DISPLAY 表示のとき)
\rightarrow	F∙2	CINEZONE SETUP → $F \bullet 5$ BRIGHTNESS INFO: OFF / ON (シネゾーン表示のとき)

BRIGHTNESS INFO = ON



図 14-6 輝度情報のオンオフ

14.3.2 SDR 変換形式の選択

以下の操作で、HDR 信号を SDR 信号に変換するときの変換形式を選択できます。

操作

$PIC \rightarrow F \bullet 4 CINE$	$ELITE/HDR \rightarrow [F \bullet 3] HDR -> SDR: NORMAL / HIGH / DISABLE$
設定項目の説明	
NORMAL:	HDR 信号をリニア信号に変換して、SDR 領域を表示します。
	シネゾーン表示のときは選択できません。
	5 バー表示、ピクチャー上のガマットエラー表示、またはステータス上のガマッ
	トエラー表示、コンポジットガマットエラー表示、輝度レベルエラー表示、色
	差レベルエラー表示のいずれかがオンのときは選択できません。
HIGH:	HDR 信号をリニア信号に変換して、全域を表示します。ただし HDR タブの
	STANDARD が PQ のときは、HDR->SDR HIGH UPPER LIMIT で選択した明
	るさまでを表示します。
	シネゾーン表示のときは選択できません。
	5 バー表示、ピクチャー上のガマットエラー表示、またはステータス上のガマッ
	トエラー表示、コンポジットガマットエラー表示、輝度レベルエラー表示、色
	差レベルエラー表示のいずれかがオンのときは選択できません。
DISABLE:	HDR 信号をそのまま表示します。

HDR->SDR = NORMAL



HDR->SDR = HIGH



HDR->SDR = DISABLE



図 14-7 SDR 変換形式の選択

14.3.3 f Stop 表示

HDR 信号の f Stop 表示では、HDR タブの STANDARD で選択した規格によって、画面左上の GAMMA に HLG、PQ、S-Log3 のいずれかを表示します。また、輝度レベルが 80%以上であって も、測定値は黄色ではなく、白色で表示します。



図 14-8 f Stop 表示

14.3.4 %DISPLAY 表示

HDR 信号の%DISPLAY 表示では、以下の操作で HDR 信号に対応した測定値を表示できます。また、輝度レベルが 80%以上や 0%以下であっても、測定値は黄色ではなく、白色で表示します。



図 14-9 %DISPLAY 表示

14.3.5 シネゾーン表示

HDR 信号のシネゾーン表示では、以下の操作で ON にすることで、SDR 領域をモノクロ、HDR 領域をカラーで表示できます。

なお、 $F_{\bullet 5}$ HDR ZONE が ON のとき、 $F_{\bullet 1}$ CINEZONE FORM の STEP と SEARCH は選択できません。

操作

PIC \rightarrow F•4 CINELITE/HDR \rightarrow F•5 HDR ZONE: ON / OFF

HDR ZONE = OFF



HDR ZONE = ON



図 14-10 シネゾーン表示

以下の操作で、表示色の設定ができます。REF を SDR 領域と HDR 領域の堺にすることで、SDR 領域をモノクロ、HDR 領域をカラーで表示できます。

UPPER 以上:マゼンタREF 以上、UPPER 以下:青~赤のグラデーションLOWER 以上、REF 以下:モノクロLOWER 以下:黒

操化	F	
PIC	\rightarrow	F•4 CINELITE/HDR \rightarrow F•2 CINEZONE SETUP
Ļ	F•2	UPPER
\rightarrow	F•3	LOWER
\rightarrow	F∙4	REF
	$操$ PIC \rightarrow → →	操作 PIC → → $F \bullet 2$ → $F \bullet 3$ → $F \bullet 4$

設定値は、HDR タブの設定によって、以下のように異なります。 入力ビデオレベルを 0.0~100.0%として、%単位で設定します。F•5 BRIGHTNESS INFO を ON にすると、HDR 換算値を画面左上に表示します。

表 14-2 表示色設定値

			設定範囲	UPPER 初期設定	LOWER 初期設定	REF 初期設定
HDR タブ	HLG		0.0~100.0	100.0	0.0	50.0
	PQ	10000cd/m2	0.0~100.0	100.0	0.0	50.8
		4000cd/m2	0.0~100.0	90.0	0.0	50.8
	1000cd/m2		0.0~100.0	75.2	0.0	50.8
	S-Log3		3.5~109.4	100.0	3.5	61.0

15. オーディオ表示 (SER03)

オーディオを表示するには、AUDIO キーを押します。

オーディオ表示では、SDI INPUT に入力したエンベデッドオーディオ信号と、DIGITAL AUDIO INPUT に入力した外部オーディオ信号を測定できます。DIGITAL AUDIO INPUT は、システム設定の AUDIO IN/OUT で切り換えることによって、出力端子として使用することもできます。

エンベデッドオーディオ測定時は、サイマルモードにすると、SDI 入力 A~D を組み合わせて表示できます。(INPUT メニューの F•1 1A(2A) ~ F•4 1D(2D)が OFF であっても表示できます)



図 15-1 オーディオ表示

• インジケーターについて (オプション)

Dolby E 測定時、DOLBY SETTING タブの Dolby E LINE POSITION を ON にすることで、リサージ ュ表示、およびサラウンド表示の下にフレームロケーションの値を Line と▲で表示します。これらは 通常シアンで表示しますが、設定したしきい値を超えると赤色に変わります。

pgmcfg、acmod について(オプション)
 Dolby 測定時、画面右上にプログラムコンフィグとオーディオコーディングモードを表示します。

• Src について

画面右下の「Src」には、左から順に以下の情報を表示します。

表 15-1 Src の説明

	画面表示	説明	参照
1. 入力信号表示	AES	Dolby オフ	15.1
	DE	Dolby E (オプション)	
	DD	Dolby Digital (オプション)	
	DDP	Dolby Digital Plus (オプション)	
2. メーター応答モデル表示	TRUE PEAK / PPM(I) /	-	15.6.2
	PPM(II) / VU+TRUE /		
	VU+PPM(I) / VU+PPM(II)		
3. 測定信号表示	EMB	エンベデッドオーディオ	15.1
	AES	外部オーディオ	

15.1 測定信号の設定

以下の操作で、測定信号の設定ができます。 ここでは、入力信号の選択やチャンネルの割り当てをします。

操作

AUDIO \rightarrow F•1 MAPPING

AUDIO	MAPPINGDOLB	Y SETTIN	IG										
	INPUT	 ≪SDI 3G-B	STREAM	SELE	EX T	T AUDI 1	0 Lin						
	DOLBY	 ≪0FF	I ON										
		R OFF	R ON										
	CH MODE	≅ 8ch			■16	ch							
	GROUP SEL	ECT.											
	1st GROU	JP G1	Ŧ	2n	d GROU	P G2	•						
				A									
	LISSAJOU	MAPPING											
	SINGLE	L	CH1	•	R	CH2	•						
	MULTI			L1	CH1	•	R1	CH2 🗸	L2	CH3	R2 CH	4 🔹	
				L3	CH5	•	R3	CH6 🗸	L4	CH7	R4 CH	8 🗗	
						T		CH2 •		CH3			
						T		CH2 •		CH3		4 🔻	
	SURROUND	L	CH1	•	R	CH2	•	С	СНЗ	7	LFE	CH4	
		Ls (CH5	•	Rs	CH6	7	Lt/Lo(l	_L) CH7	•	Rt/Ro(RR)	CH8	*
	PHONES	L (CH1	T	R	CH2	•						

図 15-2 AUDIO MAPPING タブ

表 15-2 AUDIO MAPPING タブの説明

項目	説明
INPUT	入力信号を SDI または EXT AUDIO から選択します。
	システム設定の Audio BNC が両方 Output のとき、EXT AUDIO は選択できませ
	<i>h</i> .
	SDI: SDI INPUT に入力したエンベデッドオーディオ信号を測定します。
	EXT AUDIO: DIGITAL AUDIO INPUT に入力した外部オーディオ信号を測定しま
	す。
3G-B STREAM SELECT	INPUT が SDI のとき、3G-B のストリームを選択します。
	入力信号が 3G-B 以外のときは無効です。
LINK SELECT	INPUT が SDI で、マルチリンクまたは 12G のとき、リンクを選択します。
DOLBY	1 入力モードのとき、Dolby 信号の測定をオンオフします。
(オプション)	オンにすると、Dolby 信号の種類(Dolby E、Dolby Digital、Dolby Digital Plus)を
	自動で識別します。
MIX	DOLBY が ON のとき、ミックスモードをオンオフします。
(オプション)	詳細は次項、「• ミックスモードについて」を参照してください。
DECODE CH GROUP	DOLBY が ON のとき、デコードチャンネルを選択します。
(オプション)	INPUT が SDI で MIX が OFF のとき、CH9/10~CH15/16 は選択できません。
CH MODE	測定チャンネル数を選択します。
	INPUT が EXT AUDIO で、システム設定の Audio BNC の一方が Output のとき、
	16ch は選択できません。
GROUP SELECT	オーディオグループを選択します。
	INPUT が SDI でサイマルモードのときは、入力チャンネルも選択します。
	(G1: 1~4ch、G2: 5~8ch、G3: 9~12ch、G4: 13~16ch)
EXT AUDIO INPUT	INPUT が EXT AUDIO で、システム設定の Audio BNC が両方 Input のとき、入力
GROUP	グループを選択します。
LISSAJOU MAPPING	GROUP SELECT で選択したオーディオグループ、および Lt、Rt(一部を除く)か
	ら、チャンネルを割り当てます。
SURROUND	GROUP SELECT で選択したオーディオグループから、チャンネルを割り当てま
	す。
PHONES	GROUP SELECT で選択したオーディオグループ、および Lt、Rt(一部を除く)か
	ら、チャンネルを割り当てます。

• ミックスモードについて

ミックスモードとは、デコード前のオーディオ信号とデコード後の Dolby 信号を同時に表示する機能です。測定信号は、INPUT と MIX の設定によって、以下のとおり変わります。

・INPUT が SDI で、MIX が OFF のとき

DECODE CH GROUP で選択したチャンネルをデコードした信号 D1~D8ch を表示します。



図 15-3 EMB Dolby 表示

・INPUT が SDI で、MIX が ON のとき

左半分には、GROUP SELECT で選択したチャンネルのエンベデットオーディオ信号を表示します。

右半分には、DECODE CH GROUP で選択したチャンネルをデコードした信号 D1~D8ch を表示します。





・INPUT が EXT AUDIO で、MIX が OFF のとき DECODE CH GROUP で選択したチャンネルをデコードした信号 D1~D8ch を表示します。



図 15-5 AES Dolby 表示

・INPUT が EXT AUDIO で、MIX が ON のとき

左半分には、EXT AUDIO INPUT GROUP で選択したグループの外部オーディオ信号を表示します。

右半分には、DECODE CH GROUP で選択したチャンネルをデコードした信号 D1~D8ch を表示 します。



図 15-6 AES Dolby 表示(ミックス)

15.2 Dolby の設定 (オプション)

DOLBY が ON のとき、以下の操作で Dolby の設定ができます。

操作	
AUDIO \rightarrow F•1 MAPPING \rightarrow	
DDC MAIN CH	
SELECT	
AC-3	
DRC MAIN CH	LINE I
DRC AUX CH	
Pro Logic	OFF +
DOWNMIX	AUTO •

図 15-7 DOLBY SETTING タブ

表 15-3 DOLBY SETTING タブの説明

	項目	説明
Dolby E	ONAIR MODE	ONAIR MODE をオンオフします。
	DRC MAIN CH	DRCを選択します。
	DRC AUX CH	Auxiliary の DRC を選択します。
	Dolby E LINE POSITION	フレームロケーションのインジケーター表示をオンオフしま
		す。
	SELECT	フレームロケーションのしきい値の種類を選択します。
		下限値(EARLIEST)と上限値(LATEST)は、VALID または IDEAL
		にしたときは、フォーマットによって自動で変わります。
		CUSTOM にしたときは、8~105の範囲で任意に設定できま
		す。
AC-3	DRC MAIN CH	DRCを選択します。
(Dolby Digital)	DRC AUX CH	Auxiliary の DRC を選択します。
	Pro Logic	Pro Logic II をオンオフします。
	DOWNMIX	ダウンミックスモードを選択します。

15.3 表示モードの選択

以下の操作で、表示モードを選択できます。

操作

AUDIO \rightarrow F•2 DISPLAY MODE: LISSAJOU / METER / SURROUND / STATUS

設定項目の説明

LISSAJOU:	リサージュを表示します。8ch 測定時はオーディオメーターも表示します。
METER:	オーディオメーターを表示します。8ch 測定時は選択できません。
SURROUND:	左半分にサラウンド、右半分にオーディオメーターを表示します。
	16ch 測定時や、エンベデッドオーディオ測定時のサイマルモードでは選択できま
	せん。
STATUS:	ステータスを表示します。8ch 測定時はオーディオメーターも表示します。

DISPLAY MODE = LISSAJOU



DISPLAY MODE = METER 0 - 10 -10 - 15 -15 -20 -20 - 30 - 30 -40 - 40 -50 -60 -50 -60 10 11 13









図 15-8 表示モードの選択

15.4 エラー検出の設定

以下の操作で、エラー検出とメーター表示の設定ができます。

操作					
AUDIO \rightarrow F•5 ERROR SET	TUP				
ERROR SETUP					
AUDIO ERROR SETUP					
Level Over	■ 0FF	₩ON	METER INDICATION		
Clip	■ 0FF	₩ON	Clip	■ 0FF	₩ON
Duration	1 sampl	e(1 ~ 100)	Mute	■0FF	₩ ON
Mute	■ 0FF	 <i>∎</i> ON			
Duration	1000 ms(1	~ 5000)	Dolby E Acmod	 <i> </i>	III ON
Parity Error	■ OFF	₹ON			
Validity Error	■ OFF	 ₹0N			
CRC Error	■0FF	 €ON			
Code Violation	■0FF	 ≪ON			

図 15-9 ERROR SETUP タブ

表 15-4 ERROR SETUP タブの説明

項目		説明
AUDIO ERROR SETUP	,	エラー検出をオンオフします。
		ON にすると、エラーが発生したときに以下の動作をします。
		・ステータス表示のエラーカウント
		・ステータス表示のイベントログにエラーを表示
METER INDICATION	Clip	Clip が ON のとき、エラーが発生したときの「CLIP」表示をオン
		オフします。
	Mute	Mute が ON のとき、エラーが発生したときの「MUTE」表示をオ
		ンオフします。
Dolby E Acmod		Dolby E 測定時、LFEch を使用しないときの「NOT USE」表示を
(オプション)		オンオフします。
15.5 音量の調整

以下の操作で、ヘッドホンの音量を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0)に戻ります。

操作

AUDIO \rightarrow F	•7 PHONES VOLUME: <u>0</u> - 63	
-----------------------	---------------------------------	--

15.6 メーター表示

16ch 測定時のリサージュ表示、ステータス表示を除いて、メーターは常に表示されます。 メーター表示の設定は、AUDIO メニューの $\boxed{F^{-3}}$ METER SETUP で行います。



図 15-10 メーター表示

15.6.1 スケールの選択

以下の操作で、メーターのスケールを選択できます。

操作

AUDIO	\rightarrow	F∙3	METER	SETUP	\rightarrow	F•1	DYNAMIC RANGE: 60DBFS / 90DBFS / MAG	

設定項目の説明

60DBFS:	メーターのスケールを-60~0(dBFS)にします。
90DBFS:	メーターのスケールを- <u>90~</u> 0(dBFS)にします。
MAG:	メーターのスケールを F•5 LEVEL SETTING → F•3 REF dBFS で設定したレ
	ベル±3dB にします。

15.6.2 応答モデルの選択

以下の操作で、メーターの応答モデルを選択できます。選択した応答モデルは、画面右下に表示されます。

操作

AU	DIO	\rightarrow F•3 METER SETUP
\rightarrow	F ∙2	RESPONSE: TRUEPEAK / PPM / VU
\rightarrow	F ∙3	PPM MODE: PPM(I) / PPM(II) (PPM のとき)
\rightarrow	F ∙3	PEAK METER: TRUE / PPM(I) / PPM(II) (VU のとき)

応答モデルの詳細は以下のとおりです。

表	15-5	応答モデルの設定
1	10 0	

F•2 RESPONSE	F•3 PPM MODE /	画面表示	Delay time	Return time	Average
	F•3 PEAK METER		(*1)	(*2)	time
TRUEPEAK	-	TRUE PEAK	0 msec	1.7 sec	-
PPM	PPM(I)	PPM(I)	10 msec	1.7 sec	-
	PPM(II)	PPM(II)	10 msec	2.8 sec	-
VU	TRUE	VU+TRUE	-	-	300 msec
	PPM(I)	VU+PPM(I)	-	-	300 msec
	PPM(II)	VU+PPM(II)	-	-	300 msec

*1 無入力状態から-20dBFS/1kHz の正弦波を入力したときに、メーターの指示値が-20dBFS を指すまでの時間を表します。

*2 -20dBFS/1kHz の正弦波を入力した状態から無入力状態にしたときに、メーターの指示値が-40dBFS を指すまでの時間を表します。

15.6.3 ピークホールドの設定

F●2 RESPONSE が VU のとき、以下の操作でピーク値の保持時間を選択できます。設定単位は sec で、0.5sec ステップで設定できます。

ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0.5)に戻ります。

AUDIO	\rightarrow	F•3	METER	SETUP	\rightarrow	F ∙4	PEAK HOLD: 0.0 - 0.5 - 5.0 / HOLD

15.6.4 基準レベルの設定

基準レベルの設定は、METER SETUP メニューの F•5 LEVEL SETTING で行います。



AUL	$PIO \rightarrow F \bullet 3$ METER SETUP $\rightarrow F \bullet 5$ LEVEL SETTING
\rightarrow F	•1 OVER dBFS: -40.0 - 0.0
\rightarrow F	•2 WARNING dBFS: -40.018.0 - 0.0

→ F•3 REF dBFS: -40.0 - -20.0 - 0.0

15.7 リサージュ表示

リサージュを表示するには、AUDIO メニューの $F \bullet 2$ DISPLAY MODE を LISSAJOU にします。 リサージュ表示の設定は、 $F \bullet 4$ LISSAJOU SETUP で行います。このメニューは、 $F \bullet 2$ DISPLAY MODE が LISSAJOU のときに表示されます。



図 15-12 リサージュ表示

• 相関計について

相関計は2信号間の位相を表し、+1のときは同相、-1のときは逆相、0のときは無相関を意味します。

15.7.1 リサージュ波形の輝度調整

以下の操作で、リサージュ波形の輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0)に戻ります。

操作

2	221211					
	AUDIO	\rightarrow	F∙4	LISSAJOU SETUP \rightarrow	F •1	LISSAJOU INTEN: -8 - <u>0</u> - 7

15.7.2 スケールの輝度調整

以下の操作で、リサージュスケールとメータースケールの輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(4)に戻ります。

AUDIO \rightarrow F•4 LISSAJOU SETUP \rightarrow F•2 SCALE INTEN: -8 - $\underline{4}$ - 7
--

15.7.3 リサージュ表示形式の選択

以下の操作で、リサージュの表示形式を選択できます。

操作

AUDIO → F•4 LI	SSAJOU SETUP \rightarrow F•3 DISPLAY: <u>MULTI</u> / SINGLE
設定項目の説明	
MULTI:	リサージュ波形 8ch とオーディオメーター8ch、またはリサージュ波形 16ch を
	表示します。
SINGLE:	リサージュ波形 2ch とオーディオメーター8ch を表示します。

リサージュ波形 2ch とオーディオメーター8ch を表示します。 サイマルモードのときや 16ch 測定時は選択できません。

DISPLAY = MULTI



DISPLAY = SINGLE



図 15-13 リサージュ表示形式の選択

15.7.4 スケール表示形式の選択

以下の操作で、スケールの表示形式を選択できます。

操作

AUDIO	\rightarrow	F∙4	LISSAJOU SETUP \rightarrow	F∙4	FORM: X-Y / MATRIX

設定項目の説明

X-Y:	RをX軸(水平)、LをY軸(垂直)に割り当てます。
MATRIX:	X-Y に対して、R と L を 45°傾けます。

FORM = X-Y

FORM = MATRIX





図 15-14 スケール表示形式の選択

15.7.5 リサージュ波形の倍率設定

以下の操作で、リサージュ波形の倍率を選択できます。

操作

AUDIO	\rightarrow	F∙4	LISSAJOU SETUP \rightarrow	F•5	AUTO GAIN: ON / OFF
					<u> </u>

設定項目の説明

ON:	波形がスケールに合うように、	倍率を自動で調整します。
OFF:	固定の倍率で表示します。	

AUTO GAIN = ON

AUTO GAIN = OFF



図 15-15 リサージュ波形の倍率設定

15.8 サラウンド表示

サラウンドを表示するには、AUDIO メニューの F•2 DISPLAY MODE を SURROUND にします。 サラウンド表示の設定は、F•4 SURROUND SETUP で行います。このメニューは、F•2 DISPLAY MODE が SURROUND のときに表示されます。



AUDIO \rightarrow F•2 DISPLAY MODE \overline{c} SURROUND \rightarrow F•4 SURROUND SETUP \rightarrow

図 15-16 サラウンド表示

15.8.1 サラウンド波形の輝度調整

以下の操作で、サラウンド波形の輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(4)に戻ります。

操作

AUDIO	\rightarrow	F ∙4	SURROUND SETUP \rightarrow	F•1	SURROUND INTEN: -8 - 4 - 7

15.8.2 スケールの輝度調整

以下の操作で、サラウンドスケールとメータースケールの輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(4)に戻ります。

AUDIO	\rightarrow	F ∙4	SURROUND SETUP	\rightarrow F	•2	SCALE INTEN: -8 - 4 - 7
						—

15.8.3 サラウンド表示形式の選択

以下の操作で、サラウンド表示の表示形式を選択できます。

操作 AUDIO → F•4 SURROUND SETUP → F•3 SURROUND 5.1: <u>NORMAL</u> / PHANTOM

	······································
設定項目の説明	
NORMAL:	Lch、Rch、Lsch、Rsch、Cch(ハードセンター)を組み合わせた波形を表示します。
PHANTOM:	Lch、Rch、Lsch、Rsch、ファントムセンターを組み合わせた波形と、Cch(ハ ードセンター)の波形を分離して表示します。

SURROUND 5.1 = NORMAL



SURROUND 5.1 = PHANTOM



図 15-17 サラウンド表示形式の選択

15.8.4 サラウンド波形の倍率設定

以下の操作で、サラウンド波形の倍率を選択できます。

URROUND SETUP \rightarrow F•5 AUTO GAIN: <u>ON</u> / OFF
波形がスケールに合うように、倍率を自動で調整します。
固定の倍率で表示します。

15.9 ステータス表示

ステータスを表示するには、AUDIO メニューの $F \circ 2$ DISPLAY MODE を STATUS にします。 ステータス表示の設定は、 $F \circ 4$ STATUS SETUP で行います。このメニューは、 $F \circ 2$ DISPLAY MODE が STATUS のときに表示されます。



AUDIO → m F ullet 2 DISPLAY MODE rm c Status → m F ullet 4 Status setup →

図 15-18 ステータス表示

15.9.1 ステータス画面の説明

ステータス画面では、選択したチャンネルのレベルとエラーカウント(9999 まで)を表示します。エ ラー検出は、「15.4 エラー検出の設定」で ON にした項目についてのみ行います。

• Channel

チャンネルを表示します。以下、/(スラッシュ)の左側を上段、右側を下段に表示します。

• Level (dBFS)

レベルを数値で表示します。

Level Over

レベルが「15.6.4 基準レベルの設定」で設定した OVER dBFS 以上のときにカウントします。

• Clip

「15.4 エラー検出の設定」で設定したサンプル数を超える最大値信号が、連続して入力されたときにカウントします。

• Mute

「15.4 エラー検出の設定」で設定した期間を超えるミュート信号が、連続して入力されたときに カウントします。 • Parity Error

入力信号のパリティビットと、再計算したパリティビットの値が異なるときにカウントします。

Validity Error

入力信号のバリディティビットが1のときにカウントします。

CRC Error

チャンネルステータスビットの CRC 値と、再計算した CRC 値が異なるときにカウントします。

• Code Violation

入力信号のバイフェーズ変調の状態が異常であるときにカウントします。

• Reset

F●6 ERROR RESET を押してからの経過時間を表示します。

Dolby 信号の測定では、エラー検出数のほかに Frame Location(ヘッダーの位置とモード)を表示します。ただし、外部オーディオ測定時、H と mode は表示しません。



図 15-19 ステータス表示 (Dolby E)

15.9.2 イベントログ表示

以下の操作で、イベントログ画面を表示できます。 この画面は、ステータス表示のイベントログ画面と同じものです。詳細は「16.4 イベントログの 設定」を参照してください。





- 15.9.3 メタデータ表示 (オプション)
 - Dolby E メタデータ表示

Dolby E 測定時、以下の操作で選択したプログラム番号のメタデータを確認できます。 プログラム番号の選択は F•1 DOLBY PROGRAM で行います。

操作																
AUDIO	\rightarrow	F•4	STA	TUS S	SETUP	\rightarrow	F•2	META	.DATA -	→F	•1	DOLI	BY E	E MET/	ADATA	4
Source	SDI E	EMB [1A]													
Dolby	E Comn	non M	etadat	a Stati	IS											
Prog	Desc	Text														
Bits	trm Fo	rmat	[DE 20bi	ts			SMPTE	Timecode	(00:00	0:00:00)			
Prog	Confi	g		5.1+2				Framer	ate	:	29.97	fps(N	rsc)			
AC-3 M	etadat	a St	atus													
Data	rate			Not Spe	cified			DC Fil	ter	(on					
Bits	trm Mo	de	(Complet	e Main			Lowpas	s Filter	(off					
Codi	ng Mod	le		3/2(L,R	,C,Ls,Rs	5)		LFE Fi	lter	(off					
LFE (Channe	el 🛛	(on				Srnd P	hase Shift	t (off					
								Srnd A	ttenuator	(off					
Cente	er Mix	: Lvl		-3.0dB				RF Ov	Protect	(off					
Srnd	Mix L	.vl		-3.0dB												
Mix I	Lvl		1	not exi	st			RF Mod	e Comp	1	none					
Dolby	y Srnd	Mode	e I	not ind	icate			Line M	ode Comp	I	none					
Room	Туре		1	not exi	st											
Сору	right	Bit	I	not pro	tected			Dialno	rm Lvl		-23dE	3				
0rig	Bitst	rm	1	not ori	ginal											
										Src:		DE /	PRM1			
	DOLB' PROGR/	Y AM												up menu		
	PRM1															

図 15-21 Dolby E メタデータ表示

• Dolby E EBI メタデータ表示

Dolby E 測定時、以下の操作で選択したプログラム番号の EBI(Extended Bitstream Info)メタデ ータを確認できます。

プログラム番号の選択は F•1 DISPLAY PROGRAM で行います。





図 15-22 Dolby E EBI メタデータ表示

• Dolby Digital メタデータ表示

Dolby Digital 測定時、以下の操作でメタデータを確認できます。

操作				
AUDIO \rightarrow F•4 ST	ATUS SETUP \rightarrow F	•2 METADATA \rightarrow	F•1 DOLBY	D METADATA
Source AES				
AC-3 Metadata Status				
Bitstrm ID	8	SMPTE Timecode	00:00:00:00	
Bitstrm Format	DD			
Samplerate	48KHZ			
Datarate Ditetam Mada	448KDps			
Sitstrm Mode	2/2 L D C Lo Do			
	3/2 L,K,U,LS,KS			
	UII			
Center Mix Lvl	-3.0dB			
Srnd Mix Lvl	-3.0dB			
Mix Lvl	105dB			
Dolby Srnd Mode	reserved			
Room Type	small, flat monitor			
Copyright Bit	protected			
Orig Bitstrm	original	Dialnorm Lvl	-27dB	
		S	rc: DD	
				up
				menu

図 15-23 Dolby Digital メタデータ表示

• Dolby Digital EBI メタデータ表示

Dolby Digital 測定時、以下の操作で EBI(Extended Bitstream Info)メタデータを確認できます。

操作															
AUDIO -	→ F•	4 ST/	ATUS	SETUP	\rightarrow	F ∙2	META	DATA	\rightarrow	F∙2	EBI M	1ETAD	ATA		
Source A AC-3 Ex Prefs Lt/Rt Lt/Rt Lo/Ro Lo/Ro Srnd E Headph AD Con	AES Ktended Gtereo I Center Srnd M: Center Srnd M: X Mode none Mon overter	Bitst Dwnmix Mix Lv Mix Lv Mix Lvl de Type	ream In Mode તી	fo not de -3.0dB -3.0dB -3.0dB ProLog not ex not ex	fined ic II: ist ist	z			Sru	c:	DD				
												up men	u		

図 15-24 Dolby Digital EBI メタデータ表示

• Dolby Digital Plus メタデータ表示

Dolby Digital Plus 測定時、以下の操作でメタデータを確認できます。

操作	F																					
AU	DIO	\rightarrow	F∙4	ST	ATUS	S SE	TUF	\rightarrow	F∙2	MET	TADA	TA	\rightarrow	F ●1	DOLE	BY C)+	Μ	IET/	٩DA	TΑ	
S	ource	SDTI	EMR [1 4 1																		
F	- 4(- 3	Meta	data '	Stati	IS																	
	Bitst	rm Fc	ormat	5.41	E-AC-	3				SMPTE	Timec	code		63:12	7:127:6	3						
	Aggre	egate	Acmo	d	3/2(L	,R,C,	Ls,Rs	5)		SMPTE	Timed	delay		0								
	Aggre	efate	Data	rate	640kb	ps																
	Num S	Substr	reams																			
E	- AC - 3	Subs	tream	par	ameter	S																
	Strea	am Typ	be		Туре					Datar	ate		(640kb	ps							
	Bitst	rm ID)		16					Fscod				48kHz								
	Subst	rm IC)							Numbl	kscod		(6bloc	k / syn							
										Codin	g Mode			3/2								
										LFE C	hannel			on								
										Bitst	rm Mod	le	1	Compl	ete Mai							
										Chanm	ар			not d	efined							
	Dolby	/ Srnc	d Mode	e	reser	ved																
	Room	Туре	D.: +		small	, rla	τmor	nitor														
	Copyr	-ignt Bitct	BIT		prote	nol																
	Urig	DIUSI			01191	Indu				Dialn	orm Ly	<i>,</i> 1		- 2240								
										Diatii		/ L	Src	-2500	סחח							
													510.		001							

図 15-25 Dolby Digital Plus メタデータ表示

• Dolby Digital Plus EBI メタデータ表示

Dolby Digital Plus 測定時、以下の操作で EBI メタデータを確認できます。

操作					
AUDIO → F•4 STATUS	SETUP \rightarrow F•2	Metadata \rightarrow	• F ∙2	EBI METADATA	
Source SDI EMB [1A] AC-3 Extended Bitstream Inf Pref Stereo Dwnmix Mode Lt/Rt Center Mix Lvl Lt/Rt Srnd Mix Lvl Lo/Ro Center Mix Lvl Lo/Ro Srnd Mix Lvl Srnd EX Mode Headphone Mode AD Converter Type	o not defined -1.5dB -1.5dB -1.5dB Srnd EX or ProLog not exist not exist	icIIx			
		Sr	rc :	DDP	

図 15-26 Dolby Digital Plus EBI メタデータ表示

15.9.4 チャンネルステータス表示

以下の操作で、選択したチャンネルのステータスを表示できます。 チャンネルの選択は $F_{\bullet 1}$ DISPLAY CHANNEL で行います。また、 $F_{\bullet 2}$ ALIGN でビットの並び順を 選択できます。

AUDIO \rightarrow F•4 STATUS SETUP \rightarrow F•3 CHANNEL STATUS					
AFS/FRILCHANNEL STA	TUS DISPLAY AFS-3				
FORMAT :	Professional	Byte :	01234567		01234567
AUDIO DATA :	PCM	00 :	10100001	12 :	00000000
EMPHASIS :	No emphasis	01 :	00010001	13 :	00000000
SIGNAL LOCK :	Locked	02 :	00010100	14 :	00000000
SAMPLING FREQ:	48kHz	03 :	00000000	15 :	00000000
REFERENCE :	Not reference	04 :	00000000	16 :	00000000
CH MODE :	Two-channel	05 :	00000000	17 :	00000000
		06 :	00000000	18 :	00000000
RESOLUTION :	20bits	07 :	00000000	19 :	00000000
ALIGNMENT :	Not indicated	08 :	00000000	20 :	00000000
ORIGIN :		09 :	000000000	21 :	00000000
DESTINATION :		10 :	000000000	22 :	00000000
TIME-OF-DAY :	00:00:00	11 :	000000000	23 :	01010111
CRC :	NORMAL				
DISPLAY ALIG	N			SELECT CH	up menu
1 LSB 1	st			1A	

図 15-27 チャンネルステータス表示

15.9.5 ユーザービット表示

以下の操作で、選択したチャンネルのユーザービットを表示できます。 チャンネルの選択は $F \bullet 1$ DISPLAY CHANNEL で行います。また、 $F \bullet 2$ ALIGN でビットの並び順を 選択できます。

操作

UDIO \rightarrow F•4 STATUS SETUP \rightarrow F•4 USI	ER BIT					
AES/EBU USER BIT DISPLAY AES-3						
MANAGEMENT : 192-bit	Byte		01234567	7		01234567
	00		00000000	12		00000000
	01		00000000	13		00000000
	02		00000000	14		00000000
	03		00000000	15		00000000
	04		00000000	16		00000000
	05		00000000	17		00000000
	06		00000000	18		00000000
	07		00000000	19		00000000
	08	:	00000000	20	:	00000000
	09	:	00000000	21	:	00000000
	10		00000000	22		00000000
	11		00000000	, 22) 23	:	00000000
	11		00000000	25		00000000
DISPLAY ALIGN				SELECT		up
1 LSB 1st				1A		merru

図 15-28 ユーザービット表示

15.9.6 エラーのリセット

以下の操作で、ステータス表示のエラーカウントを 0 にリセットできます。 また、左下の Reset も 00:00:00 に戻ります。

٦						
	AUDIO	\rightarrow	F ∙4	STATUS SETUP \rightarrow	F•5	ERROR RESET

16. ステータス表示

ステータスを表示するには、STATUS キーを押します。

ただし、システム設定の SDI IN タブで SDI System が 4K NMI または NMI に設定されているときは、 STATUS キーを押すと IP(NMI)ステータスを表示します。

【参照】 「16.10 IP(NMI)ステータス画面の説明 (SER08)」

IP(NMI)ステータスから通常のステータスを表示するには、 $F \bullet 1$ STATUS を押します。ステータスから、 もう一度 IP(NMI)ステータスへ戻るには、 $F \bullet 2$ SDI ANALYSIS $\rightarrow F \bullet 3$ NMI INFO を押します。

SIGNAL	FORMAT	Fre	ea.	Cable	Embedded	Audio		
LA CH DETECT	1920x1080/59.94I HD	- 13 .	өррт		1,2,3,4,	2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.		
SDI	1A CH		ANC			1A C	Н	
CRC	θ		Check :	Sum		θ		
TRS Pos	θ		Parity			Θ		
TRS Code	ide θ							
ILLEGAL Code	Θ							
Line Number	Θ							
Embedded Audio	1A CH		Video	Video Quarity 1A C		H		
BCH	θ		Freeze					
Parity	Θ		Black					
DBN	θ							
Inhibit	Θ							
Audio Sample	θ							

図 16-1 ステータス表示

- 16.1 ステータス画面の説明
 - SIGNAL

SDI 信号が入力されているかどうかを、「DETECT」または「NO SIGNAL」で表示します。 「NO SIGNAL」の場合、以降の項目は表示しません。

• FORMAT/SUB IMAGE FORMAT

入力信号のフォーマットを表示します。通常は水色で表示されますが、適切なフォーマットが入力 されないと赤色に変わります。

• Freq

サンプリング周波数の偏差を表示します。 通常は水色で表示されますが、ERROR SETUP1 タブの Frequency Error を ON にすることで、± 10ppm を超えたときに赤色に変わります。 表示範囲は「<-100ppm、-100~+100ppm、>+100ppm」で、精度は±2ppm です。 【参照】ERROR SETUP1 タブ →「16.2.1 エラー設定 1」 • Cable (SER01/SER02の1A~1Dのみ)

入力信号の減衰量を、選択したケーブルの長さに換算して表示します。 通常は水色で表示されますが、ERROR SETUP1 タブの Cable Error を ON にすることで、Warning で設定した値を超えたときは黄色、Error で設定した値を超えたときは赤色に変わります。 表示範囲は以下のとおりで、精度は±20m です。

3G: < 10m、10~105m、> 105m(5mステップ) HD: < 5m、5~130m、> 130m (5mステップ) SD: < 50m、50~300m、> 300m(5mステップ)

【参照】 ERROR SETUP1 タブ → 「16.2.1 エラー設定 1」

Embedded Audio

入力信号に重畳されているエンベデッドオーディオのチャンネルを表示します。 入力信号が 3G-B-DL のときは、ストリーム 1 のみ表示します。(3G-B-DS 測定時は、ストリーム 2 も表示します)

ERROR

[►•5] STATUS SETUP で検出設定を ON にした項目のエラーがカウントされます。エラーは1秒、 または1フィールドごとにカウントされ、最大値は 999999 です。 ビデオフォーマットや入力チャンネルの切り換え時には信号が乱れ、エラーがカウントされること があります。

・CRC (SD 以外)

入力信号に重畳されている CRC と、本体で算出した CRC が一致しないときにエラーをカウントします。

・EDH (SD のみ)

EDH パケット内に、補助データエラーフラグ、アクティブピクチャーエラーフラグ、フルフィール ドエラーフラグのいずれかが存在するときや、ビデオデータから算出した CRC と EDH パケット内 の CRC が一致しないときにエラーをカウントします。

TRS Pos

入力信号の TRS(Timing Reference Signal)エラーを表示します。

EAV(End of Active Video)とSAV(Start of Active Video)のヘッダワード(3FFh、000h、000h)の 位置が誤っているときや、TRSプロテクションビットのF、V、Hビットがビデオ規格外(ブランキ ングの長さが異なる等)のときにエラーをカウントします。

TRS Code

入力信号の TRS(Timing Reference Signal)プロテクションビットのエラーを表示します。 EAV(End of Active Video)と SAV(Start of Active Video)のプロテクションビット(XYZ)中にある F、V、H と、誤り訂正フラグ P3、P2、P1、P0 の対応がビデオ規格外のときにエラーをカウントし ます。 ILLEGAL Code

入力信号のデータが、タイミング識別コード(TRS)領域、または補助データフラグ(ADF)で規定されているデータ以外で、「000h~003h」および「3FCh~3FFh」を検出するとエラーをカウントします。

SDI 信号では、10 ビットデータで「000h~003h」および「3FCh~3FFh」は、タイミング識別コ ードや補助データフラグで使用することになっているため、ビデオ信号データやアンシラリデータ として使用することはできません。タイミング識別コードや補助データフラグ以外でこれらの領域 にデータが存在すると、エラーとみなされます。

・Line Number (SD 以外)

入力信号に重畳されているラインナンバーと、本体内部でカウントしたラインナンバーが異なると きにエラーをカウントします。

• Check Sum

入力信号のアンシラリデータに含まれるチェックサムを用いて、エラーをカウントします。

• Parity

入力信号のアンシラリデータヘッダ部分に含まれるパリティビットを用いて、エラーをカウントします。

・BCH (SD 以外)

入力信号に重畳されているエンベデッドオーディオの、BCH 符号によるエラーをカウントします。

・Parity (SD 以外)

入力信号に重畳されているエンベデッドオーディオの、パリティによるエラーをカウントします。

• DBN

入力信号に重畳されているエンベデッドオーディオの、連続性によるエラーをカウントします。 エンベデッドオーディオパケットには、パケットの連続性を示すデータブロック番号ワード(DBN) が含まれ、パケットごとに1から255までの値を繰り返します。このDBNがパケットごとに連続 していないとき、エラーとみなされます。

・Inhibit

エンベデッドオーディオパケットが、重畳禁止ラインに重畳されているときにエラーをカウントします。重畳禁止ラインは以下の通りです。

ただし、3G-B-DLの60p、59.94p、50p、48p、47.95p については伝送上のスキャン方式はイン タレースとなります。

表 16-1 重畳禁止ライン

フォ	ーマット	伝送上のスキャン方式				
		プログレッシブ	インタレース			
HD/3G	1280×720	8 ライン	-			
	1920×1080	8 ライン	8、570 ライン			
SD	720×487	-	11、274 ライン			
	720×576	-	7、320 ライン			

• Audio Sample

映像に非同期な音声が重畳されたときにエラーをカウントします。映像と音声が同期している場合、一定のビデオフレーム数のなかに、重畳されるべき音声データサンプル数が決められています。そのサンプル数が重畳されていないときに、エラーとみなされます。

Freeze

映像のフレーム間で、映像データが一致した場合にエラーをカウントします。検出を行う映像領域 の指定や、エラーとして検知するまでのフレームの連続性を設定します。 映像データの比較はチェックサム方式です。

Black

映像の輝度レベルが、設定値以下になった場合にエラーとしてカウントします。 エラー画素とみなす輝度レベルや、1フレームに対するエラー画素の割合、エラーとして検知するま でのフレームの連続性を設定します。

• Gamut

ガマットエラーをカウントします。 エラーとして検出するための上限値と下限値や、1フレームに対するエラー画素の割合、エラーとし て検知するまでのフレームの連続性を設定します。

Comp Gamut

コンポジットガマットエラーをカウントします。 エラーとして検出するための上限値と下限値や、1フレームに対するエラー画素の割合、エラーとし て検知するまでのフレームの連続性を設定します。

• Level Y

輝度レベルが設定した範囲を超えた場合にエラーとしてカウントします。 エラーとして検出するための上限値と下限値を設定します。

• Level C

色差レベルが設定した範囲を超えた場合にエラーとしてカウントします。 エラーとして検出するための上限値と下限値を設定します。

SinceReset

F•7 ERROR CLEAR、初期化、電源のオンオフで 00:00:00 になり、経過時間を表示します。

16.2 エラー検出の設定

▶●5 STATUS SETUP で、エラー検出の設定ができます。
 エラー検出を ON にすると、エラーが発生したときに以下の動作をします。
 ・ステータス表示のエラーカウント
 ・ステータス表示のイベントログにエラーを表示
 ・画面右上に「ERROR」を表示

・リモート端子のアラーム出力

16.2.1 エラー設定1

ERROR SETUP1 タブでは、SDI 信号のエラー検出について設定します。

STATUS \rightarrow F•5 STATUS SETUP \cdot	\rightarrow	
RROR SETUP1ERROR SETUP2ERROR SETUP3		
SDI Error Setup		
Error Counter	∉ Sec	■F ield
TRS Error	■ 0FF	₩ ON
Line Number Error(Except SD)	■ 0FF	₩ ON
CRC Error(Except SD)	■ 0FF	₩ ON
EDH Error(SD)	■ 0FF	₩ ON
Illegal Code Error	■ 0FF	₩ ON
Frequency Error	 ⊈0FF	■ ON
Cable Error	■ 0FF	₩ ON
3G Cable	≪ LS-5C F B	■1694A
3G Cable Error	105 m	
3G Cable Warning	105 m	
HD Cable	≪ LS-5C F B	■1694A
HD Cable Error	130 m	
HD Cable Warning	130 m	
SD Cable	 ⊈L-5C2V	■ 8281
SD Cable Error	300 m	
SD Cable Warning	300 m	

図 16-2 ERROR SETUP1 タブ

• Error Counter

Sec:	秒単位でエラーをカウントします。1秒間に複数回のエラーが発生しても、1
	回としてカウントされます。
Field:	フィールド(フレーム)単位でエラーをカウントします。1 フィールド(フレー
	ム)に複数回のエラーが発生しても、1回としてカウントされます。

• TRS Error

TRS Pos、TRS Code エラー検出のオンオフを選択します。

OFF / ON

• Line Number Error(Except SD)

ラインナンバーエラー検出のオンオフを選択します。この設定は、入力信号が SD 以外のときに 有効です。

OFF / ON

• CRC Error(Except SD)

CRC エラー検出のオンオフを選択します。この設定は、入力信号が SD 以外のときに有効です。

OFF / ON

EDH Error(SD)

EDH エラー検出のオンオフを選択します。この設定は、入力信号が SD のときに有効です。

OFF / ON

• Illegal Code Error

イリーガルコードエラー検出のオンオフを選択します。

OFF / ON

• Frequency Error

周波数偏差エラー検出のオンオフを選択します。 OFF にしても、ステータス画面に周波数偏差は表示します。

OFF / ON

Cable Error

ケーブルエラー検出のオンオフを選択します。 OFF にしても、ステータス画面にケーブル長は表示します。

OFF / ON

• 3G Cable

入力信号が 3G のときの、ケーブル長測定に使用するケーブルを選択します。

LS-5CFB / 1694A

3G Cable Error

入力信号が 3G のときの、ケーブルエラーの上限値を設定します。設定値を超えたときにエラー となり、ステータス画面の測定値が赤色で表示されます。

10 - 105 m

3G Cable Warning

入力信号が 3G のときの、ケーブルウォーニングの上限値を設定します。設定値を超えたときに ウォーニングとなり、ステータス画面の測定値が黄色で表示されます。

10 - 105 m

• HD Cable

入力信号が HD のときの、ケーブル長測定に使用するケーブルを選択します。

LS-5CFB / 1694A

• HD Cable Error

入力信号が HD のときの、ケーブルエラーの上限値を設定します。設定値を超えたときにエラー となり、ステータス画面の測定値が赤色で表示されます。

5 - 130 m

• HD Cable Warning

入力信号が HD のときの、ケーブルウォーニングの上限値を設定します。設定値を超えたときに ウォーニングとなり、ステータス画面の測定値が黄色で表示されます。

5 - 130 m

• SD Cable

入力信号が SD のときの、ケーブル長測定に使用するケーブルを選択します。

L-5C2V / 8281

SD Cable Error

入力信号が SD のときの、ケーブルエラーの上限値を設定します。設定値を超えたときにエラー となり、ステータス画面の測定値が赤色で表示されます。

50 - 300 m

• SD Cable Warning

入力信号が SD のときの、ケーブルウォーニングの上限値を設定します。設定値を超えたときに ウォーニングとなり、ステータス画面の測定値が黄色で表示されます。

50 - 300 m

16.2.2 エラー設定 2

ERROR SETUP2 タブでは、アンシラリデータとエンベデッドオーディオのエラー検出に関する設定をします。

STATUS \rightarrow F•5 STATUS SET	JP → F•2 PREV TAB a	または F•3 NEXT TAB →
Ancilary Data Error Setup Parity Error	■ OFF	# ON
Checksum Error Embedded Audio Error Setup	■ OFF	rr ON
BCH Error(Except SD) DBN Error	≡ OFF ■ OFF	₩0N ₩0N
Parity Error(Except SD) Inhibit Line Error	■ OFF ■ OFF	™ON ™ON
Sample Count Error	■ OFF	rr ON

図 16-3 ERROR SETUP2 タブ

• Parity Error

アンシラリデータのパリティエラー検出のオンオフを選択します。

OFF / ON

Checksum Error

アンシラリデータのチェックサムエラー検出のオンオフを選択します。

OFF / ON

BCH Error(Except SD)

エンベデッドオーディオの BCH エラー検出のオンオフを選択します。この設定は、入力信号が SD 以外のときに有効です。

OFF / ON

• DBN Error

エンベデッドオーディオの DBN エラー検出のオンオフを選択します。

OFF / ON

• Parity Error(Except SD)

エンベデッドオーディオのパリティエラー検出のオンオフを選択します。この設定は、入力信号が SD 以外のときに有効です。

OFF / ON

• Inhibit Line Error

エンベデッドオーディオの重畳エラー検出のオンオフを選択します。

OFF / ON

• Sample Count Error

エンベデッドオーディオのサンプル数エラー検出のオンオフを選択します。 映像に非同期な音声が重畳された場合に、エラーがカウントされます。一定のビデオフレーム数 のなかに一定の音声データサンプル数が重畳されていないときに、エラーとみなされます。 (SMPTE ST 299、SMPTE ST 272 で規定)

OFF / ON

16.2.3 エラー設定 3

ERROR SETUP3 タブでは、ガマットエラーに関する設定をします。

STATUS \rightarrow F•5 STATUS S	ETUP \rightarrow F•2 PREV TA	Bまたは F•3 NE	XT TAB →
RROR SETUP1ERROR SETUP2 <mark>ERROR SE</mark>	TUP3ERROR SETUP4		
Video Error Setup			
LowPass Filter	COFF	■HD/SD:1MHz	■HD:2.8MHz SD:1MHz
Gamut Error Gamut Upper Gamut Lower Area Duration	■OFF 109.4 %(90.8 ~ 109.4) -7.2 %(-7.2 ~ 6.1) 1.0 %(0.0 ~ 5.0) 1 Frame(1 ~ 60)	⊄ON 766 m∨ -50 m∨	×
Composite Gamut Error Setup	■ OFF ¶ 0%	⊄ ON ■7.5% NTSC	PAL
Composite Upper Composite Lower Area Duration	135.0 %(90.0 ~ 135.0) -40.0 %(-40.0 ~ 20.0) 1.0 %(0.0 ~ 5.0) 1 Frame(1 ~ 60)	964 mv -286 mv	945 mv -280 mv



• LowPass Filter

ガマットエラーおよびコンポジットガマットエラー検出時のローパスフィルターの周波数特性を 選択します。オーバーシュートなどでの過渡的なエラーを除去するために設定します。

HD/SD:1MHz / HD:2.8MHz SD:1MHz / OFF

Gamut Error

ガマットエラー検出のオンオフを選択します。

ON / OFF

• Gamut Upper

ガマットエラーの上限値を設定します。設定値を上回ったときにエラーになります。 5 バー表示の GBR では、設定値以上が赤色で表示されます。

90.8 - 109.4%

• Gamut Lower

ガマットエラーの下限値を設定します。設定値を下回ったときにエラーになります。 5 バー表示の GBR では、設定値以下が赤色で表示されます。

-7.2 - 6.1%

Area

アクティブピクチャー領域の何%以上にエラーが発生するとエラーにするかを設定します。 Gamut Error が OFF のときは設定できません。

0.0 - 1.0 - 5.0%

Duration

エラーを含む映像フレームが、何フレーム以上連続するとエラーにするかを設定します。Gamut Error が OFF のときは設定できません。

1 - 60 Frames

Composite Gamut Error

コンポジットガマットエラー検出のオンオフを選択します。

ON / OFF

• Setup

コンポーネント信号をコンポジット信号に変換したときのセットアップを選択します。

<u>0%</u> :	セットアップを付加しません。
7.5%:	7.5%セットアップを付加します。

• Composite Upper

コンポジットガマットエラーの上限値を設定します。設定値を上回ったときにエラーになります。

5 バー表示の CMP では、設定値以上が赤色で表示されます。

90.0 - 135.0%

Composite Lower

コンポジットガマットエラーの下限値を設定します。設定値を下回ったときにエラーになりま す。

5バー表示の CMP では、設定値以下が赤色で表示されます。

-40.0 - 20.0%

• Area

アクティブピクチャー領域の何%以上にエラーが発生するとエラーにするかを設定します。 Composite Gamut Error が OFF のときは設定できません。

0.0 - 1.0 - 5.0%

• Duration

エラーを含む映像フレームが、何フレーム以上連続するとエラーにするかを設定します。 Composite Gamut Error が OFF のときは設定できません。

1 - 60 Frames

16.2.4 エラー設定 4

ERROR SETUP4 タブでは、フリーズエラー、ブラックエラーおよびレベルエラーに関する設定をします。

RROR SETUP1ERROR SETUP2ERROR SE	TUP3 <mark>ERROR SETUP4</mark>		
Video Error Setup			
Freeze Error	OFF	 <i> </i>	
Area Upper	0 %(0 ~ 100)		
Area Lower	0 %(0 ~ 100)		
Area Left	0 %(0 ~ 100)		
Area Right	0 %(0 ~ 100)		
Duration	2 Frame(2 ~ 300)		
Black Error	■ OFF	 ≪ON	
Level	0 %(0 ~ 100)		
Area	100 %(1 ~ 100)		
Duration	1 Frame(1 ~ 300)		
Level Error	■0FF	 ≪ON	
Luminance Upper	766 mV(-51 ~ 766)		
Luminance Lower	-51 mV(-51 ~ 766)		
Chroma Upper	399 mV(-400 ~ 399)		
Chroma Lower	-400 mV(-400 ~ 399)		

図 16-5 ERROR SETUP4 画面タブ

• Freeze Error

フリーズエラー検出のオンオフを選択します。OFF のとき、以下の設定はできません。

ON / OFF

• Area Upper / Area Lower / Area Left / Area Right

アクティブピクチャー領域の何%をエラー検出の対象外にするかを、上下左右それぞれ設定します。

0 - 100%



• Duration

エラーを含む映像フレームが、何フレーム以上連続するとエラーにするかを設定します。

2 - 300 Frames

Black Error

ブラックエラー検出のオンオフを選択します。OFF のとき、以下の設定はできません。

ON / OFF

Level

ブラックエラーのエラーレベルを設定します。設定値以下の信号がエラーとなります。

0 - 100%

• Area

アクティブピクチャー領域の何%以上にエラーが発生するとエラーにするかを設定します。

1 - 100%

• Duration

エラーを含む映像フレームが、何フレーム以上連続するとエラーにするかを設定します。

1 - 300 Frames

16. ステータス表示

• Level Error

レベルエラー検出のオンオフを選択します。OFF のとき、以下の設定はできません。

ON / OFF

• Luminance Upper

輝度レベルエラーの上限値を設定します。設定値を上回ったときにエラーになります。 5 バー表示の Y では、設定値以上が赤色で表示されます。

-51 - 766mV

• Luminance Lower

輝度レベルエラーの下限値を設定します。設定値を下回ったときにエラーになります。 5 バー表示の Y では、設定値以下が赤色で表示されます。

-51 - 766mV

Chroma Upper

色差レベルエラーの上限値を設定します。設定値を上回ったときにエラーになります。

-400 - 399mV

Chroma Lower

色差レベルエラーの下限値を設定します。設定値を下回ったときにエラーになります。

-400 - 399mV

16.3 エラーカウントのクリア

以下の操作で、エラーカウントと SinceReset の値をクリアできます。

操作			
STATUS	\rightarrow	F∙7	ERROR CLEAR

STATUS \rightarrow F•1 EVENT LOG

16.4 イベントログの設定

以下の操作で、イベントログを表示できます。 イベントログでは、発生したイベントのログを一覧で表示します。 イベント検出の対象は、現在選択しているグループ(1A~1Dまたは2A~2D)の全チャンネルです。た だし、3G-B-DS、3G(DL)-4K、12Gの測定時は、現在表示しているチャンネルのみイベント検出しま す。NMIの測定時は、NMI IN タブで選択されているチャンネルのイベント検出をします。

操作

1920×1080/5	59.94I YCbCr(4	22) 10bit HD	SD	I 1A	TIME:	11:25:47	
EVENT LOG LIS	T S	SAMPLE No.2	246 <<	NOW LOGGI	NG >>		
246:2014/0	2/25 11:25:	28 1C 1920	x1080/59.94	I			
245:2014/0	2/25 11:25	28 1A 1920	x1080/59.94	I			
244:2014/0	2/25 11:25	27 1C 1920	x1080/59.94	I A SMP,			
243:2014/0	2/25 11:25	27 1A 1920	x1080/59.94	I A SMP,			
242:2014/0	2/25 11:25	27 1C 1920	x1080/59.94	I CABLE	ERR,		
241:2014/0	2/25 11:25:	27 1A 1920	x1080/59.94	I CABLE	ERR,		
240:2014/0	2/25 11:25:	27 1C 1920	x1080/59.94	I			
239:2014/0	2/25 11:25:	27 1A 1920	x1080/59.94	I			
238:2014/0	2/25 11:25:	26 1C NO S	IGNAL				
237:2014/0	2/25 11:25:	26 1A NO S	IGNAL				
236:2014/0	2/25 11:24:	11 - BNC		MUTE: F	FFF,		
235:2014/0	2/25 11:24:	10 - BNC		MUTE:F	F00,		
234:2014/0	2/25 11:24	10 - BNC		CRC : FF	FFF,MUTE:F	F00,CODE:FFF	
233:2014/0	2/25 11:24:	09 - BNC		MUTE:F	F00,		
232:2014/0	2/25 11:23:	59 1D 1920	x1080/59.94	I			
231:2014/0	2/25 11:23:	59 1C 1920	x1080/59.94	I			
230:2014/0	2/25 11:23:	59 1B 1920	x1080/59.94	I			
229:2014/0	2/25 11:23:	59 1A 1920	x1080/59.94	I			
228:2014/0	2/25 11:23:	58 - 1920	x1080/59.94	I MUTE:F	F00,		
227:2014/0	2/25 11:23	58 - 1920	x1080/59.94	I VAL:00)FF,MUTE:F	FFF,PAR:00FF,	
LOG	CLEAR	LOG				up	
START		NVER WR				menu	

図 16-6 イベントログ表示

16.4.1 イベントログ画面の説明

イベントログ画面では、イベントが発生時刻順に表示されます。 ファンクションダイヤル(F•D)を右に回すと画面がスクロールして、古いイベントを閲覧できます。 また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、最新のイベントが表示されます。

- 注意事項
- ・ 同じイベントが連続して発生したときや、同時に多数のイベントが発生したときは、1つのイベントとして扱います。
- ・ 同時に多数のイベントが発生すると、画面上ですべてのイベントを確認できないことがありま す。そのときは USB メモリーに保存することで、すべてのイベントを確認できます。
- ・ イベント表示は、電源のオンオフで消去されます。
- ビデオフォーマットや入力チャンネルの切り換え時には信号が乱れ、エラーが表示されることが あります。
- 時刻表示

SYS → F•2 SYSTEM SETUPの Time で選択した形式で表示します。

• チャンネル表示

入力チャンネルを表示します。 SER03 で検出したオーディオに関するイベントには、「-」を表示します。 SER08 で検出した IP(NMI)入力信号に関するイベントには、「N1/N2•N3/N4」を表示します。

• フォーマット表示

入力フォーマットを表示します。 入力信号がない場合は、「NO SIGNAL」を表示します。 SER03 で検出した外部オーディオに関するイベントには、「BNC」を表示します。

• イベント表示

イベントログで表示されるイベント名を以下に示します。

以下のうち、SYS メニューの FORMAT ALARM タブ、STATUS メニューの STATUS SETUP、 EYE メニューの ERROR SETUP、AUDIO メニューの ERROR SETUP で検出設定を ON にした項 目のみを表示します。

表 16-2 イベントー覧表

対象ユニット	イベント名	説明
SER01/SER02/SER06/SER08	FORMAT_ALARM	Format Alarm
	TRS_P	TRS Position Error
	TRS_C	TRS Code Error
	LINE	Line Number Error(Except SD)
	CRC	CRC Error(Except SD)
	EDH	EDH Error(SD)
	ILLEGAL	Illegal Code Error
	FREQ	Frequency Error
	CABLE_ERR	Cable Error
	CABLE_WAR	Cable Warning
	PRTY	Ancillary Data Parity Error
	СНК	Ancillary Data Checksum Error
	A_BCH	Embedded Audio BCH Error(Except SD)

16. ステータス表示

対象ユニット	イベント名	説明
	A_DBN	Embedded Audio DBN Error
	A_PRTY	Embedded Audio Parity Error(Except SD)
	A_INH	Embedded Audio Inhibit Line Error
	A_SMP	Embedded Audio Sample Count Error
	GMUT	Gamut Error
	GMUT_ST1	Gamut Error Stream 1
	GMUT_ST2	Gamut Error Stream 2
	CGMUT	Composite Gamut Error
	CGMUT_ST1	Composite Gamut Error Stream 1
	CGMUT_ST2	Composite Gamut Error Stream 2
	FRZ	Freeze Error
	FRZ_ST1	Freeze Error Stream 1
	FRZ_ST2	Freeze Error Stream 2
	BLK	Black Error
	BLK_ST1	Black Error Stream 1
	BLK_ST2	Black Error Stream 2
	LVL_Y	Luminance Error
	LVL_Y_ST1	Luminance Error Stream 1
	LVL_Y_ST2	Luminance Error Stream 2
	LVL_C	Chroma Error
	LVL_C_ST1	Chroma Error Stream 1
	LVL_C_ST2	Chroma Error Stream 2
SER02/SER09	EYE_3G_AMP	3G Amplitude Error
	EYE_3G_TR	3G Risetime Error
	EYE_3G_TF	3G Falltime Error
	EYE_3G_TR_TF	3G Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_3G_T_JIT	3G Timing Jitter Error
	EYE_3G_A_JIT	3G Current Jitter Error
	EYE_3G_OR	3G Overshoot Rising Error
	EYE_3G_OF	3G Overshoot Falling Error
	EYE_HD_AMP	HD Amplitude Error
	EYE_HD_TR	HD Risetime Error
	EYE_HD_TF	HD Falltime Error
	EYE_HD_TR_TF	HD Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_HD_T_JIT	HD Timing Jitter Error
	EYE_HD_A_JIT	HD Current Jitter Error
	EYE_HD_OR	HD Overshoot Rising Error
	EYE_HD_OF	HD Overshoot Falling Error
	EYE_SD_AMP	SD Amplitude Error
	EYE_SD_TR	SD Risetime Error
	EYE_SD_TF	SD Falltime Error
	EYE_SD_TR_TF	SD Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_SD_T_JIT	SD Timing Jitter Error
	EYE_SD_A_JIT	SD Current Jitter Error
	EYE_SD_OR	SD Overshoot Rising Error

16. ステータス表示

対象ユニット	イベント名	説明			
	EYE_SD_OF	SD Overshoot Falling Error			
SER09	EYE_12G_AMP	12G Amplitude Error			
	EYE_12G_TR	12G Risetime Error			
	EYE_12G_TF	12G Falltime Error			
	EYE_12G_TR_TF	12G Deltatime Error(Tr-Tf)			
	EYE_12G_T_JIT	12G Timing Jitter Error			
	EYE_12G_A_JIT	12G Current Jitter Error			
	EYE_12G_OR	12G Overshoot Rising Error			
	EYE_12G_OF	12G Overshoot Falling Error			
SER03	OVER	Level Over			
	CLIP	Clip			
	MUTE	Mute			
	PAR	Parity Error			
	VAL	Validity Error			
	CRC	CRC Error			
	CODE	Code Violation			

• イベント発生チャンネル表示 (SER03)

SER03 で検出したオーディオに関するイベントには、イベント名の後ろにイベントが発生したチャンネルを16進数で表示します。

・8ch 測定時

16 進数が示す8ビットは、以下のとおり入力チャンネルに対応しています。

INPUT	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1		
SDI	2nd (GROUF	þ		1st GROUP					
(1 入力モード)	(G1^	(G1~G4)				(G1~G4)				
SDI	2nd (GROUF	þ		1st GROUP					
(サイマルモード)	(G1^	~G4)			(G1^					
	(SDI	(SDI A~SDI D)			(SDI	A~SD	ID)			
EXT AUDIO	A/B	A/B	A/B	A/B	A/B	A/B	A/B	A/B		
(*1)	8ch	7ch	6ch	5ch	4ch	3ch	2ch	1ch		

*1 EXT AUDIO INPUT GROUP(A/B)で選択したチャンネルに対応します。

たとえば、INPUT が SDI、サイマルモード、1st GROUP が SDI B の G3、2nd GROUP が SDI A の G4 の場合、「48」は、B12ch と A15ch にイベントが発生したことを表しています。

	2	1			8		
0	1	0	0	1	0	0	0
A16ch	A15ch	A14ch	A13ch	B12ch	B11ch	B10ch	B9ch

・16ch 測定時

16 進数が示す 16 ビットは、以下のとおり入力チャンネルに対応しています。

INPUT	b16	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1
SDI (1 入力モード)	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
SDI (サイマルモード)	4th GROUP				3rd GROUP				2nd GROUP				1st GROUP			
		(G1~G4)			(G1~G4)					(G1^	~G4)			(G1^	~G4)	
	(SDI A~SDI D)				(5	SDI A~	-SDI D)	(S	DI Ar	~SDI	D)	(S	DI A^	~SDI	D)
EXT AUDIO	B8	B7	B6	B5	B4	B3	B2	B1	A8	A7	A6	A5	A4	A3	A2	A1

たとえば、INPUT SELECT が EXT AUDIO の場合、「1248」は、A4ch、A7ch、B2ch、B5ch にイベントが発生したことを表しています。

	1			2			4				8				
0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
B8ch	B7ch	B6ch	B5ch	B4ch	B3ch	B2ch	B1ch	A8ch	A7ch	A6ch	A5ch	A4ch	A3ch	A2ch	A1ch

16.4.2 イベントログの開始

以下の操作で、イベントログを開始できます。

操作

設定項目の説明

START:	イベントログを開始します。イベントログの右上に「NOW LOGGING」と表示
	されます。
STOP:	イベントログを停止します。イベントログの右上に「LOGGING STOPPED」と
	表示されます。

16.4.3 イベントログの消去

以下の操作で、イベントログを消去できます。

操作

STATUS \rightarrow F•1 EVENT LOG \rightarrow F•2 CLEAR
--

16.4.4 上書きモードの選択

イベントは、最大 1000 項目まで表示できます。以下の操作で、1001 項目以降のイベントが発生したときの動作を選択できます。

$STATUS \to Fermion$	1 EVENT LOG \rightarrow F•3 LOG MODE: <u>OVER WR</u> / STOP
設定項目の説明	
OVER WR:	古いイベントから上書きして記録します。
STOP:	1001 項目以降のイベントを記録しません。
16.4.5 USB メモリーへの保存

イベントログは、USB メモリーにテキスト形式で保存できます。 ファイル名を手動で付けて保存する手順を、以下に示します。

- 1. USB メモリーを接続します。
- 2. F•6 USB MEMORY を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

	External	l USB Flash Drive LO	G File List	Circu(Instei)
NO. 1 2012121717	Filename		2012/12/17 17:26:14	Size(byte)
2 2013121717	2618.txt		2013/12/17 17:26:14	231
Disk Size: Free Size:	8,158,744,576 Byte 8 155 901 952 Byte	LOG Store File Na .txt	me	
	0,133,301,332 byte			
	STORE	FILE		up
ON		DELETE		menu

図 16-7 ファイルリスト画面

- 3. F•1 AUTO FILENAME を OFF にします。
- 4. F•2 NAME INPUT を押します。

ファイル名入力画面が表示されます。

a 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J
K L M N O P Q R S T
UVWXYZ_
[F.D_NOB] = CHAR SELECT , [F.D_PUSH] = CHAR SET & Function Key Edit
CLEAR DELETE <<= => CHAR SET up
ALL menu

図 16-8 ファイル名入力画面

5. 14 文字以内でファイル名を入力します。

ファイル名入力画面でのキー動作は以下のとおりです。

F∙1	CLEAR ALL	・すべての文字列を消去します。
Г. Э		
F•2	DELETE	:カージル上の文子を消去します。
F ∙4	<=	: カーソルを左に移動します。
F∙5	=>	: カーソルを右に移動します。
F•6	CHAR SET	:文字を入力します。
ファ	'ンクションダイヤル(F●D)	:回して文字を選択、押して文字を入力します。

ファイル名は、すでに保存してあるファイル名からコピーすることもできます。ファイル名を コピーするには、ファイルリスト画面でコピーしたいファイルにカーソルを合わせてから、フ ァンクションダイヤル(F•D)を押してください。

- 6. F•7 up menu を押します。
- 7. F•3 STORE を押します。

USB メモリーに同じ名前のファイルが存在するときは、上書き確認のメニューが表示されます。上書きするときは $F_{\bullet 1}$ OVER WR YES、保存をキャンセルするときは $F_{\bullet 3}$ OVER WR NO を押してください。

• イベントログの削除

USB メモリーに保存したイベントログを削除するには、ファイルリスト画面でファイルを選択してから、 $F ext{-4}$ FILE DELETE を押します。削除するときは $F ext{-1}$ DELETE YES、削除をキャンセルするときは $F ext{-3}$ DELETE NO を押してください。

• ファイル名の自動生成

F•1 AUTO FILENAME を ON にすると、保存したときに「YYYYMMDDhhmmss」形式で、ファ イル名が自動で付きます。このとき、F•2 NAME INPUT は表示されません。

• USB メモリーのフォルダ構成

イベントログは、「LOG」フォルダの下に保存されます。

- 🖞 USB メモリー
- └ 🗍 LV5490_USER
 - log 🗋 Log

└ 🗋 YYYYMMDDhhmmss.txt

16.5 データダンプの設定

以下の操作で、データダンプを表示できます。 データダンプでは、選択したラインのデータを一覧で表示します。ライン番号は V POS ツマミ、サン プル番号は H POS ツマミで可変できます。(ファンクションダイヤル(F•D)でも可変できます) ここで選択したラインは、ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ピクチャー表示の選択ラインと連 動します。(4K の一部の設定を除く)

操作							
STATUS \rightarrow F•2	SDI ANALYSIS -	→ F•1 [DATA DUMP				
1920×10	080/50I YCbCr(422) 10b	it HD	SDI 1	1A	TIME: 16	5:28:46	
DATA DUMP [EAV] [EAV] [EAV] [EAV] [EAV] LN LN LN LN CRC CRC CRC CRC CRC CRC CRC CRC CRC CRC CRC CRC DID DBN DC UDW UDW UDW UDW UDW	LINE No.1 SAMPLE <1920> <1921> <1922> <1924> <1925> <1926> <1926> <1927> <1928> <1928> <1930> <1930> <1931> <1932> <1933> <1934> <1935> <1936> <1937> <1938> <1938> <1939>	Y 3FF 000 2D8 200 2BB 23C 040 040 040 040 040 040 040 040 040	Cb/Cr 3FF 000 2D8 204 200 2F7 1E8 000 3FF 3FF 2E7 28E 218 104 203 200 116 17F 20F				
MODE	DUMP OPERATION		DISPLAY SERIAL		SELECT CH 1A	up menu	

- 図 16-9 データダンプ表示
- 16.5.1 データダンプ画面の説明
 - 検出コード表示

入力信号に重畳された補助データを検出し、以下のとおり検出コードを表示します。

表	16-3	検出コート	ド表示
---	------	-------	-----

検出コード	表示色	説明
ADF	シアン	ANCILLARY DATA FLAGS (000h、3FFh、3FFh データ)
DID	シアン	DATA IDENTIFICATION (ADF の次のデータ)
SDID	シアン	SECONDARY DATA IDENTIFICATION
		(DID が 80h より小さい場合の、第 2 形式データ)
DBN	シアン	DATA BLOCK NUMBERS
		(DID が 80h 以上の場合の、第 1 形式データ)
DC	シアン	DATA COUNT (SDID/DBN の次のデータ)
UDW	シアン	USER DATA WORDS (ADF に続くデータカウント分のユーザーデータワー
		۲)
CS	マゼンタ	CHECKSUM (UDW 直後のデータ)
AP	黄	ACTIVE PICTURE
		(選択したラインが有効映像領域のとき、SAV の後ろから EAV の手前まで)

- ライン番号表示
 - SDI 信号で伝送するピクチャーには、伝送フォーマットとしてライン番号が付加されています。 画面上部には、以下のいずれかの形式でライン番号を表示します。

表 16-4 ライン番号表示

ライン番号表示	説明
LINE No.	ピクチャーの走査ライン番号と伝送時のライン番号が一致
I/F LINE No.	ピクチャーの走査ライン番号と伝送時のライン番号が不一致
	伝送時のライン番号を表示
PIC LINE No.	ピクチャーの走査ライン番号と伝送時のライン番号が不一致
	ピクチャーの走査ライン番号を表示

- 通常、ピクチャーの走査ライン番号と、そのライン番号を格納する伝送時のライン番号は一致し ていますが、以下のフォーマットが入力されたときは一致しません。
- このときは、ピクチャーの走査ライン番号(PICTURE)と、伝送時のライン番号を切り換えて表示できます。

表 16-5 フォーマット

フォーマット	フレームレート	切り換え操作
3G-B-DL	60/59.94/50/48/47.95/P	F•4 DISPLAY (PICTURE/STREAM1/STREAM2)
HD(DL)	60/59.94/50/48/47.95/P	F•5 LINK (PICTURE/A/B)
3G(DL)-2K	60/59.94/50/48/47.95/P	F•5 LINK (PICTURE/1/2)

- 例として、3G-B-DL(1920×1080/59.94P)を入力し、ピクチャーの走査ライン番号を 42 にした 場合の切り換え方法を以下に示します。
- 1. データダンプを表示します。
- 2. F•4 DISPLAY を PICTURE にします。
- 3. V POS ツマミで PIC LINE No.を 42 にします。
- 4. F•4 DISPLAY を STREAM1 にします。

ライン番号の表示が I/F LINE No.21 に変わります。

これは、ピクチャーの走査ライン番号 42 が格納されている伝送時のライン番号が 21 であること を示しています。

その他、3G-B-DLのライン番号の関係は以下のとおりです。

表 16-6 3G-B-DL ライン番号の関係

ピクチャーの走査ライン番号	伝送時のラ-	イン番号
(PIC LINE No.)	(I/F LINE	No.)
PICTURE	STREAM1	STREAM2
1	563	1125
2	1	563
n (奇数)	(n+1)/2+562	(n-1)/2
m (偶数)	m/2	m/2+562

16.5.2 表示モードの選択

以下の操作で、データダンプの表示モードを選択できます。

操作

$ STATUS \rightarrow F^{\bullet}2 SDI ANALISIS \rightarrow F^{\bullet}1 DATA DUMP \rightarrow F^{\bullet}1 MODE: RUN / HOLD / FRM CAR$	STATU	$S \rightarrow$	F∙2	SDI	ANALY	SIS \rightarrow	• F•1	DATA	DUMP	\rightarrow F•	1	MODE: RUN	/ HOLD	/ FRM CAP
--	-------	-----------------	-----	-----	-------	-------------------	-------	------	------	------------------	---	-----------	--------	-----------

設定項目の説明

RUN:	入力信号のデータを自動更新して表示します。
HOLD:	入力信号のデータを静止して表示します。
FRM CAP:	フレームデータを表示します。フレームデータが本体に取り込まれていないと
	きは、何も表示しません。フレームキャプチャーモードのときに選択できま
	す。

16.5.3 表示形式の選択

以下の操作で、データダンプの表示形式を選択できます。 $F extsf{-5}$ LINK または $F extsf{-5}$ SUB が PICTURE のとき、このメニューは表示されません。

操作

STATUS → F•2 SDI ANALYSIS → F•1 DATA DUMP → F•4 DISPLAY : SERIAL / COMPO / BINARY (HD、SD、3G-A、HD(QL)、3G(QL)で 3G-A、12G のとき) : PICTURE / STREAM1 / STREAM2 (3G-B-DL、3G(QL)で 3G-B-DLのとき) : STREAM12 / STREAM1 / STREAM2 (3G(DL)-2K で 3G-B-DLのとき) : S1 SERIAL / S1 COMPO / S1 BINARY / S2 SERIAL / S2 COMPO / S2 BINARY (3G(DL)-4K、3G-B-DS のとき)

設定項目の説明

SERIAL:	パラレル変換後のデータ列で表示します。
COMPO:	パラレル変換後のデータ列から成分ごとに分離して表示します。
BINARY:	パラレル変換後のデータ列をバイナリー表示します。
PICTURE:	各リンクまたはストリーム 1/2 を合成し、ピクチャー構造で表示します。
STREAM1:	ストリーム1を表示します。
STREAM2:	ストリーム 2 を表示します。
STREAM12:	ストリーム 1/2 を合成して表示します。
S1 SERIAL:	ストリーム1をシリアル表示します。
S1 COMPO:	ストリーム1を分離表示します。
S1 BINARY:	ストリーム1をバイナリー表示します。
S2 SERIAL:	ストリーム 2 をシリアル表示します。
S2 COMPO:	ストリーム 2 を分離表示します。
S2 BINARY:	ストリーム2をバイナリー表示します。

DISPLAY = SERIAL

DATA I	DUMP	LINE No.1		
		SAMPLE	Y	Cb/Cr
[EAV]		<1920>	3FF	3FF
[EAV]		<1921>	000	000
[EAV]		<1922>	000	000
[EAV]		<1923>	2D8	2D8
ĹN -	LN	<1924>	204	204
LN	LN	<1925>	200	200
CRC	CRC	<1926>	2BB	2F7
CRC	CRC	<1927>	23C	1E8
	ADF	<1928>	040	000
	ADF	<1929>	040	3FF
	ADE	<1930>	040	3FF
	DTD	<1931>	040	2F7
	DBN	<1932>	040	186
	DC	<1933>	040	218
	ЦПW	<1934>	040	21F
	IDW	<1935>	040	104
		~1036~	040	200
		~1037~	040	16B
		<10205	040	105
		<1920>	040	205
	UDW	<1838>	040	201

DISPLAY = COMPO

DATA D	DUMP	LINE No.1			-
		SAMPLE	Y	Cb	Cr
[EAV]		<1920>	3FF	3FF	
[EAV]		<1921>	000		000
[EAV]		<1922>	000	000	
[EAV]		<1923>	2D8		2D8
ĹN	LN	<1924>	204	204	
LN	LN	<1925>	200		200
CRC	CRC	<1926>	2BB	2F7	
CRC	CRC	<1927>	230		1F8
	ADE	<1928>	040	000	
	ADE	<1929>	040	000	3FF
	ADE	<1930>	040	3EE	5
	DTD	<10315	040	511	2F7
	DRN	~10325	040	174	22,
		~1033	040	1/6	218
		~1024>	040	150	210
		<19342	040	109	102
	UDW	<1932>	040	200	102
	UDW	<1930>	040	200	
	UDW	<1937>	040		IAD
	UDW	<1938>	040	137	
	UDW	<1939>	040		20F

DISPLAY = BINARY

DATA D	UMP	LINE No.1		
		SAMPLE	Y	Cb/Cr
[EAV]		<1920>	11111111111	11111111111
[EAV]		<1921>	00000000000	00000000000
[EAV]		<1922>	000000000000	000000000000
[EAV]		<1923>	1011011000	1011011000
LN	LN	<1924>	1000000100	1000000100
LN	LN	<1925>	1000000000	1000000000
CRC	CRC	<1926>	1010111011	1011110111
CRC	CRC	<1927>	1000111100	0111101000
	ADF	<1928>	0001000000	00000000000
	ADF	<1929>	0001000000	11111111111
	ADF	<1930>	0001000000	11111111111
	DID	<1931>	0001000000	1011100111
	DBN	<1932>	0001000000	1011011011
	DC	<1933>	0001000000	1000011000
	UDW	<1934>	0001000000	1000011110
	UDW	<1935>	0001000000	0100000100
	UDW	<1936>	0001000000	1000000000
	UDW	<1937>	0001000000	0101100001
	UDW	<1938>	0001000000	1001111000
	UDW	<1939>	0001000000	0110000000

図 16-10 表示形式の選択

16.5.4 表示内容の選択

マルチリンクまたは 12G のとき、以下の操作でデータダンプの表示内容を選択できます。各リンク またはストリーム 1/2 を合成し、ピクチャー構造で表示します。

操作 (マルチリンクのとき)

- STATUS → $F \bullet 2$ SDI ANALYSIS → $F \bullet 1$ DATA DUMP → $F \bullet 5$ LINK : <u>PICTURE</u> / A[1A] / B[1B] / A[1C] / B[1D] / A[2A] / B[2B] / A[2C] / B[2D] (HD(DL)のとき)
- : <u>PICTURE</u> / 1[1A] / 2[1B] / 1[1C] / 2[1D] / 1[2A] / 2[2B] / 1[2C] / 2[2D] (3G(DL)のとき)
- : <u>PICTURE</u> / 1[1A] / 2[1B] / 3[1C] / 4[1D] / 1[2A] / 2[2B] / 3[2C] / 4[2D] (3G(QL)、HD(QL)のとき)

操作 (12Gのとき)

STATUS \rightarrow F•2 SDI ANALYSIS \rightarrow F•1 DATA DUMP \rightarrow F•5 SUB : PICTURE / 1[1A] / 2[1B] / 3[1C] / 4[1D]

16.5.5 表示位置のジャンプ

```
データダンプ操作の設定は、DATA DUMP メニューの F•2 DUMP OPERATION で行います。
```



図 16-11 DUMP OPERATION メニュー

以下の操作で、データダンプのサンプル番号を指定の位置にジャンプできます。

サンプル番号0から表示します。

操作

START:

1/2/1										
STATUS \rightarrow F•2 SDI ANALYSIS \rightarrow F•1 DATA DUMP \rightarrow F•2 DUMP OPERATION \rightarrow F•1										
JUMP										
: <u>EAV</u> / SAV										
: END / START (入力信号が 4K で、F•5 LINK または F•5 SUB が PICTURE のとき)										
設定項目の説明										
EAV:	EAV のサンプル番号から表示します。									
SAV:	SAV のサンプル番号から表示します。									
END: サンプル番号の最終を表示します。										

16.5.6 可変ステップの選択

以下の操作で、ファンクションダイヤル(F•D)を回したときの、ライン番号またはサンプル番号の可 変ステップを選択できます。

操作

STATUS \rightarrow F•2 SDI ANALYSIS \rightarrow F•1 DATA DUMP \rightarrow F•2 DUMP OPERATION \rightarrow F•2 FD 1CLICK: 1 / 10 / 50

16.5.7 可変内容の選択

以下の操作で、ファンクションダイヤル(F•D)を回したときに、ライン番号とサンプル番号のどちらを可変するかを選択できます。ライン番号は V POS ツマミ、サンプル番号は H POS ツマミでも可変できます。

操作

STATUS	\rightarrow	F•2	SDI	ANAL	$YSIS \rightarrow$	F ●1	DATA	DUMF	\rightarrow	F∙2	DUMP OPERATION \rightarrow	
- ∙3 FD	FUN	CTI	ON: I	_INE /	SAMPLE		_					

設定項目の説明

LINE:	ファンクションダイヤル(F•D)を回したときに、ライン番号を可変します。ファ ンクションダイヤル(F•D)を押すと、ライン番号0または1のデータを表示し ます。
SAMPLE:	ファンクションダイヤル(F•D)を回したときに、サンプル番号を可変します。フ ァンクションダイヤル(F•D)を押すと、EAV またはサンプル番号 0 にジャンプ します。

16.5.8 USB メモリーへの保存

データダンプは、USBメモリーにテキスト形式で保存できます。保存方法は、イベントログの保存 と同様です。「16.4.5 USBメモリーへの保存」を参照してください。 データダンプは、「DUMP」フォルダの下に保存されます。

- 🖞 USB メモリー
- └ 🗍 LV5490_USER

L 🗋 DUMP

└ 🗋 YYYYMMDDhhmmss.txt

16.6 位相差測定の設定

以下の操作で位相差測定画面を表示できます。 位相差測定画面では、SDI 信号と外部同期信号、あるいは SDI 信号間の位相差を測定します。

操作 STATUS \rightarrow F•2 SDI ANALYSIS \rightarrow F•2 EXT REF PHASE 1920x1080/59.94P YCbCr(422) 10bit 3G-B-DL SDI 1A TIME: 09:41:03 -Advance CURRENT PHASE H PHASE V PHASE 2 Lines 3.869 us 574 pixel TOTAL PHASE +Delay -Advance 33.528 us ()REF EXT HD : DEFAULT +Delay 0H TIMING LEGACY SELECT CH REF SET USER REF SET DEFAULT REF SELECT up menu

図 16-12 位相差測定画面

• SDI 信号と外部同期信号の位相差測定

F●3 REF SELECT を EXT にすることで、外部同期信号を基準とした SDI 信号の位相差が測定できます。外部同期信号を入力してください。

なお、以下の入力フォーマットには対応していません。

- $\cdot \ 3G \ \mathcal{O} \ 720/30P, \ 720/29.97P, \ 720/25P, \ 720/24P, \ 720/23.98P$
- ・フレーム周波数 48P、47.95P
- SDI 信号間の位相差測定

F•3 REF SELECT を SDI にすることで、SDI 信号間の位相差が測定できます。SYS → F•1 SIGNAL IN OUT → SDI IN タブの SDI System が 3G-B-DS のとき、この測定はできません。 基準となる信号は、入力信号によって以下のように変わります。

表 16-7 基準信号

入力信号	基準信号			
SD、HD、3G	Ach			
HD(DL)	リンクA			
3G(DL)-2K、3G(DL)-4K、3G(QL)、HD(QL)	リンク1			

16.6.1 位相差測定画面の説明

• CURRENT PHASE

V PHASE:	位相差をライン単位で表示します。
H PHASE:	位相差を時間単位と、ピクセルまたはクロック単位(*1)で表示します。
TOTAL PHASE:	V PHASE と H PHASE 合計の位相差を時間単位で表示します。

*1 入力信号が HD(DL)の 1080/60P、1080/59.94P、1080/50P、および SD のときにクロック単位となりま す。ピクセル表示が映像のサンプリング周波数単位であることに対して、クロック単位はパラレルビデオの伝 送クロック周波数単位となります。

REF

基準となる信号について、以下のいずれかで表示します。

表 16-8 REF 画面表示

F•3 REF SELECT	画面表示	説明
EXT	EXT BB : DEFAULT	基準信号が BB で、位相差が初期設定のとき
	EXT BB : USER REF	基準信号が BB で、位相差がユーザーリファレンス設定のとき
	EXT HD : DEFAULT	基準信号が HD3 値で、位相差が初期設定のとき
	EXT HD : USER	基準信号が HD3 値で、位相差がユーザーリファレンス設定のとき
	REF	
	NO SIGNAL	外部同期信号が入力されていないとき
SDI	SDI 1A	入力信号が SD、HD、3G で、基準信号が 1A のとき
	SDI 2A	入力信号が SD、HD、3G で、基準信号が 2A のとき
	LINK A	入力信号が HD(DL)で、基準信号がリンク A のとき
	LINK 1	入力信号が 3G(DL)-2K、3G(DL)-4K、3G(QL)、HD(QL)で、基準信号がリ
		ンク1のとき
	NO SIGNAL	基準となる SDI 信号が入力されていないとき

・位相差のユーザーリファレンス設定について

F•3 REF SELECT が EXT のとき、F•1 REF SET USER を押すことで、現在の位相差をゼロにできます。使用システムに合わせて、任意の基準を設定できます。(マルチリンク時は、リンクAまたはリンク1の位相差をゼロにします)

位相差を初期設定(以下参照)に戻すには、F•2 REF SET DEFAULTを押します。

・位相差の初期設定について

- 入力信号が HD または SD で F•3 REF SELECT が EXT のとき、F•4 0H TIMING で位相差が 0 となる基準を選択できます。
- いずれの場合も、LEGACY または SERIAL を選択できる当社製信号発生器を使用するときは、本 器に合わせて設定する必要があります。また、信号発生器の出力精度や本器の測定精度によ って、0±4 クロック程度の表示の違いが発生することがあります。
- LEGACY: 当社製信号発生器から出力した、タイミングオフセットなしの外部同期信号とSDI 信号を受信した場合に、位相差を0とします。
- SERIAL: 受信した外部同期信号と SDI 信号が、信号規格で定義されたタイミングの場合 に、位相差を 0 とします。

- グラフィック表示
 - 縦方向が V 方向のライン差、横方向が H 方向の時間差を表しています。V、H の位相差を表す 2 つのサークルがセンターで重なったときが位相差なしとなります。

サークルは通常白色で表示されますが、以下のときは緑色になります。

- H 方向: センター±3clock のとき
- V 方向: センター±0 clock のとき
- 基準信号に対して遅れている場合は Delay(+)、進んでいる場合は Advance(-)で表示します。V 方向、H 方向ともに、センターに対して約+1/2 フレームまでが Delay 軸、約-1/2 フレーム までが Advance 軸で表示されます。(下表参照)
- なお、SDI 信号と外部同期信号の位相差測定時、H 方向の位相差は信号の切り換え時などに、±1 クロックの範囲で変動することがあります。SDI 信号間の位相差測定時は、同様に±2 クロ ックの範囲で変動することがあります。

			Advan	ice 軸	で表示				
						Dela	y 軸て	表示	
3G-	-A、3G-B、HD、SD フォーマット	V	Н		V	Н		V	Н
		PHASE	PHASE		PHASE	PHASE		PHASE	PHASE
		[Lines]	[us]		[Lines]	[us]		[Lines]	[us]
3G-A	1080/59.94P	-562	-14.822	2	0	0	~	562	0
	1080/60P	-562	-14.808	2	0	0	~	562	0
	1080/50P	-532	-17.771	2	0	0	~	562	0
3G-B	1080/59.94P	-1124	-14.822	2	0	0	~	1125	0
	1080/60P	-1124	-14.808	2	0	0	~	1125	0
	1080/50P	-1124	-17.771	2	0	0	~	1125	0
3G-A	1080/59.94I, 1080/29.97P,	-562	-29.645	<	0	0	~	562	0
3G-B	1080/29.97PsF								
HD	1080/60I, 1080/30P, 1080/30PsF	-562	-29.616	~	0	0	~	562	0
	1080/50I, 1080/25P, 1080/25PsF	-562	-35.542	~	0	0	~	562	0
	1080/23.98P, 1080/23.98PsF	-562	-37.060	<	0	0	~	562	0
	1080/24P, 1080/24PsF	-562	-37.023	2	0	0	~	562	0
	720/59.94P	-375	0	2	0	0	~	374	22.230
	720/60P	-375	0	2	0	0	~	374	22.208
	720/50P	-375	0	\sim	0	0	\sim	374	26.653
	720/29.97P	-375	0	2	0	0	~	374	44.475
	720/30P	-375	0	2	0	0	~	374	44.430
	720/25P	-375	0	\sim	0	0	\sim	374	53.319
	720/23.98P	-375	0	2	0	0	~	374	55.597
	720/24P	-375	0	\sim	0	0	\sim	374	55.542
SD	525/59.94I	-262	-63.518	\sim	0	0	\sim	262	0
	625/50I	-312	-63.962	\sim	0	0	\sim	312	0

表 16-9 Delay 軸と Advance 軸の表示範囲 (3G-A、3G-B、HD、SD)

16. ステータス表示

			Advan								
					Delay 軸で表示						
12G J.	ノイメーシノオーマット	V PHASE	H PHASE		V PHASE	H PHASE		V PHASE	H PHASE		
		[Lines]	[us]		[Lines]	[us]		[Lines]	[us]		
12G	1080/59.94P	-562	-14.822	\sim	0	0	\sim	562	0		
	1080/60P	-562	-14.808	\sim	0	0	\sim	562	0		
	1080/50P	-532	-17.771	\sim	0	0	\sim	562	0		
	1080/29.97P	-562	-29.645	\sim	0	0	\sim	562	0		
	1080/30P	-562	-29.616	\sim	0	0	\sim	562	0		
	1080/25P	-562	-35.542	~	0	0	2	562	0		
	1080/23.98P	-562	-37.060	\sim	0	0	2	562	0		
	1080/24P	-562	-37.023	\sim	0	0	~	562	0		

表 16-10 Delay 軸と Advance 軸の表示範囲 (12G)

16.7 リップシンク測定の設定 (SER03)

以下の操作で、リップシンク測定画面を表示できます。 リップシンク測定画面では、当社製リップシンク対応信号発生器と本器を組み合わせることによって、 伝送経路で生じる映像信号と音声信号のずれを測定できます。



図 16-13 リップシンク測定画面

ここでは例として、リップシンク対応信号発生器に LT4600A、LT4610(フォーマットに応じて、 LT4610-SER02 が実装されていること、および LT4610-SER24 がインストールされていること)、ま たは LT4611(LT4610-SER22 がインストールされていること、フォーマットに応じて LT4610-SER02 が実装されていること、および LT4611-SER24 がインストールされていること)を使用し、オ ーディオ出力を SDI エンベデッドオーディオとしたときの操作手順を示します。

- 1. リップシンク対応信号発生器のリップシンクをオンにします。
 - LT4600A のとき

SDI SETTING→SDI→LIPSYNC でリップシンクをオンにします。AES/EBU SETTING→ AES/EBU 1→LIPSYNC ENABLE でオーディオの設定をします。詳細は LT4600A の取扱説明 書を参照してください。

• LT4610 または LT4611 のとき

フォーマットに応じて、ETC→LIPSYNC→SDI1+AES / SDI2、または 12G OPTION→SDI 1 / 2 / 3 / 4→VIDEO→LIPSYNC でリップシンクをオンにし、SDI→ SDI1 / 2→ AUDIO、ま たは 12G OPTION→SDI 1 / 2 / 3 / 4→AUDIO でオーディオの設定をします。詳細は LT4610 / LT4611 の取扱説明書を参照してください。

リップシンク対応信号発生器の SDI 出力端子から出力した信号を伝送経路に入力し、伝送経路から出力した信号を本器の SDI 入力端子に入力します。
 出力オーディオが外部オーディオの場合は、映像信号を SDI 入力端子、音声信号をデジタルオーディオ入出力端子に入力します。

3. オーディオ信号の設定をします。

本器の AUDIO → F•1 MAPPING → AUDIO MAPPING タブで、オーディオ信号を SDI(エンベ デッド オーディオのとき)または EXT AUDIO(デジタルオーディオ入出力端子のとき)から選択し ます。EXT AUDIO のときは、SYS メニューの AUDIO IN/OUT タブが INPUT になっている必要 があります。

4. リップシンク測定画面を表示します。 STATUS → F•2 SDI ANALYSIS → F•4 AV PHASE を押します。

映像信号の輝度レベル(入力信号が RGB のときは G 信号のレベル)が指定した値を超えたときと、 音声信号のレベルが指定した値を超えたときの時間差を測定し、チャンネルごとに数値とグラフ で表示します。

測定値は時間とフレームで表示されますが、音声信号が検出できないときは「UNLOCK」、正しく 測定できないときは「MISSING」と表示します。また、測定値の更新時には、チャンネルの横に 「*」を表示します。

映像信号の測定範囲、映像信号の輝度レベル、音声信号のレベルは、 F•5 AV PHASE SETUP で 設定できます。

16.7.1 測定レンジの選択

以下の操作で、グラフの測定レンジを選択できます。

操作

STATUS	\rightarrow	F∙2	SDI	ANALYSI	$S \rightarrow$	F∙4	AV	PHASE	\rightarrow	F ●1	SCALE	MAX:	50ms /	′ 100ms /	
500ms /	1.0	s / 1	2.5s												

16.7.2 測定画面の更新

以下の操作で、測定画面を更新できます。

操作

STATUS	\rightarrow	F•2	SDI ANALYSIS \rightarrow	F•4 AV PHASE →	F•2 REFRESH
--------	---------------	-----	----------------------------	----------------	-------------

16.7.3 測定範囲の設定

以下の操作で、測定範囲の設定ができます。これらの設定は、AV PHASE SETUP タブで行います。

操作

STATU	$S \rightarrow$	F•2	SDI	ANAL	$YSIS \rightarrow$	F∙4	AV	PHAS	$\Xi \rightarrow$	F ∙5	AV	PHASE	E SETU	JP	
AV F	PHASE SE	TUP V Phass AV MES AV MES Video Audio MES Ga Gate T Sub Im	e Setup TOP LEFT RIGHT Level Level te ime age		50 %(0 - 0 %(0 - 75 %(25 -30 dBFS(:0FF 300 ms(101 1 ; 4K Only	100) 99) • 100) 30 - (#0	0) NN 00)								
	COMPLE	TE											up menu		

図 16-14 AV PHASE SETUP タブ

• AV MES TOP

ピクチャーの上端を 0%、下端を 100%として、映像信号の測定ラインを設定します。 PIC メニューの LINE SELECT で、ピクチャーを見ながら設定することもできます。 【参照】「13.3.3 リップシンク測定範囲の設定 (SER03)」

0 - 50 - 100%

• AV MES LEFT

ピクチャーの左端を 0%、右端を 100%として、映像信号の測定範囲(左側)を設定します。AV MES RIGHT で設定したラインよりも右側に設定することはできません。 PIC メニューの LINE SELECT で、ピクチャーを見ながら設定することもできます。 【参照】「13.3.3 リップシンク測定範囲の設定 (SER03)」

0 - 99%

• AV MES RIGHT

ピクチャーの右端を 0%、左端を 100%として、映像信号の測定範囲(右側)を設定します。AV MES LEFT で設定したラインよりも左側に設定することはできません。 PIC メニューの LINE SELECT で、ピクチャーを見ながら設定することもできます。 【参照】「13.3.3 リップシンク測定範囲の設定 (SER03)」

0 - 99%

16. ステータス表示



• Video Level

映像信号の輝度レベルを設定します。AV MES で設定した測定範囲の輝度レベルが、ここで設定したレベルを超えたときに、音声信号との時間差を測定します。

25 - 75 - 100%

• Audio Level

音声信号のレベルを設定します。音声信号のレベルが、ここで設定したレベルを超えたときに、 映像信号との時間差を測定します。

-30 - 0dBFS

• MES Gate

音声信号の測定範囲を指定するかどうか、選択します。1 つの映像信号に対して、複数の音声信 号があるパターンを使用する場合などに ON にします。

OFF / ON

• Gate Time

MES Gate が ON のとき、音声信号の測定範囲を設定します。「映像信号の立ち上がり±Gate Time で設定した時間」が測定範囲となります。

100 - 300 - 1500

測定範囲 ——	Gate Time Gate Time
映像信号 ——	Ś
音声信号 ——	 測定する 測定しない

図 16-16 測定範囲の設定 (音声信号)

• Sub Image

入力信号が 4K (スクエア方式、2 サンプルインターリーブ方式いずれも)のとき、測定範囲の設 定をするサブイメージを選択します。

<u>1</u>/2/3/4

16.8 アンシラリデータの一覧表示

以下の操作で、アンシラリデータを一覧表示できます。

操作

STATUS →	F•4 ANC DATA VIEWER	
----------	---------------------	--

3840x2160/29.97P YCb	Cr(422) 10bi1	t 3G-B-DS DUAL	(SQ) SDI	1A-1B	TIME:	10:47:25	
ANC DATA VIEWER				INK 1[1A]		1/4	
STANDARD	DID/SDID	STATUS	LINE	No.	PACKET		
S291M MARK DEL	80/	MISSING					
S291M END PKT	84/	MISSING					
S291M START PKT	88/	MISSING					
ARIB B.27 CC	CF/	MISSING					
S299M ctrl G4	E0/	DETECT	571	/	2/FRAME		
S299M ctrl G3	E1/	DETECT	571	/	2/FRAME		
S299M ctrl G2	E2/	DETECT	571	/	2/FRAME		
S299M ctrl G1	E3/	DETECT	571	/	2/FRAME		
S299M aud G4	E4/	DETECT	923	/	1601/FRAME		
S299M aud G3	E5/	DETECT	923	/	1601/FRAME		
S299M aud G2	E6/	DETECT	923	/	1601/FRAME		
S299M aud G1	E7/	DETECT	923	/	1601/FRAME		
S272M ctrl G4	EC/	MISSING					
S272M ctrl G3	ED/	MISSING					
S272M ctrl G2	EE/	MISSING					
S272M ctrl G1	EF/	MISSING					
RP165 EDH	F4/	MISSING					
S272M ext G4	F8/	MISSING					
S272M aud G4	F9/	MISSING					
S272M ext G3	FA/	MISSING					
S272M aud G3	FB/	MISSING					
S272M ext G2	FC/	MISSING					
ANC DUMP	PAGE	PAGE	STREAM	LINK	SELECT	up	
	UP	DOWN	SELECT STREAM1	1[14]	14 - 18	menu	

図 16-17 アンシラリデータ画面

16.8.1 アンシラリデータ画面の説明

アンシラリデータ画面では、規格番号ごとにデータが一覧表示されます。STATUS 欄には、それぞれのデータが検出されると「DETECT」、検出されないと「MISSING」と表示されます。

- データの閲覧
 - ファンクションダイヤル(F•D)を右に回すと画面がスクロールして、データ全体を閲覧できます。 画面右上には「ページ数/総ページ数」が表示され、ページ間の移動は F•2 PAGE UP と F•3 PAGE DOWN でも行えます。

また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、カーソルをデータの先頭に戻すことができます。

• 表示ストリームの選択

入力信号が 3G または 12G のとき、 F•4 STREAM SELECT で表示ストリームを STREAM1 と STREAM2 から選択できます。

• 表示内容の選択

入力信号がマルチリンクのときは F•5 LINK、12G のときは F•5 SUB で、表示内容を選択できます。

16.8.2 アンシラリデータのダンプ表示

以下の操作で、アンシラリデータ画面で選択したデータを、ダンプ表示できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を右に回すと画面がスクロールして、データ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、カーソルをデータの先頭に戻すことができます。

操作								
STATUS \rightarrow F•3 ANC DATA VIEWER \rightarrow F•1 ANC DUMP								
1920×108	30/59.94I YCbCr(42	2) 10bit HD	SD	I 1A	TIME: 09	9:47:11		
ANC DUMP STANDARD TYPE STREAM		S299M ctrl (1 Y	G 4					
LINE No.		9						
1	DID DBN DC	1E0 200 10B 203						
2 3 4 5		200 20F 200 200						
6 7 8 9		200 200 200 200						
10 11	CHECKSUM	200 200 2FD						
	HOLD TIME 3s	DUMP MODE HEX				up menu		

図 16-18 アンシラリダンプ画面

16.8.3 ダンプ表示の更新

選択したデータが複数のラインに多重されているとき、アンシラリダンプ画面ではライン番号を定 期的に切り換えて表示します。(ただし、ライン番号の切り換わり順は不定です) 以下の操作で、ダンプ表示の更新時間を選択できます。

操作

3s:			画面を3	秒間隔で更新	んま	す。							
1s:	3: 画面を1秒間隔で更新します。												
HOLD:	LD: 画面を更新しません。												
設定項目	の説	明											
STATUS	\rightarrow	F•3	ANC DATA	VIEWER -	→ F•1	ANC	DUMP	\rightarrow	F ●2	HOLD	TIME:	HOLD	/ 1s / <u>3s</u>

16.8.4 ダンプモードの選択

以下の操作で、ダンプモードを選択できます。

操作

221211																
STATUS	\rightarrow	F ∙3	ANC	DATA	VIEWER	\rightarrow	F ●1	ANC	DUMP	\rightarrow	F ∙3	DUMP	MODE:	: <u>HEX</u> /	/	
BINARY																

設定項目の説明

HEX:	ヘキサ(16進)で表示します。
BINARY:	バイナリー(2 進)で表示します。

DUMP MODE = HEX

ANC DUMP STANDARD TYPE STREAM		S299M ctrl G4 1 Y
LINE No.		
	DID	1E0
	DBN	200
	DC	10B
1		203
2		200
3		20F
4		200
5		200
6		200
7		200
8		200
9		200
10		200
11		200
	CHECKSUM	2FD

DUMP MODE = BINARY

ANC DUMP STANDARD TYPE STREAM		S299M ctrl G4 1 Y	
LINE No.			
	DID	0111100000	
	DBN	100000000	
	DC	0100001011	
1		1000000101	
2		100000000	
3		1000001111	
4		100000000	
5		100000000	
6		100000000	
7		100000000	
8		100000000	
9		100000000	
10		100000000	
11		100000000	
	CHECKSUM	1011111111	

図 16-19 ダンプモードの選択

16.9 アンシラリパケットの検出

以下の操作で、アンシラリパケット画面を表示できます。 アンシラリパケットが検出されると「DETECT」、検出できないと「MISSING」、ダミーパケットが検 出されると「DUMMY」と表示されます。

操作		
STATUS \rightarrow F•5 ANC PACKET		
1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD ANC PACKET SUMMARY AUDIO CONTROL PACKET DETECT EDH DETECT LTC DETECT VITC DETECT PAYLOAD ID MISSING V-ANC SMPTE AFD MISSING V-ANC ARIB CLOSED CAPTION 1 DETECT CLOSED CAPTION 3 DETECT NET-Q DETECT NET-Q DETECT TRIGGER PACKET MISSING USER DATA 1 MISSING	SDI 1A TIME: 16:52	2:47
PACKET ANALYSIS	SELECT CH 1A	up menu

図 16-20 アンシラリパケット画面

- 16.9.1 アンシラリパケット画面の説明
 - AUDIO CONTROL PACKET
 - エンベデッドオーディオは4チャンネルで1グループとして構成され、全部で4グループ16チ ャンネルの重畳が可能です。音声制御パケットは、1グループごとに1つのパケットが重畳 されます。

【参照】 「16.9.4 音声制御パケットの表示」

• EDH (Error Detection and Handling) (SD のとき)

伝送エラー検出用のパケットです。複数の機器が接続されている場合、どの機器でエラーが起き たかを検出できます。フルフィールドとアクティブピクチャーでエラー検出をしています。 【参照】「16.9.2 EDHパケットの表示」

LTC (Linear/Longitudinal Time Code)

タイムコードの1つで、フレームに1回重畳されます。

VITC (Vertical Interval Time Code)
 タイムコードの1つで、フィールドに1回重畳されます。

PAYLOAD ID

ビデオフォーマットを識別するためのパケットで、SMPTE ST 352 規格に対応しています。 【参照】「16.9.3 ペイロード ID の表示」

AFD

V-ANC 領域に重畳されています。 【参照】「16.9.11 AFDパケットの表示」

- CLOSED CAPTION 1~3 (HD または SD のとき)
 V-ANC 領域に多重される字幕情報パケットで、最大 3 つの字幕データを多重できます。
 【参照】「16.9.6 字幕パケットの表示」
- NET-Q (HD または SD のとき)
 放送局間制御信号です。
 【参照】「16.9.7 放送局間制御信号の表示」
- TRIGGER PACKET (HD または SD のとき)
 データ放送トリガ信号です。
 【参照】「16.9.8 データ放送トリガ信号の表示」
- USER DATA 1、2 (HD または SD のとき)
 ユーザーデータ 1、2 のパケットです。
 【参照】「16.9.9 ユーザーデータの表示」

16.9.2 EDH パケットの表示

. . ..

入力信号が SD のとき、以下の操作で EDH パケット画面を表示できます。

STATUS	\rightarrow	F∙4	ANC	PACKET	$T \rightarrow F \bullet 1$	PACK	ET ANAL	$YSIS \rightarrow F$	F●1 EDH		
	720)x487,	/59.941	YCbCr(42	2) 10bit S	D	SDI	1A	TIME: 0	9:14:14	
EDH MON INTE	IITOR ERFAC	SMF E LIN	PTE RP1 E No.	65 9,	, 272						
	EDH P	ACKET		NORMAL							
	FI Al Al	F : P : NC :	UES 0 0	IDA 0 0 0	IDH 0 0 0	EDA 0 0 0	EDH 0 0 0				
		REC	EIVED (RC FF AP	NOF NOF	RMAL RMAL					
	DICO		-1								1
	DISP TE	LAY (T							CH CH A	menu	

図 16-21 EDH パケット画面

• 表示形式の選択

F•1 DISPLAY で、表示形式を TEXT(テキスト表示)と DUMP(ダンプ表示)から選択できます。
 DUMP を選択するとダンプ表示となり、ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、表示をデータの先頭に戻すことができます。

ダンプモードの選択

F•1 DISPLAY が DUMP のとき、F•2 DUMP MODE でダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

16.9.3 ペイロード ID の表示

以下の操作で、ペイロード ID 画面を表示できます。

操作					
STATUS \rightarrow F•4 ANC	PACKET \rightarrow F•1 PA	ACKET ANA	IYSIS → F	•2 PAYLOA	
		CDT	1 4 1 5		
3840x2160/29.97PsF YCt	Cr(422) 10bit 3G-B-DS	DUAL SUL	TA- 1B	ITWE: 02	9:20:13
PAYLOAD ID DISPLAY SMPT	E ST352				
INTERFACE LINE No.	10, 572				
BYIE1	10001010				
VERSION ID	SMPTE ST352-201.	L			
PATLOAD ID	1125(1060) LINE				
DIGITAL INTERFACE	01001010				
TRANSPORT STRUCTURE					
PTCTURE STRUCTURE	PROGRESSIVE				
PICTURE RATE	60/1.001				
BYTE3	0000000				
ASPECT RATIO	UNKNOWN				
H SAMPLING	1920				
COLORIMETRY	NOT USED				
SAMPLING STRUCTURE	4:2:2 YCbCr				
BYTE4	00000001				
CHANNEL ASSIGNMENT	DUAL LINK A				
DYNAMIC RANGE	NOT USED				
ASPECT RATIO	NOT USED				
MAPPING MODE	NOT USED				
AUDIO EMB MODE	NUT USED				
DITUEPIN	TOPTI				
		STREAM	LINK	SELECT	up
		SELECT STREAM1	1[14]		menu
		STREAM	I I I I I I		

図 16-22 ペイロード ID 画面

• 表示ストリームの選択

入力信号が 3G または 12G のとき、F•4 STREAM SELECT で表示ストリームを STREAM1 と STREAM2 から選択できます。

- 表示内容の選択
 - 入力信号がマルチリンクのときは F•5 LINK、12G のときは F•5 SUB で、表示内容を選択できます。

16.9.4 音声制御パケットの表示

以下の操作で、音声制御パケット画面を表示できます。

操作						
STATUS \rightarrow F•4 ANC PACI	$\langle ET \rightarrow F \bullet 1 PAC \rangle$	KET ANA	$_YSIS \rightarrow F$	•3 CONTRO	DL PACKET	
3840x2160/29.97PsF YCbCr(42 AUDIO CONTROL PACKET MONITOR INTERFACE LINE No.	2) 10bit 3G-B-DS DUA SMPTE ST299-1 9, 571	∟ SDI	1A-1B	TIME: 09	9:27:53	
CONTROL PACKET GROUP : FRAME No. : SAMPLE RATE : SYNC MODE : ACTIVE CH : DELAY1-2 : DELAY3-4 :	1 48kHz SYNCHRONOUS 1,2,3,4, INVALID +0000000 INVALID +0000000					
DISPLAY TEXT	GROUP 1	STREAM SELECT STREAM1	LINK 1[1A]	SELECT CH 1A - 1B	up menu	

図 16-23 音声制御パケット画面

• 表示形式の選択

F•1 DISPLAY で、表示形式を TEXT(テキスト表示)と DUMP(ダンプ表示)から選択できます。
 DUMP を選択するとダンプ表示となり、ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、表示をデータの先頭に戻すことができます。

• ダンプモードの選択

F●1 DISPLAY が DUMP のとき、F●2 DUMP MODE でダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

• 表示グループの選択

F•3 GROUP で、表示グループを 1~4 から選択できます。オーディオ信号は 4 チャンネルで 1 グループとなります。

- 表示ストリームの選択
 - 入力信号が 3G-B のとき、 F•4 STREAM SELECT で表示ストリームを STREAM1 と STREAM2 から選択できます。
- 表示内容の選択

入力信号がマルチリンクのときは F•5 LINK、12G のときは F•5 SUB で、表示内容を選択できます。

16.9.5 V-ANC ARIB 表示

ARIB で規定されている V ブランキングアンシラリパケットの表示は、ARIB メニューで行います。 入力信号が 3G または 12G のとき、このメニューは表示されません。



16.9.6 字幕パケットの表示

以下の操作で、字幕パケット画面を表示できます。

	~	
75291	ľE	
니까니		

1~1	N 11																
S	TATUS	\rightarrow	F ∙4	ANC	PACKET	$ \rightarrow$	F ●1	PACKET	ANALYS	$\text{IS} \rightarrow$	F ∙4	V-ANC	\rightarrow	F ●1	ARIB	\rightarrow	F•
1	CLOSE	ED C	CAPT	ION								-	-				

1920×1080/59.9	4I YCbCr(422) 10bit HD	SD	I 1A	TIME:	16:54:23	
CLOSED CAPTION DISPLAY	ARIB STD B-37					
INTERFACE LINE No. CLOSED CAPTION TYPE	19, 582 HD					
HEADER WORD1: ERROR CORRECTION CONTINUITY INDEX	0110001001 YES 9					
HEADER WORD2:	1000000000					
HEADER WORD3: START PACKET FLAG END PACKET FLAG TRANSMISSION MODE FORMAT ID	0100000001 0 0 SEQUENTIAL HD					
HEADER WORD4: C.C. DATA ID LANGUAGE ID	1000111111 DUMMY DATA LANGUAGE8					
DISPLAY TEXT	TYPE HD			SELECT CH 1A	up menu	

図 16-25 字幕パケット画面

字幕タイプの選択

F•2 TYPE で、字幕タイプを HD、SD、ANALOG、CELLULAR から選択できます。

• 表示形式の選択

F•1 DISPLAY で、表示形式を TEXT(テキスト表示)と DUMP(ダンプ表示)から選択できます。 DUMP を選択するとダンプ表示となり、ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧でき ます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、表示をデータの先頭に戻すことがで きます。 ダンプモードの選択

F•1 DISPLAY が DUMP のとき、F•3 DUMP MODE でダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

• 表示内容の選択

入力信号が HD(DL)または HD(QL)のとき、F•5 LINK で表示内容を選択できます。

16.9.7 放送局間制御信号の表示

以下の操作で、放送局間制御信号画面を表示できます。

操作

STATUS \rightarrow F•4 ANC PACKET \rightarrow F•1 PACKET ANALYSIS \rightarrow F•4 V-ANC \rightarrow F•1 ARIB \rightarrow F•2 NET-Q

1920;	x1080/5	9.94I YO	bCr(422) 10b	oit HD		SI	DI	1A	Т	IME:	16	:58:42	1
INTER-STATION	ARY CONT	TROL DAT	A ARIB	STD-B	39									
INTERFACE ERROR COF CONTINUI STATION DATE & VIDEO CU AUDIO CU	LINE No RRECTION TY INDEX N CODE TIME URRENT: URRENT:	YES LEA 200 112 S	20, 58 DER 7/11/19 51/29.9	33 13 7	:12:03 NEXT: NEXT:	RES	ERVED/		COUNTDO COUNTDO	√N : √N :	255 255			
DOWN MIX	CURRENT	: NOT	USED		NEXT:	NOT	USED							
TRIGGER SIGNA	L.													
Q 1: 0	Q 2	: 0	Q 3:	0	Q 4:	0	Q 5:	0	Q 6:	0	Q 7:	Θ	Q 8:	0
Q 9: 0	Q10	: 0	Q11:	0	Q12:	0	Q13:	0	Q14:	0	Q15:	0	Q16:	0
Q17: 0	Q18	: 0	Q19:	0	Q20:	0	Q21:	0	Q22:	0	Q23:	Θ	Q24:	Θ
Q25: 0	Q26	: 0	Q27:	0	Q28:	0	Q29:	0	Q30:	0	Q31:	Θ	Q32:	Θ
COUNTER	Q 1	: 2	Q 2:	255	Q 3:	255	Q 4:	255						
COUNTDOWN	Q 1	: 255	Q 2:	255	Q 3:	255	Q 4:	255						
STATUS SIGNAL	ເວ	. 0	S 3.	0	S 1.	٥	c ۲.	0	5.6.	0	c 7.	0	S 8 .	0
59.0	510	. 0	5 5:	0	512	0	\$13	0	5 0:	0	57: S15:	0	5 0:	0
DISPL	LAY			B	IT						SELECT		up	
TEX	T			MA	ISK						1A		menu	

図 16-26 放送局間制御信号画面

• 表示形式の選択

F•1 DISPLAY で、表示形式を TEXT(テキスト表示)、DUMP(ダンプ表示)、Q LOG(Q 信号ログ表示)、FORMAT(フォーマット ID 表示)から選択できます。

DUMP を選択するとダンプ表示、Q LOG を選択するとログ表示となり、ファンクションダイヤル (F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、表示を データの先頭に戻すことができます。

DISPLAY = DUMP

INTER-STA	TIONARY CONTROL DAT	A ARIB STD-B39		
INTER	FACE LINE No.	20, 583		
	DID	25F		
	SDID	1FE		
	DC	2FF		
1	HEADER	18A		
2	STATION CODE1	14C		
3	STATION CODE2	145		
4	STATION CODE3	241		
5	STATION CODE4	244		
6	STATION CODE5	145		
7	STATION CODE6	152		
8	STATION CODE7	120		
9	STATION CODE8	120		
10	YEAR	107		
11	MONTH	211		
12	DAY	119		
13	WEEK	101		
14	HOUR	113		
15	MINUTE	212		
16	SECOND	239		
17	MULTI SECOND	200		
18	MULTI SECOND	271		

DISPLAY = QLOG



DISPLAY = FORMAT

INTERFACE LINE No.	20, 583
BYTE1	10000101
VERSION ID	
PAYLOAD ID	1125(1080) LI
DIGITAL INTERFACE	1.485Gb/s
BYTE2	00000110
DICTURE STRUCTURE	INTERLACED
PICTURE BATE	30/1 001
BYTE3	10100000
ASPECT RATIO	16:9
H SAMPLING	RESERVED
DISP ASPECT RATIO	16:9
SAMPLING STRUCTURE	4:2:2 YCbCr
BYTE4	00000001
CHANNEL ASSIGNMENT	RESERVED
BII DEPIH	10811



ダンプモードの選択

F•1 DISPLAY が DUMP のとき、F•2 DUMP MODE でダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

- Q 信号ログのクリア
 F•1 DISPLAY が Q LOG のとき、F•2 Q LOG CLEAR で Q 信号のログをクリアできます。
- ビットマスクの設定

F•1 DISPLAY が TEXT のとき、F•3 BIT MASK で Q 信号とステータス信号を個別にマスクでき

F-4 ALL ON を押すとすべてオン、F-5 ALL OFF を押すとすべてオフになります。

IET-Q	Bit	Masl

Q1	≪ 0N	■0FF	Q17	₹ 0N	■0FF	\$1	₩ ON	■0FF
Q2	≪ 0N	■0FF	Q18	₩ ON	■0FF	S2	₩ ON	■0FF
Q3	₩ 0N	■0FF	Q19	₹ 0N	■ 0FF	S3	₩ ON	■0FF
Q4	₩ 0N	■0FF	Q20	₹ 0N	■ 0FF	S4	₩ ON	■0FF
Q5	₹ 0N	■0FF	Q21	₹ 0N	■ 0FF	S5	₩ ON	■0FF
Q6	₹ 0N	■ 0FF	Q22	₹ 0N	■ 0FF	S6	₩ ON	■0FF
Q7	₩ ON	■0FF	Q23	₹ 0N	■ 0FF	S7	₩ 0N	■0FF
Q8	₹ 0N	■0FF	Q24	₹ 0N	■0FF	58	₹ 0N	■0FF
Q9	₹ 0N	■0FF	Q25	₹ 0N	■0FF	59	₹ 0N	■0FF
Q10	₹ 0N	■ 0FF	Q26	₩ 0N	■0FF	S10	₹ 0N	■0FF
Q11	₹ 0N	■ 0FF	Q27	₩ 0N	■0FF	S11	₹ 0N	■0FF
Q12	₩ 0N	■0FF	Q28	₹ 0N	■ OFF	S12	₹ 0N	■0FF
Q13	₩ 0N	■0FF	Q29	₩ ON	■ OFF	S13	₩ ON	■0FF
Q14	#ON	■0FF	Q30	₩ ON	■ OFF	S14	₩ 0N	■0FF
Q15	₹ 0N	■0FF	Q31	₩ 0N	■ OFF	\$15	₩ 0N	■0FF
Q16	₩ 0N	■0FF	Q32	₩ 0N	■ 0FF	S16	₩ 0N	■0FF

図 16-28 NET-Q Bit Mask タブ

• 表示内容の選択

入力信号が HD(DL)または HD(QL)のとき、F•5 LINK で表示内容を選択できます。

- USB メモリーへの保存
 - F•1
 DISPLAY が Q LOG のとき、F•6
 USB MEMORY で Q 信号ログを USB メモリーに CSV 形式

 で保存できます。保存方法は、イベントログの保存と同様です。「16.4.5
 USB メモリーへ

 の保存」を参照してください。

Q信号ログは、「NETQ」フォルダの下に保存されます。

- 🖞 USB メモリー
- └ 🗍 LV5490_USER
 - L 🗋 NETQ
 - L 🗋 YYYYMMDDhhmmss.csv

16.9.8 データ放送トリガ信号の表示

以下の操作で、データ放送トリガ信号を表示できます。

操作

STATUS \rightarrow F•4 ANC PACKET \rightarrow F•1 PACKET 3 DATA TRIGGER	TANALYSIS \rightarrow	F∙4 V-ANC →	→ $F \bullet 1$ ARIB → $F \bullet$
1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD	SDI 1A	TIME: 17	:02:36
DATA BROADCAST TRIGGER ARIB STD-B35			
HEADER WORD1: ERROR CORRECTION CONTINUITY INDEX			
HEADER WORD2: PACKET NUMBER			
HEADER WORD3: LAST PACKET NUMBER			
HEADER WORD4: TRIGGER ID			
DISPLAY TEXT		SELECT CH 1A	up menu

図 16-29 データ放送トリガ信号画面

• 表示形式の選択

F•1 DISPLAY で、表示形式を TEXT(テキスト表示)と DUMP(ダンプ表示)から選択できます。
 DUMP を選択するとダンプ表示となり、ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、表示をデータの先頭に戻すことができます。

ダンプモードの選択

F•1 DISPLAY が DUMP のとき、F•2 DUMP MODE でダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

• 表示内容の選択

入力信号が HD(DL)または HD(QL)のとき、F•5 LINK で表示内容を選択できます。

16.9.9 ユーザーデータの表示

以下の操作で、ユーザーデータ1、2を表示できます。 ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D) を押すと、表示をデータの先頭に戻すことができます。

$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	操作			
$ \rightarrow \overbrace{\bullet4}^{\bullet4} USER DATA 1) USER DATA 2 $ $ 1920x1080/59.941 YCbCr(422) 10bit HD SDI 1A TIME: 17:03:18 V-ANC USER DATA ARIB TR-B23 INTERFACE LINE NO. DID SOID DC 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 SELECT up MODE MODE CH UP MODE CH$	STATUS \rightarrow F•4 ANC PACKET \rightarrow F•1 PACKET	ANALYSIS \rightarrow F	•4 V-ANC \rightarrow F	•1 ARIB
→ F•5 USER DATA 2 1920×1090/59.941 YCbCr(422) 10bit HD SDI 1A TIME: 17:03:18 V-ANC USER DATA ARIB TR-B23 INTERFACE LINE No. DID SDID DC 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE	\rightarrow F•4 USER DATA 1			
1920x1080/59.941 YCbCr(422) 10bit HD SDI 1A TIME: 17:03:18 V-ANC USER DATA ARIB TR-B23 DID DID DID SDID DC 1 DID SDI 3 4 5 6 7 8 9 10 12 13 13 DUMP 16 17 18 SELECT up MODE C	→ F•5 USER DATA 2			
V-ANC USER DATA ARIB TR-B23	1920x1080/59.94I YCbCr(422) 10bit HD	SDI 1A	TIME: 17:03	8:18
INTERFACE LINE No. DID SDD DC 1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 MODE HEX MDDE HEX SELECT up menu A SELECT up menu A A A A A A A A A A A A A	V-ANC USER DATA ARIB TR-B23			
DID SDID DC 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10 11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	INTERFACE LINE No.			
JU J 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 MDDE MDDE HEX SELECT up menu	DID			
1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 9 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX DUMP MODE HEX	DC			
2 3 4 5 6 7 7 8 9 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX SELECT up menu menu 1A	1			
4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX DUMP MODE HEX	2 3			
5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 15 16 17 18 DUMP MODE HEX SELECT Up menu menu 1A	4			
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX SELECT up menu	5			
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX DUMP MODE HEX	7			
9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX SELECT up menu MA	8			
11 12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX DUMP MODE HEX LECT UP menu 1A	10 10			
12 13 14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX DUMP CH menu IA	11			
14 15 16 17 18 DUMP MODE HEX SELECT up CH menu 1A	12 13			
15 16 17 18 DUMP MODE HEX SELECT CH menu 1A	14			
17 18 DUMP MODE HEX SELECT CH menu 1A	15 16			
18 DUMP MODE HEX SELECT up CH menu 1A	17			
DUMP SELECT up MODE CH menu HEX 1A	18			
	DUMP MODE HEX		SELECT CH 1A	menu

図 16-30 ユーザーデータ画面

• ダンプモードの選択

F•2 DUMP MODE で、ダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

• 表示内容の選択

入力信号が HD(DL)または HD(QL)のとき、F•5 LINK で表示内容を選択できます。

16.9.10 V-ANC SMPTE 表示

SMPTE で規定されている V ブランキングアンシラリパケットの表示は、SMPTE メニューで行います。



16.9.11 AFD パケットの表示

以下の操作で、AFD パケットを表示できます。

操作

јжіг								
STATU	$S \rightarrow F \bullet 4 A$	ANC PACKE	$T \rightarrow F \bullet 1 PA$	ACKET ANA	LYSIS \rightarrow F	•4 V-ANC -	→ F•2 SMP	TE \rightarrow
F∙5 AF	D							
384	0x2160/29.97P	sF YCbCr(422)	10bit 3G-B-DS	DUAL SDI	1A-1B	TIME: 11	L:47:55	
AFD D	ISPLAY SMPTE	2016-3						
INTER	FACE LINE No.							
AI	FD CODE							
E B	UDED FRAME AR DATA FLAGS							
B	AR DATA VALUEI	L						
B	AR DATA VALUE2	2						
Γ	DISPLAY			STREAM	LINK	SELECT	up	
	TEVT			SELECT	1[14]	CH	menu	
	IEXI			STREAMI		IA - IB		

図 16-32 AFD パケット画面

• 表示形式の選択

F•1 DISPLAY で、表示形式を TEXT(テキスト表示)と DUMP(ダンプ表示)から選択できます。
 DUMP を選択するとダンプ表示となり、ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、表示をデータの先頭に戻すことができます。

• ダンプモードの選択

F•1 DISPLAY が DUMP のとき、 F•2 DUMP MODE でダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。

• 表示ストリームの選択

入力信号が 3G-B のとき、 F•4 STREAM SELECT で表示ストリームを STREAM1 と STREAM2 から選択できます。

• 表示内容の選択

入力信号がマルチリンクのときは F•5 LINK、12G のときは F•5 SUB で、表示内容を選択できます。

16.9.12 カスタムサーチ

以下の操作で、カスタムサーチ画面を表示できます。 ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧できます。また、ファンクションダイヤル(F•D) を押すと、表示をデータの先頭に戻すことができます。

操作														
STATUS	\rightarrow	F∙4	ANC	PACK	$ET \rightarrow$	F ●1	PACKE	T ANA	LYSIS \rightarrow	F∙5	CUS	ТОМ	SEARCH	4
3840:	x2160/	29.9	7PsF YC	bCr(422	2) 10bit	3G-B-	DS DUAL	SDI	1A-1B	T	IME:	09	31:48	
CUSTOM	SELEC	TED	ANC PAC	KET										
INT	ERFAC	E LIN	E No.		571									
		D	ID		1E0									
		D	BN		200									
			DC		10B									
	1				201									
	2				200									
	3				20F									
	4				200									
	5				200									
	0 7				200									
	2				200									
	q				200									
	10				200									
	11				200									
		CHE	CKSUM		2FF									
	ID S	SET		DUMP		Y/C	ST	REAM	LINK		SELECT		up	
				MODE	S	ELECT	SE	LECT	1[14]		CH		menu	
				NEX		1	51	REAP1			1A - 11			

図 16-33 カスタムサーチ画面

アンシラリパケットの検索

アンシラリパケットの検索は、CUSTOM SEARCH メニューの $F \bullet 1$ ID SET で行います。 STATUS \rightarrow $F \bullet 4$ ANC PACKET \rightarrow $F \bullet 1$ PACKET ANALYSIS \rightarrow $F \bullet 5$ CUSTOM SEARCH \rightarrow $F \bullet 1$ ID SET \rightarrow DID SDID/DBN SET up menu
00 -F · 1 F · 2 F · 3 F · 4 F · 5 F · 6 F · 7

図 16-34 ID SET メニュー

- **F•1** DID と **F•2** SDID/DBN を設定することによって、DID と SDID/DBN の組み合わせによる アンシラリパケットを表示します。
- F•1 DID の設定範囲は 00~FF で、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと初期値(00)に戻ります。

F•2 SDID/DBN の設定範囲は--(設定なし)、00~FF で、ファンクションダイヤル(F•D)を押すと 初期値(--)に戻ります。

[F•3] SET を押すと、 F•1] DID または F•2] SDID/DBN に設定されていた青色カーソルが解除され ます。ファンクションダイヤル(F•D)でデータ全体を閲覧したいときに使用してください。

- ダンプモードの選択
 F•2 DUMP MODE で、ダンプモードを HEX(16 進表示)と BINARY(2 進表示)から選択できます。
- 表示信号の選択
 入力信号が SD 以外のとき、F•3 Y/C SELECT で表示信号を Y 信号と C 信号から選択できます。
- 表示ストリームの選択 入力信号が 3G-B のとき、F•4 STREAM SELECT で表示ストリームを STREAM1 と STREAM2 から選択できます。
- 表示内容の選択
 - 入力信号がマルチリンクのときは F•5 LINK、12G のときは F•5 SUB で、表示内容を選択できます。

16.10 IP(NMI)ステータス画面の説明 (SER08)

システム設定の SDI IN タブで SDI System が 4K NMI または NMI に設定されているときは、STATUS キーを押すと IP(NMI)ステータスを表示します。

IP(NMI)ステータスから通常のステータスを表示するには、F•1STATUSを押します。

	3840x2160/59.94	4P YCbCr(422) 10bit	NMI NM	I 1-4	TIME: 1	3:10:16	
	IP Address	Gateway	Subnet Mask	PTP Do	omain Number		
IP A	192.168.10.21	0.0.0.0	255.255.255.0	127			
IP B	192.168.11.21	0.0.0.0	255.255.255.0	127			
	IP Address	Port	Protocol	Connec	ction Status		
IP A	192.168.10.1	9004	TLS	Connec	ted		
IP B	191.168.11.1	9004	TLS	Disabl	-e		
Format		Ref	ference				
3840x2	2160/59.94P YCbCr(422)	10bit Loc	cked				
	STATUS				SELECT CH 1 - 4		

図 16-35 NMI ステータス表示

- NMI
- · IP Address / Gateway / Subnet Mask / PTP Domain Number

背面パネルの NMI 入力端子 IP A、IP B の IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、PTP の ドメイン番号です。

- IP Live System Manager
- ・IP Address / Port / Protocol 背面パネルの NMI 入力端子 IP A、IP B に接続している IP Live System Manager の IP アドレス、 ポート、プロトコルです。
- $\boldsymbol{\cdot}$ Connection Status

背面パネルの NMI 入力端子 IP A、IP B と IP Live System Manager との接続状況です。

表示文字	表示色	接続状況			
Connected	シアン	IP Live System Manager と接続している			
Connecting	白	IP Live System Manager へ接続しに行っている			
Disable	白	接続が無効になっている			

- NMI STATUS
- ・Format

フォーマット情報です。通常は文字色がシアンですが、フォーマットが適切ではないときは赤になります。

Reference

IP(NMI)のネットワークゲンロックの状態です。

表示文字	表示色	接続状況
Locked	シアン	ロックしている
Unlocked	黄	ロックできていない
17. アイパターン表示 (SER02/SER09)

アイパターンを表示するには、EYE キーを押します。

アイパターン表示では、F•2 MODE を切り換えることによって、アイパターンとジッターを表示できます。

表示できるチャンネルは、 $F \bullet 6$ SELECT CH と $F \bullet 5$ LINK SELECT で選択した1系統となり、サイマルモードには対応していません。また、2A~2D に入力した信号は表示できません。



図 17-1 アイパターン表示



図 17-2 ジッター表示

• アイパターンとジッターの同時表示について

レイアウト機能を使用することによって、アイパターンとジッターを同時に表示することもできます。 詳細は「6.4 測定画面のレイアウト」を参照してください。



図 17-3 アイパターンとジッター表示

- 17.1 アイパターン表示画面の説明
 - 自動測定について

アイパターン表示画面では、アイパターンの振幅やジッター値などを自動測定して表示します。測 定値は通常白色で表示されますが、測定値が安定するまでの間は黄色、エラーセットアップで設定 した値を超えると赤色で表示されます。また、波形にノイズが多いなど自動測定できない場合は「----」で表示されます。このときはカーソルを使用して手動で測定してください。 【参照】「17.9 エラー検出の設定」

測定項目のうち、タイミングジッター、カレントジッターは、ジッター表示モードで測定した値を 表示しています。測定方式は、位相検波器による方式です。

その他の測定項目では、アイパターン波形から算出した測定値を表示しています。そのため、波形 が著しく劣化すると、自動測定値とカーソル測定値の差が大きくなることがあります。

• 測定項目について

自動測定できる項目は以下のとおりです。

表 17-1 測定項目一覧表

記号	画面表示	説明
а	Amp	アイパターンの振幅
b	Tr	立ち上がり時間 (振幅の 20%から 80%までの時間)
с	Tf	立ち下がり時間 (振幅の 80%から 20%までの時間、図省略)
d	T.J	タイミングジッター
е	C.J	カレントジッター (現在選択しているフィルターを適用したときのジッター値)
f	Or	立ち上がりエッジのオーバーシュート
g	Of	立ち下がりエッジのオーバーシュート



図 17-4 測定項目の説明

• ユニットインターバルについて

本ユニットでは、ジッターの測定単位にユニットインターバル(UI)を使用しています。 アイパターンの1サイクルを1UIとし、1UIに相当する時間は入力信号によって以下のように異なります。

表 17-2 1UI に相当する時間

入力信号	ビットレート	1UI に相当する時間		
3G	2.970/1.001Gbps	337.0ps		
	2.970Gbps	336.7ps		
HD	1.485/1.001Gbps	674.1ps		
	1.485Gbps	673.4ps		
SD	270Mbps	3.7ns		



図 17-5 ユニットインターバル

- 17.2 ジッター表示画面の説明
 - 測定について

ジッター表示モードは、入力信号からジッター成分のみを取り出し、時間軸で表示するモードで す。時間軸(水平軸)は、SDI 信号で伝送しているラインや、フィールドまたはフレームのデータ期 間に応じて表示できます。

自動測定について

ジッター表示画面では、タイミングジッター(T.J)とカレントジッター(C.J)を自動測定して表示します。測定範囲は 0.00~9.60UI です。

SMPTE ではジッター測定の方法として、アイパターンから求める方法と、位相検波器を用いる方法の2種類が定義されています。

アイパターンから求める方法は、アイが開いていないと測定しにくいだけでなく、ノイズやサグな どの波形歪みとジッターの判別が難しいため、誤差が出やすい欠点があります。

一方、位相検波器を用いる方法は、アイパターンが閉じた場合や 1UI 以上のジッターがある場合で も、誤差の少ないジッター測定ができます。

本ユニットでは、この位相検波器を用いる方法を採用しています。

測定値は通常白色で表示されますが、エラーセットアップで設定した値を超えると、赤色で表示されます。また、10.00UIを超えると「OVER」表示に変わります。

【参照】 「17.9 エラー検出の設定」

17.3 波形表示位置の設定

V POS ツマミと H POS ツマミを使用して、波形の表示位置を調整できます。 マルチ表示では、MULTI メニューの $F \bullet 7$ MULTI EYE を押したときに有効です。



図 17-6 V POS ツマミとH POS ツマミ

V POS ツマミ

波形の垂直位置を調整します。 ツマミを押すと、波形の位置が基準位置に戻ります。

H POS ツマミ

波形の水平位置を調整します。 ツマミを押すと、波形の位置が基準位置に戻ります。

17.4 アイパターンとジッターの切り換え

以下の操作で、アイパターンとジッターを切り換えることができます。

操作 EYE → F•2 MODE: EYE / JITTER

17.5 表示リンクの選択

アイパターンでは、複数のチャンネルを同時に表示することができません。 マルチリンクのときは、以下の操作で表示リンクを選択します。 このメニューは他の階層でも表示されますが、同様に選択できます。

操作 (HD(DL)のとき)

EYE	\rightarrow	F•5	LINK S	SELECT:	A[1A] /	′ B[1B]	または	A[1C] /	B[1D]	
-----	---------------	-----	--------	---------	---------	---------	-----	---------	-------	--

操作 (3G(DL)-4K のとき)

EYE → $F \bullet 5$ LINK SELECT: 1[1A] / 2[1B] または 1[1C] / 2[1D]

操作 (3G(QL)のとき)

|--|

17.6 輝度とスケールの設定

輝度とスケールの設定は、EYE メニューの $\boxed{F \bullet 1}$ INTEN/SCALE で行います。 アイパターンとジッターとで、別々に設定できます。





17.6.1 波形の輝度調整

以下の操作で、アイパターンとジッターの輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(0)に戻ります。

操作

 $\begin{array}{c} \mathsf{EYE} \rightarrow \mathsf{F} \bullet 1 \text{ INTEN/SCALE} \\ \rightarrow \mathsf{F} \bullet 1 \text{ EYE INTEN: } -128 - \underline{0} - 127 \\ \rightarrow \mathsf{F} \bullet 1 \text{ JITTER INTEN: } -128 - 0 - 127 \end{array}$

17.6.2 波形色の選択

以下の操作で、アイパターンとジッターの色を選択できます。

操作

 $\begin{array}{l} \label{eq:expectation} \hline \mathsf{EYE} \rightarrow \mathsf{F} \bullet 1 \ \mathsf{INTEN/SCALE} \\ \rightarrow \mathsf{F} \bullet 2 \ \mathsf{EYE} \ \mathsf{COLOR} \colon \underline{\mathsf{WHITE}} \ / \ \mathsf{YELLOW} \ / \ \mathsf{CYAN} \ / \ \mathsf{GREEN} \ / \ \mathsf{MAGENTA} \ / \ \mathsf{RED} \ / \ \mathsf{BLUE} \\ \rightarrow \ \mathsf{F} \bullet 2 \ \mathsf{JITTER} \ \mathsf{COLOR} \colon \underline{\mathsf{WHITE}} \ / \ \mathsf{YELLOW} \ / \ \mathsf{CYAN} \ / \ \mathsf{GREEN} \ / \ \mathsf{MAGENTA} \ / \ \mathsf{RED} \ / \ \mathsf{BLUE} \end{array}$

17.6.3 スケールの輝度調整

以下の操作で、スケールの輝度を調整できます。 ファンクションダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(4)に戻ります。

操作

|--|

17.6.4 スケール色の選択

以下の操作で、スケールの色を選択できます。

操作

EYE →	→ F•1	INTEN/SCALE	$\rightarrow F \bullet 4$	SCALE	COLOR:	WHITE /	YELLOW	/ CYAN /	GREEN /
MAGEN	ITA /	RED / BLUE							

17.7 アイパターン表示の設定

アイパターン表示の設定は、EYE メニューの $F ext{-3}$ EYE SETUP で行います。 このメニューは、 $F ext{-2}$ MODE が EYE のときに表示されます。





17.7.1 倍率の調整

以下の操作で、アイパターンの倍率を調整できます。

操作

EYE	\rightarrow	F ∙3	EYE SETUP \rightarrow	F ●1	GAIN VARIABLE: <u>CAL</u> / VARIABLE

設定項目の説明

CAL:	アイパターンを×1 倍で表示します。
VARIABLE:	アイパターンを任意の倍率(×0.50~×2.00)で表示します。 設定した倍率は、
	画面右上に表示されます。
	倍率はファンクションダイヤル(F•D)を回して調整してください。 ファンクショ
	ンダイヤル(F•D)を押すと、設定値が初期値(×1.00)に戻ります。

17.7.2 掃引時間の選択

以下の操作で、アイパターンの掃引時間を選択できます。

操作

設定項目の説明

2UI:	アイパターンを2サイクル表示します。
4UI:	アイパターンを4サイクル表示します。
16UI:	アイパターンを 16 サイクル表示します。



SWEEP = 16UI



図 17-9 掃引時間の選択

17.7.3 フィルターの選択

以下の操作で、ジッター測定時のフィルターを選択できます。選択したフィルターは画面右下に表示されます。

ここで選択した内容は、ジッター表示で選択したフィルターと連動しています。 【参照】「17.8.3 フィルターの選択」

操作

 $\begin{array}{c} \texttt{EYE} \rightarrow \texttt{F\bullet3} \texttt{ EYE SETUP} \rightarrow \texttt{F\bullet3} \texttt{ FILTER: } \underline{100\texttt{kHz}} \ / \ \texttt{1\texttt{kHz}} \ / \ \texttt{100Hz} \ / \ \texttt{10Hz} \ / \ \texttt{10Hz} \ / \ \texttt{TIMING} \ / \\ \texttt{ALIGNMENT} \end{array}$

設定項目の説明	
100kHz:	100kHz 以上のジッターを測定します。
1kHz:	1kHz 以上のジッターを測定します。
100Hz:	100Hz 以上のジッターを測定します。
10Hz:	10Hz 以上のジッターを測定します。
TIMING:	タイミングジッターを測定します。10Hz 以上のジッターを測定します。
ALIGNMENT:	アライメントジッターを測定します。入力信号が SD 以外のときは 100kHz 以
	上、SD のときは 1kHz 以上のジッターを測定します。

17.7.4 カーソルのオンオフ

カーソルの設定は、EYE SETUP メニューの F•4 CURSOR/TRIGGER で行います。



以下の操作で、カーソルをオンオフできます。

ON にすると REF カーソルが黄色(X)と水色(Y)、DELTA カーソルが紫色(X)と緑色(Y)で表示され、 DELTA – REF が測定値として画面上部に表示されます。



CURSOR = ON



図 17-11 カーソル表示

17.7.5 カーソルの選択

X 軸カーソルと Y 軸カーソルは同時に表示されますが、ファンクションダイヤル(F•D)で移動できる カーソルはどちらか一方となります。以下の操作で、移動するカーソルを選択できます。

操作

EYE	\rightarrow	F•3	EYE SETU	\rightarrow	- •4	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F ∙2	XY SEL: X / Y / Tr,Tf

Tr,Tf を選択すると、立ち上がり時間(Tr)と立ち下がり時間(Tf)を測定できます。以下の手順で操作 を行ってください。

- F•2 XY SEL を Tr,Tf にします。
 Y 軸カーソルが選択された状態になります。
- 2. ファンクションダイヤル(F•D)を回して、カーソルをアイパターンの振幅に合わせます。



図 17-12 Tr、Tfの測定1

3. F•5 REF SET キーを押します。

振幅の 20%、80%の位置に Y 軸カーソルが移動して、 F•2 XY SEL が X になります。



図 17-13 Tr、Tfの測定 2

4. Y 軸カーソルとアイパターンの交点に X 軸カーソルを合わせます。

アイパターンの立ち上がりに合わせることで Tr、立ち下がりにあわせることで Tf が測定できます。 (図 17-14 は Tr の例)

測定値は画面上部の X に表示されます。



図 17-14 Tr、Tfの測定 3

17.7.6 カーソルの移動

以下の操作で移動するカーソルを選択してから、ファンクションダイヤル(F•D)を回すことで、カー ソルを移動できます。選択したカーソルの両端には、ママークが表示されます。

カーソルの選択はファンクションダイヤル(F•D)を押しても行えます。ファンクションダイヤル(F•D)を押すごとに、REF→DELTA→TRACKの順でカーソルが切り換わります。

操作

EYE	\rightarrow F	F•3	EYE SETUP \rightarrow	F∙4	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F∙4	FD VAR: <u>REF</u> / DELTA / TRACK
-----	-----------------	-----	-------------------------	-----	------------------------------	-----	------------------------------------

設定項目の説明	
REF:	REF カーソル(黄色または水色)を選択します。
DELTA:	DELTA カーソル(紫色または緑色)を選択します。
TRACK:	REF カーソルと DELTA カーソルを同時に選択します。

17.7.7 X 軸測定単位の選択

F●2 XY SEL が X のとき、以下の操作で X 軸カーソルの測定単位を選択できます。

操作

EYE	\rightarrow	F ∙3	EYE SETUP \rightarrow	F∙4	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F ∙3	X UNIT: <u>sec</u> / Hz / UIp-p
-----	---------------	-------------	-------------------------	-----	------------------------------	-------------	---------------------------------

設定項目の説明

sec:	時間で表示します。
Hz:	カーソル間を1周期として、周波数で表示します。
UIp-p:	アイパターンの1サイクルを1UIp-p として、UIp-p で表示します。

17.7.8 Y 軸測定単位の選択

F•2 XY SEL が Y のとき、以下の操作で Y 軸カーソルの測定単位を選択できます。

操作

EYE	\rightarrow	F•3	EYE SETUP \rightarrow	F∙4	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F•3	Y UNIT: <u>V</u> / %
-----	---------------	-----	-------------------------	-----	------------------------------	-----	----------------------

設定項目の説明

V:	電圧で表示します。
%:	F•5 REF SET を押したときの振幅を 100%として、%で表示します。

17.7.9 表示モードの選択

以下の操作で、アイパターンの表示モードを選択できます。 アイパターンとジッターを同時に表示しているときは、ここで選択した内容がジッターにも適用さ れます。

操作

		EYE	\rightarrow	F•3	EYE SETUP	→ F •4	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F•6	TRIGGER: <u>RUN</u> / STOP
--	--	-----	---------------	-----	-----------	---------------	------------------------------	-----	----------------------------

設定項目の説明

RUN:	入力信号を自動更新して表示します。
STOP:	入力信号を静止して表示します。カーソル測定に便利です。
	STOP を選択していても、ジッターへの切り換えなど、測定条件を変更すると、
	RUN に変わります。

17.7.10 カーソルのリセット

以下の操作で、カーソルの位置をリセットできます。

操作

EYE -	\rightarrow	F•3	EYE	SETU	$ P \rightarrow$	F∙4	CURSOR	/TRIGGER	\rightarrow	F ●1	ON/OFF	RESET	\rightarrow	F ∙6	CURSC	R
RESE	Т								-							

17.8 ジッター表示の設定

ジッター表示の設定は、EYE メニューの $\boxed{F \bullet 3}$ JITTER SETUP で行います。 このメニューは、 $\boxed{F \bullet 2}$ MODE が JITTER のときに表示されます。



図 17-15 JITTER SETUP メニュー

17.8.1 倍率の選択

倍率と掃引の設定は、JITTER SETUP メニューの F•1 GAIN SWEEP で行います。



図 17-16 GAIN SWEEP メニュー

以下の操作で、ジッターの倍率を選択できます。

操作

$EYE \rightarrow F \bullet 3 \text{ JITTER SETUP} \rightarrow$	$F \bullet 1$ GAIN SWEEP \rightarrow $F \bullet 1$ GAIN MAG
: X1 / X2 / X8 (12G 以外のとき))
: X1 / X2 / X4 / X16 (12Gのと	き)

17.8.2 掃引時間の選択

以下の操作で、掃引時間を選択できます。

操作

 $\mathsf{EYE} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \mathsf{3} \text{ JITTER SETUP} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \mathsf{1} \text{ GAIN SWEEP} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \mathsf{2} \text{ SWEEP: } \mathsf{1H} / \frac{\mathsf{2H}}{\mathsf{2H}} / \mathsf{1V} / \mathsf{2V}$

設定項目の説明

1H:	1 ライン期間のジッターを表示します。
2H:	2 ライン期間のジッターを表示します。
1V:	入力信号がインタレースまたはセグメントフレームのときは1フィールド期
	間、プログレッシブのときは1フレーム期間のジッターを表示します。
2V:	入力信号がインタレースまたはセグメントフレームのときは1フレーム期間、
	プログレッシブのときは2フレーム期間のジッターを表示します。
	入力信号が HD(DL)の 60/59.94/50P を除くプログレッシブのときは選択でき
	ません。

17.8.3 フィルターの選択

以下の操作で、ジッター測定時のフィルターを選択できます。選択したフィルターは画面右下に表示されます。 ここで設定した内容は、アイパターン表示で選択したフィルターと連動しています。 【参照】「17.7.3 フィルターの選択」

操作

EYE → $F \bullet 3$ JITTER SETUP → $F \bullet 3$ FILTER: <u>100kHz</u> / 1kHz / 100Hz / 10Hz / TIMING / ALIGNMENT

17.8.4 カーソルのオンオフ

カーソルの設定は、JITTER SETUP メニューの F•3 CURSOR/TRIGGER で行います。



図 17-17 CURSOR/TRIGGER メニュー

以下の操作で、カーソルをオンオフできます。

ON にすると REF カーソルが黄色(X)と水色(Y)、DELTA カーソルが紫色(X)と緑色(Y)で表示され、 DELTA – REF が測定値として画面上部に表示されます。

操作

 $\begin{array}{c} \mathsf{EYE} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{3} \text{ JITTER SETUP} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{3} \text{ CURSOR/TRIGGER} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{1} \text{ ON/OFF RESET} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{1} \\ \mathsf{CURSOR: ON / OFF} \end{array}$

CURSOR = ON



図 17-18 カーソル表示

17.8.5 カーソルの選択

X 軸カーソルと Y 軸カーソルは同時に表示されますが、ファンクションダイヤル(F•D)で移動できる カーソルはどちらか一方となります。以下の操作で、移動するカーソルを選択できます。

操作

E	YE	\rightarrow	F•3	JITTER	$SETUP \to$	F•3	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F•2	XY SEL: <u>X</u> / Y

17.8.6 カーソルの移動

以下の操作で移動するカーソルを選択してから、ファンクションダイヤル(F•D)を回すことで、カー ソルを移動できます。選択したカーソルの両端には、ママークが表示されます。

カーソルの選択はファンクションダイヤル(F•D)を押しても行えます。ファンクションダイヤル(F•D)を押すごとに、REF→DELTA→TRACKの順でカーソルが切り換わります。

操作

$EYE \rightarrow F \bullet 3$	DITTER SETUP \rightarrow	F•3 CURSOR/TRIGGER →	F•4 FD VAR: <u>REF</u> / DELTA /
TRACK			

設定項目の説明

REF:	REF カーソル(黄色または水色)を選択します。
DELTA:	DELTA カーソル(紫色または緑色)を選択します。
TRACK:	REF カーソルと DELTA カーソルを同時に選択します。

17.8.7 X 軸測定単位の選択

F•2 XY SEL が X のとき、以下の操作で X 軸カーソルの測定単位を選択できます。

操作

EYE	\rightarrow	F•3	JITTER SETUP \rightarrow	F•3	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F•3	X UNIT: <u>sec</u> / Hz
-----	---------------	-----	----------------------------	-----	------------------------------	-----	-------------------------

設定項目の説明

sec:	時間で表示します。
Hz:	カーソル間を1周期として、周波数で表示します。

17.8.8 Y 軸測定単位の選択

F•2 XY SEL が Y のとき、以下の操作で Y 軸カーソルの測定単位を選択できます。

操作

E١	ΥE	\rightarrow	F•3	JITTER SETUP \rightarrow	F•3	CURSOR/TRIGGER \rightarrow	F•3	Y UNIT: sec / UIp-p

設定項目の説明

sec:	時間で表示します。
UIp-p:	アイパターンの1サイクルを1UIp-p として、UIp-p で表示します。

17.8.9 表示モードの選択

以下の操作で、ジッターの表示モードを選択できます。 アイパターンとジッターを同時に表示しているときは、ここで選択した内容がアイパターンにも適 用されます。

操作

251211											
EYE	\rightarrow	F∙3	JITTER	SETUP	\rightarrow	F•3	CURSOR/	TRIGGER	\rightarrow	F•6	TRIGGER: <u>RUN</u> / STOP

設定項目の説明

RUN:	入力信号を自動更新して表示します。
STOP:	入力信号を静止して表示します。カーソル測定に便利です。
	STOP を選択していても、アイパターンへの切り換えなど、測定条件を変更する
	と、RUN に変わります。

17.8.10 カーソルのリセット

以下の操作で、カーソルの位置をリセットできます。

操作

 $\begin{array}{l} \mathsf{EYE} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{3} \text{ JITTER SETUP} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{3} \text{ CURSOR/TRIGGER} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{1} \text{ ON/OFF RESET} \rightarrow \mathsf{F} \bullet \texttt{6} \\ \mathsf{CURSOR RESET} \end{array}$

17.8.11 ピークホールドのオンオフ

ピークホールドの設定は、JITTER SETUP メニューの F•4 PEAK HOLD で行います。



以下の操作で、タイミングジッター(T.J)とカレントジッター(C.J)のピーク値を測定できます。 ON にすると、画面下部の「PEAK」にピーク値が表示されます。ピーク値は $F \cdot 2$ CLEAR を押すま で保持され、10.00UI を超えると「OVER」表示に変わります。

操作

EYE \rightarrow F•3 JITTER SETUP \rightarrow F•4 PEAK HOLD \rightarrow F•1 PEAK HOLD: ON / OFF

PEAK	HOLD	=	ON



図 17-20 ピークホールド表示

17.8.12 ピークホールドのクリア

F•1 PEAK HOLD が ON のとき、以下の操作でピーク値をクリアできます。

操作

EYE	\rightarrow	F•3	JITTER	$SETUP \to$	F∙4	PEAK HOLD \rightarrow	F∙2	2 CLEAR	
-----	---------------	-----	--------	-------------	-----	-------------------------	-----	---------	--

17.9 エラー検出の設定

F•4 ERROR SETUP で、エラー検出の設定ができます。
 エラー検出を ON にすると、エラーが発生したときに以下の動作をします。
 ・アイパターン表示、ジッター表示の測定値を赤く表示
 ・ステータス表示のイベントログにエラーを表示
 ・画面右上に「ERROR」を表示
 ・リモート端子のアラーム出力
 【参照】「16.4.1 イベントログ画面の説明」

17.9.1 12G エラー設定

12G-SDI ERROR SETUP タブでは、12G 信号のエラー検出について設定します。

しきい値はエラー検出を ON にしたときに設定できます。SMPTE ST 2082-1 で規定されている測 定値を 100%としています。

EYE	\rightarrow	F∙4	ERROR SETUP \rightarrow					
126-S	DI ER	ROR	SETUP <mark>3G-SDI ERROR SETUP</mark> HD-S	DI ERR	OR SETUPSD-S	DI ERROR	SETUP	
	1	12G-SI	DI EYE Pattern Error Setup	SMPTE	ST 2082-1			
		Ampli	itude Error	■0FF		₩ ON		
			Upper	110	%(80~140)		880mv	
			Lower	90	%(40~100)		720mv	
		Riset	ime Error	■0FF		₩ ON		
		l	Max	100	%(40~140)		45.0ps	
		Fallt	ime Error	■0FF		₩ ON		
		I	Max	100	%(40~140)		45.0ps	
		Delta	atime Error(Tr-Tf)	■0FF		₩ ON		
		I	Max	100	%(40~140)		18ps	
		Timir	ng Jitter Error	■0FF		₩ ON		
		l	Max	100	%(10~200)		8.00UI	672.0ps
		Curre	ent Jitter Error	■0FF		₩ ON		
		l	Max	100	%(10~200)		0.30UI	25.2ps
		Overs	Shoot Rising Error	■0FF		₩ ON		
		l	Max	100	%(0~200)		10.0%	
		Over9	Shoot Falling Error	■0FF		₩ ON		
		I	Max	100	%(0~200)		10.0%	



SMPTE ST 2082-1 に対応したしきい値の設定例を以下に示します。

1 17-5 IZG-SDI LKKUK SLIUF の設定	表	17-3	12G-SDI	ERROR	SETUP	の設定例
--------------------------------	---	------	---------	-------	-------	------

項目		設定例	換算値
Amplitude Error	Upper	110%	880mV
	Lower	90%	720mV
Risetime Error	Max	100%	45.0ps
Falltime Error	Max	100%	45.0ps
Deltatime Error(Tr-Tf)	Max	100%	18ps
Timing Jitter Error	Max	100%	8.00UI (672.0ps)
Current Jitter Error	Max	100%	0.30UI (25.2ps)
Overshoot Rising Error	Max	100%	10.0%
Overshoot Falling Error	Max	100%	10.0%

Amplitude Error

アイパターンの振幅に関するエラー検出をオンオフします。 設定範囲内であっても、Upper より Lower が大きくなる設定はできません。

Upper:	80 - 140% (640 - 1120mV)
Lower:	<u>40</u> - 100% (320 - 800mV)

Risetime Error

アイパターンの立ち上がり時間(振幅の20%-80%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

Max:	40 - 140% (18.0 - 63.0ps)	
------	---------------------------	--

Falltime Error

アイパターンの立ち下がり時間(振幅の80%-20%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

3.0ps)) - 140% (18.0 - 63.0ps)	Max:
--------	--------------------------	------

Deltatime Error(Tr-Tf)

アイパターンの立ち上がり時間と立ち下がり時間の差に関するエラー検出をオンオフします。測定 値が設定値を超えると、Tr と Tf の両方が赤く表示されます。

Max: <u>40</u> - 140% (7 - 25ps)

Timing Jitter Error

アイパターンとジッターの、タイミングジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0.80 - 16.00UI、67.2 - 1344.0ps)

Current Jitter Error

アイパターンとジッターの、カレントジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max:	10 - 200% (0.03 - 0.60UI、2.5 - 50.4ps)	
------	--	--

Overshoot Rising Error

立ち上がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Overshoot Falling Error

立ち下がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 0 - 100 - 200% (0.0 - 20.0%)

17.9.2 3Gエラー設定

3G-SDI ERROR SETUP タブでは、3G 信号のエラー検出について設定します。

しきい値はエラー検出を ON にしたときに設定できます。SMPTE ST 424 で規定されている測定値 を 100%としています。

$EYE \to F \bullet 4 ERROR SETUP \to F \bullet 2$	2 PREV TAB また	±は F∙	3 NEXT TAB -	\rightarrow
12G-SDI ERROR SETUP <mark>3G-SDI ERROR SETUP</mark> HD-S	DI ERROR SETUPSD-S	DI ERROR	SETUP	
3G-SDI EYE Pattern Error Setup S	SMPTE ST 424			
Amplitude Error	■ OFF	₩ 0N		
Upper	110 %(80~140)		880mv	
Lower	90 %(40~100)		720mv	
Risetime Error	■0FF	≪ ON		
Max	100 %(40~140)		135.0ps	
Falltime Error	■0FF	≪ ON		
Max	100 %(40~140)		135.0ps	
Deltatime Error(Tr-Tf)	■0FF	₩ON		
Max	100 %(40~140)		50ps	
Timing Jitter Error	■0FF	≪ ON		
Max	100 %(10~200)		2.00UI	674.0ps
Current Jitter Error	■0FF	₩ ON		
Max	100 %(10~200)		0.30UI	101.2ps
OverShoot Rising Error	■0FF	₩ ON		
Max	100 %(0~200)		10.0%	
OverShoot Falling Error	■0FF	 €ON		
Max	100 %(0~200)		10.0%	

図 17-22 3G-SDI ERROR SETUP タブ

SMPTE ST 424 に対応したしきい値の設定例を以下に示します。

表 17-4 3G-SDI ERRC	IR SETU	Pの設正	.179]	
項目		設定例	換算値	
Amplitude Error	Upper	110%	880mV	
	Lower	90%	720mV	
Risetime Error	Max	100%	135.0ps	
Falltime Error	Max	100%	135.0ps	
Deltatime Error(Tr-Tf)	Max	100%	50ps	
Timing Jitter Error	Max	100%	2.00UI (674.0ps)	
Current Jitter Error	Max	100%	0.30UI (101.2ps)	
Overshoot Rising Error	Max	100%	10.0%	
Overshoot Falling Error	Max	100%	10.0%	

表 17-4 3G-SDI ERROR SETUPの設定例

Amplitude Error

アイパターンの振幅に関するエラー検出をオンオフします。 設定範囲内であっても、Upper より Lower が大きくなる設定はできません。

Upper:	80 - 140% (640 - 1120mV)
Lower:	40 - 100% (320 - 800mV)

Risetime Error

アイパターンの立ち上がり時間(振幅の20%-80%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

Max: 40 - 140% (54.0 - 189.0ps)

Falltime Error

アイパターンの立ち下がり時間(振幅の80%-20%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

Max: $40 - 140\% (54.0 - 189.0 \text{ ns})$			
	Max:	40 - 140% (54.0 - 189.0 ps)	

Deltatime Error(Tr-Tf)

アイパターンの立ち上がり時間と立ち下がり時間の差に関するエラー検出をオンオフします。測定 値が設定値を超えると、Tr と Tf の両方が赤く表示されます。

Max: <u>40</u> - 140% (20 - 70ps)

Timing Jitter Error

アイパターンとジッターの、タイミングジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0.20 - 4.00UI、67.4 - 1348.0ps)

Current Jitter Error

アイパターンとジッターの、カレントジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0.03 - 0.60UI、10.1 - 202.5ps)

Overshoot Rising Error

立ち上がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 0 - <u>100</u> - 200% (0.0 - 20.0%)

Overshoot Falling Error

立ち下がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 0 - 100 - 200% (0.0 - 20.0%)

17.9.3 HD エラー設定

HD-SDI ERROR SETUP タブでは、HD 信号のエラー検出について設定します。

しきい値はエラー検出を ON にしたときに設定できます。SMPTE ST 292 で規定されている測定値 を 100%としています。

$EYE \to F \bullet 4 \text{ ERROR SETUP} \to F \bullet 2$	PREV TAB また	:は F •:	3 NEXT TAB -	\rightarrow
12G-SDI ERROR SETUP3G-SDI ERROR SETUPHD-S	DI ERROR SETUPSD-5	DI ERROR	SETUP	
HD-SDI EYE Pattern Error Setup S	MPTE ST 292			
Amplitude Error	■ OFF	₩ ON		
Upper	110 %(80~140)		880mv	
Lower	90 %(40~100)		720mv	
Risetime Error	■0FF	₩ ON		
Max	100 %(40~140)		270.0ps	
Falltime Error	■ 0FF	#ON		
Max	100 %(40~140)		270.0ps	
Deltatime Error(Tr-Tf)	■OFF	₩ ON		
Max	100 %(40~140)		100ps	
Timing Jitter Error	■ OFF	₩ ON		
Max	100 %(10~200)		1.00UI	674.0ps
Current Jitter Error	■ 0FF	#ON		
Max	100 %(10~200)		0.20UI	135.0ps
OverShoot Rising Error	■ 0FF	#ON		
Max	100 %(0~200)		10.0%	
OverShoot Falling Error	■ OFF	≪ ON		
Max	100 %(0~200)		10.0%	

図 17-23 HD-SDI ERROR SETUP タブ

SMPTE ST 292 に対応したしきい値の設定例を以下に示します。

表	17-5	HD-SDI ERROR SETU	JP の設定	例

項目		設定例	換算値
Amplitude Error	Upper	110%	880mV
	Lower	90%	720mV
Risetime Error	Max	100%	270.0ps
Falltime Error	Max	100%	270.0ps
Deltatime Error(Tr-Tf)	Max	100%	100ps
Timing Jitter Error	Max	100%	1.00UI (674.0ps)
Current Jitter Error	Max	100%	0.20UI (135.0ps)
Overshoot Rising Error	Max	100%	10.0%
Overshoot Falling Error	Max	100%	10.0%

Amplitude Error

アイパターンの振幅に関するエラー検出をオンオフします。 設定範囲内であっても、Upper より Lower が大きくなる設定はできません。

Upper:	80 - 140% (640 - 1120mV)
Lower:	40 - 100% (320 - 800mV)

Risetime Error

アイパターンの立ち上がり時間(振幅の20%-80%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

|--|

Falltime Error

アイパターンの立ち下がり時間(振幅の80%-20%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

s)

Deltatime Error(Tr-Tf)

アイパターンの立ち上がり時間と立ち下がり時間の差に関するエラー検出をオンオフします。測定 値が設定値を超えると、Tr と Tf の両方が赤く表示されます。

	Max:	<u>40</u> - 140% (40 - 140ps)	
--	------	-------------------------------	--

Timing Jitter Error

アイパターンとジッターの、タイミングジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0.10 - 2.00UI、67.4 - 1348.0ps)

Current Jitter Error

アイパターンとジッターの、カレントジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0	0.02 - 0.40UI、13.5 - 270.0ps)
-------------------	-------------------------------

Overshoot Rising Error

立ち上がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max:	0 - 100 - 200% (0.0 - 20.0%)	
------	------------------------------	--

Overshoot Falling Error

立ち下がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 0 - 100 - 200% (0.0 - 20.0%)

17.9.4 SD エラー設定

SD-SDI ERROR SETUP タブでは、SD 信号のエラー検出について設定します。

しきい値はエラー検出を ON にしたときに設定できます。SMPTE ST 259 で規定されている測定値を 100%としています。

EYE	\rightarrow	F∙4	ERROR SETUP \rightarrow	F•2	PREV	TAB また	:は F	•3 NE	XT TAB	\rightarrow	
12G-5	DI ER	ROR	SETUP <mark>3G-SDI ERROR SETU</mark>	HD - SC	I ERROR	SETUP SD - SD	DI ERRO	DR SETUP			
	Ş	SD - SD	I EYE Pattern Error Se	tup SM	IPTE ST 2	259					
		Ampli	itude Error		∎0FF		≪ ON				
			Upper		110 %(80~140)		880mv			
			Lower		90 %(40~100)		720mv			
		Riset	time Error		∎0FF		₹ 0N				
			Max		100 %(40~140)		1.50n	s		
		Falli	time Error	l l	∎0FF		₹ 0N				
			Max		100 %(40~140)		1.50n	s		
		Delta	atime Error(Tr-Tf)		∎0FF		₩ ON				
			Max		100 %(40~140)		0.50n	s		
		Timir	ng Jitter Error	I	∎0FF		≪ ON				
			Max		100 %(10~200)		0.200	I	0.74ns	
		Curre	ent Jitter Error		∎0FF		₹ 0N				
			Max		100 %(10~200)		0.200	I	0.74ns	
		Overs	Shoot Rising Error		∎0FF		₩ ON				
			Max		100 %(0~200)		10.0%			
		Overs	Shoot Falling Error	I	∎0FF		₹ 0N				
			Max		100 %(0~200)		10.0%			

図 17-24 SD-SDI ERROR SETUP タブ

SMPTE ST 259 に対応したしきい値の設定例を以下に示します。

表 17-6 SD-SDI ERROR SE	ETUP の設定例
------------------------	-----------

項目		設定例	換算値
Amplitude Error	Upper	110%	880mV
	Lower	90%	720mV
Risetime Error	Max	100%	1.50ns
Falltime Error	Max	100%	1.50ns
Deltatime Error(Tr-Tf)	Max	100%	0.50ns
Timing Jitter Error	Max	100%	0.20UI (0.74ns)
Current Jitter Error	Max	100%	0.20UI (0.74ns)
Overshoot Rising Error	Max	100%	10.0%
Overshoot Falling Error	Max	100%	10.0%

Amplitude Error

アイパターンの振幅に関するエラー検出をオンオフします。 設定範囲内であっても、Upper より Lower が大きくなる設定はできません。

Upper:	80 - 140% (640 - 1120mV)
Lower:	40 - 100% (320 - 800mV)

Risetime Error

アイパターンの立ち上がり時間(振幅の20%-80%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

Max: 40 - 140% (0.60 - 2.10ns)

Falltime Error

アイパターンの立ち下がり時間(振幅の80%-20%の時間)に関するエラー検出をオンオフします。

Deltatime Error(Tr-Tf)

アイパターンの立ち上がり時間と立ち下がり時間の差に関するエラー検出をオンオフします。測定 値が設定値を超えると、Tr と Tf の両方が赤く表示されます。

Max: $40 - 140\%$ (0.20 - 0.70ns)

Timing Jitter Error

アイパターンとジッターの、タイミングジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0.02 - 0.40UI、0.07 - 1.48ns)

Current Jitter Error

アイパターンとジッターの、カレントジッターに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 10 - 200% (0.02 - 0.40UI、0.07 - 1.48ns)

Overshoot Rising Error

立ち上がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 0 - <u>100</u> - 200% (0.0 - 20.0%)

Overshoot Falling Error

立ち下がりエッジのオーバーシュートに関するエラー検出をオンオフします。

Max: 0 - 100 - 200% (0.0 - 20.0%)

18. プラグインのインストール (SER08)

IP Live System Manager から SER08 を制御するには、プラグインをインストールする必要があります。

プラグイン名: LEADERCorporation.LV5490SER08.V*.**.Jar

※ *.**はプラグインのバージョンです。

以下の手順で IP Live System Manager にプラグインをインストールしてください。

1. IP Live System Manager を起動するとログイン画面が表示されます。 の上段にユーザー 名、下段にパスワードを入力し、 のたクリックしてログインします。

IP Live System Manager	
Remember the credentials to skip the login.	

図 18-1 ログイン画面

2. トップ画面が表示されます。左側 2 列目の Plug-in をクリックします。



図 18-2 トップ画面

3. プラグイン一覧画面が表示されます。右下側の Install をクリックします。



図 18-3 プラグイン一覧画面

 画面中央に Select Install File ダイアログが表示されます。プラグイン
 (LEADERCorporation.LV5490SER08.V*.**.Jar)右側の Browse をクリックしプラグインを選択してから、OK をクリックします。

elect Install File	_	_
Select a plug-in file to upload to the server.		
LEADERCorporation.LV5490SER08.V1.00	jar	Browse
	ОК	Cancel

図 18-4 Select Install File ダイアログ

5. インストールが成功すると Select Install File ダイアログに File upload is succeeded が表示されま すので、OK をクリックしてインストールを完了します。

Select Install File						
File upload is succeeded.						
	ОК					

図 18-5 Select Install File ダイアログ

6. プラグイン一覧画面に戻り、Plug-in List にインストールしたプラグインが表示されます。



図 18-6 プラグイン一覧画面 (インストール後)

19. リモートコントロール

背面パネルのリモート端子を介して、プリセットの呼び出しやアラームの出力などができます。付属の D サブ 15 ピンコネクターを使用して、コントロールしてください。

ピン配列

背面パネルから見たリモート端子図と、ピン配列を以下に示します。



図 19-1 リモート端子図 (メス、インチねじ)

表 19-1 リモート端子のピン配列

ピン番号	名称	I/O (*1)	機能
1	OPEN	-	オープン (*2)
2	/P1	Ι	プリセットリコール 1
3	/P2	Ι	プリセットリコール 2
4	/P3	Ι	プリセットリコール 3
5	/P4	Ι	プリセットリコール 4
6	/P5	Ι	プリセットリコール 5
7	/P6	Ι	プリセットリコール 6
8	/P7	Ι	プリセットリコール 7
9	/P8	Ι	プリセットリコール 8
10	/ACH	Ι	Ach 選択
11	/BCH	Ι	Bch 選択
12	/CCH	Ι	Cch 選択
13	/DCH	Ι	Dch 選択
14	ALARM	0	アラーム出力
15	GND	-	グラウンド

*1 I(入力)は、すべて+3.3V にプルアップされていますが、+5V 入力できます。

*2 何も接続しないでください。

• 本体の設定

リモート端子の設定はシステム設定で行います。「7.2.3 リモートの設定」を参照してください。

SYS	\rightarrow	F•2	SYSTEM	SETUP	→ F• 3	NEXT	TAB (>	<2) →		
GENER		Remot	e Mode		Bit	&T THE		■Binary		
	ļ	Alarm Alarm	Polarity Select	2 2 2 2	Positive A C			■Negative ≪B ≪D		

図 19-2 REMOTE SETUP タブ

• コントロール

入力端子の制御は Low アクティブです。+5V を超える電圧やマイナスの電圧を加えないでください。 また、設定は 350ms 以上の安定した状態を保ち、一度設定した後は1秒以上の間隔を空けてから次の 設定をしてください。



図 19-3 コントロールタイミング1

なお、設定から動作完了まで3秒程度かかることがあります。動作完了前に次の設定を続けて行うと 最後の設定のみが有効となり、途中の設定は無効になりますので注意してください。(以下の場合、コ ントロール2が無効となります)



図 19-4 コントロールタイミング2

• プリセットの呼び出し

Remote Mode が Bit のときのコントロール表を以下に示します。

プリセット	9р	8p	7р	6р	5р	4р	3р	2р
No.	/P8	/P7	/P6	/P5	/P4	/P3	/P2	/P1
1	Н	Н	Н	Н	Η	Н	Η	L
2	Н	Н	Н	Н	Н	Н	L	Н
3	Н	Н	Н	Н	Н	L	Н	Η
4	Н	Н	Н	Н	L	Н	Н	Η
5	Н	Н	Н	L	Н	Н	Н	Н
6	Н	Н	L	Н	Н	Н	Н	Η
7	Н	L	Н	Н	Н	Н	Н	Н
8	L	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н

表 19-2 プリセットの呼び出し (Bit)

Remote Mode が Binary のときのコントロール表を以下に示します。

プリセット	7р	6р	5р	4р	3р	2р
No.	/P6	/P5	/P4	/P3	/P2	/P1
1	Н	Н	Н	Н	Н	L
2	Н	Н	Н	Н	L	Н
3	Н	Н	Н	Н	L	L
4	Н	Н	Н	L	Н	Н
5	Н	Н	Н	L	Н	L
6	Н	Н	Н	L	L	Н
7	Н	Н	Н	L	L	L
8	Н	Н	L	Н	Н	Н
9	Н	Н	L	Н	Н	L
10	Н	Н	L	Н	L	Н
11	Н	Н	L	Н	L	L
12	Н	Н	L	L	Н	Н
13	Н	Н	L	L	Н	L
14	Н	Н	L	L	L	Н
15	Н	Н	L	L	L	L
16	Н	L	Н	Н	Н	Н
17	Н	L	Н	Н	Н	L
18	Н	L	Н	Н	L	Н
19	Н	L	Н	Н	L	L
20	Н	L	Н	L	Н	Н
21	Н	L	Н	L	Н	L
22	Н	L	Н	L	L	Н
23	Н	L	Н	L	L	L
24	Н	L	L	Н	Н	Н
25	Н	L	L	Н	Н	L
26	Н	L	L	Н	L	Н

表 19-3 プリセットの呼び出し (Binary)

19. リモートコントロール

プリセット	7р	6р	5р	4р	3р	2р
No.	/P6	/P5	/P4	/P3	/P2	/P1
27	Н	L	L	Н	L	L
28	Н	L	L	L	Н	Н
29	Н	L	L	L	Н	L
30	Н	L	L	L	L	Н
31	Н	L	L	L	L	L
32	L	Н	Н	Н	Н	Н
33	L	Н	Н	Н	Н	L
34	L	Н	Н	Н	L	Н
35	L	Н	Н	Н	L	L
36	L	Н	Н	L	Н	Н
37	L	Н	Н	L	Н	L
38	L	Н	Н	L	L	Н
39	L	Н	Н	L	L	L
40	L	Н	L	Н	Н	Н
41	L	Н	L	Н	Н	L
42	L	Н	L	Н	L	Н
43	L	Н	L	Н	L	L
44	L	Н	L	L	Н	Н
45	L	Н	L	L	Н	L
46	L	Н	L	L	L	Н
47	L	Н	L	L	L	L
48	L	L	Н	Н	Н	Н
49	L	L	Н	Н	Н	L
50	L	L	Н	Н	L	Н
51	L	L	Н	Н	L	L
52	L	L	Н	L	Н	Н
53	L	L	Н	L	Н	L
54	L	L	Н	L	L	Н
55	L	L	Н	L	L	L
56	L	L	L	Н	Н	Н
57	L	L	L	Н	Н	L
58	L	L	L	Н	L	Н
59	L	L	L	н	L	L
60	L	L	L	L	н	н

• アラーム出力

以下のときに、14p(ALARM)からアラームを出力します。 アラーム出力の対象は、現在選択しているグループ(1A~1D または 2A~2D)の全チャンネルです。た だし、3G-B-DS または 3G(DL)-4K の測定時は、現在表示しているチャンネルのみアラーム出力しま す。

- ・SYS メニューの FORMAT ALARM タブの Format Set で指定したフォーマット以外が入力されたとき
- ・STATUS メニューの F•5 STATUS SETUP で ON にした項目にエラーが発生したとき
- ・EYE メニューの $\overline{F \bullet 4}$ ERROR SETUP で ON にした項目にエラーが発生したとき
- ・ファンに異常が発生したとき
- ・内部温度が上昇したとき (SYS メニューの F•3 SYSTEM INFO で Temperature が赤くなったとき)

20. イーサネットコントロール

背面パネルのイーサネット端子を介して、本器のリモートコントロールができます。 なお、イーサネットによるリモートコントロールは、ローカルネットワーク環境でのみ動作確認していま す。いかなるネットワーク環境での動作を保証するものではありません。

20.1 TELNET

ネットワークに接続された PC から、パネル操作とほぼ同等の操作をリモートコントロールできます。

- 20.1.1 使用方法
 - 1. ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、TELNET Server を ON にします。 TELNET の使用中、LV5490-01(REMOTE CONTROLLER)は使用できません。また、LV5490-01 を ON にすると、TELNET は使用できません。 【参照】「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS \rightarrow F•2 SYSTEM SETU GENERAL SETUPETHERNET SETUP	$JP \rightarrow F \bullet 2 PREV T$	ABまたは F•3 NEXT	$T TAB \rightarrow$
Ethernet Select TCP/IP IP Address Subnet Mask Default Gateway	■ DHCP 192 · 168 · 0 255 · 255 · 255 0 · 0 · 0	FIP	
SNTP Client Select Server IP Address Time Zone Adjust	₩0FF	- ON	
TELNET Server FTP Server HTTP Server	≡0FF ¤0FF ¤0FF	III ON III ON III ON	■LV5490-01
SNMP Read SNMP Trap MAC Address	¤OFF ∞OFF 00:00:00:00:00:00	■ ON ■ ON	≢Write

図 20-1 ETHERNET SETUP タブ

- 2. F•1 COMPLETE を押します。
- 3. 本体のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
- 4. PC上で TELNET を起動します。

たとえば Windows 7 の場合、「スタートメニュー」→「ファイル名を指定して実行」→ 「TELNET (手順 1 で設定した IP アドレス)」→「OK」で起動できます。 (TELNET を使用するには、「コントロール パネル」→「プログラムと機能」→「Windows の 機能の有効化または無効化」→「Telnet クライアント」をオンにする必要があります) 5. ログイン名とパスワードを入力します。

ログイン名とパスワードは「LV5490」です。大文字で入力してください。 ログイン名とパスワードが正しく入力されると、「LV5490@LV5490:~\$」が表示されます。

LV5490 login: LV5490 Password: ****** LV5490@LV5490:~\$

6. TELNET コマンドを入力します。

「20.1.2 コマンドの入力方法」「20.1.3 TELNET コマンド」を参照して、コマンドを入力してください。

TELNET を終了するときは、小文字で「exit」を入力します。

LV5490@LV5490:~\$ exit

20.1.2 コマンドの入力方法

コマンドの書式は以下のとおりです。(パラメーターはない場合もあります) 現在の値を問い合わせる場合は、パラメーターを「?」としてください。

LV5490@LV5490:~\$ [コマンド] + [半角スペース] + [パラメーター]

コマンドの入力例を以下に示します。

• ステータス表示画面を表示するとき

LV5490@LV5490:~\$ STATUS

ピクチャーにセンターマーカーを表示するとき

LV5490@LV5490:~\$ PIC:MARKER:CENTER ON

• ベクトル波形の輝度を問い合わせるとき

LV5490@LV5490:~\$ VECTOR:INTEN ?

- * コマンドは大文字、小文字のどちらでも使用できます。
- * 表示チャンネルの選択コマンドは、シングル、サイマル表示モードや SDI 信号の入力設定によって、異なりますので INPUT KEY コマンドを確認してください。
- * 測定値/検出値を取得する場合は、INPUT KEY コマンドで取得したいチャンネルの測定画面を表示している必要 があります。

さらに、4K 3G QUAD LINK、4K 3G DUAL LINK 、4K HD QUAD LINK、3G DUAL LINK、HD DUAL LINK設 定では、各測定項目のリンクの選択コマンドに従って、リンクも選択する必要があります。
20.1.3 TELNET コマンド

TELNET コマンドは、本体またはユニットのメニュー構成に準じています。各項目についての説明 は、本書またはファンクションメニュー説明書を参照してください。現在の設定によっては、記載 の一部が無効となることがあります。

• INPUT KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター	
-	INP:SIMUL	SINGLE / SIMUL / ?	
-	INP_SINGLE:A	ON / ? (戻り値:ON(Ach 選択) / OFF(非選択))	SD/HD/3G-A/3G-B-DL、3G-
-	INP_SINGLE:B	ON / ? (戻り値:ON(Bch 選択) / OFF(非選択))	B-DSの1入力モード時に、表
-	INP_SINGLE:C	ON / ? (戻り値:ON(Cch 選択) / OFF(非選択))	示チャンネルを選択します。
-	INP_SINGLE:D	ON / ? (戻り値:ON(Dch 選択) / OFF(非選択))	
-	INP:SIMUL:A	OFF / ON / ? (戻り値:Ach 表示の ON/OFF)	SD/HD/3G-A/3G-B-DL、3G-
-	INP:SIMUL:B	OFF / ON / ? (戻り値:Bch 表示の ON/OFF)	B-DS のサイマルモード時に、
-	INP:SIMUL:C	OFF / ON / ? (戻り値:Cch 表示の ON/OFF)	表示チャンネルを選択します。
-	INP:SIMUL:D	OFF / ON / ? (戻り値:Dch 表示の ON/OFF)	
-	INP_12G:A	ON / ? (戻り値:ON(Ach 選択) / OFF(非選択))	4K 12G の表示チャンネルを選
-	INP_12G:B	ON / ? (戻り値:ON(Bch 選択) / OFF(非選択))	択します。
-	INP_12G:C	ON / ? (戻り値:ON(Cch 選択) / OFF(非選択))	
-	INP_12G:D	ON / ? (戻り値:ON(Dch 選択) / OFF(非選択))	
-	INP:D_SINGLE:A	ON / ? (戻り値:A-B ペア ch 表示の ON/OFF)	4K 3G Dual Link、HD Dual
	В		Link、3G Dual Linkの1入力
-	INP:D_SINGLE:C	ON / ? (戻り値:C-D ペア ch 表示の ON/OFF)	モード時に、表示チャンネルを
	D		選択します。
-	INP:D_SIMUL:AB	OFF / ON / ? (戻り値:A-B ペア ch 表示の ON/OFF)	HD Dual Link、3G Dual Link
-	INP:D_SIMUL:CD	OFF / ON / ? (戻り値:C-D ペア ch 表示の ON/OFF)	のサイマルモード時に、表示チ
			ャンネルを選択します。
-	INP_GROUP	GROUP1 / GROUP2 / ?	
-	INP_OPERATE	COM / INDIVIDUAL / ?	

• EXT KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	EXT	INT / EXT / ?

• MULTI KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	MULTI	なし
-	USER:LYT	USER1 / USER2 / USER3 / USER4 / USER5 / ?

• CAP KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	CAP:TRIGGER	MANUAL / ERROR / ?
WO	CAP:REFRESH	なし
-	CAP:DISPLAY	REAL / HOLD / BOTH / ?
-	CAP:FILE:BMP	OFF / ON / ?
-	CAP:FILE:BSG	OFF / ON / ?
-	CAP:FILE:DPX	OFF / ON / ?
-	CAP:FILE:TIF	OFF / ON / ?
-	CAP:FILE:FRM	OFF / ON / ?
WO	CAP:FILE:STORE	なし
WO	MAKE	CAP_BMP / CAP_BSG / CAP_FRM / CAP_DPX /
		CAP_TIF / LOG / DUMP
		* ファイル作成コマンド。作成したファイルは FTP で
		取得する。

• PSET KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	PSET	1~60

SYS KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	SYS:INITIALIZE	なし
WO	SYS:LAYOUT:INIT	なし
WO	SYS:ALL:INIT	なし
WO	SYS:LCD:OFF	なし
WO	SYS:LCD:ON	なし
-	SYS:LCD:BACKLIGHT	1~32/?

• SDI IN TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:SDI:SYSTEM	4K_12G / 4K_3G_QLINK / 4K_3G_DLINK /
		4K_HD_QLINK / SINGLE_LINK / HD_DLINK /
		3G_DLINK / 3GB_DSTREAM / ?
		* パラメーターと設定の対応
		4K_12G:4K 12G
		4K_3G_QLINK : 4K 3G QUAD LINK
		4K_3G_DLINK : 4K 3G DUAL LINK
		4K_HD_QLINK : 4K HD QUAD LINK
		SINGLE_LINK : SD/HD/3G-A/3G-B-DL
		HD_DLINK : HD DUAL LINK
		3G_DLINK : 3G DUAL LINK
		3GB_DSTREAM: 3G-B-DS
-	SYS:COLORIMETRY	PID / BT709 / BT2020 / DCI / ?
-	SYS:HFR_MODE	OFF / X2 / X4 / X8 / ?
-	SYS:FMT:PID	USE / NOTUSE / ?
-	SYS:FMT:IPSF	INTERLACE / SEGMENTFRAME / ?
-	SYS:FMT:DIVISION	SQUARE / 2SAMPLE / ?
-	SYS:FMT:COLORSYS	YCBCR422 / YCBCR444 / RGB444 / XYZ444 / ?
-	SYS:FMT:PIXDEPTH	10BIT / 12BIT / ?
-	SYS:XYZ_GAMMA	BOTTOM_ZERO / DCI / ?
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• FORMAT ALARM TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:FMT_ALM	OFF / ON / ?
-	SYS:FMT_ALM:SYSTEM	3840_2160_12G_TYPE1 / 4096_2160_12G_TYPE1 /
		3840_2160_3GBDL_QUAD /
		4096_2160_3GBDL_QUAD /
		3840_2160_3GA_QUAD / 4096_2160_3GA_QUAD /
		3840_2160_3GBDS_DUAL /
		4096_2160_3GBDS_DUAL / 3840_2160_HD_QUAD
		/ 4096_2160_HD_QUAD / 1920_1080_3GBDL /
		2048_1080_3GBDL / 1280_720_3GA /
		1920_1080_3GA / 2048_1080_3GA / 1280_720_HD
		/ 1920_1080_HD / 720_487_SD / 720_576_SD /
		1920_1080_HD_DUAL / 2048_1080_HD_DUAL /
		1280_720_3GBDS / 1920_1080_3GBDS /
		1920_1080_3GBDL_DUAL /
		2048_1080_3GBDL_DUAL / 1920_1080_3GA_DUAL
		/ 2048_1080_3GA_DUAL / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:FMT_ALM:STRUCT	YCBCR422_10BIT / YCBCR422_12BIT /
		YCBCR444_10BIT / YCBCR444_12BIT /
		RGB444_10BIT / RGB444_12BIT / XYZ444_12BIT
		/?
-	SYS:FMT_ALM:FRAME_FIELD	60P / 5994P / 50P / 48P / 30P / 2997P / 25P /
		4795P / 24P / 2398P / 60I / 5994I / 50I / 30PSF /
		2997PSF / 25PSF / 24PSF / 2398PSF / ?
-	SYS:FMT_ALM:DIVI	SQUARE / 2SAMPLE / ?
-	SYS:FMT_ALM:FLAG:COLOR	OFF / ON / ?
-	SYS:FMT_ALM:COLOR	BT_709 / BT_2020 / DCI / ?
RO	SYS:FMT:SDIIN:A	? (Ach のビデオフォーマット情報)
RO	SYS:FMT:SDIIN:B	? (Bch のビデオフォーマット情報)
RO	SYS:FMT:SDIIN:C	? (Cch のビデオフォーマット情報)
RO	SYS:FMT:SDIIN:D	? (Dch のビデオフォーマット情報)
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• SDI OUT TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:SDI:BNC	OUTPUT / INPUT / ?
-	SYS:SDI:OUTPUT:MODE	INPUT_THROUGH / TEST_SIGNAL / ?
-	SYS:SDI:OUTPUT	ACH / ABCD / ?
-	SYS:TSG:SYSTEM	3840_2160_3GBDL_QUAD /
		4096_2160_3GBDL_QUAD /
		3840_2160_3GA_QUAD / 4096_2160_3GA_QUAD /
		3840_2160_3GBDS_DUAL /
		4096_2160_3GBDS_DUAL / 1920_1080_3GBDL /
		2048_1080_3GBDL / 1920_1080_3GA /
		2048_1080_3GA / 1920_1080_HD / ?
-	SYS:TSG:STRUCT	YCBCR422_10BIT / YCBCR444_10BIT /
		RGB444_10BIT /XYZ444_12BIT / ?
-	SYS:TSG:FRAME_FIELD	60P / 5994P / 50P / 48P / 30P / 2997P / 25P /
		4795P / 24P / 2398P / 60I / 5994I / 50I / 30PSF /
		2997PSF / 25PSF / 24PSF / 2398PSF / ?
-	SYS:TSG:DIVI	SQUARE / 2SAMPLE / ?
-	SYS:TSG:PTN	COLOR_BAR_100 / COLOR_BAR_75 /
		MULTI_COL_BAR / COLOR_RASTER /
		CROSS_HATCH / 10STEP / LIMIT_RAMP / ?
-	SYS:TSG:YCB:Y	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:YCB:Y:VAL	4~1019 / ?
-	SYS:TSG:YCB:CB	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:YCB:CB:VAL	4~1019 / ?
-	SYS:TSG:YCB:CR	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:YCB:CR:VAL	4~1019 / ?
-	SYS:TSG:RGB:R	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:RGB:R:VAL	4~1019 / ?
-	SYS:TSG:RGB:G	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:RGB:G:VAL	4~1019 / ?
-	SYS:TSG:RGB:B	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:RGB:B:VAL	4~1019 / ?
-	SYS:TSG:SCRL	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:SCRL:DIREC	RIGHT / LEFT / UP / DOWN / RIGHT_UP /
		RIGHT_DOWN / LEFT_UP / LEFT_DOWN / ?
-	SYS:TSG:SCRL:SPEED	4~124 / ?
-	SYS:TSG:BOX	OFF / ON / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:TSG:BOX:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / BLACK / ?
-	SYS:TSG:BOX:SPEED	1~3/?
-	SYS:TSG:PHS	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:PHS:DIREC	H/V/?
-	SYS:TSG:PHS:H:BCH	-1374~1374 / ?
-	SYS:TSG:PHS:H:CCH	-1374~1374 / ?
-	SYS:TSG:PHS:H:DCH	-1374~1374 / ?
-	SYS:TSG:PHS:V:BCH	-562~562 / ?
-	SYS:TSG:PHS:V:CCH	-562~562 / ?
-	SYS:TSG:PHS:V:DCH	-562~562 / ?
-	SYS:TSG:AUDIO:G1	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:AUDIO:G2	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:AUDIO:G3	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:AUDIO:G4	OFF / ON / ?
-	SYS:TSG:AUDIO:LVL	M20DBFS / M18DBFS / 0DBFS / MUTE / ?
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• HDR TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:HDR:ENABLE	OFF / ON / ?
-	SYS:HDR:HDR_CURVE	HLG / PQ / SLOG3 / ?
-	SYS:HDR:MAX	MAX_10000 / MAX_4000 / MAX_1000 / ?
-	SYS:HDR:GAMMA	OFF / ON / ?
-	SYS:HDR:REF:PQ	P51 / P58 / ?
-	SYS:HDR:REF:HLG	P50 / P75 / ?
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• AUDIO IN/OUT TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:AUD:BNC:A	INPUT / OUTPUT / ?
-	SYS:AUD:BNC:B	INPUT / OUTPUT / ?
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• MONITOR OUT TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:RASTER:SYNC	INT / EXTSIG / ?
-	SYS:RASTER:FORMAT	1080_60P / 1080_5994P / 1080_50P / ?
-	SYS:RASTER:SDIOUT:MODE	RASTER / ROUTER / ?
-	SYS:RASTER:SDIOUT:FMT	HD_SDI / 3G_SDI-A / 3G_SDI-B / ?
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• 12G SDI OUT TAB MENU (SYS \rightarrow SIGNAL IN OUT) (*1)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:12G:OUTPUT	INPUT / 12G / NO / ?
-	SYS:12G:FRAME_RATE	60P / 5994P / 50P / ?
WO	SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*1 設定後は SYS:SIGNAL_IN_OUT:COMPLETE を実行してください。

• GENERAL SETUP TAB MENU (SYS \rightarrow SYSTEM SETUP) (*2)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:BOOT:MODE	NORMAL / FAST / ?
-	SYS:CAPMODE	SCREEN / VIDEO_FRAME / ?
-	SYS:INFODISP:FORMAT	OFF / ON / ?
-	SYS:INFODISP:DATE	OFF / YMD / MDY / DMY / ?
-	SYS:INFODISP:TIME	OFF / REALTIME / LTC / VITC / DVITC / ?
-	SYS:INFODISP:INPUT	OFF / ON / ?
-	SYS:INFODISP:ICON	OFF / ON / ?
	SYS:INFODISP:ERROR	OFF / ON / ?
-	SYS:MENU:AUTOOFF	OFF / ON / ?
-	SYS:MENU:OFFTIME	1~60 / ?
-	SYS:MENU:RECALL_MENU	RECALL / FUNCTION / ?
-	SYS:LCD:AUTO:OFF	OFF / 5MIN / 30MIN / 60MIN / ?
-	SYS:FAN:SPEED	1~5/?
-	SYS:FAN:WARNING	OFF / ON / ?
WO	SYS:SYSTEM_SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*2 設定後は SYS:SYSTEM_SETUP:COMPLETE を実行してください。

• ETHERNET SETUP TAB MENU (SYS \rightarrow SYSTEM SETUP) (*3)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:ETHERNET:SELECT	DHCP / IP / ?
-	SYS:IP:IPADR:SEG1	0~255 / ?
-	SYS:IP:IPADR:SEG2	0~255 / ?
-	SYS:IP:IPADR:SEG3	0~255 / ?
-	SYS:IP:IPADR:SEG4	0~255 / ?
-	SYS:IP:MASK:SEG1	0~255 / ?
-	SYS:IP:MASK:SEG2	0~255 / ?
-	SYS:IP:MASK:SEG3	0~255 / ?
-	SYS:IP:MASK:SEG4	0~255 / ?
-	SYS:IP:GATE:SEG1	0~255 / ?
-	SYS:IP:GATE:SEG2	0~255 / ?
-	SYS:IP:GATE:SEG3	0~255 / ?
-	SYS:IP:GATE:SEG4	0~255 / ?
-	SYS:SNTP:SELECT	OFF / ON / ?
-	SYS:SNTP:IPADR:SEG1	0~255 / ?
-	SYS:SNTP:IPADR:SEG2	0~255 / ?
-	SYS:SNTP:IPADR:SEG3	0~255 / ?
-	SYS:SNTP:IPADR:SEG4	0~255 / ?
-	SYS:SNTP:TZ:ADJ	0(-12)~24(+12)
-	SYS:TELNET:SELECT	OFF / ON / ?
-	SYS:FTP:SELECT	OFF / ON / ?
-	SYS:HTP:SELECT	OFF / ON / ?
-	SYS:SNMP:READ	OFF / ONLY(read only) / WRITE / ?
-	SYS:SNMP:TRAP	OFF / ON / ?
WO	SYS:ETHERNET:UPDATE	なし

*3 設定後は SYS: ETHERNET: UPDATE を実行してください。

• REMOTE SETUP TAB MENU (SYS \rightarrow SYSTEM SETUP) (*2)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:REMOTE:MODE	BIT / BINARY / ?
-	SYS:REMOTE:ALM:POLARITY	POSITIVE / NEGATIVE / ?
-	SYS:REMOTE:ALM:A	OFF / ON / ?
-	SYS:REMOTE:ALM:B	OFF / ON / ?
-	SYS:REMOTE:ALM:C	OFF / ON / ?

-	SYS:REMOTE:ALM:D	OFF / ON / ?
WO	SYS:SYSTEM_SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*2 設定後は SYS:SYSTEM_SETUP:COMPLETE を実行してください。

• DATA & TIME TAB MENU (SYS \rightarrow SYSTEM SETUP) (*4)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	SYS:DATE:DAY	1~31/?
-	SYS:DATE:MONTH	1~12 / ?
-	SYS:DATE:YEAR	2000~2099 / ?
-	SYS:TIME:HOUR	0~23 / ?
-	SYS:TIME:MIN	0~59 / ?
-	SYS:TIME:SEC	0~59 / ?
WO	SYS:SET:DATE_TIME	なし
		* 希望の日時に合わせるときは DAY / MONTH / YEAR
		/ HOUR / MIN / SEC すべてを指定してください。

*4 設定後は SYS:SET:DATE_TIME を実行してください。

• INFORMATION TAB MENU (SYS \rightarrow SYSTEM INFO)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
RO	SYS:INFO:FIRMWARE	?
RO	SYS:INFO:BOARD:SDIIN	 ? / なし / あり * LV 5490SER01 SDI INPUT ボード / LV 5490SER02 SDI INPUT/EYE ボード / LV 5490SER06 12G INPUT/EYE ボードの実装状態
RO	SYS:INFO:BOARD:SDIEYE	? / なし / あり * LV 5490SER02 SDI INPUT/EYEボード / LV 5490SER06 12G INPUT/EYE ボードの実装状 態
RO	SYS:INFO:BOARD:AUDIO	?/ なし / あり * LV 5490SER03 DIGITAL AUDIO ボードの実装状態
RO	SYS:IP:MAC	?

• WFM KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	WFM	なし
-	WFM:INTEN	-128~127 / ?
-	WFM:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / MULTI / ?
-	WFM:COLOR:S1	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / MULTI / ?
-	WFM:COLOR:S2	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / MULTI / ?
-	WFM:SCALE:INTEN	-8~7 / ?
-	WFM:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
-	WFM:SCALE:UNIT	HDV_SDP / HDV_SDV / HDP_SDP / 150P /
		1023_NRM / 1023_255 / 3FF / ?
-	WFM:SCALE:UNIT:NTSC	HDP_SDP / ?
-	WFM:SCALE:UNIT:PAL	HDV_SDV / ?
-	WFM:SCALE:75_COLOR	OFF / ON / ?
-	WFM:GAIN:VAR	CAL / VAR / ?
-	WFM:GAIN:MAG	X1 / X5 / ?
-	WFM:GAIN:VAL	20~200 / ?
		* 対応 20:x0.200 ~ 200:x2.000
-	WFM:FILTER:NORMAL	LOWPASS / FLAT / ?

r/w 制約 パラメーター コマンド FLAT / LUM / FLAT_LUM / LUM_CRMA / ? -WFM:FILTER:CMPST WFM:SWEEP:SWEEP H/V/? _ X1 / X10 / X20 / BLANK / ACTIVE / ? WFM:SWEEP:H MAG WFM:SWEEP:V_MAG X1 / X20 / X40 / ? _ WFM:SWEEP:H SWEEP 1H / 2H / ? -WFM:SWEEP:V_SWEEP 1V/2V/? _ _ WFM:SWEEP:FIELD FIELD1 / FIELD2 / ? WFM:BLANKING:NORMAL REMOVE / V_VIEW / H_VIEW / ALL_VIEW / ? REMOVE / V_VIEW / ? _ WFM:BLANKING:CMPST ON / ON XY / OFF / ? _ WFM:CURSOR WFM:CURSOR:SEL X/Y/? WFM:CURSOR:FD REF / DELTA / TRACK / ? WFM:CURSOR:UNIT sec / Hz / ? (X 選択時) MV / % / R% / DEC / HEX / HDR / ? (Y 選択時) 0~927 / ? (X 選択時) WFM:CURSOR:REF 0~504 / ? (Y 選択時) WFM:CURSOR:DELTA 0~927 / ? (X 選択時) 0~504 / ? (Y <u>選択時)</u> WO WFM:CURSOR:TRACK -927~927 / ? (X 選択時) -504~504 / ? (Y 選択時) WO WFM:CURSOR:REFSET なし WFM:MATRIX:YCBCR YCBCR / GBR / RGB / COMPOSIT / ? -_ WFM:MATRIX:RGB GBR / RGB / COMPOSIT / ? WFM:MATRIX:YGBR OFF / ON / ? -_ WFM:MATRIX:YRGB OFF / ON / ? XYZ / GBR / RGB / COMPOSIT / ? _ WFM:MATRIX:XYZ WFM:MATRIX:CMPST:FORMAT AUTO / NTSC / PAL / ? OP / 7.5P / ? -WFM:MATRIX:CMPST:SETUP WFM:DISP:OVLAY PARADE / OVERLAY / ? _ _ WFM:DISP:YCBCR:CH1 OFF / ON / ? WFM:DISP:YCBCR:CH2 OFF / ON / ? OFF / ON / ? WFM:DISP:YCBCR:CH3 -WFM:DISP:GBR:CH1 OFF / ON / ? -OFF / ON / ? WFM:DISP:GBR:CH2 WFM:DISP:GBR:CH3 OFF / ON / ? WFM:DISP:RGB:CH1 OFF / ON / ? _ WFM:DISP:RGB:CH2 OFF / ON / ? OFF / ON / ? _ WFM:DISP:RGB:CH3 WFM:DISP:XYZ:CH1 OFF / ON / ? _ WFM:DISP:XYZ:CH2 OFF / ON / ? OFF / ON / ? _ WFM:DISP:XYZ:CH3 WFM:DISP:3G-B-DS STREAM1 / STREAM2 / MIX / ALIGN / ? -OFF / ON / ? WFM:DISP:4Y_PARADE WO WFM:POS:MOVE:H -32768~32767 WO WFM:POS:MOVE:V -32768~32767 RO WFM:POS:ABS:H ? ? RO WFM:POS:ABS:V WFM:LINE_SELECT OFF / ON / ? _ WFM:LINE_NUMBER -32768~32767 / ? WFM:LINE_FIELD _ FRAME / FIELD1 / FIELD2 / ?

20. イーサネットコントロール

• VECTOR KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	VECTOR	なし
-	VECTOR:MODE	VECTOR / 5BAR / HISTOGRAM / CIE_DIAGRAM / ?
-	VECTOR:INTEN	-128~127 / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	VECTOR:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
-	VECTOR:COLOR:S1	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
		* 3G-B-DSのストリーム1にて有効
-	VECTOR:COLOR:S2	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
		* 3G-B-DSのストリーム2にて有効
-	VECTOR:SCALE:INTEN	-8~7 / ?
-	VECTOR:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
-	VECTOR:SCALE:IQ	OFF / ON / ?
-	VECTOR:SCALE:VEC	AUTO / BT_601 / BT_709 / DCI / BT_2020 / ?
-	VECTOR:SCALE:5BAR	P / MV
-	VECTOR:SCALE:5BAR:SEQ	GBR / RGB
-	VECTOR:GAIN:VARIABLE	CAL / VAR / ?
-	VECTOR:GAIN:MAG	X1 / X5 / IQ / ?
-	VECTOR:GAIN:VAR	200~10000 / ?
		* 対応 200:x0.200 ~ 10000:x10.000
-	VECTOR:MATRIX	COMPONENT / COMPOSITE / ?
-	VECTOR:MATRIX:COLORBAR	100P / 75P / ?
-	VECTOR:MATRIX:CMPST:FORMAT	AUTO / NTSC / PAL / ?
-	VECTOR:MATRIX:CMPST:SETUP	0P / 7.5P / ?
-	VECTOR:MARKER	OFF / ON / ?
-	VECTOR:MARKER:POS_H	-32768~32767 / ?
-	VECTOR:MARKER:POS_V	-32768~32767 / ?
-	VECTOR:DISP:3G-B-DS	STREAM1 / STREAM2 / MIX / ALIGN / ?
-	VEC:LINE_SELECT	OFF / ON / ?
-	VEC:LINE_NUMBER	-32768~32767 / ?
-	VEC:LINE_FIELD	FRAME / FIELD1 / FIELD2 / ?
-	VECTOR:HIST:SCALE:HDR	% / HDR / ?

• LV5490SER05 CIE DIAGRAM

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	VECTOR:CIE:CURSOR	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:CURSOR:POS_H	-32768~32767 / ?
-	VECTOR:CIE:CURSOR:POS_V	-32768~32767 / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:SUB:TEMP_SCALE	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:COLOR	VEC_CIE_COLOR_BG_COLOR /
		VEC_CIE_COLOR_BG_WHITE /
		VEC_CIE_COLOR_BG_BLACK / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:TRIANGLE1	OFF / BT_601_525 / BT_601_625 / BT_709 / DCI /
		BT_2020 / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:TRIANGLE2	OFF / BT_601_525 / BT_601_625 / BT_709 / DCI /
		BT_2020 / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:SUB:GRID	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:SUB:D65	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:SUB:CAP	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE	OFF / 1 / 2 / ?
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE:COLO	G / B / R / ?
	R	
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE1:G:X	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE1:B:X	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE1:R:X	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE1:G:Y	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE1:B:Y	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE1:R:Y	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE2:G:X	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE2:B:X	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE2:R:X	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE2:G:Y	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE2:B:Y	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:SCALE:USER_TRIANGLE2:R:Y	0~1000 / ?
		* 対応 0:0.000 ~ 1000:1.000
-	VECTOR:CIE:DIAGRAM:TYPE	DIAGRAM / TEMP / ?
-	VECTOR:CIE:DIAGRAM:FILTER	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:DIAGRAM:CLIP	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:DIAGRAM:CIE_STD	CIE1931 / CIE1976 / ?
-	VECTOR:CIE:DIAGRAM:MANUAL	OFF / ON / ?
-	VECTOR:CIE:DIAGRAM:MANUAL:GAMMA:SE	150~300 / ?
	TUP	* 対応 150:1.50~300:3.00

PICTURE KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	PICTURE	なし
-	PIC:COLOR	COLOR / MONO / ?
-	PIC:CHROMA	NORMAL / UP / ?
-	PIC:BRIGHTNESS	-500~500 / ?
		* -500 : -50.0% \sim 500 : 50.0%
-	PIC:CONTRAST	0~2000 / ?
		* 0:0.0% \sim 2000:200.0%
-	PIC:GAIN:R	0~2000 / ?
		* 0:0.0% ~ 2000:200.0%
-	PIC:GAIN:G	0~2000 / ?
		* 0:0.0% \sim 2000:200.0%
-	PIC:GAIN:B	0~2000 / ?
		* 0:0.0% ~ 2000:200.0%
-	PIC:BIAS:R	-500~500 / ?
		* -500 : -50.0% \sim 500 : 50.0%
-	PIC:BIAS:G	-500~500 / ?
		* -500 : -50.0% ~ 500 : 50.0%
-	PIC:BIAS:B	-500~500 / ?
		* -500 : -50.0% \sim 500 : 50.0%
-	PIC:GAIN:CHROMA	0~2000 / ?
		* 0:0.0% ~ 2000:200.0%
-	PIC:MARKER:FRAME	OFF / ON / ?
-	PIC:MARKER:CENTER	OFF / ON / ?
-	PIC:MARKER:ASPECT	OFF / 17_9 / 16_9 / 14_9 / 13_9 / 4_3 / 2.39_1 /
		AFD / ?
-	PIC:MARKER:ASPECT:SHADOW	0~100 / ?
-	PIC:MARKER:SAFETY:ACTION	OFF / ARIB / SMPTE / USER1 / ?

		^
r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	PIC:MARKER:SAFETY:TITLE	OFF / ARIB / SMPTE / USER2 / ?
-	PIC:MARKER:SAFETY:USER1_W	0~100 / ?
-	PIC:MARKER:SAFETY:USER1_H	0~100 / ?
-	PIC:MARKER:SAFETY:USER2_W	0~100 / ?
-	PIC:MARKER:SAFETY:USER2_H	0~100 / ?
-	PIC:DISPLAY:SIZE	FIT / REAL / X2 / FULL_FRM / ?
-	PIC:DISPLAY:GAMUT	OFF / WHITE / RED / MESH
-	PIC:DISPLAY:3G-B-DS	STREAM1 / STREAM2 / MIX / ALIGN / ?
-	PIC:POS:H	-32768~32767 / ?
-	PIC:POS:V	-32768~32767 / ?
-	PIC:CINELITE:DISPLAY	OFF / f_Stop / P_DISPLAY / CINEZONE / ?
-	PIC:CINELITE:ADVANCE	OFF / ON / ?
-	PIC:CINELITE:MEAS_POS	P1 / P2 / P3 / ?
-	PIC:CINELITE:MEAS_NUMS	P1 / P1+P2 / P1+P2+P3 / ?
-	PIC:CINELITE:MEAS_SIZE	1X1 / 3X3 / 9X9 / ?
-	PIC:CINELITE:RGB:UNIT	Y_P / RGB_P / RGB_255 / CODE_VALUE /
		CODE_VALUE_DEC / HDR / ?
WO	PIC:CINELITE:FSTOP:18P_REFSET	なし
-	PIC:CINELITE:FSTOP:GAMMA_SEL	0.45 / USER1 / USER2 / USER3 / USER_A / USER_B / USER_C / USER_D / USER_E / ?
-	PIC:CINELITE:FSTOP:GAMMA:CAL:F	22_0 / 16_0 / 11_0 / 8_0 / 5_6 / 4_0 / 2_8 / 2_0 / ?
WO	PIC:CINELITE:FSTOP:GAMMA:CAL:SET	なし
WO	PIC:CINELITE:FSTOP:GAMMA:CAL:1DATACL	なし
	EAR	
WO	PIC:CINELITE:FSTOP:GAMMA:CAL:TABLECL FAR	なし
WO	PIC:CINELITE:FSTOP:GAMMA:FILE:TABLECL	なし
		22767, 22767 / 2
-		-32/0/~32/0// ?
- PO		-32/0//~32/0// !
RO		2
RO PO		2
-		: CRADATE / STER / SEARCH / 2
		-63~(1004 / 2
	TREENELITE.CINEZONE.OFTER	* $-63 \cdot -63 \sim -1094 \cdot 1094$
_	PIC:CINELITE:CINEZONE:LOWER	-73(-7.3)~1084(108.4) / ?
		* -73 : -7.3 ~ 1084 : 108.4
-	PIC:CINELITE:CINEZONE:LEVEL	-73(-7.3)~1094(109.4) / ?
		* -73 : -7.3 ~ 1094 : 109.4
-	PIC:LINE SELECT	OFF / ON
_	PIC:LINE NUMBER	-32768~32767 / ?
-	PIC:LINE FIELD	FRAME / FIELD1 / FIELD2 / ?
-	PIC:STATUS_INFO	OFF / ON
-	PIC:SN:NOISE	STOP / START / ?
-	PIC:SN:CH	A1 / A2 / TRACK / OFF / ?
-	PIC:SN:SIGNAL	Y/G/B/R/?
-	PIC:SN:LPF	0_404 / 0_323 / 0_269 / 0_202 / 0_101 / 0_0505 /
		THROUGH / ?
-	PIC:SN:SIZE	SMALL / LARGE / ?
-	PIC:SN:HPF	ON / OFF / ?
-	PIC:SN:ALARM:UNIT	ON / OFF / ?
-	PIC:SN:ALARM:LEVEL	-80~0 / ?

• LV 5490SER04 FOCUS ASSIST

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	PIC:FOCUS:ASSIST	OFF / ON / ?
-	PIC:FOCUS:EDGE_COLOR	WHITE / GREEN / RED / BLUE / ?
-	PIC:FOCUS:PIC_LEVEL	OFF / LVL25 / LVL50 / LVL75 / LVL100 / EMBOSS / ?
-	PIC:FOCUS:SENSITIVE	LOW / MIDDLE / HIGH / V_HIGH / U_HIGH / ?

• LV 5490SER07 HDR

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	PIC:HDR:UPPER:HLG	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:LOWER:HLG	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:REF:HLG	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:UPPER:PQ_10000	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:LOWER:PQ_10000	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:REF:PQ_10000	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:UPPER:PQ_4000	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:LOWER:PQ_4000	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:REF:PQ_4000	0~1000 / ?
		* 0 : 0.0% \sim 1000 : 100.0%
-	PIC:HDR:UPPER:PQ_1000	0~1000 / ?
		* 0:0.0% ~ 1000:100.0%
-	PIC:HDR:LOWER:PQ_1000	0~1000 / ?
		* 0:0.0% ~ 1000:100.0%
-	PIC:HDR:REF:PQ_1000	0~1000 / ?
		* 0:0.0% ~ 1000:100.0%
-	PIC:HDR:UPPER:SLOG	35~1094 / ?
		* 35 : 3.5% ~ 1094 : 109.4%
-	PIC:HDR:REF:SLOG	35~1094 / ?
		* 35 : 3.5% ~ 1094 : 109.4%
-	PIC:HDR:LOWER:SLOG	35~1094 / ?
		* 35 : 3.5% ~ 1094 : 109.4%
-	PIC:HDR:D_RANGE	NORMAL / HIGH / DISABLE / ?
-	PIC:HDR:MODE	OFF / ON / ?
-	PIC:HDR:BRIGHTNESS	OFF / ON / ?

• STATUS KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	STATUS	なし
WO	STS:SDI_ANLYS:DUMP	なし
WO	STS:SDI_ANLYS:EXT_REF	なし
WO	STS:ANCVIEW	なし
WO	STS:ANCVIEW:DUMP	なし
WO	STS:LOG	なし
WO	STS:ANCPKT	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:EDH	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:PAYLOAD	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:CTRL_PKT	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:CC	なし

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETO	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT ANLYS:V ANC:ARIB:TRIG	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT ANLYS:V ANC:ARIB:USER1	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:USER2	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:SMPTE:AFD	なし
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:SEARCH	なし
WO	STS:ERROR:CLEAR	なし
-	STS:LOG:LOG	STOP / START / ?
-	STS:LOG:MODE	OVER_WR / STOP / ?
-	STS:LOG:USB:AUTO_NAME	OFF / ON / ?
WO	STS:LOG:USB:FILE:STORE	なし
		* STS:LOG:USB:AUTO_NAME が ON のときのみ
		有効
-	STS:SDI_ANLYS:DUMP:MODE	RUN / HOLD / ?
-	STS:SDI_ANLYS:DUMP:MODE_CAP	RUN / HOLD / FRMCAP / ?
-	STS:SDI_ANLYS:DUMP:DISPLAY	SERIAL / COMPONENT / BINARY / LINK_A /
		LINK_B / LINK_AB / STREAM1 / STREAM2 /
		PICTURE / S1_SERIAL / S1_COMPONENT /
		SI_BINARY / S2_SERIAL / S2_COMPONENT /
		$S2_DINART / ?$
-		EAV / SAV / END / START / ?
- WO		
~~~	STS.SDI_ANETS.DOMI.OFE.OSD.FILE.STORE	*
		STS:SDI ANLYS:DUMP:OPE:USB:AUTO NA
		ME が ON のときのみ有効
_	STS:SDI ANLYS:DUMP:OPE:SAMPLE	0~32767 / ?
-	STS:SDI_ANLYS:DUMP:OPE:LINE	0~32767 / ?
-	STS:SDI_ANLYS:DUMP:LINK_SELECT	PICTURE / LINK_A / LINK_B / LINK_C / LINK_D
		/ LINK_1 / LINK_2 / ?
		* 4K 3G DUAL LINK、3G DUAL LINK、および
		HD DUAL LINK で A-Bch 選択時
		LINK_A:Ach、LINK_B:Bchのリンクに対応
		LINK_A:CCN、LINK_B:DCN のワンク選択に対
		INK 1:1ch. INK 2:2ch のリンク選択に対
		応
WO	STS:SDI ANLYS:EXT REF:USER REF	なし
WO	STS:SDI_ANLYS:EXT_REF:DEFAULT	なし
-	STS:SDI_ANLYS:EXT_REF:SELECT	EXT / SDI / ?
-	STS:SDI_ANLYS:EXT_REF:TIMING	LEGACY / SERIAL / ?
-	STS:ANCVIEW:CURSOR	0~73 / ?
		* 0 : S291M MARK DEL $\sim$ 73 : RP196 VITC
-	STS:ANCVIEW:DUMP:HOLD	HOLD / 1S / 3S / ?
-	STS:ANCVIEW:DUMP:MODE	HEX / BINARY / ?
-	STS:ANCVIEW:DUMP:SAMPLE	0~258 / ?
WO	STS:ANCVIEW:PAGE:UP	なし
WO	STS:ANCVIEW:PAGE:DOWN	
-	STS:ANCVIEW:STREAM	STREAM1 / STREAM2 / ?
-		
-		HEX / BINARY / ?
-		JIREAMI / JIREAMIZ / ?
-		
	JIJANUTKITKI_ANLIJUTKL_PKI.PUDE	HEA / DINART / :

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:CTRL_PKT:GROUP	0/1/2/3/?
		* 0 : 1GROUP / 1 : 2GROUP / 2 : 3GROUP /
		3 : 4GROUP
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:CTRL_PKT:STREAM	STREAM1 / STREAM2 / ?
-		TEXT / DIMP / ?
		HD / SD / ANALOG / CELLULAR / 2
_	STS:ANCERT:ERT_ANETS:V_ANC:ARIB:CC:MOD	HEY / BINADY / 2
-	STS.ANCPRT.PRT_ANLTS.V_ANC.ARIB.CC.MOD	HEA / DINART / ?
		0. 250 / 2
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:CC:SMPL	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:CC:STRE	STREAM1 / STREAM2 / ?
	AM	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:DI	TEXT / DUMP / Q_LOG / FORMAT / ?
	SP	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:M	HEX / BINARY / ?
	ODE	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:DU	0~258 / ?
	MP	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:LO	-50~50 / ?
	G	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:ST	STREAM1 / STREAM2 / ?
	REAM	
WO	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:CL	なし
	EAR	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q1	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q2	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q3	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q4	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q5	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q6	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q7	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q8	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q9	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q10	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q11	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q12	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q13	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q14	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q15	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q16	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q17	

r/w 制約	コマンド	パラメーター
1/ 1/ 1/10		
-	STS:ANCPRT:PRT_ANLYS:V_ANC:ARID:NETQ:DI	OFF / ON / ?
	1:Q18	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q19	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q20	
_	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETO:BI	OFF / ON / ?
	T:021	
_		
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / UN / ?
	1:023	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q24	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q25	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q26	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETO:BI	OFF / ON / ?
	T:027	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANIYS:V_ANC:ARIB:NFTO.BI	OFF / ON / ?
	T·028	
-	TIO20	OFF / UN / ?
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	1:Q30	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q31	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:Q32	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S1	
-	STS:ANCPKT:PKT ANLYS:V ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S2	
-	STS: ANCPKT: PKT ANI YS: V ANC: ARIB: NETO: BI	OFF / ON / ?
	T·S3	
-	STS:ANCPRT:PRT_ANLYS:V_ANC:ARID:NETQ:DI	OFF / UN / ?
-	SIS:ANCPKI:PKI_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	UFF / UN / ?
	T:S6	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S7	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S8	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S9	
-	STS:ANCPKT:PKT ANLYS:V ANC:ARIB:NETO:BI	OFF / ON / ?
	T:S10	
-	STS-ANCPKT-PKT ANIYS-V ANC-ARTR-NETO-RT	OFE / ON / ?
_		
-	TIC12	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	UFF / UN / ?
	1:513	

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-		OFF / ON / 2
_	T.C14	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S15	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:BI	OFF / ON / ?
	T:S16	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETQ:US	OFF / ON / ?
	B:AUTO NAME	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:NETO:US	なし
	B:FILE:STORE	
_	STS: ANCPKT: PKT ANI YS: V ANC: ARIB: TRIG: DI	TEXT / DUMP / ?
_	STSVANCORTORT ANILYSVY ANCIADIBITRICIMO	HEY / BINADY / 2
_	DE	HEX / DINART / :
		0. 250 ( 2
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:TRIG:SM	0~258 / ?
	PL	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:TRIG:ST	STREAM1 / STREAM2 / ?
	REAM	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:USER1:M	HEX / BINARY / ?
	ODE	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:USER1:D	0~258 / ?
	UMP	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:USER1:S	STREAM1 / STREAM2 / ?
	TRFAM	
-	STS: ANCPKT: PKT ANI YS: V ANC: ARIB: USER 2: M	HEX / BINARY / ?
		00/259 / 2
_	IMD	0.2307 :
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:ARIB:USER2:S	STREAMI / STREAMZ / ?
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:SMPTE:AFD:DI	IEXI / DUMP / ?
	SP	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:SMPTE:AFD:M	HEX / BINARY / ?
	ODE	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:V_ANC:SMPTE:AFD:ST	STREAM1 / STREAM2 / ?
	REAM	
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:CSTM:ID_SET:DID	0~255 / ?
-	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:CSTM:ID_SET:SDID	-1~255 / ?
WO	STS:ANCPKT:PKT ANLYS:CSTM:ID SET:SET	なし
_	STS:ANCPKT:PKT_ANLYS:CSTM:MODE	HEX / BINARY / ?
_	STS:ANCPKT:PKT_ANIYS:CSTM:YC	Y/C/?
_	STS·ΔΝΟΡΚΤ·ΡΚΤ ΔΝΙΥS·CSTM·STPFAM	STREAM1 / STREAM2 / ?
_		$0_{\alpha}/258/2$
-		
-	STS.ANCPRT.LINK_SELECT	LINK_A/LINK_D/LINK_C/LINK_D/LINK_I/
		** 4K 3G QUAD LINK、4K HD QUAD LINK 時
		LINK_A:Ach、 LINK_B:Bch、LINK_C:Cch、
		LINK_D:DCN のリンクに対応
		4K 3G DUAL LINK、3G DUAL LINK、および
		HD DUAL LINK で A-Bch 選択時
		LINK_A:Ach、 LINK_B:Bch のリンクに対応
		C-Dch 選択時
		LINK_A:Cch、 LINK_B:Dch のリンク選択に
		対応
		SIMUL 時
		LINK_1:1ch, LINK_2:2ch のリンク選択に対
		応

# • ERROR SETUP1 TAB MENU (STATUS $\rightarrow$ STATUS SETUP) (*5)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	STS:ERROR:SDI:COUNTER	SEC / FIELD / ?
-	STS:ERROR:SDI:TRS	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:HD_LINE	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:HD_CRC	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:SD_EDH	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:ILLEGAL_CODE	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:FREQ	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_3G	LS_5CFB / 1694A / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_HD	LS_5CFB / 1694A / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_SD	L_5C2V / SD_8281 / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_ERR_3G	10~105 / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_WAR_3G	10~105 / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_ERR_HD	5~130 / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_WAR_HD	5~130 / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_ERR_SD	50~300 / ?
-	STS:ERROR:SDI:CABLE_WAR_SD	50~300 / ?
WO	STS:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*5 設定後は STS:SETUP:COMPLETE を実行してください。

## • ERROR SETUP2 TAB MENU (STATUS $\rightarrow$ STATUS SETUP) (*5)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	STS:ERROR:ANC:PARITY	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:ANC:CHECKSUM	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:AUDIO:BCH	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:AUDIO:DBN	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:AUDIO:PARITY	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:AUDIO:INHIBIT	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:AUDIO:SAMPLE	OFF / ON / ?
WO	STS:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*5 設定後は STS:SETUP:COMPLETE を実行してください。

# • ERROR SETUP3 TAB MENU (STATUS $\rightarrow$ STATUS SETUP) (*5)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	STS:ERROR:GAMUT:LPF	OFF / HD1M_SD1M / HD28M_SD1M / ?
-	STS:ERROR:GAMUT	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:GAMUT:UPPER	908~1094 / ?
-	STS:ERROR:GAMUT:LOWER	-72~61 / ?
-	STS:ERROR:GAMUT:AREA	0~50 / ?
-	STS:ERROR:GAMUT:DURATION	1~60 / ?
-	STS:ERROR:C_GAMUT	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:C_GAMUT:SETUP	0% / 7.5 % / ?
-	STS:ERROR:C_GAMUT:UPPER	900~1350 / ?
-	STS:ERROR:C_GAMUT:LOWER	-400~200 / ?
-	STS:ERROR:C_GAMUT:AREA	0~50 / ?
-	STS:ERROR:C_GAMUT:DURATION	1~60 / ?
WO	STS:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*5 設定後は STS:SETUP:COMPLETE を実行してください。

# • ERROR SETUP4 TAB MENU (STATUS $\rightarrow$ STATUS SETUP) (*5)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	STS:ERROR:FREEZE	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:FREEZE:UPPER	0~100 / ?
-	STS:ERROR:FREEZE:LOWER	0~100 / ?
-	STS:ERROR:FREEZE:LEFT	0~100 / ?
-	STS:ERROR:FREEZE:RIGHT	0~100 / ?
-	STS:ERROR:FREEZE:DURATION	2~300 / ?
-	STS:ERROR:BLACK	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:BLACK:LEVEL	0~100 / ?
-	STS:ERROR:BLACK:AREA	1~100 / ?
-	STS:ERROR:BLACK:DURATION	1~300 / ?
-	STS:ERROR:LEVEL	OFF / ON / ?
-	STS:ERROR:LEVEL:LUMA:UPPER	-51~766 / ?
-	STS:ERROR:LEVEL:LUMA:LOWER	-51~766 / ?
-	STS:ERROR:LEVEL:CHROMA:UPPER	-400~399 / ?
-	STS:ERROR:LEVEL:CHROMA:LOWER	-400~399 / ?
WO	STS:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*5 設定後は STS:SETUP:COMPLETE を実行してください。

# • STATUS 測定値/検出値の取得

r/w 制約	コマンド	パラメーター
RO	STS:DATA:SIGNAL_A	? (戻り値: DETECT(あり) / NO_SIGNAL(なし))
		* 信号ありなしのみ
RO	STS:DATA:SIGNAL_B	?(戻り値: DETECT(あり) / NO_SIGNAL(なし))
		* 信号ありなしのみ
RO	STS:DATA:SIGNAL_C	?(戻り値: DETECT(あり) / NO_SIGNAL(なし))
		* 信号ありなしのみ
RO	STS:DATA:SIGNAL_D	? (戻り値: DETECT(あり) / NO_SIGNAL(なし))
		* 信号ありなしのみ
RO	STS:DATA:LINK_A	?
		* 戻り値は、SDI 信号種別と、リンク数
		SD / HD / 3G-B-DL / 3G-A / 3G-B-DS / HD
		DUAL / HD QUAD / 3G-B-DS-DUAL / 3G-B-DL
		QUAD / 3G-A QUAD / 12G-TYPE1
RO	STS:DATA:LINK_B	?
		* 戻り値は、SDI 信号種別と、リンク数
		SD / HD / 3G-B-DL / 3G-A / 3G-B-DS / HD
		DUAL / HD QUAD / 3G-B-DS-DUAL / 3G-B-DL
		QUAD / 3G-A QUAD / 12G-TYPE1
RO	STS:DATA:LINK_C	?
		* 戻り値は、SDI 信号種別と、リンク数
		SD / HD / 3G-B-DL / 3G-A / 3G-B-DS / HD
		DUAL / HD QUAD / 3G-B-DS-DUAL / 3G-B-DL
		QUAD / 3G-A QUAD / 12G-TYPE1
RO	STS:DATA:LINK_D	?
		* 戻り値は、SDI 信号種別と、リンク数
		SD / HD / 3G-B-DL / 3G-A / 3G-B-DS / HD
		DUAL / HD QUAD / 3G-B-DS-DUAL / 3G-B-DL
		QUAD / 3G-A QUAD / 12G-TYPE1
RO	STS:DATA:FORMAT_A	?(戻り値: 解像度とフレームレート)
		* 例) 3840×2160 / 59.94P
RO	STS:DATA:FORMAT_B	?(戻り値:解像度とフレームレート)
		* 例) 3840×2160 / 59.94P
RO	STS:DATA:FORMAT_C	?(戻り値: 解像度とフレームレート)
		* 例) 3840×2160 / 59.94P

r/w 制約	コマンド	パラメーター
RO	STS:DATA:FORMAT_D	? (戻り値: 解像度とフレームレート)
		* 例) 3840×2160 / 59.94P
RO	STS:DATA:AUDIO_A	?(戻り値: 1 / 2 / / 16(重畳オーディオチャンネルの
		表示)
		* 1: 1ch ~ 16: 16CH、 - : なしのチャンネル
RO	STS:DATA:AUDIO_B	? (戻り値: 1 / 2 / / 16(重畳オーディオチャンネルの
		表示)
		* 1: 1ch ~ 16: 16CH、 - : なしのチャンネル
RO	STS:DATA:AUDIO_C	? (戻り値: 1 / 2 / / 16(重畳オーディオチャンネルの
		表示)
		* 1:1ch ~ 16:16CH、-:なしのチャンネル
RO	STS:DATA:AUDIO_D	? (戻り値: 1 / 2 / / 16(重畳オーナイオナヤンイルの)
		* 1:1CN ~ 16:16CH、-: なしのナヤノイル
RO		?(戻り値: USER_REF / DEFAULI)
RO	STS:DATA:EXTREF_STAT_A	?(戻り値: INT / IA / ZA / IC / ZC / LINKA / LINKI /
<b>DO</b>		EXTRD / EXTBD / NOSIGNAL)
RU	STS:DATA:EXTREF_HTIME_A	?(仄り恒,时间(US)) * Achの水平方向の位相美
PO		
RU	STS.DATA.EXTREF_HPIA_A	<ul> <li>(戻り値, リノノル奴)</li> <li>* Acb の水平方向の位相差</li> </ul>
RO.	STS DATA FYTREE VI INF A	ACITOSホーク1000世紀左 2 (戸り値・ライン数)
RO	STS.DATA.LATREL_VEINL_A	: (戻り値, リイン数) * Δch の垂直方向の位相差
RO	STS'DATA'EXTREE TOTAL A	?(戻り値:時間(us))
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i		* Ach の水平、垂直を合わせた位相差
RO	STS:DATA:EXTREE B	?(戻り値:USFR RFF / DEFAULT)
RO	STS:DATA:EXTREE STAT B	? (戻り値: INT / 1A / 2A / 1C / 2C / I INKA / I INK1 /
		EXTHD / EXTBB / NOSIGNAL)
RO	STS:DATA:EXTREF HTIME B	?(戻り値: 時間(us))
		* Bchの水平方向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREF_HPIX_B	? (戻り値: サンプル数)
		* Bchの水平方向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREF_VLINE_B	? (戻り値: ライン数)
		* Bch の垂直方向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREF_TOTAL_B	?(戻り値: 時間(us))
		* Bchの水平、垂直を合わせた位相差
RO	STS:DATA:EXTREF_C	?(戻り値: USER_REF / DEFAULT)
RO	STS:DATA:EXTREF_STAT_C	?(戻り値: INT / 1A / 2A / 1C / 2C / LINKA / LINK1 /
		EXTHD / EXTBB / NOSIGNAL)
RO	STS:DATA:EXTREF_HTIME_C	? (戻り値: 時間(us))
		* Cch の水半方向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREF_HPIX_C	?(戻り値:サンブル数)
		* Cch の水平万向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREF_VLINE_C	
RO	STS:DATA:EXTREF_TOTAL_C	? (戻り値: 時間(US)) * - C-t- の-t
		(広ゾ他: USEK_KEF / DEFAULI) 2 (豆り値: TNIT / 1A / 2A / 1C / 2C / ITNIKA / ITNIK4 /
κU	JIJ.UAIA.EAIKEF_JIAI_U	:(広ソ旭, INT / IA / ZA / IC / ZC / LINKA / LINKI / 「EXTHD / EXTRB / NOSTONAL )
PO		
κυ		: (広シ隠・呵囲(us)) * Dch の水平方向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREE HPIX D	?(戻り値・サンプル数)
		* Dch の水平方向の位相差
RO	STS:DATA:EXTREE VLINE D	?(戻り値: ライン数)
		* Dch の垂直方向の位相差

r/w 制約	コマンド	パラメーター
RO	STS:DATA:EXTREF_TOTAL_D	?(戻り値: 時間(us))
		* Dchの水平、垂直を合わせた位相差
RO	STS:DATA:ANC:AUDIO_CTRL1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:AUDIO_CTRL2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:EDH	? (戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:LTC1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:LTC2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:VLTC1	? (戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:VLTC2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:PAYLOAD1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:PAYLOAD2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:AFD1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:AFD2	? (戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:JPN_CC1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:JPN_CC2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:JPN_CC3	? (戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:NETQ1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:NETQ2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:TRIGGER	? (戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:USER1	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:USER2	?(戻り値: DETECT / MISSING)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:PAYLOAD	?(戻り値: ペイロード ID(4BYTE の表示))
		* 例) 8A 4A 20 01
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:STATION	?(戻り値: ステーションコード)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:VCURR	?(戻り値: カレントビデオフォーマット)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:VNEXT	? (戻り値: ネクストビデオフォーマット)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:ACURR	?(戻り値: カレントオーディオモード)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:ANEXT	?(戻り値: ネクストオーディオモード)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:DCURR	? (戻り値: カレントオーディオダウンミックスモード)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:ARIB:NETQ:DNEXT	? (戻り値: ネクストオーディオダウンミックスモード)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:SMPTE:AFD:CODE	?(戻り値: AFD コード)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:SMPTE:AFD:FRAME	? (戻り値: アスペクトレシオ)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:SMPTE:AFD:BAR:FLG	?(戻り値: AFD バーデータフラグ)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:SMPTE:AFD:BAR:VAL1	? (戻り値: AFD バーデータ 1)
RO	STS:DATA:ANC:PKT:SMPTE:AFD:BAR:VAL2	? (戻り値: AFD バーデータ 2)

#### • EYE KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	EYE	なし
-	EYE:EYE:INTEN	-128~127 / ?
-	EYE:EYE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
-	EYE:EYE:SCALE:INTEN	-8~7 / ?
-	EYE:EYE:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA /
		RED / BLUE / ?
-	EYE:MODE	EYE / JITTER / ?
-	EYE:EYE:SETUP:GAIN:VAR	CAL / VAR / ?
-	EYE:EYE:SETUP:GAIN:VAL	50~200 / ?
		* 50: x0.50 ~ 200: x2.00
-	EYE:EYE:SETUP:SWEEP	2UI / 4UI / 16UI / ?
-	EYE:EYE:SETUP:FILTER	100KHZ / 1KHZ / 100HZ / 10HZ / TIMING /
		ALIGNMENT / ?
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR	OFF / ON
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:XY_SEL	X / Y / TR_TF / ?
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:FD	REF / DELTA / TRACK / ?
WO	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:REFSET	なし

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:RESET	なし
WO	EYE: JIT: SETUP: CURSOR: RESET	なし
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:X:UNIT	SEC / HZ / UI_PP / ?
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:X:REF	0~1710 / ?
WO	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:X:TRACK	-1710~1710
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:X:DELTA	0~1710 / ?
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:Y:UNIT	V / P / ?
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:Y:REF	0~900 / ?
WO	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:Y:TRACK	-900~900
-	EYE:EYE:SETUP:CURSOR:Y:DELTA	0~900 / ?
-	EYE:JIT:INTEN	-128~127 / ?
-	EYE:JIT:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
-	EYE:JIT:SCALE:INTEN	-8~7 / ?
-	EYE:JIT:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
-	EYE:JIT:SETUP:GAIN_SWEEP:MAG	X1 / X2 / X8 / ?
-	EYE:JIT:SETUP:GAIN_SWEEP:12G:MAG	X1 / X2 / X4 / X16 / ?
-	EYE:JIT:SETUP:GAIN_SWEEP:SWEEP	1H / 2H / 1V / 2V / ?
-	EYE:JIT:SETUP:FILTER	100KHZ / 1KHZ / 100HZ / 10HZ / TIMING /
		ALIGNMENT / ?
-	EYE:JIT:SETUP:PEAK_HOLD	OFF / ON
WO	EYE:JIT:SETUP:PEAK_CLEAR	なし
-	EYE: JIT: SETUP: CURSOR	OFF / ON
-	EYE:JIT:SETUP:CURSOR:XY_SEL	X / Y / ?
-	EYE: JIT: SETUP: CURSOR: FD	REF / DELTA / TRACK / ?
-	EYE: JIT: SETUP: CURSOR: X: UNIT	SEC / HZ / ?
-	EYE: JIT: SETUP: CURSOR: X: REF	0~1710/?
WO	EYE:JIT:SETUP:CURSOR:X:TRACK	-1710~1710
-	EYE:JIT:SETUP:CURSOR:X:DELTA	0~1710/?
-	EYE:JIT:SETUP:CURSOR:Y:UNIT	SEC / UI_PP / ?
-	EYE:JIT:SETUP:CURSOR:Y:REF	0~624 / ?
WO	EYE:JIT:SETUP:CURSOR:Y:TRACK	-624~624
-	EYE: JIT: SETUP: CURSOR: Y: DELTA	0~624 / ?
-	EYE:LINK_SEL:HD_DLINK:AB	A / B / ?
		* HD DUAL LINK 時の表示リンクの選択
-	EYE:LINK_SEL:HD_DLINK:CD	
		* HD DUAL LINK 時の表示リンクの選択
-	EYE:LINK_SEL:4K3G_DLINK:AB	A / B / ? * 4K 3G DUAL LINK / 3G DUAL LINK 時の表示リン クの選択
-	EYE:LINK_SEL:4K3G_DLINK:CD	C / D / ? * 4K 3G DUAL LINK / 3G DUAL LINK 時の表示リン クの選択
-	EYE:LINK_SEL:QLINK	A / B / C / D / ? * 4K 3G QUAD LINK / 4K HD QUAD LINK 時の表示 リンクの選択

# • 12G-SDI ERROR SETUP TAB MENU (EYE $\rightarrow$ ERROR SETUP) (*6)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	EYE:ERROR:12G:AMP	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:12G:AMP:UPPER	80~140 / ?
-	EYE:ERROR:12G:AMP:LOWER	40~100 / ?
-	EYE:ERROR:12G:RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:12G:RISE:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:12G:FALL	OFF / ON / ?

#### r/w 制約 パラメーター コマンド -EYE:ERROR:12G:FALL:MAX 40~140 / ? _ EYE:ERROR:12G:DELTA OFF / ON / ? EYE: ERROR: 12G: DELTA: MAX _ 40~140 / ? OFF / ON / ? EYE:ERROR:12G:TIMING_JIT -EYE: ERROR: 12G: TIMING JIT: MAX 10~200 / ? -OFF / ON / ? EYE:ERROR:12G:CURRENT_JIT _ _ EYE:ERROR:12G:CURRENT_JIT:MAX 10~200 / ? EYE:ERROR:12G:OVERSHOOT_RISE OFF / ON / ? -EYE:ERROR:12G:OVERSHOOT_RISE:MAX 0~200 / ? -EYE: ERROR: 12G: OVERSHOOT_FALL OFF / ON / ? -EYE:ERROR:12G:OVERSHOOT_FALL:MAX 0~200 / ? WO EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

# 20. イーサネットコントロール

*6 設定後は EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE を実行してください。

#### • 3G-SDI ERROR SETUP TAB MENU (EYE → ERROR SETUP) (*6)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	EYE:ERROR:3G:AMP	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:AMP:UPPER	80~140 / ?
-	EYE:ERROR:3G:AMP:LOWER	40~100 / ?
-	EYE:ERROR:3G:RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:RISE:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:3G:FALL	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:FALL:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:3G:DELTA	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:DELTA:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:3G:TIMING_JIT	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:TIMING_JIT:MAX	10~200 / ?
-	EYE:ERROR:3G:CURRENT_JIT	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:CURRENT_JIT:MAX	10~200 / ?
-	EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_RISE:MAX	0~200 / ?
-	EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_FALL	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_FALL:MAX	0~200 / ?
WO	EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*6 設定後は EYE: ERROR: SETUP: COMPLETE を実行してください。

#### • HD-SDI ERROR SETUP TAB MENU (EYE → ERROR SETUP) (*6)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	EYE:ERROR:HD:AMP	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:AMP:UPPER	80~140 / ?
-	EYE:ERROR:HD:AMP:LOWER	40~100 / ?
-	EYE:ERROR:HD:RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:RISE:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:HD:FALL	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:FALL:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:HD:DELTA	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:DELTA:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:HD:TIMING_JIT	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:TIMING_JIT:MAX	10~200 / ?
-	EYE:ERROR:HD:CURRENT_JIT	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:CURRENT_JIT:MAX	10~200 / ?
-	EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT_RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT_RISE:MAX	0~200 / ?
-	EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT_FALL	OFF / ON / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT_FALL:MAX	0~200 / ?
WO	EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*6 設定後は EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE を実行してください。

#### • SD-SDI ERROR SETUP TAB MENU (EYE $\rightarrow$ ERROR SETUP) (*6)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	EYE:ERROR:SD:AMP	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:AMP:UPPER	80~140 / ?
-	EYE:ERROR:SD:AMP:LOWER	40~100 / ?
-	EYE:ERROR:SD:RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:RISE:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:SD:FALL	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:FALL:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:SD:DELTA	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:DELTA:MAX	40~140 / ?
-	EYE:ERROR:SD:TIMING_JIT	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:TIMING_JIT:MAX	10~200 / ?
-	EYE:ERROR:SD:CURRENT_JIT	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:CURRENT_JIT:MAX	10~200 / ?
-	EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT_RISE	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT_RISE:MAX	0~200 / ?
-	EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT_FALL	OFF / ON / ?
-	EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT_FALL:MAX	0~200 / ?
-	EYE:EYE:OFFSET:X	-32768~32767 / ?
-	EYE:EYE:OFFSET:Y	-32768~32767 / ?
-	EYE:JIT:OFFSET:X	-32768~32767 / ?
-	EYE:JIT:OFFSET:Y	-32768~32767 / ?
-	EYE:TRIGGER	RUN / STOP / ?
WO	EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*6 設定後は EYE:ERROR:SETUP:COMPLETE を実行してください。

#### • EYE 測定値/検出値の取得

r/w 制約	コマンド	パラメーター
RO	EYE:DATA:AMP	?
RO	EYE:DATA:TR	?
RO	EYE:DATA:TF	?
RO	EYE:DATA:TJ	?
RO	EYE:DATA:CJ	?
RO	EYE:DATA:OR	?
RO	EYE:DATA:OF	?

# AUDIO KEY

r/w 制約	コマンド	パラメーター
WO	AUDIO	なし
-	AUDIO:DISPLAY_MODE	LISSAJOU / SURROUND / METER / STATUS / ?
-	AUDIO:METER:RANGE	60DBFS / 90DBFS / MAG / ?
-	AUDIO:METER:RESPONSE	TRUEPEAK / PPM / VU / ?
-	AUDIO:METER:RESPONSE:PPM	PPM_I / PPM_II / ?
-	AUDIO:METER:RESPONSE:VU	TRUE / PPM_I / PPM_II / ?
-	AUDIO:METER:PEAK_HOLD	0 / 5 / 10 / 15 / 20 / 25 / 30 / 35 / 40 / 45 / 50 /
		55 / ?
		* 0: 0.0、5: 0.5、 $\sim$ 50: 5.0、55: HOLD
-	AUDIO:METER:LEVEL_SET:OVER_LEVEL_DB	-400~0 / ?
		* -400: -40.0 ~ 0: 0.0

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:METER:LEVEL_SET:WARNING_LEVEL	-400~0 / ?
	_DB	* -400: -40.0 ~ 0: 0.0
-	AUDIO:METER:LEVEL_SET:REF_LEVEL_DB	-400~0 / ?
		* -400: -40.0 ~ 0: 0.0
-	AUDIO:LISSAJOU:LISSAJOU:INTEN	-8~7 / ?
-	AUDIO:LISSAJOU:SCALE:INTEN	-8~7 / ?
-	AUDIO:LISSAJOU:DISPLAY	MULTI / SINGLE / ?
-	AUDIO:LISSAJOU:FORM	X_Y / MATRIX / ?
-	AUDIO:LISSAJOU:AUTO_GAIN	OFF / ON / ?
-	AUDIO:SURROUND:SURROUND:INTEN	-8~7 / ?
-	AUDIO:SURROUND:SCALE:INTEN	-8~7 / ?
-	AUDIO:SURROUND:5.1	NORMAL / PHANTOM / ?
-	AUDIO:SURROUND:AUTO_GAIN	OFF / ON / ?
-	AUDIO:DOLBY:META:PROGRAM	PRM1 / PRM2 / PRM3 / PRM4 / PRM5 / PRM6 /
		PRM7 / PRM8 / ?
-	AUDIO:STATUS:CH_STATUS	1~16/?
-	AUDIO:STATUS:CH_STATUS_SIMUL	A1~A16 / B1~B16 / C1~C16 / D1~D16 / ?
-	AUDIO:STATUS:CH_STATUS_DOLBY	1~8/?
-	AUDIO:STATUS:CH_STATUS_EXT	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:STATUS:CH_STATUS:ALIGN	LSB / MSB / ?
-	AUDIO:STATUS:USER_BIT	1~16/?
-	AUDIO:STATUS:USER_BIT_SIMUL	A1~A16 / B1~B16 / C1~C16 / D1~D16 / ?
-	AUDIO:STATUS:USER_BIT_DOLBY	1~8/?
-	AUDIO:STATUS:USER_BIT_EXT	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:STATUS:USER_BIT:ALIGN	LSB / MSB / ?
WO	AUDIO:STATUS:ERROR_RESET	なし
-	AUDIO:PHONES:VOLUME	0~63 / ?
RO	AUDIO:DOLBY:DETECT	? (戻り値 E / D / DP)

# • AUDIO MAPPING (AUDIO $\rightarrow$ MAPPING) (*7)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:MAPPING:INPUT	SDI / EXT DIGI / ?
-	AUDIO:MAPPING:LINK_SELECT	1/2/3/4/?
		* 1: Ach、2: Bch、3: Cch、4: Dch のリンクに対応
		: 4K 3G QUAD LINK、4K HD QUAD LINK 時
		1: Ach / 2: Bch
		: 4K 3G DUAL LINK、3G DUAL LINK、HD DUAL
		LINK で A-Bch 選択時
		1: Cch / 2: Dch
		:C-Dch 選択時
-	AUDIO:MAPPING:STREAM:SELECT	STREAM1 / STREAM2 / ?
-	AUDIO:MAPPING:CH_MODE	8ch / 16ch / ?
-	AUDIO:MAPPING:SOURCE:SDI:1ST_GRP	G1 / G2 / G3 / G4 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SOURCE:SDI:2ND_GRP	G1 / G2 / G3 / G4 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SOURCE:SDI:3RD_GRP	G1 / G2 / G3 / G4 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SOURCE:SDI:4TH_GRP	G1 / G2 / G3 / G4 / ?
-	AUDIO:MAPPING:PHONES:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / LT / ?
-	AUDIO:MAPPING:PHONES:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / RT / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY	OFF / ON / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:LINE:POS	OFF / ON / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:LINE:SELECT	VALID / IDEAL / CUSTOM / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:EARLIEST	8~104 / ?

-         AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:LATEST         9~105 / 7           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SINGLE L         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / 7           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / 7           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / 7           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / 7           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 /	r/w 制約	コマンド	パラメーター
<ul> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: SINGLE_L</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / LT1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / RT / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L1</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 /</li></ul>	-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:LATEST	9~105 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / LT /?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SINGLE_R</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 /</li></ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SINGLE L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
-         CH1 / LT / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SINGLE_R         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / RT / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH5 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
<ul> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SINGLE_R         <ul> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2             <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2             <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6</li></li></li></ul></li></ul>			CH16 / LT / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / RT / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTL_L1</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / CH0 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / CH0 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / CH0 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / CH0 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH0 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11</li></ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SINGLE_R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH4 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 /			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH5 / CH16 /?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 /			CH16 / RT / ?
CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 /?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / ? </th <th>-</th> <th>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L1</th> <th>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /</th>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L1	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH15 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH15 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 /			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 /?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 /?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH6 / CH1 / CH12 / CH3 / CH4 / CH15 / CH16 / 2           -         AUDIO:M			CH16 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R2</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 /</li></ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R1	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
<ul> <li>CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTT_R5 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTT_R6 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTT_R7 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTT_R7 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTT_L8 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li></ul>			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7			CH16 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R2</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH5 / CH6 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?<th>-</th><th>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2</th><th>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /</th></li></ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L2	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
-         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R2         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH1			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
<ul> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R2</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R3</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li></ul>			CH16 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH33 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R2	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 /			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
<ul> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH5 / CH6 / CH1 / CH12 / CH13 / CH14 / CH5 / CH6 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH5 / CH6 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH1</li></ul>			CH16 / ?
<ul> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R3</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 /</li></ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L3	
-         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / CH0 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-         AUDIO: MAPPING: LISSAUOU: MULTI_R3         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH			
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULII_R3	
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L4         CH10/1 (CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12			CH16/2
AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH1 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14	_		
CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R4         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R4       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L5       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?			CH16 / ?
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI R4	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?		_	CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?			CH16 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L5	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
<ul> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R5</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L6</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>			CH16 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R5	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
<ul> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>			CH16 / ?
<ul> <li>CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L6	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH6 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
<ul> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2</li> </ul>			CH16 / ?
<ul> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> <li>AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8</li> <li>CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?</li> </ul>	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R6	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
-       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L/       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_R7       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?         -       AUDIO: MAPPING: LISSAJOU: MULTI_L8       CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2			
- AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7 CH1/ CH1/ CH12/ CH13/ CH14/ CH15/ - AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7 CH1/ CH2/ CH3/ CH4/ CH5/ CH6/ CH7/ CH8/ CH9/ CH10/ CH11/ CH12/ CH13/ CH14/ CH15/ CH16/? - AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8 CH1/ CH2/ CH3/ CH4/ CH5/ CH6/ CH7/ CH8/ CH9/ CH10/ CH11/ CH12/ CH13/ CH14/ CH15/ CH16/2	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULII_L/	
-         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_R7         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?           -         AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8         CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2			
- AUDIO:MAPPING:LISSAGOU.MULTI_K/ CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ? - AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /	_		
- AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8 CH1 / CH2 / CH1 / CH12 / CH13 / CH14 / CH3 / CH16 / ? CH16 / ? CH16 / 2	-	AUDIO MAFFING LISSAJOU MULTI_K/	
- AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI_L8 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2			CH16 / ?
CH9 / CH10 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / 2	-		СН1 / СН2 / СН3 / СН4 / СН5 / СН6 / СН7 / СН8 /
CH16/2			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
			CH16 / ?
- AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI R8 CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /	-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:MULTI R8	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /			CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
CH16 / ?			CH16 / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16/?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / ?
-	AUDIO: MAPPING: SURROUND: CH: C	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / ?
-	AUDIO: MAPPING: SURROUND: CH: LFE	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:LS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16/?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:RS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:LL	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:RR	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 /
		CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 /
		CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:DOLBY:SINGLE_	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / LT / ?
	L	
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:DOLBY:SINGLE_	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / RT / ?
	R	
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:DOLBY:MULTI_L	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	1	
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:DOLBY:MULTI_R	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	2	01/02/03/04/03/06/07/08/?
_		
_	2	
-		
	3	
_	AUDIO: MAPPING: LISSA 1011: DOI BY: MULTI B	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	3	51, 52, 53, 51, 53, 50, 5, 50, 5, 50, 5
-	AUDIO: MAPPING: LISSA10U: DOL BY: MULTI	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	4	
-	AUDIO: MAPPING: LISSA10U: DOI BY: MULTE R	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	4	
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:L	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
_	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:R	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:C	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:LF	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	E	
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:LS	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:RS	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:LL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:SURROUND:CH:DOLBY:RR	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:PHONES:DOLBY:L	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / DAUX / ?
-	AUDIO:MAPPING:PHONES:DOLBY:R	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / DAUX / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:MAPPING:SOURCE:SIM:SDI:1ST_GR	G1 / G2 / G3 / G4 / ?
	Ρ	* 0 : GROUP1 / 1 : GROUP2 / 2 : GROUP3 / 3 :
		GROUP4
_	AUDIO:MAPPING:SOURCE:SIM:SDI:2ND GR	G1 / G2 / G3 / G4 / ?
		* 0 · GROUP1 / 1 · GROUP2 / 2 · GROUP3 / 3 ·
	•	GROUP4
_		$G_{1}/G_{2}/G_{3}/G_{4}/2$
		* 0 · CROUP1 / 1 · CROUP2 / 2 · CROUP3 / 3 ·
		GROUP4
_		$C_1 / C_2 / C_3 / C_4 / 2$
_	D	* 0 · CPOLID1 / 1 · CPOLID2 / 2 · CPOLID3 / 3 ·
	F	CPOLIDA
_		
_		3DI_A / 3DI_D / 3DI_C / 3DI_D / ?
-	D CH	3DI_A / 3DI_D / 3DI_C / 3DI_D / !
_		
_		3DI_A / 3DI_D / 3DI_C / 3DI_D / ?
-		
-	P CH	3DI_A / 3DI_B / 3DI_C / 3DI_D / !
-	AUDIO.MAPPING.LISSAJOU.SIM.MOLTI_LI	CCLIE
		C(CH10)
_		
-	AUDIO.MAPPING.LISSAJOU.SIM.MULTI_RI	$A.CH1^{\circ}A.CH10 / B.CH1^{\circ}B.CH10 / C.CH1^{\circ}$
		$C_{1}C_{1}C_{1}C_{1}C_{1}C_{1}C_{1}C_{1}$
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SIM:MULTI_L2	A:CH1 $\sim$ A:CH10/ B:CH1 $\sim$ B:CH10/ C:CH1 $\sim$
		C(CH10)
-	AUDIO.MAPPING.LISSAJOU.SIM.MULTI_R2	$A.CH1^{\circ}A.CH10 / B.CH1^{\circ}B.CH10 / C.CH1^{\circ}$
		C(CH10)
_		
_	AUDIO.MAFFING.LISSAJOU.SIM.MOLTI_LS	C'CH16 /
		$D(CH1_{O})CH16/2$
_		
_		C'CH16 /
		$D_{1}$
_		
		C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
_	AUDIO: MAPPING: LISSA1011: SIM: MULTI R4	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
		C:CH16 /
		$D'CH1 \sim D'CH16 / ?$
-	AUDIO: MAPPING: LISSA10U: SIM: MULTI 15	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
		C·CH16 /
		$D'CH1 \sim D'CH16 / ?$
-	AUDIO: MAPPING: LISSA10U: SIM: MULTI R5	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
		C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:LISSA10U:SIM:MULTI 16	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
		C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SIM:MULTI_R6	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
		/

r/w 制約	コマンド	パラメーター
כיויניון אי או		
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SIM:MULTI_L/	
		D:CH1~D:CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SIM:MULTI_R7	A:CH1 $\sim$ A:CH16 / B:CH1 $\sim$ B:CH16 / C:CH1 $\sim$
		C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SIM:MULTI_L8	A:CH1 $\sim$ A:CH16 / B:CH1 $\sim$ B:CH16 / C:CH1 $\sim$
		C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:LISSAJOU:SIM:MULTI R8	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
	_	C:CH16 /
		D:CH1~D:CH16 / ?
_	AUDIO: MAPPING: SIM: PHONES:	A:CH1~A:CH16 / B:CH1~B:CH16 / C:CH1~
		C·CH16 /
		$D(H1 \sim D(H16 / 2))$
-	AUDIO.MAFFING.SIM.FIIONES.K	Ciclule /
		D:CHI~D:CHI6/?
-	AUDIO:MAPPING:SOURCE:EXT:GRP	A/B/?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:SINGLE_L	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / LT / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:SINGLE_R	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / RT / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_L1	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R1	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_L2	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R2	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI L3	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R3	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
_		$A \cdot CH1 \sim A \cdot CH8 / B \cdot CH1 \sim B \cdot CH8 / ?$
_		$\Delta$ :CH1 $\sim$ $\Delta$ :CH8 / B:CH1 $\sim$ B:CH8 / 2
		A, $CH1 \circ A$ , $CH2 / B$ , $CH1 \circ B$ , $CH2 / 2$
-		
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R5	A:CH1~A:CH8/B:CH1~B:CH8/?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_L6	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R6	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_L7	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R7	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_L8	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:MULTI_R8	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:L	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:R	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:C	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:LFE	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / ?
-	AUDIO: MAPPING: EXT: SUBROUND: CH: LS	A:CH1 $\sim$ A:CH8 / B:CH1 $\sim$ B:CH8 / ?
_		$\Delta$ · CH1 ~ $\Delta$ · CH8 / B · CH1 ~ B · CH8 / ?
_		A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / 2
_		
-		
-	AUDIO:MAPPING:EXT:PHONES:L	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / LT / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:PHONES:R	A:CH1~A:CH8 / B:CH1~B:CH8 / RT / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:SIN	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / LT / ?
	GLE_L	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:SIN	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / RT / ?
	GLE_R	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI_L1	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI R1	. , , , -, -, ,, .
-	AUDIO: MAPPING: FXT: LISSA 1011: DOL BY: MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI L2	,,,,, _00, 00, 0, , 00, .

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI_R2	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI_L3	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI_R3	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI_L4	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:LISSAJOU:DOLBY:MUL	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	TI_R4	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:L	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:R	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:C	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:LFE	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:LS	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:RS	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:LL	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:SURROUND:CH:DOLB	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
	Y:RR	
-	AUDIO:MAPPING:EXT:PHONES:DOLBY:L	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / DAUX / ?
-	AUDIO:MAPPING:EXT:PHONES:DOLBY:R	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / DAUX / ?
WO	AUDIO:MAPPING:MAPPING_COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*7 設定後は AUDIO: MAPPING: MAPPING_COMPLETE を実行してください。

# • DOLBY SETTING (AUDIO $\rightarrow$ MAPPING) (*7)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:GROUP	CH_1_2 / CH_3_4 / CH_5_6 / CH_7_8 / CH_9_10 /
		CH11_12 / CH13_14 / CH15_16 / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:ONAIR	OFF / ON / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:DRC:MAIN	BYPASS / DIALNORM / LINE / RF / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:E:DRC:AUX	BYPASS / DIALNORM / LINE / RF / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:D:DRC:MAIN	DIALNORM / LINE / RF / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:D:DRC:AUX	DIALNORM / LINE / RF / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:D:PROLOGIC	OFF / ON / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:D:DOWNMIX	AUTO / LT_RT / LO_RO / PROLOGIC_II /
		PROLOGIC_IIP / ?
-	AUDIO:MAPPING:DOLBY:MIX	OFF / ON / ?
WO	AUDIO:MAPPING:MAPPING COMPLETE	なし(タブメニュー変更後に実行が必要)

*7 設定後は AUDIO: MAPPING: MAPPING_COMPLETE を実行してください。

# • ERROR SETUP (AUDIO $\rightarrow$ ERROR SETUP) (*8)

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:ERROR_SETUP:LEVEL_OVER	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:CLIP	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:MUTE	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:PARITY	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:VALIDITY	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:CRC	OFF / ON / ?

r/w 制約	コマンド	パラメーター
-	AUDIO:ERROR_SETUP:CODE_VIOLATION	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:CLIP:DURATION	1~100 / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:MUTE:DURATION	1~5000 / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:METER:CLIP	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:METER:MUTE	OFF / ON / ?
-	AUDIO:ERROR_SETUP:METER:E_ACMOD	OFF / ON / ?
WO	AUDIO:ERROR_SETUP:COMPLETE	なし (タブメニュー変更後に実行が必要)

*8 設定後は AUDIO:ERROR_SETUP:COMPLETE を実行してください。

# • AUDIO 測定値/検出値の取得

r/w 制約	コマンド	パラメーター
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH1	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH2	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH3	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH4	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH5	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH6	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH7	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH8	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH9	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH10	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH11	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH12	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH13	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH14	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH15	?
RO	AUDIO:DATA:STATUS:LEVEL:CH16	?

#### 20.2 FTP

本器で生成したファイルを、ネットワークに接続された PC へ転送できます。

- 20.2.1 使用方法
  - 1. ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、FTP Server を ON にします。

【参照】「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS $\rightarrow$ F•2 SYSTEM SETU	$IP \rightarrow F \bullet 2$ PREV TAB $\exists$	₹たは F•3 NEXT TAB -	<i>&gt;</i>
GENERAL SETUP <mark>ETHERNET SETUP</mark> REMOT	E SETUPDATE&TIME		
Ethernet Select TCP/IP IP Address	■DHCP	¤IP	
Subnet Mask	255 · 255 · 255 ·	0	
Default Gateway	0.0.0.	0	
SNTP Client Select Server IP Address Time Zone Adjust	<b>≈0FF</b> 	■ ON	
TELNET Server	<b>₩</b> 0FF	III ON	■LV5490-01
FTP Server	■0FF	MON	
HTTP Server	₩0FF	■ ON	
SNMP Read			■Write
MAC Address	*UFF	E ON	
MAC AUUTESS	00.00.00.00.00.00		

図 20-2 ETHERNET SETUP タブ

- 2. F•1 COMPLETE を押します。
- 3. 本体のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
- 4. PC 上で FTP を起動します。

たとえば Windows 7 の場合、「スタートメニュー」→「ファイル名を指定して実行」→ 「FTP(手順 1 で設定した IP アドレス)」→「OK」で起動できます。

5. ログイン名とパスワードを入力します。

ログイン名とパスワードは「LV5490」です。大文字で入力してください。 ログイン名とパスワードが正しく入力されると、「ftp>」が表示されます。

Connected to ***.***.***.
220 Walcome to LV5490 FTP service.
User (***.***.***.***:(none)): LV5490ユーザー名
331 Please specify the password.
Password: LV5490ちんしん とうしゃ (実際には表示されません)
230 Login successful
ftp>

6. FTP コマンドを入力します。

「20.2.2 コマンドの入力方法」「20.2.3 FTP コマンド」を参照して、コマンドを入力してく ださい。コマンドを入力する前に、あらかじめ TELNET の「MAKE」コマンドでファイルを生 成する必要があります。

FTP を終了するときは、「bye」を入力します。

ftp> bye

## 20.2.2 コマンドの入力方法

コマンドの書式は以下のとおりです。

ftp> [コマンド] + [半角スペース] + [パラメーター1] + [半角スペース] + [パラメーター2]

コマンドの入力例を以下に示します。

ftp> get log.txt D:¥log.txt .....イベントログファイルを PC に転送 200 PORT Command successful.....戻り値 : ftp>

# 20.2.3 FTP コマンド

# 表 20-1 FTP コマンド

コマンド	パラメーター1	パラメーター2
get	log.txt	PCの保存場所とファイル名 (例: D:¥log.txt)
	dump.txt	PCの保存場所とファイル名 (例: D:¥dump.txt)
	cap_bmp.bmp	PCの保存場所とファイル名 (例: D:¥capture.bmp)
	cap_bsg.bsg	PC の保存場所とファイル名 (例: D:¥capture.bsg)
	cap_frm.frm	PCの保存場所とファイル名 (例: D:¥capture.frm)
	cap_dpx.dpx	PCの保存場所とファイル名 (例: D:¥capture.dpx)
	cap_tif.tif	PCの保存場所とファイル名 (例: D:¥capture.tif)

# 20.3 SNMP

SNMP(Simple Network Management Protocol)を使用して、SNMP マネージャから本器のコントロールができます。また、本器で発生したエラーを SNMP マネージャに通知することもできます。 本製品は SNMPv2 に対応しています。

## 20.3.1 SMI 定義

INPORTS MODULE-IDENTITY, OBJECT-TYPE, NOTIFICATION-TYPE, enterprises FROM SNMPv2-SMI DisplayString FROM SNMPv2-TC OBJECT-GROUP, MODULE-COMPLIANCE FROM SNMPv2-CONF;

# 20.3.2 使用方法

1. ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、SNMP Read を Write、SNMP Trap を ON にします。 【参照】 「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS $\rightarrow$ F•2 SYSTEM SETU GENERAL SETUPETHERNET SETUPREMO	$JP \rightarrow F \bullet 2 PREV$	TAB または F•3 I	NEXT TAB $\rightarrow$
Ethernet Select TCP/IP IP Address Subnet Mask Default Gateway	■ DHCP 192 · 168 · 255 · 255 · 2 0 · 0 ·	€. 1 55. 0 0. 0	
SNTP Client Select Server IP Address Time Zone Adjust	<b>≪OFF</b> 	= ON	
TELNET Server FTP Server HTTP Server	≪0FF ≪0FF ≪0FF	⊯ ON ⊯ ON ⊯ ON	■LV5490-01
SNMP Read SNMP Trap MAC Address	■ OFF ■ OFF 00:00:00:00:00:00:00	■ ON ≪ ON	<b>sWrite</b>

図 20-3 ETHERNET SETUP タブ

- 2. F•1 COMPLETE を押します。
- 3. 本体のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
- PC 上で SNMP マネージャを起動します。
   SNMP マネージャはお客様自身でご用意ください。
   コミュニティ名は以下のとおりです。

Read community : LDRUser Write community : LDRAdm TRAP community : LDRUser

- 5. SNMP マネージャから GET、SET 操作ができることを確認します。
- SNMP マネージャから以下の MIB 項目へ、SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。
   4 か所まで設定できます。

[TRAP 送信先1のIPアドレス] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp1TBL(1).l30trapManagerIp1(1).0

[TRAP 送信先 2 の IP アドレス] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp2TBL(2).l30trapManagerIp1(1).0

[TRAP 送信先 3 の IP アドレス] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp3TBL(3).l30trapManagerIp1(1).0

[TRAP 送信先4のIPアドレス] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp4TBL(4).l30trapManagerIp1(1).0

7. TRAP 送信先を有効にします。

通信負荷の原因となるため、使用しない送信先は無効にしてください。出荷時は無効に設定されています。

[TRAP 送信先 1 の有効(1)/無効(2)] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp1TBL(1).l30trapManagerIp1Act(2).0

[TRAP 送信先 2 の有効(1)/無効(2)] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp2TBL(2).l30trapManagerIp1Act(2).0

[TRAP 送信先 3 の有効(1)/無効(2)] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp3TBL(3).l30trapManagerIp1Act(2).0

[TRAP 送信先 4 の有効(1)/無効(2)] 1.3.6.1.4.1.leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30trapTBL(9).l30trapIpTBL(1).l3 0trapIp4TBL(4).l30trapManagerIp1Act(2).0

- 8. LV 5490 を再起動します。
- 9. 本体起動時に SNMP マネージャで、標準 TRAP「coldStart(0)」の受信を確認します。

# 20.3.3 標準 MIB

本器は下記の標準 MIB を使用しています。

- RFC1213 (MIB-II)
- RFC1354 ( IP Forwarding Table MIB)

表中の「ACCESS」、「SUPPORT」の意味は以下のとおりです。

	表示	説明
ACCESS	R/O	SNMP マネージャから読み込み可能な情報
	R/W	SNMP マネージャから読み書きが可能な情報
SUPPORT	Y	本来の定義のままサポート
	R/O	本来は読み書き可能だが、本器では読み込みのみサポート
	Ν	サポートしていない

# • system グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
sysDescr	system.1	DisplayString	R/O	Y
sysObjectID	system.2	ObjectID	R/O	Y
sysUpTime	system.3	TimeTicks	R/O	Y
sysContact	system.4	DisplayString	R/W	Y
sysName	system.5	DisplayString	R/O	R/O
sysLocation	system.6	DisplayString	R/W	Y
sysServices	system.7	INTEGER	R/O	Y

# • interface グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
ifNumber	interfaces.1	INTEGER	R/O	Y
ifTable	interfaces.2	Aggregate	-	Y
ifEntry	ifTable.1	Aggregate	-	Y
ifIndex	ifEntry.1	INTEGER	R/O	Y
ifDescr	ifEntry.2	DisplayString	R/O	Y
ifType	ifEntry.3	INTEGER	R/O	Y
ifMtu	ifEntry.4	INTEGER	R/O	Y
ifSpeed	ifEntry.5	Gauge	R/O	Y
ifPhysAddress	ifEntry.6	OctetString	R/O	Y
ifAdminStatus	ifEntry.7	INTEGER	R/O	R/O
ifOperStatus	ifEntry.8	INTEGER	R/O	Y
ifLastChange	ifEntry.9	TimeTicks	R/O	Y
ifInOctets	ifEntry.10	Counter	R/O	Y
ifInUcastPkts	ifEntry.11	Counter	R/O	Y
ifInNUcastPkts	ifEntry.12	Counter	R/O	Y
ifInDiscards	ifEntry.13	Counter	R/O	Y
ifInErrors	ifEntry.14	Counter	R/O	Y
ifInUnknownProtos	ifEntry.15	Counter	R/O	Y
ifOutOctets	ifEntry.16	Counter	R/O	Y
ifOutUcastPkts	ifEntry.17	Counter	R/O	Y
ifOutNUcastPkts	ifEntry.18	Counter	R/O	Y
ifOutDiscards	ifEntry.19	Counter	R/O	Y
ifOutErrors	ifEntry.20	Counter	R/O	Y
ifOutQLen	ifEntry.21	Gauge	R/O	Y
ifSpecific	ifEntry.22	ObjectID	R/O	Y

・ ip グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
ipForwarding	ip.1	INTEGER	R/O	Y
ipDefaultTTL	ip.2	INTEGER	R/O	R/O
ipInReceives	ip.3	Counter	R/O	Y
ipInHdrErrors	ip.4	Counter	R/O	Y
ipInAddrErrors	ip.5	Counter	R/O	Y
ipForwDatagrams	ip.6	Counter	R/O	Y
ipInUnknownProtos	ip.7	Counter	R/O	Y
ipInDiscards	ip.8	Counter	R/O	Y
ipInDelivers	ip.9	Counter	R/O	Y
ipOutRequests	ip.10	Counter	R/O	Y
ipOutDiscards	ip.11	Counter	R/O	Y
ipOutNoRoutes	ip.12	Counter	R/O	Y
ipReasmTimeout	ip.13	INTEGER	R/O	Y
ipReasmReqds	ip.14	Counter	R/O	Y
ipReasmOKs	ip.15	Counter	R/O	Y
ipReasmFails	ip.16	Counter	R/O	Y
ipFragOKs	ip.17	Counter	R/O	Y
ipFragFails	ip.18	Counter	R/O	Y
ipFragCreates	ip.19	Counter	R/O	Y
ipAddrTable	ip.20	Aggregate	-	-
ipAddrEntry	ipAddrTable.1		R/O	Y
ipAdEntAddr	ipAddrEntry.1	IpAddress	R/O	Y
ipAdEntIfIndex	ipAddrEntry.2	INTEGER	R/O	Y
ipAdEntNetMask	ipAddrEntry.3	IpAddress	R/O	Y
ipAdEntBcastAddr	ipAddrEntry.4	INTEGER	R/O	Y
ipAdEntReasmMaxSize	ipAddrEntry.5	INTEGER	R/O	Y
ipRouteTable	ip.21	Aggregate	-	-
ipRouteEntry	ipRouteTable.1	Aggregate	-	-
ipRouteDest	ipRouteEntry.1	IpAddress	R/O	R/O
ipRouteIfIndex	ipRouteEntry.2	INTEGER	R/O	R/O
ipRouteMetric1	ipRouteEntry.3	INTEGER	R/O	R/O
ipRouteMetric2	ipRouteEntry.4	INTEGER	R/O	R/O
ipRouteMetric3	ipRouteEntry.5	INTEGER	R/O	R/O
ipRouteMetric4	ipRouteEntry.6	INTEGER	R/O	R/O
ipRouteNextHop	ipRouteEntry.7	IpAddress	R/O	R/O
ipRouteType	ipRouteEntry.8	INTEGER	R/O	R/O
ipRouteProto	ipRouteEntry.9	INTEGER	R/O	Y
ipRouteAge	ipRouteEntry.10	INTEGER	-	N
ipRouteMask	ipRouteEntry.11	IpAddress	R/O	R/O
ipRouteMetric5	ipRouteEntry.12	INTEGER	-	N
ipRouteInfo	ipRouteEntry.13	ObjectID	R/O	Y
ipNetToMediaTable	ip.22	Aggregate	-	-
ipNetToMediaEntry	ipNetToMediaTable.1	Aggregate	-	-
ipNetToMediaIfIndex	ipNetToMediaEntry.1	INTEGER	R/O	R/O
ipNetToMediaPhysAddress	ipNetToMediaEntry.2	OctetString	R/O	R/O
ipNetToMediaNetAddress	ipNetToMediaEntry.3	IpAddress	R/O	R/O
ipNetToMediaType	ipNetToMediaEntry.4	INTEGER	R/O	R/O
ipRoutingDiscards	ip.23	Counter	R/O	Y

# ● icmp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
icmpInMsgs	icmp.1	Counter	R/O	Y
icmpInErrors	icmp.2	Counter	R/O	Y
icmpInDestUnreachs	icmp.3	Counter	R/O	Y

icmpInTimeExcds	icmp.4	Counter	R/O	Y
icmpInParmProbs	icmp.5	Counter	R/O	Y
icmpInSrcQuenchs	icmp.6	Counter	R/O	Y
icmpInRedirects	icmp.7	Counter	R/O	Y
icmpInEchos	icmp.8	Counter	R/O	Y
icmpInEchoReps	icmp.9	Counter	R/O	Y
icmpInTimestamps	icmp.10	Counter	R/O	Y
icmpInTimestampReps	icmp.11	Counter	R/O	Y
icmpInAddrMasks	icmp.12	Counter	R/O	Y
icmpInAddrMaskReps	icmp.13	Counter	R/O	Y
icmpOutMsgs	icmp.14	Counter	R/O	Y
icmpOutErrors	icmp.15	Counter	R/O	Y
icmpOutDestUnreachs	icmp.16	Counter	R/O	Y
icmpOutTimeExcds	icmp.17	Counter	R/O	Y
icmpOutParmProbs	icmp.18	Counter	R/O	Y
icmpOutSrcQuenchs	icmp.19	Counter	R/O	Y
icmpOutRedirects	icmp.20	Counter	R/O	Y
icmpOutEchos	icmp.21	Counter	R/O	Y
icmpOutEchoReps	icmp.22	Counter	R/O	Y
icmpOutTimestamps	icmp.23	Counter	R/O	Y
icmpOutTimestampReps	icmp.24	Counter	R/O	Y
icmpOutAddrMasks	icmp.25	Counter	R/O	Y
icmpOutAddrMaskReps	icmp.26	Counter	R/O	Y

# ・ tcp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
tcpRtoAlgorithm	tcp.1	INTEGER	R/O	Y
tcpRtoMin	tcp.2	INTEGER	R/O	Y
tcpRtoMax	tcp.3	INTEGER	R/O	Y
tcpMaxConn	tcp.4	INTEGER	R/O	Y
tcpActiveOpens	tcp.5	Counter	R/O	Y
tcpPassiveOpens	tcp.6	Counter	R/O	Y
tcpAttemptFails	tcp.7	Counter	R/O	Y
tcpEstabResets	tcp.8	Counter	R/O	Y
tcpCurrEstab	tcp.9	Gauge	R/O	Y
tcpInSegs	tcp.10	Counter	R/O	Y
tcpOutSegs	tcp.11	Counter	R/O	Y
tcpRetransSegs	tcp.12	Counter	R/O	Y
tcpConnTable	tcp.13	Aggregate	-	-
tcpConnEntry	tcpConnTable.1	Aggregate	-	-
tcpConnState	tcpConnEntry.1	INTEGER	R/O	R/O
tcpConnLocalAddress	tcpConnEntry.2	IpAddress	R/O	Y
tcpConnLocalPort	tcpConnEntry.3	INTEGER	R/O	Y
tcpConnRemAddress	tcpConnEntry.4	IpAddress	R/O	Y
tcpConnRemPort	tcpConnEntry.5	INTEGER	R/O	Y
tcpInErrs	tcp.14	Counter	R/O	Y
tcpOutRsts	tcp.15	Counter	R/O	Y

# ● udp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
udpInDatagrams	udp.1	Counter	R/O	Y
udpNoPorts	udp.2	Counter	R/O	Y
udpInErrors	udp.3	Counter	R/O	Y
udpOutDatagrams	udp.4	Counter	R/O	Y
udpTable	udp.5	Aggregate	-	-
udpEntry	udpTable.1	Aggregate	-	-
udpLocalAddress	udpEntry.1	IpAddress	R/O	Y
udpLocalPort	udpEntry.2	INTEGER	R/O	Y
--------------	------------	---------	-----	---

### ● snmp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
snmpInPkts	snmp.1	Counter	R/O	Y
snmpOutPkts	snmp.2	Counter	R/O	Y
snmpInBadVersions	snmp.3	Counter	R/O	Y
snmpInBadCommunityNames	snmp.4	Counter	R/O	Y
snmpInBadCommunityUses	snmp.5	Counter	R/O	Y
snmpInASNParseErrs	snmp.6	Counter	R/O	Y
snmpInTooBigs	snmp.7	Counter	R/O	Y
snmpInNoSuchNames	snmp.8	Counter	R/O	Y
snmpInBadValues	snmp.9	Counter	R/O	Y
snmpInReadOnlys	snmp.10	Counter	R/O	Y
snmpInGenErrs	snmp.11	Counter	R/O	Y
snmpInTotalReqVars	snmp.12	Counter	R/O	Y
snmpInTotalSetVars	snmp.13	Counter	R/O	Y
snmpInGetRequests	snmp.14	Counter	R/O	Y
snmpInGetNexts	snmp.15	Counter	R/O	Y
snmpInSetRequests	snmp.16	Counter	R/O	Y
snmpInGetResponses	snmp.17	Counter	R/O	Y
snmpInTraps	snmp.18	Counter	R/O	Y
snmpOutTooBigs	snmp.19	Counter	R/O	Y
snmpOutNoSuchNames	snmp.20	Counter	R/O	Y
snmpOutBadValues	snmp.21	Counter	R/O	Y
snmpOutGenErrs	snmp.22	Counter	R/O	Y
snmpOutGetRequests	snmp.23	Counter	R/O	Y
snmpOutGetNexts	snmp.24	Counter	R/O	Y
snmpOutSetRequests	snmp.25	Counter	R/O	Y
snmpOutGetResponses	snmp.26	Counter	R/O	Y
snmpOutTraps	snmp.27	Counter	R/O	Y
snmpEnableAuthenTraps	snmp.28	IpAddress	R/W	Y

#### 20.3.4 拡張 MIB

#### • 企業番号

リーダー電子の企業番号(Enterprise Number)は「20111」です。 iso(1).org(3).dod(6).internet(1).private(4).enterprises(1).leader(20111)

• 拡張 MIB ファイル

FTP を使用して、本体から取得してください。 ファイル名は「lv5490.my」です。(例: GET lv5490.my D:¥lv5490.my)

• 拡張 MIB 構造

拡張 MIB 構造を以下に示します。各ユニットが実装されていない製品では、ユニット用の MIB は制御できません。

leader	OBJECT IDENTIFIER ::= { enterprises 20111 }
lv5490	OBJECT IDENTIFIER ::= { leader 30 }
lv5490ST1	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490 1 }
130notificationTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 0 }
130basicTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 1 }
I30systemTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 2 }
l30wfmTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 3 }
130vectorTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 4 }
I30pictureTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 5 }
130statusTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 6 }
I30eyeTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 7 }
I30audioTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 8 }
I30trapTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lv5490ST1 9 }

• ACCESS

表中「ACCESS」の意味は以下のとおりです。

	表示	説明
ACCESS	R/O	SNMP マネージャから読み込み可能な情報
	R/W	SNMP マネージャから読み書きが可能な情報
	R/WO	SNMP マネージャから読み書きが可能な情報
		(ただし、取得データは意味のない固定値)

• I30basicTBL(1)グループ	Ρ
----------------------	---

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
130basInputTBI	I30basicTBL 1	Aggregate	-	-
I30basInputCh	I30basInputTBL 1	INTEGER	R/W	1 = a
loobusinputeri		INTEGER	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	2 = b
				3 - 0
				3 = c 4 = d
120bacInputSimul	20bacIpputTRL 2	INTEGER	D /\\/	$ \alpha$
isobasinputsinui	150basinput i BE.2	INTLOLK	ry vv	1 = 011
120haoInnutOnorata	120haalaautTDL 2		D /\\/	2 - 011
isobasinputoperate	130Dasinput I BL.3	INTEGER	R/ W	1 = COIII
120h a a Tana ut Eu tract		INTECED	D /\\/	
ISODASINDULEXTEE	130basinput i BL.4	INTEGER	R/W	1 = mt
		INTEGED	D /\\/	2 = ext
I30basinputGroupSelect	130basinput I BL.5	INTEGER	R/W	1 = group1
			5 /11/	2 = group2
l30basInput12gCh	130basInputTBL.6	INTEGER	R/W	1 = ch-1a
				2 = ch-1b
				3 = ch-1c
				4 = ch - 1d
130basDispTBL	I30basicTBL.3	Aggregate	-	-
l30basDispMulti	I30basDispTBL.1	INTEGER	R/WO	1(固定值)
l30basDispAssignWfm	I30basDispTBL.2	INTEGER	R/WO	1(固定値)
l30basDispAssignVec	I30basDispTBL.3	INTEGER	R/WO	1(固定値)
l30basDispAssignPic	I30basDispTBL.4	INTEGER	R/WO	1(固定値)
l30basDispAssignSts	I30basDispTBL.5	INTEGER	R/WO	1(固定値)
l30basDispAssignEye	I30basDispTBL.6	INTEGER	R/WO	1(固定値)
l30basDispAssignAud	I30basDispTBL.7	INTEGER	R/WO	1(固定値)
I30basPresetTBL	I30basicTBL.4	Aggregate	-	-
l30basPresetStore	I30basPresetTBL.1	INTEGER	R/W	1~60
I30basPresetDelete	I30basPresetTBL.2	INTEGER	R/W	1~60
30basPresetCopyUsbInt	I30basPresetTBL.3	INTEGER	, R/WO	1(固定値)
I30basPresetCopyIntUsb	130basPresetTBL.4	INTEGER	R/WO	1(固定值)
I30basPresetRecall	130basPresetTBL 5	INTEGER	R/W	1~60
I30basCaptureTBI	130basicTBL 5		-	-
130basCaptureMode	130basCaptureTBL 1		R/\//	1 – screen
isobaseaptarenoue	150baseapturer bei 1	INTEGER	1.7	2 - frame
120bacCaptureTrigger	120hacCaptureTRL 2		D /\\/	
isobascaptureringger	130basCapturer BL.2	INTEGER	r, w	1 = 11a1ua1
120haaCanturaDafraah	120haaCanturaTRL 2			2 - 810
130basCapture Diaplay		INTEGER		
isobascaptureDisplay	130basCapturer BL.4	INTEGER	R/ W	
				2 = 1000
120ha e Cantuma File Deser		INTECED	D /\\/	
isobascapturerileBitip	130basCapturer BL.5	INTEGER	R/ W	1 = 011
120ha a Cantuma File Dag		INTECED	D /\\/	
ISUDASCAPLUFEFIIEBSG	130basCapture1BL.6	INTEGER	R/ W	
			5.0.0	2 = on
130basCaptureFileDpx	130basCapture1BL.7	INTEGER	R/W	1 = OTT
			5 /11/	2 = on
130basCaptureFileTif	130basCapture1BL.8	INTEGER	R/W	
				2 = on
I30basCaptureFileFrm	I30basCaptureTBL.9	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30basCaptureFileStore	I30basCaptureTBL.10	INTEGER	R/WO	1(固定値)
I30basMakeTBL	I30basicTBL.6	Aggregate	-	-
l30basMakeFile	I30basMakeTBL.1	INTEGER	R/WO	1 = cap-bmp
				2 = cap-bsg
				3 = cap-frm

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				4 = cap-dpx-a
				5 = cap-tif-a
				6 = cap-frm-b
				7 = cap-dpx b
				8 = cap-tif-b
				9 = cap-frm-c
				10 = cap-dpx-c
				11 = cap-tif-c
				12 = cap-frm-d
				13 = cap-dpx-d
				14 = cap-tif-d
				15 = log
				16 = dump

### • I30systemTBL(2)グループ

MIB		SYNTAX	ACCESS	VALUE/BANGE
130svsInitTBI	I30systemTBL 1	Aggregate	-	-
130sysSystemInit	I30system BEI	INTEGER	R/WO	1(固定值)
	I30sysInitTBL 4	INTEGER	R/WO	1(固定值)
30sysSystemLayoutInit	130sysInitTBL 5	INTEGER	R/WO	1(固定值)
130svsl cdTBl	I30systemTBL 2	Aggregate	-	
	130syst cdTBL 1	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
I30sysLcdBackLight	I30sysLcdTBL.2	INTEGER	R/W	1~32
I30sysLcdAutoOff	I30sysLcdTBL.3	INTEGER	R/W	1 = auto-off
				2 = auto-5min
				3 = auto-30min
				4 = auto-60min
l30sysSdiInTBL	I30systemTBL.3	Aggregate	-	-
l30sysSdiInSystem	l30sysSdiInTBL.1	INTEGER	R/W	1 = sys-4k-3g-qlink
				2 = sys-4k-3g-dlink
				3 = sys-4k-hd-qlink
				4 = sys-single-link
				5 = sys-hd-dlink
				6 = sys-3g-dlink
				7 = sys-3gb-dstream
				11 = sys-4k-12g
l30sysSdiInColorimetry	l30sysSdiInTBL.2	INTEGER	R/W	1 = pid
				2 = bt709
				3 = bt2020
			- // /	4 = dci
I30sysSdiInSettingPid	130sysSdiInTBL.3	INTEGER	R/W	1 = use
			5.0.0	2 = notuse
I30sysSdiInSettingIpsf	130sysSdiInTBL.4	INTEGER	R/W	1 = interlace
			5.0.0	2 = pst
130sysSdiInSettingDivision	130sysSdiInTBL.5	INTEGER	R/W	1 = div-square
				2 = div-2sample
		INTEGED	D /\\/	Interleave
I30sysSalinSettingColorsys	130sysSalin i BL.6	INTEGER	R/ W	1 = ycbcr422
				2 = ycDcr444
				3 = 190444
130cvcSdiInSottingDivDopth			D /\//	4 = Xy2444
1305ys3diffi3ettiligFixDepti	1505ys5dii11BL.7	INTLOLK	r.y vv	1 = dep-10bit 2 = dep-12bit
130svcSdiInEormatA	130eveSdiInTBL 8	DicplayString	P/O	z – ucp-izuli Innut A Format
130sysSdiInFormatB	130sysSullin DL.0	DisplayString		Input B Format
130sysSdiInEcrmatC	130sysSullITEL.9	DisplayString		Input C Format
ISUSYSSUIIIFUIIIdle	1305ySSUITH DL.10	DisplaySullig	K/U	Input C Format

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30svsSdiInFormatD	l30svsSdiInTBL.11	DisplayString	R/O	Input D Format
l30sysSdiInXyzGammaSelect	I30sysSdiInTBL.12	INTEGER	R/W	1 = bottom-zero
				2 = dci
l30sysSdiInHfrMode	l30sysSdiInTBL.13	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = x2
				3 = x4
				4 = x8
l30sysSdiOutTBL	l30systemTBL.4	Aggregate	-	-
130sysSdiOutBncInOut	I30sysSdiOutTBL.1	INTEGER	R/W	1 = input
				2 = output
l30sysSdiOutInOut	l30sysSdiOutTBL.2	INTEGER	R/W	1 = a
	,		,	2 = abcd
l30svsSdiOutMode	l30svsSdiOutTBL.3	INTEGER	R/W	1 = through
			.,	2 = test
l30svsSdiOutSvstem	I30svsSdiOutTBL.4	INTEGER	R/W	1 = sys - 3840 - 3gbdl -
			.,	quad
				2 = sys - 4096 - 3abdl - 3ab
				quad
				3 = sys - 3840 - 3ga -
				quad
				4 = sys - 4096 - 3ga -
				quad
				5 = sys - 3840 - 3abds - 3ab
				dual
				6 = sys - 4096 - 3abds -
				dual
				7 = sys - 1920 - 3abdl
				8 = sys - 2048 - 3abdl
				9 = sys - 1920 - 3gbul
				9 = 5ys - 1920 - 5ya
				10 = Sys-2040-3ga
130eveSdiOutStruct	130eveSdiOutTBL 5	INTECED	D /\\/	$11 - 3ys^{-1920-110}$
ISOSYSSUICULSLIUCL	1305ys3dlOut1BL.5	INTEGER	R/ W	I = yCDC1422
				2 = yCDC + 444
				3 = 190444
				4 = xy2444
I30SySSOlOulFrameRale	130sysSalOutTBL.6	INTEGER	R/ W	I = Irm-60p
				2 = frm - 5994p
				3 = frm-50p
				4 = frm - 48p
				5 = frm - 30p
				6 = frm - 2997p
				7 = frm-25p
				8 = frm-4795p
				9 = frm-24p
				10 = frm-2398p
				11 = frm-60i
				12 = frm-5994i
				13 = frm-50i
				14 = frm-30psf
				15 = frm-2997psf
				16 = frm-25psf
				17 = frm-24psf
				18 = frm-2398psf
I30sysSdiOutDivision	l30sysSdiOutTBL.7	INTEGER	R/W	1 = div-square
				2 = div-2sample
				interleave
l30sysSdiOutPattern	l30sysSdiOutTBL.8	INTEGER	R/W	1 = ptn-colbar100
				2 = ptn-colbar75

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				3 = ptn-multicol
				4 = ptn-colraster
				5 = ptn-cross
				6 = ptn-10step
				7 = ptn-ramp
				8 = ptn-limitramp
l30sysSdiOutYOn	l30sysSdiOutTBL.9	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysSdiOutYValue	l30sysSdiOutTBL.10	INTEGER	R/W	4~1019
l30sysSdiOutCbOn	l30sysSdiOutTBL.11	INTEGER	R/W	1 = off
130svcSdiOutChValue	130eveSdiOutTBL 12	INTEGER	D /\\/	2 = 011
130sys5diOutCrOp	130sysSdiOutTBL 12	INTEGER		1 - off
15059550100001011	1505y550lOut1DE.15	INTEGER	ry vv	2 = on
l30sysSdiOutCrValue	l30sysSdiOutTBL.14	INTEGER	R/W	4~1019
I30sysSdiOutROn	/ I30sysSdiOutTBL.15	INTEGER	R/W	1 = off
	,		,	2 = on
l30sysSdiOutRValue	l30sysSdiOutTBL.16	INTEGER	R/W	4~1019
I30svsSdiOutGOn	I30svsSdiOutTBL.17	INTEGER	R/W	1 = off
,	,	_	,	2 = on
l30sysSdiOutGValue	l30sysSdiOutTBL.18	INTEGER	R/W	4~1019
I30sysSdiOutBOn	I30sysSdiOutTBL.19	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysSdiOutBValue	l30sysSdiOutTBL.20	INTEGER	R/W	4~1019
l30sysSdiOutScroll	l30sysSdiOutTBL.21	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysSdiOutScrollDirection	l30sysSdiOutTBL.22	INTEGER	R/W	1 = right
				2 = left
				3 = up
				4 = down
				5 = right_up
				6 = right_down
				7 = left_up
				8 = left_down
I30sysSdiOutScrollSpeed	I30sysSdiOutTBL.23	INTEGER	R/W	4~124
130sysSdiOutBox	130sysSdiOutTBL.24	INTEGER	R/W	1 = off
			D () ()	2 = on
130sysSdiOutBoxColor	130sysSdiOutTBL.25	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				b = red
				7 = Diue
120 svcEdiQutPovEpood	1200vcCdiOutTPL 26		D /\//	
130sysSulOutBoxSpeed	130SYSSUIUULTBL.20			$1 \sim 3$
ISOSYSSUOUCHIASEDIII	1505y55ulOut1DL.27	INTEGER	ry vv	1 = 01 2 = 00
130svsSdiOutPhaseDirection	l30svsSdiOutTBL.28	INTEGER	R/W	1 = h
			,	2 = v
l30sysSdiOutPhaseHBch	l30sysSdiOutTBL.29	INTEGER	R/W	-1374~1374
l30sysSdiOutPhaseHCch	l30sysSdiOutTBL.30	INTEGER	R/W	-1374~1374
l30sysSdiOutPhaseHDch	l30sysSdiOutTBL.31	INTEGER	R/W	-1374~1374
l30sysSdiOutPhaseVBch	l30sysSdiOutTBL.32	INTEGER	R/W	-562~562
l30sysSdiOutPhaseVCch	l30sysSdiOutTBL.33	INTEGER	R/W	-562~562
l30sysSdiOutPhaseVDch	l30sysSdiOutTBL.34	INTEGER	R/W	-562~562
l30sysSdiOutAudioG1	I30sysSdiOutTBL.35	INTEGER	R/W	1 = off

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = on
l30sysSdiOutAudioG2	l30sysSdiOutTBL.36	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysSdiOutAudioG3	l30sysSdiOutTBL.37	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysSdiOutAudioG4	l30sysSdiOutTBL.38	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysSdiOutAudioLevel	l30sysSdiOutTBL.39	INTEGER	R/W	1 = IvI-20dBFS
				2 =  v  - 18 dBFS
				3 = IvI-0dBFS
				4 = lvl-mute
I30sysAudioInOutTBL	I30systemTBL.5	Aggregate	-	-
130sysAudBncGrpA	I30sysAudioInOutTBL.1	INTEGER	R/W	1 = input
			5.044	2 = output
130sysAudBncGrpB	130sysAudioInOutTBL.2	INTEGER	R/W	1 = input
				2 = output
130sysMonitorOutTBL	130system I BL.6	Aggregate	-	-
130sysRasterSync	130sysMonitorOut I BL.1	INTEGER	R/W	1 = int
		INITEOED	D ////	2 = external
130sysRasterFmt	130SysmonitorOut I BL.2	INTEGER	R/ W	1 = fmt - 1080 - 60p
				2 = 1mt - 1080 - 59p 2 = fmt - 1080 - 50p
120 ave Da ato 45 di Ovit	20auaManitanOutTDL 2		D /\\/	3 = Imt-1080-50p
130sysRasterSdiOut	130SysmonitorOut I BL.3	INTEGER	R/ W	1 = raster
1200xcDactorSdiQutEmt	1200 Manitar OutTPL 4		D /\//	2 = Input
130Syskastel SuloutFill	130SysMonitor Out I BL.4	INTEGER	r, w	1 = 1111-110 2 = fmt-3ac
				2 = 1111-3ya 3 = fmt-3ab
130sysCeperalTBI	130svstomTBL 7	Aggregate	_	5 – IIII-590
130sysGeneralBootMode	130sysCeneralTBL 1		D /\\/	1 – Normal
1505ysGeneralboothode	1505y5Generali DL.1	INTEGER		2 = Fast
130sysGeneralInfoDispEmt	130svsGeneralTBL 2	INTEGER	R/W	1 = off
	1909y96cheran DEiz	INTEGER	1911	2 = 0n
130sysGeneralInfoDispDate	130svsGeneralTBL.3	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = vmd
				3 = mdy
				4 = dmy
l30sysGeneralInfoDispTime	l30sysGeneralTBL.4	INTEGER	R/W	1 = off
	,	_	,	2 = real
				3 = ltc
				4 = vitc
				5 = d-vitc
l30sysGeneralInfoDispInput	I30sysGeneralTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysGeneralInfoDispIcon	I30sysGeneralTBL.7	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysGeneralMenuAutoOff	I30sysGeneralTBL.8	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysGeneralMenuAutoOffTime	I30sysGeneralTBL.9	INTEGER	R/W	1~60
l30sysGeneralFanSpeed	I30sysGeneralTBL.11	INTEGER	R/W	1~5
l30sysGeneralFanWarning	130sysGeneralTBL.12	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysGeneralInfoDispError	130sysGeneralTBL.13	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysEthernetTBL	l30systemTBL.8	Aggregate	-	-
l30sysEthernetSel	l30sysEthernetTBL.1	INTEGER	R/O	1 = dhcp
				2 = ip
l30sysEthernetAddress	I30sysEthernetTBL.2	IpAddress	R/O	IP Address

100ysthemetSubenet100ysthemetTBL.4IpAddressR/OSubnet Mask30systhemetSntp130systhemetTBL.5INTEGERR/W1 = off130systhemetSntpAddress130systhemetTBL.6IpAddress2 = on130systhemetSntpAddress130systhemetTBL.7INTEGERR/W1 = m12130systhemetSntpAddress130systhemetTBL.7INTEGERR/W1 = m12130systhemetSntp72130systhemetTBL.7INTEGERR/W1 = m12130systhemetSntp72130systhemetTBL.7INTEGERR/W1 = m12130systhemetSntp72130systhemetTBL.7INTEGERR/W1 = m12130systhemetSntp72130systhemetTBL.8INTEGERR/W1 = m12130systhemetSntp72130systhemetTBL.8INTEGERR/W1 = m2130systhemetSntp73130systhemetTBL.8INTEGERR/W1 = m2130systhemetTBL.8INTEGERR/W1 = m2130systhemetTBL.9130systhemetTBL.8INTEGERR/W1 = m2130systhemetTBL130systhemetTBL.8INTEGERR/W1 = m2130systhemetTBL130systhemetTBL.1INTEGERR/W1 = m2130systhemetTBL130systhemetTBL.1INTEGERR/W1 = m2130systhemetTBL130systhemetTBL.2INTEGERR/W1 = off130systhemetTBL130systhemetTBL.2INTEGERR/W1 = off130systhemetTBL130systhemetTBL.2INTEGERR/W1 = off130systhemetTBL130systemetTBL.3INTEGER <t< th=""><th>MIB</th><th>OID</th><th>SYNTAX</th><th>ACCESS</th><th>VALUE/RANGE</th></t<>	MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
130sysEthernetGateway130sysEthernetTBL.5InAddressR.V0Default Gateway130sysEthernetSntp130sysEthernetTBL.6INTEGERR/WIa off130sysEthernetSntpAddress130sysEthernetTBL.7INTEGERR/WIP Addressm10130sysEthernetSntpTz130sysEthernetTBL.7INTEGERR/WI a m122 = m11130sysEthernetSntpTz130sysEthernetTBL.7INTEGERR/WI a m122 = m11130sysEthernetTBL.7INTEGERR/WI a m122 = m11130sysEthernetTBL.7INTEGERR/WI a m22 = m11130sysEthernetTBL<7	l30sysEthernetSubnet	I30sysEthernetTBL.3	IpAddress	R/O	Subnet Mask
I30sysEthernetTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30sysEthernetSntpAddress       I30sysEthernetTBL.6       IpAddress       R/W       IP Address         I30sysEthernetSntpTz       I30sysEthernetTBL.7       INTEGER       R/W       I = m11         3 = m10       4       m9       5       m8         6 = m7       7       rm6       8       m3         9 = m4       10       m3       11       m2         11 = m2       12       m1       3       m10         4 = m9       5       m8       6       m7         7       rm6       8       m5       9       m4         10 = m3       11       m2       12       m1       13         11 = m2       12       m1       13       p0       14       p1         15       p2       16       p3       17       p4       18       p5         19       p6       20       p7       21       p8       22       p9         130sysEthernetTBL.8       INTEGER       R/W       1       off       2 <td< td=""><td>I30sysEthernetGateway</td><td>I30sysEthernetTBL.4</td><td>IpAddress</td><td>R/O</td><td>Default Gateway</td></td<>	I30sysEthernetGateway	I30sysEthernetTBL.4	IpAddress	R/O	Default Gateway
IoosysEthernetShtpAddressIoosysEthernetTBL.6IpAddressR/WI = m12 2 = m1I30sysEthernetShtpTzI30sysEthernetTBL.7INTEGRR/W1 = m12 2 = m11 3 = m10 4 = m9 5 = m8 6 = m7 7 = m6 8 = m5 9 = m4 1 = m1 1 = m2 1 = m2 2 = m1 2 = m1 1 = m1 2 = m2 1 = m1 2 = m1 2 = m2 1 = m1 2 = m1 2 = m2 1 = m1 2 = m1 2 = m1 2 = m2 1 = m1 2 = m1 2 = m2 1 = m1 2 = m1 2 = m1 2 = m2 1 = m1 1 = m1 2 = m1 	I30sysEthernetSntp	I30sysEthernetTBL.5	INTEGER	R/W	1 = off
130sysEthernetShtpAddress130sysEthernetTBL.6IpAddressR/WIP Address130sysEthernetShtpTz130sysEthernetTBL.7INTEGERR/W1 = m122 = m113 = m104 = m95 = m86 = m77 = m68 = m59 = m410 = m1311 = m211 = m212 = m112 = m113 = p013 = p014 = p113 = p014 = p114 = p115 = p216 = p317 = p418 = p519 = p619 = p620 = p721 = p822 = p923 = p1024 = p123 = p1024 = p113 = p216 = p314 = p115 = p215 = p216 = p317 = p429 = p223 = p1024 = p124 = p129 = p223 = p1024 = p124 = p110 = m313 osysEthernetTBL.8INTEGER13 osysEthernetTBL.9INTEGER13 osysEthernetTBL.1INTEGER13 osysEthernetTBL<1					2 = on
130sysEthemetShtpTz130sysEthemetTBL.7INTEGERR/W1 = m12 2 = m11 3 = m10 4 = m9 5 = m8 6 = m7 7 = m6 8 = m5 9 = m4 10 = m3 11 = m2 12 = m1 1 = m1 1 = m2 11 = m2 11 = m2 11 = m2 12 = m1 13 = p0 14 = p1 15 = p2 16 = p3 17 = p4 18 = p5 19 = p6 20 = p7 21 = p8 22 = p9 23 = p10 23 = p10 22 = m1 13 = p0 14 = p1 15 = p2 16 = p3 22 = p9 23 = p10 23 = p10 22 = m1 13 = p0 14 = p1 15 = p2 16 = p3 22 = p9 23 = p10 23 = p10 22 = p10 23 = p10 22 = m1 13 = p2 16 = p3 22 = p9 23 = p10 23 = p10 23 = p10 22 = n0R/W 1 = off 2 = on 130sysEthemetTBL.8INTEGER NW 1 = off 2 = onR/W 1 = off 2 = on130sysEthernetTBL<11 130sysEthernetTBL<12	I30sysEthernetSntpAddress	I30sysEthernetTBL.6	IpAddress	R/W	IP Address
2m11 3m104m9sm86m77m68m59m410m311m212m113p014p115p216p317p418p519p620p721p822p923p1024p1125p12130sysEthernetTBL.8INTEGER130sysEthernetTBL.9INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysEthernetTBL.1INTEGER130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.2130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.6130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.6130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8<	I30sysEthernetSntpTz	I30sysEthernetTBL.7	INTEGER	R/W	1 = m12
3 = m10         4 = m9         5 = m8         6 = m7         7 = m6         8 = m5         9 = m4         10 = m3         11 = m2         12 = m1         13 = p0         14 = p1         15 = p2         16 = m3         17 = p4         18 = p5         19 = p6         20 = p7         21 = p8         22 = p9         23 = p10         24 = p11         25 = p12         130sysEthernetTBL.8         INTEGER       R/W         1 = off         2 = on         130sysEthernetTBL.9         130sysEthernetTBL.1         INTEGER       R/W         1 = off         2 = on         130sysEthernetTBL.12         DisplayString         130sysEthernetTBL.13         130sysRemoteTBL         130sysRemoteTBL         130sysRemoteTBL         130sysRemoteTBL.3         130sysRemoteAlarmAch         130sysRemoteAlarmAch         130sysRemoteTBL.4					2 = m11
Image: Second					3 = m10
Seemet       30sysEthernetTBL.9       INTEGER       R/W       1 = off         130sysEthernetTBL       130sysEthernetTBL.12       DisplayString       R/O       MAC Address         130sysEthernetTBL       130sysEthernetTBL.12       DisplayString       R/W       1 = off         130sysEthernetTBL.13       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         130sysEthernetTBL.13       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         130sysEthernetTBL.13       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         130sysEthernetTBL.14       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         130sysEthernetTBL.14       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         130sysEthernetTBL.14       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         130sysEthernetTBL.12       DisplayString       R/O       MAC Address         130sysRemoteTBL       130sysRemoteTBL.19       Aggregate       -       -         130sysRemoteTBL       130sysRemoteTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         130sysRemoteTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off       -         130sysRemoteTBL.4					4 = m9
Image: second					5 = m8
iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii					6 = m7
Image: Section of the sectio					7 = m6
130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.12111 mTGERR/W1 = off130sysEthernetTBL130sysRemoteTBL.13111 mTGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off130sysRemoteTBL.6INTEGER					8 = m5
Ide magnetic       Ide magnetic       Ide magnetic         11 = m2       12 = m1       13 = p0         14 = p1       15 = p2       16 = p3         17 = p4       18 = p5       19 = p6         20 = p7       21 = p8       22 = p9         23 = p10       24 = p11       25 = p12         I30sysEthernetTelnet       I30sysEthernetTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         130sysEthernetTPh       I30sysEthernetTBL.11       INTEGER       R/W       1 = off         130sysEthernetTBL       I30sysEthernetTBL.12       DisplayString       R/O       MAC Address         130sysEthernetTBL       130sysEthernetTBL.12       DisplayString       R/W       1 = off         130sysEthernetTBL       130sysEthernetTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         130sysEthernetTBL       130sysEthernetTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         130sysEthernetTBL       130sysEthernetTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         130sysRemoteTBL       130sysRemoteTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         130sysRemotePole       130sysRemoteTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off					9 = m4
Image: Second					$10 = m_3$
Image: Second					$11 = m^2$
13 = p014 = p115 = p216 = p317 = p418 = p519 = p620 = p721 = p822 = p923 = p1024 = p1125 = p12130sysEthernetTBL.8INTEGER130sysEthernetTBL.9INTEGER130sysEthernetTBL.9INTEGER130sysEthernetTBL.11INTEGER130sysEthernetTBL.12DisplayString130sysEthernetTBL.13INTEGER130sysEthernetTBL<14					12 = 111 12 = p0
Image: Second					13 = p0 14 = p1
13 - 12 - 1216 - 1317 - p418 - p519 - p620 - p721 - p822 - p923 - p1024 - p1125 - p12130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8130sysEthernetTBL.9130sysEthernetTBL.9130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL.12130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL.13130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL.14130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL.15130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.5130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.5130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.6130sysRemoteTBL.6130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTall130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTall130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTally130sysRemoteTally130sysRemoteTally130sysRemoteTally <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14 - p1 15 - p2</td>					14 - p1 15 - p2
130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130130 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>$15 = p^2$ 16 = p3</td>					$15 = p^2$ 16 = p3
18 = p518 = p519 = p620 = p721 = p822 = p923 = p1024 = p1125 = p12130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.9130sysEthernetTp130sysEthernetTBL.9130sysEthernetSnmpTrap130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL1NTEGER130sysEthernetTBL<11					10 = p3 17 = p4
13013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013013					18 = p5
20 = p721 = p822 = p923 = p1024 = p1125 = p12130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8INTEGERR/W1 = off2 = on130sysEthernetTep130sysEthernetTBL.9130sysEthernetTep130sysEthernetTBL.11130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.2130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.5130sysRemoteAlarmDch130sysRemoteTBL.6130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTallyColor11					19 = p6
130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetTpp130sysEthernetTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetSnmpTrap130sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetMacAddr130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binary130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negative130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmDch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmDch130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off <br< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20 = p7</td></br<>					20 = p7
22 = p9 23 = p10 24 = p11 25 = p12130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetFtp130sysEthernetTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetSnmpTrap130sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetMacAddr130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysEthernetBL130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binary130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = on130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysR					21 = p8
23 = p10 24 = p11 25 = p12130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetTp130sysEthernetTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetTatter130sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysEthernetTBL130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binary130sysRemotePole130sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negative130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan					22 = p9
130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetFtp130sysEthernetTBL.9INTEGERR/W1 = off 130sysEthernetFtp130sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 130sysEthernetSnmpTrap130sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 130sysEthernetMacAddr130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysEthernetTBL130systemTBL.9Aggregate130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 130sysRemotePole130sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 130sysRemoteTa					23 = p10
Image: constraint of the system of the sys					24 = p11
130sysEthernetTelnet130sysEthernetTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetFtp130sysEthernetTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetSnmpTrap130sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysEthernetMacAddr130sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC Address130sysEthernetMacAddr130sysEthernetTBL.9Aggregate130sysRemoteTBL130sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binary130sysRemotePole130sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negative130sysRemoteAlarmAch130sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = cyan 3 = green 4 = blue 5 = cyan					25 = p12
Image: constraint of the system of the sys	l30sysEthernetTelnet	I30sysEthernetTBL.8	INTEGER	R/W	1 = off
I30sysEthernetFtpI30sysEthernetTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysEthernetSnmpTrapI30sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysEthernetMacAddrI30sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC AddressI30sysRemoteTBLI30systemTBL.9AggregateI30sysRemoteModeI30sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binaryI30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan					2 = on
Image: constraint of the system of the sys	I30sysEthernetFtp	I30sysEthernetTBL.9	INTEGER	R/W	1 = off
I30sysEthernetSnmpTrapI30sysEthernetTBL.11INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysEthernetMacAddrI30sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC AddressI30sysRemoteTBLI30systemTBL.9AggregateI30sysRemoteModeI30sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binaryI30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan					2 = on
Image: constraint of the system of the sys	l30sysEthernetSnmpTrap	l30sysEthernetTBL.11	INTEGER	R/W	1 = off
I30sysEthernetMacAddrI30sysEthernetTBL.12DisplayStringR/OMAC AddressI30sysRemoteTBLI30systemTBL.9AggregateI30sysRemoteModeI30sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binaryI30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan					2 = on
I30sysRemoteTBLI30systemTBL.9AggregateI30sysRemoteModeI30sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binaryI30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan	I30sysEthernetMacAddr	I30sysEthernetTBL.12	DisplayString	R/O	MAC Address
I30sysRemoteModeI30sysRemoteTBL.1INTEGERR/W1 = bit 2 = binaryI30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan 6 = magnetic	I30sysRemoteTBL	I30systemTBL.9	Aggregate	-	-
I30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyanI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan	I30sysRemoteMode	I30sysRemoteTBL.1	INTEGER	R/W	1 = bit
I30sysRemotePoleI30sysRemoteTBL.2INTEGERR/W1 = positive 2 = negativeI30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan					2 = binary
I30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = offI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = offI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = offI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = offI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = offI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = whiteI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = whiteI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = whiteI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = whiteI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = whiteI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = whiteIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	l30sysRemotePole	l30sysRemoteTBL.2	INTEGER	R/W	1 = positive
I30sysRemoteAlarmAchI30sysRemoteTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan				- 6	2 = negative
I30sysRemoteAlarmBchI30sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off I30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off I30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = off I30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white I30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 	I30sysRemoteAlarmAch	130sysRemoteTBL.3	INTEGER	R/W	1 = off
130sysRemoteAlarmBch130sysRemoteTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmCch130sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteAlarmDch130sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on130sysRemoteTallyColor1130sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 				5.0.0	2 = on
I30sysRemoteAlarmCchI30sysRemoteTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteAlarmDchI30sysRemoteTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30sysRemoteTallyColor1I30sysRemoteTBL.8INTEGERR/W1 = white 2 = red 	130sysRemoteAlarmBch	130sysRemote1BL.4	INTEGER	R/W	1 = off
130sysRemoteAlarmCch     130sysRemoteTBL.5     INTEGER     R/W     1 = off 2 = on       130sysRemoteAlarmDch     130sysRemoteTBL.6     INTEGER     R/W     1 = off 2 = on       130sysRemoteTallyColor1     130sysRemoteTBL.8     INTEGER     R/W     1 = white 2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan 6 = magenta			INTEGED	D () ()	2 = on
I30sysRemoteAlarmDch     I30sysRemoteTBL.6     INTEGER     R/W     1 = off       I30sysRemoteTallyColor1     I30sysRemoteTBL.8     INTEGER     R/W     1 = white       2 = red     3 = green     4 = blue     5 = cyan       6 = magenta     6 = magenta	I30sysRemoteAlarmCch	130sysRemote1BL.5	INTEGER	R/W	1 = off
1305ySRemoteAlarmDch     1305ySRemoteTBL.6     INTEGER     R/W     1 = off       1305ySRemoteTallyColor1     130sysRemoteTBL.8     INTEGER     R/W     1 = white       2 = red     3 = green     4 = blue     5 = cyan       6 = magento     6 = magento			INTEGED	D /\\/	2 = 0
I30sysRemoteTallyColor1   I30sysRemoteTBL.8   INTEGER   R/W   1 = white     2 = red   3 = green     4 = blue     5 = cyan     6 = magento	I3USYSRemoteAlarmDcn	130sysRemote I BL.6	INTEGER	R/ W	I = OII
ISUSYSKEIHOLETAIIYCOIOF1   ISUSYSKEMOLETBL.8   INTEGER   R/W   1 = white     2 = red   3 = green     4 = blue     5 = cyan     6 = magento	120 m vp p m cto To lly Colored				2 = 011
2 = red 3 = green 4 = blue 5 = cyan 6 = magenta	ISUSYSKEMOLE I AllyColor1	ISUSYSKEMOTE I BL.8	INTEGER	K/W	1 = white
3 = green 4 = blue 5 = cyan 6 = magenta					2 = 1eu
4 = blue 5 = cyan 6 = magenta					3 = yreen
D = Cydii 6 - magenta					H = Diue
					5 - Cyall 6 - magenta
					7 = vellow

20. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				8 = orange
I30sysRemoteTallyColor2	I30sysRemoteTBL.9	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = red
				3 = green
				4 = blue
				5 = cyan
				6 = magenta
				7 = yellow
				8 = orange
I30sysRemoteTallyColor3	I30sysRemoteTBL.10	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = red
				3 = green
				4 = blue
				5 = cvan
				6 = magenta
				7 = vellow
				8 = 0range
130sysRemoteTallyFrame	130sysRemoteTBL 11	INTEGER	R/W	1 = off
1903ySkemote runyr runne	1903ySitemoter DE.11	INTEGER	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	2 = 0
130sysRemoteTallyLayout	130sysRemoteTBL 12	INTEGER	R/W	1 = left
1909ySitemote runy Luyout	1909ySitemoter DEIT2	INTEGER	1911	2 = right
I30svsDateTBL	I30svstemTBL.10	Aggregate	-	-
I30sysDateTime	I30sysDateTBL.3	DisplayString	R/O	Date and Time
I30svsFormatAlarmTBL	I30svstemTBL.11	Aggregate	-	-
l30svsFormatAlarm	I30sysFormatAlarmTBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30sysFormatAlarmSystem	I30sysFormatAlarmTBL.2	INTEGER	R/W	1 = fmt-3840-3gbdl-
	-			quad
				2 = fmt - 4096 - 3gbdl -
				quad
				3 = fmt-3840-3ga-
				quad
				4 = fmt-4096-3ga-
				quad
				5 = fmt-3840-3abds-
				dual
				6 = fmt - 4096 - 3abds -
				dual
				7 = fmt-3840-hd-quad
				8 = fmt-4096-hd-quad
				9 = fmt - 1920 - 3abdl
				10 = fmt - 2048 - 3abdl
				11 = fmt - 1280 - 300
				11 - fmt - 1020 - 3ya
				12 - 1110 - 1920 - 39d 13 - fmt-2049 2ac
				13 = 1111-2040-39a
				14 = 1111-1280-0
				15 = 1110 - 1920 - 100
				10 = 100 - 40/-50
				1/ = TMT-5/6-Sd
				18 = Imt-1920-hd-
				19 = fmt-2048 - nd-
				2U = Tmt-1280-3gbds
				21 = tmt-1920-3gbds
				22 = fmt-1920-3gbdl-
				dual
				23 = fmt-2048-3gbdl-

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				dual
				24 = fmt-1920-3ga-
				dual
				25 = fmt-2048-3ga-
				dual
				26 = fmt-3840-12g-
				type1
				27 = fmt-4096-12g-
				type1
l30sysFormatAlarmStruct	I30sysFormatAlarmTBL.3	INTEGER	R/W	1 = ycbcr422-10bit
				2 = ycbcr422-12bit
				3 = ycbcr444-10bit
				4 = ycbcr444-12bit
				5 = rgb444-10bit
				6 = rgb444-12bit
				7 = xyz444-12bit
l30sysFormatAlarmFramerate	l30sysFormatAlarmTBL.4	INTEGER	R/W	1 = fmt-60p
				2 = fmt-5994p
				3 = fmt-50p
				4 = fmt-48p
				5 = fmt-30p
				6 = fmt - 2997p
				7 = fmt-25p
				8 = fmt - 4795p
				9 = fmt-24p
				10 = fmt - 2398p
				11 = fmt-60i
				12 = fmt - 5994i
				13 = fmt-50i
				14 = fmt-30psf
				15 = fmt - 299/psr
				16 = fmt-25psf
				17 = Imt-24psi
130 cvc Format Alarm Div	130sysEormatAlarmTBL 5	INTECED	D /\\/	10 = 1111-2390 psi
130Syst Official Ald High	1305ysi offiatAlamitbe.5	INTLOLK	r.y vv	1 - div-square 2 - div-2sample
				interleave
130svsEormatAlarmColor	130svsEormatAlarmTBL 6		P/\//	1 - bt709
1503ysi offiatAlarmeoloi	1303ysi officialiti DE.0	INTEGER		$1 = b(70)^{-1}$ 2 = bt2020
				3 = dci
130sysEormatAlarmElagColor	130sysEormatAlarmTBL 7	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
I30sysCompleteTBL	I30systemTBL.12	Aggregate	_	-
l30sysSignalInOutComplete	I30sysCompleteTBL.1	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30sysSystemSetupComplete	I30sysCompleteTBL.2	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30sysEthernetSettingUpdate	I30sysCompleteTBL.3	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30sysInfoTBL	l30systemTBL.13	Aggregate	-	-
l30sysInfoFirmware	l30sysInfoTBL.1	DisplayString	R/O	Firmware Version
l30sysInfoBoardSdiIn	l30sysInfoTBL.2	INTEGER	R/O	1 = notavailable
				2 = available
l30sysInfoBoardSdiEye	l30sysInfoTBL.3	INTEGER	R/O	1 = notavailable
				2 = available
l30sysInfoBoardAudio	l30sysInfoTBL.4	INTEGER	R/O	1 = notavailable
				2 = available
I30sysHdrTBL	I30systemTBL.14	Aggregate	-	-
l30sysHdrEnable	l30sysHdrTBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30sysHdrHdrCurve	I30sysHdrTBL.2	INTEGER	R/W	2 = hlg
				3 = pq
				4 = slog3
l30sysHdrMax	l30sysHdrTBL.3	INTEGER	R/W	1 = cd10000
				2 = cd4000
				3 = cd1000
l30sysHdrGamma	l30sysHdrTBL.4	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30sysHdrRefPq	l30sysHdrTBL.5	INTEGER	R/W	3 = p51
				4 = p58
l30sysHdrRefHlg	I30sysHdrTBL.6	INTEGER	R/W	1 = p50
				2 = p75

## • I30wfmTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30wfmIntenTBL	I30wfmTBL.1	Aggregate	-	-
l30wfmInten	I30wfmIntenTBL.1	INTEGER	R/W	-128~127
l30wfmColor	l30wfmIntenTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
			-	2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
				8 = multi
I30wfmColorS1	l30wfmIntenTBL.3	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
				8 = multi
l30wfmColorS2	l30wfmIntenTBL.4	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
				8 = multi
I30wfmScaleTBL	I30wfmTBL.2	Aggregate	-	-
l30wfmScaleInten	I30wfmScaleTBL.1	INTEGER	R/W	-8~7
l30wfmScaleColor	l30wfmScaleTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
l30wfmScaleUnit	I30wfmScaleTBL.3	INTEGER	R/W	1 = unit-hdv-sdp
				2 = unit-hdv-sdv
				3 = unit-hdp-sdp
				4 = unit-150p
				5 = unit-1023
				6 = unit-1023-255
				7 = 10

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30wfmScaleUnitNtsc	I30wfmScaleTBL.4	INTEGER	R/W	3 = unit-hdp-sdp
l30wfmScaleUnitPal	I30wfmScaleTBL.5	INTEGER	R/W	2 = unit-hdy-sdy
l30wfmScale75perCol	130wfmScaleTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
I30wfmGainTBI	J30wfmTBL_3	Aggregate	_	-
I30wfmGainVar	I30wfmGainTBL 1	INTEGER	R/W	1 = cal
ISOWINGanvar	150WINGdin DE.1	INTEGER		2 = variable
130wfmGainMag	I30wfmGainTBL 2	INTEGER	R/W	1 = x1
Isowinicaliniag	150WITIGdiff BE.2	INTEGER	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	$2 - x^{5}$
130wfmCainValue	130wfmCainTBL 3	DisplayString	D /\\/	$2 - \chi^{2}$
130wfmGainFiltor				
ISOWITIGaliii Iitei	150WITHGallTIBE.4	INTLOLK	r, w	1 - 10 wpass $2 - flat$
120wfmCainEiltorCmp	120wfmCainTBL E		D /\\/	2 - flat
IsowiniGainFilterChip	ISOWIIIGaIII BL.S	INTEGER	R/ W	2 = 11dt
				3 = 10111
				4 = 110000000000000000000000000000000000
120ufmCureenTPI		Aggragata		5 = lumentorna
	130WIMTBL.4	Aggregate	-	-
130wfmSweep	130wfmSweepTBL.1	INTEGER	R/W	1 = h
				2 = V
130wfmSweepMagH	130wfmSweepTBL.2	INTEGER	R/W	1 = x1
				2 = x10
				3 = x20
				4 = blank
				5 = active
l30wfmSweepMagV	I30wfmSweepTBL.3	INTEGER	R/W	1 = x1
				2 = x20
				3 = x40
I30wfmSweepH	I30wfmSweepTBL.4	INTEGER	R/W	1 = sweep-1h
				2 = sweep-2h
l30wfmSweepV	I30wfmSweepTBL.5	INTEGER	R/W	1 = sweep-1v
				2 = sweep-2v
I30wfmSweepField	I30wfmSweepTBL.6	INTEGER	R/W	1 = field1
				2 = field2
l30wfmBlanking	I30wfmSweepTBL.7	INTEGER	R/W	1 = remove
				2 = v
				3 = h
				4 = all
l30wfmBlankingCmp	I30wfmSweepTBL.8	INTEGER	R/W	1 = remove
				2 = v
I30wfmMatrixTBL	I30wfmTBL.5	Aggregate	-	-
l30wfmMatrix	I30wfmMatrixTBL.1	INTEGER	R/W	1 = ycbcr
				2 = gbr
				3 = rgb
				4 = composite
l30wfmMatrixRgb	I30wfmMatrixTBL.2	INTEGER	R/W	2 = qbr
5				3 = rgb
				4 = composite
l30wfmMatrixYgbr	I30wfmMatrixTBL.3	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
I30wfmMatrixYrgb	130wfmMatrixTBL 4	INTEGER	R/W	1 = off
			• • • • •	2 = 0n
130wfmCmpEormat	130wfmMatrixTBL 5		P /\//	1 - auto
	130WITH IAU IX I DE.J		17 18	2 = ntsc
				3 = nal
130wfmCmpSetup	130wfmMatrivTRI 6	INTEGER	D /\\/	$3 - \mu a$ 1 - satun-0n
130WITTCHIPSetup	150WITHMALIX I DL.O	TIMILOLK	rsy W	r = setup - 0p
120 wfm Matrix V :-	120 utm Matrix TDL 7			2 - setup - 7 p
ISUWITIMATRIXXYZ	ISUWITHMATRIX I BL. /		K/W	2 = qpr

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				3 = rgb
				4 = composite
				5 = xyz
l30wfmDisplayTBL	I30wfmTBL.6	Aggregate	-	-
l30wfmDisplayMode	I30wfmDisplayTBL.1	INTEGER	R/W	1 = parade
				2 = overlay
l30wfmDisplayCh1Y	I30wfmDisplayTBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30wfmDisplayCh2Cb	I30wfmDisplayTBL.3	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30wfmDisplayCh3Cr	I30wfmDisplayTBL.4	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30wfmDisplayCh1G	I30wfmDisplayTBL.5	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30wfmDisplayCh2B	I30wfmDisplayTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30wfmDisplayCh3R	I30wfmDisplayTBL.7	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30wfmDisplayCh1R	I30wfmDisplayTBL.8	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30wfmDisplayCh2G	I30wfmDisplayTBL.9	INTEGER	R/W	1 = off
			- 0.0	2 = on
I30wfmDisplayCh3B	I30wfmDisplayTBL.10	INTEGER	R/W	1 = off
			5.044	2 = on
130wfmDisplay3gbds	130wfmDisplay1BL.11	INTEGER	R/W	1 = stream1
				2 = stream 2
				3 = mix
			D /\\/	4 = align
130WIMDIsplay Parade	130WIMDISplayTBL.12	INTEGER	R/ W	1 = 011
120 wfmDianlay (ch 1 V	120 utm Display TPL 12		D /\\/	2 = 011
ISOWITIDISplayCITIX	ISOWITIDISPIAYTEL.15	INTEGER	K/ W	1 = 011
120wfmDicplayCh2V	20wfmDicplay/TPL 14		D /\\/	2 = 011
130WITTDIsplayCitz F	130WITTIDISplay I BL. 14	INTEGER	r, vv	1 = 011
130wfmDicplay/Ch37	120wfmDicplay/TBL 15	INTECED	D /\//	2 = 011
ISOWITIDISPlayCISZ	150WITTELSPiay TEL.15	INTLOLK	r./ vv	1 = 011 2 = 0n
130wfml ineselTBl	I30wfmTBL 7	Aggregate	_	2 - 011
	I30wfml inecolTRI 1		R/\//	1 = off
ISOWITIEITIESEI	150WITTELITESET DE.1	INTEGER		1 = 011 2 = 0n
130wfml ineselNo	130wfml ineselTBL 2	INTEGER	R/W	0~32767
130wfml ineselField	130wfml ineselTRL 3	INTEGER	R/W	1 = frame
			1.9 **	2 = field1
				3 = field2

### • I30vectorTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30vectorIntenTBL	I30vectorTBL.1	Aggregate	-	-
l30vctorInten	I30vectorIntenTBL.1	INTEGER	R/W	-128~127
l30vctorColor	l30vectorIntenTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
l30vectorColorS1	I30vectorIntenTBL.3	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
I30vectorColorS2	l30vectorIntenTBL.4	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
130vctorScaleTBL	130vector1BL.2	Aggregate	-	-
130vectorScaleInten	130vctorScaleTBL.1	INTEGER	R/W	-8~7
130vectorScaleColor	130vctorScaleTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				b = red
120 va sta vC sa la La	20. vete «CeeleTDL-2			7 = Diue
ISOVECTOrScalerq	130VCLOFSCALET DL.3	INTEGER	R/ W	1 = 011 2 = 00
130vectorScaleVec	130vctorScaleTBL /	INTEGER	D /\\/	2 = 011
	150vetor Scale i DE.4	INTEGER		2 - bt601
				3 - bt709
				3 = b(709) 4 = bt2020
				4 = b(2020) 5 = dci
130vectorScale5Bar	130vctorScaleTBL.5	INTEGER	R/W	1 = p
			.,	2 = mv
l30vectorScale5BarSeq	l30vctorScaleTBL.6	INTEGER	R/W	1 = gbr
				2 = rgb
I30vectorGainTBL	l30vectorTBL.3	Aggregate	-	-
l30vectorGainVariable	l30vectorGainTBL.1	INTEGER	R/W	1 = cal
				2 = variable
l30vectorGainMag	l30vectorGainTBL.2	INTEGER	R/W	1 = x1
				2 = x5
				3 = iq
l30vectorGainVar	I30vectorGainTBL.3	DisplayString	R/W	0.200~10.000
I30vectorDispTBL	I30vectorTBL.4	Aggregate	-	-
I30vectorDispMode	I30vectorDispTBL.1	INTEGER	R/W	1 = vec
				2 = bar
				3 = hist
				4 = ciediagram
l30vectorDisp3gbds	I30vectorDispTBL.2	INTEGER	R/W	1 = stream1
				2 = stream2
				3 = mix
				4 = align
I30vectorMatrixTBL	I30vectorTBL.5	Aggregate	-	-
I30vectorMatrixColor	I30vectorMatrixTBL.1	INTEGER	R/W	1 = component
				2 = composit
I30vectorMatrixColorBar	130vectorMatrixTBL.2	INTEGER	R/W	1 = bar - 100p
			<b>D</b> (11)	2 = bar-75p
130vectorMatrixCompositFmt	I30vectorMatrixTBL.3	INTEGER	R/W	1 = auto
				2 = ntsc
			D /\\/	$s = \mu a I$
	ISUVECTORMATRIX I BL.4	INTEGER	K/W	I = setup-op

I30vectorMatrixCompositSetup2 = setup-75pI30vectorHistTBLI30vectorTBL.6Aggregate-I30vectorHistScaleHdrI30vectorHistTBL.6INTEGERR/W1 = per 2 = hdrI30vectorMarkerTBLI30vectorTBL.7AggregateI30vectorMarkerI30vectorMarkerTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFolleFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFolleFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on
$\begin{array}{ c c c c c c } \hline 130 \text{vectorTBL.6} & Aggregate & - & - \\ \hline 130 \text{vectorHistScaleHdr} & 130 \text{vectorHistTBL.6} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{per} \\ 2 = \text{hdr} \\ \hline 130 \text{vectorMarkerTBL} & 130 \text{vectorTBL.7} & Aggregate & - & - \\ \hline 130 \text{vectorMarker} & 130 \text{vectorMarkerTBL.1} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieTBL} & 130 \text{vectorTBL.8} & Aggregate & - & - \\ \hline 130 \text{vectorCieCursor} & 130 \text{vectorCieTBL.1} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieCursor} & 130 \text{vectorCieTBL.1} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieTempScale} & 130 \text{vectorCieTBL.2} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFMode} & 130 \text{vectorCieTBL.3} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{diagram} \\ 2 = \text{temp} \\ \hline 130 \text{vectorCieFilter} & 130 \text{vectorCieTBL.4} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieColor} & 130 \text{vectorCieTBL.6} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFilter} & 130 \text{vectorCieTBL.3} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{diagram} \\ 2 = \text{temp} \\ \hline 130 \text{vectorCieFilter} & 130 \text{vectorCieTBL.4} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFolor} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFIL.6} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFolor} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFIL.6} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFOlor} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFIL.6} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 130 \text{vectorCieFOlor} & \text{INTEGER} & \text{R/W} & 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 = \text{on} \\ \hline 1 = \text{off} \\ 2 =$
I30vectorHistScaleHdrI30vectorHistTBL.6INTEGERR/W1 = per 2 = hdrI30vectorMarkerTBLI30vectorTBL.7AggregateI30vectorMarkerI30vectorMarkerTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on
I30vectorMarkerTBLI30vectorTBL.7Aggregate-I30vectorMarkerI30vectorMarkerTBL.1INTEGERR/W1 = offI30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = offI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = offI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = offI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagramI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = offI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = offI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = offI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = offI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = offI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = offI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-whiteI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-whiteI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white
I30vectorMarkerTBLI30vectorTBL.7AggregateI30vectorMarkerI30vectorMarkerTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = on
I30vectorMarkerI30vectorMarkerTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFolterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on
I30vectorCieTBLI30vectorTBL.8AggregateI30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = on
I30vectorCieCursorI30vectorCieTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieTempScaleI30vectorCieTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieModeI30vectorCieTBL.3INTEGERR/W1 = diagram 2 = tempI30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieFilterI30vectorCieTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30vectorCieColorI30vectorCieTBL.6INTEGERR/W1 = bg-white 2 = bg-color
I30vectorCieColor   I30vectorCieTBL.6   INTEGER   R/W   1 = bg-white     2 = bg-color   2 = bg-color
I30vectorCieColor   I30vectorCieTBL.6   INTEGER   R/W   1 = bg-white     2 = bg-color
2 = bg-color
3 = bg-black
I30vectorCieFigure1 I30vectorCieTBL.7 INTEGER R/W 1 = off
4 = bt601-525
5 = bt601-625
6 = bt/09
$7 = dc_1$
8 = bt2020
I30vectorCieFigure2 I30vectorCieTBL.8 INTEGER R/W 1 = off
4 = bt601-525
5 = bt601-625
6 = bt/09
ISUVECTORCIESTANDARD ISUVECTORCIETBL.11 INTEGER R/W 5 = cie1391
ISOVECIOICIEGIIO ISOVECIOICIEI BL.12 INTEGER R/W I = OII
2 - 01
30vectorCieEigureCap  30vectorCieTBI 14 INTEGER R/W 1 = off
30vectoCieClip  30vectorCieTBL 15 INTEGER R/W 1 = off
30vectorCieManualSetup  30vectorCieTBI 16 INTEGER R/W 1 = off
I30vectorCieGammaSetup I30vectorCieTBL.17 DisplayString R/W 1.50~3.00
ISOVectorCiellserTriangle   ISOVectorCieTBL 18   INTEGER   R/W   1 = off
3 = user2
I30vectorCieUserTriangleColor I30vectorCieTBL 19 INTEGER R/W 1 = g
$\begin{array}{c} 1 \\ 1 \\ 2 \\ 2 \\ 1 \\ 2 \\ 2 \\ 2 \\ 2 \\ 2 \\$
3 = r
I30vectorCieUserTriangle1GX I30vectorCieTBL.20 DisplayString R/W 0~1.000
I30vectorCieUserTriangle1BX I30vectorCieTBL.21 DisplayString R/W 0~1.000
I30vectorCieUserTriangle1RX I30vectorCieTBL.22 DisplayString R/W 0~1.000
I30vectorCieUserTriangle1GY I30vectorCieTBL 23 DisplayString R/W 0~1.000
I30vectorCieUserTriangle1BY I30vectorCieTBL 24 DisplayString R/W 0~1.000
I30vectorCieUserTriangle1RY I30vectorCieTBL.25 DisplayString R/W 0~1.000
I30vectorCieUserTriangle2GX I30vectorCieTBL.26 DisplayString R/W 0~1.000

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30vectorCieUserTriangle2BX	I30vectorCieTBL.27	DisplayString	R/W	0~1.000
l30vectorCieUserTriangle2RX	I30vectorCieTBL.28	DisplayString	R/W	0~1.000
l30vectorCieUserTriangle2GY	I30vectorCieTBL.29	DisplayString	R/W	0~1.000
l30vectorCieUserTriangle2BY	I30vectorCieTBL.30	DisplayString	R/W	0~1.000
l30vectorCieUserTriangle2RY	I30vectorCieTBL.31	DisplayString	R/W	0~1.000
I30vectorLineseITBL	I30vectorTBL.9	Aggregate	-	-
130vectorLinesel	I30vectorLineseITBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
130vectorLineselNo	I30vectorLineseITBL.2	INTEGER	R/W	0~32767
l30vectorLineselField	I30vectorLineseITBL.7	INTEGER	R/W	1 = frame
				2 = field1
				3 = fiedl2

# ・ I30pictureTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
130pictureAdiustTBL	I30pictureTBL.1	Aggregate	-	-
I30pictureAdjustColor	I30pictureAdjustTBL.1	INTEGER	R/W	1 = color
		-	,	2 = mono
I30pictureChroma	I30pictureAdjustTBL.2	INTEGER	R/W	1 = normal
			,	2 = up
I30pictureBrightness	I30pictureAdjustTBL.3	DisplayString	R/W	-50.0~50.0
I30pictureContrast	I30pictureAdjustTBL.4	DisplayString	R/W	0~200.0
I30pictureGainR	I30pictureAdjustTBL.5	DisplayString	R/W	0~200.0
I30pictureGainG	I30pictureAdjustTBL.6	DisplayString	R/W	0~200.0
I30pictureGainB	I30pictureAdjustTBL.7	DisplayString	R/W	0~200.0
I30pictureBiasR	I30pictureAdjustTBL.8	DisplayString	R/W	-50.0~50.0
l30pictureBiasG	I30pictureAdjustTBL.9	DisplayString	R/W	-50.0~50.0
l30pictureBiasB	I30pictureAdjustTBL.10	DisplayString	R/W	-50.0~50.0
l30pictureGainChroma	I30pictureAdjustTBL.11	DisplayString	R/W	0~200.0
I30pictureMarkerTBL	I30pictureTBL.2	Aggregate	-	-
I30pictureMarkerFrame	I30pictureMarkerTBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureMarkerCenter	I30pictureMarkerTBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureMarkerAspect	I30pictureMarkerTBL.3	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = asp-17x9
				3 = asp-16x9
				4 = asp-14x9
				5 = asp-13x9
				6 = asp-4x3
				7 = asp-239x1
				8 = asp-afd
l30pictureAspectShadow	I30pictureMarkerTBL.4	INTEGER	R/W	0~100
I30pictureSafeAction	I30pictureMarkerTBL.5	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = arib
				3 = smpte
			- 6.4	4 = user
I30pictureSafeTitle	130pictureMarker1BL.6	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = arib
				3 = smpte
	120 states Marchaet TDL 7	INTEGED	D () A (	4 = user
130pictureUserZone1W	130pictureMarkerTBL.7	INTEGER	R/W	0~100
I3UpictureUserZone1H	130pictureMarker1BL.8		K/W	0~100
130pictureUserZone2W	130pictureMarker1BL.9		K/W	0~100
I3UpictureUserZone2H	130pictureMarker I BL.10	INTEGER	R/W	0~100
130pictureDispTBL	I30pictureTBL.4	Aggregate	-	-

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30pictureDispSize	I30pictureDispTBL.1	INTEGER	R/W	1 = fit
				2 = real
				3 = x2
				4 = full
l30pictureDispGamut	I30pictureDispTBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = white
				3 = red
				4 = mesh
l30pictureDisp3gbds	I30pictureDispTBL.3	INTEGER	R/W	1 = Stream $1$
				2 = Stream2
				3 = Mix
				4 = Align
l30pictureDispPosH	I30pictureDispTBL.4	INTEGER	R/W	-32768~32767
l30pictureDispPosV	I30pictureDispTBL.5	INTEGER	R/W	-32768~32767
l30pictureDispStatusInfo	I30pictureDispTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureEdgeTBL	I30pictureTBL.6	Aggregate	-	-
l30pictureAperture	I30pictureEdgeTBL.1	INTEGER	R/W	0~100
l30pictureEdgeDetect	I30pictureEdgeTBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureEdgeLevel	I30pictureEdgeTBL.3	INTEGER	R/W	0~100
I30pictureEdgeColor	130pictureEdgeTBL.4	INTEGER	R/W	1 = white
				4 = green
				6 = red
		INTEGED	D (M)	7 = blue
I30pictureEdgePicLevel	130pictureEdge1BL.5	INTEGER	R/W	1 =  V  - OTT
				2 =  V  - 25
				3 = 101-50
				4 = 101-75
				5 = 101-100
120 picturo Edgo Dicp	120 picturo Edgo TPL 6		D /\//	
150pictul eLugeDisp	150pictureLugerBL.0	INTEGER		1 = 011 2 = 0n
130nictureEdgeSensitive	130pictureEdgeTBL 7	INTEGER	R/W	1 = low
150pieta e Eugesensitive	isopieta eLager DE./	INTEGER		2 = middle
				3 = high
				4 = v-high
				5 = u-high
I30pictureCITBI	130pictureTBL.7	Aggregate	-	-
I30pictureClDisplay	I30pictureCITBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
······································			.,	2 = fstop
				3 = perdisplay
				4 = cinezone
I30pictureClAdvance	I30pictureCITBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureClMeasurePos	I30pictureCITBL.3	INTEGER	R/W	1 = p1
				2 = p2
				3 = p3
I30pictureClMeasureNums	l30pictureCITBL.4	INTEGER	R/W	1 = p1
				2 = p1p2
				3 = p1p2p3
I30pictureClMeasureSize	I30pictureCITBL.5	INTEGER	R/W	$1 = size - 1 \times 1$
				2 = size-3x3
				3 = size-9x9
l30pictureClRgbUnit	I30pictureCITBL.6	INTEGER	R/W	1 = yper
				2 = rgbper
				3 = rgb255

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				4 = codevalue
				5 = hdr
				6 = codevaluedec
I30pictureClFstopRefSet	I30pictureCITBL.7	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30pictureClFstopGammaSel	I30pictureCITBL.8	INTEGER	R/W	2 = user1
				3 = user2
				4 = user3
				5 = usera
				6 = userb
				/ = userc
				8 = userd
				9 = usere
130pictureCIFstopGammaCalF	130pictureCITBL.9	INTEGER	R/W	1 = gamma 220
				2 = gamma100
				3 = gamma110 4 = gamma080
				4 - gamma056
				5 = gamma040
				7 = gamma028
				8 = gamma020
	I30pictureCITBL.10	INTEGER	R/WO	1 (固定值)
I30pictureClFstopGammaCalSet			.,	
	I30pictureCITBL.11	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30pictureClFstopGammaCalDat			, -	()
aClear				
	I30pictureCITBL.12	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30pictureClFstopGammaCalTab			-	. ,
leClear				
I30pictureClSample	I30pictureCITBL.13	INTEGER	R/W	0~32767
I30pictureClLine	I30pictureCITBL.14	INTEGER	R/W	0~32767
I30pictureClCzDisplay	I30pictureCITBL.15	INTEGER	R/W	1 = gradate
				2 = step
				3 = search
I30pictureClCzUpper	I30pictureCITBL.16	DisplayString	R/W	-6.3~109.4
I30pictureClCzLower	I30pictureCITBL.17	DisplayString	R/W	-7.3~108.4
I30pictureClCzLevel	I30pictureCITBL.18	DisplayString	R/W	-7.3~109.4
I30pictureLineseITBL	I30pictureTBL.8	Aggregate	-	-
130pictureLinesel	I30pictureLineseITBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureLineselNo	130pictureLineselTBL.2	INTEGER	R/W	0~32767
l30pictureLineselField	I30pictureLineseITBL.3	INTEGER	R/W	1 = frame
				2 = field1
		-		3 = field2
130pictureDataTBL	130pictureTBL.9	Aggregate	-	-
I30pictureDataCineliteP1	I30pictureDataTBL.1	DisplayString	R/O	Cinelite Data
I30pictureDataCineliteP2	130pictureData1BL.2	DisplayString	R/0	Cinelite Data
I30pictureDataCineliteP3	130pictureData1BL.3	DisplayString	R/O	Cinelite Data
130pictureHdr1BL	130picture1BL.10	Aggregate	-	-
I30pictureHdrUpperPq10000	I30pictureHdrTBL.1	DisplayString	R/W	0.0~100.0
130pictureHdrUpperPq4000	130pictureHdr1BL.2	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrUpperPq1000	130pictureHdrTBL.3	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrUpperHlg	130pictureHdrTBL.4	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrUpperSlog	I30pictureHdrTBL.5	DisplayString	R/W	3.5~109.4
I30pictureHdrRefPq10000	I30pictureHdrTBL.6	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrRefPq4000	I30pictureHdrTBL.7	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrRefPq1000	I30pictureHdrTBL.8	DisplayString	R/W	0.0~100.0
l30pictureHdrRefHlg	I30pictureHdrTBL.9	DisplayString	R/W	0.0~100.0

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30pictureHdrRefSlog	I30pictureHdrTBL.10	DisplayString	R/W	3.5~109.4
I30pictureHdrLowerPq10000	I30pictureHdrTBL.11	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrLowerPq4000	I30pictureHdrTBL.12	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrLowerPq1000	I30pictureHdrTBL.13	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrLowerHlg	I30pictureHdrTBL.14	DisplayString	R/W	0.0~100.0
I30pictureHdrLowerSlog	I30pictureHdrTBL.15	DisplayString	R/W	3.5~109.4
I30pictureHdrDrange	I30pictureHdrTBL.16	INTEGER	R/W	1 = normal
				2 = high
				4 = disable
I30pictureHdrMode	I30pictureHdrTBL.17	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30pictureHdrBrightness	I30pictureHdrTBL.18	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on

## • I30statusTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30statusModeTBL	l30statusTBL.1	Aggregate	-	-
l30statusModeTop	l30statusModeTBL.1	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeDump	l30statusModeTBL.2	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeExtref	l30statusModeTBL.3	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeAncView	l30statusModeTBL.5	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeAncViewDump	I30statusModeTBL.6	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeLog	I30statusModeTBL.7	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusModeAncPkt	l30statusModeTBL.8	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeEdh	l30statusModeTBL.9	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModePayload	l30statusModeTBL.10	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusCtrlPkt	l30statusModeTBL.11	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusModeAribCc	l30statusModeTBL.12	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusAribNetq	I30statusModeTBL.13	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeAribTrig	I30statusModeTBL.14	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusModeAribUser1	I30statusModeTBL.15	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeAribUser2	l30statusModeTBL.16	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusModeSmpteAfd	I30statusModeTBL.19	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusModeSearch	I30statusModeTBL.22	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusErrClear	I30statusModeTBL.23	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusLogTBL	l30statusTBL.2	Aggregate	-	-
I30statusLogging	l30statusLogTBL.1	INTEGER	R/W	1 = stop
				2 = start
l30statusLogMode	I30statusLogTBL.2	INTEGER	R/W	1 = overwr
				2 = stop
l30statusLogAutoFilename	I30statusLogTBL.3	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30statusLogClear	l30statusLogTBL.4	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusLogStore	l30statusLogTBL.5	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30statusDumpTBL	l30statusTBL.3	Aggregate	-	-
I30statusDumpMode	l30statusDumpTBL.1	INTEGER	R/W	1 = run
				2 = hold
l30statusDumpModeCap	l30statusDumpTBL.2	INTEGER	R/W	1 = run
				2 = hold
				3 = frmcap
l30statusDumpDisp	I30statusDumpTBL.3	INTEGER	R/W	1 = serial
				2 = compo
				3 = binary
				4 = linka
				5 = linkb
				6 = linkab

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				7 = stream1
				8 = stream2
				9 = stream12
				10 = s1serial
				11 = s1compo
				12 = s1binary
				13 = s2serial
				14 = s2compo
				15 = s2binary
l30statusDumpJump	I30statusDumpTBL.4	INTEGER	R/W	1 = eav
				2 = sav
l30statusDumpAutoFilename	I30statusDumpTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusDumpUsbFileStore	I30statusDumpTBL.7	INTEGER	R/W	1 (固定値)
l30statusDumpSample	I30statusDumpTBL.8	INTEGER	R/W	0~32767
l30statusDumpLine	I30statusDumpTBL.9	INTEGER	R/W	0~32767
I30statusExtrefTBL	I30statusTBL.4	Aggregate	-	_
I30statusExtrefUserRef	I30statusExtrefTBL.1	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusExtrefDefaultRef	I30statusExtrefTBL.2	INTEGER	R/WO	1 (固定值)
130statusExtrefSel	I30statusExtrefTBL 3	INTEGER	R/W	1 = ext
		INTEGER	.,	2 = sdi
I30statusExtrefTiming	I30statusExtrefTBL.4	INTEGER	R/W	1 = legacy
			.,	2 = serial
I30statusAncTBL	I30statusTBL.6	Aggregate	-	-
I30statusAncDumpHold	I30statusAncTBL.1	INTEGER	R/W	1 = hold-hold
			.,	2 = hold-1s
				3 = hold - 3s
130statusAncDumpMode	130statusAncTBL 2	INTEGER	R/W	1 = hex
		INTEGER	.,	2 = binary
I30statusAncDumpSample	I30statusAncTBL.3	INTEGER	R/W	0~258
130statusAncEdhDisp	130statusAncTBL.4	INTEGER	R/W	1 = text
			.,	2 = dump
130statusAncEdhMode	130statusAncTBL.5	INTEGER	R/W	1 = hex
			.,	2 = binary
130statusAncEdhSample	130statusAncTBL 6	INTEGER	R/W	$0 \sim 19$
130status AncViewStream	I30statusAncTBL 7	INTEGER	R/W	1 = stream1
		INTEGEN	1911	$2 = \text{stream}^2$
130statusAncPayloadStream	130statusAncTBL 8	INTEGER	R/W	1 = stream1
		INTEGEN	1911	$2 = \text{stream}^2$
130statusAncCtrlDisn	130statusAncTBL 9	INTEGER	R/W	1 = text
1903tatasAneeth Disp	1505tatasAnerbe.5	INTEGER	1.7.44	2 = dump
130statusAncCtrlMode	I30statusAncTBL 10	INTEGER	R/W	1 = hex
IsostatusAneetimode	1505tatasAner DE.10	INTEGER	1.7 **	2 = binary
130statusAncCtrlGroup	I30statusAncTBL 11	INTEGER	R/W	$1 = \operatorname{aroup1}$
			.,	$2 = \operatorname{aroup} 2$
				$3 = \operatorname{aroup3}$
				4 = aroup4
130statusAncCtrlStream	I30statusAncTBL 12	INTEGER	R/W	1 = stream1
1903tatasAneethStream	1505tatasAner DE.12	INTEGEN	1.7 **	$2 = \text{stream}^2$
I30statusAribTBI	I30statusTBL 7	Aggregate	_	-
130statusAribCcDisp	I30statusAribTBI_1	INTEGER	R/W	1 = text
	1909(4(4)) (1019)	INTEGEN	1911	2 = dump
130statusAribCcType	I30status∆rihTRI_2	INTEGER	R/W	1 = hd
			1.7	2 = sd
				2 = 30 3 = analog
				4 – collular
130status AribCcModo	130etatusArihTPL 2	INTEGED	D /\//	1 - hey
ISUSIALUSAI IDUUTIUUE	iouolaluoAIIDTDLio	TIVILGER	r\/ ¥¥	T - 11CV

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = binary
l30statusAribCcSample	I30statusAribTBL.4	INTEGER	R/W	0~258
l30statusAribCcStream	l30statusAribTBL.5	INTEGER	R/W	1 = stream1
				2 = stream2
130statusAribNetgDisp	l30statusAribTBL.6	INTEGER	R/W	1 = text
·····			.,	2 = dump
				$3 = a \log a$
				4 = format
130status AribNetaMode	130statusAribTBL 7	INTEGER	R/\//	1 - hey
150statusAnbivetqivioue	150statusAIIDTDL./	INTEGER	1.7 1.1	1 - hex
120 status Arib Nota Cample			D /\\/	
		INTEGER		0, 238
130statusAribNetqLogPos	130statusAribTBL.10	INTEGER	R/W	-50~50
130statusAribNetqStream	130statusArib1BL.11	INTEGER	R/W	1 = stream1
				2 = stream 2
I30statusAribNetqClear	l30statusAribTBL.12	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
l30statusAribNetqMaskNetQ1	l30statusAribTBL.13	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetqMaskNetQ2	l30statusAribTBL.14	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetqMaskNetQ3	l30statusAribTBL.15	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30statusAribNetgMaskNetQ4	l30statusAribTBL.16	INTEGER	R/W	1 = off
			,	2 = on
130statusAribNetgMaskNetO5	30statusAribTBL 17	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = 0
130statusAribNetaMaskNetO6	30statusAribTBL 18	INTEGER	R/\//	1 - off
1303tatusAnbrictqi laskivetQ0	1503tatusAnd I DE.10	INTEGER		2 = 0
120status AribNotaMaskNotO7	120statusAribTRI 10		D /\//	$2 = 0\Pi$
150statusAnbhetqMaskhetQ7	ISOSIALUSAIIDI DE.19	INTLOLK	r./ vv	1 = 011
130StatusAribivetqMaskivetQ8	130statusArid1BL.20	INTEGER	R/ W	1 = 011
			5.044	
130statusAribNetqMaskNetQ9	130statusArib1BL.21	INTEGER	R/W	
			- 0	2 = on
I30statusAribNetqMaskNetQ10	130statusAribTBL.22	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetqMaskNetQ11	l30statusAribTBL.23	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetqMaskNetQ12	l30statusAribTBL.24	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetqMaskNetQ13	l30statusAribTBL.25	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetqMaskNetQ14	l30statusAribTBL.26	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30statusAribNetgMaskNetQ15	l30statusAribTBL.27	INTEGER	R/W	1 = off
			,	2 = on
I30statusAribNetgMaskNetO16	l30statusAribTBL.28	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
130statusAribNetgMaskNetO17	30statusAribTBL 29	INTEGER	R/W	1 = off
		Intelett		2 = 0
130statusAribNetaMaskNetO18	30statusAribTBL 30	INTEGER	R/\//	1 - off
	1303tatashing DEi30		1.7.11	2 = 0
30statusAribNetaMackNot010	30statusAribTRI 21	INTEGER	D /\//	1 - off
	1505tatusAHDTDL.51	INTLOLK	TV VV	1 - 011
120 status Arib Nata Mastura 20	120 atatus AribTPL 22			
ISUSLALUSATIDIVELQMASKIVELQ20	ISUSIALUSATIDTBL.32	INTEGER	K/ W	T = 011
			D ////	2 = 011
130statusAribNetqMaskNetQ21	130statusArib1BL.33	INTEGER	K/W	1 = 011
	1	1	1	1 = 00

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30statusAribNetqMaskNetQ22	l30statusAribTBL.34	INTEGER	R/W	1 = off
			,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO23	l30statusAribTBL.35	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO24	l30statusAribTBL.36	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO25	l30statusAribTBL.37	INTEGER	R/W	1 = off
······································			.,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO26	l30statusAribTBL.38	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO27	l30statusAribTBL.39	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetgMaskNetO28	l30statusAribTBL.40	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO29	l30statusAribTBL.41	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO30	l30statusAribTBL.42	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO31	l30statusAribTBL.43	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetO32	l30statusAribTBL.44	INTEGER	R/W	1 = off
		_	,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetS1	l30statusAribTBL.45	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
130statusAribNetgMaskNetS2	130statusAribTBL.46	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = 0n
130statusAribNetaMaskNetS3	I30statusAribTBL 47	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = 0n
130statusAribNetaMaskNetS4	130statusAribTBL 48	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = 0
130statusAribNetgMaskNetS5	130statusAribTBL 49	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = 0
l30statusAribNetgMaskNetS6	130statusAribTBL.50	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
130statusAribNetgMaskNetS7	I30statusAribTBL_51	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = 0n
l30statusAribNetgMaskNetS8	130statusAribTBL.52	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30statusAribNetgMaskNetS9	130statusAribTBL.53	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30statusAribNetgMaskNetS10	130statusAribTBL.54	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30statusAribNetgMaskNetS11	l30statusAribTBL.55	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30statusAribNetgMaskNetS12	130statusAribTBL.56	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = 0n
l30statusAribNetgMaskNetS13	130statusAribTBL.57	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30statusAribNetgMaskNetS14	130statusAribTBL.58	INTEGER	R/W	1 = off
			.,	2 = on
l30statusAribNetaMaskNetS15	130statusAribTBL.59	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribNetgMaskNetS16	130statusAribTBL.60	INTEGFR	R/W	1 = off
				2 = on
l30statusAribTriggerDisp	30statusAribTBL.61	INTEGFR	R/W	1 = text
······································			,	2 = dump
l30statusAribTriggerMode	I30statusAribTBL.62	INTEGER	R/W	1 = hex

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = binary
l30statusAribTriggerSample	l30statusAribTBL.63	INTEGER	R/W	0~258
l30statusAribTriggerStream	l30statusAribTBL.64	INTEGER	R/W	1 = stream1
				2 = stream2
l30statusAribTriggerUser1Mode	l30statusAribTBL.65	INTEGER	R/W	1 = hex 2 = binary
l30statusAribTriggerUser1Samp	l30statusAribTBL.66	INTEGER	R/W	0~258
130status Arib Triggerl Iser 1 Strea	130statusAribTBL 67	INTEGER	P /\//	1 – stream1
m	1303tata3Anb1DE.07	INTEGER		2 = stream2
I30statusAribTriggerUser2Mode	l30statusAribTBL.68	INTEGER	R/W	1 = hex
			- 6	2 = binary
l30statusAribTriggerUser2Samp le	130statusArıbTBL.69	INTEGER	R/W	0~258
l30statusAribTriggerUser2Strea	l30statusAribTBL.70	INTEGER	R/W	1 = stream1
m				2 = stream2
l30statusAribNetqUsbAutoFilen	I30statusAribTBL.71	INTEGER	R/W	1 = off
ame			- 6	2 = on
130statusAribNetqUsbFileStore	I30statusAribTBL.72	INTEGER	R/W	1 (固定値)
I30statusSmpteTBL	I30statusTBL.8	Aggregate	-	-
I30statusSmpteAfdDisp	I30statusSmpteTBL.11	INTEGER	R/W	1 = text
			5.047	2 = dump
BustatusSmpteAfdMode	130statusSmpteTBL.12	INTEGER	R/W	1 = hex
			D () I (	2 = binary
130statusSmpteAfdStream	130statusSmpteTBL.13	INTEGER	R/W	1 = stream1 2 = stream2
I30statusCustomTBL	I30statusTBL.9	Aggregate	-	-
I30statusCustomSearchDid	I30statusCustomTBL.1	DisplayString	R/W	0~FF
l30statusCustomSearchSdid	I30statusCustomTBL.2	DisplayString	R/W	-1~FF
l30statusCustomSearchMode	I30statusCustomTBL.3	INTEGER	R/W	1 = hex
				2 = binary
I30statusCustomSearchYc	l30statusCustomTBL.4	INTEGER	R/W	1 = y 2 = c
l30statusCustomSearchStream	l30statusCustomTBL.5	INTEGER	R/W	1 = stream1
		INTEGED	D (11/0	2 = stream2
130statusCustomSearchSet	130statusCustom I BL.6	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
130statusCustomSearchSample	130statusCustom I BL. /	INTEGER	R/W	0~258
130statusLinkTBL	130status I BL.10	Aggregate	-	-
ISOSIALUSLINKSEIECL	I30statusLinkSelect	INTEGER	R/ W	1 = picture
				2 = dch
				4 = cch
				5 = dch
I30statusLinkAncSelect	I30statusLinkTBL.2	INTEGER	R/W	1 = ach
			.,	2 = bch
				3 = cch
				4 = dch
I30statusSetupTBL	l30statusTBL.11	Aggregate	-	-
l30statusSetupErrCounter	l30statusSetupTBL.1	INTEGER	R/W	1 = sec 2 = field
l30statusSetupTrsErr	l30statusSetupTBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
120 status Satural in stress				$2 = 0\Pi$
ISUSIALUSSELUPLINEET	ISUSIALUSSELUPTBL.3	INTEGER	K/ W	1 = 011
130statusSetupCrcErr	130ctatucSaturTBL 1		D /\\/	2 - 011
	1505lalusselup1DL.4	INILGLK	r\/ VV	2 = 00
I30statusSetupEdhErr	I30statusSetupTBL.5	INTEGER	R/W	1 = off

Image: statusSetupIllegalErr       I30statusSetupTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupCableErr       I30statusSetupTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupCableErr       I30statusSetupTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupCableBag       I30statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         I30statusSetupCableAd       I30statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         I30statusSetupCableSd       I30statusSetupTBL.11       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         I30statusSetupCableAdgerr       I30statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         I30statusSetupCableAdgerr       I30statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       10 - cable-362V         I30statusSetupCableAdgerr       I30statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       10 - cable-362V         I30statusSetupCableAdgerr       I30statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50 - 300         I30statusSetupCableAdgerr       I30statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupCableAdgerr       I30statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W </th <th>MIB</th> <th>OID</th> <th>SYNTAX</th> <th>ACCESS</th> <th>VALUE/RANGE</th>	MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
BostatusSetupIllegalErr       I30statusSetupFRL6       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupFreqErr       130statusSetupTBL7       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCableErr       130statusSetupTBL8       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable3g       130statusSetupTBL9       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable4d       130statusSetupTBL10       INTEGER       R/W       1 = cable-15cfb         130statusSetupCable3d       130statusSetupTBL11       INTEGER       R/W       1 = cable-15c2v         2 = cable-3281       130statusSetupCable3qam       130statusSetupTBL13       INTEGER       R/W       10 ~ 105         130statusSetupCable4derr       130statusSetupTBL13       INTEGER       R/W       10 ~ 105         130statusSetupCable4derr       130statusSetupTBL16       INTEGER       R/W       5 ~ 300         130statusSetupCable5derr       130statusSetupTBL16       INTEGER       R/W       5 ~ 00         130statusSetupCable3dwamErr       130statusSetupTBL20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudobhErr       130statusSetupTBL21       INTEGER       R/W       1 = off<					2 = on
IsostatusSetupFreqErr       IsostatusSetupTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCableErr       130statusSetupTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable3g       130statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable3d       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable3d       130statusSetupTBL.11       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable3gerr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable3gerr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable4derr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable4derr       130statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable4derr       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       5 = cable-1694a         130statusSetupCable4derr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       5 = cable-1694a         130statusSetupCable3derr       130statusSetupTBL.16       INTEGER	l30statusSetupIllegalErr	I30statusSetupTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
130statusSetupFreqErr       130statusSetupTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCableErr       130statusSetupTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable3g       130statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       1 = cable-155cfb         130statusSetupCable3d       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-155cfb         130statusSetupCable3d       130statusSetupTBL.11       INTEGER       R/W       1 = cable-155cfb         130statusSetupCable3gerr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable3gerr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       50~300         130statusSetupCable4dWarn       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         130statusSetupPartiVErr       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDhtrir       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioPrityErr       130statusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off   <					2 = on
IsotatusSetupCableErr       IsotatusSetupTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable3g       130statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       1 = cable-156/b         130statusSetupCable4Id       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-156/b         130statusSetupCable5d       130statusSetupTBL.11       INTEGER       R/W       1 = cable-152cV         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable4gErr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable4GErr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       50~300         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.19       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDherr       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off	I30statusSetupFreqErr	I30statusSetupTBL.7	INTEGER	R/W	1 = off
130statusSetupCableErr       130statusSetupTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable3g       130statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable4d       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable5d       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable4dErr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable4dErr       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         130statusSetupCable5dWm       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         130statusSetupCable5dWm       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudiobhefrr       130statusSetupTBL.19       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDhefrr       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDhefrr       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2 = on</td>					2 = on
I alostatusSetupCable3g       I 30statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       I = cable-is5ch         130statusSetupCableHd       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-is5ch         130statusSetupCableSd       130statusSetupTBL.11       INTEGER       R/W       1 = cable-is5ch         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-is5ch         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       5~130         130statusSetupCable4dErr       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       5~130         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       5~300         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.17       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable3dWarn       130statusSetupTBL.18       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off	l30statusSetupCableErr	I30statusSetupTBL.8	INTEGER	R/W	1 = off
130statusSetupCable3g       130statusSetupTBL.9       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCableHd       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-1694a         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-15c2v         130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable1dgErr       130statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       5~130         130statusSetupCable1dWarn       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       5~300         130statusSetupCable5dWarn       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable5dWarn       130statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDherr       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDherr       130statusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off					2 = on
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	l30statusSetupCable3g	I30statusSetupTBL.9	INTEGER	R/W	1 = cable-ls5cfb
IB0statusSetupCableHd       IB0statusSetupTBL.10       INTEGER       R/W       1 = cable-IsSch         I30statusSetupCableSd       I30statusSetupTBL.11       INTEGER       R/W       1 = cable-IsSch         I30statusSetupCable3gErr       I30statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       1 = cable-IsSch         I30statusSetupCable3gWarn       I30statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       10~105         I30statusSetupCable4GWarn       I30statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       5~130         I30statusSetupCable5GErr       I30statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       50~300         I30statusSetupCable5GErr       I30statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         I30statusSetupCable5GErr       I30statusSetupTBL.17       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioBch       I30statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioDhErr       I30statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioPrityErr       I30statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioPrityErr       I30statusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off<					2 = cable - 1694a
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	BostatusSetupCableHd	130statusSetupTBL.10	INTEGER	R/W	1 = cable-ls5cfb
IJUSTATUSSEtuple.able3d       IJUSTATUSSEtup18L.11       INTEGER       R/W       1 = cable-b224         I30statusSetupCable3gErr       IJOStatusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         I30statusSetupCable3gErr       IJOStatusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       10~105         I30statusSetupCableHdWarn       IJOStatusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       5~130         I30statusSetupCableSdWarn       IJOStatusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         I30statusSetupCableSdWarn       IJOStatusSetupTBL.17       INTEGER       R/W       50~300         I30statusSetupAudioBch       IJOstatusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioBch       IJOstatusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioPhityErr       IJJOstatusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioPhityErr       IJJOstatusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioPhityErr       IJJOstatusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioPhityErr       IJJOstatusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off <td></td> <td></td> <td>INTEGED</td> <td>D () ()</td> <td>2 = cable-1694a</td>			INTEGED	D () ()	2 = cable-1694a
130statusSetupCable3gErr       130statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       10~105         130statusSetupCable3gWarn       130statusSetupTBL.13       INTEGER       R/W       5~130         130statusSetupCable4dErr       130statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       5~130         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       5~300         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.17       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.19       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupCable5dErr       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDonErr       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioSampleErr       130statusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioSampleErr       130statusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioSampleErr       130statusSetupTBL.25       INTEGER       R/W       1 = off       <	130statusSetupCableSd	130statusSetup I BL.11	INTEGER	R/W	1 = Cable - 15C2V
Ibotatossetup/Cable3yurn       Ibotatossetup/TEL12       INTEGER       R/W       I0~105         I30statusSetupCableHdErr       I30statusSetupTBL.14       INTEGER       R/W       5~130         I30statusSetupCableHdErr       I30statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       5~130         I30statusSetupCableSdWarn       I30statusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         I30statusSetupCableSdWarn       I30statusSetupTBL.17       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupParityErr       I30statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioBch       I30statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioDbnErr       I30statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioDhrityErr       I30statusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioSampleErr       I30statusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioSampleErr       I30statusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioSampleErr       I30statusSetupTBL.25       INTEGER       R/W       1 = off   <	130statusSatusCabla3gErr	20ctatucSotupTBL 12		D /\\/	2 = CaDIE-0201
IostatusSetupCableHdWarn       IostatusSetupTL:14       INTEGER       R/W       5~130         I3ostatusSetupCableHdWarn       I3ostatusSetupTBL:15       INTEGER       R/W       5~130         I3ostatusSetupCableSdErr       I3ostatusSetupTBL:16       INTEGER       R/W       50~300         I3ostatusSetupCableSdErr       I3ostatusSetupTBL:17       INTEGER       R/W       50~300         I3ostatusSetupCableSdErr       I3ostatusSetupTBL:17       INTEGER       R/W       1 = off         I3ostatusSetupAudioBch       I3ostatusSetupTBL:20       INTEGER       R/W       1 = off         2 = on       I3ostatusSetupAudioDhErr       I3ostatusSetupTBL:21       INTEGER       R/W       1 = off         13ostatusSetupAudioDhErr       I3ostatusSetupTBL:22       INTEGER       R/W       1 = off         13ostatusSetupAudioSampleErr       I3ostatusSetupTBL:23       INTEGER       R/W       1 = off         13ostatusSetupAudioSampleErr       I3ostatusSetupTBL:24       INTEGER       R/W       1 = off         13ostatusSetupGamutErr       I3ostatusSetupTBL:25       INTEGER       R/W       1 = off         13ostatusSetupGamutErr       I3ostatusSetupTBL:26       INTEGER       R/W       1 = off<	130statusSetupCable3gWarn	130statusSetupTBL 13	INTEGER		10~105
Instruction       Instruction       Instruction       Instruction       Instruction         I3ostatusSetupCableSdErr       I3OstatusSetupTBL.15       INTEGER       R/W       50~300         I3ostatusSetupCableSdErr       I3OstatusSetupTBL.16       INTEGER       R/W       50~300         I3ostatusSetupCableSdWarn       I3OstatusSetupTBL.17       INTEGER       R/W       1 = off         I3ostatusSetupChecksumErr       I3OstatusSetupTBL.19       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioBch       I3OstatusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioDbnErr       I3OstatusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioPrityErr       I3OstatusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioSampleErr       I3OstatusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioSampleErr       I3OstatusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioSampleErr       I3OstatusSetupTBL.25       INTEGER       R/W       1 = off         I3OstatusSetupAudioSampleErr       I3OstatusSetupTBL.26       INTEGER       R/W       1 = off	130statusSetupCableJgWall	130statusSetupTBL 14	INTEGER	R/W	5~130
Instruction of the image of the im	130statusSetupCableHdWarn	130statusSetupTBL 15	INTEGER	R/W	5~130 5~130
Instructure       Instructure       Instructure       Instructure       Instructure         I30statusSetupCableSdWarn       I30statusSetupTBL.12       INTEGER       R/W       50~300         I30statusSetupParityErr       I30statusSetupTBL.18       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupChecksumErr       I30statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioBch       I30statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioDbnErr       I30statusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioDnhibitErr       I30statusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioSampleErr       I30statusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupAudioSampleErr       I30statusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupGamutErr       I30statusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupGamutErr       I30statusSetupTBL.26       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on <td< td=""><td>130statusSetupCableSdErr</td><td>130statusSetupTBL 16</td><td>INTEGER</td><td>R/W</td><td>50~300</td></td<>	130statusSetupCableSdErr	130statusSetupTBL 16	INTEGER	R/W	50~300
130statusSetupParityErr       130statusSetupTBL.18       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupChecksumErr       130statusSetupTBL.19       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioBch       130statusSetupTBL.20       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioDbnErr       130statusSetupTBL.21       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioPrityErr       130statusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioInhibitErr       130statusSetupTBL.22       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupAudioSampleErr       130statusSetupTBL.23       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupLowpassFreq       130statusSetupTBL.24       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupGamutErr       130statusSetupTBL.25       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupGamutUpper       130statusSetupTBL.31       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupGamutUpper       130statusSetupTBL.31       INTEGER       R/W       1 = off         130statusSetupTBL.31       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on	130statusSetupCableSdWarn	I30statusSetupTBL.17	INTEGER	R/W	50~300
130statusSetupChecksumErr130statusSetupTBL.19INTEGERR/W1 = off 2 = on130statusSetupAudioBch130statusSetupTBL.20INTEGERR/W1 = off 2 = on130statusSetupAudioDbnErr130statusSetupTBL.21INTEGERR/W1 = off 2 = on130statusSetupAudioPrityErr130statusSetupTBL.22INTEGERR/W1 = off 	I30statusSetupParitvErr	I30statusSetupTBL.18	INTEGER	R/W	1 = off
130statusSetupChecksumErr   130statusSetupTBL.19   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupAudioBch   130statusSetupTBL.20   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupAudioDbnErr   130statusSetupTBL.21   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupAudioPrityErr   130statusSetupTBL.22   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupAudioPrityErr   130statusSetupTBL.23   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupAudioInhibitErr   130statusSetupTBL.23   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupAudioSampleErr   130statusSetupTBL.24   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupLowpassFreq   130statusSetupTBL.25   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupGamutErr   130statusSetupTBL.26   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupGamutUpper   130statusSetupTBL.27   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupGamutUper   130statusSetupTBL.28   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupGamutUper   130statusSetupTBL.31   INTEGER   R/W   1 = off     130statusSetupGamutUper   130statusSetupTBL.32   INTEGER   R/W   1 = off     130statusGamutArea   130statusSetupTBL.33   INTEGER   R/W   2 = on </td <td></td> <td></td> <td></td> <td>.,</td> <td>2 = on</td>				.,	2 = on
Image: Construct Setup AudioBchImage: Construct Setup TBL.20INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupAudioDbnErrI30statusSetupTBL.21INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupAudioPrityErrI30statusSetupTBL.22INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupAudioInhibitErrI30statusSetupTBL.23INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupAudioSampleErrI30statusSetupTBL.24INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupLowpassFreqI30statusSetupTBL.25INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupGamutLowerI30statusSetupTBL.28INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupGamutLowerI30statusSetupTBL.28INTEGER $R/W$ $0 \sim 50$ I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.31INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusCmpstQppI30statusSetupTBL.33INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusCmpstQppI30statusSetupTBL.33INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupTBL.33INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30statusSetupTBL.34INTEGER $R/W$ $2 = on$ I30statusS	130statusSetupChecksumErr	I30statusSetupTBL.19	INTEGER	R/W	1 = off
130statusSetupAudioBch     130statusSetupTBL.20     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupAudioDbnErr     130statusSetupTBL.21     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupAudioPrityErr     130statusSetupTBL.22     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupAudioInhibitErr     130statusSetupTBL.23     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupAudioSampleErr     130statusSetupTBL.24     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupLowpassFreq     130statusSetupTBL.25     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutErr     130statusSetupTBL.26     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutErr     130statusSetupTBL.26     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutErr     130statusSetupTBL.27     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutLower     130statusSetupTBL.32     INTEGER     R/W     -2 = on       130statusGamutDurea     130statusSetupTBL.32     INTEGER     R/W     -2 = on       130statusSetupTBL.31     INTEGER     R/W     -2 = on     -50       130statusGamutDuration     130statusSetupTBL.33     INTEGER     R/W <td< td=""><td>•</td><td></td><td></td><td>,</td><td>2 = on</td></td<>	•			,	2 = on
IsolatusSetupAudioDbnErrIsolatusSetupTBL.21INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupAudioPrityErrIsolatusSetupTBL.22INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupAudioInhibitErrIsolatusSetupTBL.23INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupAudioSampleErrIsolatusSetupTBL.24INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupLowpassFreqIsolatusSetupTBL.25INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupGamutErrIsolatusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupGamutErrIsolatusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupGamutErrIsolatusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusSetupGamutLowerIsolatusSetupTBL.26INTEGERR/W908~1094IsolatusSetupGamutLowerIsolatusSetupTBL.32INTEGERR/W-72~61IsolatusGamutAreaIsolatusSetupTBL.32INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusCmpstGamutIsolatusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusCmpstQeupIsolatusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75IsolatusCmpstUpperIsolatusSetupTBL.35INTEGERR/W400~200IsolatusCmpstDuperIsolatusSetupTBL.36INTEGERR/W400~200IsolatusCmpstDuperIsolatusSetupTBL.36INTEGERR/W1 = off 2 = onIsolatusCmpstDuperIsolatusSetupTBL.34INTEGERR/W400~200	l30statusSetupAudioBch	I30statusSetupTBL.20	INTEGER	R/W	1 = off
I30statusSetupAudioDbnErr     I30statusSetupTBL.21     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupAudioPrityErr     I30statusSetupTBL.22     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupAudioInhibitErr     I30statusSetupTBL.23     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupAudioSampleErr     I30statusSetupTBL.24     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupLowpassFreq     I30statusSetupTBL.25     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupGamutErr     I30statusSetupTBL.26     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupGamutErr     I30statusSetupTBL.27     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupGamutUpper     I30statusSetupTBL.27     INTEGER     R/W     908~1094       I30statusGamutUpper     I30statusSetupTBL.28     INTEGER     R/W     -72~61       I30statusGamutUpper     I30statusSetupTBL.31     INTEGER     R/W     0~50       I30statusGamutDuration     I30statusSetupTBL.32     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusGamutDuration     I30statusSetupTBL.33     INTEGER     R/W     0~260       I30statusCmpstGamut     I30statusSetupTBL.34     INTEGER     R/W					2 = on
Image: constraint of the sector of the sec	l30statusSetupAudioDbnErr	l30statusSetupTBL.21	INTEGER	R/W	1 = off
I30statusSetupAudioPrityErr     I30statusSetupTBL.22     INTEGER     R/W     1 = off       I30statusSetupAudioInhibitErr     I30statusSetupTBL.23     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupAudioSampleErr     I30statusSetupTBL.24     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupLowpassFreq     I30statusSetupTBL.25     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutErr     I30statusSetupTBL.26     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutErr     I30statusSetupTBL.27     INTEGER     R/W     1 = off       130statusSetupGamutUpper     I30statusSetupTBL.27     INTEGER     R/W     2 = on       130statusGamutLower     I30statusSetupTBL.31     INTEGER     R/W     0~50       130statusGamutDuration     I30statusSetupTBL.32     INTEGER     R/W     1 = off       130statusComptGamut     I30statusSetupTBL.33     INTEGER     R/W     0~50       130statusComptGamut     I30statusSetupTBL.33     INTEGER     R/W     1 = off       130statusComptGamut     I30statusSetupTBL.34     INTEGER     R/W     1 = off       130statusComptGamut     I30statusSetupTBL.33     INTEGER     R/W     1					2 = on
Image: construct of the sector of the sect	l30statusSetupAudioPrityErr	I30statusSetupTBL.22	INTEGER	R/W	1 = off
I30statusSetupAudioInhibitErrI30statusSetupTBL.23INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupAudioSampleErrI30statusSetupTBL.24INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupLowpassFreqI30statusSetupTBL.25INTEGERR/W1 = off 2 = hdsd1mhz 3 = hd2p8d1mhzI30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = hdsd1mhz 3 = hd2p8d1mhzI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.27INTEGERR/W908~1094I30statusGamutLowerI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W-72~61I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W0~50I30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = on2 = onI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~50130statusSetupTBL.44INTEGERI30statusSreezeFrrI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.43INTEGER </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2 = on</td>					2 = on
Image: Construct Setup AudioSampleErrIsostatusSetupTBL.24INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupLowpassFreqI30statusSetupTBL.25INTEGERR/W1 = off 2 = hdsd1mhz 3 = hd2p8sd1mhzI30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.27INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.27INTEGERR/W908~1094I30statusSetupGamutLowerI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W-72~61I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W0~00~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100 <td>l30statusSetupAudioInhibitErr</td> <td>I30statusSetupTBL.23</td> <td>INTEGER</td> <td>R/W</td> <td>1 = off</td>	l30statusSetupAudioInhibitErr	I30statusSetupTBL.23	INTEGER	R/W	1 = off
I30statusSetupAudioSampleErrI30statusSetup1BL.24INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupLowpassFreqI30statusSetupTBL.25INTEGERR/W1 = off 2 = hdsd1mhz 3 = hd2p8sd1mhzI30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = ndI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.27INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.28INTEGERR/W908~1094I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W-72~61I30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmptSetupI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W0~100I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100				5.044	2 = on
I30statusSetupLowpassFreqI30statusSetupTBL.25INTEGERR/W1 = off 2 = hdsd1mhz 3 = hd2p8sd1mhzI30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.27INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutLowerI30statusSetupTBL.28INTEGERR/W908~1094I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W-72~61I30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~600I30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstDuperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W0~200I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W1~60I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1~60I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1~60I30statusFreezeIrrI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL	130statusSetupAudioSampleErr	130statusSetup1BL.24	INTEGER	R/W	1 = OIT
ISOStatusSetupLowpassPreq       ISOstatusSetupTBL.25       INTEGER       R/W       I = 0ff         2 = hdsd1mhz       3 = hd2p8sd1mhz       ISOstatusSetupTBL.26       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusSetupGamutUpper       I30statusSetupTBL.27       INTEGER       R/W       908~1094         I30statusSetupGamutLower       I30statusSetupTBL.28       INTEGER       R/W       -72~61         I30statusGamutArea       I30statusSetupTBL.31       INTEGER       R/W       0~50         I30statusGamutDuration       I30statusSetupTBL.32       INTEGER       R/W       1~60         I30statusCmpstGamut       I30statusSetupTBL.33       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusCmpstGamut       I30statusSetupTBL.33       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusCmpstQpper       I30statusSetupTBL.34       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusCmpstUpper       I30statusSetupTBL.35       INTEGER       R/W       1 = off         I30statusCmpstLower       I30statusSetupTBL.36       INTEGER       R/W       400~200         I30statusCmpstLower       I30statusSetupTBL.36       INTEGER       R/W       -400~200         I30s		20 atatusCatusTRI 25	INTECED		2 = 0
2 - 103011112 $3 = hd2p8sd1mhz$ $3 = 302p8sd1mhz$ $3 = 302p8sd1mbz$ $3 = 302p8sd1mz$ $3$	ISOSIALUSSELUPLOWPASSFIEd	150statussetup i BL.25	INTEGER	K/ W	1 = 011 2 = bdcd1mbz
I30statusSetupGamutErrI30statusSetupTBL.26INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusSetupGamutUpperI30statusSetupTBL.27INTEGERR/W908~1094I30statusSetupGamutLowerI30statusSetupTBL.28INTEGERR/W-72~61I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W0~50I30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~60I30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1 = off 					3 = hd2n8sd1mhz
InternationalInternationInternation130statusSetupGamutUpper130statusSetupTBL.27INTEGERR/W908~1094130statusSetupGamutLower130statusSetupTBL.28INTEGERR/W-72~61130statusGamutArea130statusSetupTBL.31INTEGERR/W0~50130statusGamutDuration130statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~60130statusCmpstGamut130statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off130statusCmpstGamut130statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-02 = on130statusSetupTBL.35INTEGERR/W1 = setup-02 = setup-75130statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350130statusCmpstUpper130statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200130statusCmpstArea130statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50130statusCmpstDuration130statusSetupTBL.40INTEGERR/W1 = off130statusFreezeErr130statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off130statusFreezeUpper130statusSetupTBL.42INTEGERR/W1 = off130statusFreezeLower130statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100130statusFreezeLotert130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100130statusFreezeLotert130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100130statusFreezeLotert130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100 <td>130statusSetupGamutErr</td> <td>130statusSetupTBL.26</td> <td>INTEGER</td> <td>R/W</td> <td>1 = off</td>	130statusSetupGamutErr	130statusSetupTBL.26	INTEGER	R/W	1 = off
130statusSetupGamutUpper130statusSetupTBL.27INTEGERR/W908~1094130statusSetupGamutLower130statusSetupTBL.28INTEGERR/W-72~61130statusGamutArea130statusSetupTBL.31INTEGERR/W0~50130statusGamutDuration130statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~60130statusCmpstGamut130statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off130statusCmpstGamut130statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0130statusCmpstGup130statusSetupTBL.35INTEGERR/W1 = setup-0130statusCmpstUpper130statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350130statusCmpstLower130statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200130statusCmpstLower130statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50130statusFreezeErr130statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60130statusFreezeErr130statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45 <td></td> <td></td> <td></td> <td>.,</td> <td>2 = on</td>				.,	2 = on
130statusSetupGamutLower130statusSetupTBL.28INTEGERR/W-72~61130statusGamutArea130statusSetupTBL.31INTEGERR/W0~50130statusGamutDuration130statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~60130statusCmpstGamut130statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off130statusCmpstGamut130statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0130statusCmstSetup130statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0130statusCmpstUpper130statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350130statusCmpstLower130statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200130statusCmpstArea130statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50130statusFreezeErr130statusSetupTBL.40INTEGERR/W1 ~ 60130statusFreezeLower130statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.45<	l30statusSetupGamutUpper	I30statusSetupTBL.27	INTEGER	R/W	908~1094
I30statusGamutAreaI30statusSetupTBL.31INTEGERR/W0~50I30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~60I30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = offI30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0I30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W1 = setup-0I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1 = offI30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = offI30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45	l30statusSetupGamutLower	I30statusSetupTBL.28	INTEGER	R/W	-72~61
I30statusGamutDurationI30statusSetupTBL.32INTEGERR/W1~60I30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLotertI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFree	l30statusGamutArea	I30statusSetupTBL.31	INTEGER	R/W	0~50
I30statusCmpstGamutI30statusSetupTBL.33INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.46INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.46INTEGERR/W0~100	I30statusGamutDuration	I30statusSetupTBL.32	INTEGER	R/W	1~60
I30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.46INTEGERR/W0~100	l30statusCmpstGamut	I30statusSetupTBL.33	INTEGER	R/W	1 = off
I30statusCmstSetupI30statusSetupTBL.34INTEGERR/W1 = setup-0 2 = setup-75I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100					2 = on
2 = setup-75130statusCmpstUpper130statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350130statusCmpstLower130statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200130statusCmpstArea130statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50130statusCmpstDuration130statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60130statusFreezeErr130statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off130statusFreezeUpper130statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100130statusFreezeLower130statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100130statusFreezeLeft130statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100130statusFreezeRight130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeLeft130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeRight130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100130statusFreezeRight130statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100	l30statusCmstSetup	I30statusSetupTBL.34	INTEGER	R/W	1 = setup-0
I30statusCmpstUpperI30statusSetupTBL.35INTEGERR/W900~1350I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = offI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100					2 = setup-75
I30statusCmpstLowerI30statusSetupTBL.36INTEGERR/W-400~200I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off130statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100	l30statusCmpstUpper	I30statusSetupTBL.35	INTEGER	R/W	900~1350
I30statusCmpstAreaI30statusSetupTBL.39INTEGERR/W0~50I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off2 = on130statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100	I30statusCmpstLower	I30statusSetupTBL.36	INTEGER	R/W	-400~200
I30statusCmpstDurationI30statusSetupTBL.40INTEGERR/W1~60I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.46INTEGERR/W0~100	130statusCmpstArea	I30statusSetupTBL.39	INTEGER	R/W	0~50
I30statusFreezeErrI30statusSetupTBL.41INTEGERR/W1 = off 2 = onI30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100	130statusCmpstDuration	I30statusSetupTBL.40	INTEGER	R/W	1~60
I30statusFreezeUpperI30statusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLowerI30statusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I30statusFreezeLeftI30statusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeRightI30statusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeDurationI30statusSetupTBL.46INTEGERR/W2~300	I3UstatusFreezeErr	130statusSetupTBL.41	INTEGER	R/W	$1 = 0 \uparrow \uparrow$
ISOStatusFreezeOpperISOStatusSetupTBL.42INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeLowerI3OstatusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeLeftI3OstatusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeRightI3OstatusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeDurationI3OstatusSetupTBL.46INTEGERR/W0~100	120etatueEroozal Innar	20statusCatusTPL 42		D /\//	$2 = 0\Pi$
ISOStatusFreezeLowerISOStatusSetupTBL.43INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeLeftI3OstatusSetupTBL.44INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeRightI3OstatusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I3OstatusFreezeDurationI3OstatusSetupTBL.46INTEGERR/W2~300		130statusSetupTBL.42			0~100
IsostatusFreezeRightIsostatusSetupTBL.45INTEGERR/W0~100I30statusFreezeDurationI30statusSetupTBL.46INTEGERR/W2~300	130statusFreezeLower	130statusSetupTBL 43		r(/ VV D /\\/	0~100
I30statusFreezeDuration I30statusSetupTBL.46 INTEGER R/W 2~300	130statusFreezeRight	130statusSetupTBL.44		R/W	0~100
	I30statusFreezeDuration	130statusSetupTBL.46	INTEGER	R/W	2~300

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30statusBlackErr	I30statusSetupTBL.47	INTEGER	R/W	1 = off
			,	2 = on
l30statusBlackLevel	I30statusSetupTBL.48	INTEGER	R/W	0~100
l30statusBlackArea	I30statusSetupTBL.49	INTEGER	R/W	1~100
I30statusBlackDuration	I30statusSetupTBL.50	INTEGER	R/W	1~300
l30statusLevelErr	I30statusSetupTBL.51	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30statusLevelLumUpper	l30statusSetupTBL.52	INTEGER	R/W	-51~766
I30statusLevelLumLower	l30statusSetupTBL.53	INTEGER	R/W	-51~766
l30statusLevelChromaUpper	I30statusSetupTBL.54	INTEGER	R/W	-400~399
l30statusLevelChromaLower	l30statusSetupTBL.55	INTEGER	R/W	-400~399
l30statusDataTBL	l30statusTBL.12	Aggregate	-	-
l30statusDataSignalA	l30statusDataTBL.1	DisplayString	R/O	Signal Data
l30statusDataSignalB	l30statusDataTBL.2	DisplayString	R/O	Signal Data
l30statusDataSignalC	l30statusDataTBL.3	DisplayString	R/O	Signal Data
l30statusDataSignalD	l30statusDataTBL.4	DisplayString	R/O	Signal Data
l30statusDataLinkA	l30statusDataTBL.5	DisplayString	R/O	Link Data
l30statusDataLinkB	l30statusDataTBL.6	DisplayString	R/O	Link Data
l30statusDataLinkC	l30statusDataTBL.7	DisplayString	R/O	Link Data
l30statusDataLinkD	l30statusDataTBL.8	DisplayString	R/O	Link Data
l30statusDataFormatA	l30statusDataTBL.9	DisplayString	R/O	Format Data
l30statusDataFormatB	I30statusDataTBL.10	DisplayString	R/O	Format Data
l30statusDataFormatC	l30statusDataTBL.11	DisplayString	R/O	Format Data
l30statusDataFormatD	l30statusDataTBL.12	DisplayString	R/O	Format Data
l30statusDataAudioA	l30statusDataTBL.13	DisplayString	R/O	Audio Data
l30statusDataAudioB	l30statusDataTBL.14	DisplayString	R/O	Audio Data
l30statusDataAudioC	l30statusDataTBL.15	DisplayString	R/O	Audio Data
l30statusDataAudioD	I30statusDataTBL.16	DisplayString	R/O	Audio Data
l30statusDataExtrefA	l30statusDataTBL.17	INTEGER	R/O	1 = userref
				2 = default
l30statusDataExtrefStatA	l30statusDataTBL.18	INTEGER	R/O	1 = int
				2 = sdi1a
				3 = sdi2a
				4 = sdilc
				5 = sdi2c
				7 = IINK1
				8 = extra
				9 = exclude 0
130ctatusDataExtrofHtimeA	130statusDataTBL 10	DicplayString	P/O	
130statusDataExtrefHpixA	130statusDataTBL 20	DisplayString		H Phase [us]
130statusDataExtreft/lineA	130statusDataTBL 21	DisplayString	R/O	
130statusDataExtrefTotalA	130statusDataTBL 22	DisplayString	R/O	Total Phase
130statusDataExtrefB	130statusDataTBL 23		R/O	1 – userref
1903tatasbataExtrem	1903(4(4)))4(4) 102.23	INTEGER	Ny O	2 = default
I30statusDataExtrefStatB	I30statusDataTBL.24	INTEGER	R/O	1 = int
			.,	2 = sdi1a
				3 = sdi2a
				4 = sdi1c
				5 = sdi2c
				6 = linka
				7 = link1
				8 = exthd
				9 = extbb
				10 = nosignal
l30statusDataExtrefHtimeB	I30statusDataTBL.25	DisplayString	R/O	H Phase [us]

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30statusDataExtrefHpixB	l30statusDataTBL.26	DisplayString	R/O	H Phase [pix/dot]
I30statusDataExtrefVlineB	I30statusDataTBL.27	DisplayString	R/O	V Phase
l30statusDataExtrefTotalB	l30statusDataTBL.28	DisplayString	R/O	Total Phase
l30statusDataExtrefC	l30statusDataTBL.29	INTEGER	R/O	1 = userref
				2 = default
l30statusDataExtrefStatC	l30statusDataTBL.30	INTEGER	R/O	1 = int
				2 = sdi1a
				3 = sdi2a
				4 = sdi1c
				5 = sdi2c
				6 = linka
				7 = link1
				8 = exthd
				9 = extbb
				10 = nosignal
130statusDataExtrefHtimeC	30statusDataTBL.31	DisplayString	R/O	H Phase [us]
130statusDataExtrefHpixC	I30statusDataTBL.32	DisplayString	R/O	H Phase [pix/dot]
130statusDataExtrefVlineC	I30statusDataTBL.33	DisplayString	R/O	V Phase
130statusDataExtrefTotalC	30statusDataTBL.34	DisplayString	R/0	Total Phase
130statusDataExtrefD	I30statusDataTBL 35		R/O	1 = userref
			1,40	2 = default
130statusDataExtrefStatD	130statusDataTBL 36	INTEGER	R/O	1 = int
			.,	2 = sdi1a
				3 = sdi2a
				4 = sdi1c
				5 = sdi2c
				6 = linka
				7 = link1
				8 = exthd
				9 = extbb
				10 = nosignal
l30statusDataExtrefHtimeD	l30statusDataTBL.37	DisplavString	R/O	H Phase [us]
l30statusDataExtrefHpixD	l30statusDataTBL.38	DisplayString	R/O	H Phase [pix/dot]
I30statusDataExtrefVlineD	l30statusDataTBL.39	DisplayString	R/O	V Phase
l30statusDataExtrefTotalD	l30statusDataTBL.40	DisplayString	, R/O	Total Phase
I30statusDataAncAudioCtrl1	I30statusDataTBL.49	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
I30statusDataAncAudioCtrl2	l30statusDataTBL.50	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
130statusDataAncEdh	30statusDataTBL.51	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
130statusDataAncl tc1	130statusDataTBL.52	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
130statusDataAncl tc2	30statusDataTBL.53	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
130statusDataAncVitc1	130statusDataTBL 54	INTEGER	R/O	1 = detect
			1,40	2 = missing
130statusDataAncVitc2	130statusDataTBL 55	INTEGER	R/O	1 = detect
			1,40	2 = missing
130statusDataAncPavload1	130statusDataTBL 56	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,.	2 = missina
130statusDataAncPavload2	30statusDataTBI 57	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
130statusDataAncAfd1	30statusDataTBL 64	INTEGER	R/O	1 = detect
			.,	2 = missing
130statusDataAncAfd2	30statusDataTBL 65	INTEGER	R/O	1 = detect
			, C	2 - missing

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30statusDataAncJpnCc1	I30statusDataTBL.66	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncJpnCc2	I30statusDataTBL.67	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncJpnCc3	I30statusDataTBL.68	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncNetq1	I30statusDataTBL.69	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncNetq2	l30statusDataTBL.70	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncTrigger	l30statusDataTBL.71	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncUser1	l30statusDataTBL.72	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncUser2	I30statusDataTBL.73	INTEGER	R/O	1 = detect
				2 = missing
l30statusDataAncPktPayload	I30statusDataTBL.74	DisplayString	R/O	Payload ID
l30statusDataAncPktAribNetqSt	l30statusDataTBL.75	DisplayString	R/O	Station Code
ation				
l30statusDataAncPktAribNetqVc	I30statusDataTBL.76	DisplayString	R/O	Video Current
urr				
l30statusDataAncPktAribNetqV	I30statusDataTBL.77	DisplayString	R/O	Video Next
Next				
l30statusDataAncPktAribNetqA	I30statusDataTBL.78	DisplayString	R/O	Audio Current
Curr				
l30statusDataAncPktAribNetqA	I30statusDataTBL.79	DisplayString	R/O	Audio Next
Next				
l30statusDataAncPktAribNetqD	I30statusDataTBL.80	DisplayString	R/O	Downmix Current
Curr				
l30statusDataAncPktAribNetqD	l30statusDataTBL.81	DisplayString	R/O	Downmix Next
Next				
I30statusDataAncPktSmpteAfdC	l30statusDataTBL.82	DisplayString	R/O	AFD Code
ode				
I30statusDataAncPktSmpteAfdF	l30statusDataTBL.83	DisplayString	R/O	Coded Frame
rame				
I30statusDataAncPktSmpteAfdB	l30statusDataTBL.84	DisplayString	R/O	Bar Data Flags
arFlg				
I30statusDataAncPktSmpteAfdB	I30statusDataTBL.85	DisplayString	R/O	Bar Data Value1
arVal1				
l30statusDataAncPktSmpteAfdB	I30statusDataTBL.86	DisplayString	R/O	Bar Data Value2
arVal2				

## • I30eyeTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30eyeModeTBL	I30eyeTBL.1	Aggregate	-	-
I30eyeMode	I30eyeModeTBL.1	INTEGER	R/W	1 = eye
				2 = jit
l30eyeIntenTBL	I30eyeTBL.2	Aggregate	-	-
l30eyeInten	l30eyeIntenTBL.1	INTEGER	R/W	-128~127
130eyeColor	l30eyeIntenTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
130eveScaleTBL	I30eveTBL.3	Aggregate	-	-

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30eyeScaleInten	I30eyeScaleTBL.1	INTEGER	R/W	-8~7
I30eyeScaleColor	I30eyeScaleTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
,	,		,	2 = vellow
				3 = cyan
				4 = areen
				F = magonta
				S = Indgenita
				7 = Diue
130eyeGain I BL	130eyel BL.4	Aggregate	-	-
I30eyeGainMode	I30eyeGainTBL.1	INTEGER	R/W	1 = cal
				2 = variable
l30eyeGainVar	I30eyeGainTBL.2	DisplayString	R/W	0.50~2.00
I30eyeSweep	I30eyeGainTBL.3	INTEGER	R/W	1 = sweep-2ui
				2 = sweep-4ui
				3 = sweep-16ui
130eveFilter	130eveGainTBL.4	INTEGER	R/W	1 = filter - 100 khz
			.,	2 = filter - 1khz
				3 - filter-100bz
				$4 = \text{filter}_10\text{hz}$
				$\tau = 111012$
				5 = filter-timing
				6 = filter-alignment
130eyeJitTBL	130eyeTBL.5	Aggregate	-	-
l30eyeJitIntenTBL	I30eyeJitTBL.5	Aggregate	-	-
l30eyeJitInten	l30eyeJitIntenTBL.1	INTEGER	R/W	-128~127
l30eyeJitColor	l30eyeJitIntenTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 - blue
120 ovolitScoloTPI		Aggrogato		7 – blue
		Aygregate	-	-
130eyeJitScaleInten	130eyeJitScaleTBL.1	INTEGER	R/W	-8~7
130eyeJitScaleColor	130eyeJitScaleTBL.2	INTEGER	R/W	1 = white
				2 = yellow
				3 = cyan
				4 = green
				5 = magenta
				6 = red
				7 = blue
130eveJitSweepTBL	I30eveJitTBL.5	Aggregate	-	-
I30eve1itMag	130eve]itSweepTBL_1	INTEGER	R/W	1 = x1
				$2 = x^{2}$
				$2 - x^{2}$
130 ovolitEwcop	1200volitSwoopTPL 2		D /\//	J = AU
зоеуелсэмеер	130eyesitSweepTBL.2	INTEGER	rt/ VV	r = sweep-rn
				z = sweep-2n
				3 = sweep-1v
				4 = sweep-2v
l30eyeJitMag12g	I30eyeJitSweepTBL.3	INTEGER	R/W	1 = x1
				2 = x2
				3 = x4
				4 = x16
l30eyeJitFilterTBL	I30eyeJitTBL.5	Aggregate	-	_
J30eveJitFilter	I30eveJitFilterTBL 1	INTEGFR	R/W	1 = filter - 100 khz
				2 = filter - 1khz
				3 = filter-100hz
				$4 - \text{filtor}_10\text{hz}$
		1		4 = 111012

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				5 = filter-timing
				6 = filter-alignment
l30eyeJitFilterPeakHold	I30eyeJitFilterTBL.2	INTEGER	R/W	1 = off
,				2 = on
l30eyeJitFileterPeakClear	I30eyeJitFilterTBL.3	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30eyeLinkTBL	I30eyeTBL.6	Aggregate	-	-
I30eyeHdDlinkSelAb	I30eyeLinkTBL.1	INTEGER	R/W	1 = sel-1
				2 = sel-2
I30eyeHdDlinkSelCd	I30eyeLinkTBL.2	INTEGER	R/W	1 = sel-3
				2 = cel-4
l30eye4k3gDlinkSelAb	I30eyeLinkTBL.3	INTEGER	R/W	1 = sel-1
				2 = sel-2
l30eye4k3gDlinkSelCd	I30eyeLinkTBL.4	INTEGER	R/W	1 = sel-3
				2 = cel-4
l30eyeQlinkSel	I30eyeLinkTBL.5	INTEGER	R/W	1 = sel-1
				2 = sel-2
				3 = sel-3
				4 = sel-4
I30eyeSetupTBL	I30eyeTBL.7	Aggregate	-	-
I30eyeSetupErr3gAmp	I30eyeSetupTBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr3gAmpUpper	I30eyeSetupTBL.2	INTEGER	R/W	80~140
I30eyeSetupErr3gAmpLower	I30eyeSetupTBL.3	INTEGER	R/W	40~100
I30eyeSetupErr3gRise	I30eyeSetupTBL.4	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr3gRizeMax	I30eyeSetupTBL.5	INTEGER	R/W	40~140
I30eyeSetupErr3gFall	I30eyeSetupTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr3gFallMax	l30eyeSetupTBL.7	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErr3gDelta	I30eyeSetupTBL.8	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr3gDeltaMax	I30eyeSetupTBL.9	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErr3gTjit	I30eyeSetupTBL.10	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr3gTjitMax	I30eyeSetupTBL.11	INTEGER	R/W	10~200
l30eyeSetupErr3gCjit	I30eyeSetupTBL.12	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr3gCjitMax	I30eyeSetupTBL.13	INTEGER	R/W	10~200
l30eyeSetupErr3gOsR	I30eyeSetupTBL.14	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr3gOsRMax	I30eyeSetupTBL.15	INTEGER	R/W	0~200
l30eyeSetupErr3gOsF	I30eyeSetupTBL.16	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr3gOsFMax	I30eyeSetupTBL.17	INTEGER	R/W	0~200
l30eyeSetupErrHdAmp	I30eyeSetupTBL.18	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrHdAmpUpper	I30eyeSetupTBL.19	INTEGER	R/W	80~140
I30eyeSetupErrHdAmpLower	I30eyeSetupTBL.20	INTEGER	R/W	40~100
I30eyeSetupErrHdRise	I30eyeSetupTBL.21	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrHdRizeMax	I30eyeSetupTBL.22	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErrHdFall	l30eyeSetupTBL.23	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrHdFallMax	I30eyeSetupTBL.24	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErrHdDelta	I30eyeSetupTBL.25	INTEGER	R/W	1 = off
			ļ	2 = on
130eyeSetupErrHdDeltaMax	I30eyeSetupTBL.26	INTEGER	R/W	40~140

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
130eyeSetupErrHdTjit	I30eyeSetupTBL.27	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrHdTjitMax	I30eyeSetupTBL.28	INTEGER	R/W	10~200
l30eyeSetupErrHdCjit	I30eyeSetupTBL.29	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrHdCjitMax	I30eyeSetupTBL.30	INTEGER	R/W	10~200
I30eyeSetupErrHdOsR	l30eyeSetupTBL.31	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErrHdOsRMax	I30eyeSetupTBL.32	INTEGER	R/W	0~200
l30eyeSetupErrHdOsF	I30eyeSetupTBL.33	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErrHdOsFMax	I30eyeSetupTBL.34	INTEGER	R/W	0~200
l30eyeSetupErrSdAmp	I30eyeSetupTBL.35	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrSdAmpUpper	I30eyeSetupTBL.36	INTEGER	R/W	80~140
I30eyeSetupErrSdAmpLower	I30eyeSetupTBL.37	INTEGER	R/W	40~100
l30eyeSetupErrSdRise	I30eyeSetupTBL.38	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErrSdRizeMax	I30eyeSetupTBL.39	INTEGER	R/W	40~140
I30eyeSetupErrSdFall	I30eyeSetupTBL.40	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErrSdFallMax	l30eyeSetupTBL.41	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErrSdDelta	l30eyeSetupTBL.42	INTEGER	R/W	1 = off
			- 6	2 = on
130eyeSetupErrSdDeltaMax	I30eyeSetupTBL.43	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErrSdTjit	I30eyeSetupTBL.44	INTEGER	R/W	1 = off
			- 0	2 = on
130eyeSetupErrSd1jitMax	130eyeSetupTBL.45	INTEGER	R/W	10~200
130eyeSetupErrSdCjit	130eyeSetup1BL.46	INTEGER	R/W	1 = off
120 ov of otun Erred Cit Mov	200voCotupTRL 47	INTECED	D /\\/	2 = 011
130eyeSetupErrSdOcP	130eyeSetupTBL.47	INTEGER		$10^{-200}$
150CycSctupEn Subsit	15009050000102.40	INTEGER		2 = 0
130eveSetupErrSdOsRMax	130eveSetupTBL.49	INTEGER	R/W	0~200
130eveSetupErrSdOsF	I30eveSetupTBL.50	INTEGER	R/W	1 = off
			,	2 = on
130eyeSetupErrSdOsFMax	I30eyeSetupTBL.51	INTEGER	R/W	0~200
I30eyeSetupComplete	I30eyeSetupTBL.52	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30eyeSetupErr12gAmp	I30eyeSetupTBL.53	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr12gAmpUpper	I30eyeSetupTBL.54	INTEGER	R/W	80~140
I30eyeSetupErr12gAmpLower	I30eyeSetupTBL.55	INTEGER	R/W	40~100
I30eyeSetupErr12gRise	I30eyeSetupTBL.56	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr12gRizeMax	I30eyeSetupTBL.57	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErr12gFall	I30eyeSetupTBL.58	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr12gFallMax	I30eyeSetupTBL.59	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErr12gDelta	I30eyeSetupTBL.60	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr12gDeltaMax	I30eyeSetupTBL.61	INTEGER	R/W	40~140
l30eyeSetupErr12gTjit	I30eyeSetupTBL.62	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr12gTjitMax	I30eyeSetupTBL.63	INTEGER	R/W	10~200
I30eyeSetupErr12gCjit	130eyeSetupTBL.64	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr12gCjitMax	I30eyeSetupTBL.65	INTEGER	R/W	10~200

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30eyeSetupErr12gOsR	I30eyeSetupTBL.66	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeSetupErr12gOsRMax	I30eyeSetupTBL.67	INTEGER	R/W	0~200
I30eyeSetupErr12gOsF	I30eyeSetupTBL.68	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30eyeSetupErr12gOsFMax	I30eyeSetupTBL.69	INTEGER	R/W	0~200
I30eyeTrigTBL	I30eyeTBL.8	Aggregate	-	-
l30eyeTrigStop	I30eyeSetupTBL.1	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30eyeDataTBL	I30eyeTBL.10	Aggregate	-	-
l30eyeDataAmp	I30eyeSetupTBL.1	DisplayString	R/O	Amp
l30eyeDataTr	I30eyeSetupTBL.2	DisplayString	R/O	Tr
l30eyeDataTf	I30eyeSetupTBL.3	DisplayString	R/O	Tf
l30eyeDataTj	I30eyeSetupTBL.4	DisplayString	R/O	Tj
l30eyeDataCj	I30eyeSetupTBL.5	DisplayString	R/O	Сј
l30eyeDataOr	I30eyeSetupTBL.6	DisplayString	R/O	Or
l30eyeDataOf	I30eyeSetupTBL.7	DisplayString	R/O	Of

## ・ I30audioTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30audioMapTBL	I30audioTBL.1	Aggregate	-	-
I30audioMapInputSrc	I30audioMapTBL.1	INTEGER	R/W	1 = sdi
				2 = ext-digi
l30audioMapLinkSelect	I30audioMapTBL.2	INTEGER	R/W	1 = a
				2 = b
				3 = c
				4 = d
l30audioMapStreamSelect	I30audioMapTBL.3	INTEGER	R/W	1 = stream1
				2 = stream2
I30audioMapChMode	I30audioMapTBL.4	INTEGER	R/W	1 = mode-8ch
				2 = mode-16ch
I30audioMapSdiGroup1	I30audioMapTBL.5	INTEGER	R/W	1 = q1
				2 = q2
				3 = q3
				4 = q4
I30audioMapSdiGroup2	I30audioMapTBL.6	INTEGER	R/W	1 = q1
			,	2 = q2
				3 = q3
				4 = q4
130audioMapSdiGroup3	130audioMapTBL.7	INTEGER	R/W	1 = q1
			.,	$2 = q^2$
				3 = a3
				4 = 04
130audioMapSdiGroup4	130audioMapTBL 8	INTEGER	R/W	1 = a1
			.,	$2 = 0^{2}$
				3 = 03
				4 = 04
130audioMapPhonesI	130audioManTBL 9	INTEGER	R/W	1 = ch1
190000000000000000	1900ddioladd i DE.9	INTEGER	1.7 **	(山略)
				16 - ch 16
				10 = ch10
130audioManPhonesP	130audioMapTBL 10	INTEGED	D /\\/	17 - chit
130addioMaprilonesic	150audioMap1 DE.10	INTEGER	ry vv	
				(+m)
				10 = 0110
120audiaMaraDalhu Daa			D /\\/	
горациотариовурес	ISUaudioMap I BL.13	INTEGER	K/W	
		1	1	$1 \ge 0$

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30audioMapDolbyCh	I30audioMapTBL.14	INTEGER	R/W	1 = ch1-2
				2 = ch3-4
				3 = ch5-6
				4 = ch7-8
				5 = ch9-10
				6 = ch11-12
				7 = ch13-14
			- 6	9 = ch15-16
l30audioDolbyDetect	I30audioMapTBL.15	INTEGER	R/W	2 = e
				3 = d
		INTEGED	D () A (	4 = dp
I3UaudioDoldyEUnair	I30audioMapTBL.16	INTEGER	R/W	$1 = 0\Pi$ 2 = on
l30audioDolbyEDrcMain	I30audioMapTBL.17	INTEGER	R/W	1 = bypass
,			,	2 = dialnorm
				3 = line
				4 = rf
l30audioDolbyEDrcAux	I30audioMapTBL.18	INTEGER	R/W	1 = bypass
				2 = dialnorm
				3 = line
				4 = rf
l30audioDolbyELinePos	I30audioMapTBL.19	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30audioDolbyELineSelect	I30audioMapTBL.20	INTEGER	R/W	1 = valid
				2 = ideal
				3 = custom
I30audioDolbyEEarliest	I30audioMapTBL.21	DisplayString	R/W	8~104
130audioDolbyELatest	I30audioMapTBL.22	DisplayString	R/W	9~105
130audioDolbyDDrcMain	130audioMapTBL.23	INTEGER	R/W	1 = dialnorm
				2 = line
120-20-dia Dalby DDrc Aux	120-JudioManTRI 24		D /\\/	3 = 1
ISOBUUIODOIDyDDI CAUX	130audioMap1BE.24	INTLOLK	r., w	1 - ulainorm 2 - line
				2 - iff
130audioDolbyDPrologic	130audioManTBL 25	INTEGER	R/W	1 = off
1500000101010101010gic	150dddionap i DE.25	INTEGEN	1.7 11	2 = 0
130audioDolbyDDownmix	130audioMapTBL 26	INTEGER	R/W	1 = auto
		INTEGEN		2 =  t-rt
				3 = 10 - ro
				4 = pro-ii
				5 = pro-ii-pro
I30audioMapDolbyMix	I30audioMapTBL.31	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
l30audioMapLissajouSL	I30audioMapTBL.32	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
				17 = chlt
l30audioMapLissajouSR	I30audioMapTBL.33	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
		<b></b>		18 = chrt
I30audioMapLissajouML1	I30audioMapTBL.34	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(屮哈) 1.C
120 pudio Maplingato MD1	120audioMarTPL 25		D /\\/	10 = C110
ISUduulo™apLissajou™R1	130auuloMap1BL.35		K/ W	1 = CIII (山政)
				(⊤≝) 16 = ch16
				10 - 0110

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30audioMapLissajouML2	I30audioMapTBL.36	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
l30audioMapLissajouMR2	I30audioMapTBL.37	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
l30audioMapLissajouML3	I30audioMapTBL.38	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
l30audioMapLissajouMR3	I30audioMapTBL.39	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
		INTEGED	D () A (	16 = ch16
130audioMapLissajouML4	130audioMap1BL.40	INTEGER	R/W	1 = Ch1
				(屮哈) 16
			D () \ (	10 = C110
130audioMapLissajouMR4	130audioMap1BL.41	INTEGER	R/W	
				(屮哈) 16 — ch16
130-JudioMapLiccationML5	120-JudioMapTBL 42		D /\\/	10 = CH10
130audiomapeissajoumes	130au000ap16E.42	INTLOLK	ry vv	
				$(T^{m})$ 16 = ch16
130audioMapLissaiouMR5	130audioMapTBL 43	INTEGER	R/W	10 = ch1
	130000010p1 DE. 13	INTEGEN	1.9 11	(中略)
				16 = ch16
130audioMapLissaiouML6	130audioMapTBL 44	INTEGER	R/W	1 = ch1
		INTEGER	1911	(中略)
				16 = ch16
130audioMapLissaiouMR6	I30audioMapTBL.45	INTEGER	R/W	1 = ch1
		-	,	(中略)
				16 = ch16
l30audioMapLissajouML7	I30audioMapTBL.46	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
l30audioMapLissajouMR7	I30audioMapTBL.47	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
l30audioMapLissajouML8	I30audioMapTBL.48	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
			- 4.4	16 = ch16
130audioMapLissajouMR8	130audioMap1BL.49	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(屮哈) 16
120- udia Mara Cuurra un di	120 audio MarsTRI 50			10 = C110
130audioMapSurroundL	130audioMap1BL.50	INTEGER	R/ W	$I = C \Pi I$
				(屮哈) 16 - ch16
130-JudioMapSurroupdP	120-JudioMapTRI 51		D /\\/	10 = CH10
ISoaudioMapSulloulluk	130addioMap1BE.31	INTLOLK	ry vv	
				() 16 = ch16
130audioMapSurroundC	130audioManTBL 52	INTEGER	R/W	1 = ch1
			1.7.44	(中略)
				16 = ch16
130audioMapSurroundI fe	I30audioMapTBL 53	INTEGER	R/W	1 = ch1
			.,	(中略)
				16 = ch16
l30audioMapSurroundLs	I30audioMapTBL.54	INTEGER	R/W	1 = ch1
	· ·			(中略)
				16 = ch16

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30audioMapSurroundRs	I30audioMapTBL.55	INTEGER	R/W	1 = ch1
·				(中略)
				16 = ch16
130audioMapSurroundLl	I30audioMapTBL.56	INTEGER	R/W	1 = ch1
·			,	(中略)
				16 = ch16
130audioMapSurroundRr	I30audioMapTBL.57	INTEGER	R/W	1 = ch1
		_	,	(中略)
				16 = ch16
130audioMapDolbyLissaiouSL	I30audioMapTBL.58	INTEGER	R/W	17 = chlt
		_	,	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioMapDolbyLissajouSR	I30audioMapTBL.59	INTEGER	R/W	18 = chrt
, , ,			,	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioMapDolbyLissaiouML1	I30audioMapTBL.60	INTEGER	R/W	83 = d1
		_	,	(中略)
				90 = d8
l30audioMapDolbyLissajouMR1	I30audioMapTBL.61	INTEGER	R/W	83 = d1
		_	,	(中略)
				90 = d8
130audioMapDolbyLissaiouML2	I30audioMapTBL.62	INTEGER	R/W	83 = d1
			,	(中略)
				90 = d8
130audioMapDolbyLissaiouMR2	I30audioMapTBL.63	INTEGER	R/W	83 = d1
		_	,	(中略)
				90 = d8
130audioMapDolbyLissaiouML3	I30audioMapTBL.64	INTEGER	R/W	83 = d1
, , ,			,	(中略)
				90 = d8
l30audioMapDolbyLissajouMR3	I30audioMapTBL.65	INTEGER	R/W	83 = d1
, , ,			,	(中略)
				90 = d8
l30audioMapDolbyLissajouML4	I30audioMapTBL.66	INTEGER	R/W	83 = d1
			-	(中略)
				90 = d8
l30audioMapDolbyLissajouMR4	I30audioMapTBL.67	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioDolbySurroundL	I30audioMapTBL.68	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioDolbySurroundR	I30audioMapTBL.69	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioDolbySurroundC	I30audioMapTBL.70	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioDolbySurroundLfe	I30audioMapTBL.71	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioDolbySurroundLs	I30audioMapTBL.72	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
l30audioDolbySurroundRs	I30audioMapTBL.73	INTEGER	R/W	83 = d1

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				(中略)
				90 = d8
130audioDolbySurroundLl	130audioManTBL 74	INTEGER	R/W	83 = d1
loodadio bolo your ouria Li				(中略)
				90 = d8
130audioDolbySurroundPr	130audioManTBL 75	INTEGED	D /\\/	83 - d1
150addioDolbySullodildRi	130addioMapTBL.75	INTEGER		(山政)
				( ⁻⁺  ) 00 - d8
120 audia Mara Dalbu Dhara ad	120 audia MaraTDI 70	INTECED	D /\\/	90 = 08
130audioMapDolbyPhonesL	130audioMap I BL. 76	INTEGER	R/ W	17 = CHIL
				83 = 01
				90 = d8
				91 = daux
I30audioMapDolbyPhonesR	I30audioMapTBL.77	INTEGER	R/W	18 = chrt
				83 = d1
				(中略)
				90 = d8
				91 = daux
l30audioMapSimSdiGroup1	l30audioMapTBL.78	INTEGER	R/W	1 = group1
				2 = group2
				3 = group3
				4 = group4
I30audioMapSimSdiGroup2	I30audioMapTBL.79	INTEGER	R/W	1 = group1
				2 = group2
				3 = group3
				4 = group4
130audioMapSimSdiGroup3	I30audioMapTBL.80	INTEGER	R/W	$1 = \operatorname{group1}$
			.,	$2 = \operatorname{aroup} 2$
				$3 = \operatorname{aroup3}$
				4 = aroup4
130audioManSimSdiGroun4	130audioManTBL 81	INTEGER	R/W	$1 = \operatorname{group1}$
150dddiol dp Sim Sdiol odp 1	19000000000000000000000000000000000000	INTEGER	1.9.14	$2 = \operatorname{group}^2$
				$3 = \operatorname{group}{3}$
				$4 = \operatorname{group} 4$
130audioMapSimSdiCroup1Ch	130audioManTBL 82		D /\\/	1 - 2
150addiomapSiniSdiGroup1Ch	15080000000000000	INTEGER		1 - a
				2 - 0
				S = C
120-Judio Man Sim Edi Croup 2 Ch	120 audio Man TPL 82		D /\\/	4 = 0
130audioMapSiniSulGioup2Ch	130auuloMap1 BL.83	INTEGER	r(/ vv	I = d
				2 = 0
				S = C
		INTEGED	D /III	4 = u
130audioMapSimSdiGroup3Ch	130audioMap1BL.84	INTEGER	R/W	1 = a
				2 = D
				3 = c
				4 = d
l30audioMapSimSdiGroup4Ch	I30audioMapTBL.85	INTEGER	R/W	1 = a
				2 = b
				3 = c
				4 = d
l30audioMapSimLissajouML1	I30audioMapTBL.88	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
l30audioMapSimLissajouMR1	I30audioMapTBL.89	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
I30audioMapSimLissajouML2	I30audioMapTBL.90	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)

20. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				82 = d-ch16
I30audioMapSimLissajouMR2	I30audioMapTBL.91	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
l30audioMapSimLissajouML3	I30audioMapTBL.92	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
l30audioMapSimLissajouMR3	I30audioMapTBL.93	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(甲略)
120- u dia Mara Circol in an inv ML 4		INTEGED	D ().4/	82 = d - ch16
130audioMapSimLissajouML4	130audioMap I BL.94	INTEGER	R/W	19 = a-cn1 (中略)
				(屮哈) 92 = d_ch16
130audioMapSimLissaiouMP4	130audioManTBL 95	INTEGER	D /\\/	19 = 3-ch1
	150audioMap1DL.95	INTEGER	ry vv	19 — a-chi (山略)
				(+-) 82 = d-ch16
130audioMapSimLissaiouML5	130audioMapTBL 96	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
			.,	(中略)
				82 = d-ch16
I30audioMapSimLissajouMR5	I30audioMapTBL.97	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
I30audioMapSimLissajouML6	I30audioMapTBL.98	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
l30audioMapSimLissajouMR6	I30audioMapTBL.99	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
I30audioMapSimLissajouML7	I30audioMapTBL.100	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(甲略)
120- u dia Mara Circul ia ani au MDZ		INTEGED	D /\\/	82 = 0 - cn16
130audioMapSimLissajouMR7	130audioMap1BL.101	INTEGER	R/ W	19 = a-cn1 (中略)
				(中間) 82 - d-ch16
130audioManSimLissajouML8	I30audioManTBL 102	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
	150000000000000000000000000000000000000	INTEGER	1.7.44	(中略)
				82 = d - ch16
I30audioMapSimLissajouMR8	I30audioMapTBL.103	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
			,	(中略)
				82 = d-ch16
I30audioMapSimPhonesL	I30audioMapTBL.104	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
l30audioMapSimPhonesR	I30audioMapTBL.105	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				82 = d-ch16
l30audioMapExtInputGroup	I30audioMapTBL.108	INTEGER	R/W	1 = group1
			- 0.0	2 = group2
130audioMapExtLissajouSL	I30audioMapTBL.109	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(屮哈) [0
				50 = D-CIIIO 17 = chlt
130audioMapExtLissaiouSP	130audioManTRI 110		P /\//	19 = a - ch1
	190000000000000000000000000000000000000	INTEGER		(中略)
				50 = b - ch 16
				18 = chrt
I30audioMapExtLissajouML1	I30audioMapTBL.111	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
20. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtLissajouMR1	I30audioMapTBL.112	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
			5 /0.0/	50 = b - ch 16
130audioMapExtLissajouML2	I30audioMapTBL.113	INTEGER	R/W	19 = a-cn1 (中略)
				(屮哈 <i>)</i> 50 — h-ch16
130audioManExtLissaiouMR2	30audioManTBL 114	INTEGER	R/W	19 - a-ch1
15000000000000000000000000000000000000	15000010100100.114	INTEGER	1.7	1) = a chi (中略)
				50 = b - ch 16
I30audioMapExtLissajouML3	I30audioMapTBL.115	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtLissajouMR3	l30audioMapTBL.116	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtLissajouML4	I30audioMapTBL.117	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(甲略)
120-Judio Man Evtl iscaiou MD4	120-JudioManTPL 119	INTECED	D /\\/	50 = p - cn16
150audioMapExtElssajouMR4	150auuloMap1 DL.110	INTLOLK	ry vv	19 = a-cm (由略)
				(-+-m) 50 = b-ch16
130audioMapExtLissaiouML5	130audioMapTBL 119	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
			.,	(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtLissajouMR5	I30audioMapTBL.120	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtLissajouML6	I30audioMapTBL.121	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(甲略) 50 h -h16
120-Judio Man Evtl iscaiou MB6	120-JudioManTPL 122	INTECED	D /\\/	50 = D - ch16
150audiomapExtElssajoumRo	150auuloMap1 DL.122	INTLOLK	ry vv	19 = a-cm (由略)
				50 = b - ch 16
I30audioMapExtLissaiouML7	I30audioMapTBL.123	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
			,	(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtLissajouMR7	l30audioMapTBL.124	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				50 = b - ch 16
l30audioMapExtLissajouML8	I30audioMapTBL.125	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(屮略) E0 _ b cb16
130audioManExtLissaiouMP8	130audioManTBL 126	INTEGED	D /\\/	50 = D-C(110)
150audiomapExtElssaJoumRo	15080010140102.120	INTEGER	ity vv	19 = a-cm (中略)
				50 = b - ch 16
130audioMapExtSurroundL	I30audioMapTBL.127	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
			,	(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtSurroundR	l30audioMapTBL.128	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
			5.0	50 = b-ch16
130audioMapExtSurroundC	I30audioMapTBL.129	INTEGER	R/W	19 = a-ch1 (中略)
				(平昭) 50 — b-ch16
130audioMapExtSurroundLfe	I30audioManTBL 130	INTEGER	R/W	19 = a - ch1

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtSurroundLs	l30audioMapTBL.131	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtSurroundRs	I30audioMapTBL.132	INTEGER	R/W	19 = a-ch1
				(中略)
				50 = b-ch16
l30audioMapExtSurroundLl	I30audioMapTBL.133	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(中略)
			- 6	50 = b - ch 16
130audioMapExtSurroundRr	I30audioMapTBL.134	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(甲略)
		INTEGED	D (14)	50 = p-cn16
130audioMapExtPhonesL	I30audioMapTBL.135	INTEGER	R/W	19 = a - ch1
				(屮哈) [0] h_sh1(
				$50 = D - C \Pi 10$
130-JudioManExtPhonocP	130-judioMapTRI 136		D /\\/	17 = CIIIC 10 = 2-ch1
ISUaudioMapExtPhonesR	ISUAUUIUMAPI DL. 150	INTEGER	r, w	19 = a-cm (由略)
				(⊤ [™] ) 50 – h-ch16
				18 = chrt
130audioManExtDolbyLissaiouSL	130audioManTBL 139	INTEGER	R/W	10 = chrc 83 = d1
150dddionapextbolbyeissajouse	130dddion dp i DEi 133	INTEGER	1.9 11	00 = u1 (中略)
				h = 08
				91 = daux
130audioMapExtDolbyLissaiouS	I30audioMapTBL.140	INTEGER	R/W	83 = d1
R			.,	(中略)
				90 = d8
				91 = daux
l30audioMapExtDolbyLissajouM	I30audioMapTBL.141	INTEGER	R/W	83 = d1
L1				(中略)
				90 = d8
l30audioMapExtDolbyLissajouM	I30audioMapTBL.142	INTEGER	R/W	83 = d1
R1				(中略)
				90 = d8
l30audioMapExtDolbyLissajouM	l30audioMapTBL.143	INTEGER	R/W	83 = d1
L2				(中略)
				90 = d8
l30audioMapExtDolbyLissajouM	I30audioMapTBL.144	INTEGER	R/W	83 = d1
R2				(中略)
			- 6	90 = d8
130audioMapExtDolbyLissajouM	I30audioMapTBL.145	INTEGER	R/W	83 = d1
L3				(甲略)
		INTEGED	D (14)	90 = d8
130audioMapExtDolbyLissajouM	130audioMap1BL.146	INTEGER	R/W	83 = d1
R3				(甲哈)
120 audio Man Ext Dollard incoriou M	120 audio Man TRI 147		D /\\/	90 = 08
	130auulomapi bL.147	INTEGER	r, w	o5 = u1 (山政)
<u>L</u> 4				(中™) 00 – d8
130audioManExtDolbyLissaiouM	130audioManTBL 149	INTEGER	P /\//	83 – d1
R4	130auuloinap 1 DL, 140	INTLOLK		(山略)
				90 = d8
130audioManExtDolbySurround	130audioManTRI 149	INTEGER	R/W	83 = d1
			· · · · ·	(中略)
				90 = d8

20. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30audioMapExtDolbySurround	I30audioMapTBL.150	INTEGER	R/W	83 = d1
R				(中略)
				90 = d8
130audioMapExtDolbySurround	I30audioMapTBL.151	INTEGER	R/W	83 = d1
С				(中略)
				90 = d8
130audioMapExtDolbySurroundL	I30audioMapTBL.152	INTEGER	R/W	83 = d1
fe				(中略)
				90 = d8
I30audioMapExtDolbySurroundL	I30audioMapTBL.153	INTEGER	R/W	83 = d1
S				(中略)
				90 = d8
I30audioMapExtDolbySurround	I30audioMapTBL.154	INTEGER	R/W	83 = d1
Rs				(中略)
				90 = d8
l30audioMapExtDolbySurroundL	I30audioMapTBL.155	INTEGER	R/W	83 = d1
1				(中略)
				90 = d8
l30audioMapExtDolbySurround	I30audioMapTBL.156	INTEGER	R/W	83 = d1
Rr				(中略)
				90 = d8
l30audioMapExtDolbyPhonesL	I30audioMapTBL.157	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
				91 = daux
l30audioMapExtDolbyPhonesR	l30audioMapTBL.158	INTEGER	R/W	83 = d1
				(中略)
				90 = d8
				91 = daux
I30audioMapComplete	I30audioMapTBL.160	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30audioDispTBL	I30audioTBL.2	Aggregate	-	-
l30audioDispMode	I30audioDispTBL.1	INTEGER	R/W	1 = lissajou
				2 = surround
				3 = meter
				4 = error
				5 = chstatus
				6 = userbit
				7 = status
				9 = dolbymdeebi
				10 = dolbymddebi
				11 = dolbymddpebi
				15 = dolbymde
				16 = dolbymdd
120 audio Motor TDI		A		19 = 10d
		Aggregate	-	
isuaudiometerkange	ISUaudioMeter I BL.1		K/W	1 = range-budBFS
				2 = range-900BFS
120 pudio Motor Dopport	120-audioMotorTPL 2		D /\4/	3 = range-mag
isoauulometer kesponse	ISUduulumeter I BL.2	INTEGER	K/ W	1 = 0 uepeak
				2 – ppm
130audioMeterPomModo	130audioMetorTBL 3	INTEGED	D /\\/	1 – vu 1 – model
	130auuivirietei 1 DL.3	INTLOLK	rv/ vv	2 = mode2
130audioMeterPeakMotor	130audioMotorTBL 4	INTEGED	D /\\/	2 - 11002
	150auulometel I DL.4	INTLOLK	TV VV	$2 = nnm^{1}$
				2 = ppm2 3 = ppm2

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30audioMeterPeakHold	I30audioMeterTBL.5	INTEGER	R/W	0 = hold-0
				5 = hold-500ms
				10 = hold-1000ms
				15 = hold-1500ms
				20 = hold-2000ms
				25 = hold-2500ms
				30 = hold-3000ms
				35 = hold-3500ms
				40 = hold-4000ms
				45 = hold-4500ms
				50 = hold-5000ms
				55 = hold-hold
I30audioMeterOverDbfs	I30audioMeterTBL.6	DisplayString	R/W	-40.0~0
l30audioMeterWarnDbfs	I30audioMeterTBL.8	DisplayString	R/W	-40.0~0
l30audioMeterRefDbfs	I30audioMeterTBL.10	DisplayString	R/W	-40.0~0
l30audioLissajouIntenTBL	I30audioTBL.4	Aggregate	-	-
l30audioLissajouInten	l30audioLissajouIntenTB L.1	INTEGER	R/W	-8~7
l30audioLissajouScaleInten	l30audioLissajouIntenTB L.2	INTEGER	R/W	-8~7
I30audioLissajouMode	l30audioLissajouIntenTB	INTEGER	R/W	1 = multi
5	L.3			2 = single
I30audioLissajouForm	l30audioLissajouIntenTB	INTEGER	R/W	1 = xy
	L.4			2 = matrix
I30audioLissajouAutoGain	l30audioLissajouIntenTB	INTEGER	R/W	1 = off
	L.5			2 = on
I30audioSurroundTBL	I30audioTBL.5	Aggregate	-	-
l30audioSurroundInten	I30audioSurroundTBL.1	INTEGER	R/W	-8~7
l30audioSurroundScaleInten	I30audioSurroundTBL.2	INTEGER	R/W	-8~7
I30audioSurroundMode	I30audioSurroundTBL.3	INTEGER	R/W	1 = normal
				2 = phantom
l30audioSurroundAutoGain	I30audioSurroundTBL.4	INTEGER	R/W	1 = off
				2 = on
I30audioStatusTBL	I30audioTBL.6	Aggregate	-	-
l30audioStatusDolbyProg	l30audioStatusTBL.1	INTEGER	R/W	1 = prm1
				(中略)
				8 = prm8
l30audioStatusCh	I30audioStatusTBL.3	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
l30audioStatusChSimul	l30audioStatusTBL.4	INTEGER	R/W	19 = cha1
				(中略)
				34 = cha16
				35 = chb1
				(中略)
				50 = chb16
				51 = chc1
				(中略)
				66 = chc16
				67 = chd1
				(中略)
				82 = chd16
l30audioStatusChDolby	I30audioStatusTBL.5	INTEGER	R/W	1 = ch1
				(中略)
				16 = ch16
I30audioStatusChExt	I30audioStatusTBL.6	INTEGER	R/W	19 = cha1
				(中略)

26 = cha8         35 = chb1           130audioStatusChAlign         130audioStatusTBL.7         INTEGER         R/W         1 = lsb           130audioStatusBitDisp         130audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDisp         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1           14%8)         50 = chb16         51 = chc1         (H#8)         50 = chb16         51 = chc1           14%8)         50 = chb16         51 = chc1         (H#8)         66 = chc16         67 = chc1           130audioStatusBitDispDolby         130audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1           14%8)         82 = chd16         130audioStatusBitDispA         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1           14%8)         82 = chd16         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1           14%8)         82 = chd16         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1           14%8) </th <th>MIB</th> <th>OID</th> <th>SYNTAX</th> <th>ACCESS</th> <th>VALUE/RANGE</th>	MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
35 = ch01         (H#8)           130audioStatusChAlign         130audioStatusTBL.7         INTEGER         R/W         1 = isb           130audioStatusBitDisp         130audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1           (H#8)         16 = ch16         (H#8)         16 = ch16         (H#8)           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1           (H#8)         16 = ch16         (H#8)         35 = ch01         (H#8)           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         19 = cha1           (H#8)         50 = ch016         51 = chc1         (H#8)         66 = chc16         67 = chd16           130audioStatusBitDispDolby         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1           (H#8)         16 = ch16         (H#8)         16 = ch16         67 = ch38         35 = ch01           130audioStatusBitDispDipolby         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1           (H#8)         16 = ch16         (H#8)         16 = ch16         19 = cha1           (H#8)         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>26 = cha8</td></td<>					26 = cha8
130audioStatusChAlign         130audioStatusTBL.7         INTEGER         R/W         1 = lsb           130audioStatusBitDisp         130audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1           (H#8)         34 = cha16         35 = chb1         (H#8)         34 = cha16         35 = chb1           (H#8)         50 = chb16         51 = chc1         (H#8)         50 = chb16         51 = chc1           (H#8)         130audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch16         (H#8)           130audioStatusBitDispDolby         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch16         (H#8)           130audioStatusBitDispAlign         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch16           130audioStatusBitDispAlign         130audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = ch16           130audioErrorTBL         130audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W					35 = chb1
I30audioStatusChAlign         I30audioStatusTBL.7         INTEGER         R/W         1 = hb           130audioStatusBitDisp         I30audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1           130audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1           (+#8)         34 = cha16         35 = chb1         (+#8)         34 = cha16           130audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         19 = cha1           (+#8)         66 = chc16         51 = chc1         (+#8)         66 = chc16         51 = chc1           130audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         19 = cha1           (+#8)         130audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1           (+#8)         130audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         19 = cha1           (+#8)         2 = msb         130audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = bh           130audioStatusBitDispAlign         130audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W					(中略)
I30audioStatusChAlign         I30audioStatusTBL.7         INTEGER         R/W         1 = lsh 2 = msb           I30audioStatusBitDisp         I30audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispDiby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((#Rg))           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioErro					42 = chb8
I30audioStatusBitDisp         I30audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) (HB) I30audioStatusBitDispSimul           I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioStatusBitDispSimul           I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioStatusBitDispDolby           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioStatusBitDispDolby           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioStatusBitDispExt           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioFhonesTBL           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioFhonesTBL           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioFhonesTBL           I30audioFortBl         I30audioFortBl.3         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioFhonesTBL           I30audioFortBl         I30audioFortBl.3         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) I30audioFhonesTBL.1           I30audioFortBl         I30audioFortBl.3 <td< td=""><td>l30audioStatusChAlign</td><td>I30audioStatusTBL.7</td><td>INTEGER</td><td>R/W</td><td>1 = lsb</td></td<>	l30audioStatusChAlign	I30audioStatusTBL.7	INTEGER	R/W	1 = lsb
I30audioStatusBitDisp         I30audioStatusTBL.8         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) 16 = ch16           I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1 (HB) 34 = cha16 35 = chb1 (HB) 50 = chb16 51 = chc1 (HB) 50 = chb16 51 = chc1 (HB) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 (HB) 26 = cha8 35 = chb1 (HB) 26 = cha8 35 = chb1 (HB) 28 = cha8					2 = msb
130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((198))           130audioStatusBitDispSimul         130audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((198))           130audioStatusBitDispDolby         130audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((198))           130audioStatusBitDispDolby         130audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((198))           130audioStatusBitDispExt         130audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((198))           130audioStatusBitDispExt         130audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((198))           130audioStatusBitDispAlign         130audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = bh1 (2 = chb8)           130audioStatusBitDispAlign         130audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = bf1 (2 = mb)           130audioFrorTBL         130audioFrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           130audioFrorTBL         130audioFrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL         130audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off	l30audioStatusBitDisp	I30audioStatusTBL.8	INTEGER	R/W	1 = ch1
I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1 (P#B) 34 = cha16 35 = chb1 (P#B) 50 = chb16 51 = chc1 (P#B) 66 = chc16 67 = chc16 67 = chd1 (P#B) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (P#B) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (P#B) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 (P#B) 82 = chd16           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 (P#B) 26 = cha8 35 = chb1 (P#B)           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = lsb 2 = msb           I30audioPhonesTBL         I30audioFTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioPhonesTBL         I30audioFTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioPhonesTBL         I30audioFTRL.9         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audioFTRL.9         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audioFTRL.9         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audio					(中略)
I30audioStatusBitDispSimul         I30audioStatusTBL.9         INTEGER         R/W         19 = cha1 (中略)           34 = cha16 35 = chb1 (中略)         34 = cha16 35 = chb1 (中略)         35 = chb1 (中略)           130audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (中略)           130audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (中略)           130audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 (中略)           130audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 (中略)           130audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = ch1 (中略)           130audioPhonesTBL         I30audioPhonesTBL.1         INTEGER         R/W         1 = lsb 2 = msb           130audioPhonesYolume         I30audioPhonesTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           130audioPhonesYolume         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           130audioErrorTBL.4					16 = ch16
Image: space of the system of the s	l30audioStatusBitDispSimul	I30audioStatusTBL.9	INTEGER	R/W	19 = cha1
34 = chal6           35 = chal           36 = chal6           37 = chal6           38 = chal6           39 = chal6           39 = chal6           30					(中略)
35 e rhb1 ((中時))         35 e rhb1 ((中時))           30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((中時))           130audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch16           130audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch16           130audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch16           130audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = lsb           130audioFhonesTBL         I30audioFBLS         Aggregate         -         -           130audioPhonesTBL         I30audioPhonesTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           130audioFrorTBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           130audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           130audioErrorTBL.4         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on					34 = cha16
I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1         ch16           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1         ch16           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1         ch16           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19         ch16           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         19         ch16           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioTBL.8         Aggregate         -         -         130audioFmorFBL         I30audioFBL.9         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audioFBL.9         Aggregate         -         -         -         1           I30audioFrorTBL         I30audioFmorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on         2 = on         -           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on         2 = on         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -					35 = chb1
I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((H#8))           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((H#8))           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((H#8))           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((H#8))           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((H#8))           I30audioFormTBL         I30audioTBL.8         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audioTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audioFrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioFrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           I30audioFrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           I30audioFrorTBL.4         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           I30audioFrorTBL.5         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           I30audioErrorTBL.6         INTEGER         R/W					(中略)
I30audioStatusBitDispDolbyI30audioStatusTBL.10INTEGERR/W1 = ch1 ( $(+ \#_B)$ ) 82 = chd16I30audioStatusBitDispDolbyI30audioStatusTBL.11INTEGERR/W1 = ch1 ( $(+ \#_B)$ ) 16 = ch16I30audioStatusBitDispExtI30audioStatusTBL.11INTEGERR/W1 = ch1 ( $(+ \#_B)$ ) 26 = cha8 35 = chb1 ( $(+ \#_B)$ ) 42 = chb8I30audioStatusBitDispAtignI30audioStatusTBL.12INTEGERR/W1 = lsb 2 = msbI30audioPhonesTBLI30audioPhonesTBL.1INTEGERR/W1 = lsb 2 = msbI30audioPhonesTBLI30audioPhonesTBL.1INTEGERR/W0 ~ -63I30audioPhonesTBLI30audioPhonesTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorTBLI30audioErrorTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipI30audioErrorTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioEr					50 = chb16
I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1           I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1           I498         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = lsb           I30audioPhonesTBL         I30audioTBL.8         Aggregate         -         -           I30audioFnorFBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorAute         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorAute         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorAute         I30audioErrorTBL.5         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTBL.5         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           I30audioErrorVaridity         I30audioErrorTBL.5         INTE					51 = chc1
I30audioStatusBitDispDolbyI30audioStatusTBL.10INTEGER $R/W$ $1 = ch1$ ( $(PB)$ ) ( $PB$ ) ( $PB$ ) ( $PB$ )I30audioStatusBitDispExtI30audioStatusTBL.11INTEGER $R/W$ $19 = ch1$ ( $(PB)$ ) ( $26 = cha8$ ) $35 = chb1$ ( $(PB)$ ) ( $26 = cha8$ ) $35 = chb1$ ( $(PB)$ ) ( $26 = cha8$ ) $42 = chb8$ I30audioStatusBitDispAlignI30audioStatusTBL.12INTEGER $R/W$ $19 = cha1$ ( $(PB)$ ) $26 = cha8$ ) $35 = chb1$ ( $(PB)$ ) $42 = chb8$ I30audioStatusBitDispAlignI30audioStatusTBL.12INTEGER $R/W$ $1 = lsb$ $2 = msb$ I30audioPhonesTBLI30audioTBL.8AggregateI30audioPhonesVolumeI30audioPhonesTBL.1INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorTBLI30audioErrorTBL.3INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorParityI30audioErrorTBL.4INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.6INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorClipI30audioErrorTBL.6INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.9INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.9INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorTBL.6INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ I30audioErrorTBL.9INTEGER $R/W$ $1 = off$ 					(中略)
I30audioStatusBitDispDolbyI30audioStatusTBL.10INTEGERR/W1 = ch1 ( $(\mbox{PR})$ ) ( $\mbox{B2}$ = chd16I30audioStatusBitDispDolbyI30audioStatusTBL.11INTEGERR/W19 = cha1 ( $\mbox{PR}$ ) ( $\mbox{B2}$ ) 26 = cha8 35 = chb1 ( $\mbox{PR}$ ) ( $\mbox{PR}$ )I30audioStatusBitDispAlignI30audioStatusTBL.12INTEGERR/W19 = cha1 ( $\mbox{PR}$ ) 26 = cha8 35 = chb1 ( $\mbox{PR}$ ) 42 = chb8I30audioStatusBitDispAlignI30audioTBL.8Aggregate-I30audioPhonesTBLI30audioTBL.8Aggregate-I30audioErrorTBLI30audioFrorTBL.1INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorTBLI30audioErrorTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorTuteI30audioErrorTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCuceI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCuceI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCuceI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCuceI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off<					66 = chc16
I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1           I40audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         14 = lsb           I30audioPhonesTBL         I30audioFBL.8         Aggregate         -         -           I30audioPhonesVolume         I30audioTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioFrorTBL         I30audioTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTatu         INTEGER         R/W         1 = off         2 = on           I30audioErrorTatus         IS0audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorParity         I30audioErrorTBL.4         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCc         I30audioErrorTBL.5         INTEGER					67 = chd1
I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 (中略)           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1 (中略)           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1 (中略)           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = lsb           I30audioFnorsTBL         I30audioTBL.8         Aggregate         -         -           I30audioErrorTBL         I30audioTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorMute         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorMute         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorVaridity         I30audioErrorTBL.4         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorVaridity         I30audioErrorTBL.5         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCcc         I30audioError					(中略)
I30audioStatusBitDispDolby         I30audioStatusTBL.10         INTEGER         R/W         1 = ch1 ((中略) 16 = ch16           I30audioStatusBitDispExt         I30audioStatusTBL.11         INTEGER         R/W         19 = cha1 ((中略) 26 = cha8 35 = chb1 ((中略))           I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = lsb 2 = msb           I30audioPhonesTBL         I30audioTBL.8         Aggregate         -         -           I30audioPhonesTBL         I30audioTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioPhonesTBL         I30audioTBL.9         Aggregate         -         -           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorClip         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorMute         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorParity         I30audioErrorTBL.4         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCcc         I30audioErrorTBL.5         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCde         I30audioErrorTBL.7         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCde <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td>- 6</td><td>82 = chd16</td></td<>				- 6	82 = chd16
Image: constraint of the image is the im	I30audioStatusBitDispDolby	I30audioStatusTBL.10	INTEGER	R/W	1 = ch1
130audioStatusBitDispExt130audioStatusTBL.11INTEGER $R/W$ $16 = ch16$ 130audioStatusBitDispAtign130audioStatusTBL.11INTEGER $R/W$ $19 = cha1$ ( $(\#R))$ $26 = cha8$ $35 = chb1$ ( $(\#R))$ $42 = chb8$ 130audioStatusBitDispAtign130audioStatusTBL.12INTEGER $R/W$ $1 = lsb$ $2 = msb$ 130audioPhonesTBL130audioPhonesTBL.1INTEGER $R/W$ $0 - 63$ 130audioPhonesTBL130audioPhonesTBL.1INTEGER $R/W$ $0 - 63$ 130audioErrorTBL130audioPhonesTBL.1INTEGER $R/W$ $0 - 63$ 130audioErrorTBL130audioErrorTBL.1INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorClip130audioErrorTBL.2INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorParity130audioErrorTBL.3INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorClip130audioErrorTBL.4INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorCrc130audioErrorTBL.5INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorCcc130audioErrorTBL.6INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorCde130audioErrorTBL.7INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorCde130audioErrorTBL.9INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorCde130audioErrorTBL.9INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorCde130audioErrorTBL.7INTEGER $R/W$ $1 = off$ $2 = on$ 130audioErrorTBL.8 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(中略)</td>					(中略)
130audioStatusBitDispExt       130audioStatusTBL.11       INTEGER       R/W       19 = cha1 (中略)         26 = cha8       35 = chb1 ((中略)         130audioStatusBitDispAlign       130audioStatusTBL.12       INTEGER       R/W       1 = lsb         130audioPhonesTBL       130audioTBL.8       Aggregate       -       -         130audioPhonesTBL       130audioPhonesTBL.1       INTEGER       R/W       0~63         130audioPhonesVolume       130audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorTBL       130audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorClip       130audioErrorTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorMute       130audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorMute       130audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorVaridity       130audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorCcc       130audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorCde       130audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         130audioErrorCcc       130audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1				- 6	16 = ch16
Image: space of the system	I30audioStatusBitDispExt	I30audioStatusTBL.11	INTEGER	R/W	19 = cha1
I30audioStatusBitDispAlign     I30audioStatusTBL.12     INTEGER     R/W     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1					(中略)
Image: Solution of the sector of the se					26 = cha8
I30audioStatusBitDispAlign     I30audioStatusTBL.12     INTEGER     R/W     1 = lsb       I30audioPhonesTBL     I30audioTBL.8     Aggregate     -     -       I30audioPhonesVolume     I30audioPhonesTBL.1     INTEGER     R/W     0~63       I30audioPhonesVolume     I30audioPhonesTBL.1     INTEGER     R/W     0~63       I30audioErrorTBL     I30audioErrorTBL.1     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorLevel     I30audioErrorTBL.2     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorMute     I30audioErrorTBL.3     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorParity     I30audioErrorTBL.4     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorVaridity     I30audioErrorTBL.5     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorCrc     I30audioErrorTBL.6     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorCrc     I30audioErrorTBL.6     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorCrc     I30audioErrorTBL.7     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorCrc     I30audioErrorTBL.7     INTEGER     R/W     1 = off       I30audioErrorTBL.8     INTEGER     R/W     1 = off     2 = on       I30audioErrorClipDuration     I30audioErrorTBL.7     INTEGER     R/W     1 = off					35 = chb1
I30audioStatusBitDispAlign         I30audioStatusTBL.12         INTEGER         R/W         1 = lsb           I30audioPhonesTBL         I30audioTBL.8         Aggregate         -         -           I30audioPhonesVolume         I30audioPhonesTBL.1         INTEGER         R/W         0~63           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.1         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorTBL         I30audioErrorTBL.2         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorMute         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorParity         I30audioErrorTBL.3         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorVaridity         I30audioErrorTBL.4         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCrc         I30audioErrorTBL.5         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorCrc         I30audioErrorTBL.7         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorClipDuration         I30audioErrorTBL.7         INTEGER         R/W         1 = off           I30audioErrorClipDuration         I30audioErrorTBL.9         I					(屮略)
I30audioStatuSBIDISPAIIgn       I30audioStatuSBL12       INTEGER       R/W       1 = isb 2 = msb         I30audioPhonesTBL       I30audioTBL.8       Aggregate       -       -         I30audioPhonesVolume       I30audioTBL.9       Aggregate       -       -         I30audioErrorTBL       I30audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClip       I30audioErrorTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorMute       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCcc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R	120 dia Chatra Dit Diara Aliana				
I30audioPhonesTBL       I30audioTBL.8       Aggregate       -       -         I30audioPhonesVolume       I30audioTBL.9       Aggregate       -       -         I30audioErrorTBL       I30audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       0~63         I30audioErrorLevel       I30audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClip       I30audioErrorTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorMute       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVatte       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVatte       I30audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCrc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 ~ 000         I30audioErrorTBL.7       INTEGER <td>ISUAUDIOSLALUSBILDISPAIIGN</td> <td>130audioStatus I BL.12</td> <td>INTEGER</td> <td>R/ W</td> <td>1 = ISD</td>	ISUAUDIOSLALUSBILDISPAIIGN	130audioStatus I BL.12	INTEGER	R/ W	1 = ISD
IsolaudioPhonesYoLume       IsolaudioPhonesTBL.1       INTEGER       R/W       0~63         I30audioPhonesVolume       I30audioPhonesTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorTBL       I30audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClip       I30audioErrorTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorMute       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorParity       I30audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCcc       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCcc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCcde       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 ~ 100         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/W       1 ~ 100         I30audioErrorReset	130-Judio Phonos TBI	120-judioTBL 8	Aggrogato	_	
IsoaudioFriortes/DL1       INCLER       INW       Oregan         I3OaudioErrorTBL       I3OaudioTbl.9       Aggregate       -       -         I3OaudioErrorTBL       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         I3OaudioErrorClip       I3OaudioErrorTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorMute       I3OaudioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorParity       I3OaudioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorVaridity       I3OaudioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorCcc       I3OaudioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorCcde       I3OaudioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorCde       I3OaudioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorCde       I3OaudioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 = off         I3OaudioErrorTBL       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         I3OaudioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on         I3OaudioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off       2 = on       10	130audioPhonesTBL	130audioTbL.8		D /\\/	- 0 ₀₁ 63
I30audioErrorIbL       I30audioErrorTBL.1       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClip       I30audioErrorTBL.2       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorMute       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorParity       I30audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCcc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCcc       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1 ~ 100         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 ~ 5000         I30audDataTBL       I30aud	130audioFriorEl	130audioFilonesTBL.1	Aggrogato	r./ W	0.00
ISOaudioErrorDevelISOaudioErrorDL.1INTEGERN/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipI30audioErrorTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorMuteI30audioErrorTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorParityI30audioErrorTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCrcI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCodeI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorResetI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorResetI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorResetI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 ~5000I30audioErrorResetI30audioErrorTBL.10INTEGERR/W01 (國定値)I30audDataTBLI30audioErrorTBL.10INTEGERR/W01 (國定値)I30audDataStatusLevelCh1I30audDataTBL.2DisplayStringR/OCh1 LevelI30audDataStatusLevelCh2I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh3 LevelI30audDataStatusLevelCh3I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh4 Level	130audioErrorl ovol	130audioTBL.9		- D /\\/	- 1 – off
I30audioErrorClipI30audioErrorTBL.2INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorMuteI30audioErrorTBL.3INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorParityI30audioErrorTBL.4INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCcI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCccI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorResetI30audioErrorTBL.9INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audDataTBLI30audioErrorTBL.10INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 <-5000	150addioE1101Eevel	130addioError IBE.1	INTLOLK	r., w	1 = 011 2 = 0p
ISOaddioErrorBLINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEGERINTEG	130audioErrorClip	130audioErrorTBL 2	INTEGER	D /\\/	2 = 0
I30audioErrorMute       I30audioErrorTBL.3       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorParity       I30audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCrc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCode       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1 ~~100         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 ~~5000         I30audDataTBL       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/W       1 (國定値)         I30audDataTBL       I30audioTBL.11       Aggregate       -       -         I30audDataStatusLevelCh1       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch1 Level         I30audDataStatusLevelCh3       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch4 Level         I30audDataStatusL		130addioError IBE.2	INTEGER		1 = 011 2 = 01
ISOdudioErrorHute       ISOdudioErrorHute       INTEGER	130audioErrorMute	130audioErrorTBL 3		R/W	1 = off
I30audioErrorParity       I30audioErrorTBL.4       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorVaridity       I30audioErrorTBL.5       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCrc       I30audioErrorTBL.6       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorCode       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1 ~ 000         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/W       1 ~ 5000         I30audDataTBL       I30audioTBL.11       Aggregate       -       -         I30audDataTBL       I30audDataTBL.1       DisplayString       R/O       Ch1 Level         I30audDataStatusLevelCh2       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch2 Level         I30audDataStatusLevelCh3	150dddioErronnate	13000001011DE.S	INTEGEN	1.9 11	2 = 0
IsodudioErrorTallIntegerR/WI = off 2 = onI30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCrcI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCodeI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorMuteDurationI30audioErrorTBL.9INTEGERR/W1~100I30audioErrorResetI30audioErrorTBL.10INTEGERR/W1~5000I30audDataTBLI30audioTBL.11AggregateI30audDataStatusLevelCh1I30audDataTBL.1DisplayStringR/OCh1 LevelI30audDataStatusLevelCh3I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh3 LevelI30audDataStatusLevelCh4I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh4 Level	130audioErrorParity	130audioErrorTBL 4	INTEGER	R/W	1 = off
I30audioErrorVaridityI30audioErrorTBL.5INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCrcI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off I30audioErrorCodeI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off I30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off 			INTEGEN		2 = 0n
Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocialization (Series)         Isocialization (Series)       Isocialization (Series)       Isocializa	130audioErrorVaridity	130audioErrorTBL 5	INTEGER	R/W	1 = off
I30audioErrorCrcI30audioErrorTBL.6INTEGERR/W1 = off 2 = onI30audioErrorCodeI30audioErrorTBL.7INTEGERR/W1 = off I30audioErrorClipDurationI30audioErrorTBL.8INTEGERR/W1~100I30audioErrorMuteDurationI30audioErrorTBL.9INTEGERR/W1~5000I30audioErrorResetI30audioErrorTBL.10INTEGERR/W1~5000I30audDataTBLI30audioErrorTBL.11AggregateI30audDataStatusLevelCh1I30audDataTBL.1DisplayStringR/OCh1 LevelI30audDataStatusLevelCh2I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh3 LevelI30audDataStatusLevelCh3I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh4 Level			INTEGEN	1911	2 = 0n
I30audioErrorCode       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1~100         I30audioErrorMuteDuration       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1~100         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1~5000         I30audDataTBL       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/WO       1 (固定値)         I30audDataTBL       I30audioTBL.11       Aggregate       -         I30audDataStatusLevelCh1       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch1 Level         I30audDataStatusLevelCh3       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch3 Level         I30audDataStatusLevelCh4       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch4 Level	I30audioErrorCrc	I30audioErrorTBL.6	INTEGER	R/W	1 = off
I30audioErrorCode       I30audioErrorTBL.7       INTEGER       R/W       1 = off         2 = on       I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1~100         I30audioErrorMuteDuration       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1~5000         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/W       1~5000         I30audDataTBL       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/WO       1 (固定値)         I30audDataTBL       I30audioTBL.11       Aggregate       -       -         I30audDataStatusLevelCh1       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch1 Level         I30audDataStatusLevelCh2       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch2 Level         I30audDataStatusLevelCh3       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch3 Level         I30audDataStatusLevelCh4       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch4 Level				.,	2 = on
Image: Section of the section of t	I30audioErrorCode	I30audioErrorTBL.7	INTEGER	R/W	1 = off
I30audioErrorClipDuration       I30audioErrorTBL.8       INTEGER       R/W       1~100         I30audioErrorMuteDuration       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1~5000         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/WO       1 (固定値)         I30audDataTBL       I30audioTBL.11       Aggregate       -       -         I30audDataStatusLevelCh1       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch1 Level         I30audDataStatusLevelCh2       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch3 Level         I30audDataStatusLevelCh3       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch4 Level				.,	2 = on
I30audioErrorMuteDuration       I30audioErrorTBL.9       INTEGER       R/W       1~5000         I30audioErrorReset       I30audioErrorTBL.10       INTEGER       R/WO       1 (固定值)         I30audDataTBL       I30audioTBL.11       Aggregate       -         I30audDataStatusLevelCh1       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch1 Level         I30audDataStatusLevelCh2       I30audDataTBL.2       DisplayString       R/O       Ch2 Level         I30audDataStatusLevelCh3       I30audDataTBL.3       DisplayString       R/O       Ch3 Level         I30audDataStatusLevelCh4       I30audDataTBL.4       DisplayString       R/O       Ch4 Level	I30audioErrorClipDuration	I30audioErrorTBL.8	INTEGER	R/W	1~100
I30audioErrorReset     I30audioErrorTBL.10     INTEGER     R/WO     1 (固定値)       I30audDataTBL     I30audioTBL.11     Aggregate     -     -       I30audDataStatusLevelCh1     I30audDataTBL.1     DisplayString     R/O     Ch1 Level       I30audDataStatusLevelCh2     I30audDataTBL.2     DisplayString     R/O     Ch2 Level       I30audDataStatusLevelCh3     I30audDataTBL.3     DisplayString     R/O     Ch3 Level       I30audDataStatusLevelCh4     I30audDataTBL.4     DisplayString     R/O     Ch4 Level	I30audioErrorMuteDuration	I30audioErrorTBL.9	INTEGER	R/W	1~5000
I30audDataTBL     I30audioTBL.11     Aggregate     -       I30audDataStatusLevelCh1     I30audDataTBL.1     DisplayString     R/O     Ch1 Level       I30audDataStatusLevelCh2     I30audDataTBL.2     DisplayString     R/O     Ch2 Level       I30audDataStatusLevelCh3     I30audDataTBL.3     DisplayString     R/O     Ch3 Level       I30audDataStatusLevelCh4     I30audDataTBL.4     DisplayString     R/O     Ch4 Level	I30audioErrorReset	I30audioErrorTBI 10	INTEGER	R/WO	1 (固定値)
I30audDataStatusLevelCh1I30audDataTBL.1DisplayStringR/OCh1 LevelI30audDataStatusLevelCh2I30audDataTBL.2DisplayStringR/OCh2 LevelI30audDataStatusLevelCh3I30audDataTBL.3DisplayStringR/OCh3 LevelI30audDataStatusLevelCh4I30audDataTBL.4DisplayStringR/OCh4 Level	I30audDataTBL	I30audioTBL.11	Aggregate	-	-
I30audDataStatusLevelCh2     I30audDataTBL.2     DisplayString     R/O     Ch2 Level       I30audDataStatusLevelCh3     I30audDataTBL.3     DisplayString     R/O     Ch3 Level       I30audDataStatusLevelCh4     I30audDataTBL.4     DisplayString     R/O     Ch4 Level	I30audDataStatusI evelCh1	I30audDataTBL.1	DisplayString	R/O	Ch1 Level
Isoladd atasterel as a second at a se	I30audDataStatusLevelCh2	I30audDataTBL 2	DisplayString	R/O	Ch2 Level
I30audDataStatusLevelCh4 I30audDataTBL4 DisplayString R/O Ch4 Level	I30audDataStatusl evelCh3	130audDataTBL 3	DisplayString	R/O	Ch3 Level
	I30audDataStatusLevelCh4	I30audDataTBL.4	DisplayString	R/0	Ch4 Level

## 20. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30audDataStatusLevelCh5	l30audDataTBL.5	DisplayString	R/O	Ch5 Level
l30audDataStatusLevelCh6	I30audDataTBL.6	DisplayString	R/O	Ch6 Level
l30audDataStatusLevelCh7	I30audDataTBL.7	DisplayString	R/O	Ch7 Level
l30audDataStatusLevelCh8	I30audDataTBL.8	DisplayString	R/O	Ch8 Level
l30audDataStatusLevelCh9	I30audDataTBL.9	DisplayString	R/O	Ch9 Level
l30audDataStatusLevelCh10	I30audDataTBL.10	DisplayString	R/O	Ch10 Level
l30audDataStatusLevelCh11	l30audDataTBL.11	DisplayString	R/O	Ch11 Level
l30audDataStatusLevelCh12	I30audDataTBL.12	DisplayString	R/O	Ch12 Level
l30audDataStatusLevelCh13	l30audDataTBL.13	DisplayString	R/O	Ch13 Level
l30audDataStatusLevelCh14	l30audDataTBL.14	DisplayString	R/O	Ch14 Level
l30audDataStatusLevelCh15	l30audDataTBL.15	DisplayString	R/O	Ch15 Level
l30audDataStatusLevelCh16	I30audDataTBL.16	DisplayString	R/O	Ch16 Level

# • I30trapTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30trapIpTBL	I30trapTBL.1	Aggregate	-	-
l30trapIp1TBL	I30trapIpTBL.1	Aggregate	-	-
l30trapManagerIp1	l30trapIp1TBL.1	IpAddress	R/W	IP Address
l30trapManagerIp1Act	l30trapIp1TBL.2	INTEGER	R/W	1 = enable
				2 = disable
l30trapIp2TBL	l30trapIpTBL.2	Aggregate	-	-
l30trapManagerIp2	l30trapIp2TBL.1	IpAddress	R/W	IP Address
l30trapManagerIp2Act	l30trapIp2TBL.2	INTEGER	R/W	1 = enable
				2 = disable
l30trapIp3TBL	l30trapIpTBL.3	Aggregate	-	-
l30trapManagerIp3	l30trapIp3TBL.1	IpAddress	R/W	IP Address
l30trapManagerIp3Act	l30trapIp3TBL.2	INTEGER	R/W	1 = enable
				2 = disable
l30trapIp4TBL	l30trapIpTBL.4	Aggregate	-	-
l30trapManagerIp4	l30trapIp4TBL.1	IpAddress	R/W	IP Address
l30trapManagerIp4Act	I30trapIp4TBL.2	INTEGER	R/W	1 = enable
				2 = disable

20.3.5 拡張 TRAP (Variable Binding List)

•	index 1	
	OID:	<pre>iso(1).org(3).dod(6).internet(1).mgmt(2).mib-2(1).system(1). sysUpTime(3).0</pre>
	Syntax: 範囲: 内容:	TimeTicks 1~4294967295 (範囲を超えた場合はオーバーフローする) エージェント起動後経過時間
•	index 2	
	OID: Syntax:	<pre>iso(1).org(3).dod(6).internet(1).snmpV2(6).snmpModules(3). snmpMIB(1).snmpMIBObjects(1).snmpTrap(4).snmpTrapOID(1).0 OBJECT IDENTIFIER</pre>
	範囲: 内容:	 トラップ OID
•	index 3	
	OID:	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0). l30trapStrTBL(2).l30trapCounter(1)
	Syntax: 範囲: 内容:	Counter32 1~4294967295 起動してからの Enterprise Trap の送出累計数
•	index 4	
	OID:	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0). l30trapStrTBL(2).l30trapInternalTimestamp(2)
	Syntax: 範囲: 内容:	DisplayString 最大 20 文字 エラー発生の日時
•	index 5	
	OID:	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0). l30trapStrTBL(2).l30trapInputCh(3)
	Syntax: 範囲:	INTEGER a(1), b(2), c(3), d(4)
	内容:	エラー発生の入力チャンネル(A/B/C/D)
•	index 6	
	OID:	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0). l30trapStrTBL(2).l30trapInputSignal(4)
	Syntax: 範囲:	DisplayString 最大 20 文字

内容: フォーマット情報

• index 7

OID:	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0). l30trapContentTBL(1).l30trapErrorTBL(1).X ちしくは
	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0). l30trapContentTBL(1).l30trapNormalTBL(2).X
Syntax: 範囲:	DisplayString 最大 16 文字
内容:	エラーを示す OID とエラー情報の文字列(下表参照) エラー発生時は、
	l30notificationTBL(0).l30trapContentTBL(1).l30trapErrorTBL(1).XのOIDとエラー情報の文字列(下表参照)
	エラー復旧時は、I30notificationTBL(0).I30trapContentTBL(1). I30trapNormalTBL(2).X のOIDとエラー情報の文字列(下表参照)

• index 8

OID:	leader(20111).lv5490(30).lv5490ST1(1).l30notificationTBL(0).
	l30trapStrTBL(2).l30trapCableLen(5)

Syntax: INTEGER

範囲: 1~32767

内容: ケーブル長

index7が、l30trapContentTBL(1).l30TrapErrorTBL(1). l30trapErrorCableWarn(5)のときのみ送出される。

# I30notificationTBL(1)グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I30trapContentTBL	I30notificationTBL.1		-	-
I30trapErrorTBL	I30trapContentTBL.1	Aggregate	-	-
I30trapErrorFan	I30TrapErrorTBL.1	-	-	FAN_STOP
l30trapErrorNoSignal	I30TrapErrorTBL.2	-	-	NO_SIGNAL
I30trapErrorUnknown	I30TrapErrorTBL.3	-	-	FORMAT_UNKNOWN
l30trapErrorCable	I30TrapErrorTBL.4	-	-	CABLE_ERR
I30trapErrorCableWarn	I30TrapErrorTBL.5	-	-	CABLE_WAR
l30trapErrorAudioSample	I30TrapErrorTBL.6	-	-	A_SMPL_ERR
l30trapErrorAudioInhibit	I30TrapErrorTBL.7	-	-	A_INH_ERR
l30trapErrorAudioDbn	I30TrapErrorTBL.8	-	-	A_DBN_ERR
I30trapErrorAudioParity	I30TrapErrorTBL.9	-	-	A_PRTY_ERR
I30trapErrorAudioBch	I30TrapErrorTBL.10	-	-	A_BCH_ERR
I30trapErrorSdiLevelC	I30TrapErrorTBL.11	-	-	LVL_C_ERR
I30trapErrorSdiLevelY	I30TrapErrorTBL.12	-	-	LVL_Y_ERR
l30trapErrorSdiBlack	I30TrapErrorTBL.13	-	-	BLK_ERR
I30trapErrorSdiFreeze	I30TrapErrorTBL.14	-	-	FRZ_ERR
l30trapErrorSdiCompGamu	I30TrapErrorTBL.15	-	-	CGMUT_ERR
t				
l30trapErrorSdiGamut	I30TrapErrorTBL.16	-	-	GMUT_ERR
I30trapErrorSdiAncParity	I30TrapErrorTBL.17	-	-	PRTY_ERR
I30trapErrorSdiAncChecksu	I30TrapErrorTBL.18	-	-	CHK_ERR
I30trapErrorSdiLineNumbe	l30TrapErrorTBL.19	-	-	LINE_ERR
l30trapErrorSdiIllegalCode	I30TrapErrorTBL.20	-	-	ILLEGAL ERR
I30trapErrorSdiTrsCode	I30TrapErrorTBL.21	-	-	TRS C ERR
I30trapErrorSdiTrsPos	I30TrapErrorTBL.22	-	-	TRS P ERR
I30trapErrorSdiEdh	I30TrapErrorTBL.23	-	-	EDH_ERR
I30trapErrorSdiCrc	I30TrapErrorTBL.24	-	-	CRC_ERR
I30trapErrorSdiDualDelay	I30TrapErrorTBL.25	-	-	SDI_DELAY_ERR
I30trapErrorSdiFrequency	I30TrapErrorTBL.26	-	-	FREQ_ERR
I30trapErrorEyeSdUndersh oot	I30TrapErrorTBL.27	-	-	EYE_SD_OF_ERR
l30trapErrorEyeSdOversho ot	I30TrapErrorTBL.28	-	-	EYE_SD_OR_ERR
l30trapErrorEyeSdCjit	I30TrapErrorTBL.29	-	-	EYE SD C JIT ERR
I30trapErrorEyeSdTjit	I30TrapErrorTBL.30	-	-	EYE SD T JIT ERR
I30trapErrorEyeSdTrTf	I30TrapErrorTBL.31	-	-	EYE SD TR TF ERR
I30trapErrorEyeSdTf	I30TrapErrorTBL.32	-	-	EYE SD TF ERR
I30trapErrorEyeSdTr	I30TrapErrorTBL.33	-	-	EYE_SD_TR_ERR
I30trapErrorEyeSdAmp	I30TrapErrorTBL.34	-	-	EYE_SD_AMP_ERR
I30trapErrorEyeHdUndersh	I30TrapErrorTBL.35	-	-	EYE_HD_OF_ERR
oot				
l30trapErrorEyeHdOversho ot	I30TrapErrorTBL.36	-	-	EYE_HD_OR_ERR
I30trapErrorEyeHdCJit	I30TrapErrorTBL.37	-	-	EYE_HD_C_JIT_ERR
I30trapErrorEyeHdTJit	I30TrapErrorTBL.38	-	-	EYE_HD_T_JIT_ERR
I30trapErrorEyeHdTrTf	I30TrapErrorTBL.39	-	-	EYE_HD_TR_TF_ERR
I30trapErrorEyeHdTf	I30TrapErrorTBL.40	-	-	EYE_HD_TF_ERR
I30trapErrorEyeHdTr	I30TrapErrorTBL.41	-	-	EYE_HD_TR_ERR
I30trapErrorEyeHdAmp	I30TrapErrorTBL.42	-	-	EYE_HD_AMP_ERR
I30trapErrorEye3gUndersh	I30TrapErrorTBL.43	-	-	EYE_3G_OF_ERR
I30trapErrorEye3gOversho ot	I30TrapErrorTBL.44	-	-	EYE_3G_OR_ERR

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l30trapErrorEyeCJit	I30TrapErrorTBL.45	-	-	EYE 3G C JIT ERR
I30trapErrorEyeTJit	I30TrapErrorTBL.46	-	-	EYE 3G T JIT ERR
I30trapErrorEveTrTf	I30TrapErrorTBL.47	-	-	EYE 3G TR TF ERR
130trapErrorEveTf	130TrapErrorTBL.48	_	_	EYE 3G TE ERR
I30trapErrorEveTr	I30TrapErrorTBL.49	_	_	FYF 3G TR FRR
I30trapErrorEveAmp	130TrapErrorTBL 50	-	_	EYE 3G AMP FRR
130trapErrorAudioValidity	I30TrapErrorTBL 51	_	_	
loot apen on tadlo valiaity				発生しているチャネルの
				16 進表記)
130trapErrorAudioCrc	130TrapErrorTBL.52	_	_	CRC:XX (XX はエラーが
	····			発生しているチャネルの
				16進表記)
130trapErrorAudioClip	130TrapErrorTBL.53	_	_	CLIP:XX (XX はエラーが
····	····			発生しているチャネルの
				16進表記)
130trapErrorAudioMute	I30TrapErrorTBL.54	-	-	MUTE:XX (XX はエラー
	•			、 が発生しているチャネル
				の16進表記)
130trapErrorAudioLevel	I30TrapErrorTBL.55	-	-	OVER:XX (XX はエラー
·				、が発生しているチャネル
				の 16 進表記)
I30trapErrorAudioParity	I30TrapErrorTBL.56	-	-	PAR:XX (XX はエラーが
				、発生しているチャネルの
				16 進表記)
130trapErrorAudioCode	I30TrapErrorTBL.57	-	-	CODE:XX (XX はエラー
·	·			が発生しているチャネル
				の 16 進表記)
l30trapErrorSdiBlackSt2	I30TrapErrorTBL.58	-	-	BLK_ST2_ERR
l30trapErrorSdiFreezeSt2	I30TrapErrorTBL.59	-	-	FRZ ST2 ERR
I30trapErrorSdiLevelC St2	I30TrapErrorTBL.69	-	-	LVL C ST2 ERR
l30trapErrorSdiLevelY_St2	I30TrapErrorTBL.70	-	-	LVL_Y_ST2_ERR
I30trapErrorSdiCompGamu	I30TrapErrorTBL.71	-	-	CGMUT ST2 ERR
tSt2	•			
l30trapErrorSdiGamutSt2	I30TrapErrorTBL.72	-	-	GMUT_ST2_ERR
I30trapNormalTBL	I30trapContentTBL.2	Aggregate	-	-
I30trapNormalFan	I30TrapNormalTBL.1	-	-	FAN STOP
I30trapNormalNoSignal	I30TrapNormalTBL.2	-	-	NO SIGNAL
I30trapNormalUnknown	I30TrapNormalTBL.3	-	-	FORMAT UNKNOWN
I30trapNormalCable	I30TrapNormalTBL.4	-	-	CABLE ERR
130trapNormalCableWarn	I30TrapNormalTBL.5	-	_	CABLE WAR
I30trapNormalAudioSampl	I30TrapNormalTBL.6	-	-	A SMPL ERR
e	•			
l30trapNormalAudioInhibit	I30TrapNormalTBL.7	-	-	A INH ERR
130trapNormalAudioDbn	I30TrapNormalTBL.8	-	_	A DBN ERR
130trapNormalAudioParity	I30TrapNormalTBL.9	-	_	A PRTY ERR
130trapNormalAudioBch	I30TrapNormalTBL.10	-	_	A BCH ERR
130trapNormalSdiLevelC	I30TrapNormalTBL.11	_	_	LVL C ERR
130trapNormalSdil evelY	I30TrapNormalTBL 12	_	_	
I30trapNormalSdiBlack	I30TrapNormalTBL 13	-	-	BLK ERR
I30trapNormalSdiFreeze	I30TrapNormalTBL 14	-	-	FRZ ERR
130trapNormalSdiCompGa	I30TrapNormalTBL 15	-	_	
mut				CONTRACT_ENT
I30trapNormalSdiGamut	130TrapNormalTBL 16	-	_	GMUT ERR
I30trapNormalSdiAncParity	I30TrapNormalTBL 17	-	_	PRTY FRR
I30trapNormalSdiAncCheck	30TranNormalTRI 18	-	_	CHK FRR
sum				
I30trapNormalSdiLineNum	I30TrapNormalTBL.19	-	-	LINE ERR

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
ber				
l30trapNormalSdiIllegalCo	I30TrapNormalTBL.20	-	-	ILLEGAL_ERR
de				
l30trapNormalSdiTrsCode	I30TrapNormalTBL.21	-	-	TRS_C_ERR
l30trapNormalSdiTrsPos	I30TrapNormalTBL.22	-	-	TRS_P_ERR
l30trapNormalSdiEdh	I30TrapNormalTBL.23	-	-	EDH_ERR
l30trapNormalSdiCrc	I30TrapNormalTBL.24	-	-	CRC_ERR
l30trapNormalSdiDualDela	I30TrapNormalTBL.25	-	-	SDI_DELAY_ERR
У				
130trapNormalSdiFrequenc	I30TrapNormalTBL.26	-	-	FREQ_ERR
У				
l30trapNormalEyeSdUnder	I30TrapNormalTBL.27	-	-	EYE_SD_OF_ERR
shoot				
l30trapNormalEyeSdOvers	I30TrapNormalTBL.28	-	-	EYE_SD_OR_ERR
hoot				
l30trapNormalEyeSdCjit	I30TrapNormalTBL.29	-	-	EYE_SD_C_JIT_ERR
l30trapNormalEyeSdTjit	I30TrapNormalTBL.30	-	-	EYE_SD_T_JIT_ERR
l30trapNormalEyeSdTrTf	I30TrapNormalTBL.31	-	-	EYE_SD_TR_TF_ERR
l30trapNormalEyeSdTf	I30TrapNormalTBL.32	-	-	EYE_SD_TF_ERR
l30trapNormalEyeSdTr	I30TrapNormalTBL.33	-	-	EYE_SD_TR_ERR
130trapNormalEyeSdAmp	I30TrapNormalTBL.34	-	-	EYE_SD_AMP_ERR
l30trapNormalEyeHdUnder	I30TrapNormalTBL.35	-	-	EYE_HD_OF_ERR
shoot				
l30trapNormalEyeHdOvers	I30TrapNormalTBL.36	-	-	EYE_HD_OR_ERR
hoot				
l30trapNormalEyeHdCJit	I30TrapNormalTBL.37	-	-	EYE_HD_C_JIT_ERR
l30trapNormalEyeHdTJit	I30TrapNormalTBL.38	-	-	EYE_HD_T_JIT_ERR
I30trapNormalEyeHdTrTf	I30TrapNormalTBL.39	-	-	EYE HD TR TF ERR
I30trapNormalEyeHdTf	I30TrapNormalTBL.40	-	-	EYE HD TF ERR
I30trapNormalEyeHdTr	I30TrapNormalTBL.41	-	-	EYE HD TR ERR
I30trapNormalEveHdAmp	I30TrapNormalTBL.42	-	-	EYE HD AMP ERR
l30trapNormalEve3gUnder	I30TrapNormalTBL.43	-	-	EYE 3G OF ERR
shoot				
130trapNormalEve3gOvers	I30TrapNormalTBL.44	-	-	EYE 3G OR ERR
hoot				
l30trapNormalEyeCJit	I30TrapNormalTBL.45	-	-	EYE 3G C JIT ERR
I30trapNormalEyeTJit	I30TrapNormalTBL.46	-	-	EYE 3G T JIT ERR
130trapNormalEveTrTf	I30TrapNormalTBL.47	-	-	EYE 3G TR TF ERR
I30trapNormalEveTf	I30TrapNormalTBL 48	_	-	FYF 3G TF FRR
I30trapNormalEveTr	I30TrapNormalTBL 49	_	-	FYF 3G TR FRR
I30trapNormalEveAmp	I30TrapNormalTBL.50	_	-	FYF 3G AMP FRR
I30trapNormalAudioValidit	I30TrapNormalTBL 51	-	-	VAI
v				·/ (2
, I30tranNormalAudioCrc	130TranNormalTBL 52	_	-	CBC
I30trapNormalAudioClip	I30TranNormalTBL 53	-	-	
	130TranNormalTBL 54	_	_	MUTE
	I30TranNormalTBL 55		_	OVER
130trapNormalAudioEcver	I30TrapNormalTBL 56		_	
130trapNormalAudioCodo	130TrapNormalTBL 57		_	CODE
130trapNormalEdiPlackSt2		-	-	
		-	-	DLK_SIZ_ERK
2	150 Hapixor Harr BL.59	-	-	
2 I30tranNormalNoError	130TranNormalTBL 60		_	
	ISU II APINUI II I ALI OLI OLI OLI OLI OLI OLI OLI OLI OLI O		-	
		-	-	
		-	-	LVL_I_SIZ_EKK
isuuaperrorsuicompeamu	ISUITAPINOFMATTBL./1	-	- 1	CGMUT_STZ_EKK

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
tSt2				
I30trapErrorSdiGamutSt2	I30TrapNormalTBL.72	-	-	GMUT_ST2_ERR
I30trapStrTBL	I30notificationTBL.2	Aggregate	-	-
l30trapCounter	I30trapStrTBL.1	INTEGER	R/O	1~4294967295
l30trapInternalTimestamp	I30trapStrTBL.2	DisplayStrin	R/O	日時
		g		
l30trapInputCh	I30trapStrTBL.3	INTEGER	R/O	1 = a
				2 = b
				3 = c
				4 = d
l30trapInputSignal	I30trapStrTBL.4	DisplayStrin	R/O	信号フォーマット
		g		
l30trapCableLen	I30trapStrTBL.5	INTEGER	R/O	0~32767

• エラー情報一覧

エラー番号(*1)	エラー情報文字列	内容
1	FAN_STOP	FAN 停止の検出
2	NO_SIGNAL	入力信号なしの検出
3	FORMAT_UNKNOWN	不明な信号フォーマットの検出
4	CABLE_ERR	線長計エラーの検出
5	CABLE WAR	線長計ウォーニングの検出
6	A SMPL ERR	(EMB AUDIO) SAMPLE エラーの検出
7	A INH ERR	(EMB AUDIO) INH エラーの検出
8	A_DBN_ERR	(EMB AUDIO) DBN エラーの検出
9	A_PRTY_ERR	(EMB AUDIO) PARITY エラーの検出
10	A BCH ERR	(EMB AUDIO) BCH エラーの検出
11	LVL C ERR	色差レベルエラーの検出
12	LVL Y ERR	輝度レベルエラーの検出
13	BLK ERR	ブラックエラーの検出
14	FRZ ERR	フリーズエラーの検出
15	CGMUT ERR	コンポジットガマットエラーの検出
16	GMUT ERR	ガマットエラーの検出
17	PRTY ERR	パリティエラーの検出
18	CHK ERR	チェックサムエラーの検出
19		ラインナンバーエラーの検出
20		イリーガルコードエラーの検出
21	TRS C FRR	TRS Code エラーの検出
22	TRS P FRR	TRS Pos Tラーの検出
23	FDH FRR	FDH Tラーの検出
24	CRC_FRR	<u>CRC エラーの検出</u>
25	SDI DELAY ERR	SDI DELAY エラーの検出
26	FREQ_ERR	FBFOUENCY エラーの検出
27	FYE SD OF ERR	(FYF) SD Overshoot Falling エラーの検出
28	FYE SD OR FRR	(EYE) SD Overshoot Rising エラーの検出
29	EYE SD C JIT ERR	(EYE) SD Current ジッターエラーの検出
30	FYE SD T JIT ERR	(FYF) SD Timing ジッターエラーの検出
31	EYE SD TR TF ERR	(EYE) SD Delta Time エラーの検出
32	EYE SD TF ERR	(EYE) SD Fall Time エラーの検出
33	FYF SD TR FRR	(EYE) SD Rise Time エラーの検出
34	EYE SD AMP ERR	(EYE) SD 振幅エラーの検出
35	EYE HD OF ERR	(EYE) HD Overshoot Falling エラーの検出
36	EYE HD OR ERR	(EYE) HD Overshoot Rising エラーの検出
37	EYE HD C JIT ERR	(EYE) HD Current ジッターエラーの検出
38	FYE HD T IIT FRR	(FYF) HD Timing ジッターエラーの検出
39	FYE HD TR TE FRR	(EYE) HD Delta Time エラーの検出
40	EYE HD TF ERR	(EYE) HD Fall Time エラーの検出
41	EYE HD TR ERR	(EYE) HD Rise Time エラーの検出
42	EYE HD AMP ERR	(EYE) HD 振幅エラーの検出
43	EYE 3G OF ERR	(EYE) 3G Overshoot Falling エラーの検出
44	EYE 3G OR ERR	(FYF) 3G Overshoot Rising エラーの検出
45	FYE 3G C JIT ERR	(EYE) 3G Current ジッターエラーの検出
46	EYE 3G T JIT ERR	(EYE) 3G Timing ジッターエラーの検出
47	EYE 3G TR TF FRR	(EYE) 3G Delta Time エラーの検出
48	EYE 3G TF ERR	(EYE) 3G Fall Time エラーの検出
49	EYE 3G TR ERR	(EYE) 3G Rise Time エラーの検出
50	EYE 3G AMP ERR	(EYE) 3G 振幅エラーの検出
51	VAL	(AUDIO) VALIDITY エラーの検出
52	CRC	(AUDIO) CRC エラーの検出
53	CLIP	(AUDIO) CLIP エラーの検出
54	MUTE	(AUDIO) MUTE エラーの検出

エラー番号(*1)	エラー情報文字列	内容
55	OVER	(AUDIO) LEVEL エラーの検出
56	PAR	(AUDIO) PARITY エラーの検出
57	CODE	(AUDIO) CODE VIOLATION エラーの検出
58	BLK_ST2_ERR	ブラックエラーの検出 (stream2)
59	FRZ_ST2_ERR	フリーズエラーの検出 (stream2)
60(*2)	NO_ERROR	エラーなし
61	EYE_12G_OF_ERR	(EYE) 12G Overshoot Falling エラーの検出
62	EYE_12G_OR_ERR	(EYE) 12G Overshoot Rising エラーの検出
63	EYE_12G_C_JIT_ERR	(EYE) 12G Current ジッターエラーの検出
64	EYE_12G_T_JIT_ERR	(EYE) 12G Timing ジッターエラーの検出
65	EYE_12G_TR_TF_ERR	(EYE) 12G Delta Time エラーの検出
66	EYE_12G_TF_ERR	(EYE) 12G Fall Time エラーの検出
67	EYE_12G_TR_ERR	(EYE) 12G Rise Time エラーの検出
68	EYE_12G_AMP_ERR	(EYE) 12G 振幅エラーの検出
69	LVL_C_ST2_ERR	色差レベルエラーの検出 (stream2)
70	LVL_Y_ST2_ERR	輝度レベルエラーの検出 (stream2)
71	CGMUT_ST2_ERR	コンポジットガマットエラーの検出 (stream2)
72	GMUT_ST2_ER	ガマットエラーの検出 (stream2)

*1 I30trapContentTBL(1)のI30TrapErrorTBL(1)およびI30TrapNormalTBL(2)の各 OID の番号

*2 I30trapNormalNoError(60)はI30trapNormalTBL(2)にのみ定義されており、I30trapErrorTBL(1)には存在しない。

#### 20.4 HTTP サーバー機能

PC上の汎用 WEB ブラウザから、パネル操作と同じ感覚で本器をコントロールできます。

#### 20.4.1 動作環境

以下の WEB ブラウザで動作することを確認しています。

- Internet Explorer Ver.11.0
- Mozilla Firefox Ver.37.0.2

#### 20.4.2 注意事項

- WEB ブラウザ上のキーを押した後は、画面が更新されるのを待ってから次の操作を行ってください。キーを連打すると画像生成が間に合わず、一時的に画面全体がグレーになることがあります。(数秒で元に戻ります)
- HTTP サーバー機能を使用している間は、できるだけ本体でのパネル操作は行わないでください。画像生成を行っている間は本体内部の処理負荷が上がるため、本体でパネル操作を行うと1~2 秒程度の遅れが生じます。
- ・ PC から HTTP サーバー機能への同時接続可能数は1つです。複数接続には対応していません。

### 20.4.3 使用方法

_

_____

1. LV 5490 の ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

____

IP Address を設定し、HTTP Server Select を ON にします。 【参照】「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS $\rightarrow$ F•2 SYSTEM SETU GENERAL SETUPETHERNET SETUPIREMOT	P → F•2 PREV TAB a	または F•3 NEXT TAB -	<b>→</b>
Ethernet Select TCP/IP IP Address Subnet Mask Default Gateway	■ DHCP 192. 168. 0. 255. 255. 255. 0. 0. 0. 0.	57 IP 1 0 0	
SNTP Client Select Server IP Address Time Zone Adjust	<b>₩0FF</b>	■ ON	
TELNET Server FTP Server HTTP Server	दर0FF ⊄0FF ■0FF	■ ON ■ ON ▼ ON	■LV5490-01
SNMP Read SNMP Trap MAC Address	☎0FF ☎0FF 00:00:00:00:00:00	I ON ON	■Write

_____

図 20-4 ETHERNET SETUP 画面

- 2. F•1 COMPLETE を押します。
- 3. LV 5490 のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
- PC上でWEBブラウザを起動します。
   HTTPサーバー機能では、JavaScriptを使用しています。 JavaScriptの設定を有効にしてください。
- 5. アドレス欄に「http://(手順1で設定した IP アドレス)」を入力します。



図 20-5 IP アドレス入力

6. 表示選択画面が表示されたら、Web Server (with Display)または Web Server から選択します。

Web Server (with Display)は、LV 5490 と同じイメージで表示されますが、操作に対する応 答時間が約 4~10 秒、自動表示更新周期が 10 秒かかります。

Web Server は、画面表示を行わない分、操作に対する応答時間が約 2~3 秒と短くなります。 目的に応じて選択してください。

🗲 🕀 🙋 ht	ttp://192.168.2.10/	- • • •
LV5490	0 Browser Menu	
	Web Server (with Display)	
	Web Server	

図 20-6 表示選択画面

7. メイン画面が表示されたら、WEB ブラウザ上のキーをクリックすることで、LV 5490 をコント ロールできます。



図 20-7 メイン画面

番号	名称	説明
1	Return Menu	クリックすると、表示選択画面に戻ります。
2	Preset Memory	クリックすると、PSET キーを長押ししたときと同じ動作をします。
		【参照】「9. プリセット機能」
3	Screen Capture(JPG)	クリックすると現在の表示画面をキャプチャーして、別ウインドウに
	Screen Capture(BMP)	表示します。ウインドウのメニューから、JPEG 形式または BMP 形
	(*1)	式でファイルの保存ができます。
4	表示画面 (*1)	クリックすると、画面の更新をします。
		(クリックしなくても、10 秒で自動更新します)
5	V POS	-50、-1、+1、+50 が 4 分割で割り当てられ、中心の四角い部分が
	H POS	クリックと同じ動作となります。
	F∙D	タブメニューや一部の画面では、-50 は-5、+50 は+5 として動作し
		ます。また、設定分解能が 1 以外の箇所では、分解能にツマミによる
		設定値を掛けた値が設定されます。
6	САР	CAP キーによるキャプチャー機能は正しく動作しません。Web
		Server (with Display)の Screen Capture ボタンを使用してくださ
		い <u>。</u>
8	電源スイッチ	電源スイッチは動作しません。
7	ファンクションキー	ファンクションキーで設定項目を選択するときは、WEB ブラウザ上
		でポップアップが表示されてから、2秒以内に操作を行ってくださ
		い。
		また、ファンクションメニューは自動で消えるため、表示と操作が合
		わなくなることがあります。このときは、システム設定で MENU
		Auto Off を長めに設定してください。
		【参照】MENU Auto Off →「7.2.1 一般的な設定」

*1 Web Server では表示されません。

#### 20.5 SNTP クライアント機能

ネットワーク上の NTP サーバーに同期した時刻表示ができます。

#### 20.5.1 使用方法

1. ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

SNTP Client Select を ON にし、IP Address、Sever IP Address、Time Zone Adjust を設定 します。Time Zone Adjust については、次項を参照してください。 【参照】「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS → F•2 SYSTEM SETU	$P \rightarrow F \bullet 2$ PREV TAE	3または F•3 NEXT TAB	$\rightarrow$
Ethernet Select	■ DHCP	¶∏IP	
IP Address Subnet Mask Default Gateway	192 ·       168 ·       0 ·         255 ·       255 ·       255 ·         0 ·       0 ·       0 ·	1 0 0	
SNTP Client Select Server IP Address Time Zone Adjust	■OFF 0.0.0. +9:00 •	e ON	
TELNET Server FTP Server HTTP Server	द्र0FF दर0FF दर0FF	FON FON FON	■LV5490-01
SNMP Read SNMP Trap MAC Address	<b>₩OFF</b> <b>₩OFF</b> 00:00:00:00:00:00	■ ON ■ ON	■Write

図 20-8 ETHERNET SETUP タブ

- 2. F•1 COMPLETE を押します。
- 3. 本体のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。

以下のタイミングで、本器は NTP サーバーに接続します。

・SYSTEM SETUP で F•1 COMPLETE を押したとき

・約10分に1回

NTP サーバーに正しく接続できると、画面右上に時刻が表示されます。 正しく接続できない場合は、TIME 欄に赤字で「NTP ERROR」と表示されます。

### 20.5.2 時刻補正値

NTP(SNTP)で送受信される日時は、基本的に協定世界時(UTC - Coordinated Universal Time)となります。このため、実際に機器を使用する国や地域に合わせて時刻補正を行う必要があります。 ETHERNET SETUP 画面の Time Zone Adjust に以下の値を入力してください。

表 20-3 時刻補正値一覧表

使用する国や地域	Time Zone Adjust
エニウェトク、クエジェリン	-12:0
ミッドウェー島、サモア	-11:0
ハワイ	-10:0
アラスカ	-9:0
太平洋標準時(米国、カナダ)、ティファナ	-8:0
山地標準時(米国、カナダ)、アリゾナ	-7:0
中部標準時(米国、カナダ)、中央アメリカ、サスカチュワン、メキシコシティ	-6:0
東部標準時(米国、カナダ)、インディアナ東部、ボゴタ、リマ、キト	-5:0
大西洋標準時(カナダ)、ラパス、サンティアゴ	-4:0
グリーンランド、ブエノスアイレス、ジョージタウン、ブラジリア	-3:0
中央大西洋	-2:0
アゾレス諸島、ガーボベルデ諸島	-1:0
グリニッジ標準時(ダブリン、エジンバラ、リスボン、ロンドン)、	-/+0:0
カサブランカ、モンロビア	
アムステルダム、ベルリン、ベルン、ローマ、ストックホルム、	+1:0
サラエボ、スコピエ、ソフィア、ビリニュス、ワルシャワ、ザグレブ、	
ブリュッセル、マドリード、コペンハーゲン、パリ、ベオグラード、	
プラチスラバ、ブダペスト、リュブリャナ、プラハ、西中央アフリカ	
アテネ、イスタンブール、ミンスク、エルサレム、カイロ、	+2:0
ハラーレ、プレトリア、ブカレスト、ヘルシンキ、リガ、タリン	
クウェート、リヤド、ナイロビ、バクダット、モスクワ、ボルゴグラード、	+3:0
サンクトペテルブルグ	
アブダビ、マスカット、バグ、トビリシ、エレバン	+4:0
イスラマバード、カラチ、タシケント、エカテリンバーグ	+5:0
アスタナ、ダッカ、アルマティ、ノボシビルスク、	+6:0
クラスノヤルスク、バンコク、ハノイ、ジャカルタ	+7:0
イルクーツク、ウランバートル、クアラルンプール、シンガポール、パース、	+8:0
台北、北京、重慶、香港、ウルムチ	
ソウル、ヤクーツク、大阪、札幌、東京	+9:0
ウラジオストク、キャンベラ、メルボルン、シドニー、グアム、	+10:0
ポートモレスビー、ブリスベン、ホバート	
マガダン、ソロモン諸島、ニューカレドニア	+11:0
オークランド、ウェリントン、フィジー、カムチャッカ、マーシャル諸島	+12:0

各キーを押したときのメニューツリーを示します。 下線部(_)は初期値を表しています。 表示されるメニューは、本体の設定や USB メモリーの接続状況によって異なります。

21.1 MULTI メニュー



21.2 INPUT メニュー

INPUT	F1 1A	( <u>ON</u> / OFF )
	F2 1B	( ON / <u>OFF</u> )
	F3 1C	( ON / <u>OFF</u> )
	F4 1D	( ON / <u>OFF</u> )
	F1 2A	( <u>ON</u> / OFF )
	F2 2B	( ON / <u>OFF</u> )
	F3 2C	( ON / <u>OFF</u> )
	F4 2D	( ON / <u>OFF</u> )
	F1 1	( <u>ON</u> / OFF )
	F2 2	( ON / <u>OFF</u> )
	F3 3	( ON / <u>OFF</u> )
	F4 4	( ON / <u>OFF</u> )
	F1 1A - 1E	B ( <u>ON</u> / OFF )
	F2 1C - 1	) ( ON / <u>OFF</u> )
	F3 2A - 2E	8 ( <u>ON</u> / OFF)
	F4 2C - 2D	) ( ON / <u>OFF</u> )
	F1 1A - 10	) ( <u>ON</u> )
	F2 2A - 2D	D ( <u>ON</u> )
	F1 1 - 4	( <u>ON</u> )
	F5 INPUT GROUP	( <u>1</u> /2)
	F6 OPERATE CH MODE	( <u>COM</u> / INDIVIDUAL )
	F7 DISPLAY	( <u>SINGLE</u> / SIMUL )

21.3 SYS メニュー



### 21.4 CAP メニュー



21.5 PSET メニュー



21.6 WFM メニュー





21.7 VECT メニュー F1 INTEN/ SCALE F1 VECT VECT (-128 - <u>0</u> - 127 ) F2 VECT COLOR ( <u>WHITE</u> / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE ) F2 VECT COLOR F1 STREAM1 (<u>WHITE</u> / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI ) F2 STREAM2 (<u>WHITE</u> / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI ) F6 SELECT (<u>1A</u> / 1B / 1C / 1D / 2A / 2B / 2C / 2D ) F7 up menu F3 VECT SCALE F1 SCALE INTEN (-8 - <u>4</u> - 7) F2 SCALE ( WHITE / <u>YELLOW</u> / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE ) F3 IQ AXIS (ON / OFF ) F4 VECT SCALE ( <u>AUTO</u> / BT. 601 / BT. 709 / DCI / BT. 2020 ) 
 FFB
 CHL
 (1A)
 1B
 / 1C
 / 1D
 / 2A
 / 2B
 / 2C
 / 2D
 / 1A
 - 1B
 / 1C
 - 1D
 /

 FFB
 CH
 2A
 - 2B
 / 2C
 - 2D
 / 1A
 - 1B
 / 1C
 - 1D
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /</ F7 up menu F6 SELECT F7 up menu F1 5BAR SCALE (<u>%</u>/mV) F3 HIST SCALE F1 SCALE (% / <u>HDR</u>) F6 SELECT (1A - 1B / 1C - 1D / 2A - 2B / 2C - 2D / 1A - 1D / 2A - 2D / 1 / 2 / 3 / 4 / 1 - 4) F7 up menu F1 SCALE F1 TRIANGLE1 ( BT. 601 (525)  $\,/\,$  BT. 601 (625)  $\,/\,$  BT. 709  $\,/\,$  DCI  $\,/\,$  BT. 2020  $\,/\,$  <u>OFF</u> ) F2 TRIANGLE2 ( BT. 601 (525) / BT. 601 (625) / BT. 709 / DCI / BT. 2020 / <u>OFF</u> ) F3 COLOR (<u>ON</u> / OFF ) F1 TEMP SCALE F4 SUB SCALE ( ON / <u>OFE</u> ) F2 GRID ( <u>ON</u> / OFF ) F3 D65 (<u>ON</u> / OFF ) F4 TRIANGLE ( ON / OFE ) F6 SELECT (<u>1A</u> / 1B / 1C / 1D / 2A / 2B / 2C / 2D / 1A - 1B / 1C - 1D / CH 2A - 2B / 2C - 2D / 1A - 1D / 2A - 2D / 1 / 2 / 3 / 4 / 1 - 4) F7 up menu F5 USER TRIANGLE F1 TRIANGLE ( 1 / 2 / <u>OFF</u> ) F2 PRIMARY (<u>G</u> / B / R) F3 x VALUE ( 0.000 - 0.170 - 1.000 ) F3 x VALUE ( 0.000 - 0.131 - 1.000 ) F3 x VALUE ( 0.000 - 0.708 - 1.000 ) F4 y VALUE (0.000 - 0.797 - 1.000) F4 y VALUE ( 0.000 - 0.046 - 1.000 ) F4 y VALUE (0.000 - 0.292 - 1.000)





### 21.8 PIC メニュー















## 21.10 STATUS メニュー






21. メニューツリー





21. メニューツリー

### 21.11 EYE メニュー (SER02/SER09)



21. メニューツリー



### 22. ファームウエアの変更履歴

本書は、以下のファームウエアバージョンに基づいて作成されています。 ・Ver. 5.9 (LV 5490) ・Ver. 4.3 (LV 5480) ファームウエアバージョンは、SYS メニューの F•3 SYSTEM INFO で確認できます。

- Ver. 5.9 (LV 5490) / Ver. 4.3 (LV 5480)
- ・ [SER08] NMI の信号における PTP の BMCA に対応。
- Ver. 5.8 (LV 5490) / Ver. 4.2 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 5.7 (LV 5490) / Ver. 4.1 (LV 5480)
- Ver. 5.6 (LV 5490) / Ver. 4.0 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 5.5 (LV 5490) / Ver. 3.9 (LV 5480)
- ・ [SER06] 全ラインに CRC エラーを含む SDI 信号でも受信出来るように修正。
- Ver. 5.4 (LV 5490) / Ver. 3.8 (LV 5480)
- Ver. 5.3 (LV 5490) / Ver. 3.7 (LV 5480)
- Ver. 5.2 (LV 5490) / Ver. 3.6 (LV 5480)
- ・ [SER03] リップシンク測定機能を追加。
- Ver. 5.1 (LV 5490) / Ver. 3.5 (LV 5480)
- ・ [SER01/02/06/08] 4Kの NETQ に対応するように改善。
- Ver. 5.0 (LV 5490) / Ver. 3.4 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 4.9 (LV 5490) / Ver. 3.3 (LV 5480)
- [SER07] PQ 時 HD% / 1023 / 1023,255 / 3FF の波形スケールを、4000、2000、1000cd/m²等きりが 良い数値へ変更し、補助線を入れ、観測性を改善。
- ・ [SER07] Slog3 のシステムガンマ時に 3000cd/m²以上も表示するように改善。
- Ver. 4.8 (LV 5490) / Ver. 3.2 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 4.7 (LV 5490) / Ver. 3.1 (LV 5480)
- ・ [LV 5490/5480] 画面左上に表示される ERROR の ON/OFF ができるように改善。
- ・ [LV 5490/5480] 新ロゴ対応の為、起動時等のロゴの表示を修正。
- ・ [SER05] CIE 色度図表示において、背景黒を追加し、色度図波形を色表示した場合の視認性を改善。

- Ver. 4.6 (LV 5490) / Ver. 3.0 (LV 5480)
- ・
   ・
   軽微な変更
- Ver. 4.5 (LV 5490) / Ver. 2.9 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 4.4 (LV 5490) / Ver. 2.8 (LV 5480)
- [SER06] 12G-SDI アイパターンにおいて、TrTf 自動測定に最適化処理を適用した Improved モード を追加し、最新広帯域オシロスコープとの指示差を改善。また、Normal モードで従来互換表示を対 応。これらのモード切り換えは 12G-SDI タブメニューで行なう。なお TrTf の設定はプリセットの対 象外。
- Ver. 4.3 (LV 5490) / Ver. 2.7 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 4.2 (LV 5490) / Ver. 2.6 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 4.1 (LV 5490) / Ver. 2.5 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 4.0 (LV 5490) / Ver. 2.4 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 3.9 (LV 5490) / Ver. 2.3 (LV 5480)
- ・ [LV 5490/5480] 外部リモート制御(D-SUB 15 ピン端子)によるプリセットリコール機能の速度を改善。
- Ver. 3.8 (LV 5490) / Ver. 2.2 (LV 5480)
- ・ [SER06/08] 12G-SDI の位相差表示機能に対応。
- Ver. 3.7 (LV 5490) / Ver. 2.1 (LV 5480)
- ・ [SER10] LV 5490SER10(VIDEO NOISE METER)に対応。
- Ver. 3.6 (LV 5490) / Ver.2.0 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 3.5 (LV 5490) / Ver. 1.9 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 3.4 (LV 5490) / Ver. 1.8 (LV 5480)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 3.3 (LV 5490) / Ver. 1.7 (LV 5480)
- ・ [SER08] LV 5490SER08(IP(NMI))に対応。
- Ver. 3.2 (LV 5490) / Ver. 1.6 (LV 5480)
- ・ [SER01/02/06] ガマットエラー検出機能を追加。
- ・ [SER01/02/06] 5 バー表示機能を追加。
- ・ [SER01/02/06] ピクチャー表示のユーザーマーカーにアスペクト比の表示を追加。

- Ver. 3.1 (LV 5490) / Ver. 1.5 (LV 5480)
- Ver. 3.0 (LV 5490) / Ver. 1.4 (LV 5480)
- ・
   ・
   軽微な変更
   ・
- Ver. 2.9 (LV 5490) / Ver. 1.3 (LV 5480)
- ・ [SER06] LV 5490SER06(12G-SDI INPUT)に対応。
- ・ [SER09] LV 5490SER09(12G-SDI EYE)に対応。
- Ver. 2.8 (LV 5490) / Ver. 1.2 (LV 5480)
- ・
   ・
   軽微な変更
   ・
- Ver. 2.7 (LV 5490) / Ver. 1.1 (LV 5480)
- ・ [LV 5490/5480] キャプチャー時の波形色をシアンに変更。
- ・ [LV 5490/5480] XYZ 入力時、BT.709、BT.2020 の色域に対応。
- ・ [LV 5490/5480] カラリメトリアラーム機能を追加。
- ・ [SER01/SER02] 波形表示のカーソル測定で、カーソル値表示と X/Y 同時表示に対応。
- [SER01/SER02] ステータス表示の周波数偏差測定で、表示範囲を±50ppm から±100ppm に改善。
- ・ [LV 5480SER01/SER02] ステータス表示のQ信号ログをUSBメモリーに保存できるように改善。
- ・ [SER03] Dolby オプションで、フレームロケーション表示に対応。
- ・ [SER07] LV 5490SER07(HDR)に対応。
- Ver. 2.6 (LV 5490)
- ・ 軽微な変更
- Ver. 2.5 (LV 5490)
- ・ [SER01/SER02] XYZ 信号に対応。
- ・ [SER01/SER02] ベクトル波形表示にヒストグラム機能を追加。
- ・ [LV 5490SER01/SER02] ステータス表示の Q 信号ログを USB メモリーに保存できるように改善。
- Ver. 2.4 (LV 5490)
- Ver. 2.3 (LV 5490) / Ver. 1.0 (LV 5480)
- ・ [LV 5490] WEB サーバーに対応。
- ・ [LV 5480] LV 5480(MULTI WAVEFORM MONITOR)に対応。
- ・ [SER01/SER02] フリーズ、ブラックエラーに対応。
- ・ [SER01/SER02] テスト信号発生機能で、パターンの斜めスクロールに対応。
- ・ [SER01/SER02] 波形表示、ベクトル表示、シネライト表示で、DCI の色域に対応。
- [SER01/SER02] 波形表示、ベクトル表示の色域を、システムメニューで一括設定できるように改善。
- [SER05] 色度図表示の色域を、システムメニューで一括設定できるように改善し、マニュアルによる 色域設定を削除。

- Ver. 2.2 (LV 5490)
- ・
   ・
   軽微な変更
   ・
- Ver. 2.1 (LV 5490)
- ・
   ・
   軽微な変更
   ・
- Ver. 2.0 (LV 5490)
- ・ [LV 5490] TELNET、FTP、SNMP によるリモート操作に対応。
- ・ [LV 5490] SNTP サーバーによる時刻構成機能に対応。
- ・ [LV 5490] LV 5490-01 リモートコントローラに対応。(別売)
- ・ [LV 5490] ユーザーレイアウトの DISPLAY MODE に ALIGN-H、ALIGN-V を追加。
- ・ [SER01/SER02] テスト信号発生機能で、エンベデッドオーディオに対応。
- ・ [SER01/SER02] テスト信号発生機能で、マルチフォーマットカラーバーパターンに対応。
- ・ [SER01/SER02] 2 倍速フォーマット表示に対応。
- ・ [SER01/SER02] シネライトの%ディスプレイに、ビデオデータ値を表示する CODE VALUE を追加。
- ・ [SER03] Dolby に対応。(オプション)
- ・ [SER05] 色度図に任意のトライアングルを表示する、ユーザートライアングルに対応。
- ・ [SER05] ガンマを 1.5~3.0 に可変する、ユーザーガンマに対応。
- ・ [SER05] シネライトアドバンスの連携マーカーに、座標値の表示を追加。
- Ver. 1.9 (LV 5490)
- ・
   ・
   軽微な変更
   ・
- Ver. 1.8 (LV 5490)
- ・ [SER01/SER02] 3G-SDI デュアルリンク、RGB 444 等のフォーマットに対応。
- ・ [SER01/SER02] 指定フォーマット以外の SDI 信号入力に対して、警告表示を行う機能を追加。
- ・ [SER01/SER02] ステータス表示で、ANC DATA VIEWER に対応。
- ・ [SER01/SER02] 波形表示、ベクトル表示で、色域 2020 に対応。
- ・ [SER01/SER02] シネライトIIに対応。
- ・ [SER01/SER02] フレームキャプチャーで USB メモリーに保存する際、プログレスバーを表示する ように改善。
- ・ [SER01/SER02] 波形表示に、1023、255 スケールを追加。
- Ver. 1.7 (LV 5490)
- Ver. 1.6 (LV 5490)
- ・
   ・
   軽微な変更
   ・

- Ver. 1.5 (LV 5490)
- ・ [SER01/SER02] フォーカスアシストオプション(LV 5490SER04)に対応。
- ・ [SER01/SER02] CIE 色度図オプション(LV 5490SER05)に対応。
- ・ [SER01/SER02] フォーマット表示に、スクエア(SQ)と2サンプルインターリーブ(2S)の識別を追加。
- ・ [SER01/SER02] ピクチャー表示のアスペクトマーカーに、16:9 を追加。(画角 17:9 入力時)
- ・ [SER01/SER02] ステータス表示のデータダンプで、ラインとサンプルを V POS ツマミと HPOS ツマミで選択できるように改善。
- [SER01/SER02] ステータス表示の位相差測定で、3G-B(1080/60P、59.94P、60P)の測定範囲を±
   1 フレームに変更。
- ・ [SER01/SER02] ステータス表示の位相差測定に、0H 基準の設定(レガシーまたはシリアル)を追加。
- ・ [SER01/SER02] ステータス表示に、ARIB のアンシラリ解析機能を追加。
- Ver. 1.4 (LV 5490)
- ・ [LV 5490] テスト信号発生機能を追加。
- ・ [LV 5490] 高速起動モードを追加。
- ・ [LV 5490] フリーレイアウトのステータスとオーディオに、同時に複数機能をレイアウトする機能を 追加。
- ・ [LV 5490] リコール時のメニューをリコールメニュー、またはファンクションメニューのいずれかに してプリセットできる機能を追加。
- ・ [LV 5490] USB 接続時などに表示されるアイコンを消す機能を追加。
- ・ [LV 5490] 電源を再投入するまでは、前回操作したタブメニューが表示されるように改善。
- ・ [LV 5490] システム設定のイニシャライズに ALL INIT を追加。
- ・ [SER01/SER02] フレームキャプチャー機能を追加。
- ・ [SER01/SER02] 4K HD クワッドリンクに対応。
- [SER01/SER02] SDI 信号と、SDI 信号に重畳したペイロード ID および SDI のシステム設定がお互いに適切ではない場合に、フォーマット表示を赤くするように改善。
- ・ [SER01/SER02] ピクチャー表示のアスペクトマーカーに、シャドウ機能を追加。
- ・ [SER01/SER02] ピクチャー表示のアスペクトマーカーに、AFD 機能を追加。
- ・ [SER01/SER02] ピクチャー表示に、フルフレーム表示と2倍表示を追加。
- ・ [SER01/SER02] ステータス表示に、位相差表示機能を追加。
- ・ [SER01/SER02] ステータス表示に、EDH、ペイロード ID、オーディオコントロールパケット、カ スタムサーチ、AFD のアンシラリ解析機能を追加。
- ・ [SER03] ステータス表示機能を追加。
- [SER03] マルチリサージュとシングルリサージュを切り換えたときに、スケールとリサージュ波形の 更新が同じになるように改善。
- Ver. 1.2 (LV 5490)
- ・ [LV 5490] D サブ 15 ピン端子による、リモート制御機能の追加。
- ・ [LV 5490] LCD バックライトを自動で消灯できるように改善。
- ・ [LV 5490] 測定画面のレイアウトを一括で初期化できるように改善。
- ・ [SER01] HD デュアルリンク、3G-SDI レベル B デュアルストリームに対応。
- ・ [SER01] ステータス表示に、イベントログ機能を追加。
- ・ [SER02] LV 5490SER02(SDI INPUT / EYE)に新規対応。
- Ver. 1.1 (LV 5490)
- ・ 新規リリース

# 所含有毒有害物质信息

## 部件号码: LV 5490 / LV 5480



此标志适用于在中国销售的电子信息产品,依据2006年2月28日公布的 《电子信息产品污染控制管理办法》以及SJ/T11364-2006《电子信息产品污染 控制标识要求》,表示该产品在使用完结后可再利用。数字表示的是环境保护使 用期限,只要遵守与本产品有关的安全和使用上的注意事项,从制造日算起在数 字所表示的年限内,产品不会产生环境污染和对人体、财产的影响。 产品适当使用后报废的方法请遵从电子信息产品的回收、再利用相关法令。 详细请咨询各级政府主管部门。

有毒有害物质或元素 Hazardous Substances in each Part					
铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
(Pb)	(Hg)	(Cd)	(Cr(VI))	(PBB)	(PBDE)
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
选件					
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
×	0	0	0	0	0
	印       (Pb)       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×       ×	有毒有害物质或;         铅       汞         (Pb)       (Hg)         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         〇       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇         ×       〇	有毒有害物质或元素     Hazard       铅     汞     镉       (Pb)     (Hg)     (Cd)       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ○     〇     〇       ○     〇     〇       ×     〇     〇       ○     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇       ×     〇     〇	有毒有害物质或元素       Hazardous Substance         铅       汞       镉       六价铬         (Pb)       (Hg)       (Cd)       (Cr (VI))         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X       O       O       O         X<	有毒有害物质或元素       Hazardous Substances in each Par         船       雨       穴价格       多溴联苯         (Pb)       (Hg)       (Cd)       (Cr (VI))       (PBB)         ×       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇         ×       〇       〇       〇       〇       〇       〇       〇

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

备注)

〇:表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006 规定的限量要求以下。

×: 表示该有毒有害物质或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

Ver.4

### 製品に関するお問合せ

本社 国内営業部 電話 045-541-2122 Fax 045-541-2120 Eメール sales@leader.co.jp

### リーダー電子株式会社

〒223-8505 神奈川県横浜市港北区綱島東 2 丁目 6 番 33 号 www.leader.co.jp

2020. 1.15 Ver.18 (Firmware Ver.5.9)